図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
0 0	図面番号表	3 0	断面詳細図　其の4	6 0	壁，床版配筋リスト	9 0	
0 1A 0 1B	特記仕様書	3 1	断面詳細図　其の5	6 1	雑配筋図　其の1	9 1	
0 2	外部，内部仕上表	3 2	断面詳細図　其の6	6 2	配筋図　其の2	9 2	
0 3	面積表	3 3	断面詳細図　其の7	6 3	架構図　其の1	9 3	
0 4	配置図，附近見取図	3 4	断面詳細図　其の8	6 4	架構図　其の2	9 4	
0 5	地　下　平面図	3 5	洗車装置　詳細図 其の1	6 5	鉄骨詳細図 其の1	9 5	
0 6	1　階　平面図	3 6	洗車装置　詳細図 其の2	6 6	鉄骨詳細図 其の2	9 6	
0 7	2　階　平面図	3 7	危険物倉庫 詳細図	6 7	鉄骨詳細図 其の3	9 7	
0 8	3　階　平面図	3 8	灯油貯留槽 基礎，補機械 基礎　詳細図	6 8	鉄骨詳細図 其の4	9 8	
0 9	4　階　平面図	3 9	建具表　其の1	6 9	鉄骨詳細図 其の5	9 9	
1 0	クレーン階　平面図	4 0	建具表　其の2	7 0	煙　突 基礎　詳細図 其の1	1 0 0	
1 1	屋　根　平面図	4 1	建具表　其の3	7 1	煙　突 基礎　詳細図 其の2	1 0 1	
1 2	西面　北面　立面図	4 2	金物詳細図　其の1	7 2	建築設備図　特記仕様書	1 0 2	
1 3	東面　南面　立面図	4 3	金物詳細図　其の2	7 3	建築設備図　機器明細表	1 0 3	
1 4	断面図　其の1	4 4A 4 4B	構造一般適用事項	7 4	建築設備図　系統図	1 0 4	
1 5	断面図　其の2	4 5	杭伏図，基礎配筋リスト	7 5	建築設備図　配置図	1 0 5	
1 6	地　下　平面詳細図 其の1	4 6	B1，B2，B3 伏　図	7 6	建築設備図　1　階 平面図	1 0 6	
1 7	地　下　平面詳細図 其の2	4 7	1　階 伏　図	7 7	建築設備図　2　階 平面図	1 0 7	
1 8	1　階　平面詳細図 其の1	4 8	2　階 伏　図	7 8	建築設備図　3　階 平面図	1 0 8	
1 9	1　階　平面詳細図 其の2	4 9	M3　伏　図	7 9	建築設備図　4　階 平面図	1 0 9	
2 0	1　階　平面詳細図 其の3	5 0	3　階 伏　図	8 0	建築設備図　詳細図	1 1 0	
2 1	1　階　平面詳細図 其の4	5 1	4　階 伏　図	8 1	移設 及び 撤去図　其の1	1 1 1	
2 2	2　階　平面詳細図	5 2	クレーン階，R 伏　図	8 2	移設 及び 撤去図　其の2	1 1 2	
2 3	2，3　階　平面詳細図	5 3	軸組図　其の1	8 3	移設 及び 撤去図 其の3	1 1 3	
2 4	3　階　平面詳細図	5 4	軸組図　其の2	8 4	撤去図　其の1	1 1 4	
2 5	4　階，クレーン階　平面詳細図	5 5	軸組図　其の3	8 5	撤去図　其の2	1 1 5	
2 6	4　階　平面詳細図	5 6	軸組図　其の4	8 6	撤去図　其の3	1 1 6	
2 7	断面詳細図　其の1	5 7	軸組図　其の5	8 7		1 1 7	
2 8	断面詳細図　其の2	5 8	柱配筋リスト	8 8		1 1 8	
2 9	断面詳細図　其の3	5 9	梁配筋リスト	8 9		1 1 9	

S5～S11 平面図は 杭伏及び各壁面積入平面図。

昭和53年　月　日
福山市建設局建築部建築課

課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図面番号 0 0

図面番号表

株式会社タクマ一級建築士事務所
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

昭和　年　月　日
株式会社タクマ

福山市西部清掃工場建設工事特記仕様書 NO.1

工事名

工事概要

1	建築場所	広島県 福山市 赤坂町大字 赤坂字正田
2	用途地域	・住居 ・準住居 ・商業 ・近隣商業 ・準工業 ⊙指定なし
3	防火地域	・防火 ・準防火 ⊙指定なし
4	工事種別	・新築 ・増築 ・改築 ・移転 ・その他
5	敷地面積	20,898 m²
6	建築面積	増築 全棟 1669.007 m²
7	床面積 工場棟	地階 15.285 m² / 3階 444.209 m² / 1階 1536.379 m² / 4階 316.798 m² / 2階 634.467 m²
8	延面積	2947.136 m²
9	構造	・木造 ⊙鉄骨造，⊙補強コンクリートブロック造 ⊙鉄筋コンクリート造 ・鉄骨鉄筋コンクリート造 ・その他
10	附属建物	計量室棟 10.500 m² / 洗車場棟 41.000 m² / 危険物庫棟 15.098 m²
11	工作物等	⊙排水設備 市役所側工事(浄化槽)。 ・囲障 なし。 ・門扉 なし。 ⊙舗装 アスファルト舗装(簡易式) 新設及び補修共。 ⊙建具 鋼製建具 高さ 115
12	別途工事	・電気設備工事 KKタクマ プラント側工事。 ・給排水衛生設備工事 建築工事。 ・ガス設備工事 建築工事(プロパンガス)。 ⊙カーテン取付工事 なし。 ⊙仮設道路。 ⊙工場棟壁面10m以後の汚水排水，給湯 暖房配管工事
13	支給品等	○建築工事範囲で一部プラント工事より支給品あり。
14	仕様	・図面及び特記事項に記載されていない事項はすべて建設大臣官房官庁営繕部建築工事共通仕様書(昭和52年版)による ・項目及び特記事項は○印をつけたものを適用する ⊙印のない場合は㊀印を適用する ・材料及び製造所の記載順序不同
15	地場製品の活用	工事請負人はつぎの品目について，地場製品を使用しその使用に関しては，予め係員と協議するとともに使用状況の報告をすること。(材料搬入前に打合わせる事)。

品目			
⊙生コンクリート	⊙小形鋼のう材	⊙木材	⊙防水用ゴムシート
⊙磁器質タイル	⊙木製建具	⊙ステンレス流し	・瓦
・ASコンクリート	⊙鉄骨	・植栽	・畳
・浄化槽			

1章 一般共通事項

①	適用基準等	○現場説明，特記仕様書，設計図
②	疑義に対する協議	⊙設計図書に明記のない場合又は疑いを生じた場合は監督員と協議する (現場のおさまり，取り合等も含む)
③	官公署その他への手続	⊙工事施工に必要な手続は，施工業者が遅滞なく行なう
④	現場代理人及び主任技術者	⊙請負人は工事期間中下記人員を工事現場に常駐させるものとする ⊙1級建築士 1名以上 ・2級建築士 名以上 ・不要 ⊙請負人は現場代理人並びに工事現場に於ける工事施工の技術上の管理をつかさどる技術者を定め監督員の承認を受ける
⑤	実施工程表	⊙着工に先立ち実施工程表を作成し，監督員の承認を受ける
⑥	施工計画書	⊙着工に先立ち工事全般について仮設を主とした施工計画書を作成し監督員の承認を受ける
⑦	現寸図・施工図見本その他	⊙現寸図・施工図・見本等は遅滞なく監督員に提出し承認を受ける
⑧	色・柄などの指示	⊙色・柄などは監督員の指示による
⑨	建築材料製造所	⊙建築材料の製造所・商品・施工者などは特記されたもの又は同等以上とする。ただし同等以上とする場合は監督員の承認を受ける
⑩	特別な材料の工法	⊙前9の項に含まれていない特別な材料の工法は，当該製品の指定工法による
⑪	材料	⊙新品とし，監督員の検査に合格したもの又は使用承認を受けたものとする ⊙品質不明示のものは，均衡を得た品質のものとする ⊙JIS規格指定材料は，JISマークの表示のあるもの又はJISの規格証明書が添附されているものとする ⊙調合を要する材料は施工計画書とともに調合表を監督員に提出し承認を受ける
⑫	記録・報告	⊙下記の場合には記録簿・報告書を監督員に提出する ⊙疑義に対する協議事項 ⊙材料が搬入された時(材料検収書作成) ⊙施工の一工程が完了した時 ⊙工事の全般的な経過を記載した文書(必要に応じて工事写真・見本品・試験成績書などを添附する)
⑬	工事写真	(下表)

分類	規格	撮影枚数	提出部数	提出原版の大きさ
着手前	サービス版	必要に応じた数	1	35mm版以上
工事中	サービス版	必要に応じた数	1	-
完成時	サービス版カラー	各室 4 面	3	-
	キャビネ版カラー	外壁 4 面		-

＊完成時の写真はアルバム(A4 版程度)に貼り部位を記入する
上記以外に補助金書類の写真は現場指示する。

⑭	竣工図の作成	⊙完成時に構造，仕上，機器類，配管，配線 その他 総てに渉る竣工図面を4部提出する事。
⑮	設備工事関連事項	⊙設備業者に足場・桟橋などを無償で使用させる ⊙設備関係の器具取付枠を設ける ⊙プラント工事が主体となるのでプラント工事に支障なき様 建築工事を進行する事。
⑯	工事下請負人名簿	⊙工事請負業者は下請負人名簿を提出して監督員の承認を受ける
⑰	工事現場の安全対策	⊙工事施工に伴う危険防止，火災防止の為，建築基準法，労働基準法，消防法，危険物規定 その他法規の定めるところにより危険防止に努める
⑱	敷地の使用	⊙工事用敷地の使用は必要最小限度にとどめ，使用後は現状復旧する
⑲	近隣の建物等に対する処置	⊙請負人は工事着手に先立ち近隣の建物又は工作物の所有者及び居住者に対し，係員及び本建主管担当者の立会の下に工事概要を説明する
⑳	記録写真の提出について	⊙近隣の建物及び工作物に該当工事で被害を及ぼすおそれがある時は，係員の立会の下に在来等の状況を写真撮影して，係員に提出する

2章 仮設工事

①	建築現場仮囲	㊀有 ・木製仮囲 ・鋼製仮囲 ・しない
②	監督員事務所	・1号(10m²内外) ・2号(20m²内外) ㊀3号(35m²内外) 事務所用，タクマ用，各1ケ ・4号(65m²内外) ・5号(100m²内外) ・しない (2.3.1表)
③	請負業者事務所	㊀敷地内へ建てることができる
④	工事用水	構内既存の施設 ・有償で利用できる ㊀打合せによる ・利用できない
⑤	工事用電力	構内既存の施設 ・有償で利用できる ㊀打合せによる ・利用できない

3章 土工事

①	埋め戻し及び盛土	・A種(良質土・掘削土の類で埋め戻し，水締め) ㊀B種(良土・掘削土の中の良質土で埋め戻し，機器による締固め) (3.2.1表)
②	残土処分	㊀構外搬出処分(監督員の指示による) ・構内処分 構内指示の場所に敷き均す
③	地ならし	⊙建物の周囲は幅 2 mを水はけよく地ならしをする ㊀アスファルト舗装及び敷砂利(周囲)

4章 地業工事

① ② ③	割栗及び玉石地業 砂利地業 杭地業	㊀A種(割栗石又は割玉石) ・B種(玉石) (4.4.1表) 切込砂利又は切込砕石とし，最大粒径45 mm内外とする ※クラッシャーラン

杭の種別	径(mm)	長さ(m)	設計支持力(ton/本)
PCパイル	φ350	14.0	40 ton/本(長期)

- ・RCパイル(JIS A5310) ・1種 ・2種
- ⊙PCパイル(JIS A5335) ⊙A種 ・B種 ・C種
- ・継手 ・溶接式 ・ボルト式
- ⊙杭打機械 ・ドロップハンマー( ) ⊙ディーゼルハンマー(直打) ・インパクトハンマー( )
- ⊙杭支持力算定式 $Ra = \frac{F}{5S+0.1}$
- ⊙杭打成績報告書 ⊙要(1部提出) ・不要
- ⊙杭製造所 ⊙JIS表示許可工場又は認定工場

④	試験杭	⊙直径 350 mm，長さ 15.0 m，継手 ，本数 3 本 ⊙杭打機械 前 の項 の杭打機械による ⊙支持力 40 ton/本
5	穴明工法	・乾式アースオーガー ・湿式アースオーガー 機械 ・三和機材40H程度(最大 350φ ℓ=15.00m) ・三和機材60H程度(最大 500φ~600φ ℓ=35.00m~40.00m)
⑥	捨コンクリート地業	コンクリートの種別 ・A種 B種 ㊀C種 (6.9.1表)

5章 鉄筋工事

	鉄筋の材質	種類	種別	使用区分	使用個処	備考
①	異形鉄筋		㊀SD30	径16%以上		規格品外は試験に合格したもの
			○SDR24	径13%以下		
	丸鋼		・S R24	径16%以上		
			○SRR24	径13%以下		

②	溶接金網	JIS G3551(溶接金網)の規格品 線径(mm) 網目(mm) ・5φ ・100×100 ・150×150 ㊀6φ ・100×100 ・150×150 ・200×200
③	鉄筋のガス圧接	・する ・しない ⊙必要に応じてする 作業者の技能資格 ・NAK1種 ・NAK2種 ・NAK3種

6章 コンクリート工事

①	セメントの種類	㊀普通ポルトランドセメント(JIS R5210) ・混合セメントA種 ・混合セメントB種
②	混和剤 (注)混和剤使用は監督員指示により現場決定	⊙AE剤 商品名：ポゾリスAE，コンプラストAEA，エアテイン，ポゾフォーム，ヴィンソール，セルックス，ダレックス，ヴィンソール，プロテックス。使用個所： ⊙AE減水剤 商品名：サンフローS，プラストクリート，ポゾリス，ポゾリス No5L，リグナール，チューポールC，オーロン，ポゾフォーム。使用個所： ・減水剤 ・商品名：コンプラスト211，ポゾリス No100N。使用個所： ・膨張性セメント混和剤 商品名：デンカCSA，小野田エクスパン。使用個所： ⊙(注)現場で決定する事。
③	コンクリート種別	(下表)

種別		強度	使用個所
無筋コンクリート	・普 ㊀C種	135 kg/cm²	捨コンクリート，床のさとり用コンクリート
鉄筋コンクリート	・C135 ・C180 ㊀C210 ・C225	210 kg/cm²	躯体，基礎 等(機械基礎除)。
軽量コンクリート	⊙1種 ・2種		便所 軽量コンクリート 廊下
防水押え 軽量コンクリート	1種 2種	○210 kg/cm²	基礎，プラント用クーリングタワー基礎
遮蔽用コンクリート			
玉石コンクリート		○135 kg/cm²	砂利により支持層迄の基礎
工事現場練りコンクリート			○必要に応じ現場打合せ。

④	コンクリート製造種別	㊀I類 ・II類 (6.3.1表)
⑤	床コンクリート仕上の種別	・A種 ㊀B種 ・C種 (6.2.1表)
⑥	型枠緊張材の種別	㊀ボルト式・(セパレーター使用)
⑦	打放し用型枠及び緊張材の種別	(下表)

種別	型枠材料	緊張材	使用個所
・A種	型枠合板1類厚15mm 新品又は新品とみなせる物	ボルト	
㊀B種	型枠合板1類厚12mm 新品又は損傷のない物	ボルト	
C種	型枠合板1類厚12mm	ボルト	

⑧	最上階スラブのスランプ	⊙最上階のスラブのスランプ 150mm とする。
⑨	温度補正	○必要に応じてする。
⑩	水密コンクリート	○1階床下部以下にある ごみピット，灰ピット，汚水槽 等の各種水槽，壁及び底版。(注)水密なコンクリートとする 詳細は現場決定

7章 鉄骨工事

①	鋼材の材質	⊙規格品 ・規格適用品 ・JIS G3101(一般構造用圧延鋼材) ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・JIS G3106(溶接構造用圧延鋼材) ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・JIS G3444(一般構造用炭素鋼鋼管) ・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・JIS G3466(一般構造用角形鋼管) ・1種 ・2種 ・JIS G3350(一般構造用軽量形鋼) SSC41
②	高力ボルト	㊀JIS B1186の高力ボルト(F10T) ・特殊高力ボルト
③	溶接材料	㊀JIS Z3211(軟鋼用被覆アーク溶接棒)のJIS D4301の規格品 ・JIS Z3212(高張力鋼用被覆アーク溶接棒)のJIS D5016の規格品
④	ALC版取合補強及び設備取合補強材	○ALC版補強材及び取付用鋼材は図示なき場合 ALC版取付メーカーの指示による補強材を鉄骨工事として施工図に記入の上承認の上取付ける。 ○ALC開口補強材 図示なき場合 幕 L-100×75×7 窓 L-100×75×7 ガラリ及びダクト穴 L-100×75×7 ○建築設備機器取付用補強材は 建築設備機器メーカー指示による。

8章 ブロック及びALCパネル工事

			ブロック厚(mm)	使用個所
①	コンクリートブロック	○耐力壁(C種)	150	危険物庫
			100	便所廻り壁
		帳壁(種)		

2	特殊コンクリートブロック	製造所又は製品名及び寸法 JIS A5406
③	レンガ	⊙普通レンガ(JIS R1250) ・上焼1等 ⊙上焼2等 ・並焼1等 ・並焼2等 ・耐火レンガ(JIS R2304) ・8番 ・9番 耐火モルタルは JIS R2501 による
④	ALCパネル	⊙商品名：シポレックス，ヘーベル，デュロックス，イトン ⊙厚さ(mm) 図示(取付補強材は鉄骨工事に記入する) 屋根 100・120・150 外壁 一部 マグネシウム 120 使用 ・間仕切壁パネルの取付方法 ・A種 ・B種 (8.5.2表)
5	プレキャストコンクリート	

9章 防水工事

		施工個所	防水種別	保証年限(年)
① 防水工事	歩行防水	屋上 便所	シート防水 加硫ゴム 露出	10
	㊀非歩行防水	屋上 便所	シート防水 加硫ゴム 非加硫ゴム	10
			○シルバー仕上 基礎下補強板使用	

2	材料	製造所又は材料名 ・早川ゴム(株) ・(株)タジマルーフィング ・加硫ゴム(株) ・宇部化学(株) ベルシート ・以上同等品 (一部抹消)
③	コーキング材(防水工事に限る)	⊙目地用 ㊀防水メーカー指定材料 ⊙シールコーキング材 ㊀防水メーカー指定材料 ・エキスパンションジョイント用シール材 ㊀ポリサルファイド系シーリング
④	浸透性塗布防水	○ごみピット，灰ピット，汚水槽，は内部防水。ペンブックス・イン・ジャパンKK(ネエエ及び打継部処理共)又は同等
⑤	コーキング(防水工事外)	○ALC取合，建具取合。ポリサルファイド系シーリング

10章 石工事

1	石の種類	JIS A5003 ・1等品 ・2等品 ・3等品

種類	寸法	施工個所

2	硬石・準硬石の仕上の種類	・たたき仕上(10.1.1表) ・のみ切り(・大のみ ・中のみ ・小のみ) ・びしゃん(・荒びしゃん ・細びしゃん) ・小たたき(・荒小たたき ・中小たたき ・上小たたき) ・ジェットバーナー仕上 ・みがき仕上 ・粗みがき ・水みがき ・本みがき つや(・有 ・無) ・F仕上げ (10.2.2表)
3	軟石の仕上の種類	・のこびき目 ・粗みがき
4	金物	・黄銅製 ・ステンレス製(SUS304) (10.2.3表)
5	大理石の仕上の種類	・粗みがき ・水みがき ・本みがき ・F仕上 (10.3.1表)
⑥	テラゾーブロック	㊀JIS A5411 の規格品 便所スクリーン 厚40mm 甲板 厚25mm 仕上の種類 ・粗みがき ⊙水みがき ・本みがき 種石の種類 ・大理石 ・じゃもん岩 ・花崗岩
7	擬石の仕上の種類(10.1.1表)(10.1.2表)	・たたき仕上 ・のみ切り(・大のみ ・中のみ ・小のみ) ・びしゃん(・25目 ・50目 ・100目) ・小たたき(・荒小たたき ・中小たたき ・上小たたき) ・みがき仕上 ・粗みがき ・水みがき ・本みがき つや(・有 ・無) ・洗い出し ・F仕上
8	軟石及び擬石の仕上の種類	・硬石，準硬石 ・荒小たたき ・のこびき目 ・大理石 ・粗みがき
9	製作所	旭石材，朝日石材，岩崎大理石工業，関ヶ原石材 等

11章 タイル工事

	種類	寸法	施工個所
① タイルの種類	○壁タイル貼	100角	便所，洗面所
	○床タイル貼	〃 〃	玄関ホール
	○モザイクタイル貼	25角 モザイク	便所，洗面所
	○ノンスリップタイル貼	150×60-65	階段室を除くRC階段，便所入口

②	内壁タイル張りの工法	㊀積上げ張り 圧着張り モザイクタイル張り (11.1.4表)
3	外壁タイル張りの工法	積上げ張り 圧着張り モザイクタイル張り (11.1.4表)
④	床タイル張りの工法	圧着張り ㊀モザイクタイル張り (11.1.4表)
⑤	目地用モルタル	商品名：NS目地セメント，KS目地，ベストン，目地用タイロン，目地用エマル
6	外壁伸縮目地の施工	・する(シーリング材はJIS A5754の建築用ポリサルファイドシーリング材とする) ＊しない
⑦	タイルの製造所	东日タイル，伊奈製陶，佐賀陶器工業，淡陶，日本陶器 等

12章 木工事

①	木材の含水率	㊀A種 ・B種 (但し現場搬入時) (12.1.1表)
2	木材の規格証書	＊有り(軽微なものを除く) ・無し
3	構造材及び下地材の等級	＊1等(化粧の場合の和室の柱は1等上小節材とする) ・2等
④	造作材の等級	㊀A種 ・B種 (12.1.2表)
⑤	樹種	⊙構造材(・松 ・すぎ ・ひのき ⊙又はそれの代用材) (12.1.3表) ⊙造作材(・すぎ ・松 ・ひのき ⊙又はそれの代用材) (〃) ⊙下地材(・すぎ ・松 ・又はそれの代用材) (〃)
⑥	かんな削りの系列	・A種 ㊀B種 ・C種 (12.1.4表)
7	化粧張り造作用集成材	＊1等 ・2等 樹種
8	化粧薄板の樹種及び厚さ	樹種： 木理 ・柾目 ・板目 厚さ： ・0.8mm ・0.5mm ・0.3mm
9	防虫処理(処理法及び施工個所)	塗布法 / 浸漬法 / 注入法
⑩	寸法・その他	㊀造作材及び家具の見え掛り寸法は仕上り寸法とする ・和式間仕切の枠，框，鴨居等などは人工乾燥材とする
⑪	天井用インサート	⊙監督員の承認するもの
⑫	天井吊木	⊙吊り子その他開口部には必要に応じて増し吊りをする
⑬	天井下地	○軽量鉄骨(天井軽鉄下地)
⑮	準不燃化粧合板張	○難燃 化粧合板張り(接着剤貼付) 参考：朝日木工(株)難燃3124号又は同等品

13章 屋根およびとい工事

1	亜鉛鉄板(平板)板厚(溶接鉄板も含む以下同じ)	・一般の部分 ＊0.3mm ・0.35mm ・0.4mm ・0.5mm ・谷の部分 ＊0.4mm ・0.5mm
2	亜鉛鉄板(波板)板厚及び波の大きさ	・板厚 ＊0.3mm ・0.35mm ・0.4mm ・波の大きさ ＊大波 ・小波
3	長尺亜鉛鉄板瓦棒葺きの板厚	・平葺き瓦棒ぶき板及び谷の部分 ＊0.4mm ・0.5mm
4	長尺亜鉛鉄板瓦棒葺きの製造名	
⑤	波形石綿スレートの種別	・屋根 ㊀大波 ⊙小波 ・壁 ・大波 ＊小波 ・工法 ＊普通 ・水密
⑥	軒樋	・硬質塩化ビニール ・プラスチック ㊀オリエンタルメタル加工製(亜鉛鉄板 0.6)
7	谷樋	・亜鉛鉄板厚0.4mm(・一重 ・二重) ・表面特殊加工亜鉛鉄板厚 0.4mm
⑧	たて樋	・硬質塩化ビニール ㊀VP ・VU) ・プラスチック ・SP ・GP
⑨	たて樋下の養生管	・硬質塩化ビニール(VP) ・亜鉛鉄板 ⊙GP(地上2000まで Pは工) ㊀たて樋の床面及び天井面の取合部にはシーリングプレート(亜鉛鉄板ステンレス)を取付ける ＊たて樋のスラブ貫通部にはスリーブを入れる
10	屋内たて樋の結露対策	・する(13.4表による) ⊙しない
⑪	ルーフドレン製造所	伊藤鉄工，小島製作所，第一機材，長谷川鋳工所，木村鋳造 等
⑫	折板	○屋上亜鉛鉄板 厚0.8mm(耐力 大阪 中央 450タイプ) 屋根用 断熱材 ○屋上亜鉛鉄板 厚0.6 500タイプ ○(注)450タイプで 堅牢部分はダンネットドライブ ポリスチレン ○(注)雨落水切及びケラバ亜鉛鉄板厚0.8とする。 (準不燃 205号)

14章 金属工事

①	ステンレス鋼の種類	＊オーステナイト系 ㊀18-8 SUS304 ・18-8 SUS316 ・フェライト系 ・18 SUS430
	表面仕上の種類	⊙No2B(JIS)一応あり光沢仕上 ・No2D(〃)No2Dよりやや光沢のある鈍色仕上 ・No3(〃)#100~#120の中間的研摩仕上 ・No4(〃)#150~#180の研摩仕上 ・BA(〃)光輝仕上 ＊HL(JIS) ・エッチング ・着色 ・エンボシング
2	アルミニウム及びアルミニウム合金表面処理	・陽極酸化被膜 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (14.2.1表) ・着色被膜 ・A種 ・B種 (14.2.2表)
3	鉄の亜鉛めっき	
3-1	種類	・A種 ・B種 ・C種 (14.2.3表)
3-2	溶融亜鉛めっきの付着量	・A種 ・B種 ・C種 (14.2.4表)
3-3	電気亜鉛めっきの種類	・A種 ・B種 ・C種 (14.2.5表)
④	軽量鉄骨天井下地	○(木工事に記入)
4-1	野縁・野縁受・吊ボルトの種類	・A種 ＊B種 一般室 ・B種特殊室 (14.4.1表)
4-2	野縁受・開口部補強材	・A種 ＊B種 (14.4.2表)
5	軽量鉄骨壁下地	
5-1	間柱・ランナーの種類	・A種 ＊B種 (14.5.1表)
5-2	開口部補強材の種類	・A種 ＊B種 (14.5.2表)
6	エキスパンションジョイント製作所	・R-1 ・RE ・F-1 ・F-E ・S-1 ・S-E 日本アルミニウム工業
⑦	アルミ製笠木	○アルミエービング(タジマルーフィングKK)14の型又は同等品。

15章 左官工事

①	防水モルタル塗りの防水剤	⊙商品名：ウォータイト，小野田NN，ケミカ，シブロ，テケ，ペプトン，ロータス
2	塗仕上の張物下地モルタル	・防水モルタル塗り
3	プラスターの種類	＊ドロマイトプラスター ・混合石こうプラスター
4	人造石塗り	・種石の種別 ・A種 ＊B種 (15.8.1表)
5	[illegible]	[illegible]
6	床の黄銅目地の取合個所	・黄銅目地棒 4×12 ＊ステンレス目地棒 3×12
7	塗厚	躯体の仕上り精度の良い場合は，むら直しの工程を省いて塗厚を5mm内外減ずることができる
⑧	モルタル表面硬化剤(ハードモルタル)	混和剤商品名：ステラーデックス(同和鉱業)，ハードナモリタ(ABC商会) ㊀ラピドリス表面強化剤(恵建材)

記号・略号

(一般)	PS----パイプスペース	(構造材料)	SP----鋼管	(金属材下地)	(建具)	STD----ステンレス製ドア
UP----上がる	DS----ダクトスペース	RC----鉄筋コンクリート	GP----ガス管	CI----鋳鉄	AD----アルミ製ドア	STW----ステンレス製窓
DN----下がる	HR----消火栓	C----コンクリート	PC----プレキャストコンクリート	A----アルミニウム	AW----アルミ製窓	STG----ステンレス製ガラリ
W----幅		CB----コンクリートブロック		ST----ステンレス鋼	AG----アルミ製ガラリ	STS----ステンレス製シャッター
H----高さ		S----鉄(鋼)		WB----ホワイトブロンズ	SD----鋼製ドア	WD----木製ドア
CS----[illegible]		W----木		GB----ゴールドブロンズ	SW----鋼製窓	WW----木製窓
DC----ダストシュート		ALC----軽量気泡コンクリート			SG----鋼製ガラリ	WG----木製ガラリ
		LGS----軽量形鋼			SS----鋼製シャッター	F----ふすま

TD----強化ガラス製ドア	(硝子)	L----合せガラス	HFW----熱線吸収網入型ガラス
TW----強化ガラス製窓	S----透明ガラス	T----強化ガラス	TS----強化透明ガラス
AL----アルミ製リンググリルシャッター	P----すりガラス	PW----網入すりガラス	TP----強化すりガラス
SL----鋼製リンググリルシャッター	F----型ガラス	FW----網入型ガラス	TF----強化型ガラス
STL----ステンレス製リンググリルシャッター	W----網入ガラス	HS----熱線吸収透明ガラス	
SPS----鋼製可動間仕切	WL----波形ガラス	HP----熱線吸収すりガラス	
	H----熱線吸収ガラス( )	HF----熱線吸収型ガラス	
	D----複層ガラス	HPW----熱線吸収網入りすりガラス	

昭和 53. 年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

株式会社タクマ一級建築士事務所
[illegible] 電話大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 01A
特記仕様書	部長 / 課長 / 課長代 / 調査 / 設計
	尺度 / 昭和 年 月 日 / 株式会社タクマ

福山市西部清掃工場建設工事特記仕様書 NO.2

16章 建具工事 〔建具リストによる〕

アルミニウム製
- ① 耐風圧による種別（等級） ・・・ ◉ ・・・ (16.1.3表)
- ② 水密性による種別（サッシ表裏の圧力差） ・ ◉25 ・35 ・50 (16.1.4表)
- ③ 製作所：三協アルミ、日軽アルミ、日鉄カーテンオール、日本建鉄、不二サッシ、吉田工業 等 / 後進建鉄
- 出入口の沓摺：◉ステンレス（SUS304）◉ 2.0mm

鋼製
- ④ 出入口の沓摺：◉ステンレス（SUS304）鋼板厚 2.0mm ・鋼板厚 2.3mm
- ⑤ 製作所：◉監督員の承認する製作所

ステンレス製
- 6 鋼板の曲げ加工：◆普通曲げ加工 ・角出し曲げ加工
- 7 表面仕上：◆HL ・NO4（沓摺に限る）
- 8 製作所：◆亜鉛メタルワーク(株)、日本アルミニウム工業、ナカ工業 等

SUS・鋼製巻込シャッター
- 強度：~~240kg/m²~~ ○風圧強度は建築基準法による 但し下限は240kg/m²
- ⑨ スラットの厚さ：1.2mm ⊙1.6mm（但しSUSは1.5mm） (16.4.1表)
- ⑩ シャッターボックス：◉乙-1.6（⊙三方 ◆丸）
- ⑪ ガイドレール：・1.5mm ・2.0mm ・2.3mm ◆鋼製 ⊙ステンレス製（SUS304）
- ⑫ まぐさ：◆1.5mm ・2.0mm ◆鋼製 ⊙ステンレス製（SUS304）
- 13 防火シャッターの指定：◆煙感知器連動型（連動制御器、自動閉鎖装置、予備電源） ・熱感知器連動型
- 14 遮煙性能：◆必要 ・不要（建設省告示第2564号認定）
- ⑮ 開閉機構による種類：⊙上部電動式（手動併用） ・上部手動式 ◆下部手動式 ・アルアップ式
- ⑯ 製作所：文化製作所、神村シャッター、三和シャッター工業、鈴木シャッター工業、東洋シャッター、日本シャッター、日本文化シャッター 等

軽量シャッター
- 17 スラットの厚さ：◆0.8mm
- 18 シャッターボックス：・三方 ・丸 ・つばなり
- 19 ガイドレール：◆1.5mm ・2.0mm ・ステンレス製（SUS304） ◆鋼製
- 20 中柱：◆1.5mm ・2.0mm ・ステンレス製（SUS304） ◆鋼製
- 21 まぐさ：◆鋼製 ・ステンレス製（SUS304）
- 22 座板：◆鋼製 ・ステンレス製（SUS304）
- 23 開閉機構による種類：・上部電動式（手動併用） ◆手動式（スプリングバランス式）
- 24 製作所：神村シャッター、三和シャッター工業、鈴木シャッター工業、東洋シャッター、日本シャッター、日本文化シャッター 等

鋼製間仕切
- 25 製作所：・日本スピンドル ・文化シヤッター

木製
- ㉖ 建具材の種別：・A種 ◉B種 ・C種 (16.7.1表)
- ㉗ 建具材の樹種：◉16.7.2表による (16.7.2表)
- ㉘ フラッシュ戸：表面板の厚さ ・A種 ◉B種 (16.7.3表)

建具金物
- ㉙ モノロック：モノロックは特記以外下記による

製作所	ゴール（GOAL）	昭和金属（SHOWA）	美和産業（MIWA）
記号	UCロック	ISシリーズ	Hシリーズ

- ㉚ マスターキー：1組各3個
- 31 グランドマスターキー：組各 個
- 32 ドアクローザー：◆面付型 ・埋込型 / 製作所：大島精工（ダイヤモンド）、ニッカナ（NHN）、美和産業（MIWA）、リョービ（RYOBI）、日本ドアーチェック（NEW STAR） 等
- ㉝ フロアーヒンジ：◉中心吊 ・持出吊 / 製作所：大島精工（ダイヤモンド）、日本ドアーチェック（NEW STAR）、ニッカナ（NHN） 等
- 34 オートヒンジ：◆丁番型 ・軸吊型 / 製作所：日本電気精器（テンセイオートヒンジ）、日本エアブレーキKK（ナブコ自動ドア） 等
- 35 ピボットヒンジ：◆持付式 ・アンカー式 / 製作所：大島精工（ダイヤモンド）、日本ドアーチェック（NEW STAR）、ニッカナ（NHN） 等
- ㊱ ラバトリーヒンジ：◉丁番式 ・軸式 / 製作所：石倉商店、杉商店、森岡商店、渋谷金属 等
- ㊲ 丁番：◉ステンレス ・その他（・鉄 ・黄銅 ・アルミ合金） / 製作所：石倉商店（STD）、永和（ART）近松金物（KINMATSU）、中西産業、渋谷金属産業（SYS）、満天製作所（MANTEN）、堀商店（HORI）、森岡商店（HMC） 等

その他
- 38 網戸：・サラン ・ステンレス
- ㊴ 建具周囲のシーリング材：・A種 ◆B種 (16.1.6表) / ・アクリル系シーリング材 ◆アクリル系シーリング材 / ○ポリサルファイド系シーリング材

ガラス及びガラス止め
- 40 特殊ガラス
- ㊶ ガラス止め

種類	使用個所
・シリコン系シーリング材	
⊙ポリサルファイド系シーリング材	
・押縁（16.8.1表）	
・ガスケット	
・ガラス止め用ストリップ	

◆鋼製建具のガラス止めは押縁を使用する
- ㊷ ガラス製造所：旭ガラス、セントラル硝子、日本板ガラス 等

記号・略号（塗装関係）
- SOP ---- 調合ペイント（油性及び合成樹脂）
- EP ---- 合成樹脂エマルションペイント（酢ビ系）
- EP(A) --- 同上（アクリル系）
- MP ---- 多彩模様塗料
- CL ---- クリヤラッカー
- LE ---- ラッカーエナメル
- FP ---- フタル酸樹脂エナメル
- VP ---- 塩化ビニル樹脂エナメル
- OS ---- 油性ステイン（オイルステイン）
- OV ---- 油性ステインワニス
- OF ---- オイル塗りワックス

17章 塗装工事

- ① 塗料の指定：塗料は別冊建築用塗料一覧表（営繕協会編）記載の塗料製品とする
- ② 塗料の規格：◉規格品 ・規格準用品
- ③ 木部素地ごしらえ：17.2.1表による (17.2.1表)
- ④ 鉄部素地ごしらえの種別：・鋼製建具及び手摺・飾金物 ◉A種 ・B種 (17.2.2表) / ・鉄骨 ・A種 ◉B種 (17.2.2表) / ◉A種と指定された鋼板の代りに、表面処理亜鉛めっき鋼板を使用することができる
- ⑤ 亜鉛めっき面の素地ごしらえ：17.2.3表による (17.2.3表)
- ⑥ コンクリート、モルタル及びプラスター面の素地ごしらえ：17.2.4表による (17.2.4表)
- ⑦ 調合ペイント塗料種別：屋外 ◆油性調合ペイント ◉合成樹脂調合ペイント / 屋内 ・油性調合ペイント ◉合成樹脂調合ペイント
- ⑧ 木部調合ペイント塗り：17.4.1表及び17.4.2表による (17.4.1表・17.4.2表)
- ⑨ 鉄部さび止め塗料の種別：⊙A種（鉛丹さび止めペイント） ・B種（鉛丹ジンクロメートさび止めペイント2種） (17.4.3表) ・C種（一般用さび止めペイント ◆1種 ・2種）
- ⑩ 鉄部調合ペイント塗りの種別：・油性調合ペイント 17.4.4表による (17.4.4表) / ⊙合成樹脂調合ペイント ・A種 ◆B種 (17.4.5表)
- ⑪ 亜鉛めっき面さび止め塗料の種別：・A種（ジンクロメートさび止めペイント2種A）―鋼製建具及び手摺、飾金物 / ・B種（一般用さび止めペイント ◆1種 ・2種）―上記以外 (17.4.6表)
- ⑫ 亜鉛めっき面調合ペイント塗りの種別：・油性調合ペイント ・A種―鋼製建具手摺、飾金物等 ・B種―上記以外 (17.4.7表) / ⊙合成樹脂調合ペイント ・A種―鋼製建具、手摺、飾金物等 ・B種―上記以外 (17.4.8表)
- ⑬ 合成樹脂エマルションペイント塗り適用下地：コンクリート、モルタル、プラスター、石綿セメント板、石綿けい酸カルシウム板、せっこうボード、木部
- 14 合成樹脂エマルションペイント塗りの種別：・A種 ◆B種 (17.5.1表)
- 15 多彩模様塗料適用下地：1) コンクリート、モルタル、プラスター、石綿セメント板、石綿けい酸カルシウム板、石こうボード、木部 2) 鉄部、亜鉛めっき面
- 16 多彩模様塗料塗りの種別：・1)の下地の場合 ・A種 ◆B種 (17.6.1表) / ・2)の下地の場合 ・A種（鉄部、鋼製建具、手摺、飾金物） ・B種（上記以外の亜鉛めっき面） (17.6.2表)
- 17 木部クリヤラッカー塗り：◆A種 ・B種 (17.7.1表)
- 18 木部フタル酸樹脂エナメル塗りの種別：・A種 ◆B種 (17.8.1表)
- 19 鉄部及び亜鉛めっき面のフタル酸樹脂エナメル塗りの種別：・A種 ◆B種 (17.8.2表)
- 20 塩化ビニル樹脂エナメル塗料適用下地：コンクリート、モルタル、プラスター、石綿セメント板、石綿けい酸カルシウム板
- 21 塩化ビニル樹脂エナメル塗りの種別：・A種 ◆B種 (17.9.1表)
- 22 油性ステイン塗り：17.10.1による (17.10.1表)
- 23 目止め剤：目止め剤は油性（着色を含む）とする
- 24 目はじき仕上（杯等）：B種で目止めは油性目止めとし、目止めの着色は必要に応じて行なう
- 25 オイルフィニッシュ（ワックス仕上を含む）：商品名：ワトコ（ホワイン）、チークオイル（関西ペイント）
- 26 耐壁塗料の種類：商品名：カベトン（関西ペイント）、カベックス（日本ペイント）、ジュラクザテン（石原ペイント） 等
- 27 コンレイシャ下地の種類及び施工個所：・合成樹脂（クレモナ100#）―CB積モルタル塗りやンキ下地の個所 / ・本 ～（うううちのあるもの）―合板・ボード下地で耐壁塗料仕上の個所 / ・下地処理 ◆目止め（しごき）する ・目止めなし / 施工個所：
- ㉘ 吹付仕上：⊙リシン（A）―商品名：エマルリシン、ダイヤリシン、ネクスイリシン、三共リシン 等 / ◉リシン（B）―商品名：アクリルダイヤ、ベヤキイトリシン、エマレックスリシン、アクリルリシン、ネクスイコートリシン、ラフコート#100、ニーベリシン 等 / ・リシン（C）―商品名：エマルスキン、ネクスイグラスト、セラスキン、トーヨークリスター、ミュールコート、ダイヤコート 等 / ALC用リシン―商品名：ラフコート#200、アルエン / ・吹付タイル―商品名：マルチタイル、エポタイル、ニーベタイルクーク 等 / ・立体模様吹付材（内装用）―商品名：ダイヤソフト、コーマック&ラフトン、カベックスソフト 等
  - ◇リシン吹付外部面（B）
  - ◇ 同 内部面（A）
- 29 その他：耐酸被覆メタルの露出部分はアルミニウムペイント塗りとする
- ㉚ 塗装業者の指定：○社団法人日本塗装工業会会員又はこれと同等以上の能力を有するもの。

18章 内装工事

① 床張り及び床張り床材

種類	等級	厚（mm）	使用個所
リノリウムシート	・暫定 ・その他	◆2.5 ・2	
ビニル床シート	・ ・	◆1.5 ・3	昇降所、ロッカー室、水呑場前
ゴムシート	・ ・	・2.5 ◆4	
リノリウムタイル	・ ・	◆2 ・3	
○ビニル床タイル	⊙ ・	◆3 ◆2	~~～～～~~ 積算室 仕上表による
ゴムタイル	・ ・	・3 ・5 ・6	

- ② ビニル巾木：⊙高さ100mm
- ③ 接着剤：⊙使用する床材製造所の製品又はその指定するもの（[illegible]は合成樹脂系、接地床は耐水性―エポキシ系―とする）
- 4 継手：・シートの継手は溶接とする。

（18章 続き）
- 4 プラスチック塗り床材：・ビニル系―商品名：アートフロア-E、アートフロア-Y、カラローン、ポールフロア、ダイヤユニカ 等 / ・ポリウレタン系―商品名：アートフロア-NS、アートフロア-KP、ルードテックス4号、ルードテックス5号、ミリオネートRF、デフローン、ボースウルボン、ベルフロアー 等 / ◆エポキシ系―商品名：アートフロア-EP、アートフロア-EM、ルードテックス3号、カラートップF、カラートップエポキシ、カラローンエース 等 / ・ポリエステル系―商品名：アートフロア-LM 等
- ⑤ 岩綿吸音板（○ロックウール吸音板）

寸法（mm）	面取り 面なし	捨て張り材
○厚12	◆	石膏ボード厚9.0mm 不燃第1021号
	・ ◆	
	・ ◆	

  製造所：日東紡績（ミネラートン・ソーラトン）、大建工業（ダイロートン）、日東紡績加工（ロックスター）、松下電工（ロッキー） 等
- 6 繊維吸音板：寸法 / ◆面取り ・面なし / 製造所：東洋テックス、大建工業 等
- ⑦ 石こうボード：⊙天井・石こうボード厚 厚9 準不燃第2002号 / ・石こう化粧吸音ボード厚9（ジプトーン等） / ・石こう吸音ボード厚 穴径 ピッチ / ・石こう化粧有孔ボード厚 穴径6 ピッチ22 / ・壁 石こうボード厚 ◆ / ・石こうジョイントボード厚 / 製造所：吉野石膏、日東石膏、千代田建材工業、日本石こうボード、新東洋石膏板、合同資源産業、日本建材、三井東圧化学、太平化学工業、東洋瓦斯化学工業、外木製肥所 等
- ⑧ ボード・合板等の張付工法の種別：○本工事に記入 / ○下張りの上に張る場合は接着剤を主とし、必要に応じて釘、木ねじなどを併用する。/ ⊙下地にじか張りの場合は下記による / ・天然木化粧合板（厚 以上）張り ◉A種 ・B種 ・C種 / ・上記厚 未満及び特殊加工化粧合板張り ・A種 ◆B種 ・C種 / ・生地のままの合板張り ・A種 ・B種 ◆C種 / ・ボード張り ・A種 ・B種 ◆C種 (18.4.2表)
- 9 木質複合床板の張付工法：・A種 ◆B種 ・モザイクパーケット・フローリングブロック(18.4.2表)
- 10 たたみの種別：・A種 ◆B種 ・スタイロたたみ (18.6.1表)
- 11 じゅうたん敷詰めの留付工法：[illegible]
- 12 ニードルパンチカーペットの製造所：・東洋リノリューム（O.I.C）、東洋レーヨン（タフロック）、三菱レイヨン（ドイザル）、カネボウ（ナイロック）、信越ポリマー（シンエツカーペット） 等
- ⑬ グラスウール：・FG-216 16kg/m³ ・⑦25（ローカ天井） ・⑦50 ~~（[illegible]）~~ / 防音扉内K使用厚50mm 32K / ○グラスウール保温板 ⑦ 32K 厚40mm（消音箱外部に使用） / ロックウール吹付 厚20mm 全面ボード工 着色 不燃第1023号
- ⑭ 吸音板吹付
- ⑮ 合成樹脂塗料吹付：○ALC面（ALC版表面処理の上）内部面

19章 舗装工事

- 1 路床の支持力比試験：深さ・採取位置は図示による
- 2 路盤の支持力係数試験：支持力係数K30＝
- 3 試験をしない場合の締固め方法

締固めの機械	重量（t）	締固めの回数 路床	締固めの回数 路盤
インパクトローラー	0.58	2回以上	3回以上
ツイルコンパクター	0.46	2 〃	3 〃
ランマー	0.60	1 〃	2 〃

- 4 コンクリート舗装
- 5 コンクリートの曲げ試験
- 6 路盤紙：ポリエチレンフィルム厚
- 7 目地
- ⑧ アスファルト乳剤舗装の種別：○密粒式 厚50mm 図示 / [illegible] C種 ・D種
- 9 加熱式アスファルトコンクリート舗装
- ⑩ コンクリート平板舗装：○図示 / 目地 ・砂目地 ・モルタル目地 ・突付目地 図示
- ⑪ ~~縁石・縁石表示L型側溝~~：・コンクリート縁石 ⊙コンクリートブロック縁石 図示 / ・コンクリートL型側溝 ・コンクリートブロックL型側溝
- ⑫ ガードレール：○土中用 Gr-C-4E（ビーム 2^3×350×4330、支柱 φ 4^5×114.3×2100）

20章 排水工事〔○建築設備図による〕

- 1 会所桝の種別：・全国コンクリート製品協会の規格の製品又は市販品とする / ・車両の通行場所及び市販品を使用しない場合は詳細による
- 2-1 桝及び桝ぶた：◉コンクリート ・コンクリート ・鉄板 ・グレーチング
- 2-2 溝及び溝ぶた：・コンクリート ・鉄板 ・グレーチング
- 3 排水管：・遠心力鉄筋コンクリート管 ・鋼管 ・鋳鉄管 ・陶管 / ・硬質塩化ビニール管（◆VP ・VU）

21章 植栽工事〔○既設植樹移植は現場指示〕

- 1 種類
- 2 芝張り・吹付の種類その他：◆芝（◆こうらい芝 ・野芝） ・改良バミューダグラス ・花種（・クローバー ・洋芝類） ・吹付け種 ・りゅうのひげ ・笹類

22章 雑工事

- 1 コーナービード：◆ステンレス製 ・黄銅製 ・ビニル製 ・プラスチック製
- ② 天井見切縁：⊙プラスチック ・ビニル ・アルミニウム ・ステンレス ・木
- ③ 階段ノンスリップ：⊙ステンレス製 ・黄銅製 ・アルミニウム製 ・ビニル製 ・磁器製 / 型式：⊙ビニタイヤ（1本） ・ビニタイヤなし ・その他（ ）
- ④ 点検口：天井 ⊙アルミニウム製 ・木製 ○（454×454 仕上表参照） / 床 ・アルミニウム製 ・ステンレス被覆アルミニウム製 ・ステンレス製 ・黄銅製 ・鋳鉄製 / 製作所：ナカ工業、ホー機材
- ⑤ 室名札：⊙正面型 ・側面型 / ○寸法 W250×H80 プラスチック ○設置個数（平面図に記入） / 製作所：精工舎、日本理工、日乃出黒板
- ⑥ 鍵札：・各個の鍵札 ・プラスチック ・木製 / ⊙集合鍵箱 ・プラスチック ・木製 ・スチール ・棚状 ・箱状
- 7 カーテンレール：・A種 ◆B種 [illegible]
- 8 カーテンのひだの種類：・A種 ・B種 ・C種 (22.4.1表) / ・防炎加工品
- ⑨ ベネシャンブラインド：操作型式 ◉ギヤー式 ・コード式 / スラットの形状 ◆C型 ・S型 / スラットの材質 ・鋼製 ◆アルミ合金製 / 製作所：伍乃本ブラインド工業、立川ブラインド工業、日本ブラインド工業
- 10 たて式ブラインド：・手動式 ・電動式 / 製作所：立川ブラインド（ポータルブラインド）、日本ブラインド（ツーラーV） 等
- 11 アコーディオンドア：製作所：伍乃本ブラインド工業、立川ブラインド工業、日本ブラインド工業 等
- 12 スライディングドア：製作所：伍乃本ブラインド工業、立川ブラインド工業、日本ブラインド工業 等
- 13 可動間仕切（スクリーン）：・スチール ・アルミ ・木 ・その他（ ） / 型式 ・パネル式 ・柱式 ・フリー式 / 製作所：イトーキ、岡村製作所、コマリパーティション、千代田建材、東洋建材、ナカ工業、日本パーティション、日軽アルミ、日光化成、ノザワ、日本ファイリング、ホウトク、パンポー工業、三菱樹脂 等
- 14-① 流し台：・KJ型 ⊙市販品 ・造り付け NK-D型（ガス台付）サンウェーブ
- 14-2 調理台：・KJ型 ・市販品 ・造り付け
- 14-3 すえ：・KJ型 ⊙市販品 ・造り付け / 製作所：サンウェーブ工業、徳陽工業(株)、佐藤ステンレス工業(株)、三立ステンレス
- 14-④ 水切棚：○ステンレス SK-15EW サンウェーブ
- 14-⑤ 吊戸棚：○公住型分譲吊戸棚 サンウェーブ 1500×620
- ⑮ レンジ（コンロ・湯沸器）：・都市ガス用 ⊙プロパンガス用 MG-201型 サンウェーブ
- ⑯ フード：・ステンレス製（SUS304） ・スチール製 ⊙市販品 / ○〔レンジフード・湯沸器は建築設備図による〕
- 17 たおる掛：・ステンレス製 ・プラスチック製
- 18 鏡：・JIS R3202 規格品を使用したもの
- 19 黒板：・材質 ◆木製 ・鋼製 / ・枠 ◆木製 ・アルミニウム製 / ・色 ◆緑 ・黒 / ・形状（設置個所及び個数） ・平面（ ） ・曲面（ ） ・上げ下げ（ ） ・引き分け（ ） ・スライダー（ ） ・行事（ ） ・移動式（ ） / ・チョークボックス ◆スチール製 ・アルミ製 ・合成樹脂製 / 製作所：日乃出黒板、金剛黒板、バーベル等
- 20 掲示板：◆ビニルクロス（裏打ち鉄） ・ビニルクロス（裏打ち布） / ・ヘッシャンクロス ・ナイロンラシャ
- 21 造付家具：・生徒用ロッカー ・掃除具入れ ・下足箱 ・上足箱 ・令立 / ・ロッカー（ ） ・粘土保管庫 ・薬品庫
- 22 カウンター（観察台）：・観察台（・木製 ・ブロック製） ・流し水槽ステンレス
- 23 郵便受：・市販品 ・集合郵便受KJ型 個
- ㉔ 靴拭マット：枠 ◉ステンレス ・黄銅（[illegible] 900×600 掘込式） / マット ◆塩化ビニル製 ・ゴム製 ・アルミ合金製 ・鉄製 / 排水 ◆設ける（排水目皿・VP50φ） ・設けない
- 25 屋上昇降口：・市販品マンホールカバー（スチール製）寸法 ◆ 個所 / 設置場所：
- ㉖ タラップ：⊙ステンレス製 ◆鋼製 / 設置場所：図示
- ㉗ 鋳鉄製マンホールふた：型式 ・鉄型 ・防臭型 ⊙防水型 ・水槽用（錠付） / ・軽荷重用 ⊙中荷重用 ・重荷重用 特記なき限りφ600 / 製作所：ダー機材、長谷川鋳工所、伊藤鉄工所、小島製作所、小林鋳造 等 / 千宮産業
- 28 ベンチレーター
- ㉙ 換気扇取付枠：・木製 ・ステンレス製 ⊙スチール製 ・サッシ組込 ・市販品
- 30 天井裏換気口：・プラスチック製 ・陶製 ・スチール製
- 31 床下換気口：・鋳鉄製 ・スチール製 ・プラスチック製 寸法（ ）
- 32 旗ざお金物：・黄銅（銀めっき） ・ステンレス製 組
- 33 旗ざお（固定式）：・スチール製 ・アルミ製 ・ステンレス製 / 長さ及び本数： / 商品名：サンポール、昭和アルミポール、スミポール、コーポール 等
- 34 丸環：◆鋼製 ・ステンレス製
- 35 きゃたつ：アルミニウム製 個（・K3 ・K4 ・K5）
- 36 鋼製棚：製作所：イトーキ、新平商店、ゼネラルスチール家具、豊生産業、富士装備 等
- 37 焼却炉
- 38 屋外掲示板：・ステンレス製 ・スチール製 ・アルミ製 / ・市販品 ・特注製作
- ㊴ ポリエチレンフィルムシート：・1階土間（スラブ）下へ ◆併用する ・~~併用しない~~ ○（1階ビニール系床タイル張部分に使用） / 製造所：日東紡績加工（土間シート）厚0.15mm
- 40 屋上スラブ下断熱材：◆スタイロフォーム厚25 ・ドリゾール打込板厚30
- 41 上記以外の断熱材
- 42 階数表示
- 43 銘板：・黄銅 ・ブロンズ ・ステンレス ・鉄 / 字数
- 44 定礎板：・花崗岩 ・大理石 / 寸法
- ㊺ 砂利敷の種類：・A種 ◆B種 ○詳細図による (22.6.1表)
- ㊻ 敷地境界の石標：・A種 ◆B種 ~~敷地境界石は22.1表による~~ ○図示 (22.8.1表)
- ㊼ コーキング

コーキング名	施工個所	色
建築用油性コーキング（JIS規格品）		
ポリサルファイド系コーキング（チョコール） ㊽	建具取合、ALC版目地、ALC版取合	なし
アクリル系コーキング		
ブチル系コーキング		

- 48 アルミ手摺り：・仕口は模式とする。
- ㊾ 換気モニター（連続ベンチレーター）：○坂本式 VCL-150 採光兼用 l=20m ガラスクロス入カラーガラス入、カラー金具 1.0mm
- ㊿ 折タタミはしご：○アルミ製 2連伸縮式 長さ≒3 1基（8m）（155H）
- 51 なめばしご：○市場品 W300 ～ 上：点検口まで
- 52 トップライト A：○ ～460 市販品ドーム 内部網入ガラス t6.8 日本ポリエステル(株)
- 53 トップライト B.B'：○ A型 900φ 内部網入ガラス t6.8、B'型 手動開閉装置付 日本ポリエステル(株)

工事区分表

項目	建築	電気（プラント工事）	給排水衛生	別途	備考
点検口・点検用ハッチ（天井・壁・床）納入取付及び開口補強	●				
天井埋込用照明器具・天井埋込スピーカーの取付用開口及び開口補強	●				
機械器具取付用穴明及び開口補強	●				
換気扇の納入取付	※				
換気扇の取付枠	●				
梁貫通スリーブ					100φ未満は各設備工事
梁・壁・床等貫通個所の補強	●				
排水溝及び溝ふた					給食室・昇降口・ポンプ室
ルーフドレン・たて樋及び第一会所桝までの雨水排水					以降は外構工事
シャッター用制御装置納入取付及び二次側配管配線工事	●				
機械基礎	●				
~~給食室流し台・消毒器等の機器納入取付~~					
給食室以外の流し台・造り付け流し台の納入取付					
~~同上への配管接続~~					
衛生器具納入取付			●		
同上取付穴等	●				
~~グリーストラップ~~					
~~便所等の保守ピット~~					
~~浄化槽外部工事及び防水工事~~					マンホール付属は設備工事
~~浄化槽の内部工事~~					
~~浄化槽の動力用電気工事~~					
~~給食用リフトの受電以降の配管配線工事~~					
~~動力操作盤~~					
~~動力工事の各電動機納入取付~~					
~~水槽類の電極スイッチ納入取付及び二次側配管配線工事~~					
~~水槽類の警報装置及び二次側配管配線工事~~					
浄化槽				要	

昭和53年 月 日	係員	係長	課長
福山市建設局建築部建築課			

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

01B

特記仕様書

株式会社タクマ一級建築士事務所

一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

昭和 年 月 日 株式会社タクマ

外部仕上表

位置		仕上
屋根	鉄筋コンクリート造	(一部保護コンクリート打) シート防水層露出シルバー仕上。 一部 防水モルタル塗。
	鉄骨造	(一部PC モルタル 塗は保護コンクリート打) シート防水層露出シルバー仕上。 (PS t=450 ―エアーカーテン室。PS t=500 ―エアーカーテン室以外) 折版葺(溝と鋼板)裏面ポリエチレンフォーム厚4"貼り。 トップライト、採入モニター。
外壁	鉄筋コンクリート造	モルタル刷毛引フリル系リシン吹付。
	鉄骨造	ALC版面フリル系リシン吹付。
幅木	鉄筋コンクリート造	モルタル塗。 H=GL+500 。 (GL-100迄塗込)。
	鉄骨造	モルタル塗。 H=GL+500 。 (GL-100迄塗込)。
樋及ルーフドレイン	竪樋、ステ樋	鋳鉄製 ステ樋 VP100φ。 雨樋吊金物ピッチ最大1000 ステ樋VP管 下部2.000を最下部。
	ルーフドレイン	鋳鉄製 50型 100角。
塗装		特記なき限り鉄部 S.O.P 仕上。 見え掛り部分 SOP 1回塗。
出入口土間		モルタル塗。 目荒打 t 2000。

位置		仕上
借家	基礎	コンクリート打放シ
精機械基礎		特記なき限り モルタル塗。 GL+300。 笠石 D13-@200 入(ステヨコ共)。
既設計量室及ごみ計量機基礎	既設計量室 (物置)	要重鉄筋(既設構造耐震性その技術基準)。新築 屋根、外壁、右特測量スレート張り(小屋)。 (外部) 屋根 折版葺(溝と鋼板)裏面ポリエチレンフォーム厚4"貼り。 外壁 ALC版面フリル系リシン吹付。 (内部) 床 コンクリート金鏝押え。 腰 モルタル塗。 天井 石膏ボード下地 EP。 幅木 モルタル塗。
	ごみ計量機基礎	モルタル塗。
危険物倉庫		屋根 折版葺(溝と鋼板)裏面ポリエチレンフォーム厚4"貼り。 外壁 コンクリートブロック化粧積。 幅木 モルタル塗。
洗車装置室		屋根 折版葺(溝と鋼板)裏面ポリエチレンフォーム厚4"貼り。 外壁 ALC版面フリル系リシン吹付。 幅木 モルタル塗。

内部仕上表

階	室名	床 仕上	幅木 仕上	腰 仕上	壁 仕上	天井 仕上	塗装	備考
B	階							
	ごみピット	(土間) コンクリート金鏝押え。遠赤仕塗布防水。	(土間) コンクリート打放シ。遠赤仕塗布防水。	(土間) コンクリート打放シ。遠赤仕塗布防水。	(土間GL+275迄)(GL+2000) コンクリート打放シ。遠赤仕塗布防水。	開放。		先ガスぜ2フック付。
	灰ピット、沈設槽	(土間) コンクリート金鏝押え。遠赤仕塗布防水。	(土間) コンクリート打放シ 。遠赤仕塗布防水。	(土間) (GL+275) コンクリート打放シ。遠赤仕塗布防水。	(土間GL+275) (GL+275) コンクリート打放シ。遠赤仕塗布防水。	開放。		先ガぜ2フック付
	各種水槽	(土間コンクリート) モルタル防水層金鏝押え。	(土間コンクリート) モルタル防水層金鏝押え。	(土間コンクリート) モルタル防水層金鏝押え。	(土間コンクリートGL+275) モルタル防水層金鏝押え。	コンクリート打放シ。 モルタル防水層金鏝押え。		
1	階							
	プラットホーム、エアーカーテン室	アスファルト舗装。(コンクリート下地) 有	モルタル塗。 350	ALC版面リシン吹付。一部コンクリート面リシン吹付。(手洗前壁用タイル貼 1000×2000)	ALC版面リシン吹付。一部コンクリート面リシン吹付。(エアーカーテン室は固定)	(エアーカーテン室は固定) 折版裏面ポリエチレンフォーム貼り。 S.O.P.	S.O.P	刻み高(フレーミング瓦)
	計量室	ビニール系床タイル貼り。(防湿シート)	ソフト幅木。 100	壁用化粧合板貼り。	難燃ベニヤ(5.5) EP	ロックウール吸音板 1	S.O.P	
	便所 (2階便所も同じ)	(2階便所もシート防水層) 磁器モザイクタイル貼り。 水切配付。 有	100角タイル貼り。	100角タイル貼り。	100角タイル貼り	石膏セメント板、E.P. 1		
	洗面所	磁器モザイクタイル貼り。 水切配付。	100角タイル貼り。	100角タイル貼り。	100角タイル貼り	石膏セメント板、E.P. 1		
	倉庫	モルタル塗。	モルタル塗。 200	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。 コンクリート打放シ		
	工作室	モルタル塗 a.t 帯電性塗床(制摩耗性)	モルタル塗。 200	モルタル塗。 E.P. 1800	モルタル刷毛引リシン吹付。	コンクリート面リシン吹付。 コンクリート面リシン吹付		
	玄関ホール 階段室	床用タイル貼り。一部ビニール系床タイル貼り。	床用タイル貼り。一部ソフト幅木 H=100	モルタル塗。(鉄筋部内側刷毛引リシン吹付) E.P.	モルタル塗。(鉄筋部内側刷毛引リシン吹付) E.P.	(他シラ張特定は除く) 石膏ボード(化粧用)。底目地 1		
	廊下	ビニール系床タイル貼り。	ソフト巾木。 100	ミラコート面 モルタル塗金鏝押エa.t 合成樹脂塗料吹付 A.L.C版面 合成樹脂塗料吹付	ミラコート面 モルタル塗金鏝押エの上合成樹脂塗料吹付 A.L.C版面 合成樹脂塗料吹付	石膏ボード(化粧用)。底目地 4		
	貯品庫	モルタル塗 a.t 帯電性塗床(制摩耗性)	モルタル塗。 200	コンクリート面リシン吹付。	コンクリート面リシン吹付。	石膏セメント板、E.P. H=2500 1		
	灰出場	アスファルト舗装。(コンクリート下地)	モルタル塗。 200	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。 コンクリート打放シ		
	灰バケット置場	モルタル塗。	モルタル塗。 200	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。 コンクリート打放シ		
	灰出しコンベヤ室	モルタル塗の上帯電性塗床(制摩耗性) (既設コンクリート) 有	モルタル塗。 200	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。 コンクリート打放シ		
	機械室	モルタル塗。 (既設コンクリート) 有 有	モルタル塗。 200	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。 コンクリート打放シ		
	調圧装置室	モルタル塗。	モルタル塗。 200	ALC版素地、一部コンクリート打放シ	ALC版素地。一部コンクリート打放シ。	ALC版素地。 S.O.P.		
	発電気室	モルタル塗 a.t 帯電性塗床(制摩耗性) 有	モルタル塗。	モルタル塗 1500	吸音我吹付。	吸音我吹付。 吸音我吹付。		
	空気圧縮器室	モルタル塗 a.t 帯電性塗床(制摩耗性)	モルタル塗。	モルタル塗 1500	吸音我吹付。	吸音我吹付。 吸音我吹付。		
	誘引送風機室	モルタル塗の上帯電性塗床(制摩耗性)	モルタル塗。	モルタル塗 1500	吸音我吹付。	吸音我吹付。 吸音我吹付。		
	排ガス洗浄装置室	モルタル塗の上帯電性塗床(制摩耗性)	モルタル塗。 200	ALC版素地。一部コンクリート打放シ	ALC版素地。一部コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ(1部ラ張吹放) S.O.P.		
2	階							
	原機械室	モルタル塗。	モルタル塗。 200	ALC版素地	ALC版素地。	ALC版素地。 S.O.P.		
	熱交換器室	モルタル塗。	モルタル塗。 200	コンクリート打放シ。	ALC版素地。 コンクリート打放シ	ALC版素地。 コンクリート打放シ。 コンクリート打放シ		
	灰クレーン歩廊	コンクリート金鏝押え	コンクリート打放シ	コンクリート打放シ	コンクリート打放シ (一部コンクリート打放シ)	コンクリート打放シ。 コンクリート打放シ		
	炉室	モルタル塗の上遠赤仕塗床(制摩耗性)	モルタル塗。 200	ALC版素地リシン吹付。	ALC版素地リシン吹付。	折版裏面ポリエチレンフォーム貼り。 S.O.P.		
	高圧蒸気だめ室	モルタル塗。	モルタル塗。 200	ALC版素地	ALC版素地。	コンクリート打放シ。 S.O.P.		
	電気室	モルタル塗 a.t 遠赤仕塗床(制摩耗性) 有 配線ピット	モルタル塗。 200	ALC版面リシン吹付	ALC版面リシン吹付。	コンクリート面リシン吹付。 S.O.P.		
	中央制御室	ビニール系床タイル貼り。 有 配線ピット	ソフト幅木。 100	壁用化粧合板貼り。	難燃ベニヤ(5.5) EP	ロックウール吸音板 3	S.C.P	スクリーン プライン上
	作業員控室	ビニール系床タイル貼り。	ソフト幅木。 100	壁用化粧合板貼り。(乳放白鏡壁用タイル貼)	壁用化粧合板貼り。	ロックウール吸音板 2	S.O.P	流し台、ステンレス天板3箇所、手戸棚、ガステーブル、レンジフード、給湯器、ラインEBox
	階段室	ビニール系床タイル貼り。	ソフト幅木。 100	モルタル塗(鉄筋部内側刷毛引リシン吹付) E.P.	モルタル塗(鉄筋部内側刷毛引リシン吹付) E.P.	—		
	廊下	ビニール系床タイル貼り。	ソフト幅木。 100	ALC版面合成樹脂塗料吹付。	ALC版面合成樹脂塗料吹付。	石膏ボード(化粧用)底目地。 3		
3	階							
	クレーン電気室	モルタル塗の上遠赤仕塗床(制摩耗性)	モルタル塗。 200	コンクリート面リシン吹付。	コンクリート面リシン吹付。	コンクリート面リシン吹付 コンクリート面リシン吹付		
	押込送風機室	モルタル塗の上遠赤仕塗床(制摩耗性)	モルタル塗。	モルタル塗 1500	吸音我吹付。	吸音我吹付 S.O.P.		
	電気集じん装置室	モルタル塗 a.t 遠赤仕塗床(制摩耗性)	モルタル塗。 200	ALC版面リシン吹付。	ALC版面リシン吹付。	折版裏面ポリエチレンフォーム貼り。 S.O.P.		
	再加熱室	モルタル塗	モルタル塗。 200	ALC版素地。	ALC版素地。	コンクリート打放シ。 S.O.P.		
	汚泥タンク室	モルタル塗	モルタル塗。 200	ALC版素地。一部コンクリート打放シ	ALC版素地。一部コンクリート打放シ	折版裏面ポリエチレンフォーム貼り。 S.O.P.		
4	階							
	ホッパー室	モルタル塗の上遠赤仕塗床(制摩耗性)	モルタル塗。 500	ALC版面リシン吹付。一部コンクリート面リシン吹付	ALC版面リシン吹付。一部コンクリート面リシン吹付	ALC版面リシン吹付。 S.O.P.		
	薬果タンク室	モルタル塗。	モルタル塗。 500	ALC版素地。	ALC版素地。	ALC版素地。 S.O.P.		
	クレーン操作室	ビニール系床タイル貼り。 有 配線ピット	ソフト幅木。 100	壁用化粧合板貼り。	難燃ベニヤ(5.5) E.P.	ロックウール吸音板。 2	S.O.P	プライン上
	便所	磁器モザイクタイル貼り。 水切配付 (シート防水層) 有	100角タイル貼り。	100角タイル貼り	100角タイル貼り	モルタル刷毛引リシン吹付 1		
	階段室	ビニール系床タイル貼り。	ソフト幅木。 100	モルタル塗。(鉄筋部内側刷毛引リシン吹付) E.P. 1100	ALC版面合成樹脂塗料吹付。	石膏ボード(化粧用)底目地 1		浴室化粧台
	クレーン歩廊	チェッカープレート貼り。 S.O.P.	ALC版面リシン吹付。	ALC版面リシン吹付。	ALC版面リシン吹付。	ALC版面リシン吹付。 S.O.P.		
	プロパン庫	モルタル塗。	モルタル塗。 200	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。	コンクリート打放シ。		
	危険物庫	モルタル塗。	モルタル塗。 200	コンクリートブロック化粧積。	コンクリートブロック化粧積。	折版裏面ポリエチレンフォーム貼り。		
	洗車装置室	コンクリート金鏝押え 有	モルタル塗。 200	ALC版素地。(ミラコン吹付)	ALC版素地。(ミラコン吹付)	折版裏面ポリエチレンフォーム貼り。 S.O.P.		

1) 室内機械室――― 特記なき限りコンクリート打 (Fc=185kg/cm² 鉄筋 SD30 D10-@200 入、モルタル塗、FL+200とする)。
2) モルタルボーダー――室内コンクリート打放シ面に 玄・出入口・ガラリ・廻りはモルタル金鏝押エ 中=100のボーダー付とする。
3) 室内床勾配――室内で8m 排水管のある床は水勾配付とする。土土はFL仕土天とする。
4) 止水板――地下部分でコンクリート打継ぎ個所は 防水工事施工業者と協議の上 必要個所は止水板を入れる事。 (ポリエチレン フィルムシート)
5) 室名札――名簡単面図(1/100)に A判にて提示。
6) 消音我――内部吸音板貼り (グラスウール保温板)、厚40mm
7) 塩ビ巾木――1階床ビニール系床タイル張部分使用。(高さ100mm)
8) 耐薬品処理――屋内外露出鋼溝材、排液前溝材、鋼製蓋、鋼製架台、鋼製階段踏板塗料塗。 外部基礎周辺モルタル部分、機械基礎、ピット内部、薬品槽、薬品貯槽、薬品送液ポンプ基礎はタールエポキシ塗料塗。
9) 屋用化粧合板 朝鮮1(個)
乗送 3/24号 又は同品

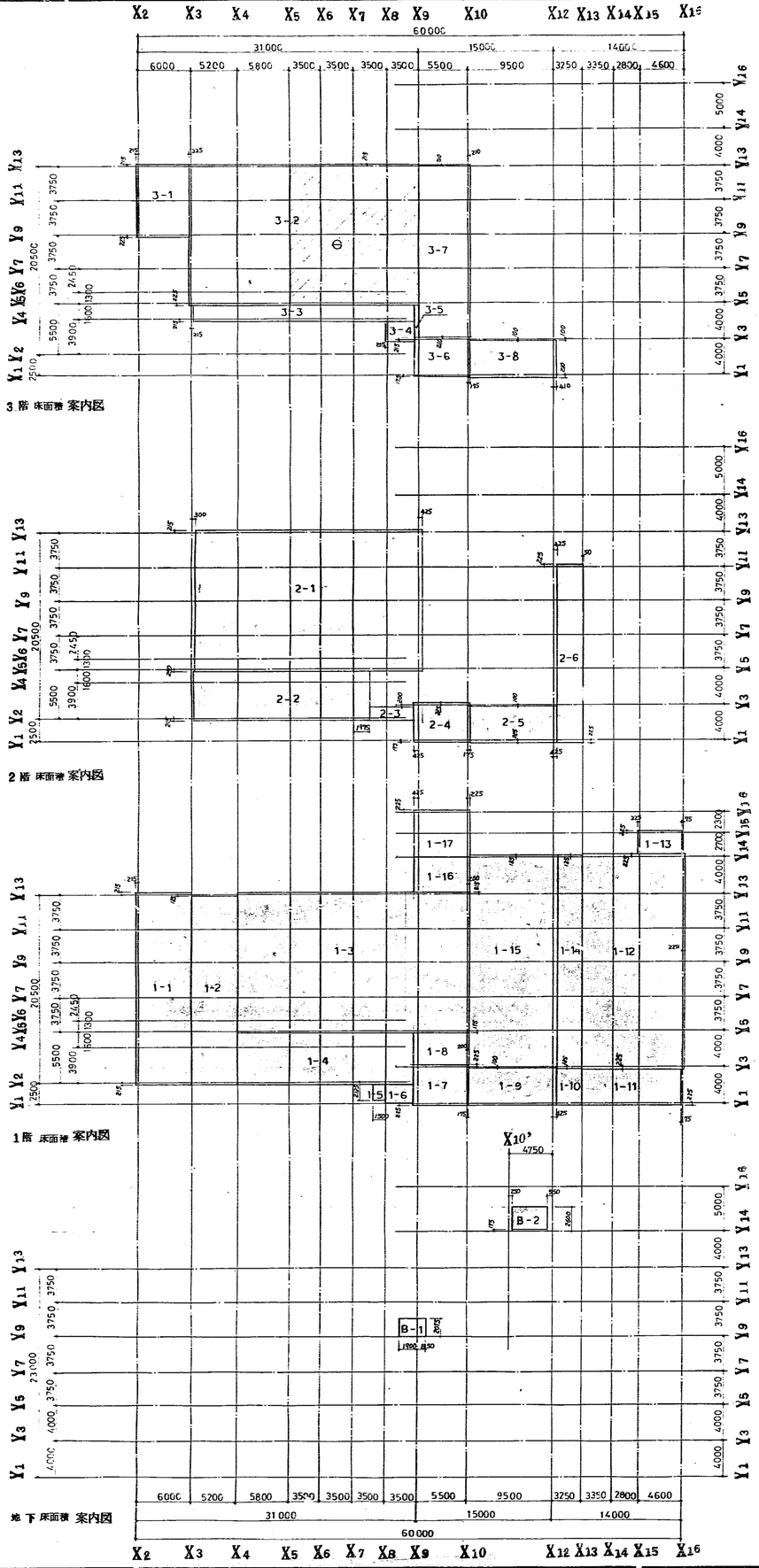
昭和 年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

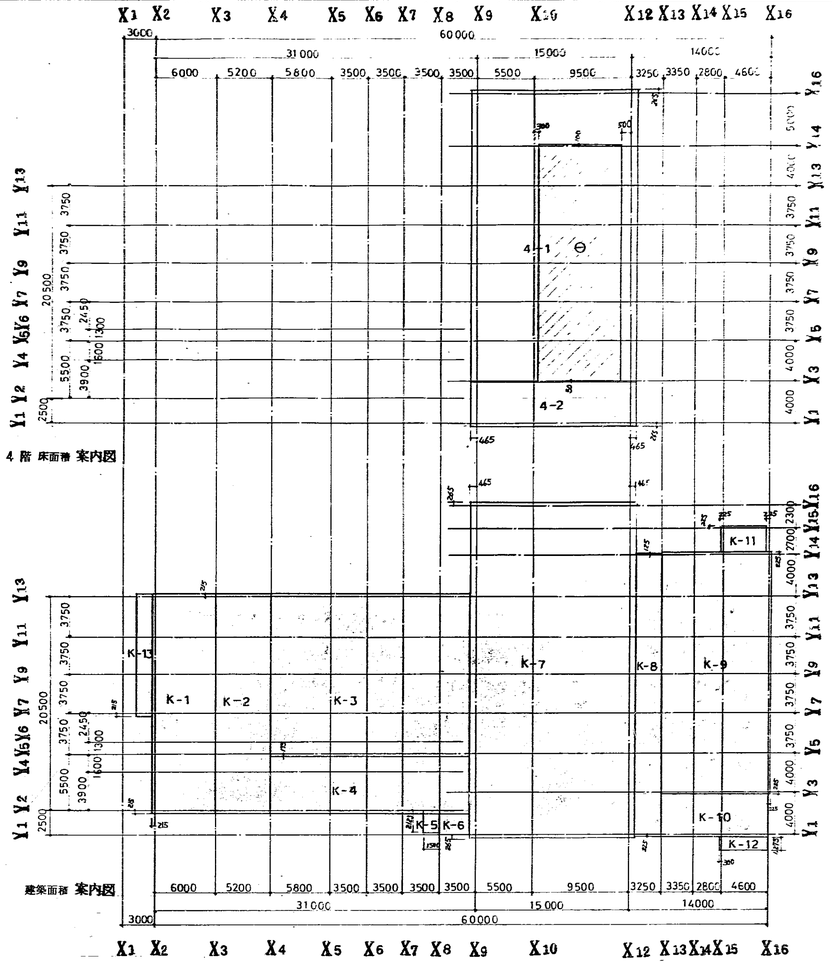
株式会社 タクマ一級建築士事務所
登録番号 大臣許可(二)2555(7) 電話 大阪(346)5161
一級建築士登録 第111029号 大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

外部、内部仕上表

図番 02
昭和 年 月 日
株式会社 タクマ





棟	位置		面積 ㎡	床面積 ㎡
工場棟				
	B－1	2.750 x 2.075	5.706	
	B－2	3.950 x 2.425	9.579	
				15.285
	1－1	6.215 x 20.930	130.080	
	1－2	5.200 x 20.930	108.836	
	1－3	25.500 x 15.390	392.445	
	1－4	24.575 x 5.540	136.146	
	1－5	1.500 x 1.910	2.865	
	1－6	3.075 x 2.285	7.026	
	1－7	6.100 x 4.450	27.145	
	1－8	6.125 x 3.600	22.050	
	1－9	9.750 x 4.125	40.219	
	1－10	2.825 x 4.100	11.583	
	1－11	10.675 x 4.000	42.700	
	1－12	10.975 x 23.450	257.364	
	1－13	4.750 x 2.700	12.825	
	1－14	2.850 x 23.250	66.263	
	1－15	9.700 x 23.225	225.283	
	1－16	6.125 x 3.785	23.183	
	1－17	6.150 x 5.225	32.134	
				1536.379
	2－1	25.725 x 15.465	397.837	
	2－2	19.750 x 5.465	107.934	
	2－3	4.600 x 1.515	6.969	
	2－4	6.100 x 4.400	26.840	
	2－5	9.750 x 4.125	40.219	
	2－6	2.775 x 19.700	54.668	
				634.467
	3－1	5.990 x 7.940	47.561	
	3－2	25.225 x 15.440 − 14.000 x 15.440	173.314	
	3－3	24.375 x 1.590	38.756	
	3－4	3.305 x 2.400	7.932	
	3－5	0.410 x 3.565	1.462	
	3－6	6.085 x 4.385	26.683	
	3－7	5.710 x 19.000	108.490	
	3－8	9.735 x 4.110	40.011	
				444.209
	4－1	15.930 x 28.315 − 8.700 x 23.150	249.653	
	4－2	15.930 x 4.215	67.145	
				316.798
	計			2947.138
危険物倉庫		4.950 x 3.050	15.098	
				15.098
洗車装置上家		4.100 x 10.000	41.000	
				41.000
移設計量室		3.500 x 3.000	10.500	
				10.500

棟	位置		面積 ㎡	建築面積 ㎡
工場棟	K－1	6.215 x 20.930	130.080	
	K－2	5.200 x 20.930	108.836	
	K－3	19.335 x 15.390	297.566	
	K－4	19.335 x 5.540	107.116	
	K－5	1.500 x 1.910	2.865	
	K－6	3.035 x 2.285	6.935	
	K－7	15.930 x 32.530	518.203	
	K－8	2.785 x 27.350	76.170	
	K－9	10.975 x 23.450	257.364	
	K－10	13.535 x 4.000	54.140	
	K－11	4.750 x 2.700	12.825	
	K－12	4.900 x 1.275	6.248	
	K－13	2.060 x 11.680	24.061	
				1602.409
危険物倉庫		4.950 x 3.050	15.098	
				15.098
洗車装置上家		4.100 x 10.000	41.000	
				41.000
移設計量室		3.500 x 3.000	10.500	
				10.500

建築面積合計 — 1669.007 M²

床面積合計 — 3013.736 M²

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課

係員	係長		課長	部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

面積表

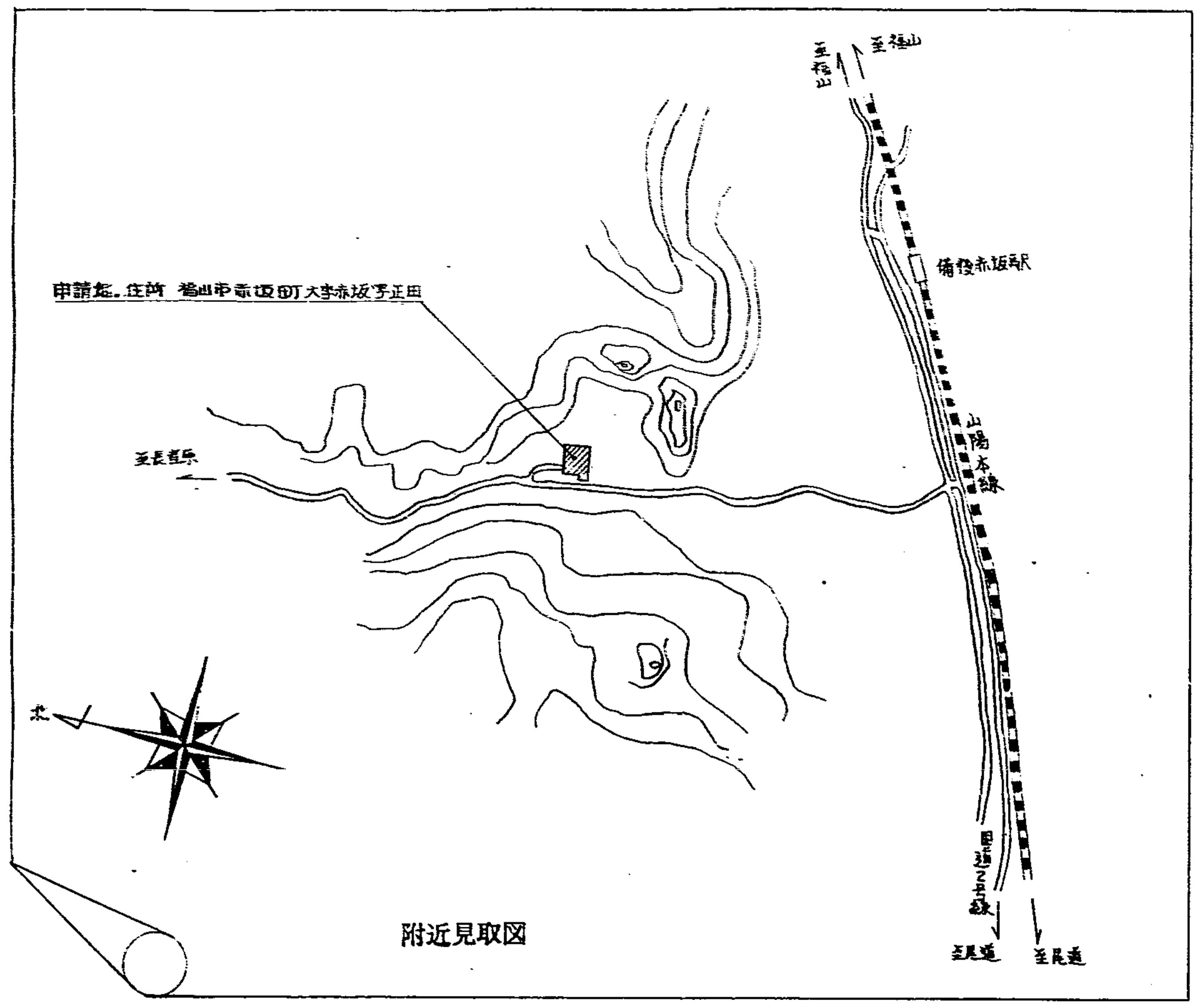
図番 03

部長	課長	課長代理	係長	設計

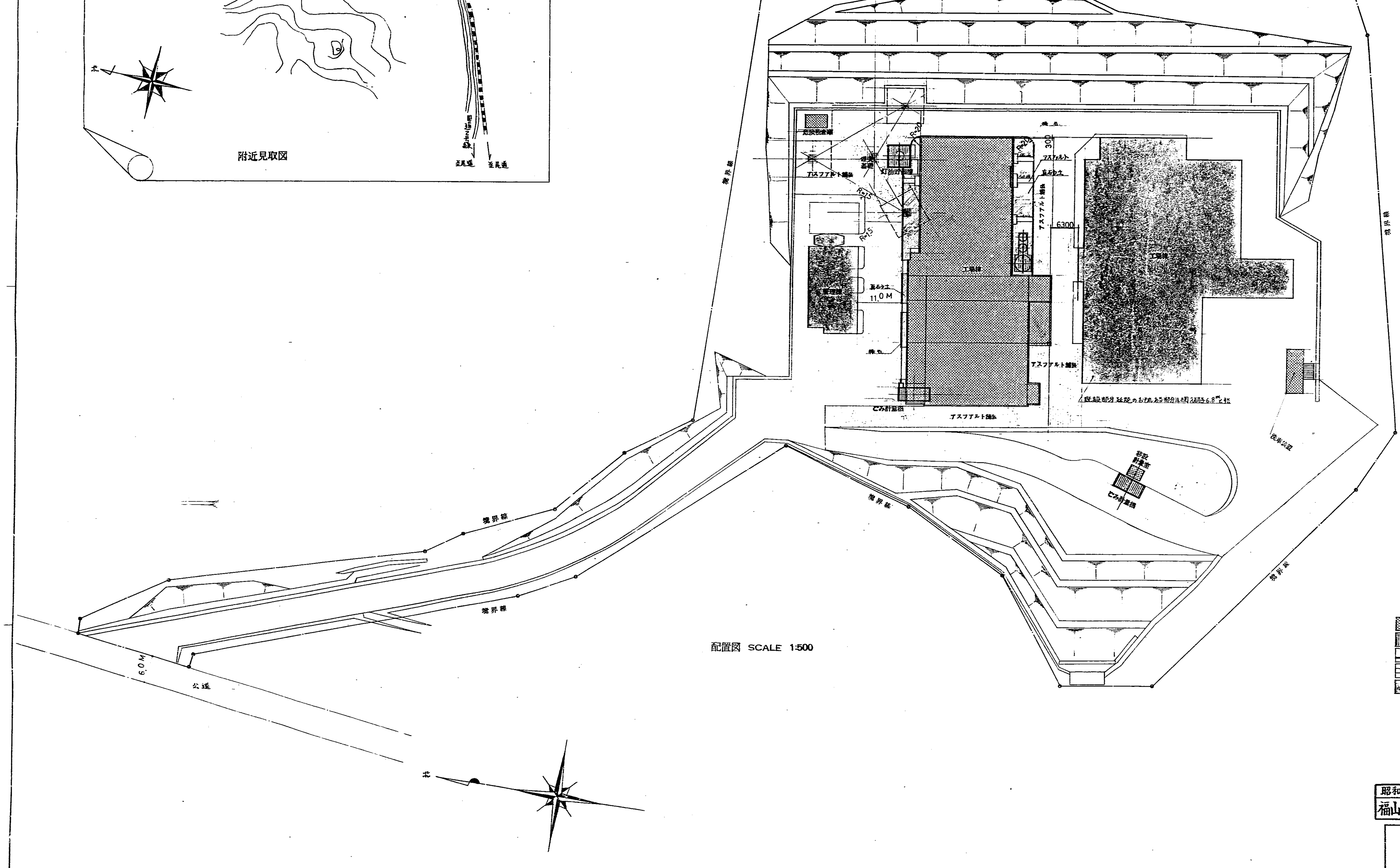
尺度 1:300 昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪(二)KS5339号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第111029号 大ヶ瀬正美

株式会社タクマ



附近見取図



配置図 SCALE 1:500

見例

- 増設部分を示す（建築物）
- 機械基礎を示す
- アスファルト舗装を示す
- 通路を示す
- 既設部分を示す

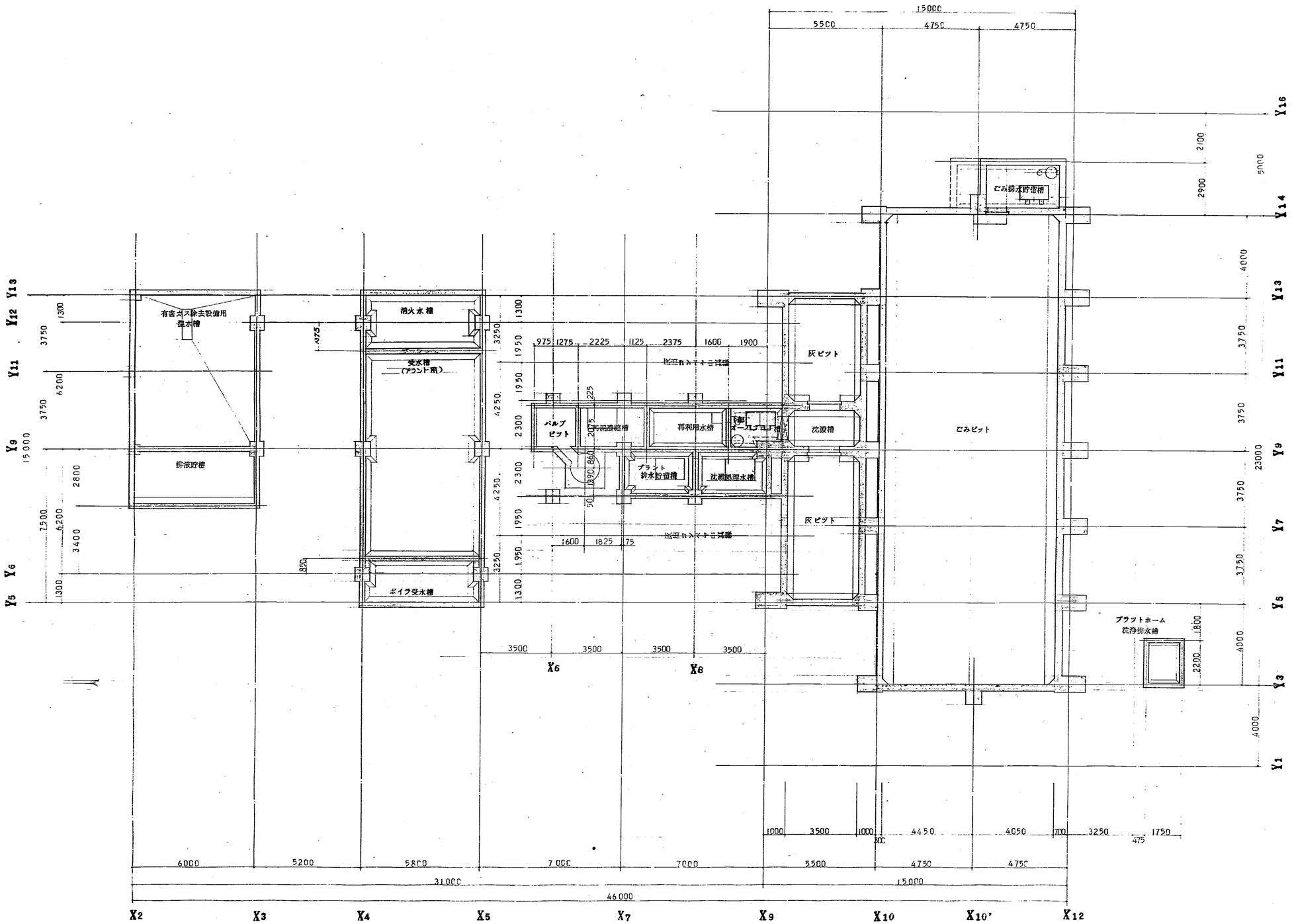
昭和53年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(二)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録第11029号 大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

配置図，附近見取図

図番	0 4
部長 課長 係長 調査設計	
尺度 1:500	昭和 年 月 日
	株式会社タクマ



昭和53.年 月 日 福山市建設局建築部建築課 係員 係長 課長 部次長

福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 05
地下 平面図	尺度 1:100

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪市(ニ)3255号 電話 大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

昭和 年 月 日
株式会社タクマ

灰出場
灰バケット置場
プラットホーム
エアーカーテン室
ダクプはしご車
破砕原液槽
塩化第二鉄原液槽
苛性ソーダ貯槽
プロパン庫
灯油貯留槽
排ガス洗浄装置室
誘引送風機室
灰出しコンベヤ室
機械室
発電気室
空気圧縮器室
調湿装置室
物品庫
階段室
玄関ホール
工作室
倉庫
便所
洗面所
計量室
ごみ計量機
消音器
廊下
ダクトA
UP
DN
SS1
SS2
SS3
SG1
SG2
SG2'
SG4
SG5
SG6
SG8
SG9
SG10
SG12
SG13
SD1
SD2
SD3
SD5
SD6
SD7
SD8
SD10
SD11
AW7
AW8
AW9
AW13
AW14
AD1
AD2
AD3
AD5
2800
1300
3750
6200
3750
1300
1600
5500
3900
2500
5000
20500
2300
2700
4000
3750
3750
23000
32000
3750
3750
4000
2000
4000
1950
1950
2300
2300
4250
4250
3250
1300
3500
3500
3500
3500
2500
3500
2900
5500
9500
3250
3350
2800
4300
300
15000
14000
4700
2300
2000
1500
3500
4000
6000
5200
5800
7000
7000
5500
9500
3250
3350
2800
4300
300
31000
15000
14000
60000
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X12
X13
X14
X15
X16
Y1
Y2
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
Y10
Y11
Y12
Y13
Y14
Y15
Y16
○---梁
▲---室名札

昭和53年 月 日 係員 係長 課長 部長
福山市建設局建築部建築課

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 大阪府知事 第2533号 電話 大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

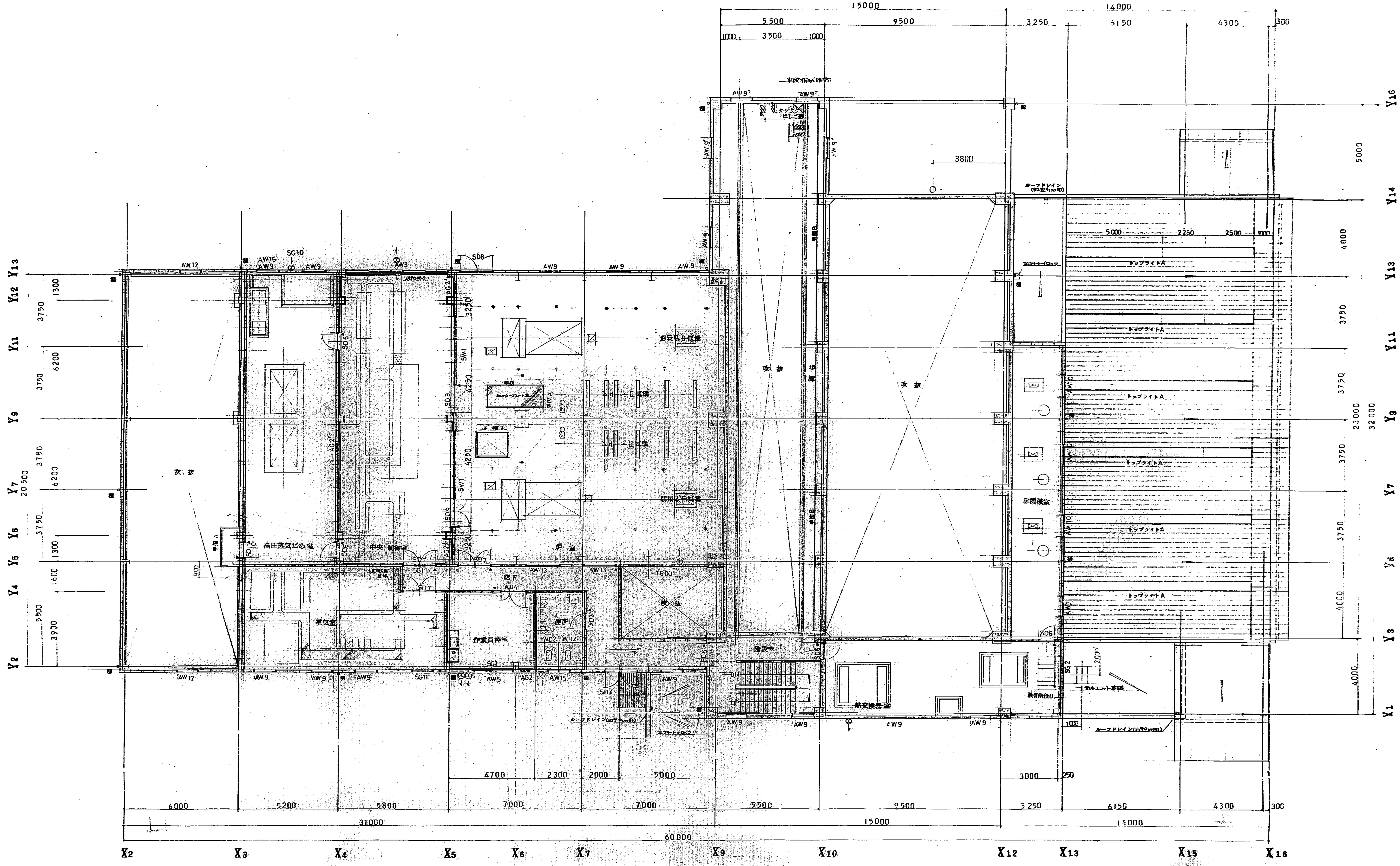
図番 06

1階 平面図

尺度 1:100

昭和 年 月 日

株式会社タクマ



昭和50年　月　日　係員　係長　課長　部長

福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 07

部長　課長　課長代　審査　設計

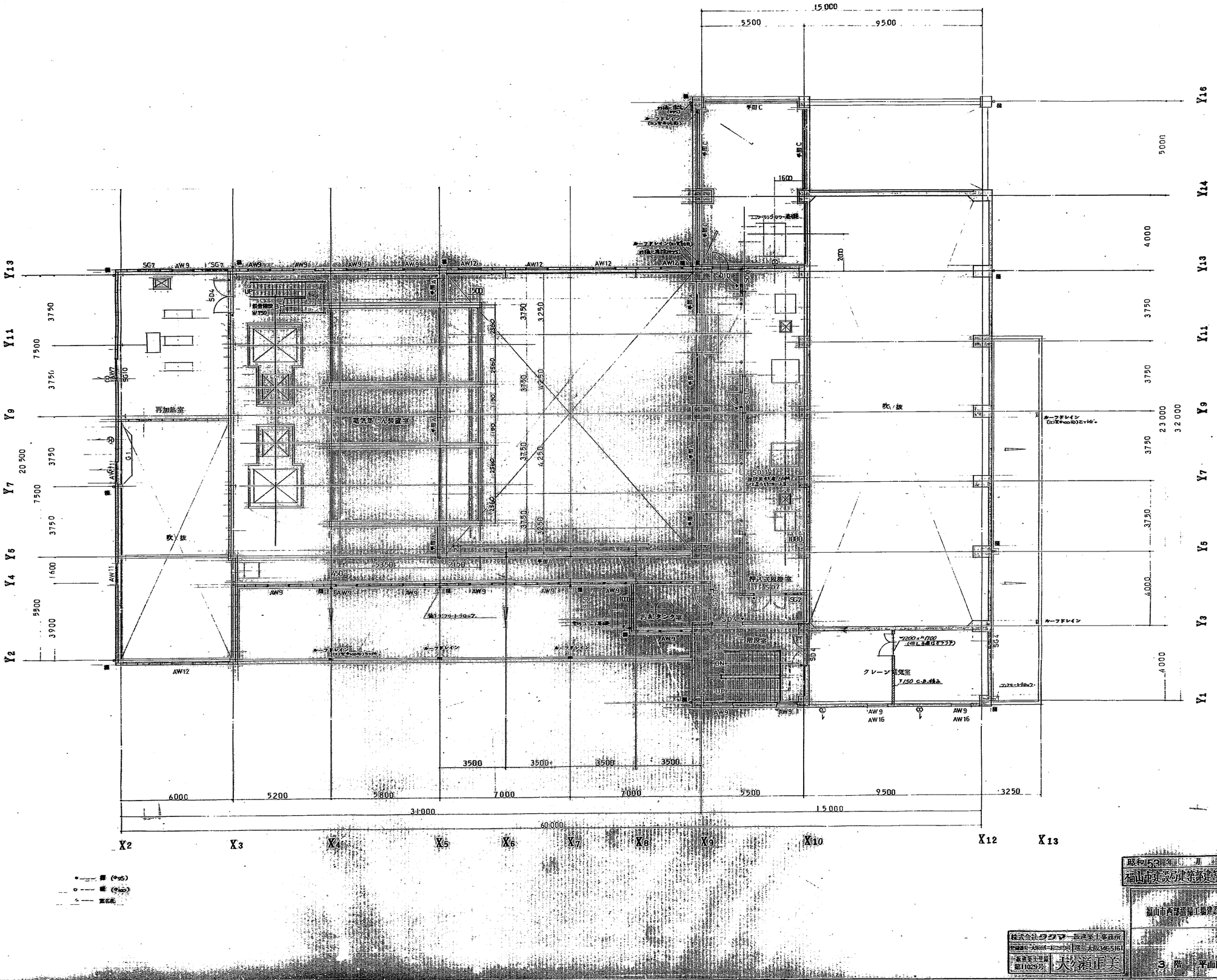
2階　平面図

尺度 1:100

昭和　年　月　日

株式会社タクマ

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(一)第2933号　電話大阪346-3161
一級建築士登録 第11029号　大ヶ瀬正美



昭和53年 月 日 受付 係長 課長 所長
福山市東部衛生処理建築課

福山市西部衛生処理場建設工事
設計図

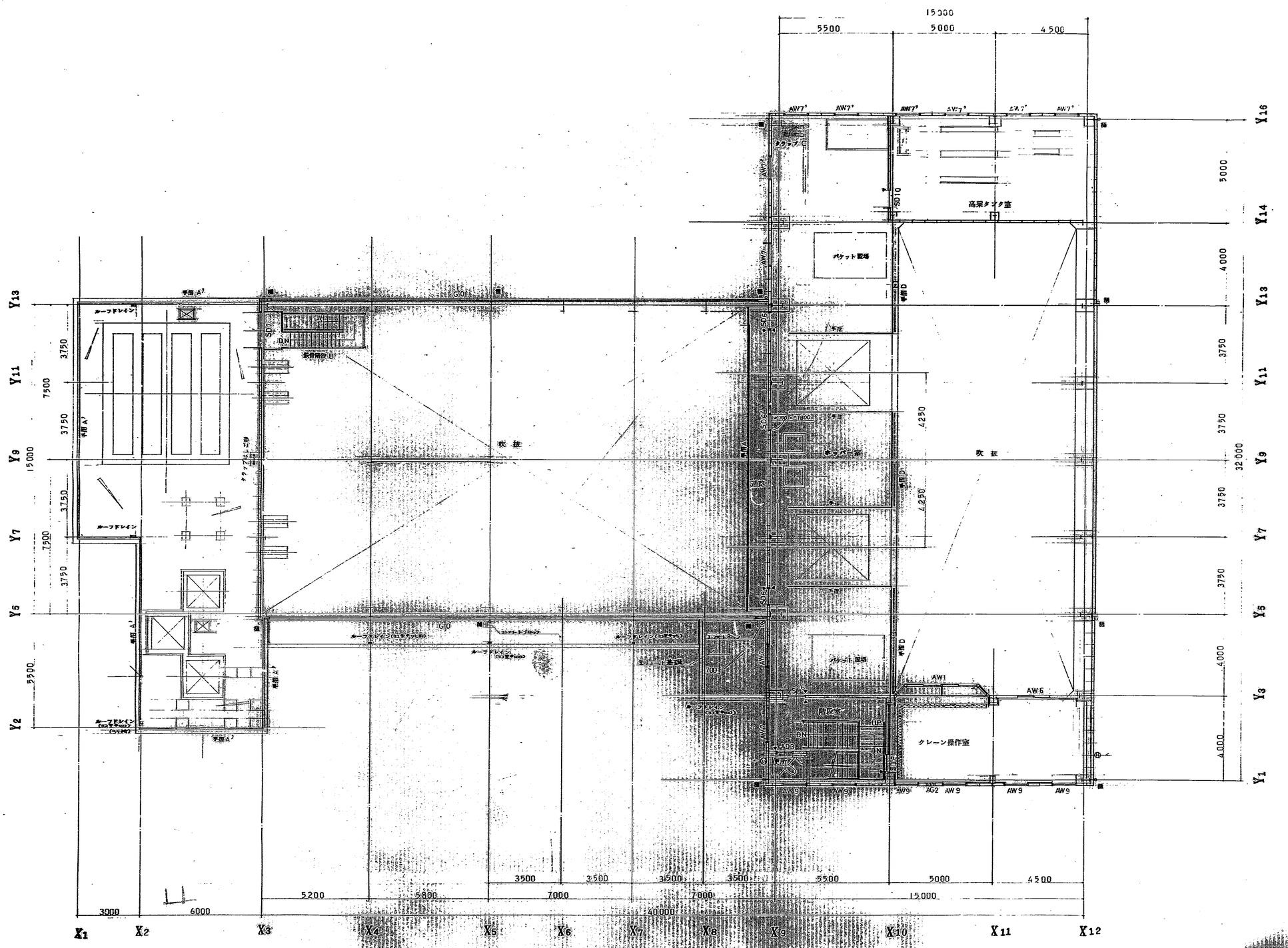
08

3階 平面図

1:100

昭和 年 月 日

株式会社タクマー 設計工事事務所
大阪36-5161
一級建築士事務所 第11029号
大久保正美



昭和52年 月 日 係員 係長 課長 部長

福山市建築課

福山市西部清掃工場建設工事

設計図 09

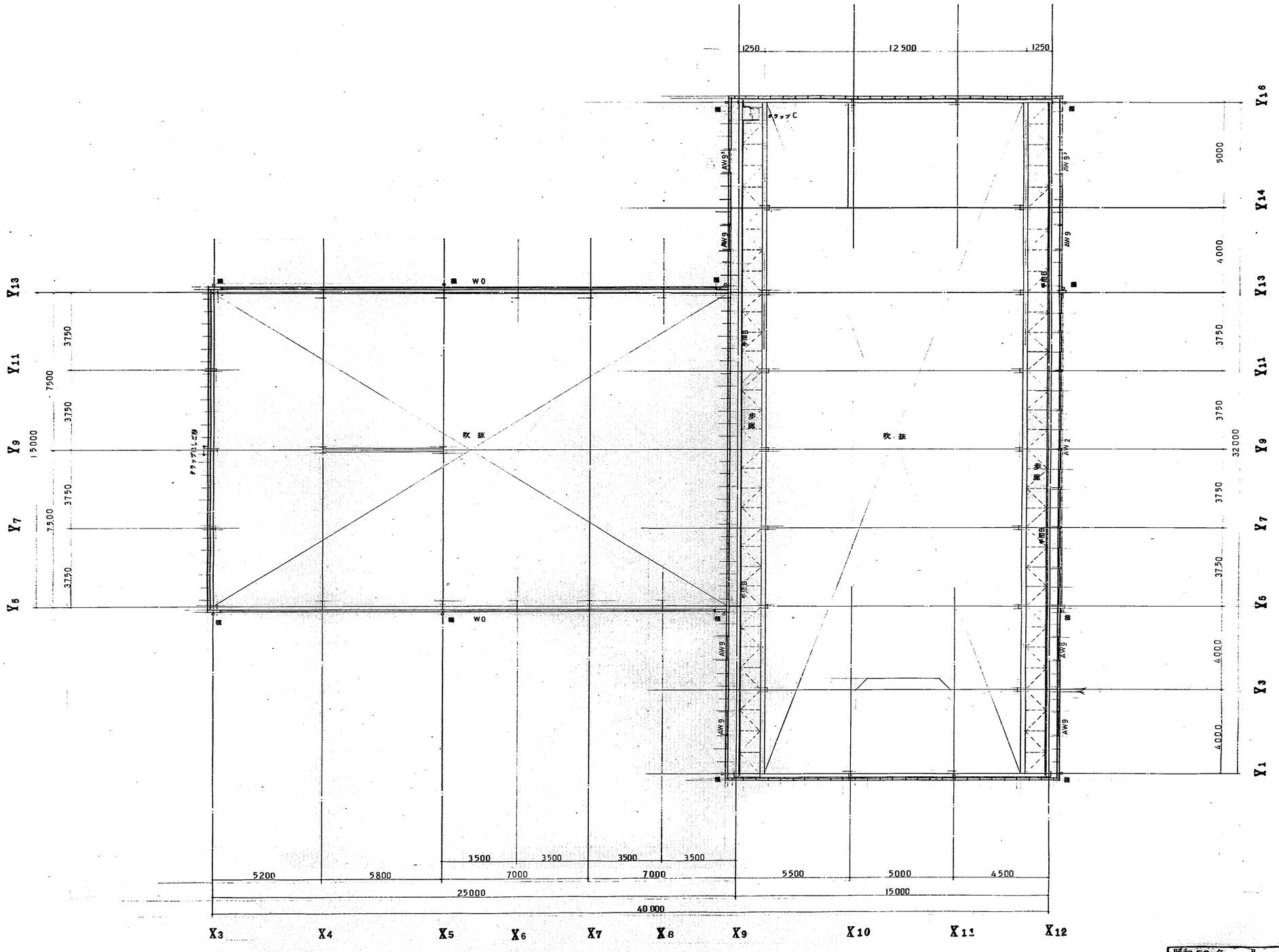
4階 平面図

1:100

昭和 年 月 日

株式会社 ラクマ 設備室工事務所

一級建築士事務所 第11029号 大久保正美



昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課

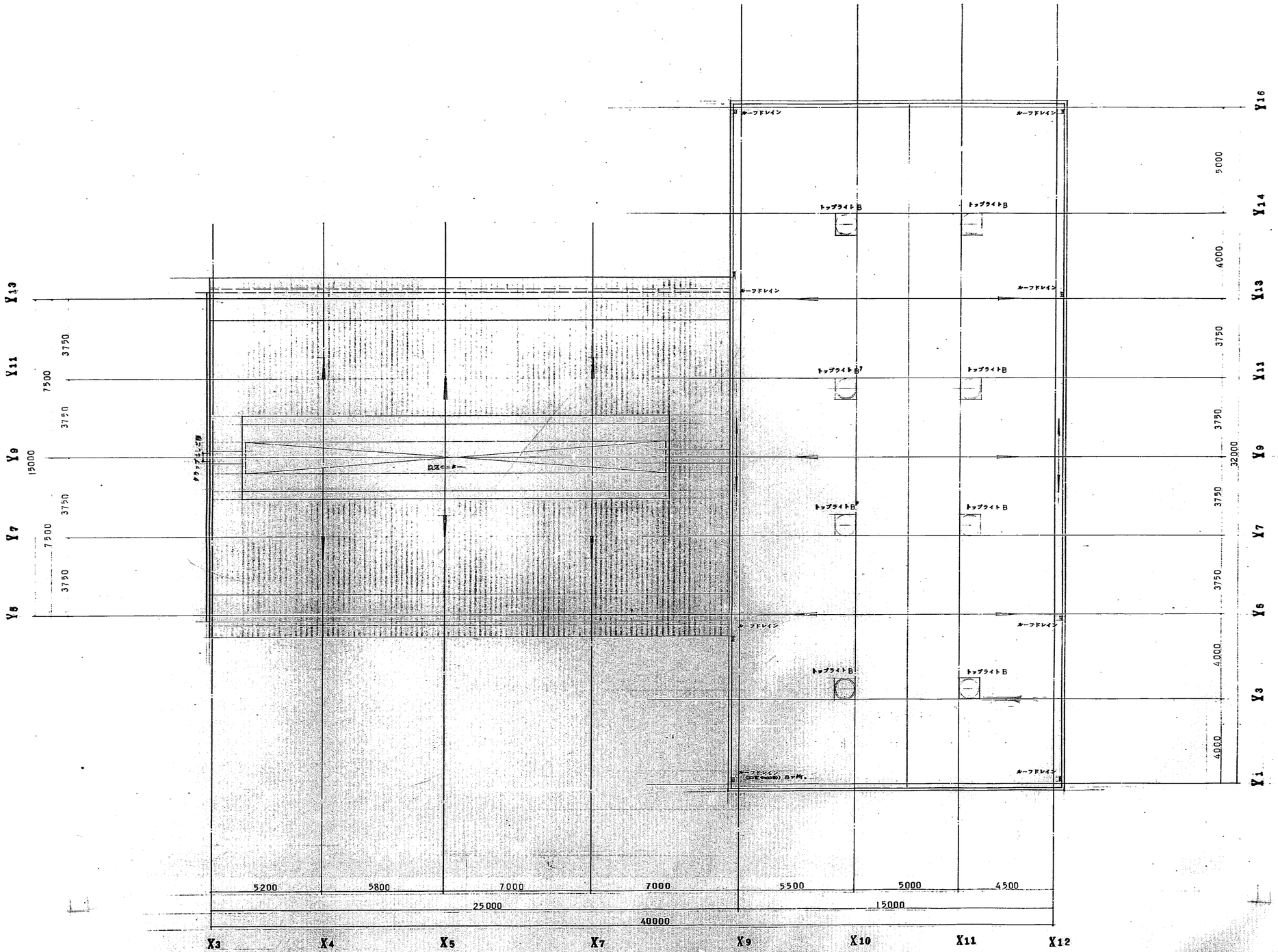
福山市西部清掃工場建設工事
設計図

クレーン階 平面図

縮尺 1:100

図番 10

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪第(一)3625号 電話大阪(06)46-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美



昭和52年 月 日

福山市建設局建築部建築課

係員 係長 課長 部長

福山市西部浄化場建設工事
設計図

図番 11

屋根 平面図

尺度 1:100

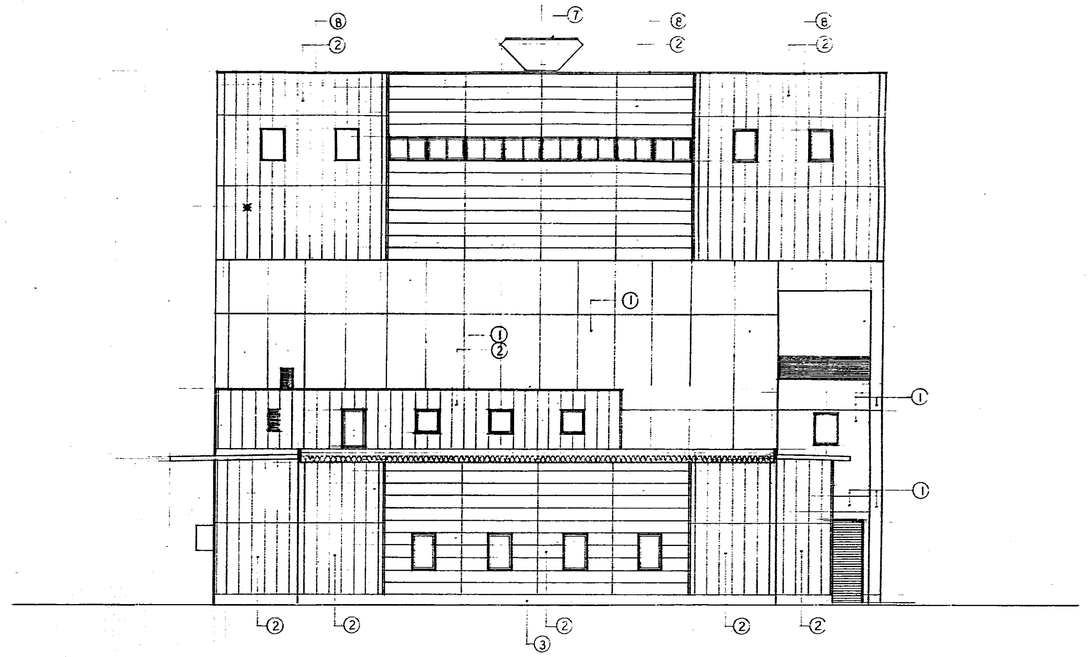
株式会社タクマ 一級建築士事務所
電話大阪(346)5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

部長 課長 課長代 係員

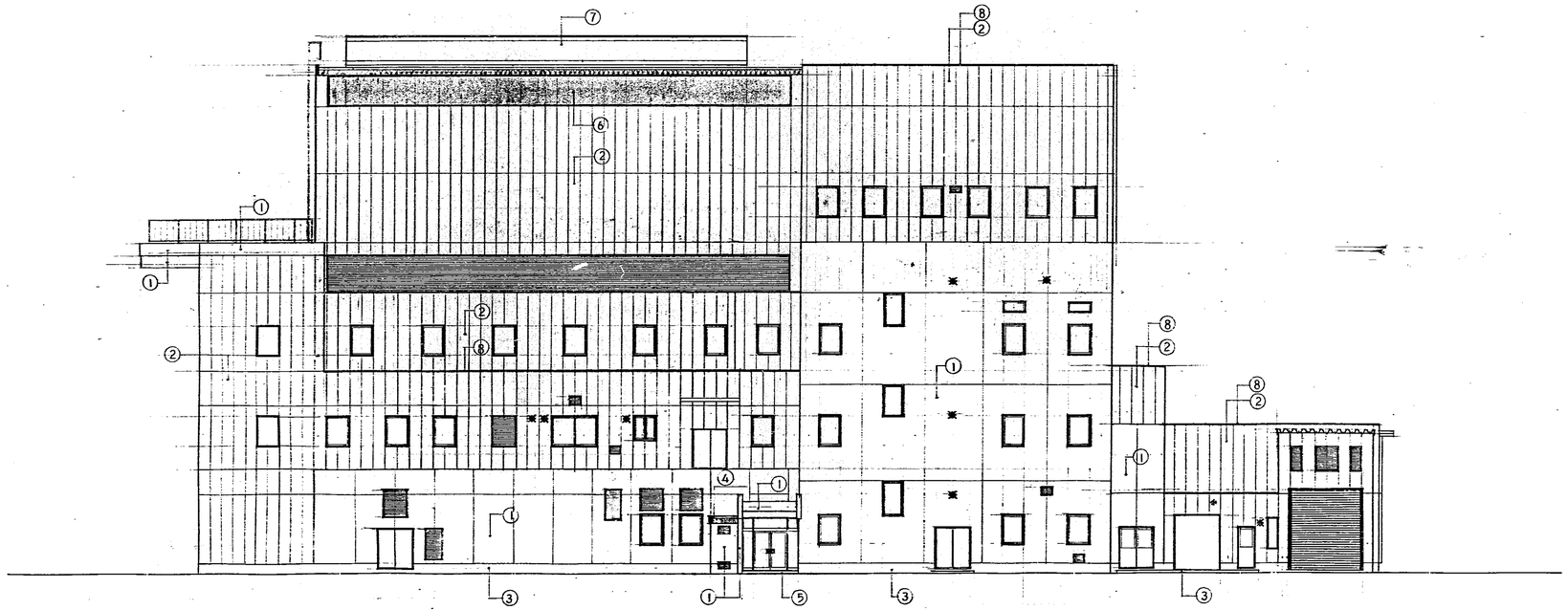
昭和 年 月 日

株式会社タクマ

①	モルタル刷毛引アクリル系リシン吹付。
②	ALC版面アクリル系リシン吹付。
③	モルタル塗。
④	大波スレート葺
⑤	床用タイル貼。
⑥	鋼入波型硝子（小波）。
⑦	塗装モニター。
⑧	アルミ製笠木。
◯	
◯	
◯	
✱	塗装角，石張角等を表す。



西面　立面図



北面　立面図

昭和52年　月　日
福山市建設局建築部建築課
係員　係長　課長　部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 12

西面　北面　立面図

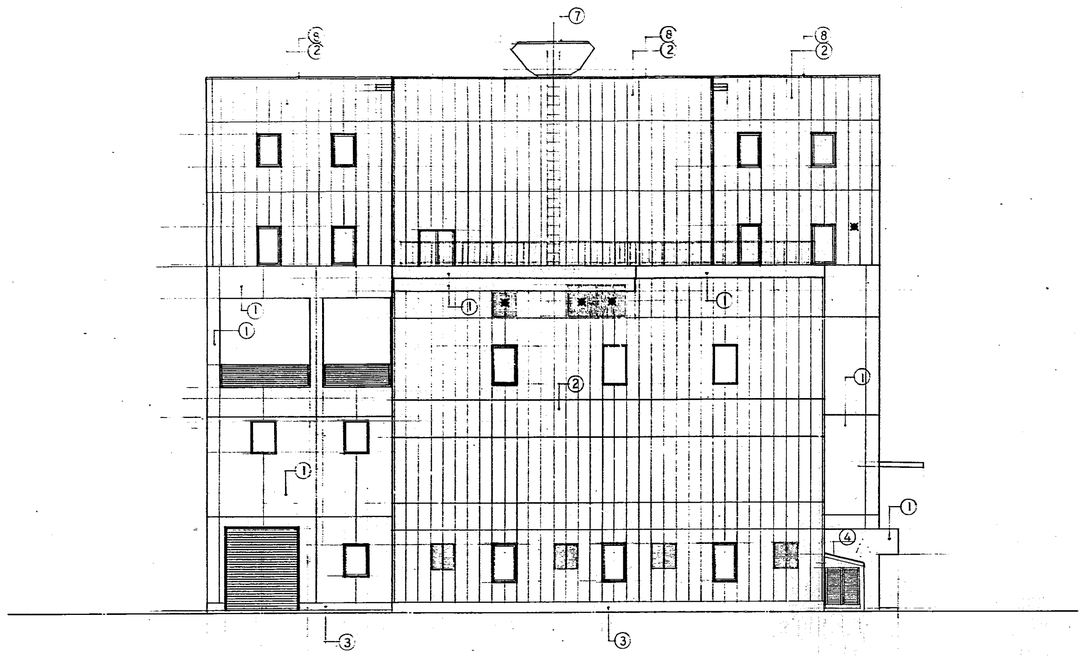
尺度 1:150

昭和　年　月　日

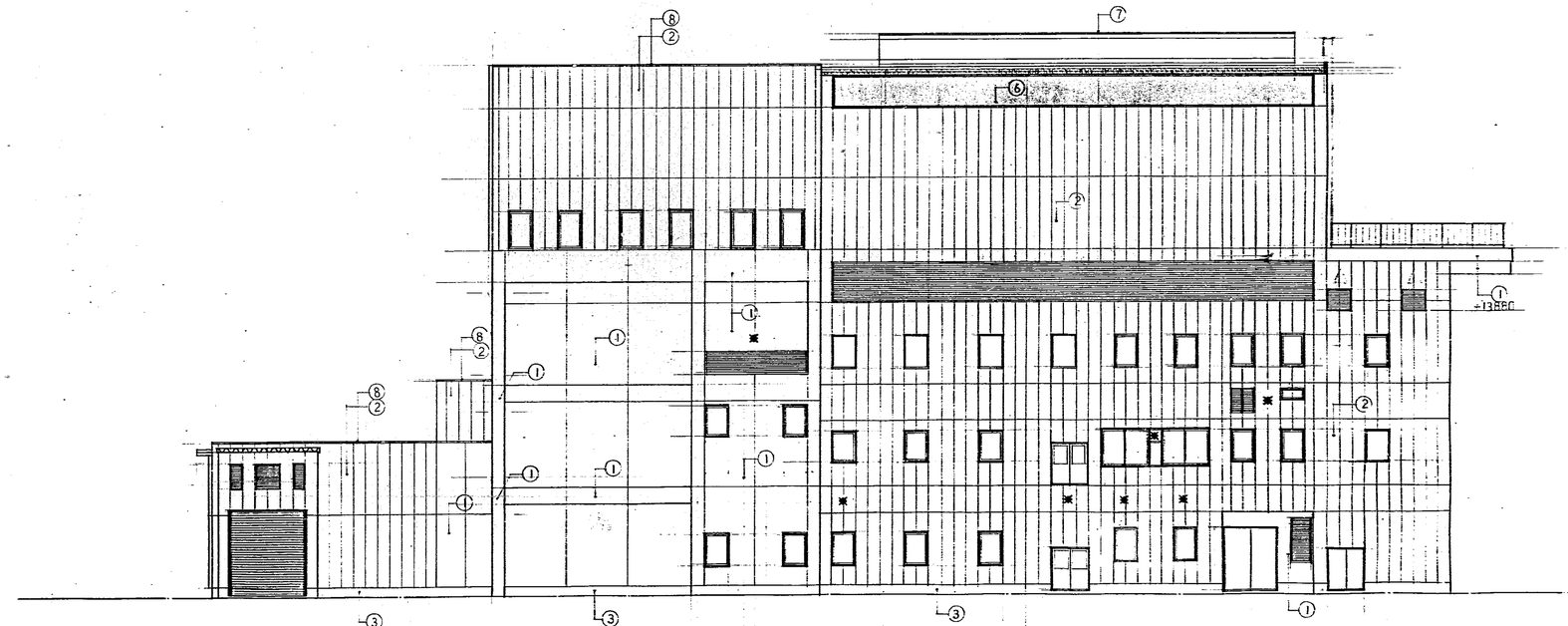
株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府知一(ロ)2933号
電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

部長　課長　課長代　検査　設計

株式会社タクマ



東面　立面図



南面　立面図

昭和 53.年 月 日
福山市建設局建築部建築課

係員	係長	課長	部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 13

東面　南面　立面図

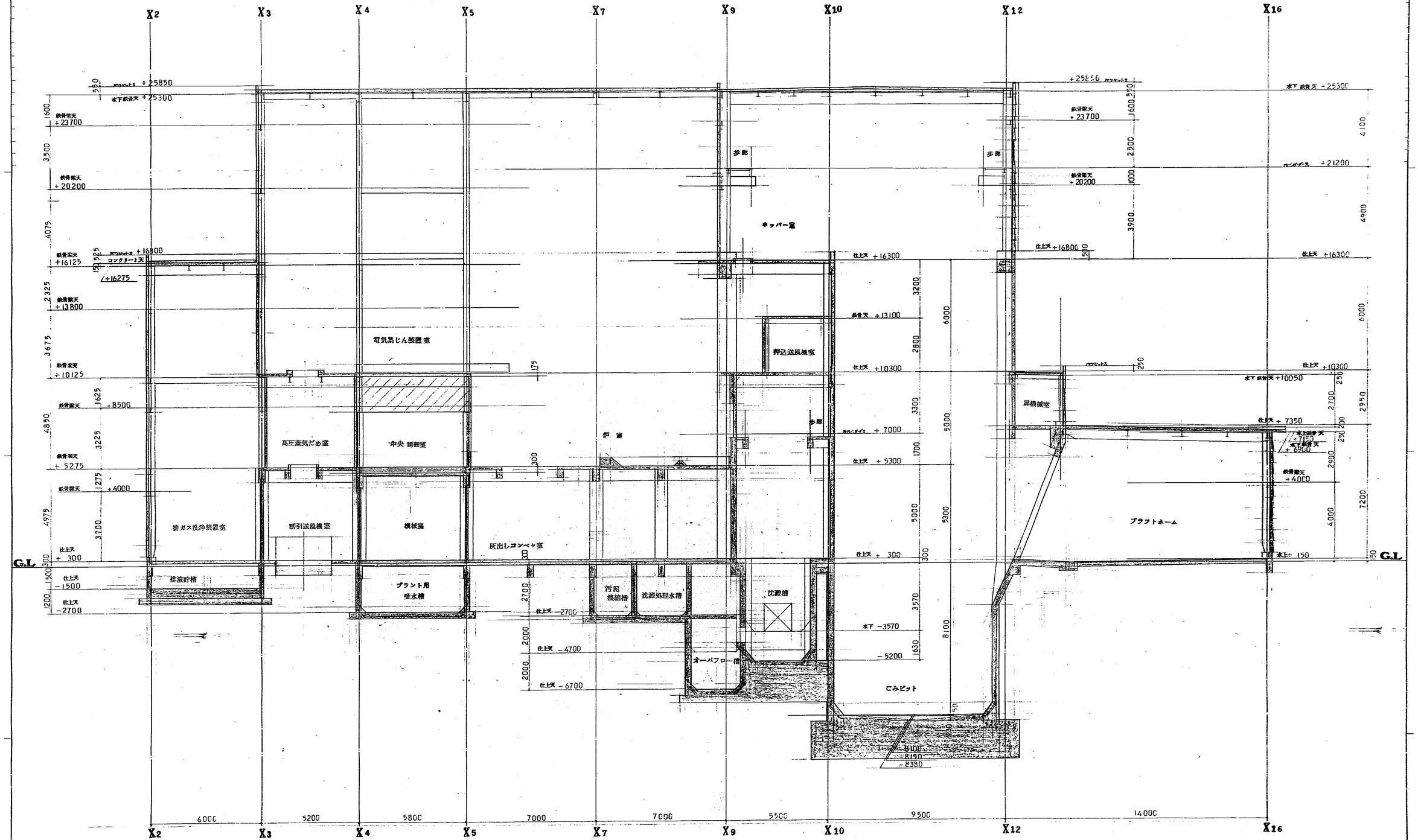
部長	課長	課長代	製図	設計

尺度 1:150

昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(一)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

株式会社タクマ



昭和53.年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

株式会社タクマ一級建築士事務所
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

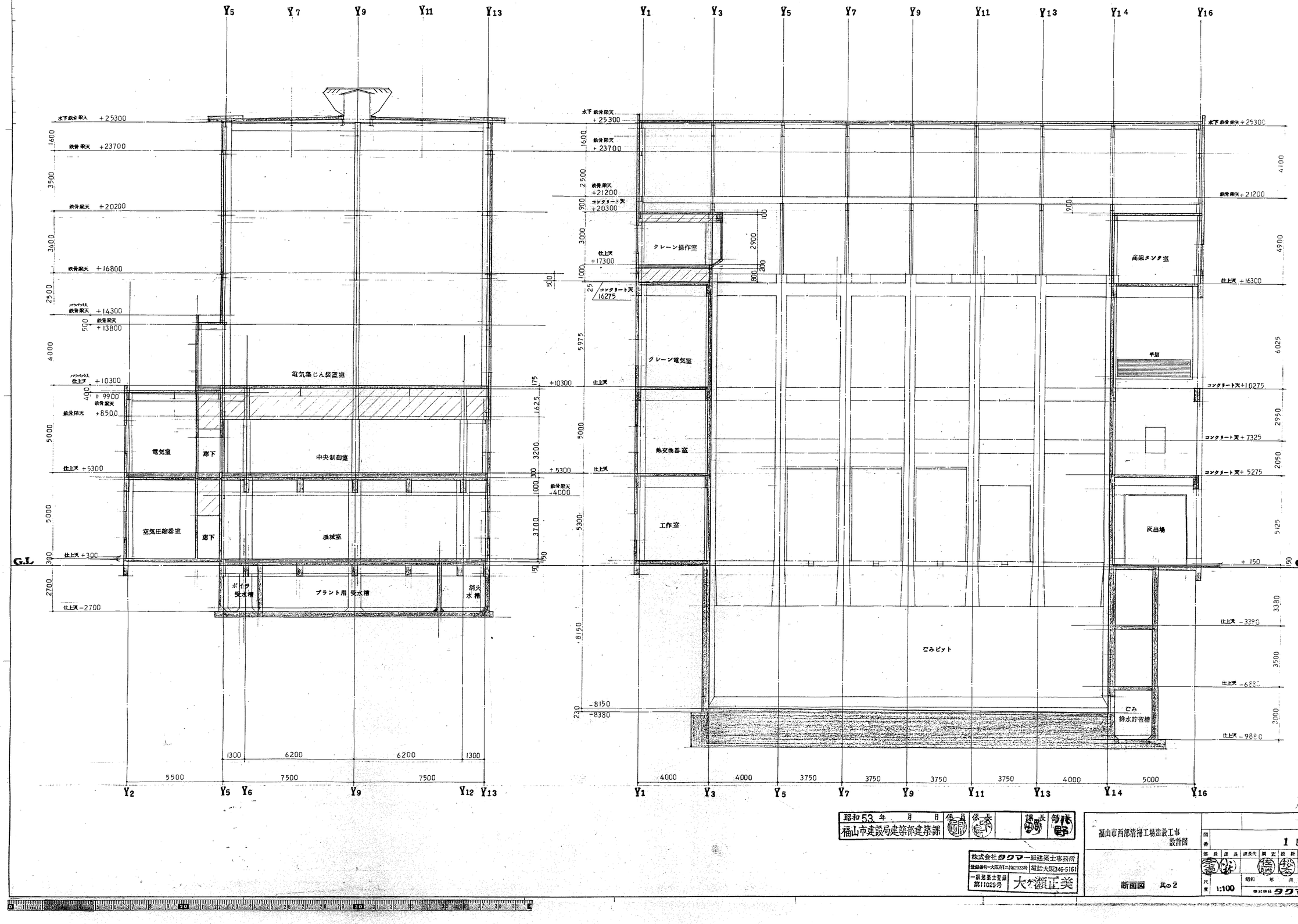
福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 14

断面図 其の1

尺度 1:100

昭和 年 月
株式会社タクマ



昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 課長 部長

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(二)第2933号
一級建築士登録 第11029号
大ケ瀬正美
電話大阪346-5161

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 15

部長 課長 課長代 関宏設計

尺度 1:100

昭和 年 月 日

断面図 其の2

株式会社タクマ

一 註 一

水中ポンプアンカーボルト --- SUS-316 M20。突出し50㎜。定着300㎜

SUS アンカー筋 ---- SUS-316 ﾓﾙﾀﾙ 仕上動より50㎜突出し定着250㎜

X9 X10' X12 X10 X10' X12 X10' X12

Y9 Y14 Y13 Y11 Y9 Y7 Y5 Y3

GL-3380 / 貫通穴 φ300 / マンホール / チェッカープレート / タラップ / スリーブ SGP 125A / アンカー筋 45°ダスレ 突出し40㎜ SUS

オーバフロー槽 / GL-7000 / GL-6700 / SUSアンカー筋 2-M12 GL-6000 / SUSアンカー筋 2×2-M16@GL-4200,5200 / 水中ポンプアンカーボルト / タラップ 小網 SUS

GL-6880 / 水中ポンプハウス / 針抜用留台 A / アンカーボルト穴 / マンホール / タラップ / ピみピット スクリーン

ピみ排水貯留槽 / 集水桝 / 水中ポンプアンカーボルト

バルブピット GL-1100 / GL-3000 / GL-2700 / 汚泥濃縮槽 / GL-700 / 再利用水槽 GL-2700 / GL-3000 / SUSアンカー筋 2×3-M16 (GL-700,-1700) / スリーブ SGP 2-50A 管中央 / スリーブ ⓐ GL-700 / 水中ポンプアンカーボルト / SUSアンカー筋 2×3-M16 (GL-700,-1700) / スリーブ VP 2-50A / 針抜用留台 B / マンホール / 水中ポンプハウス / 灰ピット / 沈澱槽 GL-2700 / スリーブ SGP 50A

プラント排水貯留槽 GL-3000 / 沈澱処理水槽 GL-2700 GL-3000 / SUSアンカー筋 3×3-M16 (GL+100 GL-700,-1700) / スリーブ ⓑ GL-1350 / SUSアンカー筋 2-M12 (GL-2000) 斜め 貫通 / 灰ピット

スリーブ ⓐ 100A GL-700 / スリーブ ⓑ 150A GL-1350 ピみピット / 材質 SUS-316 フランジ JIS 10K フランジ ショートエルボ

水中ポンプアンカーボルト / 集水桝 / プラットホーム 洗浄排水槽

X6 X7 X8 X9 X10 X10' X12

A B FL+100 FL+1000 PL-16(SUS-304) PL-12×9(SUS-304) L-150×75×9×12.5 @300 @400 SUS-316

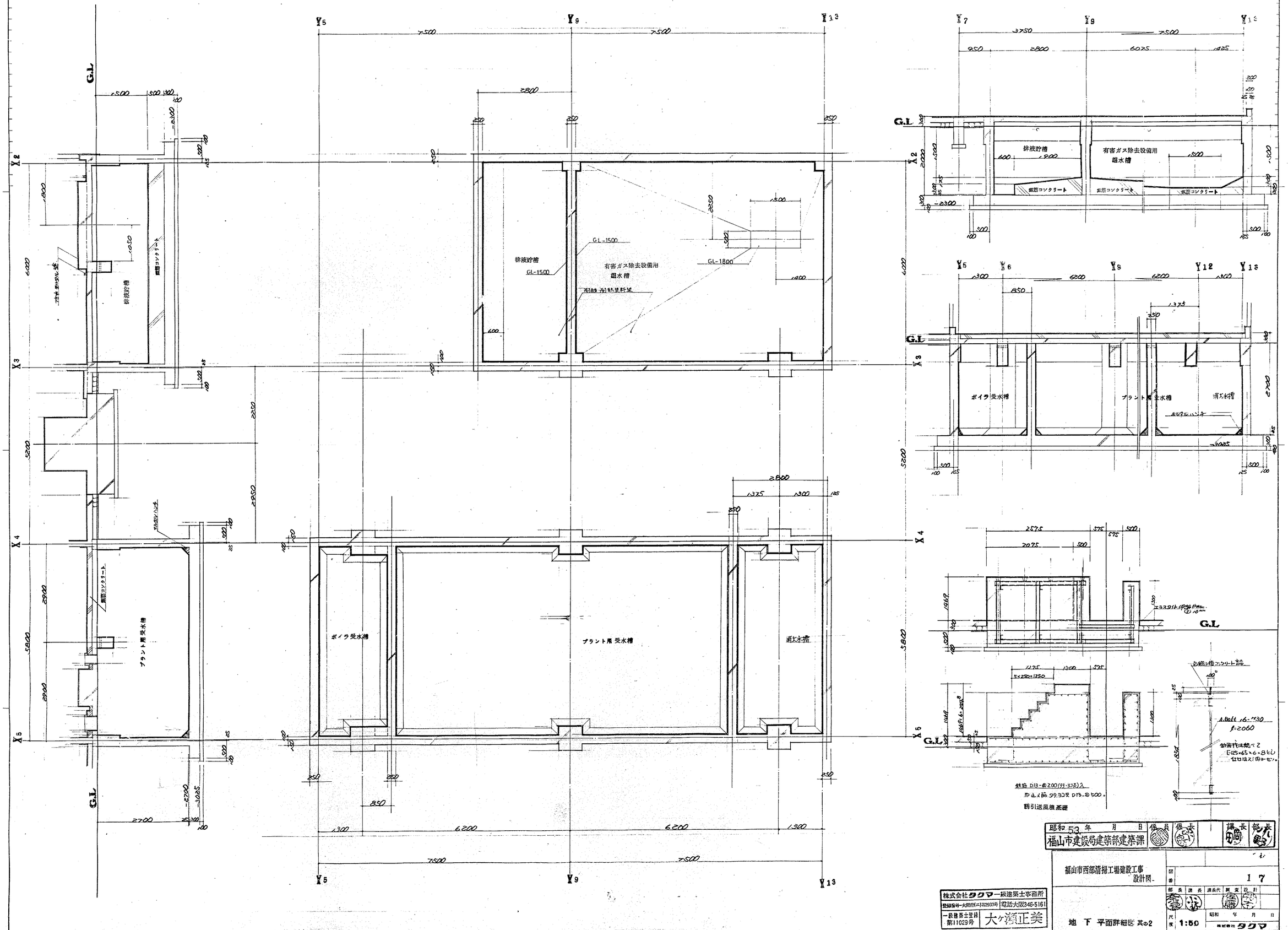
昭和5□年 月 日	係員	係長		課長	部代	
福山市建設局建築部建築課						

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪(ニ)3339 電話大阪(06)346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

地下 平面詳細図 其の1

図番	16				
部長	課長	課長代	周室	設計	
倉	小		藤	倉	
尺度	1:50	昭和 年 月 日			
		株式会社タクマ			



昭和53年 月 日

福山市建設局建築部建築課

係長 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 17

部長 課長 課長代 製図 設計

尺度 1:50

昭和 年 月 日

地下 平面詳細図 其の2

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大阪府知(ニ)第29334号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

株式会社タクマ

エヤーカーテン室
プラットホーム
ごみ計量機 基礎
計量室
便所
洗面所
倉庫
工作室
A.L.C コーナー版
A.L.C スラブ・デオンパネル 3コ張 (厚120～180)
アンカーボルト穴 80×80×350
アンカーボルト穴
コーナーアングル L-100×50×
既水路切撤 施工の巻、
100×300×150
グレーチング蓋 (T-14用)
排水溝
コーナーアングル L-75×75×9 ブラケット PL-9 @300 L=300
投入扉枠 L-75×75×9 (断面詳細参照)
ガイドレール SUS製 20mm
シャッター建築工事
投入扉プラント工事
なわばしご用フック金物、SUS
操作位置
なわばしご取はずし号
壁開口補強 巾1000 高2000
コーナーアングル L-75×75×9
ブラケット PL-9 @300 L=300
H=3000
L-380×100×10.5×L6
ガイドレール SUS 2mm
仕切台板
PL-9 45×40 @300
40×40 SOP
PL-9 40×30 @300
PL面工 厚2.3mm SOP
接続 50×25
計量用台 A
シンク
水中ポンプハッチ
ステンレスグループ
ホットスプレッド
洗面ボウル
排水管
給湯ボイラー
ウォーターフィラー
SUS 角パイプ 1-80×40×1.5
ハンドレール
ドレン
ソレノイド弁
(LT-14用)
AL 配管
50×25 SOP
40×40 SOP
ルーフドレン
ステンレス製
ウォーターフィラー
ベンチ
ゴミ投入口
(鉄板 SF-75厚 すべり止め付)
コンクリート(既設壁面)
ブラケット
SUS
ベンチ
L-380×100×10.5×L6
L-65×65×6
2900
1875
2700
4000
3750
5000
23000
9000
2000
6520.3.10
7065.3.10
2720.1.10
3260
1850
1100
2800
2200
1800
3000
2500
4000
3350
4750
3900
3500
2400
2610
2220
昭和53年 月 日
係員 係長 課長 部長
福山市建設局建築部建築課
福山市西部清掃工場建設工事
設計図
図番 18
部長 課長 係長 課長代 調査 設計
1 階 平面詳細図 其の1
尺度 1:30 1:50
昭和 年 月 日
株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 大臣所(ニ)R2933号
電話 大阪(346)5161
一級建築士登録 第11029号
大ヶ瀬正美
株式会社タクマ

一 註 一

灰出コンベヤ室廻りは別図参照。

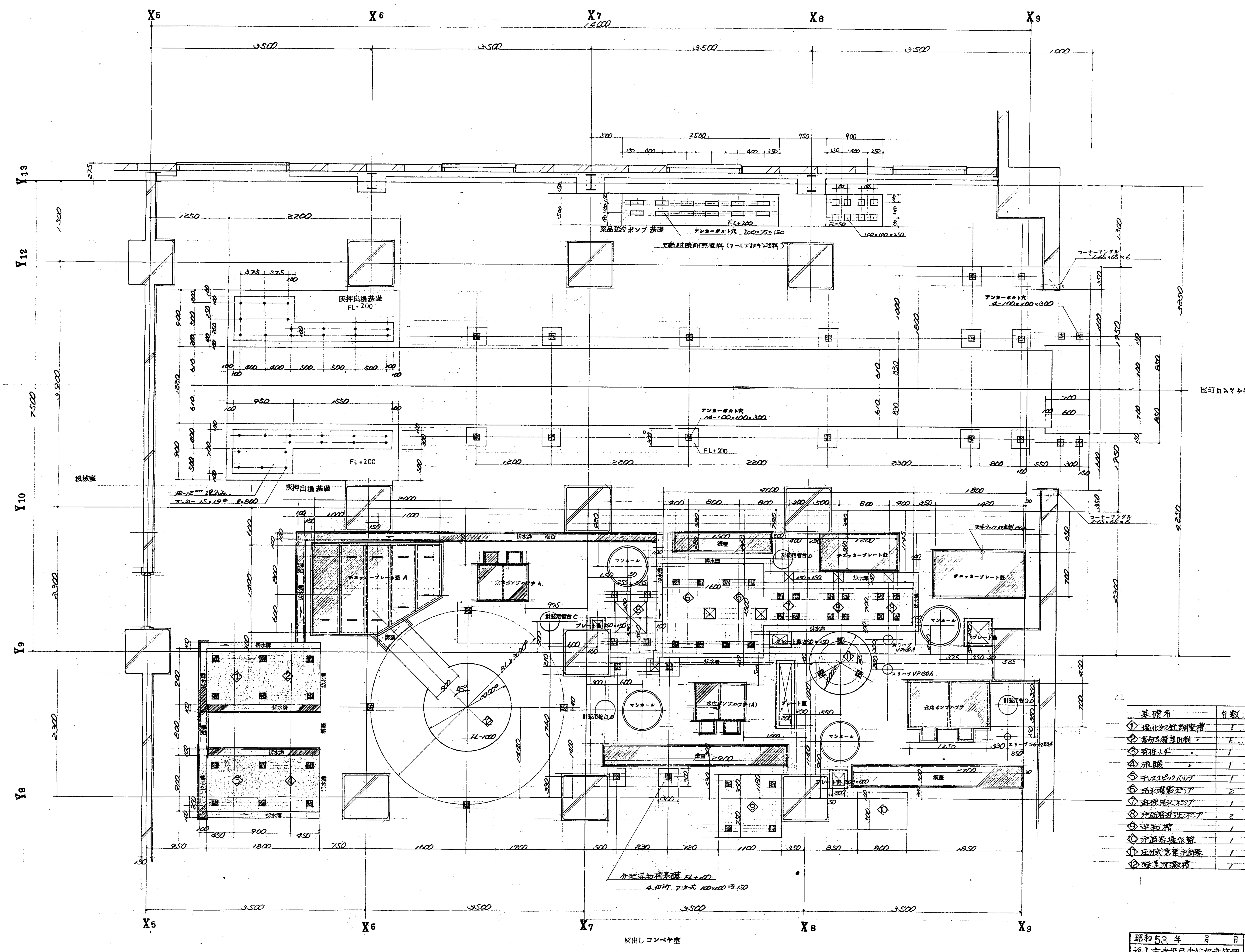
空気圧縮機室
汚水用撹伴ブロワ基礎
脱臭装置基礎
携帯搬入用コンクリートブロック壁 H=3000
FL+200
物品庫
未見相（本印詳細図に含む）
廊下
灰出し
コンベヤ室
プロパン庫
+150
玄関
ホール
+150
+300
階段室
+300
+2900
工作室
調湿装置基礎
調湿装置室
ベルトコンベヤ基礎
FL+300
アンカーボルト穴
FL+300
灰バケット置場
灰出場
+300
+150
コンクリート土間打
硫酸原液槽基礎
塩化第二鉄原液槽基礎
苛性ソーダ貯槽基礎
GL+500
アンカーボルト穴
4-100×100×250
コーナーアングル L-65×65×6
コーナーアングル L-75×75×9 l=3000
特変なきコーナーアングルは L-65×65×6 アングル40-40-200 l=150

Y2 Y5 Y9 Y13
Y1 Y3 Y5 Y7 Y9 Y11 Y13 Y14 Y16
X5 X7 X9 X10

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 課長 部長

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪(二)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 部11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図
図番 19
1 階 平面詳細図 其の2
尺度 1:50
昭和 年 月 日
株式会社タクマ



基礎名	台数	仕上高さ	アンカーボルト穴	備考
① 塩化第2鉄調整槽	1	FL+200		タールエポキシ塗料塗
② 高分子凝集助剤 〃	1	〃	6-100×100 深150	〃
③ 苛性ソーダ 〃	1	〃		〃
④ 硫酸 〃	1	〃	6-100×100 150	〃
⑤ テレスコピックバルブ	1	—	4-100×100 150	開口500×500
⑥ 汚水噴霧ポンプ	2	FL+200	4-100×100 200	開口160×160
⑦ 再使用水ポンプ	1	〃	4-100×100 150	
⑧ 沪過器逆洗ポンプ	2	〃	4-100×100 150	
⑨ 中和槽	1	FL+100	4-100×100 150	
⑩ 沪過器操作盤	1	〃		
⑪ 圧力式急速沪過器	1	FL+200	3-100×100 200	
⑫ 凝集沈殿槽	1		4-100×100 200	バルブピット付

昭和53年　月　日 | 係員 | 係長 | 課長 | 部長

福山市建設局建築部建築課

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号-大阪府(二)第2933号　電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号　大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

図番 20

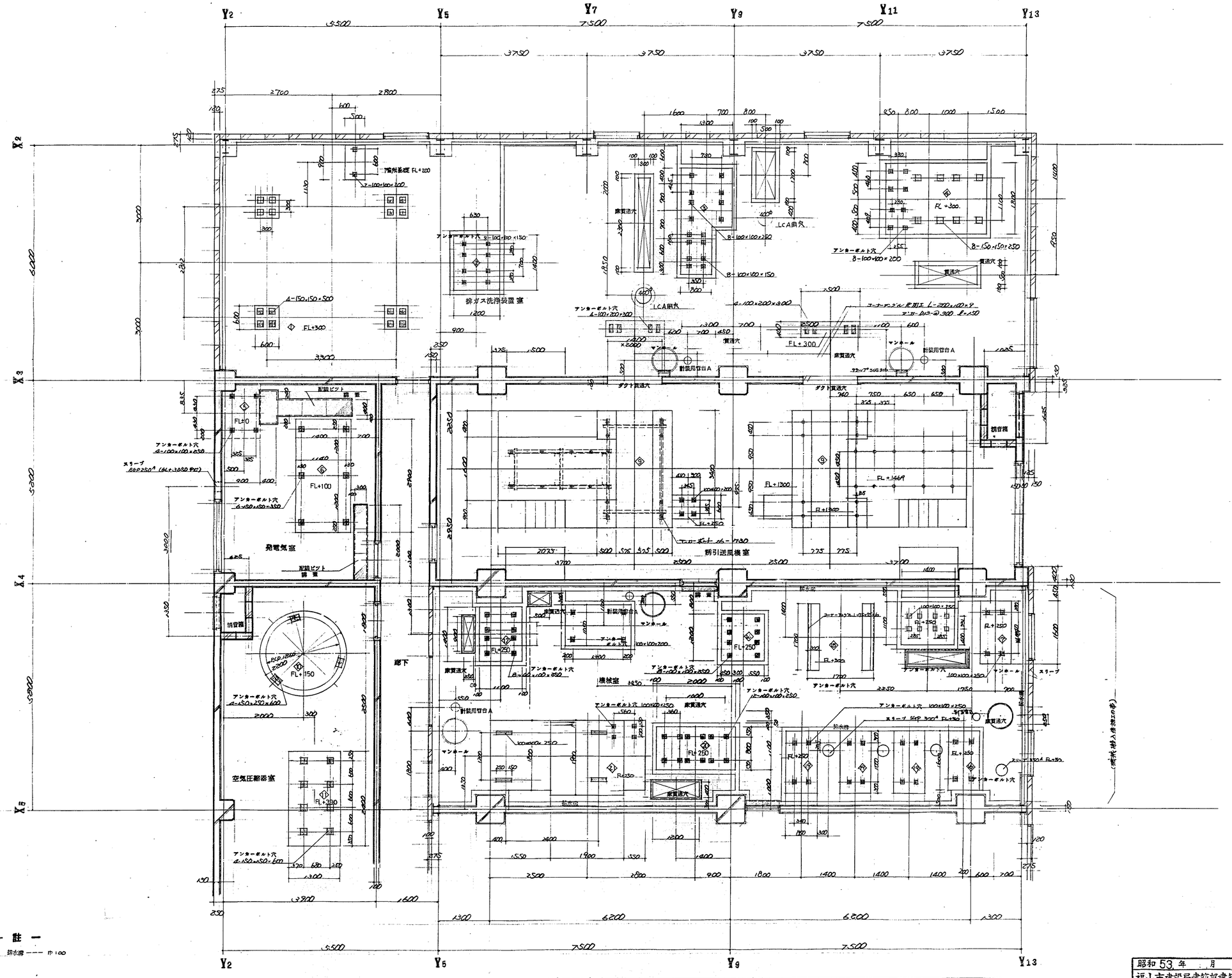
部長 | 課長 | 課長代 | 調査 | 設計

1 階　平面詳細図 其の3

尺度 1:30

昭和　年　月　日

株式会社タクマ



一 註 一

排水溝 ——— W100

記号	基礎名称	記号	基礎名称	記号	基礎名称
①	排ガス洗浄装置 基礎	⑨	コントロールモーター 基礎	⑰	受水槽 基礎
②	スプレーポンプ 基礎	⑩	誘引送風機 基礎	⑱	場内消火ポンプ 基礎
③	排液ポンプ 基礎	⑪	空気タンク 基礎	⑲	洗車ポンプ基礎
④	有害ガス除去設備用循水 循環ポンプ 基礎	⑫	空気圧縮器 基礎	⑳	プラント用 揚水 ポンプ基礎
⑤	冷却水槽架台	⑬	補給水ポンプ 基礎	㉑	噴射水加圧ポンプ基礎
⑥	発電気 基礎	⑭	軟化装置基礎	㉒	ボイラ給水ポンプ 基礎
⑦	制御盤 抵抗器 基礎	⑮	揚水ポンプ基礎	㉓	復水タンク基礎

株式会社タクマー一級建築士事務所
登録番号一大阪(ロ-)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 都11029号 大谷 剛正 業

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課 係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 2 1

1 階 平面詳細図 其の4

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ

記号	基礎名称
①	高圧蒸気だめ基礎
②	ボイラ水循環ポンプ基礎

高圧蒸気だめ室
中央制御室
炉室
廊下
電気室
作業員控室
便所
配線ピット
FL+250
FL+200
FL+100
F.B基礎
ガーターピット
ホットタル室
大型消火器置場
手洗
ゲーティング室
チェッカープレート蓋
コーナーアングル L-50×50×6 A.BOLT D10-600 @450
アンカーボルト穴 100×100×200
特記なき限り下記による
アンカーボルト穴 100×100×200
配線ピット 深さ 275
建具通穴 建場指示

株式会社タクマ一級建築士事務所	
登録番号 一大阪庁(ニ)3129339号	電話大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号	大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 22

2 階 平面詳細図

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ

昭和53. 年 . . 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

3 階 平面詳細図

2 階 平面詳細図

記号	基礎名称
①	給湯用熱交換器基礎
②	給湯用循水ポンプ基礎
③	暖房用循水ポンプ基礎
④	暖房用熱交換器基礎
⑤	油圧ジャンダー基礎
⑥	汚泥タンク基礎
⑦	炉温調節用送風機基礎
⑧	押込送風機基礎

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課 係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 2 3

部長 課長 課長代 調査 設計

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)12933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

2,3 階 平面詳細図

株式会社タクマ

X2 X3 X4 X5

6000 5200 5800

Y13 Y11 Y9 Y7 Y6 Y5 Y3

6500 3700 3700 3700 3700

アンカーボルト穴

再加熱器

再加熱器用送風機

再加熱室

ダクト貫通穴

貫通穴

FL+200

電気集じん装置室

Ga Gb

H-390×300×10×16

H-194×150×6×9

H-200×100×5.5×8

GR-6 2-M16

GR-9 4-M16 ﾀﾅｶｯﾄ

ｺｰﾅｰｱﾝｸﾞﾙ L-90×90×10

A bolt 2-M16 ℓ=500 ﾓﾙﾀﾙ ﾄｳﾁｭｳ

アンカーボルト穴 4-100×100×100

A

H-390×300×10×16

ﾊﾝﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄ 厚16 全周ｽﾐ肉ﾖｰｾｯﾄ

ｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ仕上

十型ｽﾃｨﾌﾅｰﾌﾟﾚｰﾄ 厚22㎜ 床下ﾓﾙﾀﾙ全面ｽﾐ肉ﾖｰｾｯﾄ

10750 10300 10125

B

GR-6 2-M16

H-200×100×5.5×8

10125

3500 3500 3500 3500

X5 X6 X7 X8 X9

X3 X4

5200

1000 3740 460

A bolt 2-M16 ℓ=350 ﾓﾙﾀﾙ ﾄｳﾁｭｳ

2940 800

14×210=2940

210

3080 14×220=3080

H-200×100×5.5×8

GR-6 4-M16

L-180×75×10.5

4-M16 GR-6

ﾀﾅｶｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ t4.5

L-180×75×7×10.5

H-100×100×5×7

300

350

A bolt 2-M16 ℓ=350

GR-12

鉄骨階段 B. 詳細図 1:30 手摺 A 形状ｶﾀﾁ50

塗装 ―― S.O.P 仕上.

株式会社タクマ一級建築士事務所	
登録番号一大阪府(ニ)2393号	電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号	六ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

図番 24

部長	課長	課長代	調査	設計

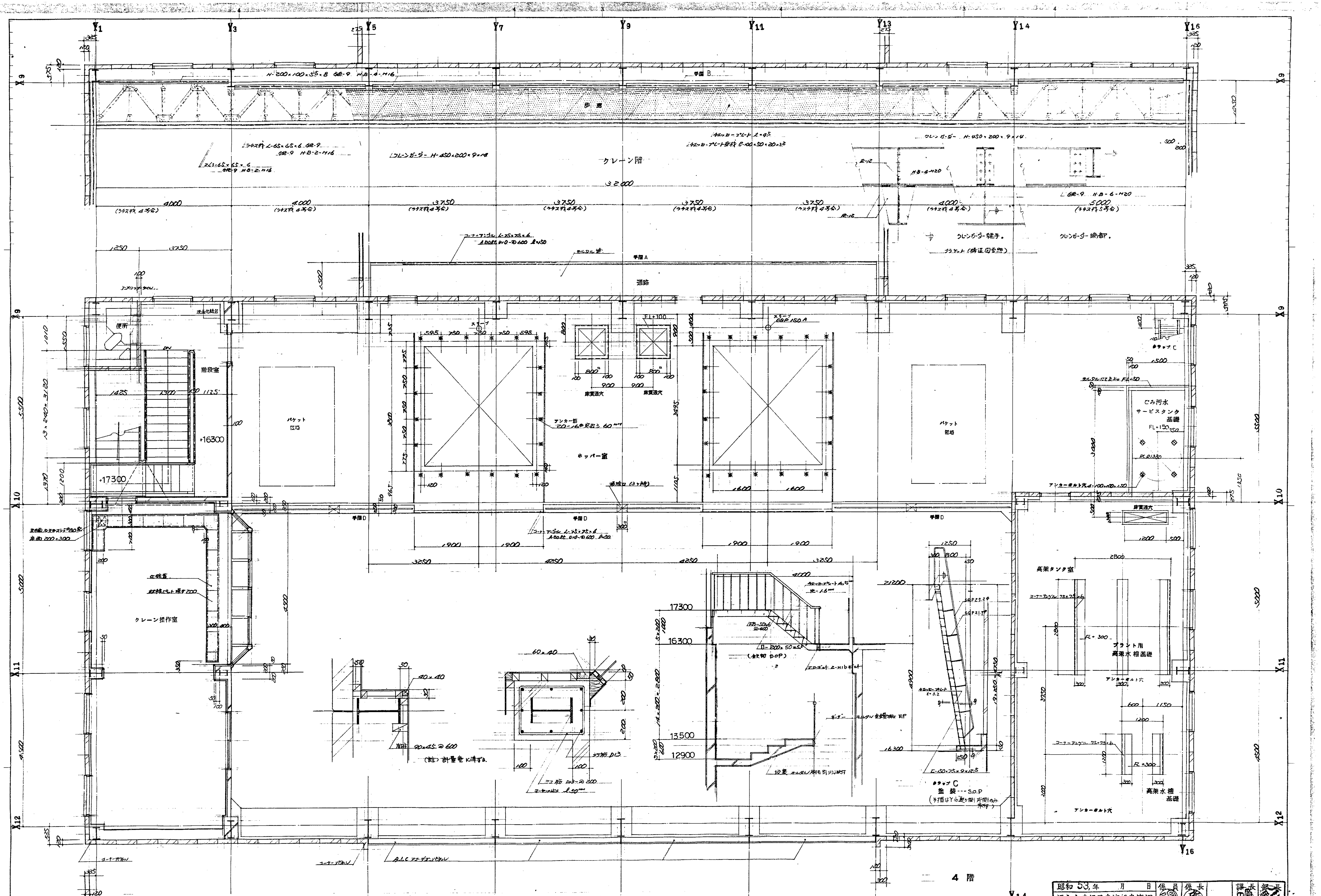
尺度 1:80 1:50

昭和 年 月 日

3 階 平面詳細図

昭和53年 月 日 福山市建設局建築部建築課 係員 係長 課長 部長

株式会社タクマ



昭和 53 年 月 日 | 係員 | 係長 | 課長 | 部長
福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 25

部長 | 課長 | 課長代 | 調査 | 設計

4 階
クレーン階 平面詳細図

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録第11029号 大ヶ瀬正美

冷却塔基礎

蒸気コンデンサ基礎

階段基礎

貫通穴

GL+16650

GL+16700

FL+300

FL+350

H-350×175×7×11

H-450×175×7×11

GR-94-1116

アンカーボルト穴 100×100×300

アンカーボルト穴 100×100×200

ダクト架台

ソケット用コンクリート

H-450（原H-446×199×8）
（ウエロは記ベマスク用ヨセヤ）

17175

16800

16525

16125

コンクリート面ラフフィル考ラシ仕上

モルタル刷毛引き仕上 オクリル系ソトンロ25分

防水モルタル

レンガ積

R=1100×600×22

R=12

H-350×175×7×11

1000

550

750

600

300

200

150

100

99

50

25

FB-50×9

ABolt 4-M16 (12ヶ所)

防水層押さえ板

コーキング

補強モルタル 厚=20%
(セメント量400～450kg/m³)

天井金網 lm-100×100

16800

16125

笠木アルミニューセン 1500×150 面材色

耳金水切カラー鉄板 厚0.8

手摺 H²

@1000

16700

16650

16125

モルタル塗

防水モルタル塗

レンガ積

コーナーアングル L-75×75×6

タラップ(しご形)

R=R=100×500×6

昭和53年 1月 日 係員 係長 課長 部長

福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 26

4階 平面詳細図

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 大タ(ニ)…… 福岡大臣346-5161
一級建築士登録 第111029号 大谷正美

株式会社タクマ

エヤーカーテン室

エヤーカーテン室

熱交換器室

倉庫

エヤーカーテン室

プラットホーム

計量室

洗面所

便所

G.L

昭和53年 月 日 係員 係長 課長 部長

福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 27

断面詳細図 其の1

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 大阪(ニ)26933号 電話大阪(346)5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

昭和53年 月 日	係員	係長	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 28
断面詳細図 其の2	尺度 1:50
昭和 年 月 日	

株式会社タクマ一級建築士事務所	
登録番号 大阪(ニ)第2393号	〒530 大阪 06-345-5161
一級建築士登録 第11029号	大ケ瀬正美

株式会社タクマ

Y16 5000 Y14 4000 Y13 3750 Y11 3750 Y9 3750 Y7 3750 Y5 4000 Y3 4000 Y1

25300 軒天
23700 軒天
21200 軒天
20200 軒天
16300 仕上天
10300 仕上天
5300 仕上天
G.L

歩廊
歩廊
21680
クレーンガーダー
便所
階段室
クレーン操作室
高架タンク室
コンクリート 20300
クレーン操作室
17300
16300
仕上天 16300
16400
クレーン電気室
仕上天 12900
13500
仕上天 10300
熱交換器室
仕上天 7700
熱交換器室
工作室
仕上天 2900
倉庫
仕上天 300
プロパン庫
プロパン庫
玄関ホール
仕上天 300
G.L

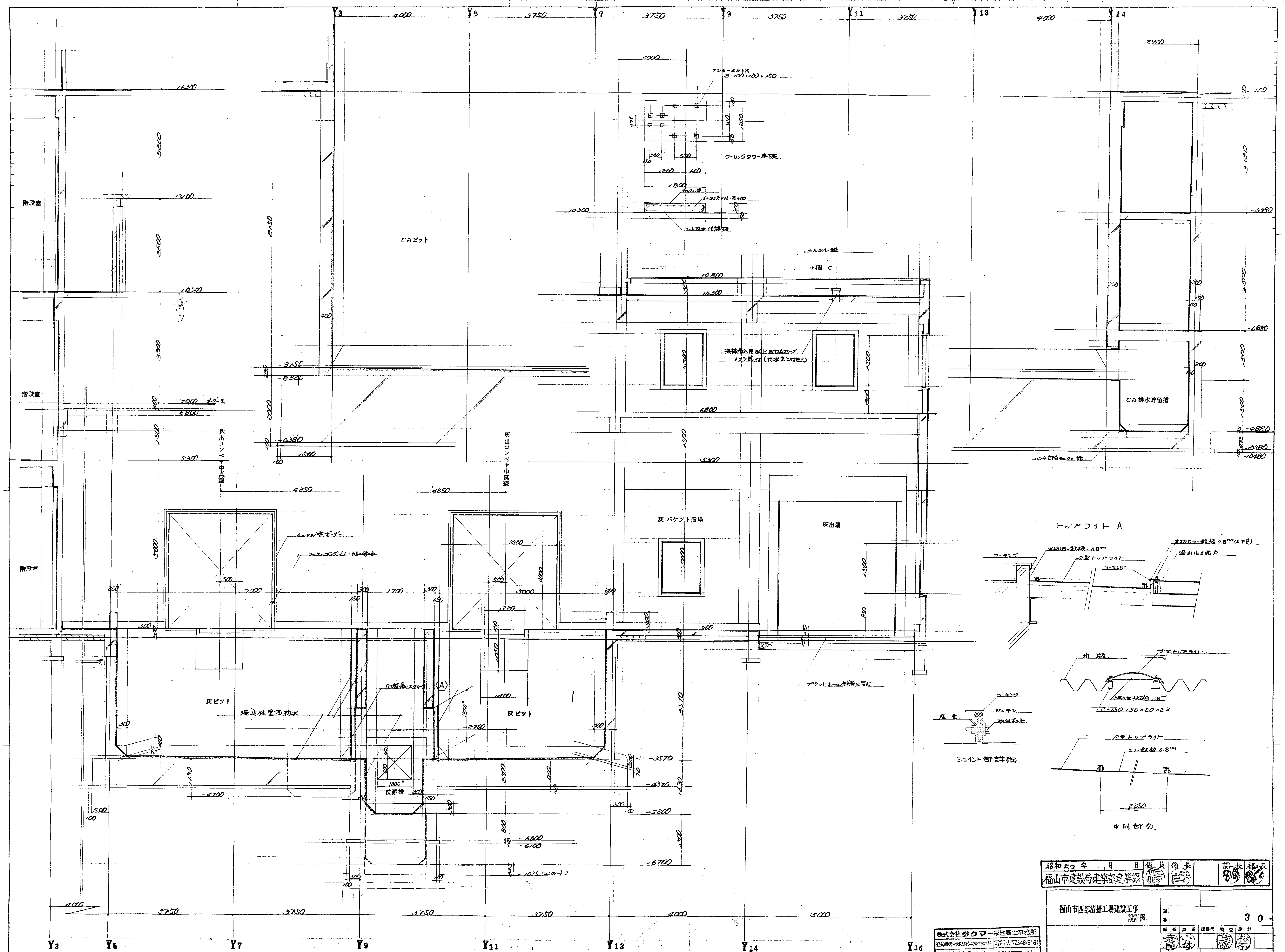
Y2 1500 Y8 3500 Y9 5500 Y10 Y12 2500

A

昭和53年 月 日 福山市建設局建築部建築課 係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 2 9
断面詳細図 其の3	尺度 1:50

株式会社タクマ一級建築士事務所
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美
部長 課長 課長代 担当 設計
昭和 年 月 日
株式会社タクマ



昭和 53 年 月 日 | 係員 | 係長 | 課長 | 部長

福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 30

部長 | 課長 | 課長代 | 調査 | 設計

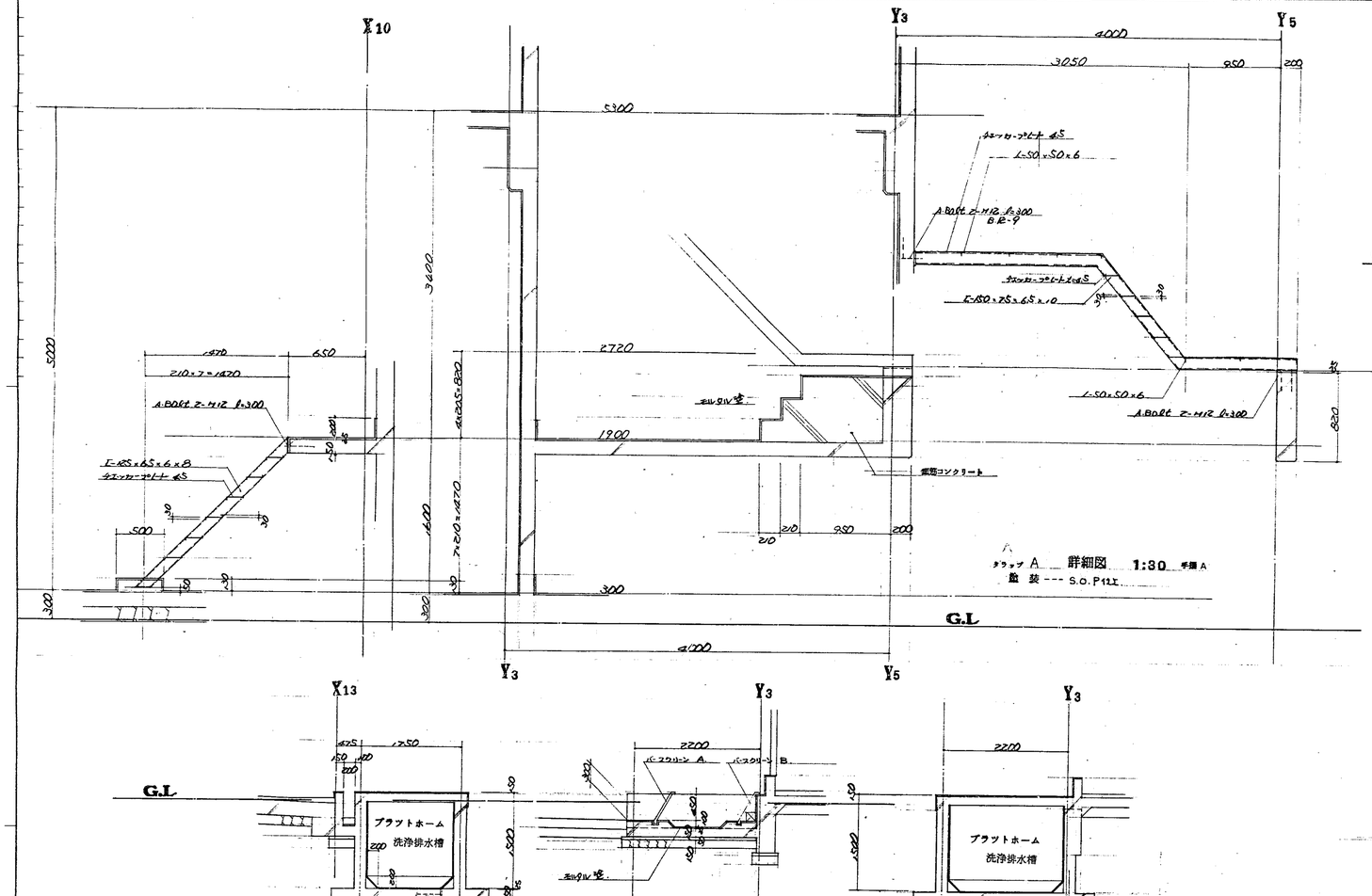
断面詳細図 其の 4

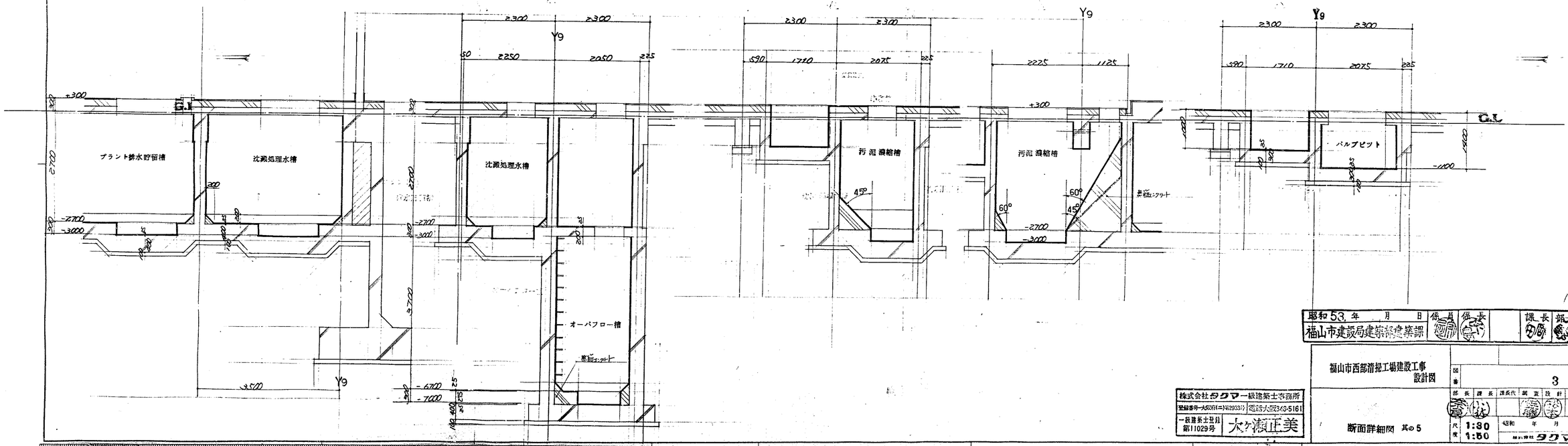
尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社 タクマ

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号-大阪府(二)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美





昭和53年 月 日 係長 課長 部長

福山市建設局建築部建築課

株式会社タクマー級建築士事務所
登録番号一大臣第(ニ)4029号 電話大阪(06)345-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 3 1

部長	課長	課長代	調査	設計

尺度 1:30 / 1:50

断面詳細図 其の5

昭和 年 月 日

株式会社タクマ

2 3 4 5 6 7 8 9

6000 5200 5800 3500 3500 3500 3500

25850 25300 鉄骨 梁天 1600 23700 鉄骨 梁天 3500 20200 鉄骨 梁天 3400 手摺 H=1,600 16700 16800 16725 鉄骨 梁天 コンクリート 2385 13800 鉄骨 梁天 3625

スタッド ダボハンH120 @200 2列

電気集じん装置

1階床埋設物中心断面

2階床埋設物中心断面

25300 鉄骨 梁天 23700 鉄骨 梁天 3500 20200 鉄骨 梁天 3400 仕上天 16300 4200

555 350 905 300 256 940 302 96 3500 鉄筋 H=125 両側 15300 仕上天 25 280 6000

L-180×75×7×10.5 スタッドボルト @600 10300 仕上天 10125 鉄骨 梁天 1625 L-250×90×10 8500 鉄骨 梁天 3225 5300 仕上天 5275 1275 鉄骨 梁天 1000 300 仕上天 900

L-250×90×10 8500 3000 1500 4990 エルダル金網補工 鉄筋コンクリート 仕上天 300

炉室

10300 仕上天 3300 5300 7000 コレーダー 700 VP-300A 5300 仕上天 700 5600

1階灰出しコンベヤ中心断面

灰出しコンベヤ室

1250 2700 1200 2200 2200 300 仕上天

鉄筋コンクリート打 300 仕上天 700

G.L

圧縮空気だめ室

中央制御室

排ガス洗浄装置室

誘引送風機室

機械室

灰出コンベヤ中継槽

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大阪府(ニ)第2933号
一級建築士登録 第111029号
電話 大阪(06)346-5161
大竹洋正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 3 2

部長	次長	課長代	調査	設計
倉林			福藤	安

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ

昭和50年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長

断面詳細図 其の6

折版二重

採光兼用換気モニター

軒先フレーム　庇先止面戸

軒桁 150×150

軒先面戸

基礎パッキング
L-75×75×6

フェルトパッキング
ワッシャ及M10ボルト

バックアップ材

コーキング

細骨材強調6.8㎜

L-30×30×3

A.L.C.板 厚150

FB-65×6
@600

150

900×900

トップライトB

(注) トップライトBは同形とする。

360

ﾗﾝﾀﾞﾑ張ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 厚さ60
500×500×60

ﾓﾙﾀﾙ

1430

1950

空冷ユニット基礎

ﾓﾙﾀﾙ塗

ｽﾀｯﾌﾄﾞﾎﾞﾙﾄ M16×200

土間水勾配1/20

廊下

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ

ｽﾀｯﾌﾄﾞﾎﾞﾙﾄ M16×200

ﾓﾙﾀﾙ塗

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ

L-75×75×6
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ M16×600 @=300

炉室

灰出しコンベヤ室

廊下

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ

仕上天

鉄骨 梁天

X 7.8 m

X 8.9 m

灰出コンベヤ

灰出コンベヤ中心

廊下

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ

G.L

Y2　Y5　Y6　Y9　Y12　Y13

手すりパイプ(スクリーン)ラッパーブロック

便所

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ

ﾓﾙﾀﾙ塗

ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ M16×200

空冷ユニット基礎

Y2

汚泥タンク室

廊下

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ

廊下

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ

ﾓﾙﾀﾙ塗

ｽﾀｯﾌﾄﾞﾎﾞﾙﾄ M16×200

ﾓﾙﾀﾙ塗

ｽﾀｯﾌﾄﾞﾎﾞﾙﾄ M16×200

脱臭装置室

玄関ホール

ﾓﾙﾀﾙ塗 EP

ﾓﾙﾀﾙ塗 EP

ﾓﾙﾀﾙ塗 EP

ﾓﾙﾀﾙ塗 EP

ｱﾙﾐｻｯｼ

ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ

ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ

G.L

Y1　Y3　Y5

昭和53年　月　日　係員　係長　課長　部長

福山市建設局建築部　建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 33

断面詳細図 其の7

尺度 1:50

昭和　年　月　日

株式会社タクマー一級建築士事務所
建築事務所大阪府(に)二933号　電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号　大ケ瀬正美

株式会社タクマ

昭和53年 月 日	係員 係長 課長 部長
福山市建設局建築部建築課	

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号-大阪府(二)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

断面詳細図 其の8

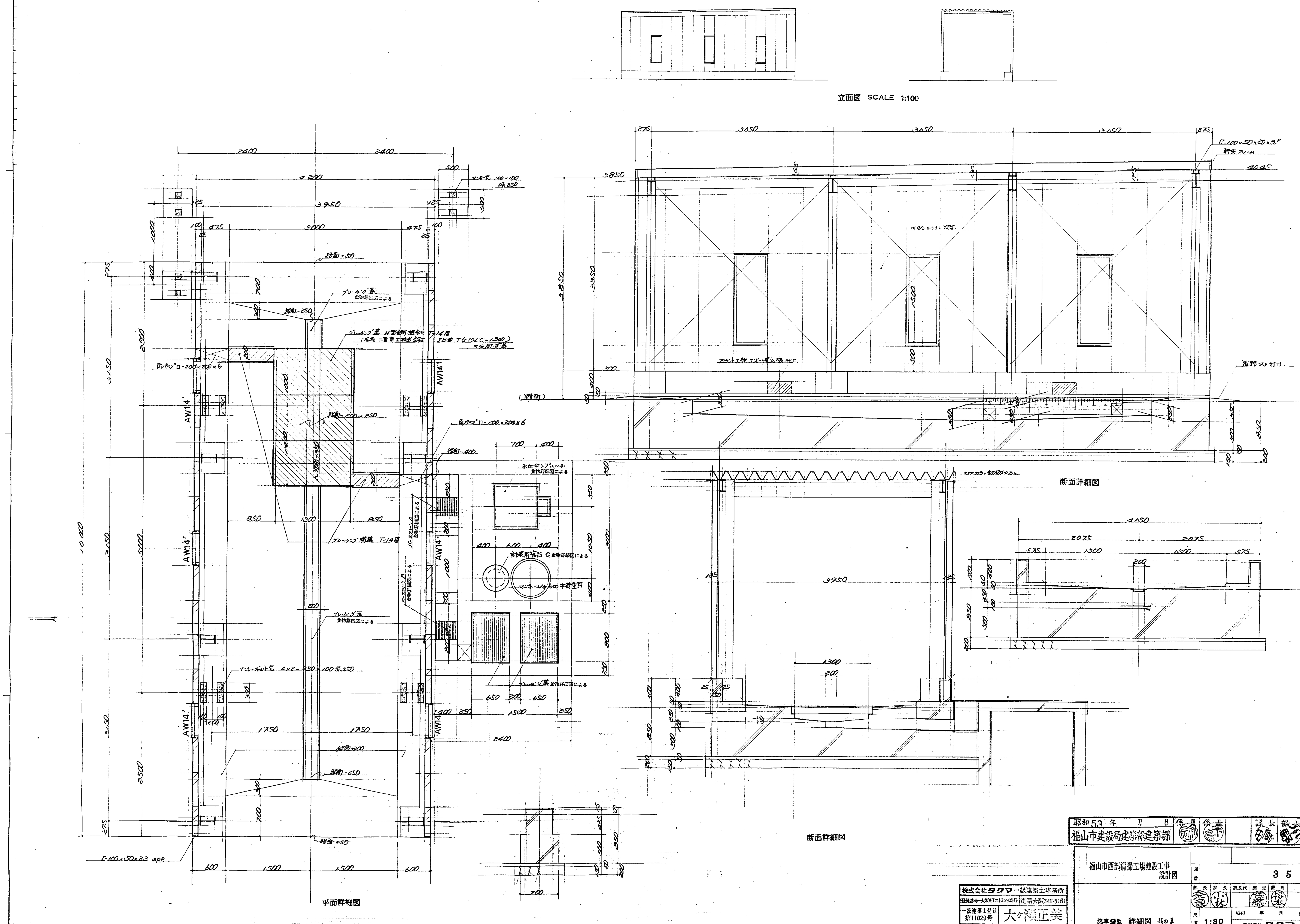
図番 3 4

部長 課長 課長代 調査 設計

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ



昭和53 年 月 日	係員	係長	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号-大阪府(ニ)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

図番 35

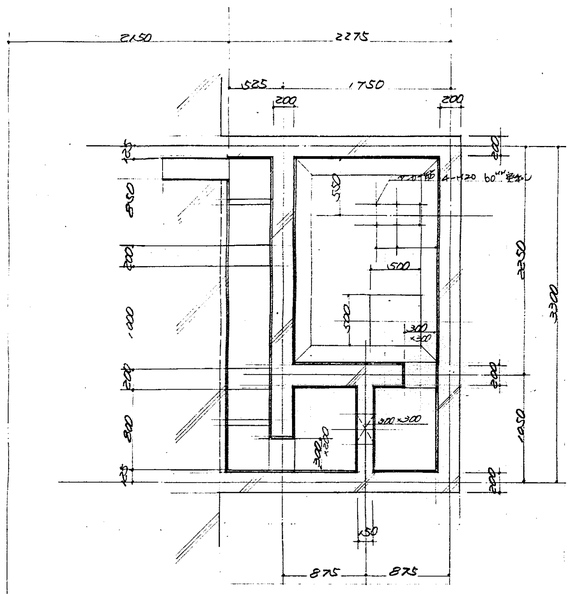
部長	課長	課長代	調査	設計

洗車装置 詳細図 其の1

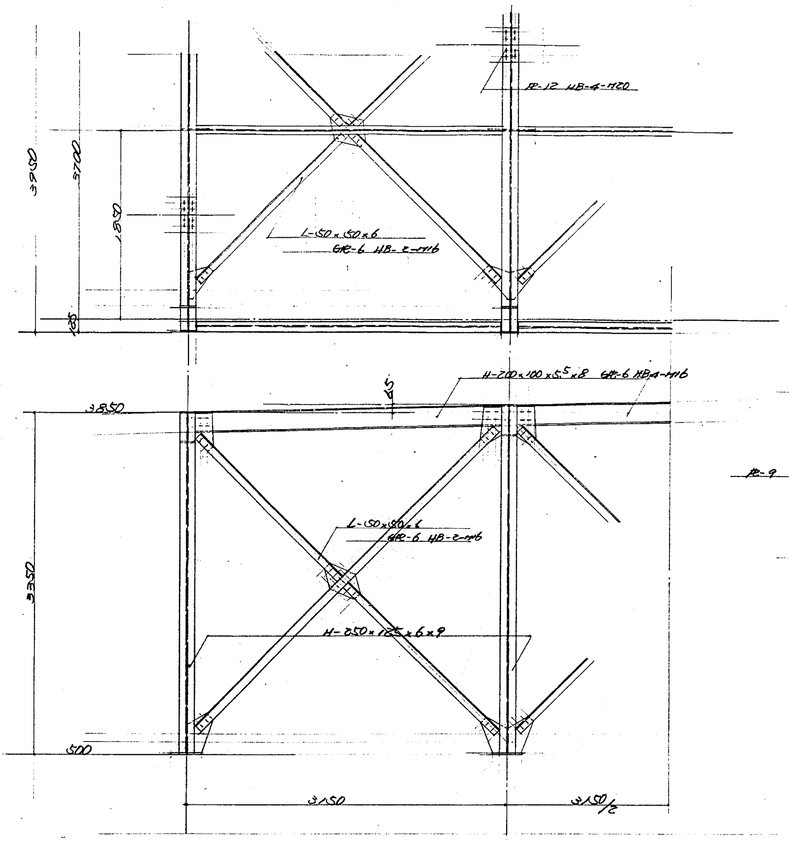
尺度 1:30

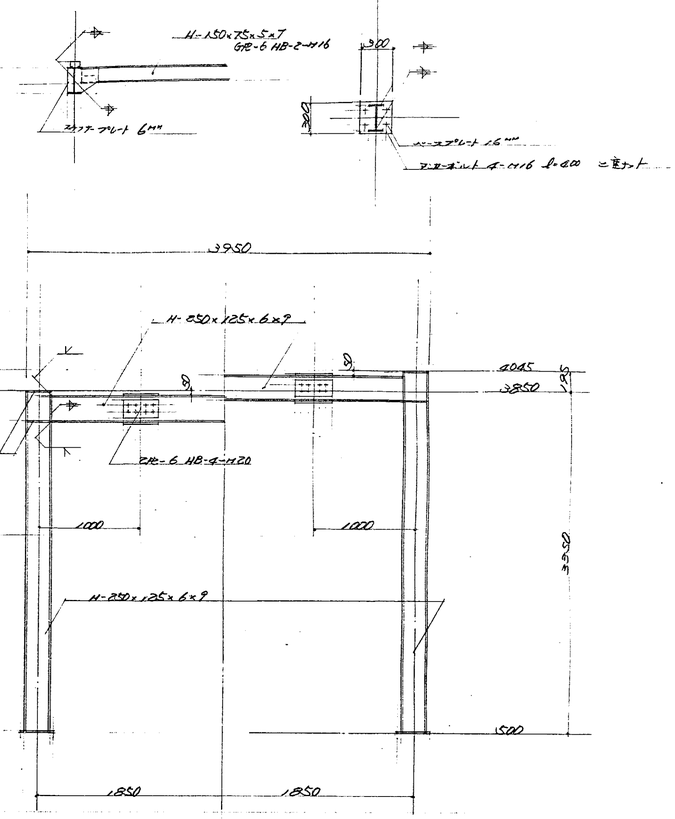
昭和 年 月 日

株式会社タクマ

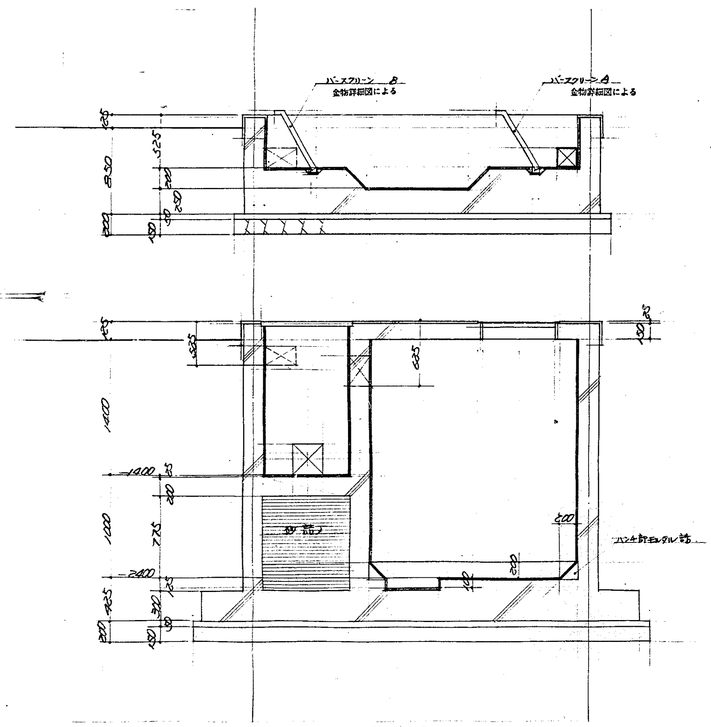


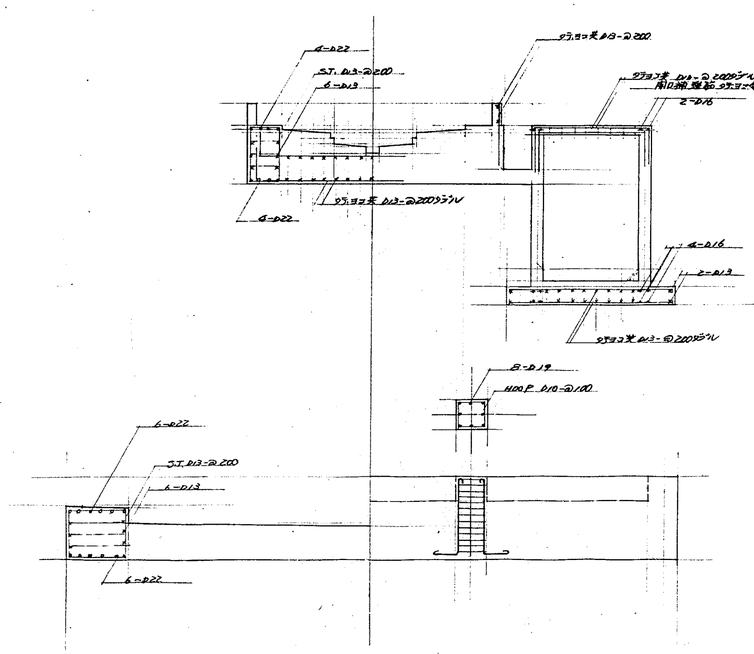
平面詳細図

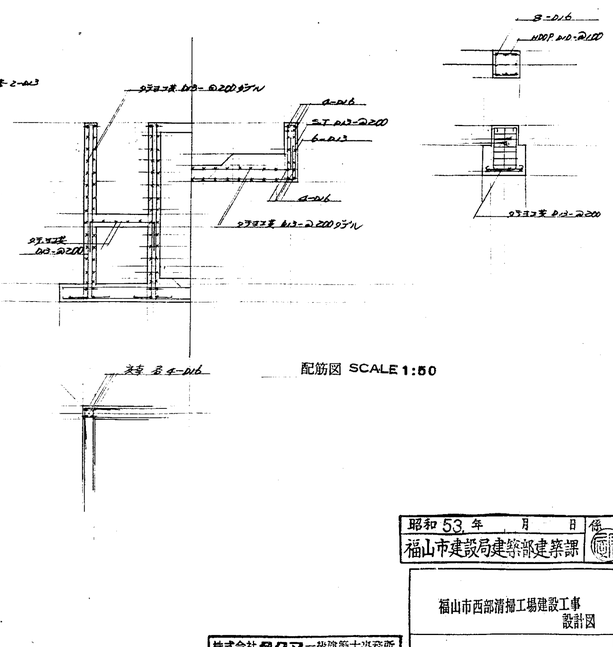




鉄骨詳細図







配筋図 SCALE 1:50

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

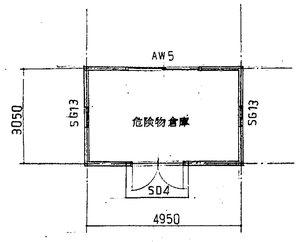
図番 36

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(ニ)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

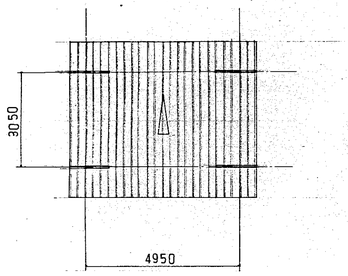
部長	課長	課員代	同室設計

尺度 1:80 1:50
昭和 年 月 日
株式会社タクマ

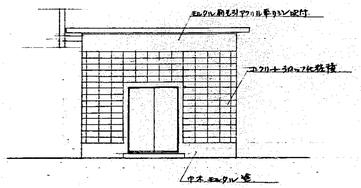
洗車装置 詳細図 其の2



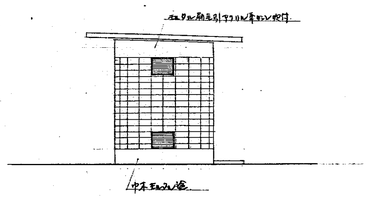
1 階 平面図



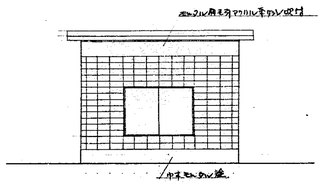
屋 根 平面図



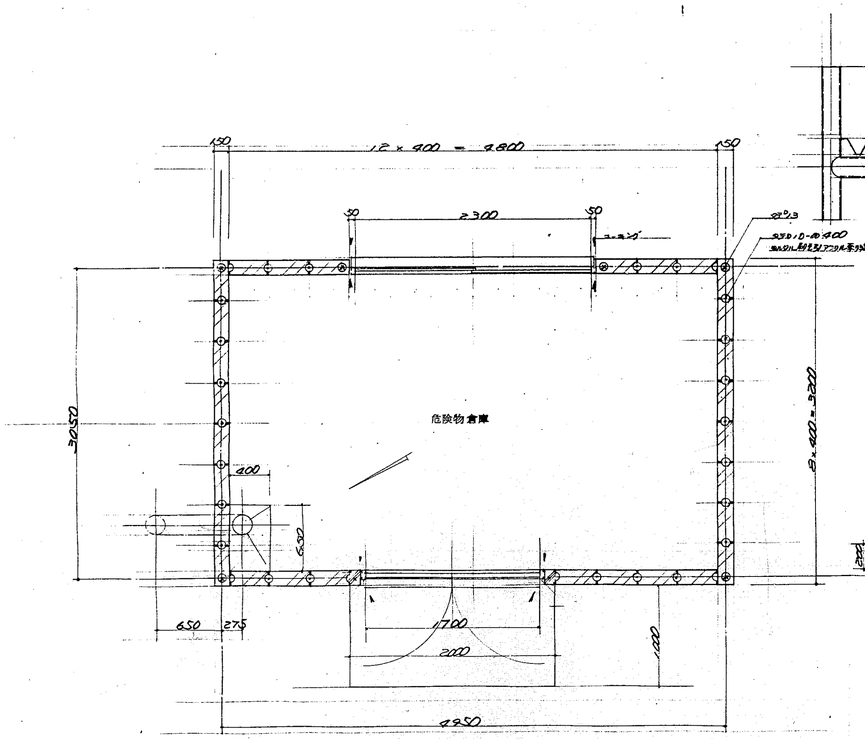
西面 立面図



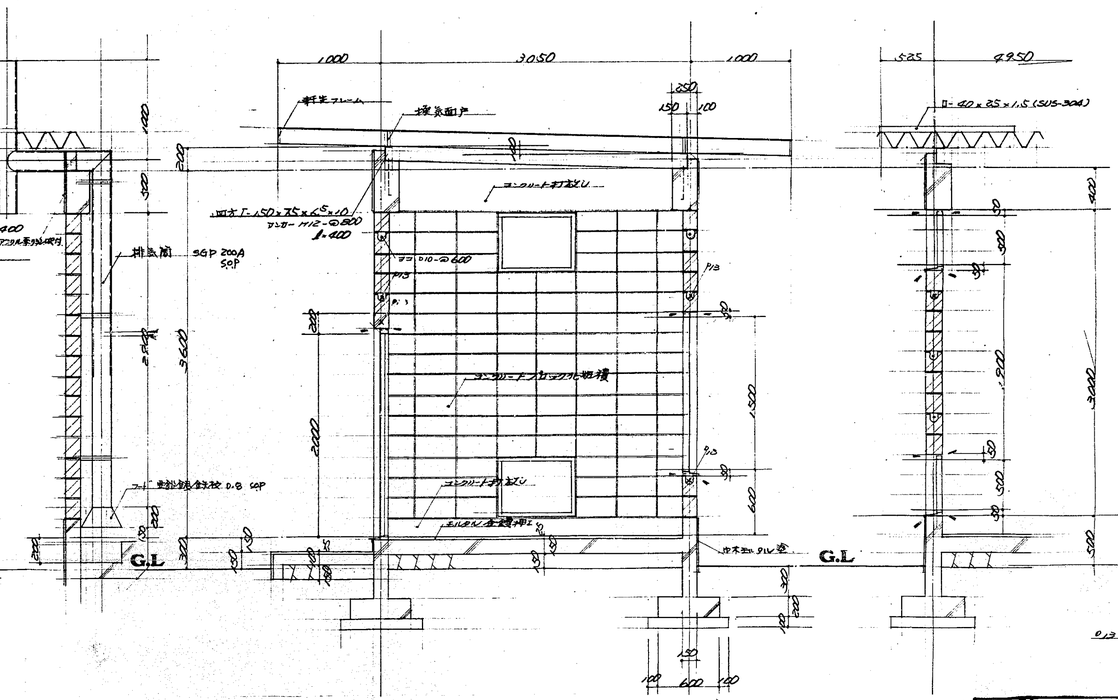
北面 立面図



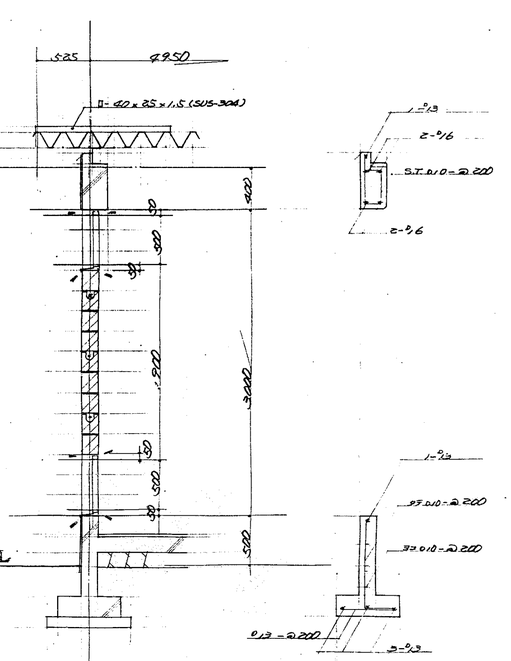
東面 立面図



平面詳細図



断面詳細図



昭和 53. 年 月 日	係員 係長 課長 部長
福山市建設局建築部建築課	

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 3 7

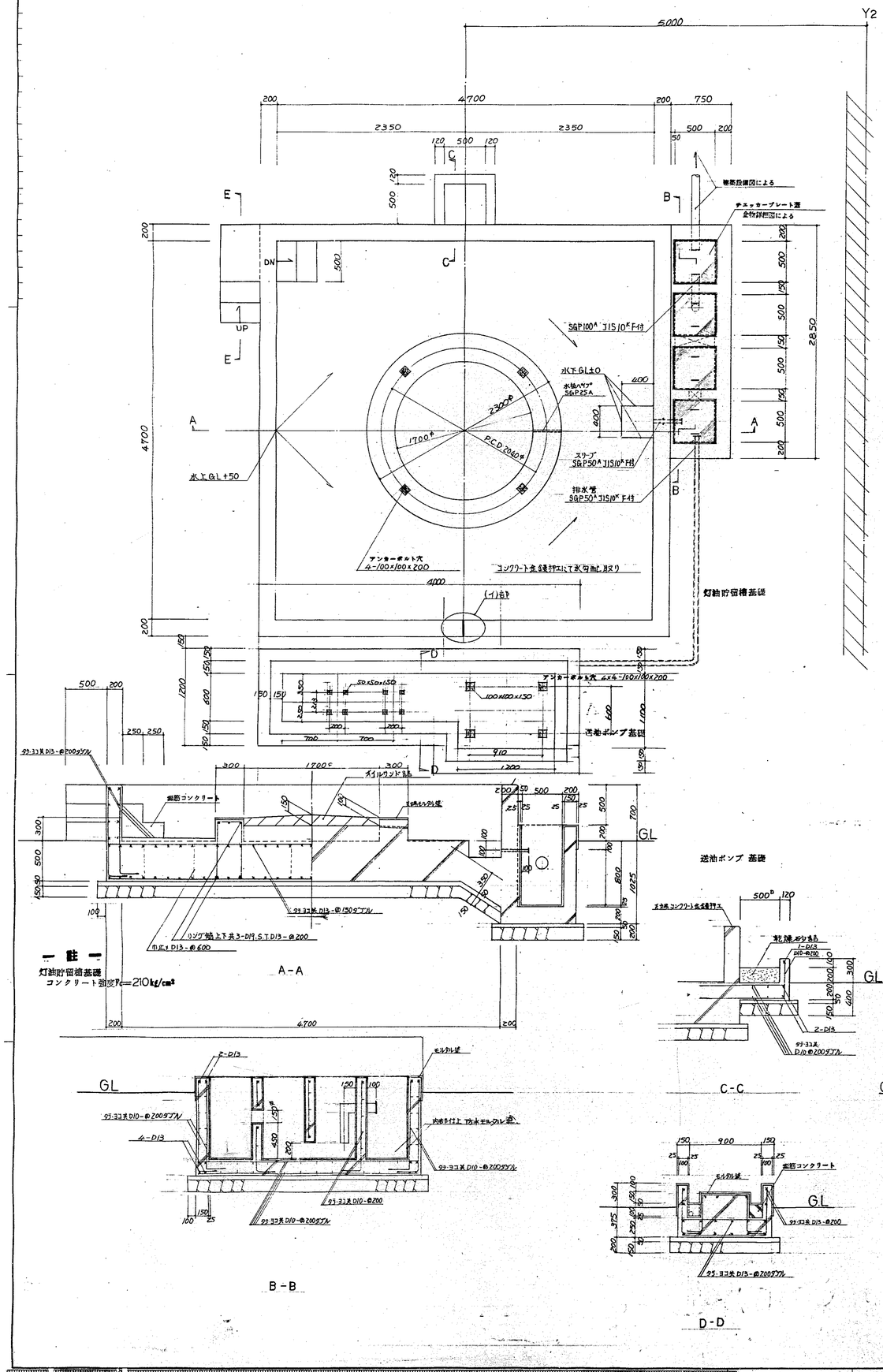
危険物 倉庫 詳細図

尺度 1:50 1:100

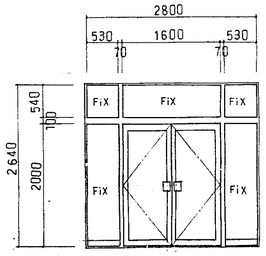
昭和 年 月 日

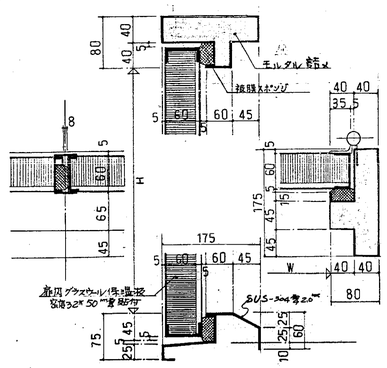
株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

株式会社タクマ


5000
Y2
4700
200
750
2350
2350
500
200
120
500
120
50
C
E
B
DN
500
UP
A
1700φ
2300φ
PCD2040φ
水抜ヘッダ SGP25A
400
水下GL±0
水上GL+50
スリーブ SGP50A JIS10K FH
排水管 SGP50A JIS10K F付
アンカーボルト穴 4-100×100×200
コンクリート金鏡押えにて水勾配とり
(イ)詳
灯油貯留槽基礎
4700
200
150
1200
150
150
150
600
150
500
200
250
250
300
1700φ
300
オイルサンド詰
鉄筋コンクリート
モルタル塗
リング端上下共3-D19 S.T D13-@200
D13-@150ダブル
D13-@600
A-A
一 註 一
灯油貯留槽基礎
コンクリート強度Fc=210kg/cm²
2-D13
GL
150
100
D10-@200ダブル
内面防汚上塗ホルコレ塗
4-D13
450
200
D10-@200ダブル
B-B
逆油ポンプ 基礎
500
120
天端コンクリート金鏡押え
乾燥モルタル詰
1-D13
D10-@100
GL
300
200
200
150
50
400
2-D13
D13-@200ダブル
C-C
250
250
700
天端コンクリート金鏡押え
D13
D13-@200 ダブル
700
±233
120
D10
550
GL
100
D10
D10
E-E
150
900
150
25
25
100
100
鉄筋コンクリート
モルタル塗
GL
300
150
100
375
250
50
200
150
D13-@200ダブル
D-D
コーキング
15
VW #16 L=200
D13
D13
鋼板 t=1.0 (特レ-7相)
(イ)部詳細
100
15
100
3500/2
1850/2
モルタル塗の上タールエポキシ塗
D13-@200
GL
500
400
200
100
300
50
150
D13-@200
帯主筋 D16-@500 肋筋共
3450
苛性ソーダ貯槽他基礎
アスファルト舗装
密粒式アスファルト舗装(プライムコート使用)
仕上厚50㎜
砕石路盤 クラッシャーラン仕上厚200㎜
(既設取合部分も補修も同じ)
通路
縁石
縁石 境界ブロック 150/210×300×600
(既設と合わす)
縁石直角又は道路取合いは現場決定
200
350
クラッシャーラン
モルタル
砂利敷
昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員
係長
課長
部長
福山市西部清掃工場建設工事
設計図
図番 38
灯油貯留槽基礎
補機械基礎 詳細図
尺度 1:30
部長 課長 課民代 調査 設計
昭和 年 月 日
株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(ニ)第2932号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美
株式会社タクマ

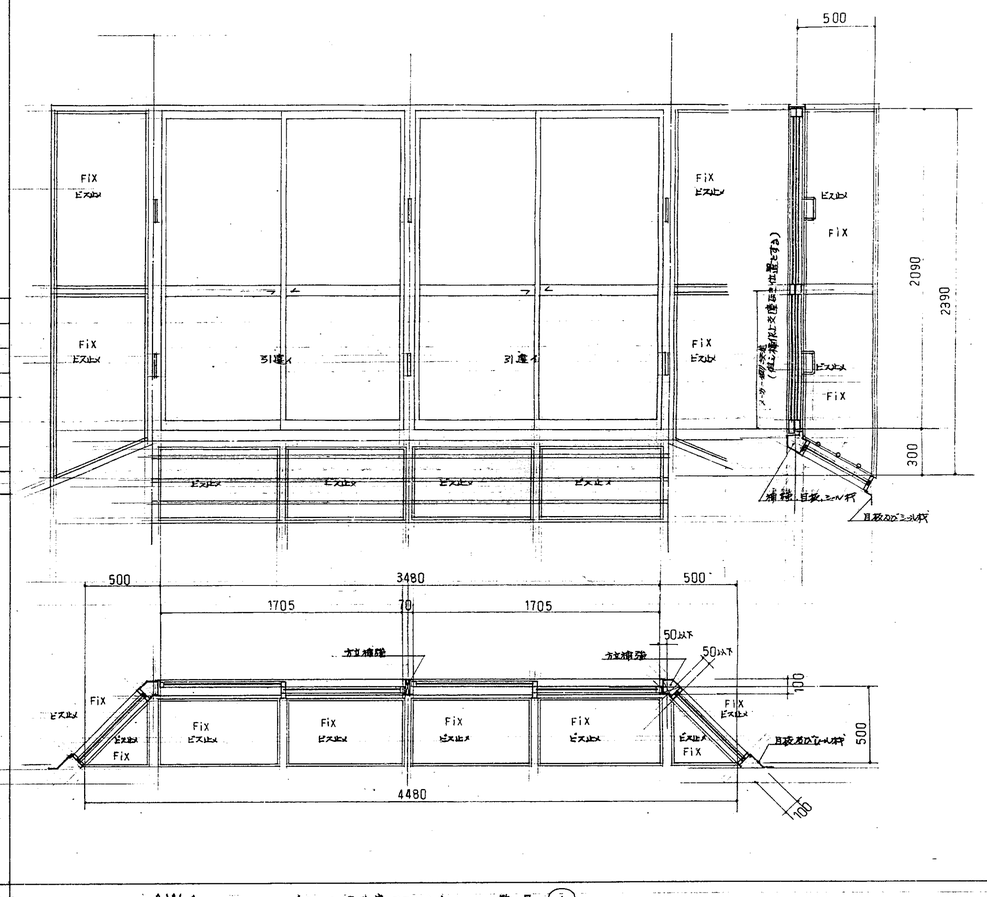
位置
玄関ホール



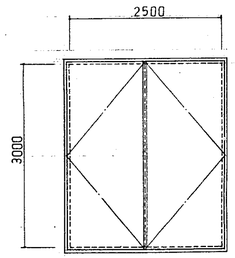


記号	AD 1　　数量 ①
形式	風雨き戸 両袖 ランマ共 敷居レ
材料	アルミ製
見込	枠 70㎜　扉 40㎜
金物	フロアーヒンジ、押板(ヒドロ)、シリンダー錠、
硝子	磨き網入硝子 6.8㎜
塗装	
備考	内外 三方コーキング

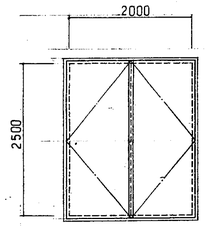
（ナカ音扉の特記事項）
補強位置はメーカー振りとする



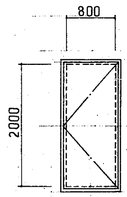
位置
診引送風機室



位置
発電気室



位置
空気圧縮機室
診引送風機室
発電気室

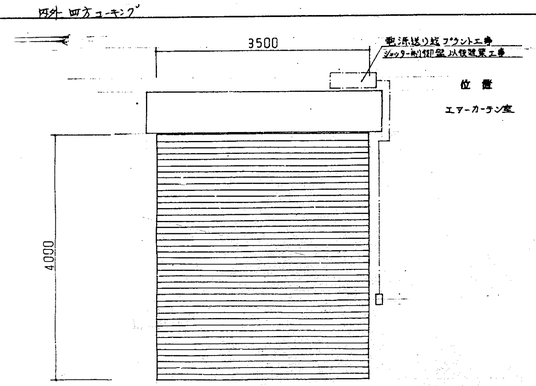


記号	SD 1　　数量 ①
形式	両用き 鋼製フラッシュ戸　（防音扉）
材料	亜鉛メッキ鋼板.　枠 3.2㎜　扉 1.6㎜
見込	枠 114㎜　扉 60㎜
金物	大形ブームストッパー、重量丁番、防音ドアーロック(デットボルトシリンダー錠付).
硝子	
塗装	S.O.P
備考	内外 四方コーキング

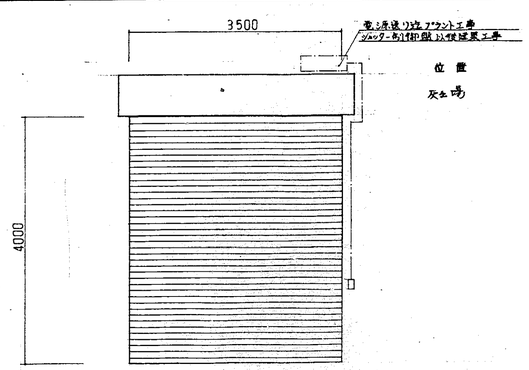
記号	SD 2　　数量 ①
形式	同左
材料	同左
見込	同左
金物	同左
硝子	
塗装	同左
備考	同左

記号	SD 3　　数量 ④
形式	片開き 両面フラッシュ戸（防音扉）
材料	同左
見込	同左
金物	ブームストッパー、丁番、防音ドアーロック(シリンダー錠付)
硝子	
塗装	同左
備考	同左

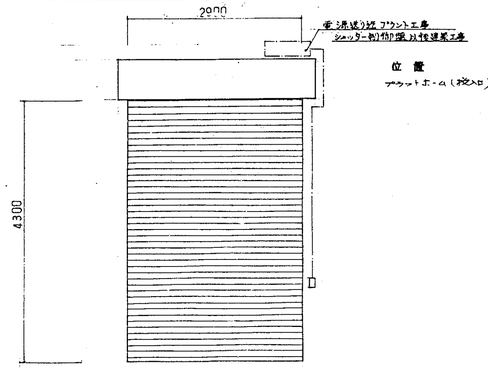
記号	AW 1　（クレーン操作室スクリーン）　数量 ①
形式	引違イ、敷板レ(ビス止メ)組合セ、（気密 0.2㎥/hr㎡）
材料	アルミ製
見込	枠 100㎜　障子 38～45㎜
金物	引違イロ戸車、上下連動錠付ハンドル、敷板レロ補除の時引き込み側に取り付け補強ビス止メとする。
硝子	磨き網入硝子 6.8㎜
塗装	
備考	内外 四方コーキング エアタイト枠 目板取付、取ほずし 足掛パイプ(SUS-304) 21.7φ×2.0、補強用吊金フック(SUS-304) 16φ 6ヶ所取付共



位置
エアーカーテン室



位置
灰土場



位置
プラットホーム（投入口）

記号	SS 1　　数量 ②
形式	上部電動式 重量シャッター
材料	亜鉛メッキ鋼板厚1.6㎜（スラット両側間100黒ガイズ）、ステンレス鋼板(レール厚3.0㎜、まぐさ座板厚1.5㎜)
	シャッター制御盤、三巻スイッチ両側(操用)制御側に重量シリンダー錠付、手動力消用型、扉開機 三相200V 0.4KW。
塗装	S.O.P
備考	

記号	SS 2　　数量 ②
形式	同左
材料	同左
	同左
塗装	同左
備考	

記号	SS 3　　数量 ①
形式	同左
材料	シャッターケース及びスラット SUS-304 厚1.5㎜ ピッチ70×80 (総延長) および、座板、レール SUS-304 厚2.0㎜
	同左　（但し三巻スイッチはプラットホーム側のみ使用）。
塗装	同左　（但しSUS部は素地）
備考	

昭和53年　月　日　係員　係長　課長　部長
福山市建設局建築部建築課

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 一大阪所(二)第2933号　電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号　六ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

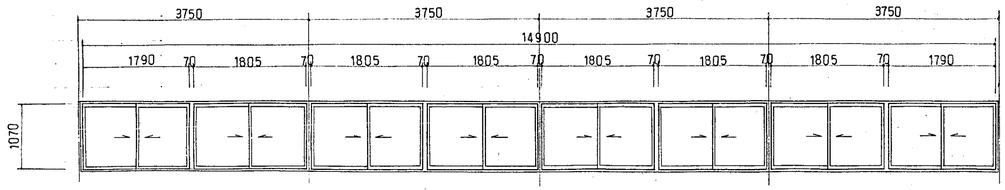
図番 39

建具表　其の1

部長	課長	課長代	調査	設計

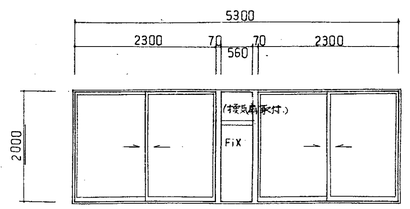
尺度　昭和　年　月　日　株式会社タクマ

AW 2



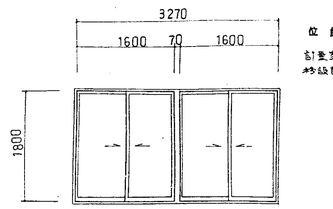
記号	AW 2　数量 ①
形式	引違い窓　(8連)
材料	アルミ製
見込	枠 70㎜　障子 25㎜
金物	下部戸車，亜鉛ダイキャスト製クレセント
硝子	網入型板(ﾀﾌﾗｽ)硝子 6.8㎜
塗装	
備考	AL.C 版取付 四方四外コーキング．外下部水切板

AW 3



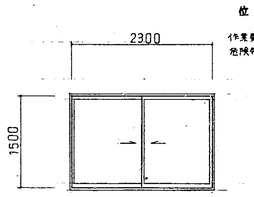
記号	AW 3　数量 ①
形式	両側引違い窓 中央嵌殺し窓
材料	アルミ製
見込	枠 70㎜．障子 25㎜
金物	下部戸車，亜鉛ダイキャスト製クレセント
硝子	網入型板(ﾀﾌﾗｽ)硝子 6.8㎜
塗装	
備考	外部四方コーキング　外部下部水切板，内部戸当縁用アングルピース（採光面取付は建築部材による）

AW 4



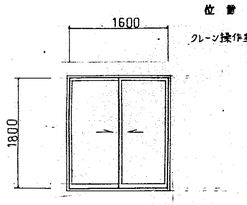
記号	AW 4　数量 ②
形式	引違い窓 2連
材料	アルミ製
見込	枠 70㎜．障子 25㎜
金物	下部戸車，亜鉛ダイキャスト製クレセント
硝子	フロート板硝子 5.0㎜
塗装	
備考	同左

AW 5



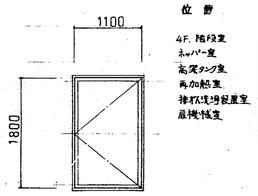
記号	AW 5　数量 ②
形式	引違い窓
材料	アルミ製
見込	枠 70㎜．障子 25㎜．
金物	下部戸車，亜鉛ダイキャスト製クレセント
硝子	網入型板(ﾀﾌﾗｽ)硝子 6.8㎜ (ARUS 網入 6.8㎜ ・)
塗装	
備考	外部四方コーキング．下部水切板，内部アングルピース

AW 6



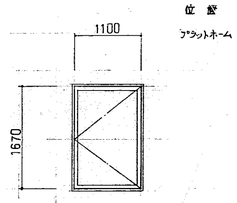
記号	AW 6　数量 ①
形式	引違い窓．(気密 0.2㎥/hr㎡)．
材料	アルミ製
見込	枠 100㎜　障子 38㎜以上．
金物	下部戸車．上下連動ハンドル締付．
硝子	磨き網入型板硝子 6.8㎜
塗装	
備考	四外四方コーキング，内部アングルピース．

AW 7' (7) AW 7 (8)



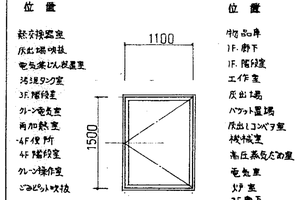
記号	AW 7' (7) AW 7 (8)
形式	開き窓．
材料	アルミ製．
見込	枠 100㎜．障子 40㎜
金物	丁番．締付ハンドル．文鎮ゆとり．
硝子	網入型板(ﾀﾌﾗｽ)硝子 6.8㎜
塗装	
備考	(註) AW7'はガラス止メをパテ止メとする． RC部　外部四方コーキング　下部水切板 ALC部 四外四方コーキング　下部水切板

AW 8



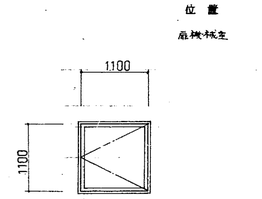
記号	AW 8　数量 ④
形式	同左
材料	同左
見込	同左
金物	同左
硝子	同左
塗装	
備考	同左

AW 9' (6) AW 9



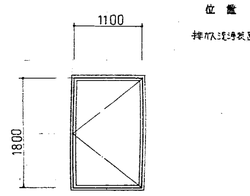
記号	AW 9' (6) AW 9　数量 (57)
形式	同左
材料	同左
見込	同左
金物	同左
硝子	同左
塗装	
備考	(註) AW9'はガラス止メをパテ止メとする 同左

AW 10



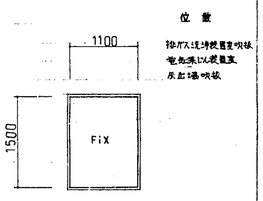
記号	AW 10　数量 ③
形式	同左
材料	同左
見込	同左
金物	同左
硝子	同左
塗装	
備考	同左

AW 11



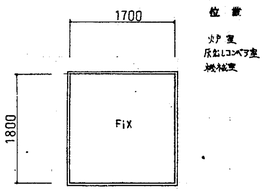
記号	AW 11　数量 ②
形式	同左
材料	同左
見込	枠 70㎜
金物	T番，締り止メ，オペレーター
硝子	同左
塗装	
備考	同左

AW 12



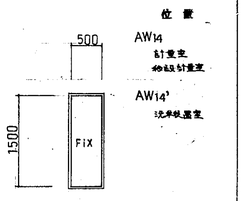
記号	AW 12　数量 ⑦
形式	嵌殺し窓
材料	アルミ製
見込	枠 70㎜
金物	
硝子	網入型板(ﾀﾌﾗｽ)硝子 6.8㎜
塗装	
備考	RC部　外部 四方コーキング 下部水切板 ALC部 四外 四方コーキング 下部 水切板

AW 13



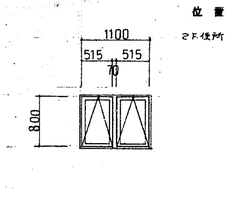
記号	AW 13　数量 ⑤
形式	同左
材料	同左
見込	同左
金物	
硝子	同左
塗装	
備考	同左

AW 14 (4) (AW 14') (6)



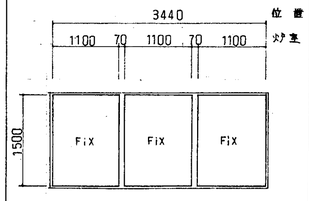
記号	AW 14　数量 (4) (AW 14')　数量 (6)
形式	同左
材料	同左
見込	同左
金物	
硝子	フロート板硝子 5.0㎜ (AW 14' は網入型板硝子 6.8㎜)
塗装	
備考	外部四方コーキング　下部水切板 内部アングルピース

AW 15



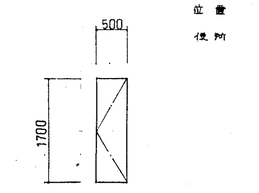
記号	AW 15　数量 ①
形式	突出し窓
材料	同左
見込	同左
金物	
硝子	網入型板(ﾀﾌﾗｽ)硝子 6.8㎜
塗装	
備考	同左

SW 1



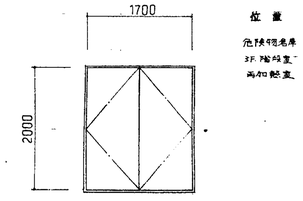
記号	SW 1　数量 ②
形式	嵌殺し窓 (3連)　SD 5 組合せ
材料	亜鉛メッキ鋼板
見込	枠 85㎜
金物	
硝子	磨き網入石硝子 6.8㎜
塗装	S.O.P
備考	炉室側 四方コーキング．内部アングルピース

WD 2



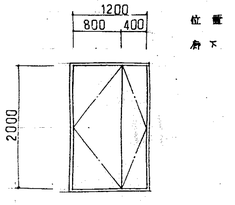
記号	WD 2　数量 ③
形式	片開き両面フラッシュ戸
材料	メラミン化粧合板
見込	35㎜
金物	ラバトリーヒンジ，ラバトリー戸当，ラバトリーストック，ラッチ式
硝子	
塗装	枠 SOP
備考	

SD 4



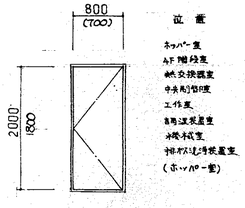
記号	SD 4　数量 ④
形式	両開き両面フラッシュ戸 (甲種防火戸)
材料	亜鉛メッキ鋼板　枠 2.0㎜ パネル 0.8㎜
見込	枠 85㎜．扉 35㎜
金物	T番，ストッパーなしドアクチ．握玉，錠前，吸収調整器 (両側取付)
硝子	
塗装	S.O.P
備考	

SD 5



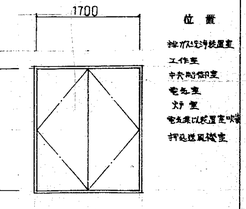
記号	SD 5　数量 ②
形式	親子式 両開き両面フラッシュ戸 (甲種防火戸)
材料	亜鉛メッキ鋼板　枠 2.0㎜ パネル 0.8㎜
見込	枠 85㎜　扉 35㎜
金物	T番，ストッパーなしドアクチ．(両側取付) 握玉，錠前，吸収調整器
硝子	
塗装	S.O.P
備考	

SD 6' 1 SD 6



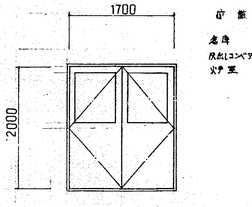
記号	SD 6'　1　SD 6　数量 ⑬
形式	片開き両面フラッシュ戸 (甲種防火戸)
材料	同左
見込	同左
金物	T番，ストッパーなしドアクチ．握玉錠前
硝子	
塗装	同左
備考	

SD 7



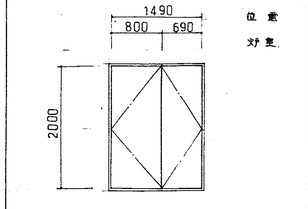
記号	SD 7　数量 ⑦
形式	両開き両面フラッシュ戸
材料	同左
見込	同左
金物	T番，ドアクチ，フランス落し，吊止メ，握玉，ショルダー錠．
硝子	
塗装	同左
備考	(註) 扉と送風機室他所 枠エアータイト型式とする

SD 8



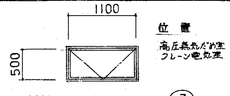
記号	SD 8　数量 ③
形式	同左
材料	同左
見込	同左
金物	同左
硝子	網入型板(ﾀﾌﾗｽ)硝子 6.8㎜
塗装	
備考	(註) 2階炉室 1位所内部個別安全ぐさりと設計。

SD 9



記号	SD 9　数量 ②
形式	同左
材料	同左
見込	同左
金物	同左
硝子	
塗装	
備考	同左

AW 16



AW 16 排煙用内倒窓 ③

アルミ製 枠 70㎜ 内開き網一式 ｽﾍﾟﾘｰﾀｰ

網入型板硝子 6.8㎜

特記なき限り下記による。

水切板他は枠と同種表を使用

重量扉以外の一般扉はステンレス丁番ﾆ枚吊りとする。

木製建具は四方化粧打廻しの事。

アルミ製建具の表面処理は陽極酸化皮膜

のと熱硬化性樹脂塗とする。

アングルピースは可変合板張割合せて取付。

強設補強材はメーカーて対応の事。

金物は建具重量に合せて丈夫なものを選定の事。

金物材質はメーカー仕様による事。

昭和 53 年 月 日　係員　係長　課長　部長

福山市建設局建築部建築課

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(ニ)第2933号　電話大阪(346)5161
一級建築士登録 第11029号　大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 40

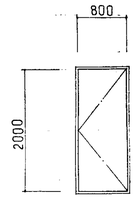
部長 課長 課長代理 係長 係員

尺度 N　昭和 年 月 日

建具表 其の2

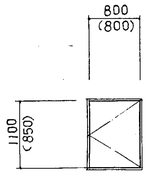
株式会社タクマ

SD10 数量 (10)



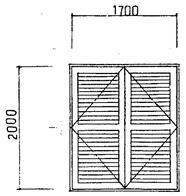
記号	SD10 数量 (10)
形式	片開き 両面フラッシュ戸
材料	亜鉛メッキ鋼板 枠2.3㎜ 扉パネル0.8㎜
見込	枠 85㎜ 扉 36㎜
金物	丁番、ドアーチェック、焼止メ、握玉シリンダー錠
硝子	
塗装	S.O.P
備考	A.L.C部 内外ミカユーキング R.C部 外部ミカユーキング (電力・弱公衆回線装置の部は枠外エアタイト型式とする)

SD11 (1) (SD11') (2)



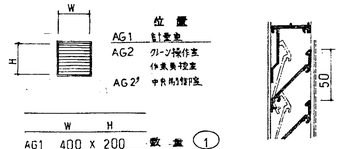
記号	SD11 (1) (SD11') (2)
形式	排煙用鉄扉 片面フラッシュ
材料	亜鉛メッキ金属板 枠2.3㎜ 扉パネル1.6㎜
見込	同左
金物	丁番、オペレーター
硝子	
塗装	
備考	外部ミカユーキング

SD12 数量 (1)



記号	SD12 数量 (1)
形式	両開きガラリ扉
材料	亜鉛メッキ鋼板枠2.3㎜ 扉パネル0.8㎜ ガラリ桟1.2㎜@50㎜
見込	同左
金物	丁番、焼止メ、フランス落し付握玉シリンダー錠
硝子	
塗装	S.O.P.
備考	外部ミカユーキング

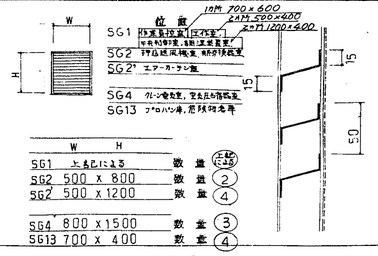
AG (可動ガラリ)



W	H		
AG1 400	x 200	数量	(1)
AG2 500	x 300	数量	(2)
AG2' 800	x 450	数量	(3)

記号	AG (可動ガラリ)
形式	可動ガラリ
材料	アルミ製
見込	枠 50㎜ ステンレス防虫網 (枠付外部ビス止メ)
金物	扉用金物
硝子	
塗装	
備考	A.L.C部 内外四方ユーキング R.C部 外部四方ユーキング

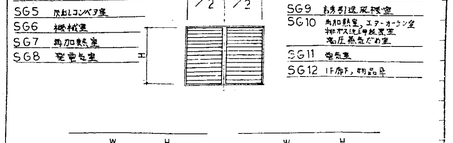
SG (固定ガラリ)



W	H		
SG1 上記による		数量	(上記による)
SG2 500	x 800	数量	(2)
SG2' 500	x 1200	数量	(4)
SG4 800	x 1500	数量	(3)
SG13 700	x 400	数量	(4)

記号	SG (固定ガラリ)
形式	固定式ガラリ
材料	亜鉛メッキ鋼板枠 枠2.3㎜ ガラリ桟1.2㎜@50㎜
見込	枠 50㎜ ステンレス防虫網 (但し SG1,13 は鋼製網併付とする) (ステンレス防虫網は枠付外部ビス止メとする)
金物	
硝子	
塗装	S.O.P
備考	同左

SG (固定ガラリ)

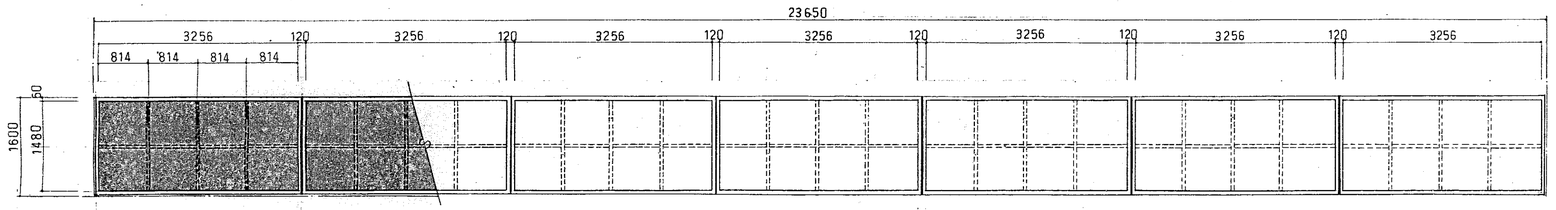


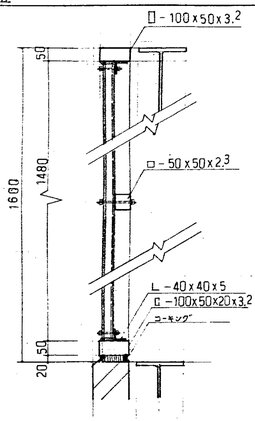
W	H		
SG5 1100	x 500	数量	(2)
SG6 1100	x 800	数量	(1)
SG7 1100	x 1000	数量	(2)
SG8 1100	x 1300	数量	(1)
SG8 --- 防火ダンパー付			

W	H		
SG9 1100	x 2200	数量	(1)
SG10 1100	x 1200	数量	(8)
SG11 1100	x 1500	数量	(1)
SG12 1300	x 800	数量	(2)

記号	SG (固定ガラリ)
形式	同左
材料	同左
見込	同左 (ステンレス防虫網は枠付外部側ビス止メとする)
金物	
硝子	
塗装	同左
備考	同左

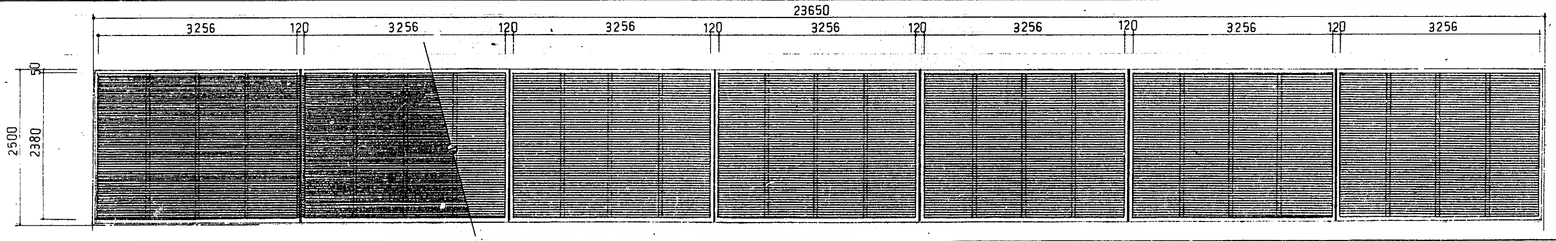
Wo 数量 (2)

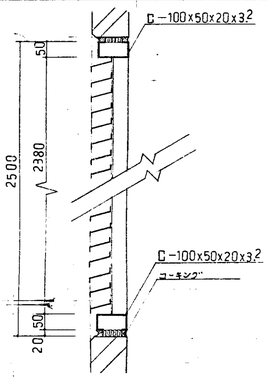




記号	Wo 数量 (2)
形式	波型嵌子フック止メ 採光窓
材料	軽量鉄骨
見込	枠 100㎜
金物	フックボルト
硝子	波形網入嵌子 6.0㎜ 小波 (重ね2山半)
塗装	S.O.P
備考	内外即 四方コーキング

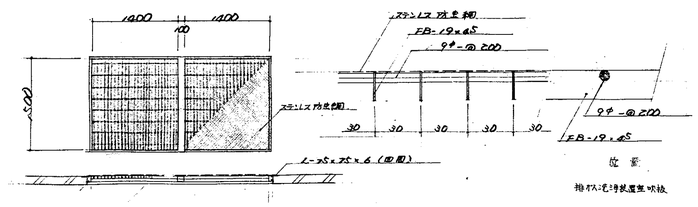
Go 数量 (2)





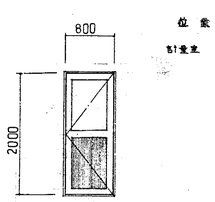
記号	Go 数量 (2)
形式	連続固定ガラリ.
材料	軽量鉄骨及亜鉛メッキ鋼板.
見込	枠 100㎜ ステンレス防虫網. (枠付外部側ビス止メ)
金物	
硝子	
塗装	S.O.P
備考	内外 四方コーキング

G1 数量 (1)



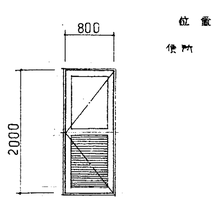
記号	G1 数量 (1)
形式	ガラリ (ブレーチング形式)
材料	SS41 枠32 (鋼板).
見込	枠 50㎜
金物	
硝子	
塗装	S.O.P.
備考	内外四方コーキング.

AD2 数量 (1)



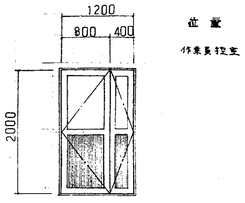
記号	AD2 数量 (1)
形式	片開き時パネル扉
材料	アルミ製
見込	枠 70㎜ 扉 40㎜
金物	丁番、ドアーチェック、握り玉シリンダー錠
硝子	額入型板石時子 6.8㎜
塗装	
備考	外部四方コーキング

AD3 数量 (3)



記号	AD3 数量 (3)
形式	片開き時ガラリ扉
材料	同左
見込	同左
金物	同左
硝子	型板石時子 4㎜
塗装	
備考	扉下側 四方コーキング

AD4 数量 (1)



記号	AD4 数量 (1)
形式	親子式 両開き扉
材料	同左
見込	同左
金物	丁番、ドアーチェック、握り玉シリンダー錠、ブラシ当り
硝子	同左
塗装	
備考	同左

昭和 53 年 月 日 係員 係長 課長 部長

福山市建設局建築部建築課

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)12933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

図番 41

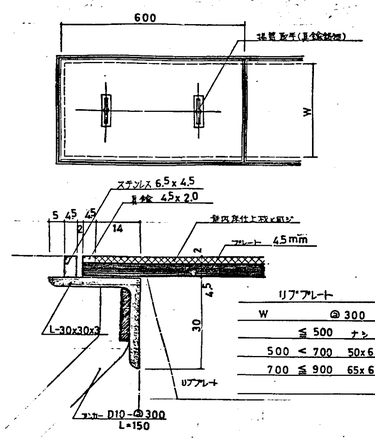
建具表 其の3

部長 課長 課長代 関係 設計

尺度

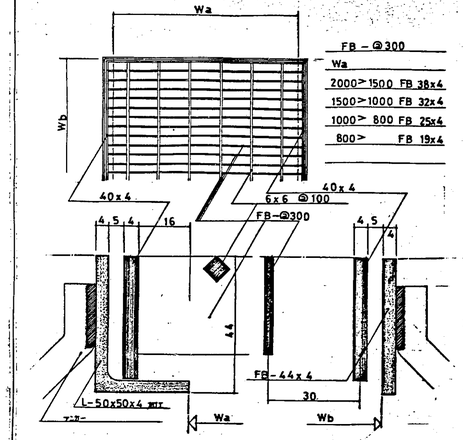
昭和 年 月 日

株式会社タクマ



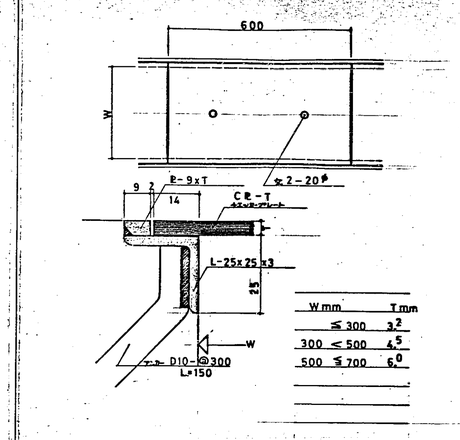
名称 化粧蓋
SCALE 1:10

材料 SS41
塗装 コールタール塗付又は塗。



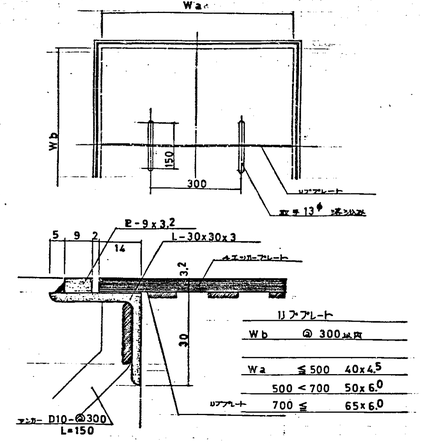
名称 グレーチング蓋
SCALE 1:10

材料 SS41.
塗装 グレーチングは亜鉛めっきドブ漬け。コールタール塗付又は塗。



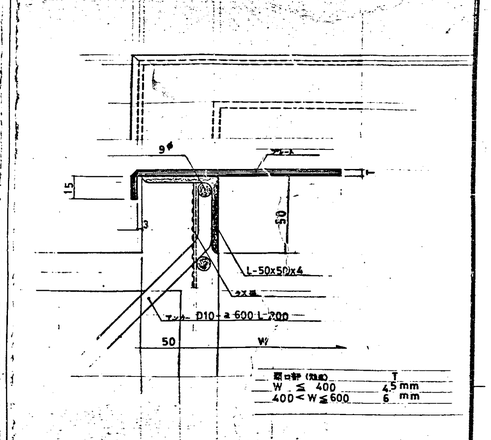
名称 溝蓋
SCALE 1:10

材料 SS41
塗装 コールタール塗付又は塗。



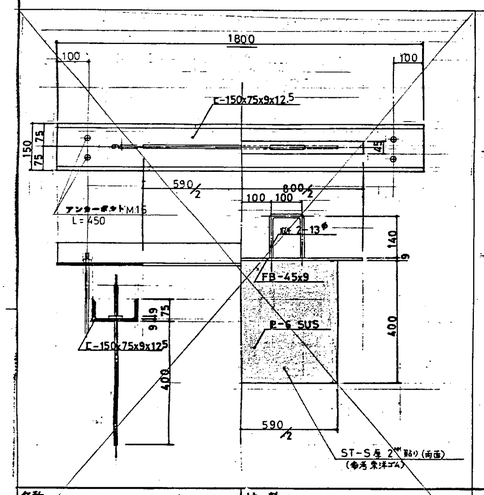
名称 チェッカープレート蓋
SCALE 1:10

材料 SS41.
塗装 コールタール塗付又は塗。



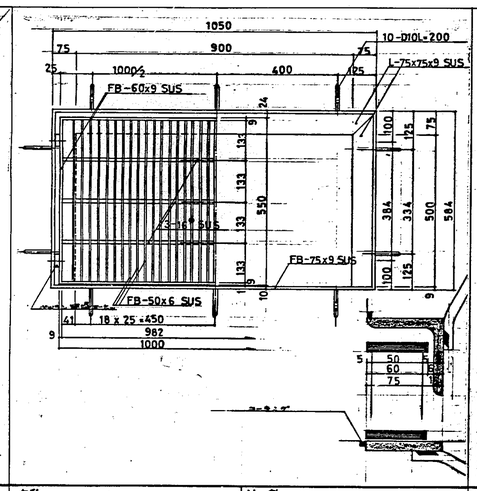
名称 プレート蓋
SCALE 1:2

材料 SS41
塗装 コールタール塗付又は塗。



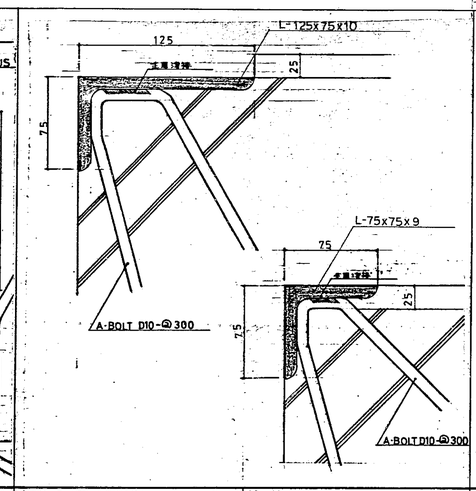
名称 シールチャンネル・ゲート板
SCALE 1:10

材料 SS41 SUS 304
塗装 コールタール塗付又は塗。



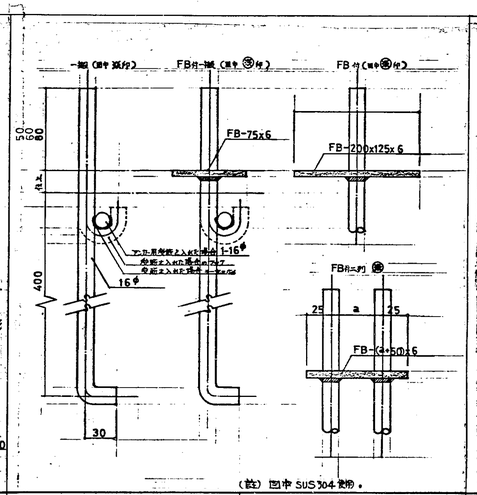
名称 ごみピットスクリーン
SCALE 1:8 1:10

材料 SUS 303
塗装



名称 炉体基礎コーナーアングル
SCALE 1:8

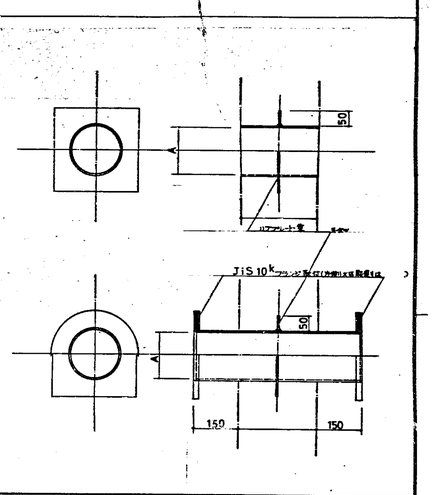
材料 SS41
塗装 コールタール塗付又は塗。



(鉄) 図中 SUS304 表示。

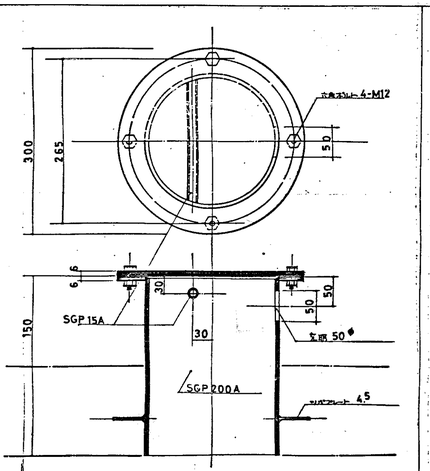
名称 アンカー筋
SCALE 1:8

材料 SS41. SS304.
塗装 コールタール塗。



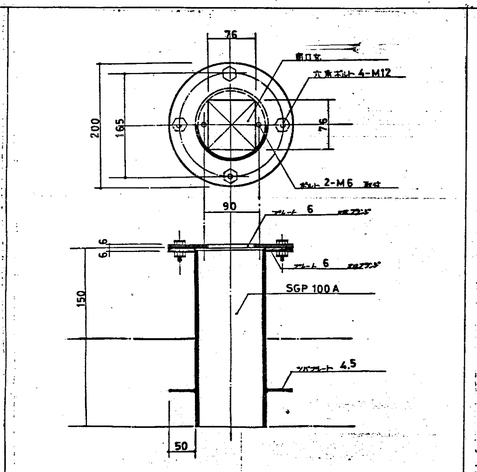
名称 スリーブ
SCALE 1:10

材料 特記なき限り SGP 又 JIS G-3452
塗装 コールタール塗。



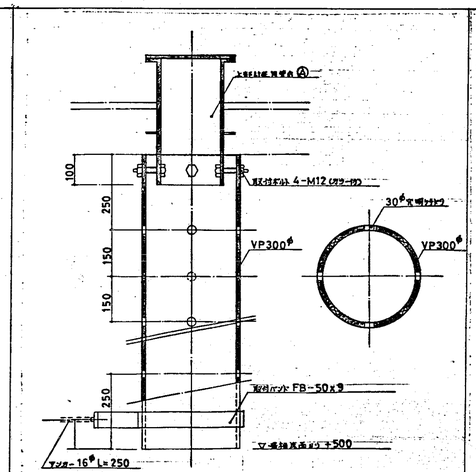
名称 計装用管台 A
SCALE 1:5

材料 SS41. SGP
塗装 コールタール塗付又は塗。



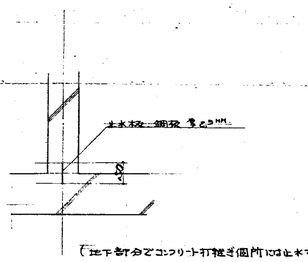
名称 計装用管台 B
SCALE 1:5

材料 SS41. SGP
塗装 コールタール塗付又は塗。



名称 計装用管台 C
SCALE 1:10

材料 SS41. SGP. VP.
塗装 コールタール塗付又は塗。



(地下部分でコンクリート打継ぎ個所には止水板を入れる事。)

名称 止水板
材料 SS41.

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 42

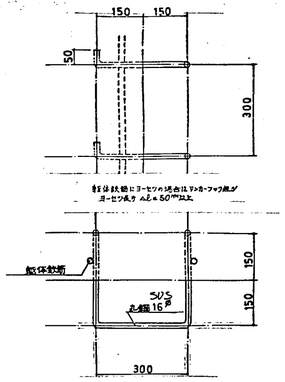
金物詳細図 其の1

部長	課長	課長代	関室	設計

昭和 年 月 日

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 大阪府(ニ)10253号 建設大阪36-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

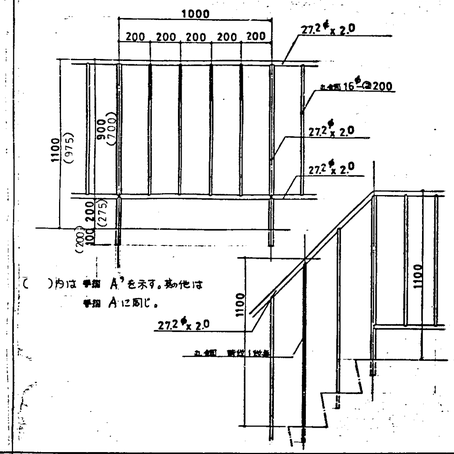
株式会社タクマ



名称 クランプ　SCALE 1:10

材料 SUS304

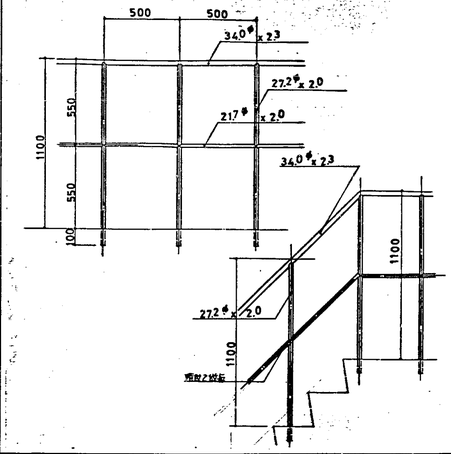
塗装 ——



名称 手摺 A.A'　SCALE 1:20

材料 S.T.K (一般構造用鋼管)

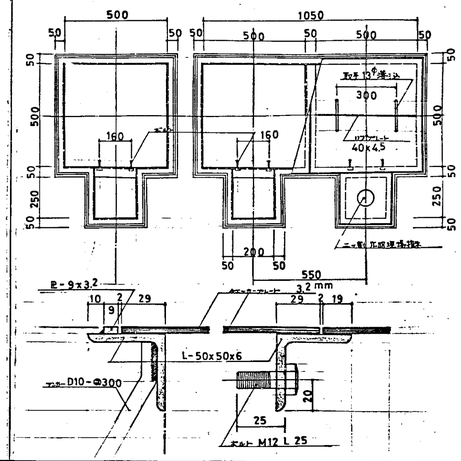
塗装 S.O.P



名称 手摺 B.　SCALE 1:20

材料 S.T.K. (一般構造用鋼管)

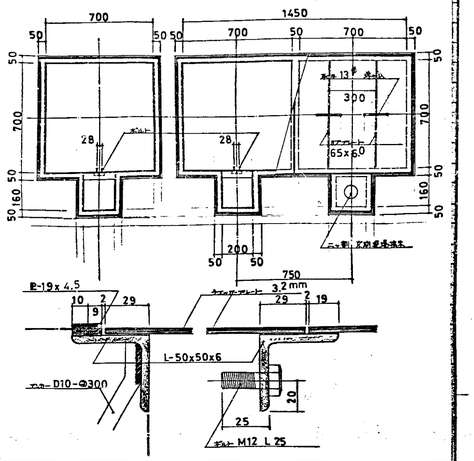
塗装 S.O.P



名称 水中ポンプハッチ　SCALE 1:15

材料 SS41

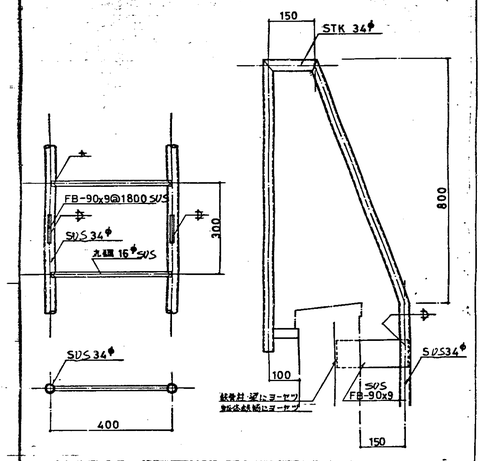
塗装 コールタール塗付又は塗。



名称 水中ポンプハッチ　SCALE 1:20

材料 SS41

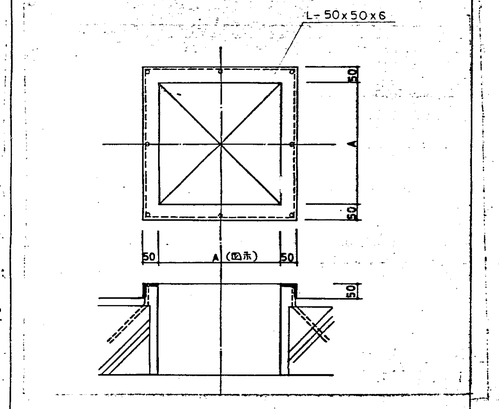
塗装 コールタール塗付又は塗。



名称 はしご形クランプ　SCALE 1:10

材料 SUS-304

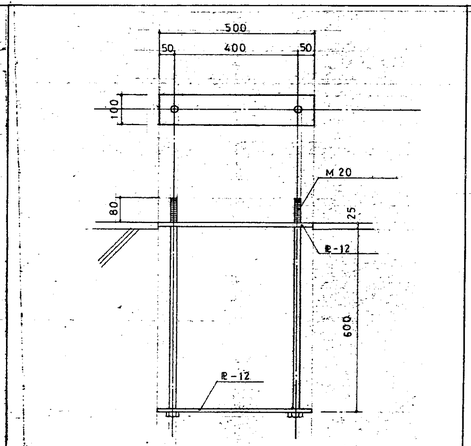
塗装 ——



名称 床貫穴　SCALE 1:10

材料 SS41

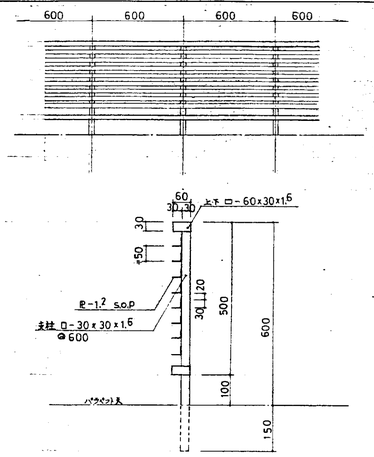
塗装 コールタール塗付又は塗。



名称 F.B基礎　SCALE 1:10

材料 SS41, SR24.

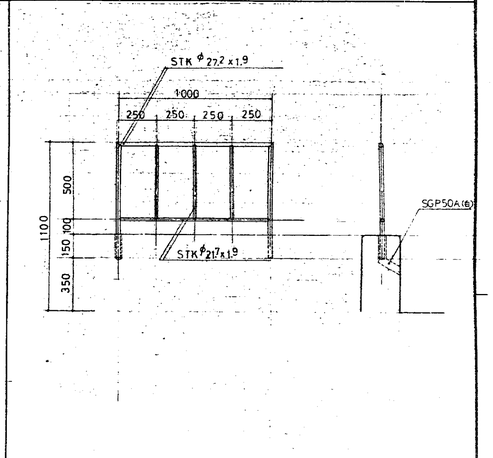
塗装 コールタール塗付又は塗。



名称 手摺 C　SCALE 1:10 1:20

材料 S.T.K.R (角形鋼管), SS41.

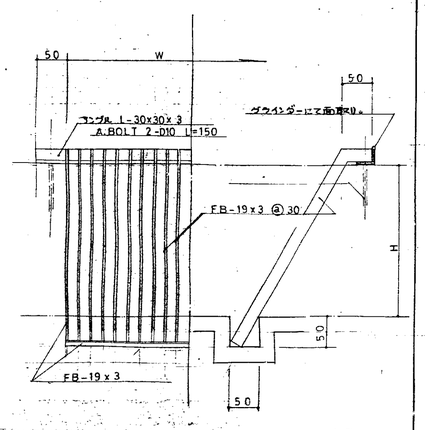
塗装 S.O.P



名称 手摺 D　SCALE 1:20

材料 S.T.K (一般構造用鋼管), SGP

塗装 S.O.P

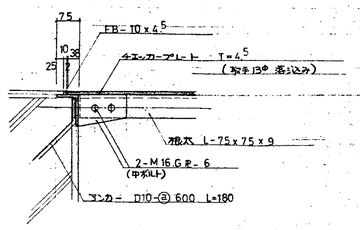


(注) パースクリーンAにSUS304 平(鏡面仕上)張り(6ヶ所)。Bパースクリーン B。

名称 パースクリーン A. B　SCALE 1:5

材料 SS41

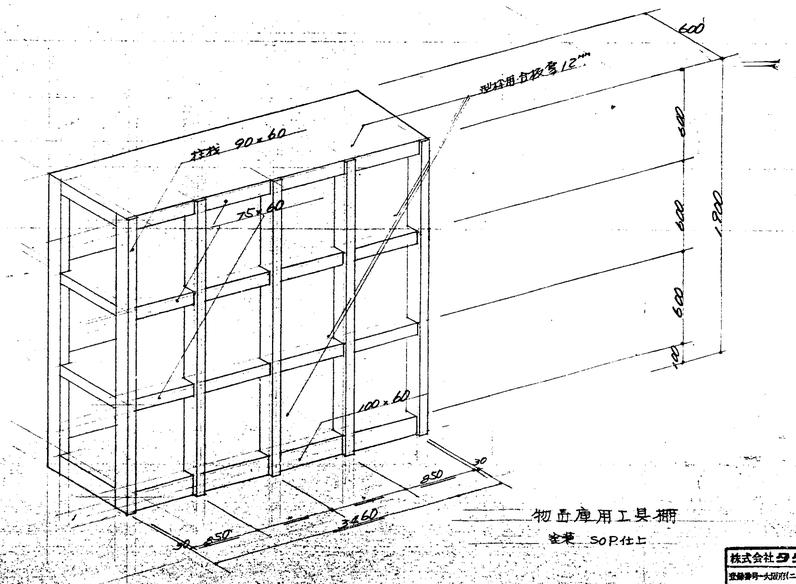
塗装 亜鉛メッキドブ漬。



名称 チェッカープレート蓋 A.　SCALE 1:10

材料 SS41

塗装 コールタール塗付又は塗。



物品庫用工具棚

塗装 SOP仕上

昭和53年 月 日

福山市建設局建築部建築課

課長 係長 課長代理 部長

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大臣(ニ)第2933号
一級建築士登録 第11029号
大久保正美
電話大阪345-5161

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 4 3

金物詳細図 其の2

部長 課長 課長代理 係員 設計

尺度

昭和 年 月 日

株式会社タクマ

鉄筋工事仕様書 NO.1

この仕様書は、建設大臣官房官庁営繕部監修の建築工事共通仕様書（昭和52年版）5章鉄筋工事に依り作成する。この仕様書及び図面に明記なき場合は 建築工事共通仕様書5章 鉄筋工事に依るものとする。

鉄筋の折曲げ基準

1. 鉄筋の折曲げ

曲げ角度	折曲げ図		すべてのコンクリート SR 24 SRR 24 SD 24 SDR 24	すべてのコンクリート SD 30 SD 35	すべてのコンクリート SD 40	使用箇所
180°		D	3d以上	4d以上	5d以上	柱、はりの主筋及び16mm（D16を含む）以上の鉄筋
		l	11d 〃	12d 〃	14d 〃	
135°		D	3d 〃	4d 〃	—	13mm以下の鉄筋またはあばら筋、スパイラル筋及び床版筋
		l	11d 〃	12d 〃	—	
90°		D	3d 〃	4d 〃	—	Tあばこぶしあばらの あばら筋
		l	12d 〃	12d 〃	—	
135° 90°		D	3d 〃	4d 〃	—	135° 90° 補止め筋
		l	8d 〃	8d 〃	—	
		l'	9d 〃	10d 〃	—	
90° 以下		D	3d以下	4d以下		あばら筋、帯筋、スパイラル筋
		D	5d 〃	5d 〃		16mm以下の床版筋、壁筋
		D	6d 〃	6d 〃		上記以外の鉄筋で、おおむね28mm以下異形鉄筋はD25以下
		D	8d 〃	8d 〃		上記以外の鉄筋で、おおむね32mm以下異形鉄筋はD29以下D41以下

（注） d＝鉄筋の公称直径、 D＝曲げ内の小直径、 l＝フック部分の長さ。

2. 異形鉄筋のフック

異形鉄筋の末端部には、下記の場合にフックをつける。
1) 柱主筋のまま端部が、柱の四すみ（右図の●）及び最上階の柱頭にある場合。
2) はり主筋の末端部が、はりのさすみ及び下端の外側（右下図の●）にある場合。ただし地中はりを除く。
3) 壁等の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）。
4) 帯筋、あばら筋及び補止め筋。

鉄筋の継手及び定着長さ

1. 鉄筋の継手及び定着の長さ

種別	鉄筋の種別	設計基準強度 Fc(kg/cm²)	フックなし S1	フックなし S2	フックなし S3 小ばり	フックなし S3 床版	フックあり S1	フックあり S2	フックあり S3 小ばり	フックあり S3 床版
⊙	SR 24	210	—	—	—	—	40d	30d	25d	150mm
・	SRR 24									
・	SD 24									
⊙	SDR24	210	40d	30d	25d	10dかつ150mm以上	25d	20d	15d	—
⊙	SD 30	210	45d	35d	25d	10dかつ150mm以上	30d	25d	15d	—
・	SD 35									
・	SD 40									

（注） 1. S_1：継手、下記2及び3以外の定着長さ。
2. S_2：異形鉄筋で、側面被覆の恐れのない箇所の定着長さ。
3. S_3：小ばり及び床版の下端筋の定着長さ。ただし、基礎梁上版、これを受ける小ばりなどは除く。
4. フックのある場合の S_1、S_2 及び S_3 には、下図に示すようにフック部分 l を含まない。

5. 直径が28mm以上の太径又は材質SD49以上の異形鉄筋にあっては、重ね継手を使用しない。

2. 隅折り継手の位置

フックのある場合	a ≧ 1.5d かつ a ≧ 25mm	(I) 原則として(I)により、やむを得ない場合のみ(II)による。 (II) a < a'
フックのない場合	a ≧ 1.5d かつ a ≧ 25mm	フックがないのは異形鉄筋のみとする
圧接の場合	a ≧ 400mm	偏心0.2d以下、3mm以下、70°以上、1.4d以上、d以上

3. スパイラル筋の継手及び定着

末端部　　中間部（重ね継手）

4. 溶接金網の継手及び定着

継手の重ね長さ　　1節半以上かつ150mm以上

定着の長さ　　1節半以上かつ150mm以上

S_3 床版の場合　　S_2 壁の場合

鉄筋のかぶり厚・その他

1. 鉄筋（溶接金網含む）の最小かぶり厚（mm）

構造部分の種別				すべてのコンクリート 標準	特記
土に接しない部分	床版	耐力壁以外の壁	仕上げあり	20	
			仕上げなし	30	
	柱、はり 耐力壁	屋内	仕上げあり	30	
			仕上げなし	30	
		屋外	仕上げあり	30	
			仕上げなし	40	
	よう壁			40	
土に接する部分	柱、はり、床版、耐力壁			＊40	
	基礎、よう壁、耐圧床版			＊60	
建築など高頻度を受ける部分				60	

（注） 1. ＊印のかぶり厚は普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
2. 仕上げありとは、モルタル塗りなどの仕上げのあるものとし、吹付け塗装などの薄い仕上げ効力のない仕上げのものを除く。
3. 床版、はり、基礎及びよう壁で、直接土に接する部分のかぶり厚には、捨てコンクリートの厚さを含まない。
4. 柱、はりの主筋に異形鉄筋（D29以上）を使用する場合は、主筋のかぶり厚を、公称直径の1.5倍以上として最小かぶり厚を決める。
5. 耐久上不利な箇所及びその最小かぶり厚は、特記による。
6. 遠心力を含む管材を使用する場合のかぶり厚は、特記による。

2. 鉄筋相互のあき
1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
2) 25mm
3) 丸鋼では径の1.5倍、異形鉄筋では公称直径の1.7倍
} の値の内最大のもの以上とする

主）主筋と軸方向鉄筋とのあきは、25mm以上とする。

3. 鉄筋の表示記号

丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	・	×	▯	●	●	◎	▣	◎

柱

1. 柱筋の継手及び定着

継手　　定着

$\frac{1}{6}H_o$ 又は 450 の大きい方の寸法

$H_o/2+15d$

$\frac{2}{3}H_o$ 以下

500以上

$\frac{1}{3}H_o$ 以下

H_o

$\geq S_2$

$\geq 15d$

上階の鉄筋がはり場合

下階の鉄筋がない場合

$\geq 50mm$　$\geq 150mm$

（注） 1. 継手中心位置は、はり上500以上で $\frac{2}{3}H_o$ 以下の範囲とする。圧接の場合も同じ。
2. ――――― 印は継手位置を示す。

2. 帯筋

1) 帯筋は特記による。
2) 帯筋組立ての形は、下図により、種別は特記による。ただし、特記がなければ下記による。
1 H形とする。
2 H形の135°曲げフックが困難な場合は、W-I形とする。
3 壁に、W-I形が困難な箇所は、監督員の承認を受けて、W-II形とすることができる。

H形　　W-I形　　W-II形

S形（スパイラル筋）

（注） W-I形の溶接は鉄筋の径以下とする。

3) フック及び継手の位置は、交互とする。

3. 帯筋の割付け

一般の場合

上下の柱の断面が異なる場合、高い方の一般の帯筋より1ワイズ太い鉄筋又は同径のもの2本束ねたものとする。

はり面より割り付ける

帯筋

壁はりの場合

壁はり

（注） 図示のない事項については、一般の場合に同じ。

大ばり

1. 大ばり筋の継手及び定着
1) 継手及び定着中心位置は、下記による。
上端筋 ―― 中央 $l_0/2$ 以内
下端筋 ―― 両端 $l_0/4$ 以内
2) 継手長さは S_1 とし、定着長さ及び余長は下図による。
3) はり筋で、柱をまたいで引通すことのできないものは、原則として柱内に定着する。
4) はり筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を越えてから折り曲げる。
5) はりにハンチをつける場合、その傾斜は特記による。ただし、特記がなければ1：4とする。
6) 段違いばりは、監督員の承認を受け、下記によることができる。

$D \leq 100$

$D > 100$ の場合は、鉄筋を柱内に定着する。

異形鉄筋でハンチのない場合

（注） ――― 印は継手位置を示す。
――― 印は、余長位置を示す。

異形鉄筋でハンチのある場合

最上階

一般階

（注） 1. ハンチ沿いの端部下端筋は、屈曲として引通し、残りの鉄筋は柱内に定着する。
2. はり内定着の端部下端筋が異なるときは、――― のようにずらしてもよい。

2. あばら筋
1) あばら筋組立の形は、下図の（イ）とする。ただし L形はりの場合は（ロ）、T形はりの場合は（ロ）又は（ハ）とすることができる。
2) フックの位置は、（イ）の場合は交互とし、（ロ）の場合は、L形では床版のつく側、T形では交互とする。

（イ）　（ロ）　（ハ）

3. あばら筋の割付
間隔が一様でハンチのない場合

間隔が一様でハンチのある場合

つり上げ筋は、一般のあばら筋より、1ワイズ太い鉄筋又は同径のものを2本束ねたものとする。

はりの端部で間隔が異なる場合

（注） あばら筋は柱面より50mmの位置から割付ける。

4. 腹筋及び補止め筋

（注） 補止め筋及び受け用補止め筋は、9φ又はD10@1,000程度とする。

地中ばり

1. 地中ばり筋の継手及び定着
1) 独立基礎で地中ばりに床版がつく場合は、大ばりの項による。
2) 上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。

異形鉄筋で独立基礎の場合

異形鉄筋で連続基礎及びべた基礎の場合

（注） 1. 図示のない事項は、大ばりの項による。
2. ――― 印は継手位置を示す。
3. ――― 印は、余長を示す。

2. 基礎接合部の補強

小ばり

1. 小ばり筋の継手及び定着

終端　　通端

（注） 1. 図示のない事項は、大ばりの項による。
2. 終端になる場合の四すみの鉄筋は、大ばり内に斜めに定着する。
3. ――― 印は継手位置を示す。
4. ――― 印は、余長を示す。
5. （ ）内の定着長さは、孔径の場合を示す。

2. 片持ちばり筋の定着

先端に小ばりがある場合

小ばりが連続する場合　　小ばりの終端部

（注） 1. 図示のない事項は、大ばりの項による。
2. 上端筋は、小ばり内に斜めに定着する。

基礎（杭基礎）

1. 杭基礎

B = 1.5D（RCパイル）
B = 2D（PCパイル・SSPCパイル）

（注） 1. 杭の頭が杭でコンクリートからむている場合は、杭の頭からかぶり厚をとる。
2. 杭打設後、杭を切断する必要のある場合は、切断位置に鋼製ガイドを締め付け（PC・SSPC）た水ぬきパンチで縦筋に穴明ける（RC、PC・SSPC）。
3. 杭主筋の位置に打ち漏しを発見した場合は、監督員の指示により、適切な処置を行う。
4. 杭が所定の深さより深い位置であった場合は、監督員の指示を受ける。

壁

1. 一般事項
1) 壁筋の継手及び定着長さは S_2 とする。
2) 土圧などを受ける壁及び耐震壁として特記されたものは、継手長さを S_1、定着長さを S_2 とする。
3) 継手及び定着のとれない場合は、監督員の承認を受けて、添え筋（5d両面）とする事ができる。
4) 補止め筋は原則として、9φまたはD10@1,000程度とする。

2. 壁の標準配筋

種別	厚さ	断面図	たて筋及びよこ筋	種別	厚さ	断面図	たて筋及びよこ筋
W100	100		内外 D10-250@シングル				
W120	120		内外 D10-200@シングル				
W150	150		内外 D10-250@ダブル 中央 D10-300@ダブル				
W180	180		内外 D10-200@ダブル				
W200	200		内外 D13-200@ダブル 中央 D10-200@ダブル				
KW1	180		たて D13-200@ダブル よこ D10-200@ダブル				
KW2	200		たて D13-150@ダブル よこ D10-200@ダブル				

（注） W ― 一般壁　KW ― 階段側壁　TW ― 耐震壁

3. パラペット及び外部に面する腰壁、垂れ壁の配筋

対象箇所	コンクリート強さ	寸法	配筋	先端補強筋
パラペット	特記による（ ）	たて	D13-200@ ダブル	4-D13
		よこ	D13-200@ ダブル	D13-200@
外部に面する腰壁、垂れ壁	100	たて	D10-200@ シングル	2-D13
		よこ	D10-100@ シングル	
	150	たて	D13-200@ ダブル	
		よこ	D10-200@ ダブル	

4. 交差部及び端部の配筋

交差部　　端部（壁面及び水平断面を示す。）

5. 壁開口部の補強
特記がなければA形とする。

壁の種別	A形 補強筋 たて・よこ	A形 補強筋 ななめ	壁の種別	B形 補強筋 たて・よこ	B形 補強筋 ななめ
W100、W120	1-D13	1-D13	W10、W12、W15	2-D13	1-D13
W150、W180	2-D13	2-D13	W18、W20	4-D13	2-D13
W200	2-D16	2-D16			

（注） 開口部が柱、はりに接する部分及び最大径が300mm以下で、鉄筋をゆるやかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

床版

1. 一般事項
1) 床版の基準配筋は、2 により配筋種別及び床版厚は 特記による。
2) 基準配筋表の A、B、C、D の位置は 下図による。

3) A、B形基準配筋の折曲げ位置は、原則として $l_2/4$ の位置（上図の点線位置）とし、その位置に1-D13を配筋する。
4) 鉄筋の継手長さは、S_1 とする。

昭和 53. 年 月 日
福山市建設局建築部建築課　係員　係長　課長　部長

福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 44A
構造一般適用事項	縮尺

株式会社タクマ 一級建築士事務所	
登録番号 一大阪府(ニ)12293号	電話 大阪(06)46-5161
一級建築士登録 第11029号	大久保正美

鉄筋工事仕様書 NO.2

床　版（NO.1からのつづき）

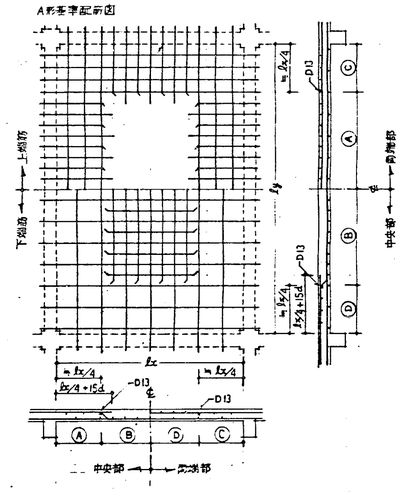
2.床版の基準配筋

A形及びB形基準配筋

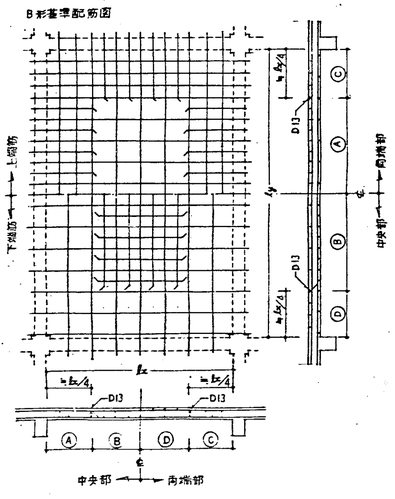
配筋種別		短辺方向・主筋 中央部 端部 Ⓐ	短辺方向・主筋 中央部 中央 Ⓑ	短辺方向・主筋 両端部 全域 Ⓒ Ⓓ	長辺方向・配力筋 中央部 端部 Ⓓ	長辺方向・配力筋 中央部 中央 Ⓑ	長辺方向・配力筋 両端部 全域 Ⓐ Ⓒ
A 1	上	D13-100@	(D13-200@)	D13-200@	D13-100@	(D13-200@)	D13-200@
B 1	下	D10-200@	D10-D13-100@	D13-300@	D10-200@	D10-D13-100@	D13-300@
A 2	上	D13-150@	(D13-300@)	D10-150@	D13-150@	(D13-300@)	D10-150@
B 2	下	同　上	同　上	同　上	D10-300@	D10-D13-150@	D10-200@
A 3	上	D10-D13-150@	(D10-300@)	D10-200@	D13-150@	(D13-300@)	D10-200@
B 3	下	同　上	同　上	同　上	D10-300@	D10-D13-150@	D10-300@
A 4	上	D13-150@	(D13-300@)	D10-150@	D13-150@	(D13-300@)	D10-150@
B 4	下	D10-300@	D10-D13-150@	D10-200@	D10-300@	D10-D13-150@	D10-200@
A 5	上	同　上	同　上	同　上	D10-D13-150@	(D10-300@)	D10-200@
B 5	下				D10-300@	D10-D13-150@	D10-300@
A 6	上	同　上	同　上	同　上	D10-150@	(D10-300@)	D10-150@
B 6	下				D10-300@	D10-150@	D10-300@
A 7	上	D10-D13-150@	(D10-300@)	D10-200@	D10-D13-150@	(D10-300@)	D10-200@
B 7	下	D10-300@	D10-D13-150@	D10-300@	D10-300@	D10-D13-150@	D10-300@
A 8	上	同　上	同　上	同　上	D10-150@	(D10-300@)	D10-300@
B 8	下				D10-300@	D10-150@	D10-300@
A 9	上	同　上	同　上	同　上	D10-200@	(D10-400@)	D10-300@
B 10	下				D10-400@	D10-200@	D10-300@
A 10	上	D10-D13-200@	(D10-400@)	D10-300@	D10-D13-200@	(D10-400@)	D10-300@
B 10	下	D10-400@	D10-D13-200@	D10-300@	D10-400@	D10-D13-200@	D10-300@
A 11	上	同　上	同　上	同　上	D10-200@	(D10-400@)	D10-300@
B 11	下				D10-400@	D10-200@	D10-300@
A 12	上	同　上	同　上	同　上	D10-250	(D10-500@)	D10-300@
B 12	下				D10-500	D10-250@	D10-300@
A 13	上	D10-200@	(D10-400@)	D10-300@	D10-200	(D10-400@)	D10-300@
B 13	下	D10-400@	D10-200@	D10-300@	D10-400	D10-200@	D10-300@
A 14	上	同　上	同　上	同　上	D10-250	(D10-500@)	D10-300@
B 14	下				D10-500	D10-250@	D10-300@

(注)、(　)内はB形の場合のみ。

A形基準配筋図



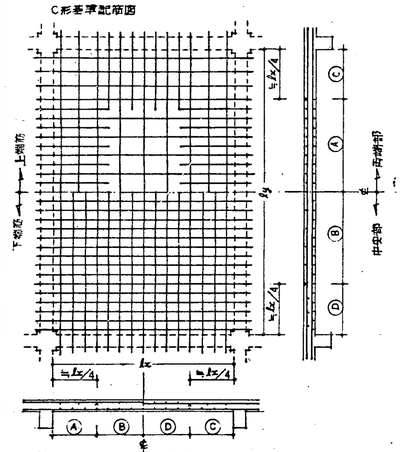
B形基準配筋図



C形基準配筋

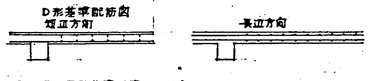
配筋種別		短辺方向・主筋 中央部 端部 Ⓐ	短辺方向・主筋 中央部 中央 Ⓑ	短辺方向・主筋 両端部 全域 Ⓒ Ⓓ	長辺方向・配力筋 中央部 端部 Ⓓ	長辺方向・配力筋 中央部 中央 Ⓑ	長辺方向・配力筋 両端部 全域 Ⓐ Ⓒ
C 1	上	D13-100@	D13-200@	D13-200@	D13-100@	D13-200@	D13-200@
	下	D10-D13-100@	D10-D13-100@	D10-D13-100@	D10-D13-100@	D10-D13-100@	D10-D13-100@
C 2	上	同　上	同　上	同　上	D13-150@	D13-300@	D13-200@
	下				D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@
C 3	上	同　上	同　上	同　上	D13-200@	D13-400@	D13-200@
	下				D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@
C 4	上	D13-150@	D13-300@	D13-200@	D13-150@	D13-300@	D13-200@
	下	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@
C 5	上	同　上	同　上	同　上	D13-200@	D13-400@	D13-200@
	下				D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@
C 6	上	同　上	同　上	同　上	D10-D13-200@	D13-400@	D10-D13-200@
	下				D10-150@	D10-150@	D10-150@
C 7	上	D13-200@	D13-400@	D13-200@	D13-200@	D13-400@	D13-200@
	下	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D10-D13-150@
C 8	上	同　上	同　上	同　上	D10-D13-200@	D13-400@	D10-D13-200@
	下				D10-150@	D10-150@	D10-150@
C 9	上	同　上	同　上	同　上	D10-D13-200@	D13-400@	D10-D13-200@
	下				D10-200@	D10-200@	D10-200@
C10	上	D10-D13-200@	D13-400@	D10-D13-200@	D10-D13-200@	D13-400@	D10-D13-200@
	下	D10-150@	D10-150@	D10-150@	D10-150@	D10-150@	D10-150@
C11	上	同　上	同　上	同　上	D10-D13-200@	D13-400@	D10-D13-200@
	下				D10-200@	D10-200@	D10-200@
C12	上	同　上	同　上	同　上	D10-D13-250@	D13-500@	D10-D13-250@
	下				D10-250@	D10-250@	D10-250@
C13	上	D10-D13-200@	D13-400@	D10-D13-200@	D10-D13-200@	D13-400@	D10-D13-200@
	下	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@
C14	上	同　上	同　上	同　上	D10-D13-250@	D13-500@	D10-D13-250@
	下				D10-250@	D10-250@	D10-250@

C形基準配筋図



配筋種別		短辺方向・主筋 全域	長辺方向配力筋 全域	配筋種別		短辺方向・主筋 全域	長辺方向・配力筋 全域
D 1	上	D13-100@	D13-100@	D 8	上	D10-D13-150@	D10-150@
	下	D13-100@	D13-100@		下	D10-D13-150@	D10-150@
D 2	上	同　上	D13 150@	D 9	上	同　上	D10-200@
	下		D13 150@		下		D10-200@
D 3	上	同　上	D10-D13-150@	D10	上	D10-D13-200@	D10-D13-200@
	下		D10-D13-150@		下	D10-D13-200@	D10-D13-200@
D 4	上	D13-150@	D13-150@	D11	上	同　上	D10-200@
	下	D13-150@	D13-150@		下		D10-200@
D 5	上	同　上	D10-D13-150@	D12	上	同　上	D10-250@
	下		D10-D13-150@		下		D10-250@
D 6	上	同　上	D10-150@	D13	上	D10-200@	D10-200@
	下		D10-150@		下	D10-200@	D10-200@
D 7	上	D10-D13-150@	D10-D13-150@	D14	上	同　上	D10-250@
	下	D10-D13-150@	D10-D13-150@		下		D10-250@

D形基準配筋図



E形及びF形基準配筋(一般部)

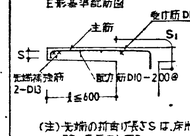
E形基準配筋

配筋種別		主筋
E1	上	D10-D13-200@
	下	———
E2	上	D10-200@
	下	———

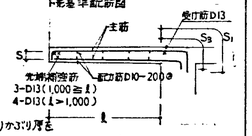
F形基準配筋

配筋種別		主筋
F1	上	D13-100@
	下	D13-200@
F2	上	D13-150@
	下	D13-300@
F3	上	D10-D13-150@
	下	D10-D13-300@
F4	上	D10-D13-200@
	下	D10-200@
F5	上	D10-200@
	下	D10-400@

E形基準配筋図

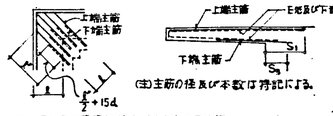


F形基準配筋図



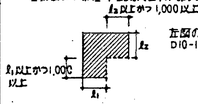
(注)定着の折曲り長さSは、床版厚よりかぶり厚を除いた長さとする。

E形及びF形基準配筋(出すみ部)



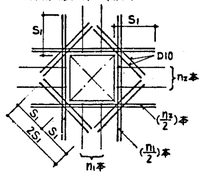
(注)主筋の径及び本数は特記による。

E形及びF形基準配筋(出すみ部)の配力筋



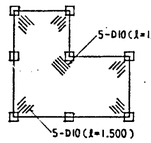
左図の斜線部分は、基準配筋にかかわらず、配力筋をD10-100@とする。(上端・下端共)

3.床版開口部の補強

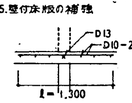


1)床版開口の最大径が600mm以下の場合は、左図により、開口部によって切られる鉄筋と同等の鉄筋で周囲を補強し、ぐり角部に斜めの方向に2-D10(l=2S1)を、上下筋の内側に配筋する。
2)床版開口の最大径が両方向配筋間隔以下で鉄筋をձやかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

4.屋根床版の補強



5.壁付床版の補強

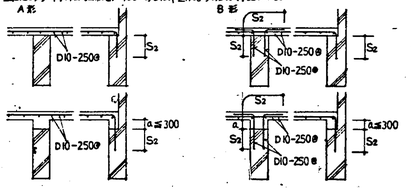


床版に上端筋がなく、壁がついている場合には、左図の補強筋を入れる。

土間コンクリート

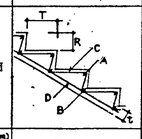
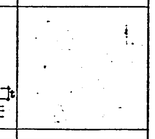
1.土間配筋

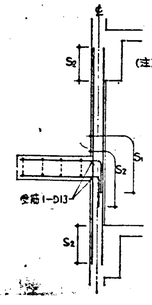
土間コンクリートに補強筋を入れる場合は下図により、形は特記による。



階　段

1.片持ち床版形階段

施工箇所			
断面図			
寸法	T(mm)		
	R(=)		
	t(=)		
配筋	A	—	—
	B	—	—
	C	—	—
	D	—	—

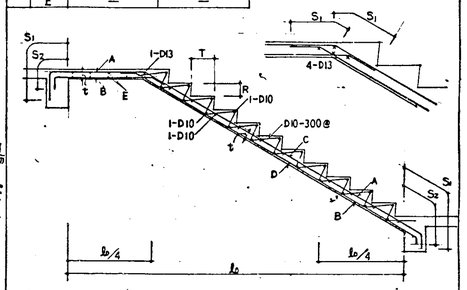


(注)配筋は、壁基準配筋の項による。

2.二辺固定床版形階段(固未)

施工箇所				
寸法	T(mm)			
	R(=)			
	t(=)			
配筋	A	—	—	—
	B	—	—	—
	C	—	—	—
	D	—	—	—
	E			

(注)1)Aは短部上端筋
2)B は 〃 下端筋
3)Cは中央部上端筋
4)Dは 〃 下端筋
5)E印水平部分の配力筋(ダブル)。ただし200@を超える場合は、千鳥とする。

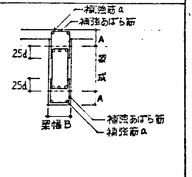


増し打ち部分の補強

1.梁上又は、梁下の増し打ち

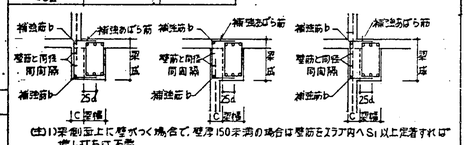
梁幅	補強筋a	補強あばら筋
250<B≦400	最小2-D13	ST.ピッチの倍
400<B≦600	2本最上段	ST.ピッチに同じ
<B≦		
<B≦		

(注)1)Aの寸法が300mmを越える場合は、増し打ち部分に補強筋を梁の肩筋と同径同間隔で入れる。



2.梁側面の上又は下、又は上下に壁がつく増し打ち

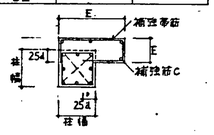
増し打ち幅	補強筋 b	補強あばら筋
50<C≦100	2-D16	ST.ピッチの倍
100<C≦300	2-梁最外	ST.ピッチに同じ
<C≦		
<C≦		



(注)1)梁側面上に壁がつく場合で、壁厚150未満の場合は壁筋をスラブ内へS1以上定着すれば増し打ちは不要
2)補強筋bは、壁筋が19φ(D19)以上の場合は、壁筋と同径筋(以上)を使用する。

3.柱の増し打ち

増し打ち見付幅	補強筋C	補強帯筋
50 <D≦100	2-D16	100Pピッチの倍
100 <D≦300	3-柱主筋径	100ピッチに同じ
<D≦		
<D≦		



(注)1)補強筋Cの断面算定式
aC(cm²)=実断面積(cm²)×Pt(%)
但しPtは下記による
実断面積 2000cm²以下 — Pt=0.8%
8000cm²以上 — Pt=0.5%
(実断面積2000～8000cm²の間は直線補正をする。)

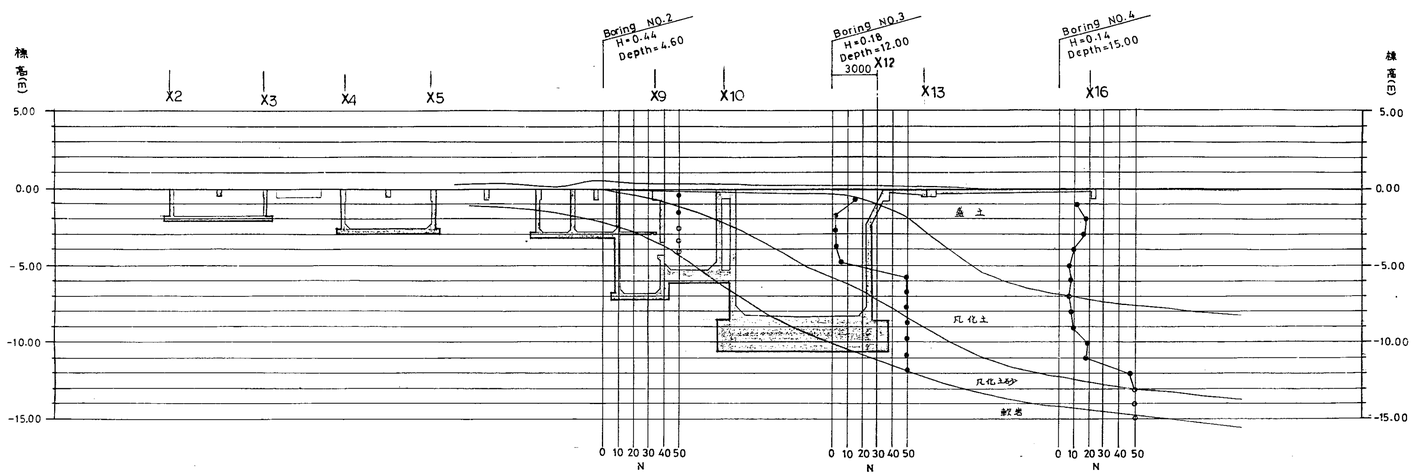
4.上記1～3までの特記事項
1)増し打ち部分の厚さが50mm未満の場合は補強筋不要。
2)補強筋の継手及び定着長さは、S1とする。
3)補強あばら筋は特記なき限り、梁のあばら筋と同径同間隔とする。
4)補強帯筋は特記なき限り、柱の帯筋と同径同間隔とする。

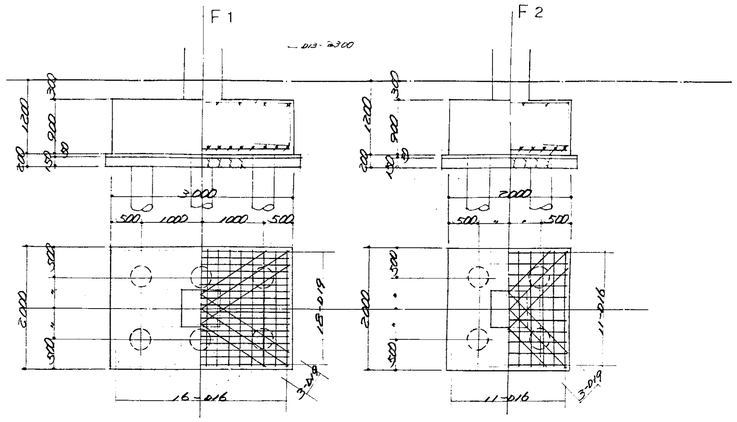
昭和53年　月　日　福山市建設局建築部建築課　係員　係長　課長　部長

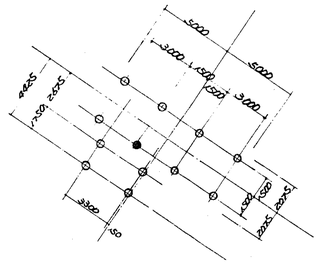
福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番	44 B
構造一般適用事項	部長 / 課長 / 課長代 / 調査 / 設計	
	尺度	昭和　年　月　日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号-大阪府(ニ)#2933号　電話大阪346-5161
一級建築士登録第11029号　大久瀬正美

基礎配筋リスト　SCALE 1:50



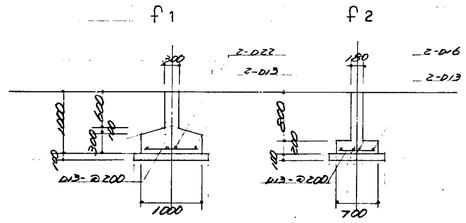


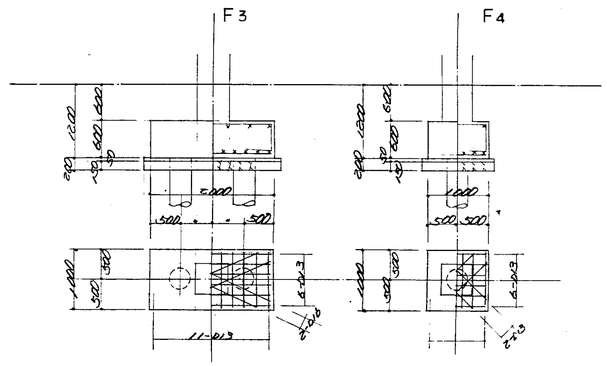


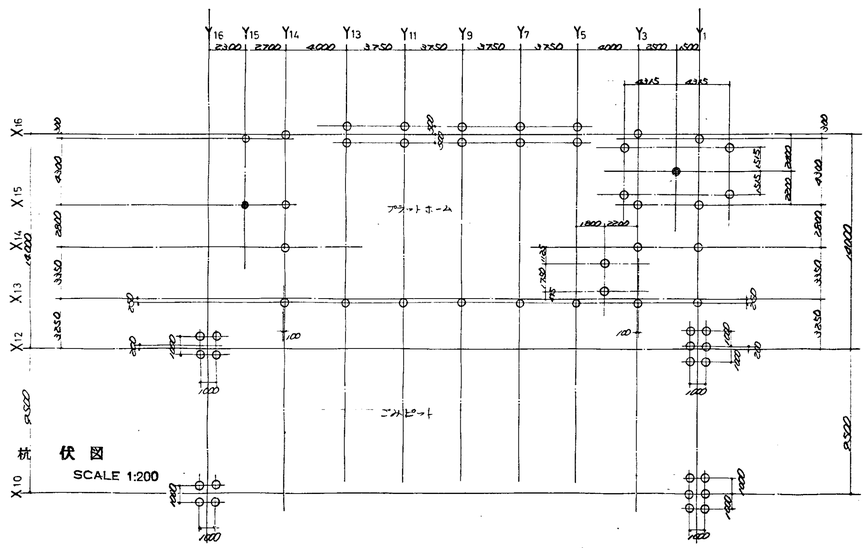
洗車装置上家　（位置変更につき現場指示による）

○----一般杭．　65.

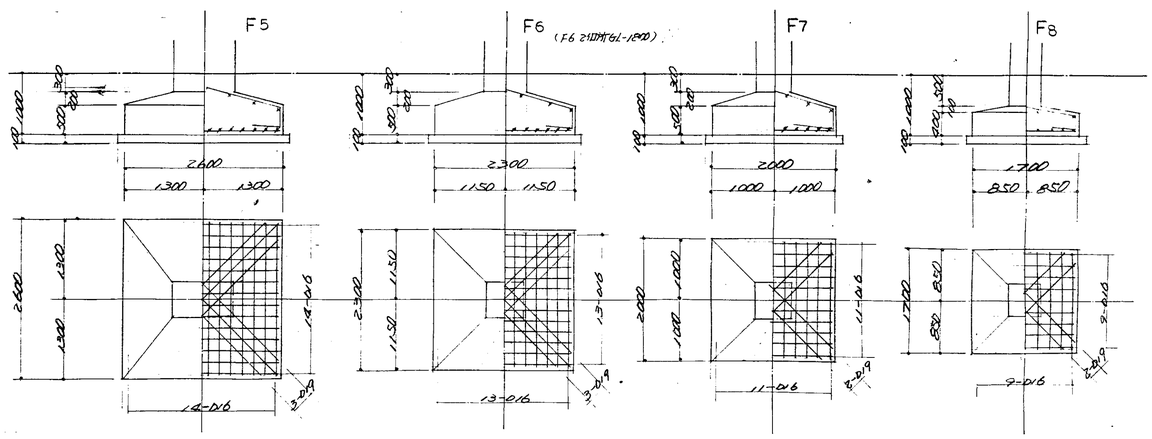
⊙----試験杭．　3.







工場棟



昭和53年　月　日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

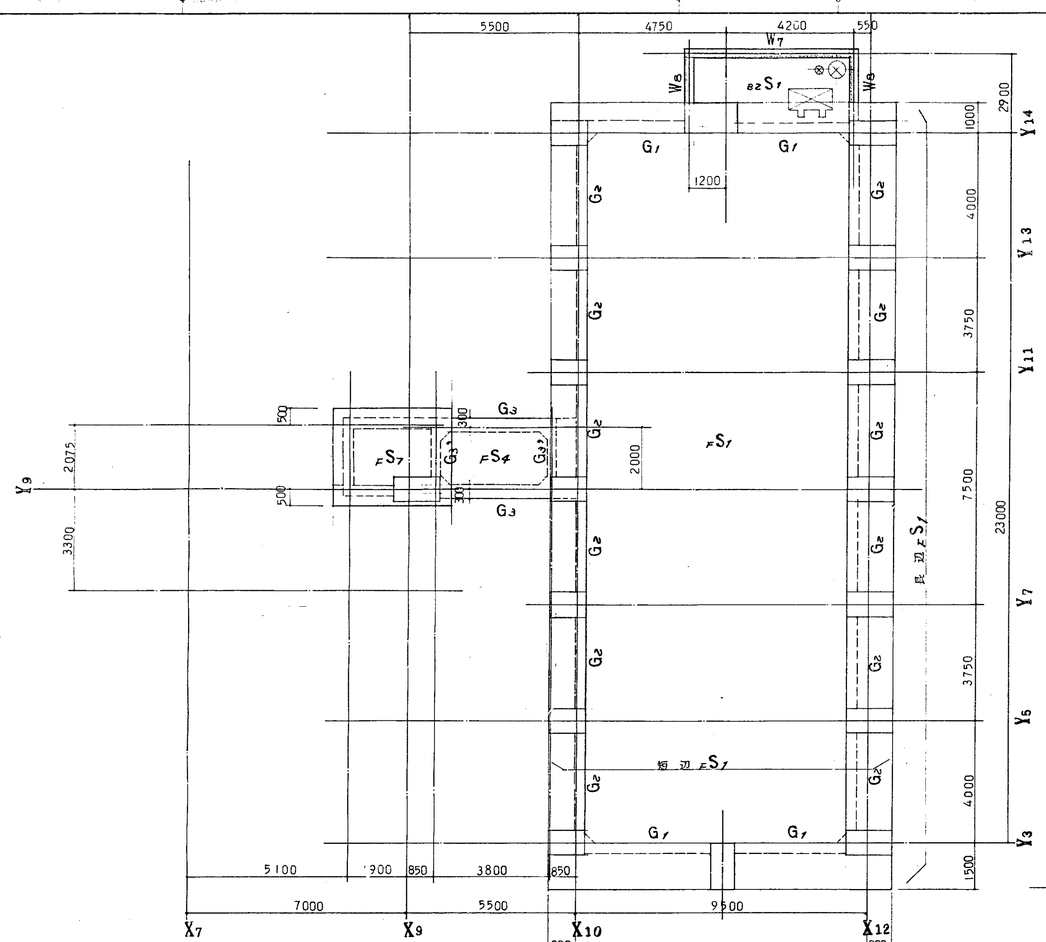
福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 45
杭　伏　図 基礎配筋リスト	部長 課長 課長代 調査 設計 尺度 1:50 1:200 昭和　年　月　日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録事務所一大臣(ニ)第2933号　建築大臣346-5161
一級建築士登録 第11029号　大ケ瀬正美

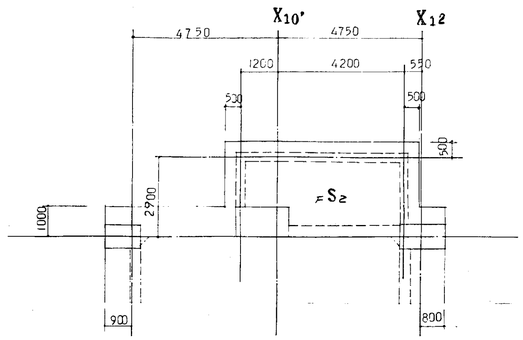
株式会社タクマ

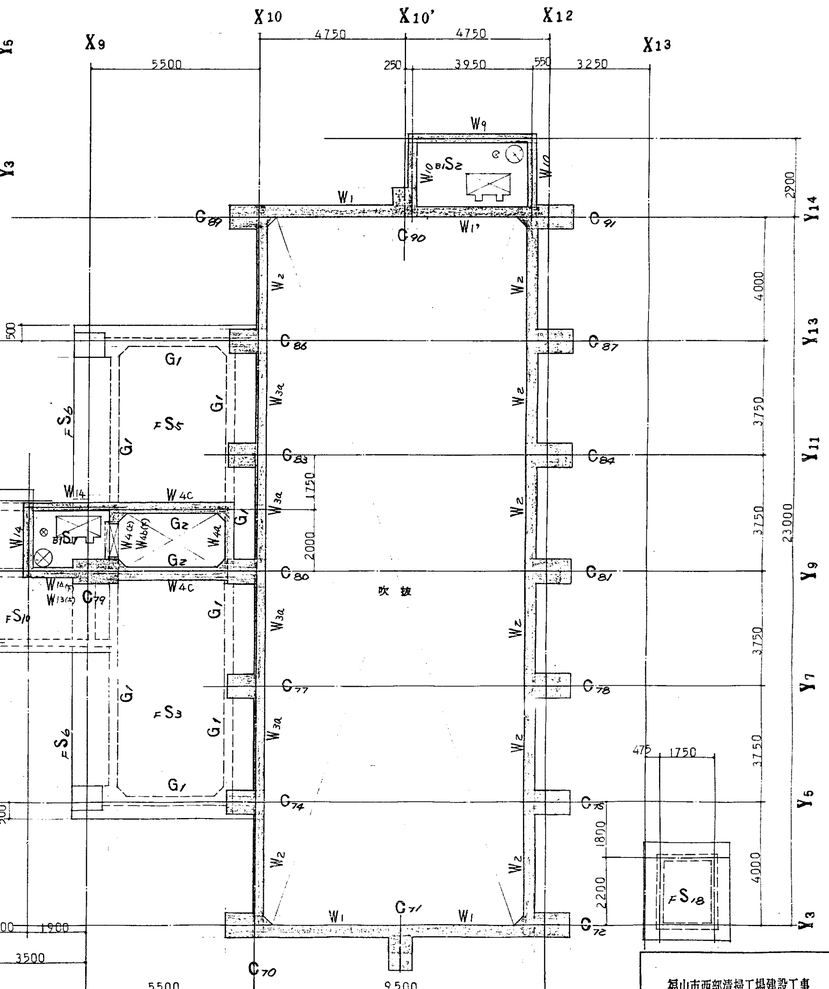
B2伏 図

B2G



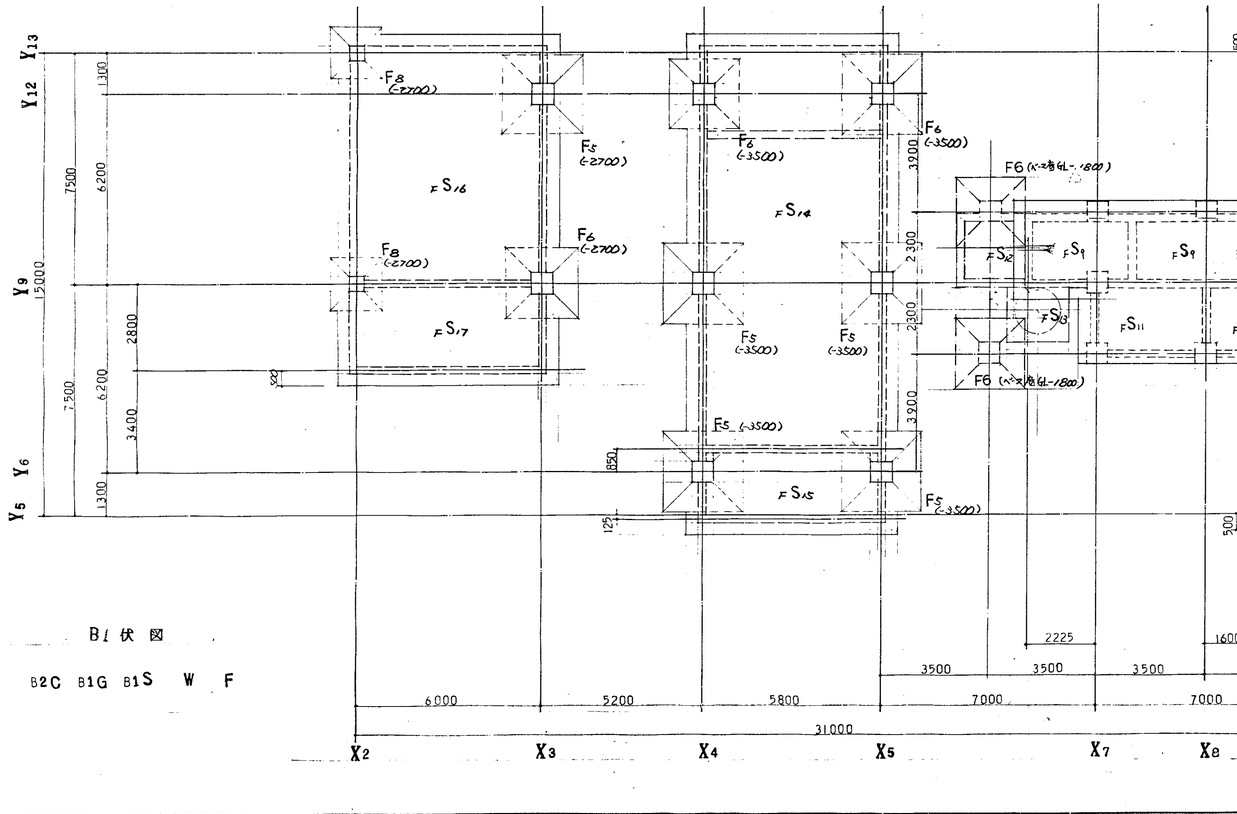
B3伏 図





B1伏 図

B2C B1G B1S W F



株式会社タクマ一級建築士事務所	
登録番号一大阪(ニ)12933号	電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号	大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

昭和53. 年 月 日	係員	係長	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

B1, B2, B3伏 図

図番	46
部長	課長
設計	製図
尺度	1:100
昭和 年 月 日	
株式会社タクマ	

凡例

——鉄骨柱を示す(H-鉄骨)

——地打ち分を示す

——注——( )内数字は出より基礎底までの寸法を示す。特記なき場合は総べて GL-1000 とする。

1 階 伏 図

B1C 1G 1B 1S F

昭和53 年 1 月 日

福山市建設局建築部建築課

係員 係長 課長 部長

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 一大阪(ニ)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 47

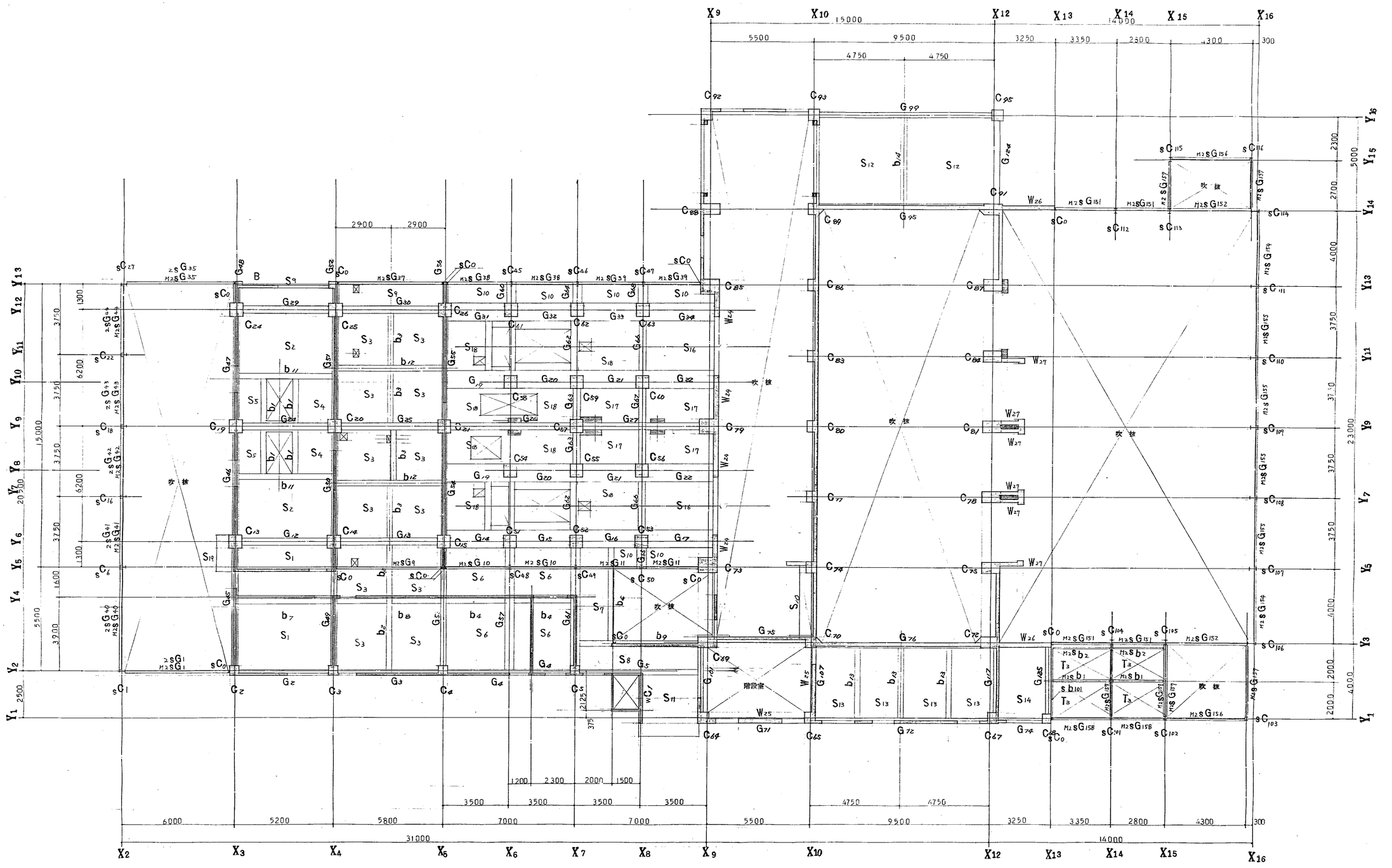
部長 課長 課長代 調査 設計

尺度 1:100

昭和 年 月 日

株式会社タクマ

1 階 伏 図



2 階 伏 図

1C 2G 2b 2S W wC

昭和53. 年 月 日	係員	係長	課長 部長
福山市建設局建築部建築課			

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 4 8

2 階 伏 図

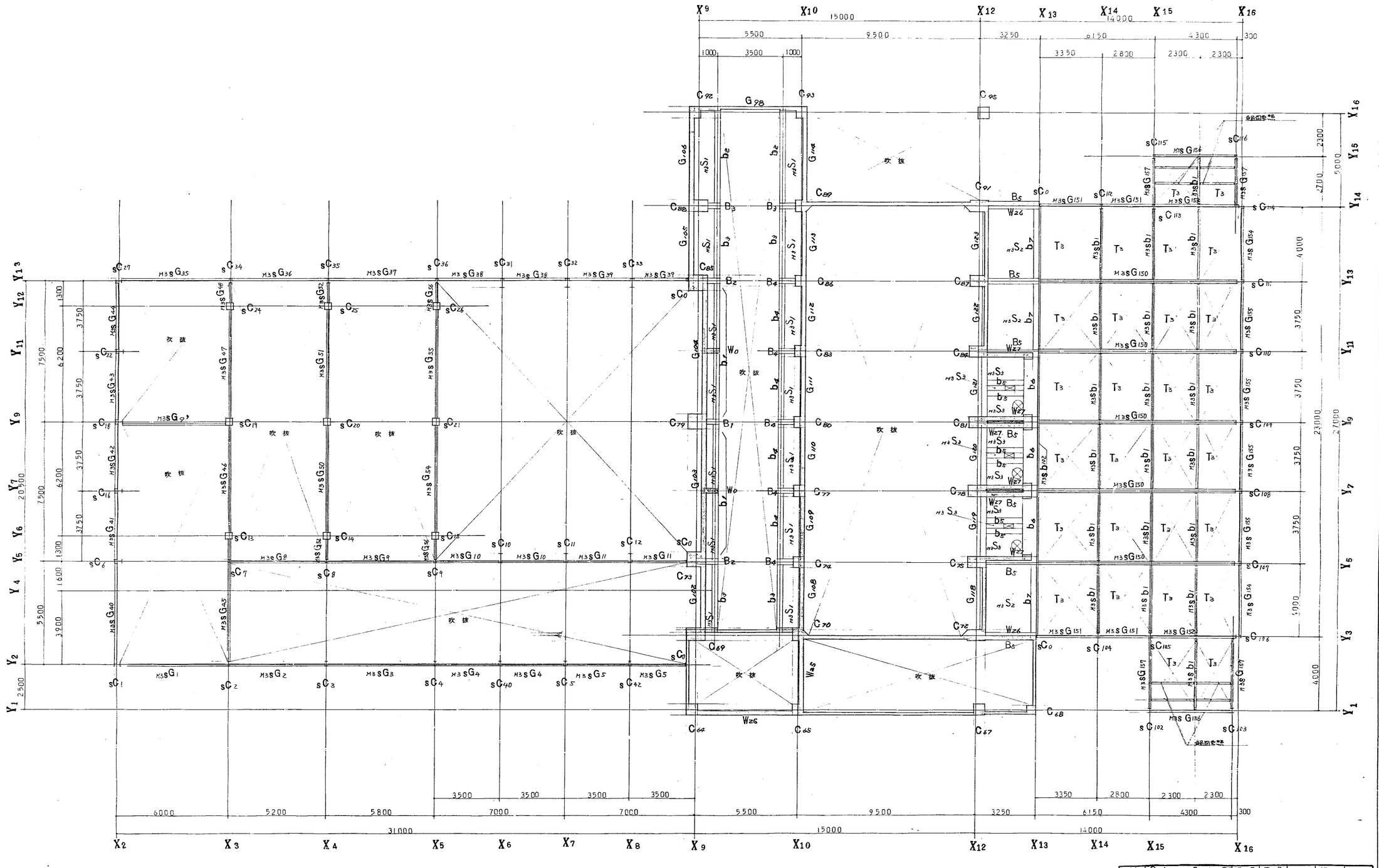
尺度 1:100

昭和 年 月 日

部長	課長	課長代	調査	設計	

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)4C5534号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第110259号 大ヶ瀬正美

株式会社タクマ



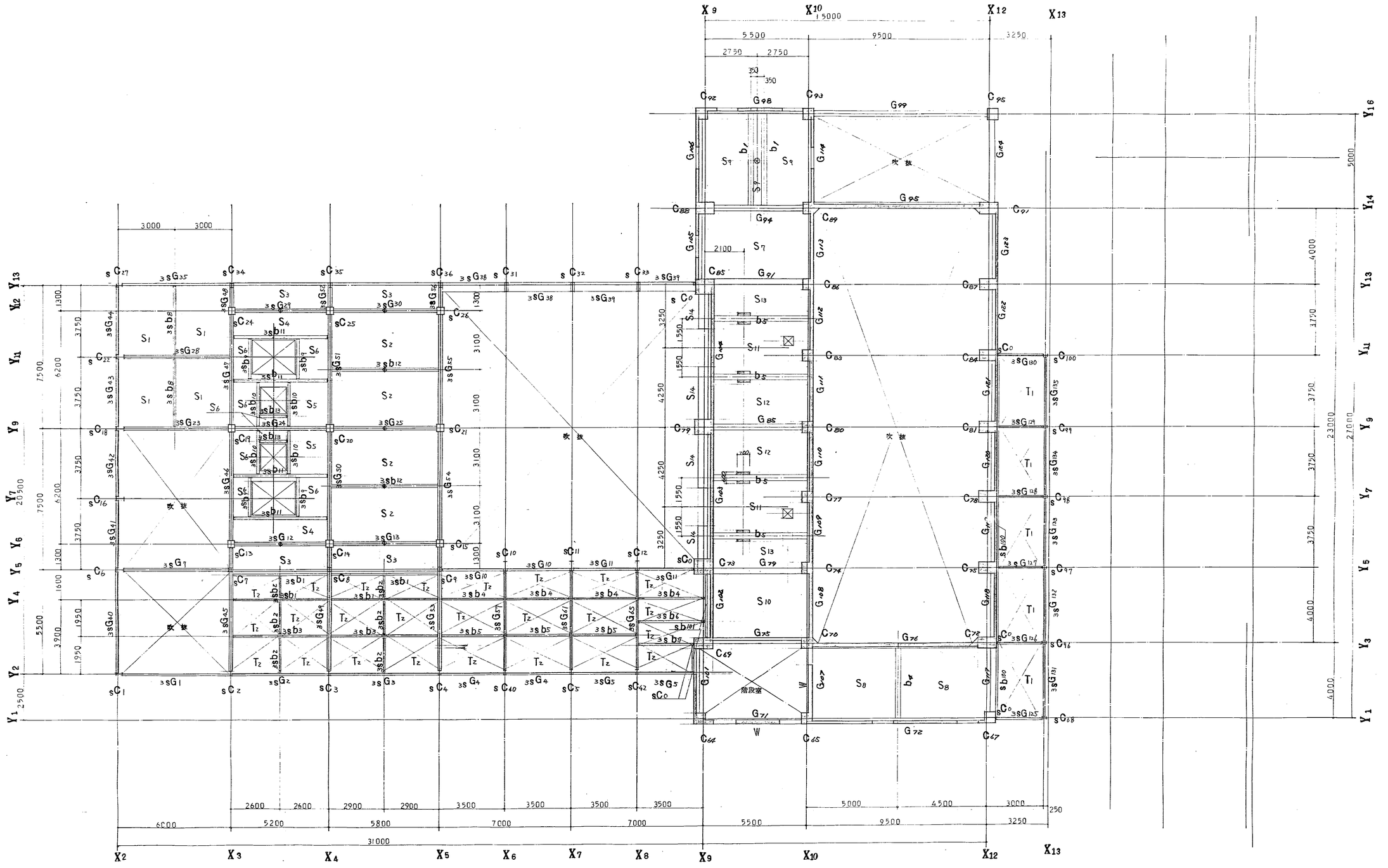
M3 伏図

2C M3G M3b M3S W M3B

昭和53.年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番	49
M3 伏図	縮尺	1:100
	昭和 年 月 日	

株式会社タクマ一級建築士事務所	登録番号 大阪市(ニ)第2533号	電話 大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号	大ヶ瀬正美	



3 階 伏 図

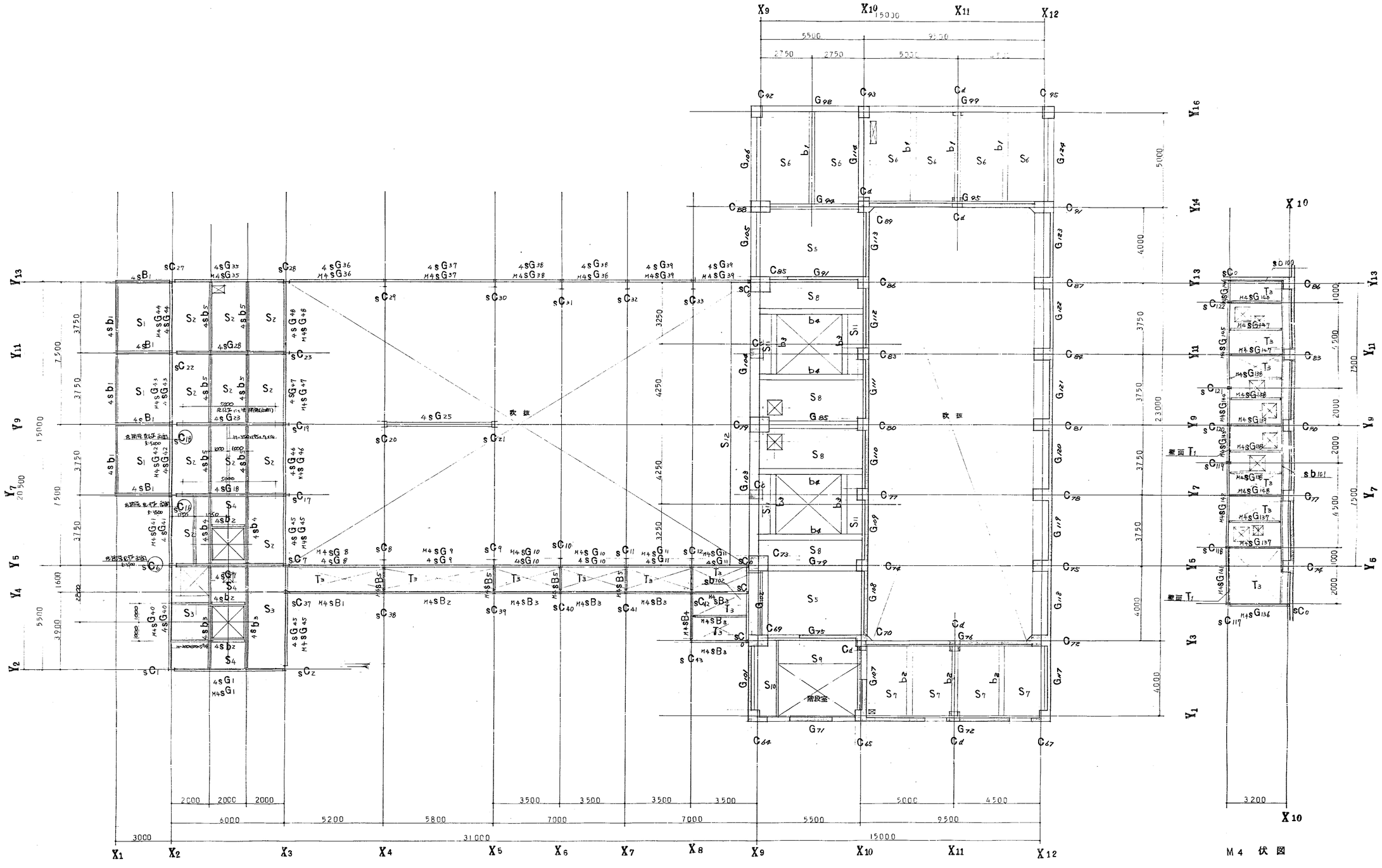
2C 3G 3b 3S

※ 鉄筋等最小止メ位置を示す。

昭和53. 年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

福山市西部清掃工場建設工事 設計図				図番	50
	部長	室長	課長代	構造設計	
3 階 伏 図					
	尺度 1:100			昭和 年 月 日	

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(ニ)8255338 電話大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美



4 階 伏 図

3C 4G 4b 4S

M4 伏 図

昭和53 年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 5 1

4 階 伏 図

縮尺 1:100

昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(ニ)3923号
電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号
大ヶ瀬正美

R　伏図

クレーン階　伏図

昭和53年　月　日
福山市建設局建築部建築課
係員　係長　課長　部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番　5 2

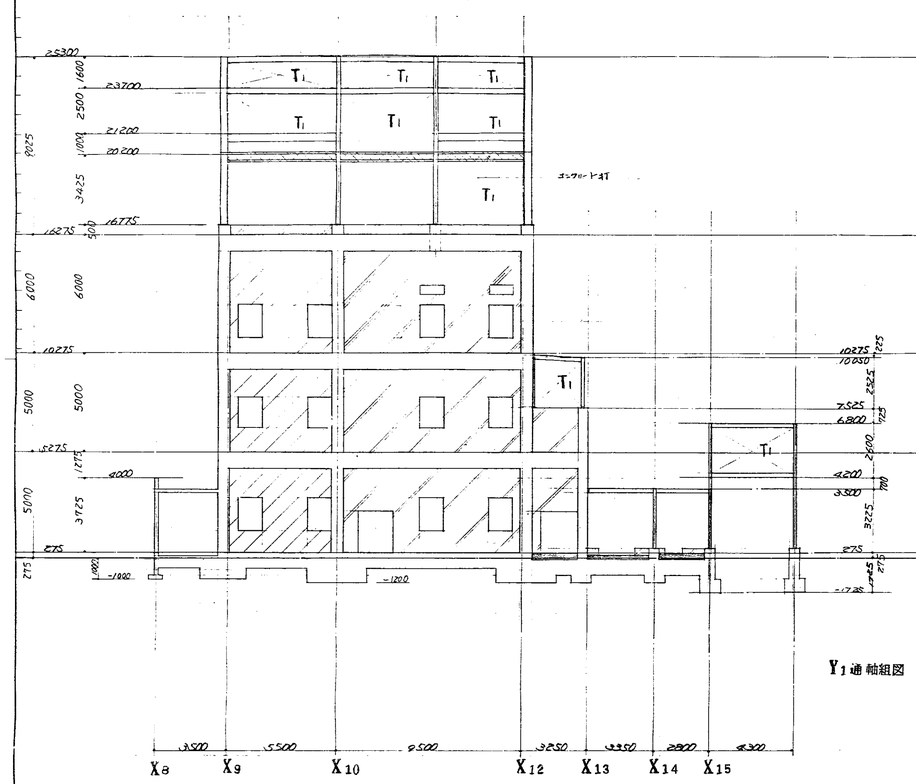
クレーン階
R　伏図

尺度 1:100

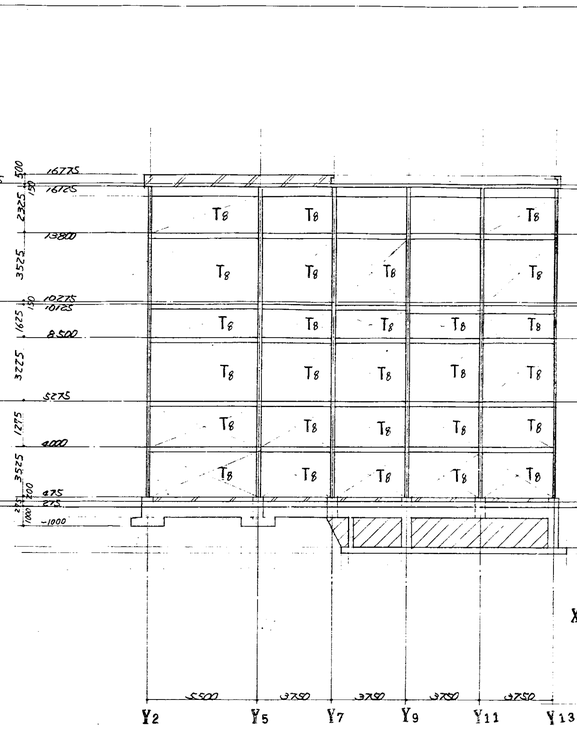
昭和　年　月　日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(二)3233号　電話大(06)345-5161
一級建築士登録 第11029号　大ケ瀬正美

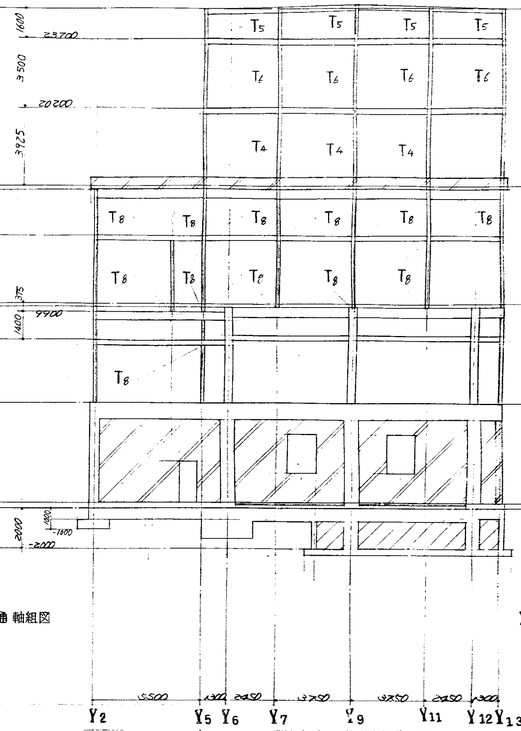
タクマ



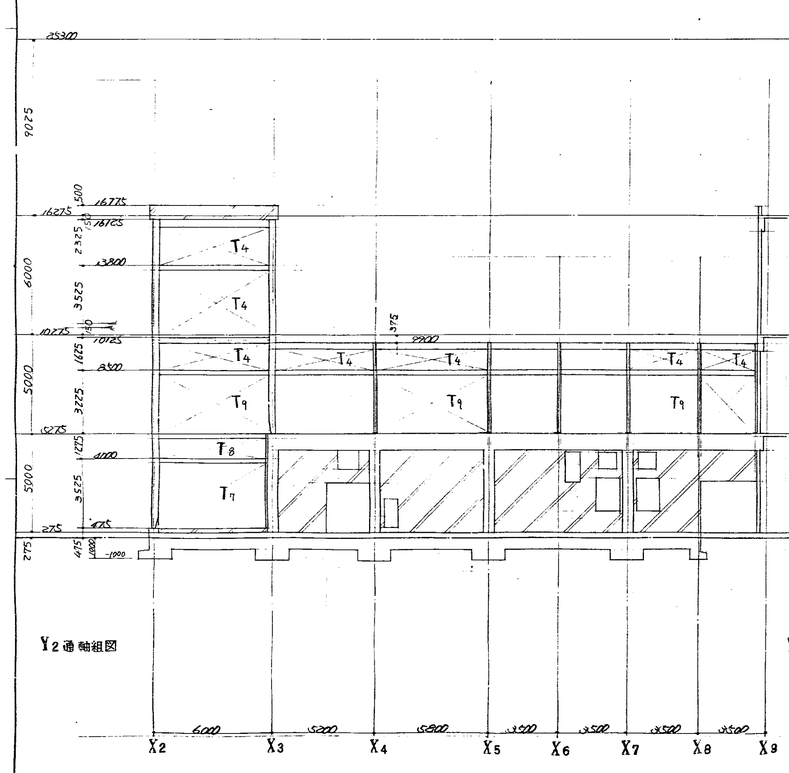
Y1通 軸組図



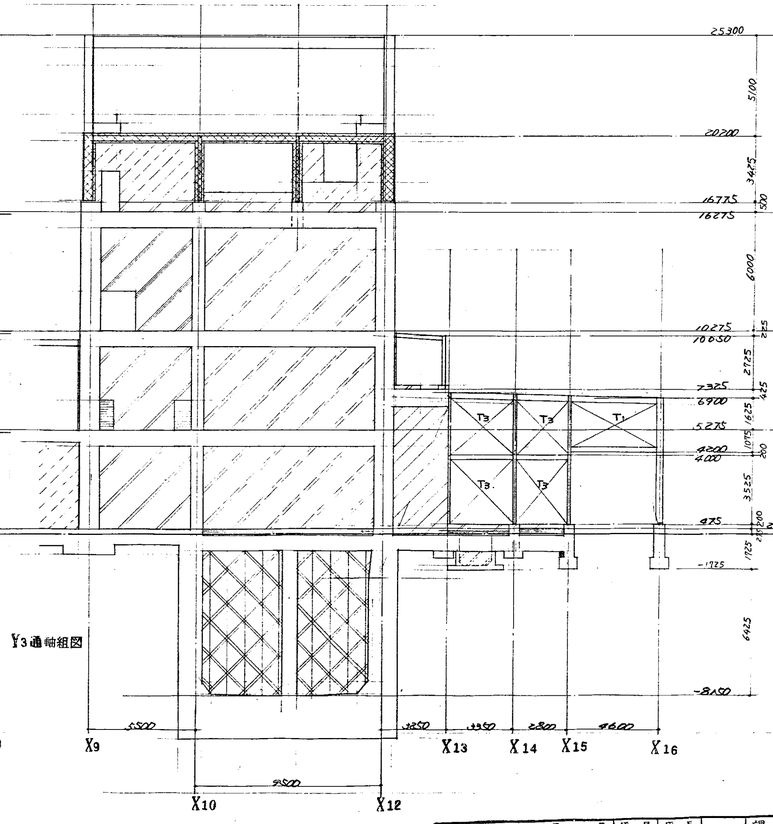
Y2通 軸組図



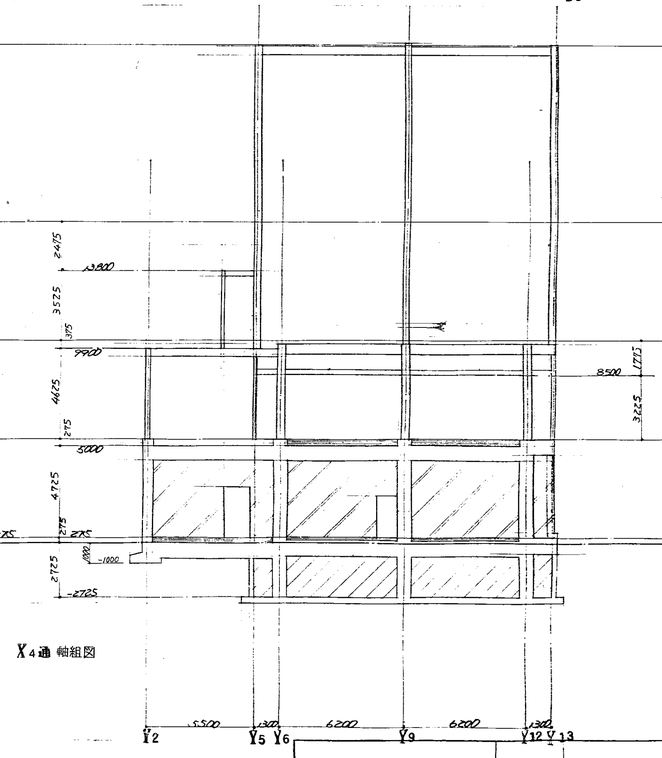
Y3通 軸組図



Y2通 軸組図



Y3通 軸組図



X4通 軸組図

昭和53年 1月 日	係員	係長	課長	部長	
福山市建設局建築部建築課					

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 一大臣(ニ)第2933号 TEL 大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 5 3

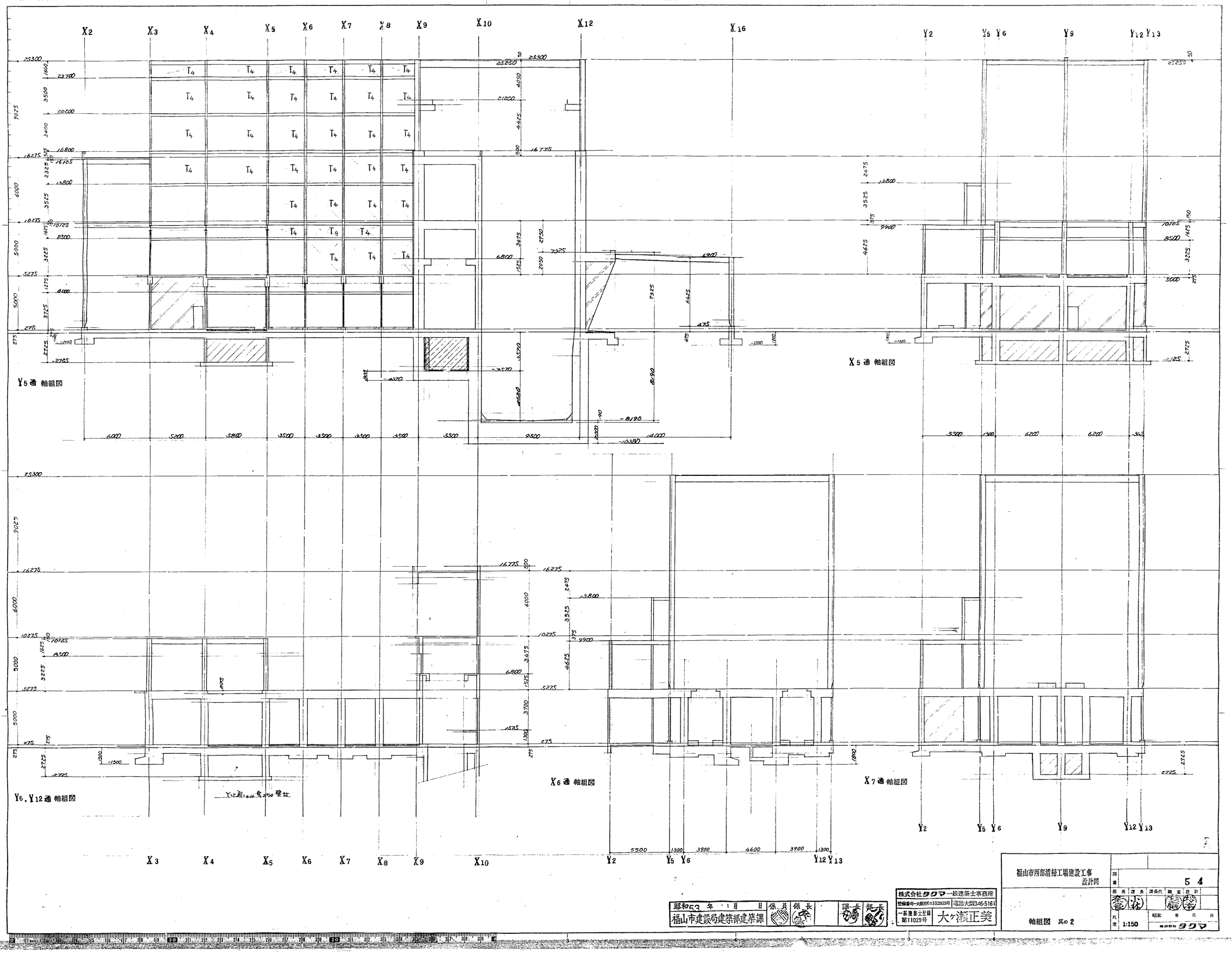
部長 課長 課長代 係員 設計

尺度 1:150

昭和 年 月 日

軸組図 其の1

株式会社タクマ



福山市西部清掃工場建設工事
設計図

軸組図 其の2

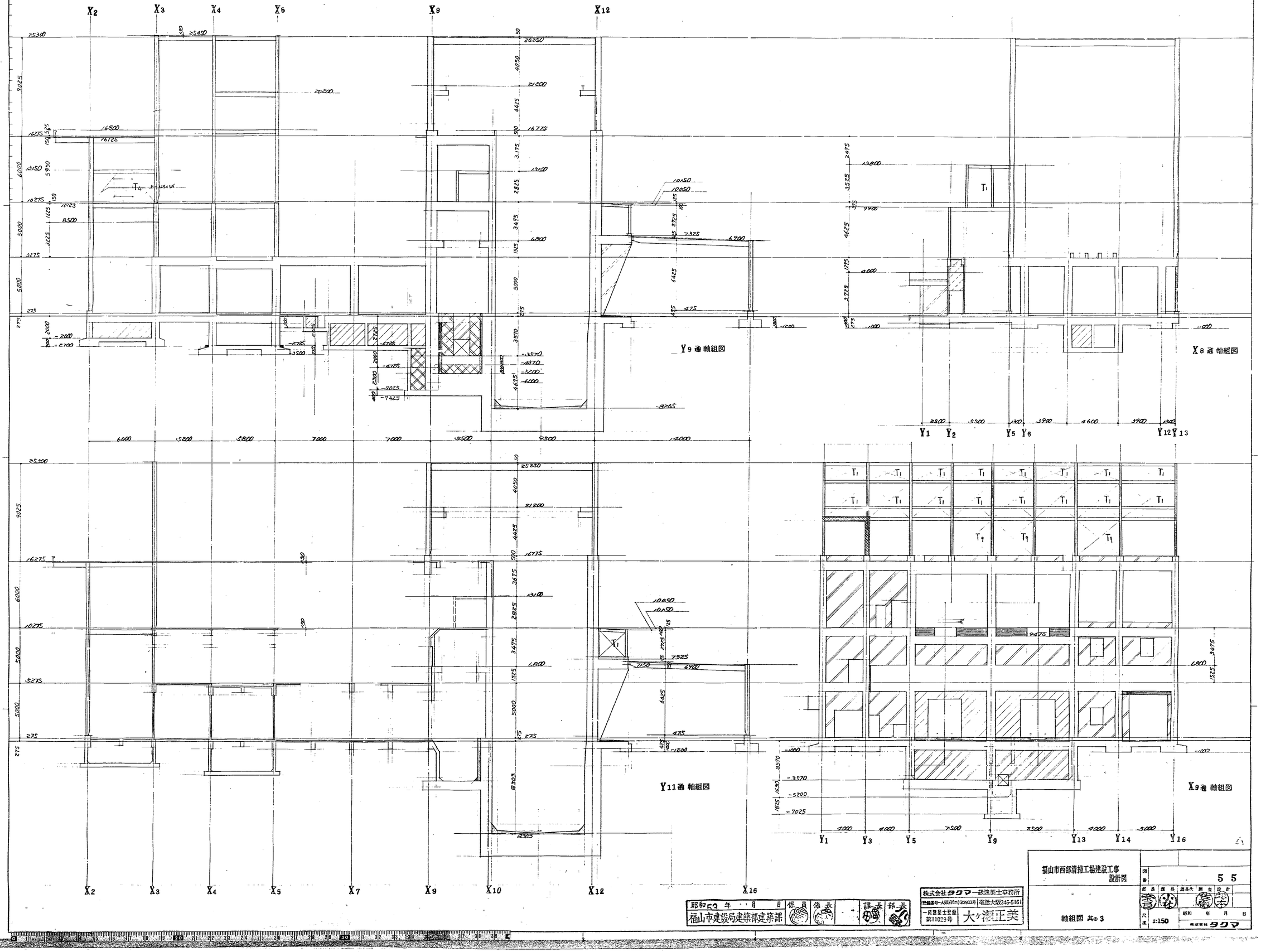
図番	54

部長	課長	課長代	調査	設計
小林			藤本	藤本

尺度 1:150　昭和　年　月　日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪ホ(ニ)3233号
一級建築士登録 第11029号
大ケ瀬正美

昭和53年1月日
福山市建設局建築部建築課
係員　係長　課長　部長



昭和52 年 月 日
福山市建設局建築部建築課

係員	係長	課長	部長

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(ニ)7029339
電話 大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

軸組図 其の3

図番	55
部長	課長	課長代	調査	設計
斉			藤	
尺度	1:150	昭和 年 月 日
		株式会社 タクマ

Y13 軸組図

X10 軸組図

Y14 軸組図

Y16 軸組図

X12 軸組図

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 5 6

軸組図 其の4

尺度 1:150

昭和53年 月 日

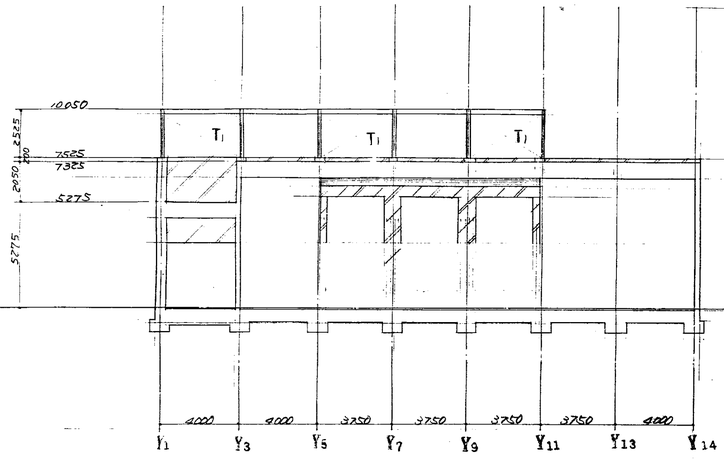
福山市建設局建築部建築課

係員 係長 課長 部長

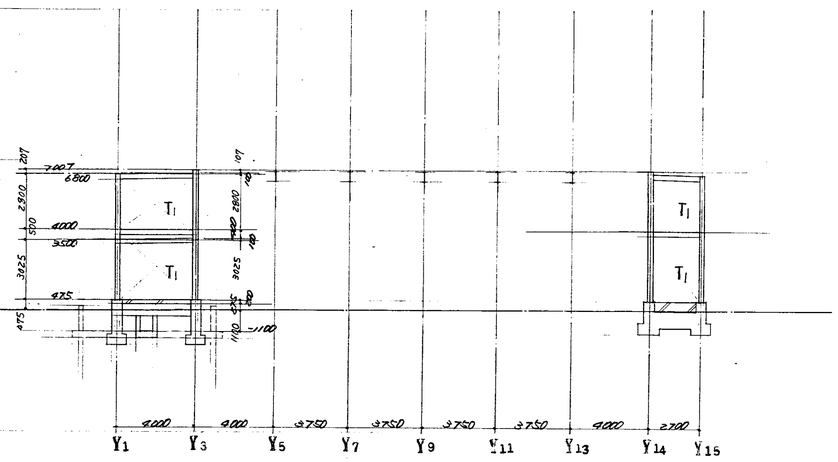
株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)第2933号
一級建築士登録 第11029号
大ヶ瀬正美

電話大阪(345)5161

株式会社タクマ



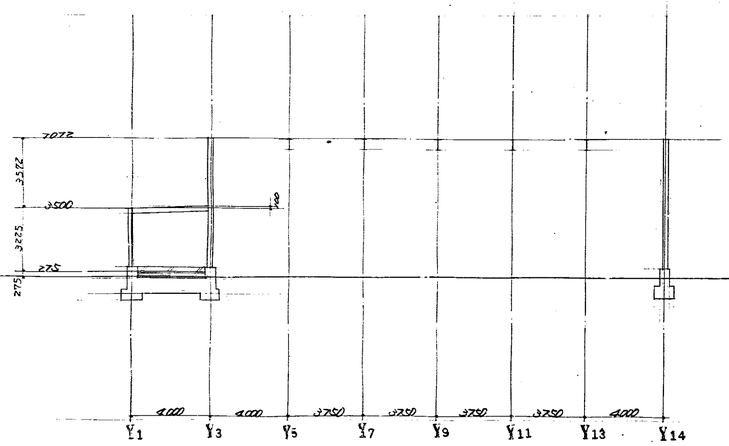
X13 軸組図



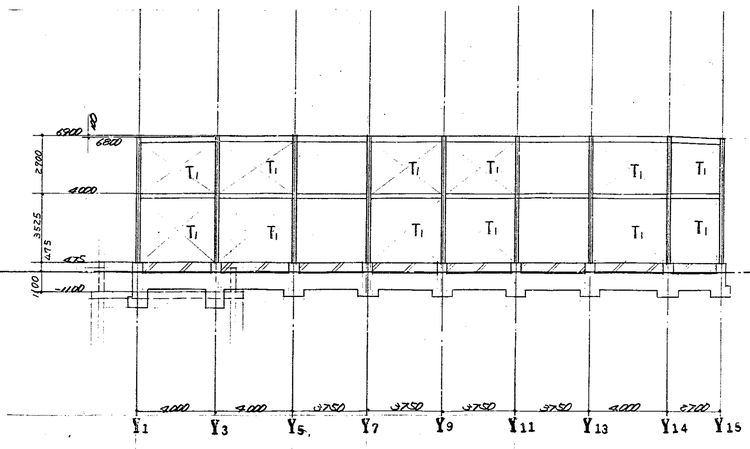
X15 軸組図

凡例

- 壁厚 100MM
- 壁厚 150MM
- 壁厚 180MM
- 壁厚 200MM
- 壁厚 250MM
- 壁厚 300MM
- 壁厚 350MM
- 壁厚 400MM
- 壁厚 450MM
- 増打



X14 軸組図



X16 軸組図

昭和53. 年 月 日 係員 係長 課長 部長
福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 57

軸組図 其の5

縮尺 1:150

昭和 年 月

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

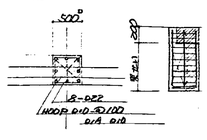
株式会社タクマ

柱配筋リスト

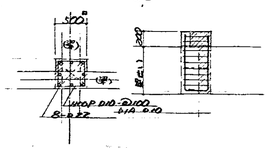
（増打及び面取りは詳細図による）
WC1は杭配筋図参照の事。

記号	C1.6.18.27.101~116	C2.3.	C4.5.	C13.	C19.21.24.	C14.25.51.52.53	C20.15.26.54~60	C61.62.63.	C64.65.67.92.93.95.	C68.	C69.88.	C70.89.	C71.	C90.	C72.91.	C73.85.79.	C74.80.86.83.77.	C84.87.81.78.75.
3 断面形状																		
断面寸法									600×600		1000×600	600×600			1000×600	1000×800	600×600	1000×600
主筋									12-D22		14-D22	12-D22			14-D22	8-D29 8-D22	12-D22	14-D22
HOOP									D10-@100		D13-@100	D10-@100			D13-@100	D13-@100	D10-@100	D13-@100
Dia									D10-@600		D10-@600	D10-@600			D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600
2 断面形状									同上		同上	同上			同上	同上		同上
断面寸法										500×500							600×600	
主筋										8-D22							16-D22	
HOOP										D10-@100							D10-@100	
Dia										D10-@600							D10-@600	
1 断面形状									同上	同上	同上	同上			同上	同上	同上	
断面寸法	500×500	500×500	500×500	700×700	700×700	700×700	700×700	700×700										1000×600
主筋	8-D22	8-D25	12-D25	12-D29	14-D29	16-D29	18-D29	20-D29										20-D22
HOOP	D10-@100	D10-@100	D10-@100	D10-@100	D10-@100	D10-@100	D10-@100	D10-@100										D13-@100
Dia	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600										D10-@600
B1 断面形状	同上 (C18.27のみ)				同上	同上 (C14.25のみ)	同上 (C54.58以外)								同上			
断面寸法											1200×800	800×1500	800×1000	1500×800			1200×800	1500×800
主筋											12-D29	10-D29 8-D22	10-D29 8-D22	16-D29			10-D29 8-D22	12-D29 10-D22
HOOP											D13-@100	四 4-D13-@100	D13-@100	四 4-D13-@100			D13-@100	四 4-D13-@100
Dia											D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600			D10-@600	D10-@600
B2 断面形状															同上 (C79のみ)	同上	同上	同上
断面寸法												800×1500	1800×1000					
主筋												18-D29 8-D22	28-D29 8-D22					
HOOP												四 4-D13-@100	四 4-D13-@100					
Dia												D10-@600	D10-@600					

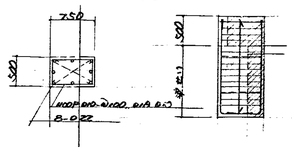
CA



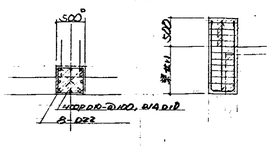
CB



Cc



Cd



昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)22933号 電話大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 58

柱配筋リスト

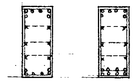
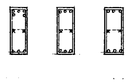
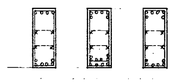
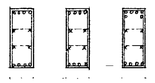
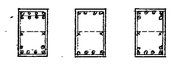
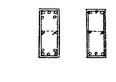
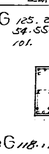
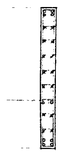
部長 課長 係長 設計

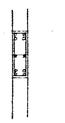
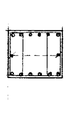
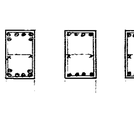
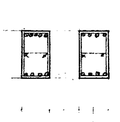
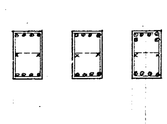
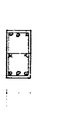
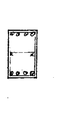
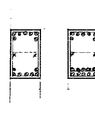
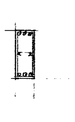
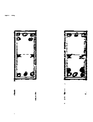
尺度 1:50 昭和 年 月 日

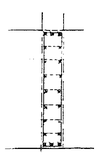
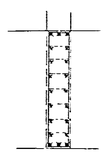
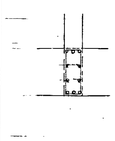
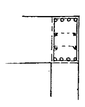
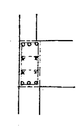
タクマ

梁配筋リスト （増打及び面取りは躯体図による）

記号	4b1.2. 3b1.4.5. 2b6~9.11~14.	4b3. 2b1~4. 1b1.2.5.	1G 18.28. 4b4. 1b3.4.	m3b 1~4	m3B1~4	m3b7	m3b6	m3B5	m3b5
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面形状									
断面寸法	300×800	300×600	300×800	300×700	400×700	300×800	800×800	400×800	300×600
上筋	3-D22	3-D19	3-D22	5-D22	6-D22	5-D22	5-D22	8-D25	3-D22
下筋	3-D22	3-D19	5-D22	5-D22	4-D22	5-D22	5-D22	6-D25	3-D22
補強腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D13	2-D10	2-D10	2-D16	2-D16	2-D10
S.T.	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	四 4-D13-@200	D13-@200	D13-@200
中間巾止筋	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600

記号	4G 101. 108~114. 117. 106. 72. 75. 76. 95. 117. 3G 101~106, 72. 75. 76. 95. 98. 108~114. 117~123.	4G 103. 104.	4G 102. 105.	4G 79. 85. 91. 94.	4G 99.	4G 98.	4G 118~123.	3G 79. 85. 91. 94.	3G 99. 124.	2G 74. 72. 75. 76. 95 98. 99. 129. 117. 111. 3G 125. 2~5. 45~48 58. 55. 99~82. 56. 101. 3G 118.~123.	m3G 102~106. 108~114. 98.
位置	全断面	両端 中央	通端 中央 通端	両端 中央	外端 中央 内端	外端 中央 内端	全断面	外端 中央 内端	両端 中央	全断面	全断面
断面形状							16-D25			 3G118.~123.	
断面寸法	300×800	500×1200	300×800	300×800	400×1000	400×1000	1000×800	500×800	300×800	300×800	250×2335
上筋	3-D22	6-D22 6-D22	5-D22 3-D22 3-D22	5-D22 3-D22	4-D22 6-D22 6-D22	4-D22 4-D22 6-D23		8-D25 4-D25 6-D25	5-D22 3-D22	5-D22	4-D22
下筋	3-D22	6-D22 8-D22	3-D22 3-D22 3-D22	3-D22 3-D22	6-D22 10-D22 6-D22	4-D22 4-D22 4-D22		6-D25 4-D25 6-D25	5-D22 3-D22	5-D22	4-D22
補強腹筋	2-D13	6-D13	2-D13	2-D13	4-D13	4-D13		2-D13	2-D13	2-D13	14-D13 2-D22
S.T.	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	四 4-D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200
中間巾止筋	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600		D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600

記号	2~4 G 71. 107.	2G 31~34. 14~17. 19~22.	2G 12. 24. 29.	2G 13. 25. 30.	2G 53. 61.	2G 5. 7.	2G 60. 64. 68.	2G 62. 26. 27.	2G 63. 66.	2G 67. 57.	1G 0.1~5. 7~11. 23. 35~56. 71. 72. 74. 75. 78. 79. 94. 98. 91. 97. 1G 101, 102, 105. 107. 117. 185. 64. 68. 1b6	1G 13. 25. 36. 115. 116.	1G 12. 24. 29.
位置	全断面	全断面	外端 中央 内端	両端 中央	外端 中央 内端	両端 中央	全断面	全断面	全断面	両端 中央	全断面	断端 中央	両端 中央
断面形状										1G 103. 104. 	1G 101, 102, 105. 107. 117. 185. 64. 68. 1b6 		
断面寸法	250×800	950×800	500×800	500×800	500×800	500×800	500×800	400×800	500×800	500×800	300×800	350×800	300×800
上筋	4-D22	6-D25	6-D25 4-D25 5-D25	5-D25 4-D25	4-D25 4-D25 6-D25	7-D25 4-D25	5-D25	3-D25	4-D25	7-D25 7-D25	3-D25	5-D25 3-D25	5-D25 3-D25
下筋	4-D22	6-D25	6-D25 4-D25 4-D25	4-D25 4-D25	4-D25 4-D25 4-D25	5-D25 4-D25	5-D25	3-D25	4-D25	7-D25 10-D25	3-D25	3-D25 5-D25	5-D25 3-D25
補強腹筋	2-D13	2-D16	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
S.T.	D13-@200	四 4-D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200
中間巾止筋	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600

記号	1G 61. 14~17. 31~34. 19~22.	1G 57. 58. 62. 63. 66. 67.	1G 118~123. 1B1.	1B2	1G 108~113. 76. 77. 95. 96.	B2G1	B2G2	B1G1	B2G3 B1G2	B2G3'
位置	両端 中央	両端 中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面形状			14-D25							
断面寸法	350×900	400×900	500×600	400×600	400×800	400×2000	400×2000	300×800	450×800	350×800
上筋	5-D25 3-D25	6-D25 3-D25		3-D25	3-D25	3-D29	3-D29	3-D22	4-D22	3-D22
下筋	5-D25 3-D25	6-D25 3-D25		3-D25	3-D25	3-D29	3-D29	3-D22	4-D22	3-D22
補強腹筋	4-D13	4-D13		2-D13	2-D13	14-D13	14-D13	4-D13	4-D13	4-D13
S.T.	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200
中間巾止筋	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600	D10-@600

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課 係員 係長 課長 部長

株式会社タクマ 一級建築士事務所
建設業許可 大阪府(に)第23533号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

梁配筋リスト

図番 59
部長 課長 課長代 課室 設計
尺度 1:50
昭和 年 月 日
タクマ

床版配筋リスト

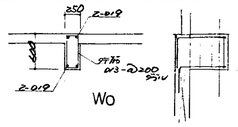
記号	厚	位置	短辺方向 柱間帯 端部	短辺方向 柱間帯 中央	短辺方向 柱列帯	長辺方向 柱間帯 端部	長辺方向 柱間帯 中央	長辺方向 柱列帯	開口部補強筋 タテ筋	開口部補強筋 ヨコ筋	開口部補強筋 斜ノ筋	端部補強筋
FKS1	100	上筋	D13-@200			D13-@250						2-D13
		下筋	〃			〃						
FKS1	150	上筋	D13-@150			D13-@200						2-D13
		下筋	〃			〃						
FKS2. 4S11.12. 4S1.2.3.5.6.7.8.9.	150	上筋	D13-@200			D13-@250			2-D13	2-D13	2-D13	
		下筋	〃			〃						
2S3.4.5.6.7.8.11.12. 3S10.11.12.13. FKS2.13. 4S4. FKS1.3.	150	上筋	D13-@200			D13-@200			2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
		下筋	〃			〃						
4S10	150	上筋	D13-@100			D13-@100						2-D13
		下筋	D13-@200			D13-@200						
2S14.19. 3S14 2S1.2.13.20. 3S1.2.4.5.6.7.8.9.	150	上筋	D13-@200			D13-@250			2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
		下筋	〃			〃						
3S3	150	上筋	D13-@150			D13-@200						2-D13
		下筋	〃			〃						
2S9.10	150	上筋	D13-@100			D13-@200						2-D13
		下筋	〃			〃						
2S15	100	上筋	D10-@200			D10-@200						
		下筋	〃			〃						
2S16.	200	上筋	D16-@150			D16-@200						
		下筋	D13-@150			D13-@200						
2S17.	250	上筋	D13-@200			D13-@200						
		下筋	〃			〃						
(1S4.12) 2S18.	(150) 200	上筋	D13-@150			D13-@150			2-D16	2-D16	2-D16	
		下筋	〃			〃						
(1S10.13) 1S1.5.7.9.11.	(200) 150	上筋	D13-@200			D13-@250			2-D13	2-D13	2-D13	
		下筋	〃			〃						
1S2.	150	上筋	D13-@200			D13-@150			2-D13	2-D13	2-D13	
		下筋	〃			〃						
1S6.	150	上筋	D10. D13交互-@200			D10. D13交互-@250						
		下筋	〃			〃						
(1S12) 1S8.	(300) 250	上筋	D16. D13交互-@200			D16. D13交互-@250			2-D16	2-D16	2-D16	
		下筋	〃			〃						
FS1	2000	上筋	D19. D22交互-@100			D16-@250			(中土筋 D19-@1000以内ヨコ共)			
		下筋	D19-@200			D19-@250						
FS2	475	上筋	D19-@150			D16-@200			(中土筋 D13-@1000以内ヨコ共)			
		下筋	D16-@150			〃						
FS3.4.5.	800	上筋	D16-@200			D16-@250			(中土筋 D16-@1000以内ヨコ共)			
		下筋	〃			〃						
FS6	800	上筋	D16-@200			D16-@200			(同 上)			
		下筋	〃			〃						
FS7	400	上筋	D13-@150			D13-@150			(中土筋 D13-@1000以内ヨコ共)			
		下筋	D16-@150			D16-@150						
FS8.9.10.11.	400	上筋	D16-@200			D16-@250			(同 上)			
		下筋	〃			〃						
FS14	300	上筋	D13-@200			D13-@250						
		下筋	D16-@200			〃						
FS15	300	上筋	D13-@200			D13-@250						
		下筋	〃			〃						
FS16	300	上筋	D13-@200			D13-@250						
		下筋	D16-@200			〃						
FS17.	300	上筋	D13-@200			D13-@250						
		下筋	〃			〃						
(FS18) FS12.13.	(250) 300	上筋	D13-@200			D13-@200						
		下筋	〃			〃						
(B2S1) B1S1.2.	(300) 200	上筋	D13-@150			D13-@150			2-D16	2-D16	2-D16	
		下筋	〃			〃						
1S0	800	上筋	D13-@200			D13-@200			(中土筋 D13-@1000以内外ヨコ共)			
		下筋	〃			〃						

(註) 中間中止筋は特記なき限り寸法200以上 外ヨコ共 D10-@1000以内に入れる事。

壁配筋リスト

記号	厚	位置	配筋 タテ筋	配筋 ヨコ筋	開口部補強筋 タテ筋	開口部補強筋 ヨコ筋	開口部補強筋 斜ノ筋	端部補強筋 タテ筋	端部補強筋 ヨコ筋	備考
W1.	400	外部	D13-@200 (下打用途 H=2000 D16. D13交互-@100.)	D16. D13交互-@100						
		内部	D13-@200	D13-@200						
W1'. W3b.	350	外部	D13-@200	D13-@200	2-D16	2-D16	2-D16			
		内部	〃	〃						
W2	350	外部	D13-@200 (下打用途 H=2000 D13-@100)	D13-@100						
		内部	〃	D13-@200						
(W4.5.) W3.	(300) 350	外部	D13-@250	D13-@200	(2-D16)	(2-D16)	(2-D16)	4-D16		
		内部	〃	〃						
W14. W3a.	350	外部	D16-@200	D16-@150						
		内部	〃	〃				4-D19		
W4a.	300	外部	D13-@200	D13-@200						
		内部	〃	〃				4-D19		
(W4c) W4b.	(450) 350	外部	D16-@150	D16-@200				(4-D19) 4-D19	(下4-D22) 下4-D19	
		内部	〃	〃						
W4d	300(内壁) 450(他部)	外部	D13-@200	D13-@200	2-D16	2-D16	2-D16	4-D19	上2-D19 下2-D19	
		内部	〃	〃						
W6.	300	外部	D13-@200	D13-@250				4-D16		
		内部	〃	〃						
W7.	350	外部	D19. D16交互-@125	D16-@180				4-D19	上2-D19 下4-D22	
		内部	D19-@125	〃						
W8.	350	外部	D16-@250	D16-@200						
		内部	〃	〃						
W9.	300	外部	D16-@150	D16-@200				4-D19	2-D19	
		内部	D13-@150	D13-@200						
W10.12.	300	外部	D13-@250	D13-@200						
		内部	〃	〃						
W11.	300	外部	D13-@200	D13-@250				4-D19	上2-D19 下2-D19	
		内部	〃	〃						
W20. W13.15.16.17.	250	外部	D13-@200	D13-@250				4-D16	上2-D16 下4-D16	
		内部	〃	〃						
W18.23.	150	外部	D10-@200	D10-@200				4-D13	上2-D13 下4-D13	
		内部	〃	〃						
W19	200	外部	D13-@250	D13-@200				4-D13	上2-D13 下4-D13	
		内部	〃	〃						
(W22) W21.	(225) 200	外部	D13-@200	D13-@250				4-D16	上2-D16 下4-D16	
		内部	〃	〃						
W24.26.	250	外部	D13-@200	D13-@200	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16		
		内部	〃	〃						
W25	250	外部	D13-@180	D13-@200	2-D16	2-D16	2-D16			
		内部	〃	〃						
W27	200	外部	D13-@200	D13-@200				4-D16		
		内部	〃	〃						

(註) 中間中止筋は特記なき限り寸法200以上 外ヨコ共 D10-@1000以内に入れる事。 上記リストになき壁配筋は構造一般適用事項参照の事。

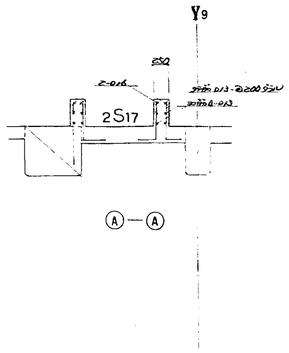


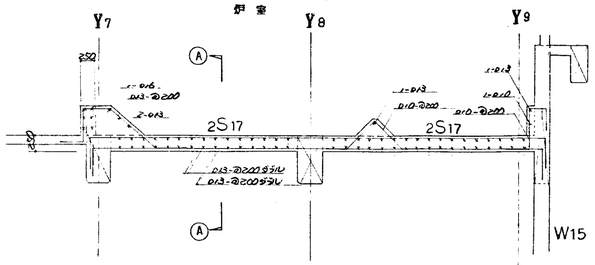
昭和 55.年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

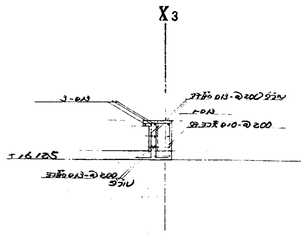
福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番	60
駐車場 床版配筋リスト	部長	課長 課長代理 係員 合計
	尺度	昭和 年 月 日

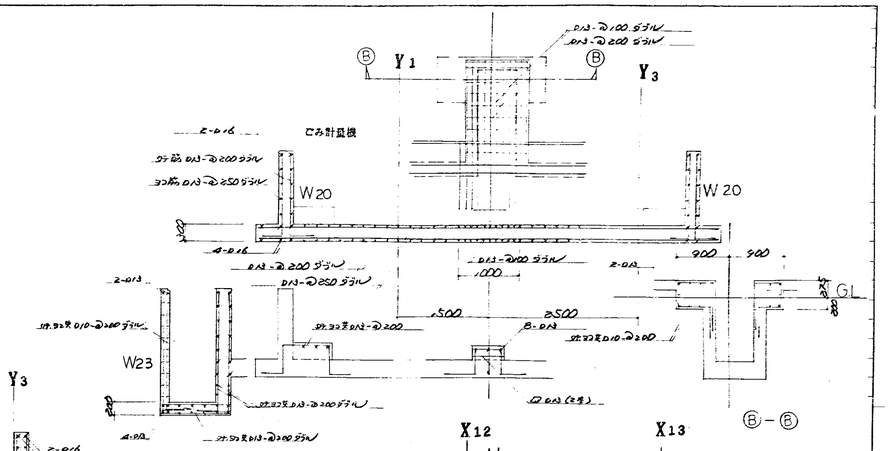
株式会社タクマ一級建築士事務所	
登録番号-大阪府(ニ)02933号	電話大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号	大ケ瀬正美

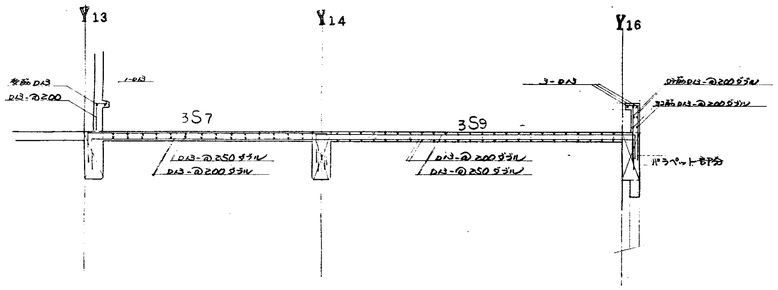
株式会社タクマ

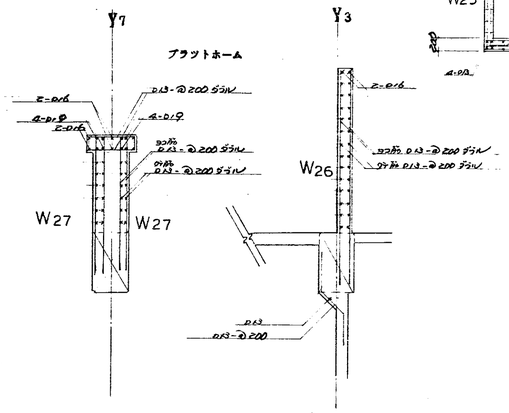


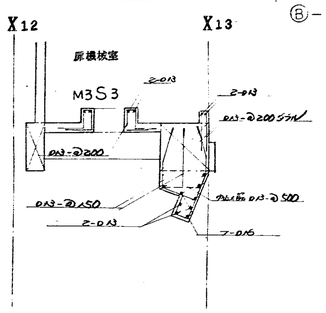


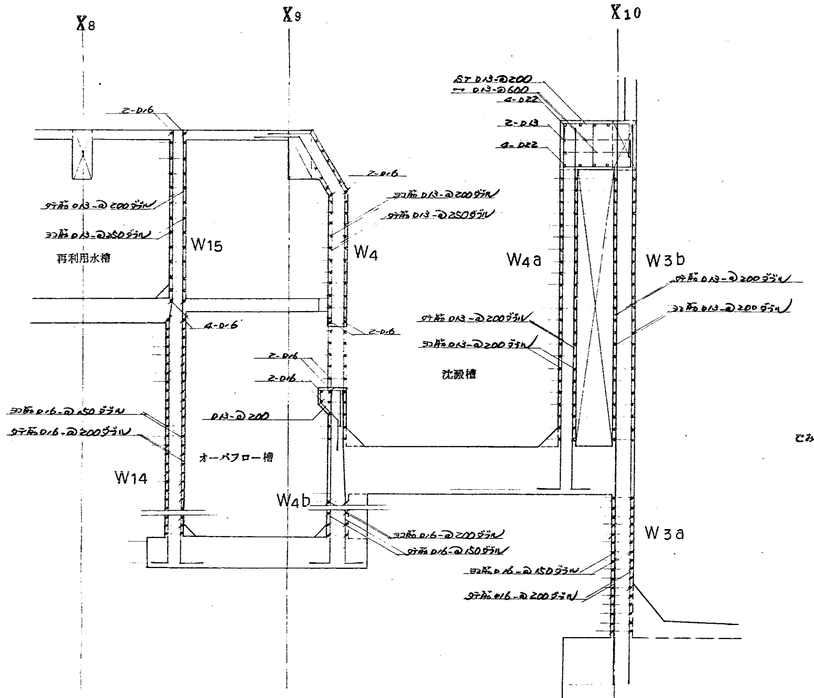


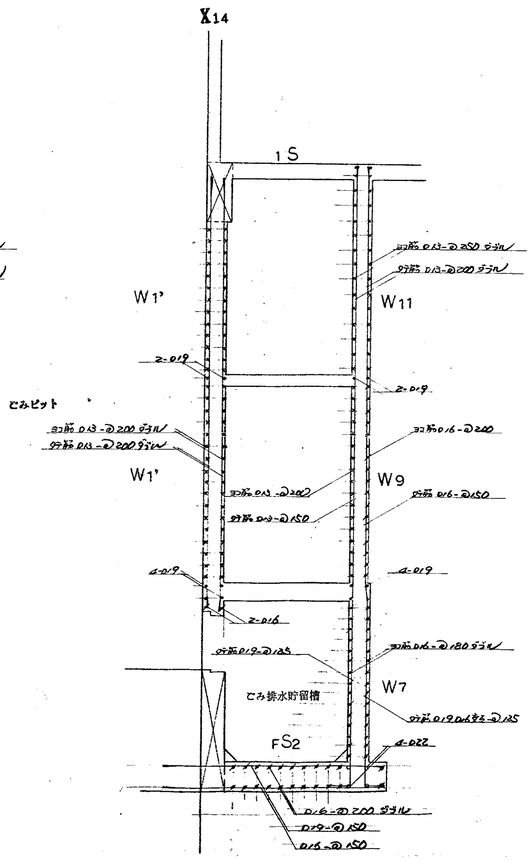


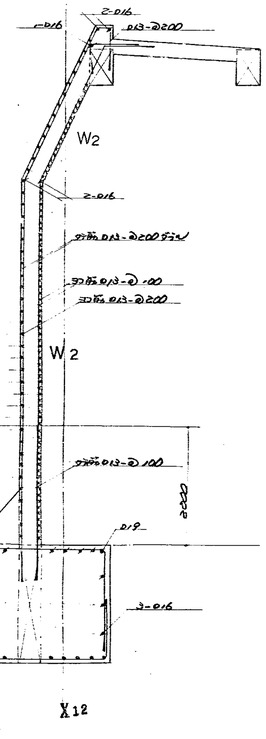












昭和53年 月 日 係員 係長 課長 部長

福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

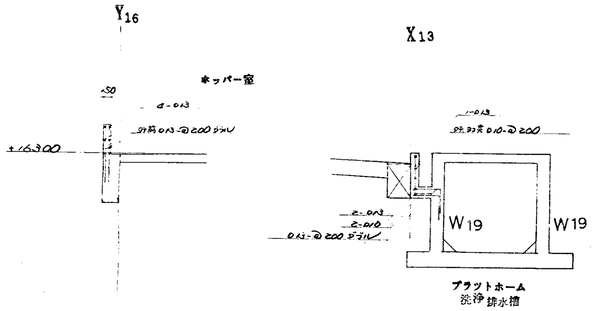
図番 6 1

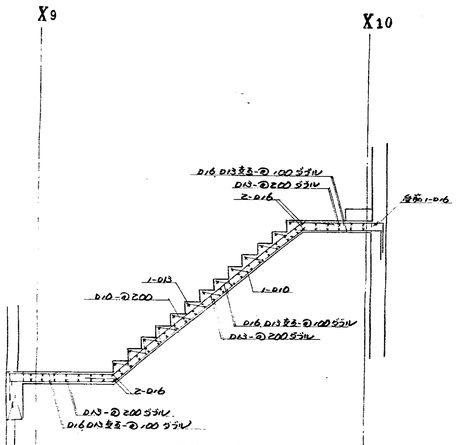
雑配筋図 其の1

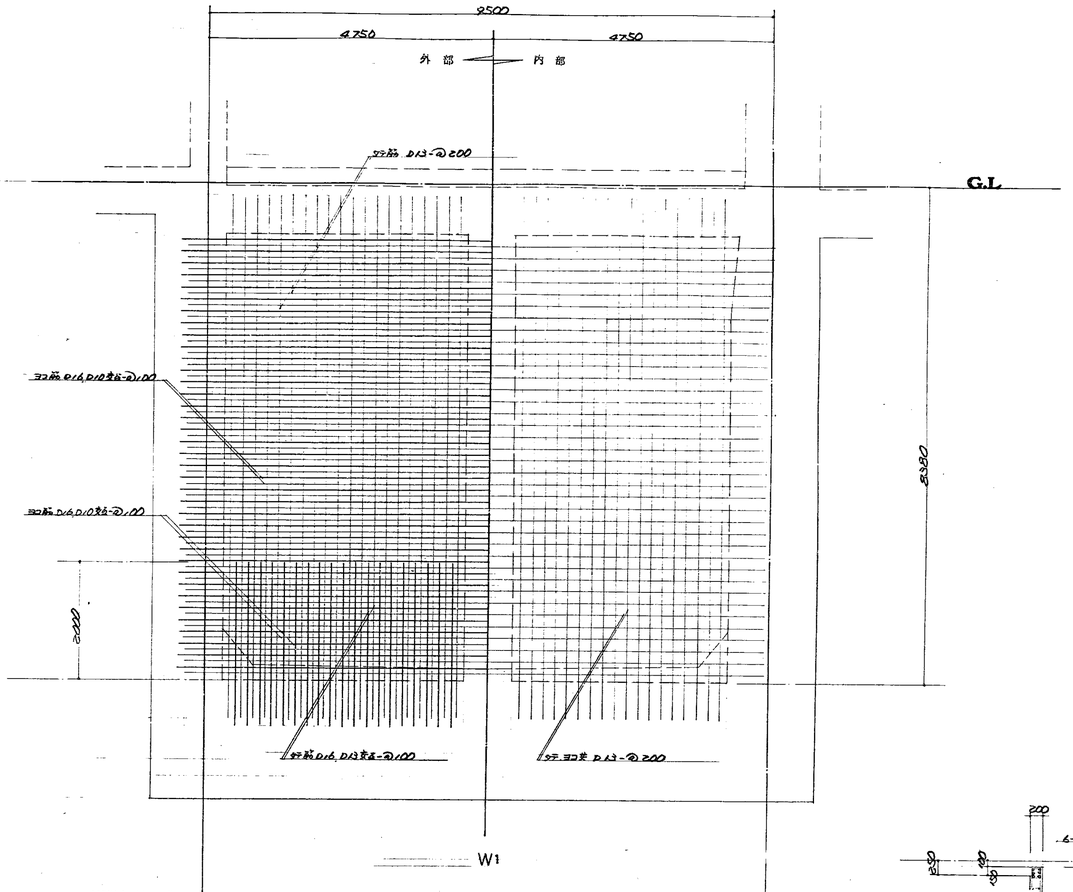
尺度 1:50

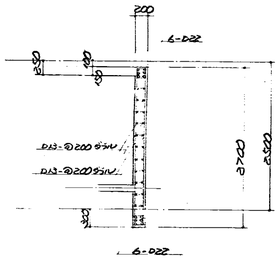
昭和 年 月 日

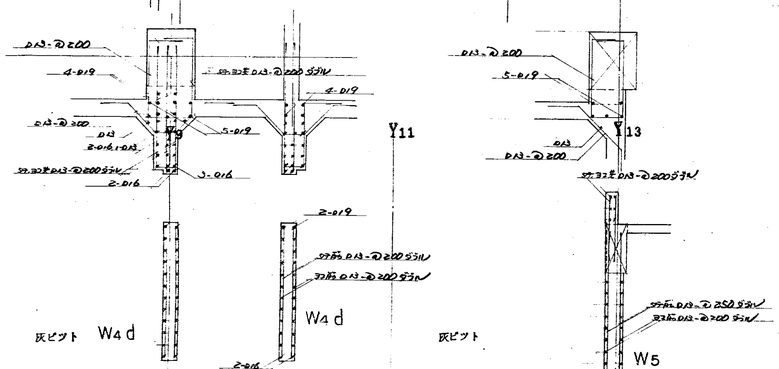
株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(ニ)3333332 電話大阪(345)5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

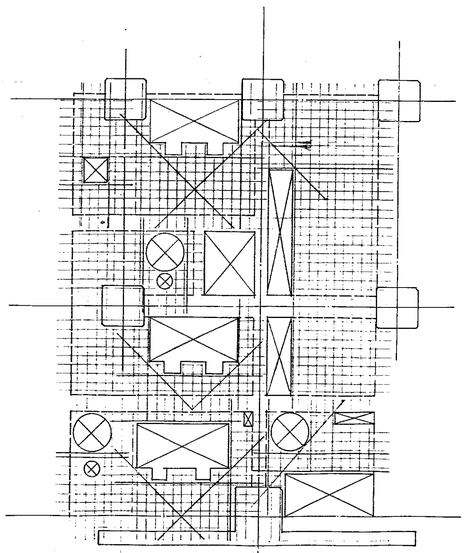








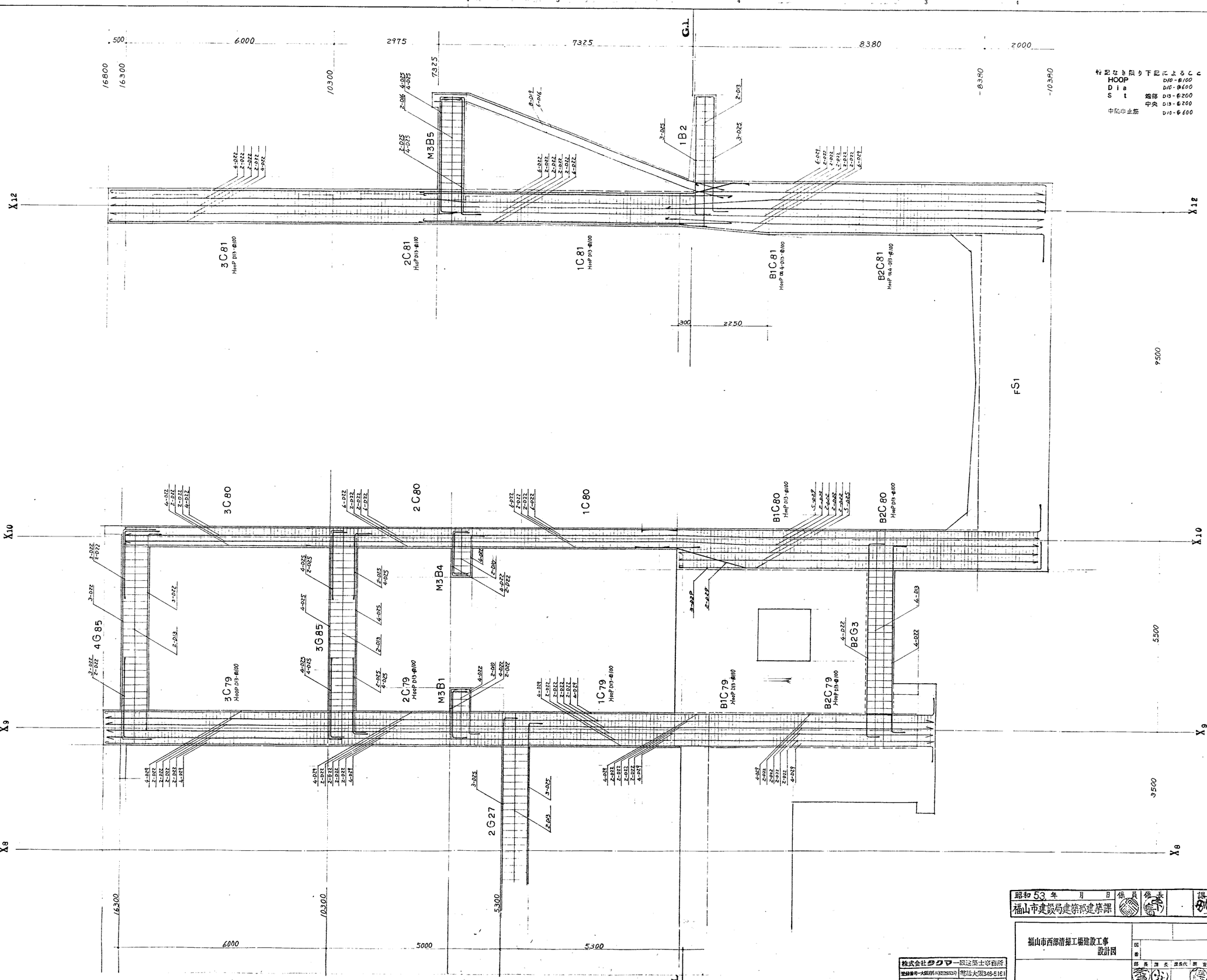




昭和53年 月 日	係員	係長		課長	部長		
福山市建設局建築部建築課							

株式会社タクマ一級建築士事務所							
登録番号一大阪府(ニ)3829331	電話大阪346-5161						
一級建築士登録 第11029号	大ケ瀬正美						

福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番	62					
	部長	課長	課長代	係	設計		
雑配筋図 其の2	尺度	1:50	昭和 年 月 日				
			株式会社タクマ				



記なき限り下記による
HOOP D10-@100
Dia D10-@600
St 端部 D13-@200
中央 D13-@200
中間中止筋 D10-@600

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 63

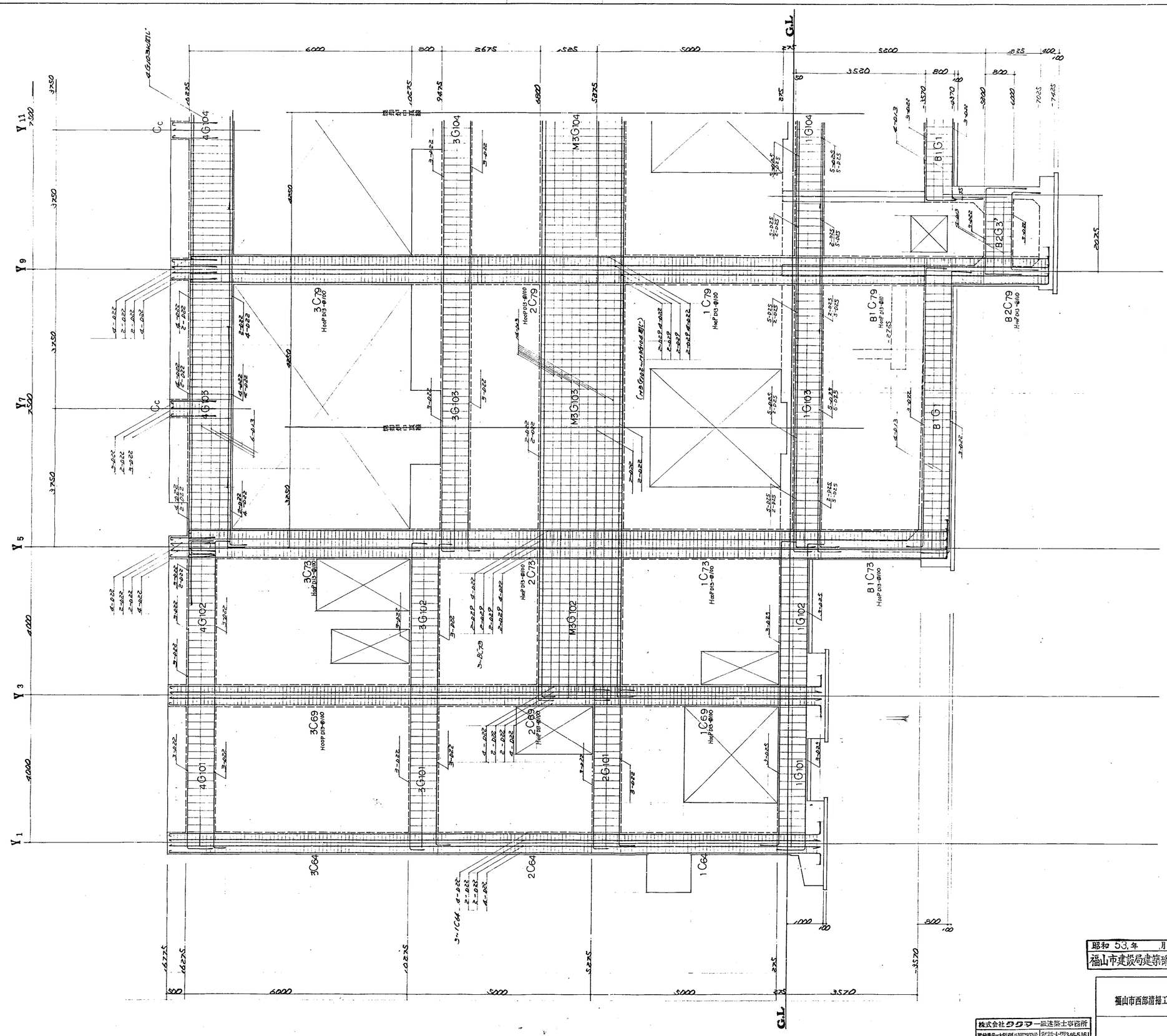
架構図 其の1

尺度 1:50

昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大阪府(一)3533
電話大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

株式会社タクマ



X9通 架構図

HOOP	D13-@100,	
Dle	D10-@200,	
St	端部	D13-@200,
	中央	D13-@200,
中間巾止筋	D10-@400	

昭和 53.年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

株式会社タクマ一級建築士事務所	
登録番号一大阪府(ニ)第2933号	電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号	大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

図番	64				
部長	課長	課長代	部長	設計	
尺度	1:50	昭和 年 月 日			

架構図 其の2

株式会社タクマ

鉄骨　構造一般適用事項

1　使用材料　(JIS規格相当品)

形鋼　鋼板	SS 41	角形鋼管	STKR 41
軽量形鋼	SSC 41	鋼　管	STK 41
丸鋼	SR 24		
ボルト	SS 41　六角ボルト 中		
高力ボルト	JIS高力ボルト　F10T　(図中HBと記入).		
アンカーボルト (注)	六角ボルト (Lはコンクリート埋込み長さ) 二重ナット締め付け		

(注) クレーガダー、電気導じ牽道、コンベヤー取付用鉄骨は材料明細(概略図)にを入れ、形状寸法にて承認を受ける事。

前 A.L.C取付用補強材は図示なき場合のみとメーカーと協議の上取付ける事。

2　特記事項

開通工事　建築図、建築設備図、並びにアラント機械、電気、其の他別指示ある各取付機器等を熟慮した施工図を作成し監督員の承認を受ける事。　角鉄骨及び各種機器が当る場合は監督員の指示を受け施工図の時に変更する事。

補強材　A.L.C版取付、シャッター取付、建築設備機器取付、其各種取付補強材は、各施工メーカー必要部材を鉄骨施工図で指示し監督員の承認を受け施工する事。(図示なき場合も総べて各メーカーの責任に於て施工チェックする事。)

へりあき及びピッチ　日本建築学会制定の「鋼構造設計規準」により施工する事。

塗装　防錆塗装 JIS K 5622
見えがかり 50μ 1回、見えがかり 50μ 1回 刷毛引施工の事

特記なき限り下記による

ボルト及び高力ボルト記号　－ 1 M16 .　＋ M20 .　⊕ M22 .　高力ボルトはHBと記入。

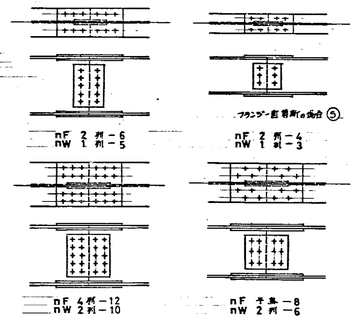
ガセットプレート　t-6mm (全周隅肉溶接)。

スチフナープレート　t-9mm (　　・　　)。

溶接基準　突合せ溶接及び隅肉溶接は溶い方の母材厚とする。

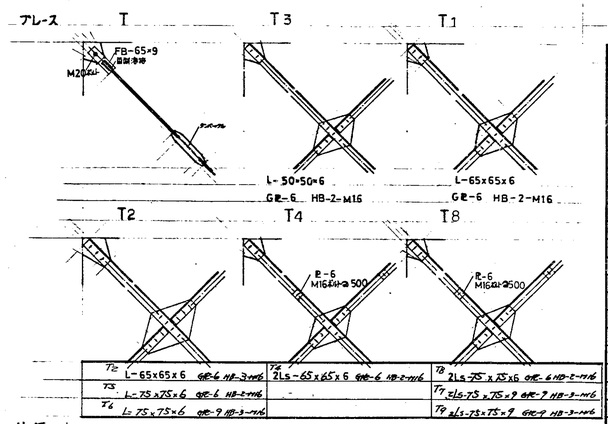
3　標準継手

採用高力ボルト F10T M20.
(　)内は狭隘な場合。

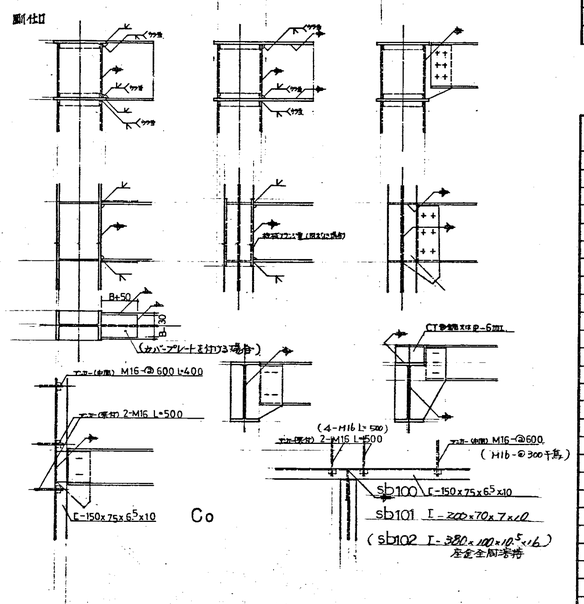


H 形鋼	フランジ n	F	端部寸 mm	ウエア n	W	端部寸 mm
		M20			M20	
H－250×125×6×9	(2列 — 4) 1列 — 2	(12) ⑥ 12	(6) 6	(2列 — 4) 1列 — 2		(6) 6
H－300×150×6.5×9	(2列 — 6) 2列 — 4	(12) ⑥ 12	(6) 6	(2列 — 6) 1列 — 3		(6) 6
H－350×175×7×11	(2列 — 4) 2列 — 4	(9) 9	(6) 6	(2列 — 6) 1列 — 3		(6) 6
H－400×200×8×13	(2列 — 6) 2列 — 6	(9) 9	(6) 6	2列 — 8		(6) 6
H－450×200×9×14	(2列 — 6) 2列 — 6	(9) 9	(6) 6	2列 — 8		(6) 6
H－500×200×10×16	(2列 — 6) 2列 — 6	(12) 12	(9) 9	2列 — 10		(9) 9
H－600×200×11×17	(2列 — 6) 2列 — 6	(12) 12	(9) 9	2列 — 12		(9) 9
H－200×200×8×12	(2列 — 6) 2列 — 4	(9) 9	(6) 6	(2列 — 4) 1列 — 2		(6) 6
H－250×250×9×14	(2列 — 6) 2列 — 6	(9) 9	(6) 6	(2列 — 4) 1列 — 2		(6) 6
H－300×300×10×15	(2列 — 8) 3列 — 6	(9) 9	(6) 6	(2列 — 6) 1列 — 3		(6) 6
H－194×150×6×9	(2列 — 6) 2列 — 4	(12) ⑥ 12	(6) 6	(2列 — 2) 1列 — 2		(6) 6
H－244×175×7×11	(2列 — 4) 2列 — 4	(9) 9	(6) 6	(2列 — 6) 1列 — 3		(6) 6
H－294×200×8×12	(2列 — 6) 2列 — 4	(9) 9	(6) 6	(2列 — 6) 1列 — 3		(6) 6
H－588×300×12×20	千鳥 — 12	12	9	2列 — 14		9
H－390×300×10×16	千鳥 — 10	12	9	2列 — 8		9

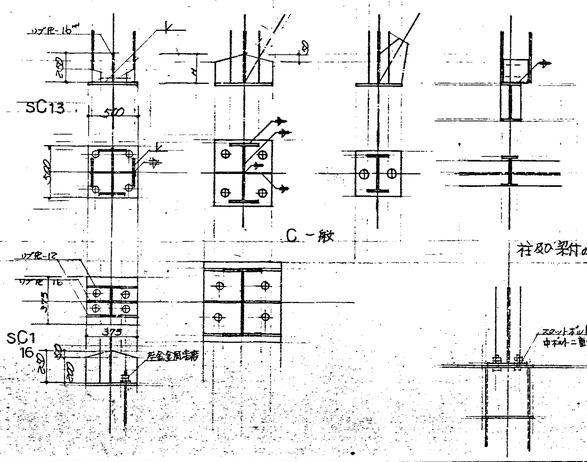
4　アレース



5　仕口



6　柱脚



アンカーボルト長さ

M16	L＝500
M20	L＝600
M24	L＝600
M30	L＝800

7　柱鉄骨リスト

記号	部材	ベースプレート	柱脚プレート	アンカーボルト	吸首現付 仕口プレート	吸首現付 仕口ボルト (HB)	吸首現付 ボルト孔カ
1C69~88.72~91.	H－300×200×10×16	600×400×22	9 H 200	4-M20		-M	
2~4SC 8.9.29.30.	H－300×200×10×16	550×300×19	16 H 200	4-M24		-M	
2~4SC 10.11.12.31.32.33	H－450×200×9×14	500×300×19	16 H 200	4-M24		-M	
2~3SC 2 (2C)	H－440×300×11×18	375×375×19	16 H 200	4-M24		-M	
〃 (3SC)	H－294×200×8×12	〃 × 〃	H	-M		-M	
1~3SC 16	H－400×200×8×13	440×375×24	16 H 250	4-M30		-M	
2SC 3.4	H－350×300×10×16	450×400×19	16 H 200	4-M24		-M	
4SC 64.67.92.95.	H－350×175×7×11	400×300×19	16 H 200	4-M16		-M	
1~3SC 21.16.18.22	H－294×200×8×12	400×375×24	16 H 250	4-M30		-M	
3~4SC 7.28.17.23.	H－294×200×8×12	400×300×19	16 H 200	4-M24 ネジ24		-M	
3~4SC 20.21.	H－248×175×7×11	400×400×19	16 H 200	4-M24 ネジ24		-M	
4SC 65.66.70.71.93.94.	H－244×175×7×11	400×300×19	16 H 200	4-M16		-M	
2SC 5.40.42	H－200×200×8×12	250×250×19	H	2-M24		-M	
1SC 103.105.116.107~111. 106.114	H－200×200×8×12	400×300×19	16 H 200	4-M20		-M	
4SC 89.90.	H－194×150×6×9	350×300×19	9 H 200	2-M16		-M	
1SC 101~105.112.113.	H－194×150×6×9	300×300×22	9 H 200	4-M20		-M	
4SC 68.69.97~100.	H－148×100×6×9	200×200×12	H	2-M16		-M	
3SC 97~99.	H－148×100×6×9	200×200×16	H	2-M16 ネジ16		-M	
2SC 7.8. 1SC 45~50 34~30	H－148×100×6×9	200×200×16	H	2-M16	9	4-M16	
3SC 117~122	H－100×100×6×8	200×150×12	H	2-M16		-M	
2SC 13~15.19~21.24~26	□－450×450×19	500×500×24	16 H 250	4-M30		-M	
〃	〃 × 〃 × 〃	〃 × 〃	H	-M		-M	
〃 3C0	L 150×75×6.5×10	〃 × 〃	H	-M		-M	

8　梁鉄骨リスト　No.1

記号	部材	絞仕口 仕口プレート	絞仕口 仕口ボルト (HB)	一般仕口 カバープレート		コンクリート仕口 ベースプレート	コンクリート仕口 アンカーボルト
RSb1. NRSb2.	H－250×125×6×9	6	4-M16			〃 × 〃	-M
RSb1'.	H－200×100×5.5×8	6	4-M16			〃 × 〃	-M
NRSb1.	H－244×175×7×11	9	4-M16			〃 × 〃	-M
RSB1	H－500×200×10×16		-M	(4)	○	〃 × 〃	-M
RSb2.3.	H－250×125×6×9	6	6-M16			〃 × 〃	-M
RSb4.	H－300×150×6.5×9	6	6-M16			〃 × 〃	-M
4Sb1.	H－300×150×6.5×9	9	6-M20			〃 × 〃	-M
4SB1	H－500×200×10×16		-M	(6)	○	〃 × 〃	-M
4Sb3.4.5. 3Sb12.	H－350×175×7×11	○	6-M16			〃 × 〃	-M
1NRSB1.2.3.4	H－194×150×6×9	6	4-M16			〃 × 〃	-M
1NRSBS.	H－200×100×5.5×8	6	2-M16			〃 × 〃	-M
3Sb1	H－294×175×7×11	6	4-M16			〃 × 〃	-M
3Sb2.4.5.6.7.	H－150×75×5×7	6	2-M16			〃 × 〃	-M
3Sb3.	H－250×125×6×9	6	4-M16			〃 × 〃	-M
3Sb8.	H－244×175×7×11	9	6-M16			〃 × 〃	-M
4Sb2. 3Sb9.10.13	H－200×100×5.5×8	6	4-M16			〃 × 〃	-M
3Sb11	H－294×200×8×12	9	6-M16			〃 × 〃	-M
NR3Sb1. NRSb1.	H－200×100×5.5×8	6	4-M16			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
NRSb2	L－150×75×6.5×10	6	4-M16			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
sb100 (立図K43)	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
sb101 〃	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
sb102 〃	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M
	〃 × 〃 × 〃		-M			〃 × 〃	-M

3Sb12はリブ取付.

柱脚 基礎ﾊﾝﾁ 600以上 2PL-168×9

外側柱脚P50mm以下

柱脚 基礎ﾊﾝﾁ 600以上 2PL-268×9

昭和53年　月　日　係員　係長　課長　部長
福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 65

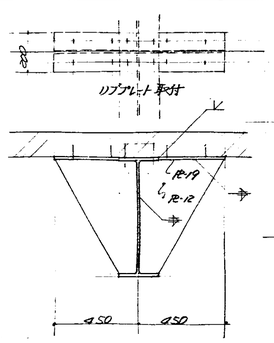
株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(二)第2393号　電話 大阪(345)5161
一級建築士登録 第11029号　大ケ瀬正美

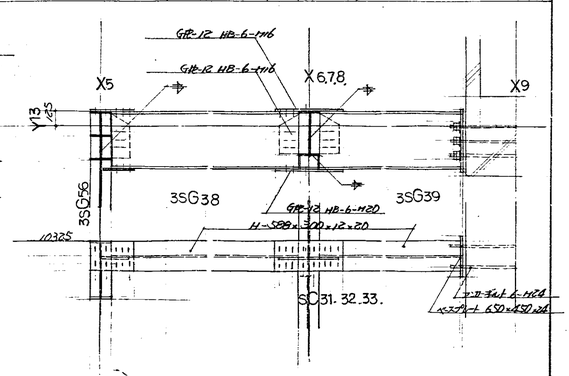
鉄骨詳細図 其の1

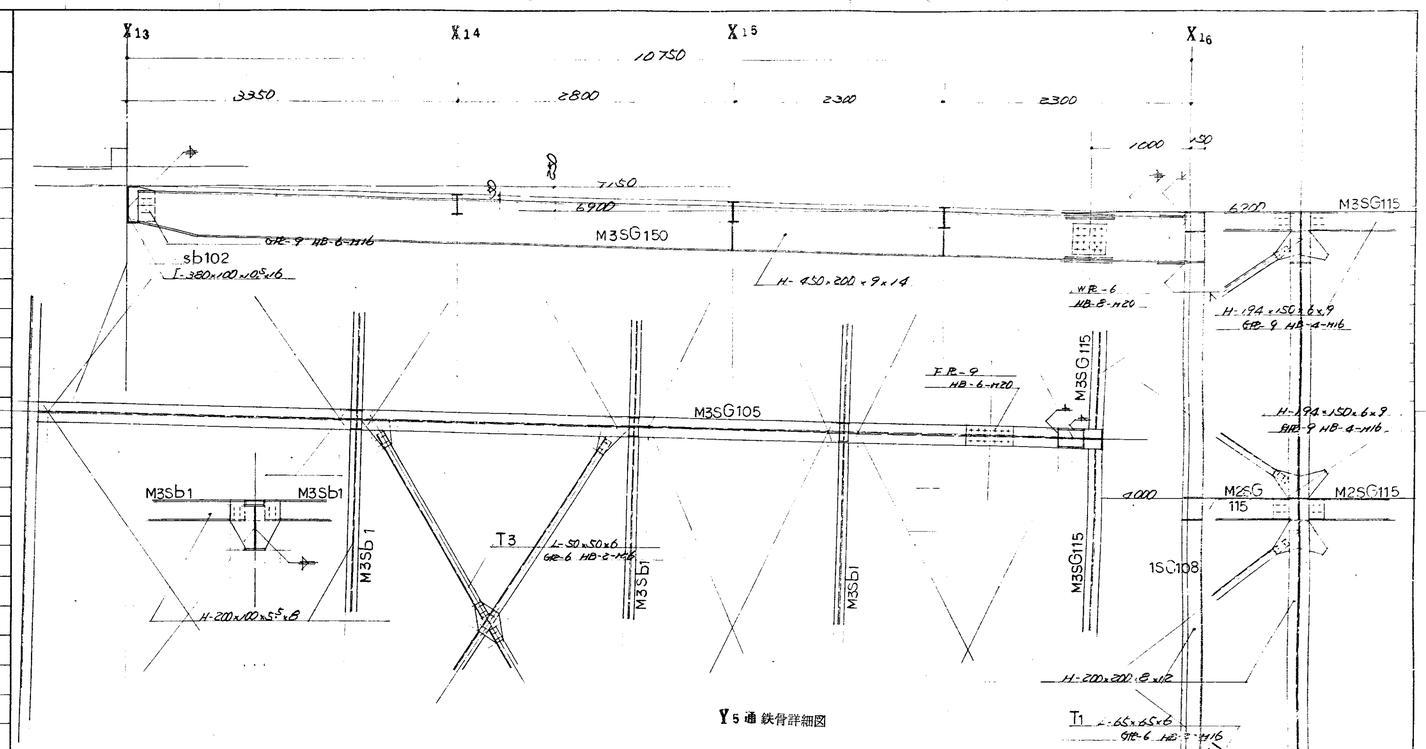
部長　課長　課長代理　係主査　設計　尺度　昭和　年　月　日　株式会社タクマ

梁 鉄 骨 リスト No2

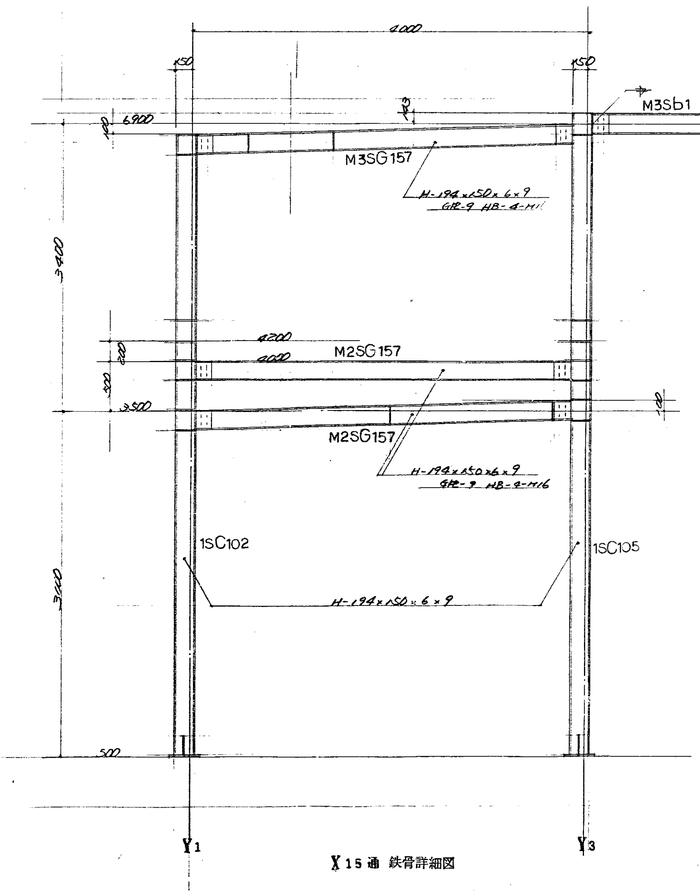
記号	部材	鋲仕口 仕口ﾌﾟﾚｰﾄ	鋲仕口 仕口ﾌﾟﾚｰﾄ HB	剛仕口 ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ		備考
RSG 8.9.24.25.36.37.	H- 300×150×6.5×9	9	6-M16			
RSG 10.11.38.39.45.46.47.48	H- 244×175×7×11	9	6-M16			
RSG 50.51.54.55.	H- 350×175×7×11			(6)	○	
RSG 58.60.66.	H- 450×200×9×14			(6)	○	
MRSG 8.9.36.37. M4SG 40~48.	H- 200×200×8×12	9	4-M16			
MRSG 10.11.38.39. M4SG 10.11.38.39.	H- 194×150×6×9	9	4-M16			
MRSG 45.46.47.48.4SG 8.9.36.37 MKSG 8.9.36.37. M4SG 36.37.35.1.	H- 250×250×9×14	9	4-M16			
MKSG 10.11.38.39.25.45.46.47.48. 4SG 10.11.38.39.25. M4SG 8.9.	H- 244×175×7×11	9	4-M16			
4SG 1.7.	H- 450×200×9×14			(6)	○	
4SG 18.23.28.35.	H- 500×200×10×16			(6)	○	
4SG 40~48.	H- 350×175×7×11	9	6-M16			
RSG 71.72.73.98.99.100.	H- 350×175×7×11	9	6-M16			
RSG 101~106. 117~124.	H- 294×200×8×12	9	6-M16			
RSG 94.91.88.85.82.79.75.	H- 600×200×11×17			(6)	○	
MRSG 71.72.73.98.99.100.106.124	H- 200×200×8×12	9	4-M16			
MRSG 117~123. 101~105.	H- 244×175×7×11	9	4-M16			
KSG 71.73.98.100.	H- 400×200×8×13	9	6-M16			
MKSG 71.72.73.75.76.77	H- 350×175×7×11			(6)	○	
MKSG 95.96.98.99.100	H- 250×125×6×9	6	4-M16			
MKSG 101~107. 119~124	H- 244×175×7×11	6	4-M16			
M4SG 136~146 3SG 125~135	H-200×100×5.5×8	6	4-M16			
M4SG 147.148	H- 150×75×5×7	6	2-M16			
3SG 1.40. 2SG 1.35.40. M3SG 1.35.40 M2SG 1.35.40	H- 200×200×8×12	9	4-M16			
3SG 2.3.10.11. M3SG 2.3.36.37.	H- 244×175×7×11	9	6-M16			
3SG 4.5. M2SG 10.11.38.39. M3SG 4.5.10.11.38.39.45.46.47.	H- 194×150×6×9	9	4-M16			
M3SG 8.9.9.50.51.52.54.55.56.	H- 194×150×6×9	9	4-M16			
3SG 41~44. 2SG 41~44 M3SG 41~44. M2SG 41~44.37.39	H- 244×175×7×11	9	4-M16			
3SG 38. 39. (ヨコ行)	H- 588×300×12×20	(X5通) 12	6-M16	(X6X7X8通)	○	(ﾒｰｶｰ上行 X9通) ﾊﾟｰﾌﾟﾚｰﾄ+24 ﾄｰﾙﾃﾞ 6-M22
3SG 12.13.24.25.29.30.32.33.36. 45.48.49.	H- 600×200×11×17			(6)	○	リブプレート取付 3SG12.13.29
3SG 46.47.54.55.50.51.	H- 588×300×12×20			(6)	○	
3SG 57.61.65.	H- 400×200×8×13	(Y5通) 9	6-M16	(Y5通) (6)	○	
3SG 7.23.28.35.	H- 400×200×8×13	(X3通) 9	6-M16	X2箇 (6)	○	
M3SG 150	H- 450×200×9×14	(X2通) 9	6-M16	(X4通) (8)	○	
M3SG 151~157.	H- 194×150×6×9	9	4-M16			
M2SG 151~158.	H- 194×150×6×9	9	4-M16			







Y5通 鉄骨詳細図



X15通 鉄骨詳細図

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

図番 66

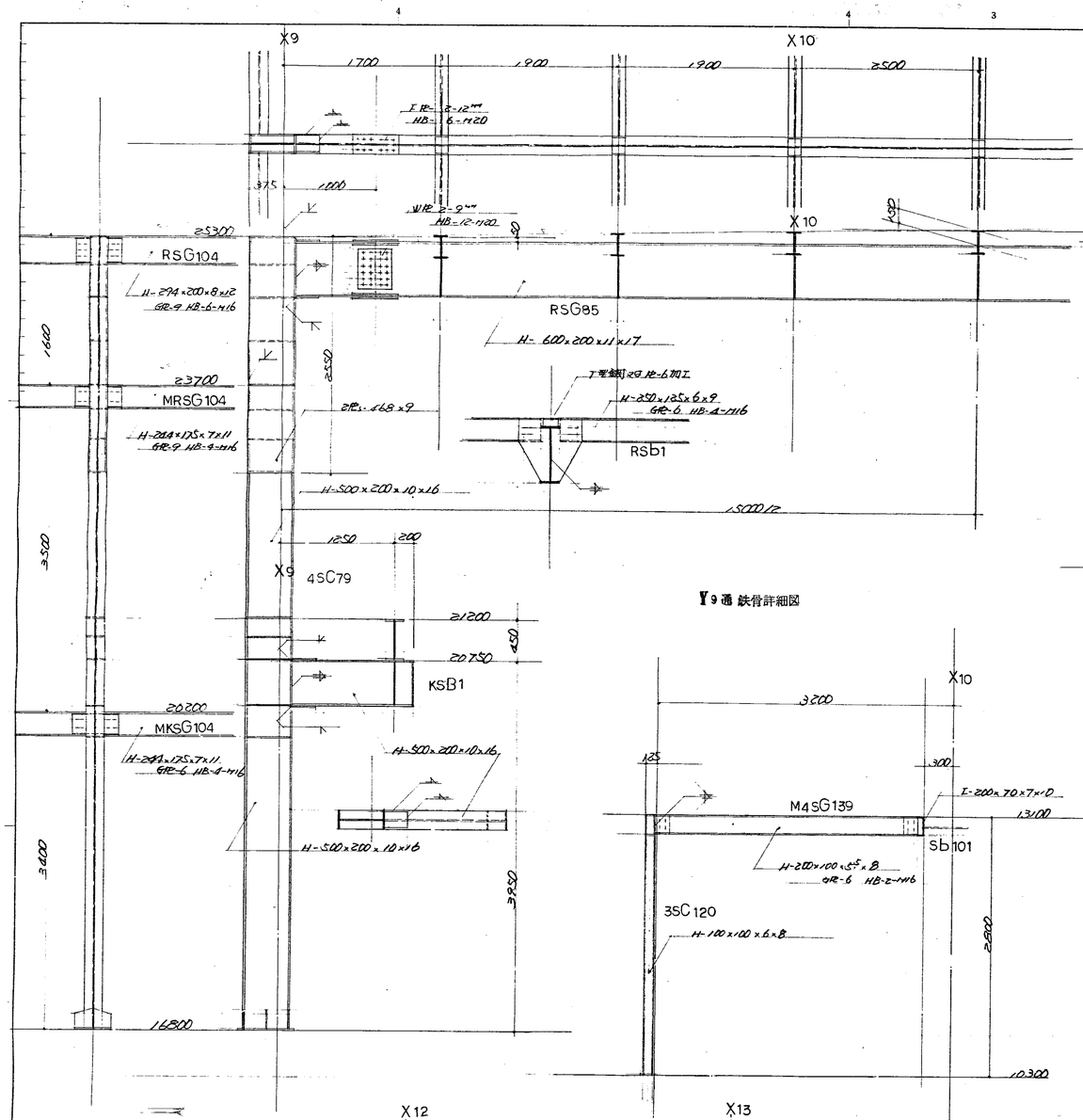
鉄骨詳細図 No 2

尺度 1:80

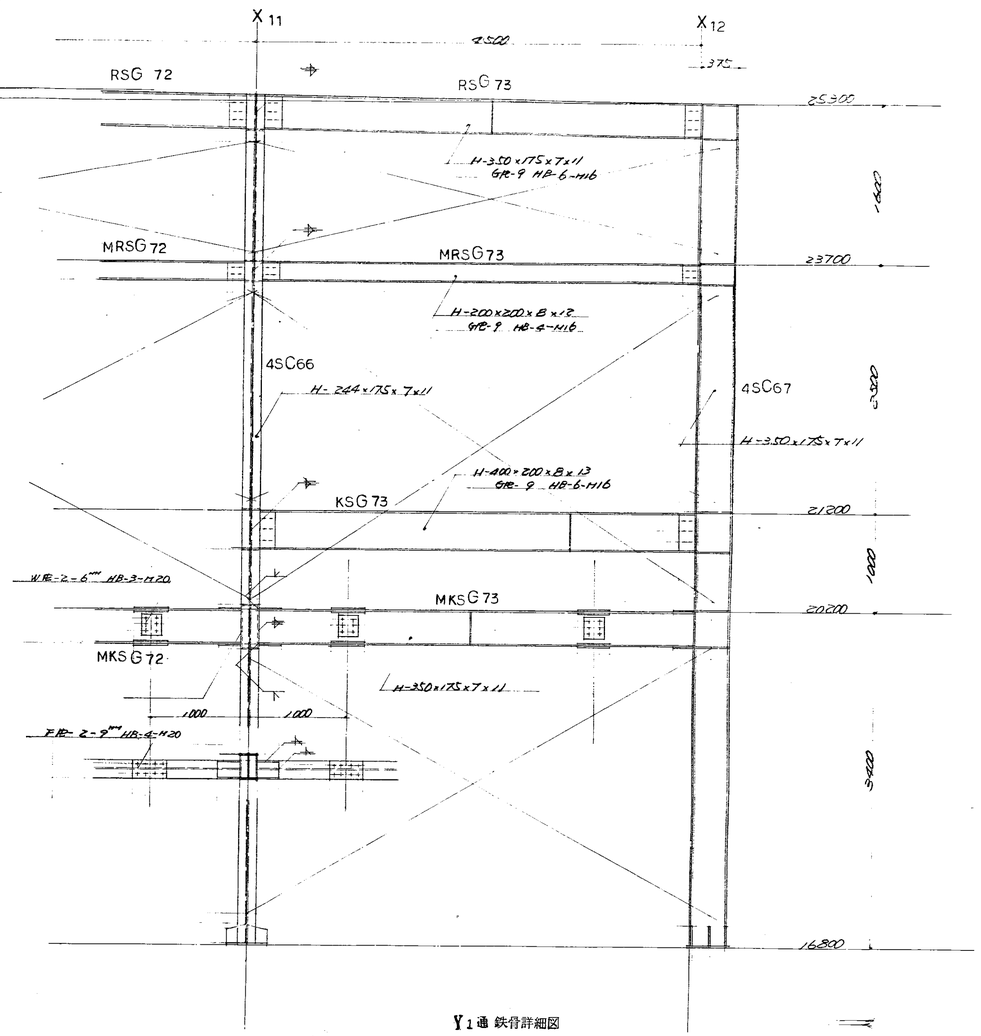
昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大阪府(ニ)7029334号 電話大阪345-6161
一級建築士登録 第11029号 大ヶ瀬正美

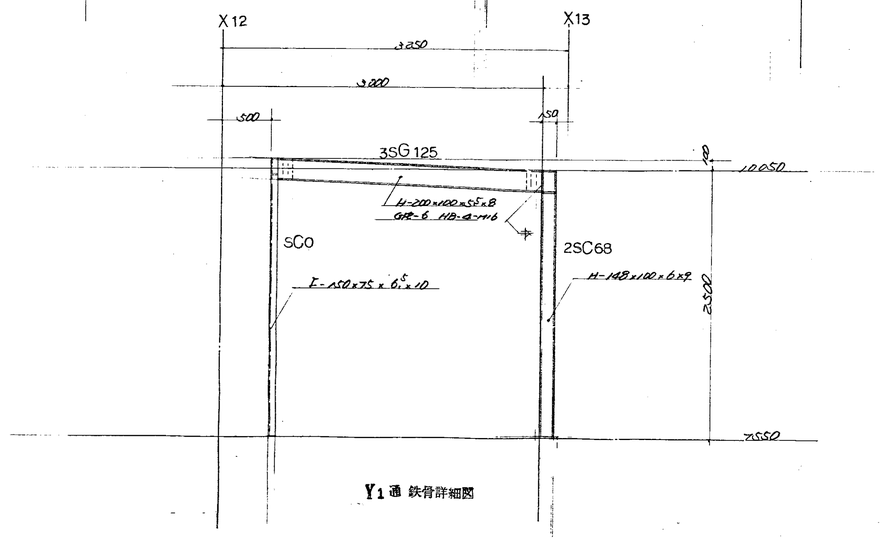
株式会社タクマ



Y9通 鉄骨詳細図



Y1通 鉄骨詳細図



Y1通 鉄骨詳細図

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 課長 課長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 67

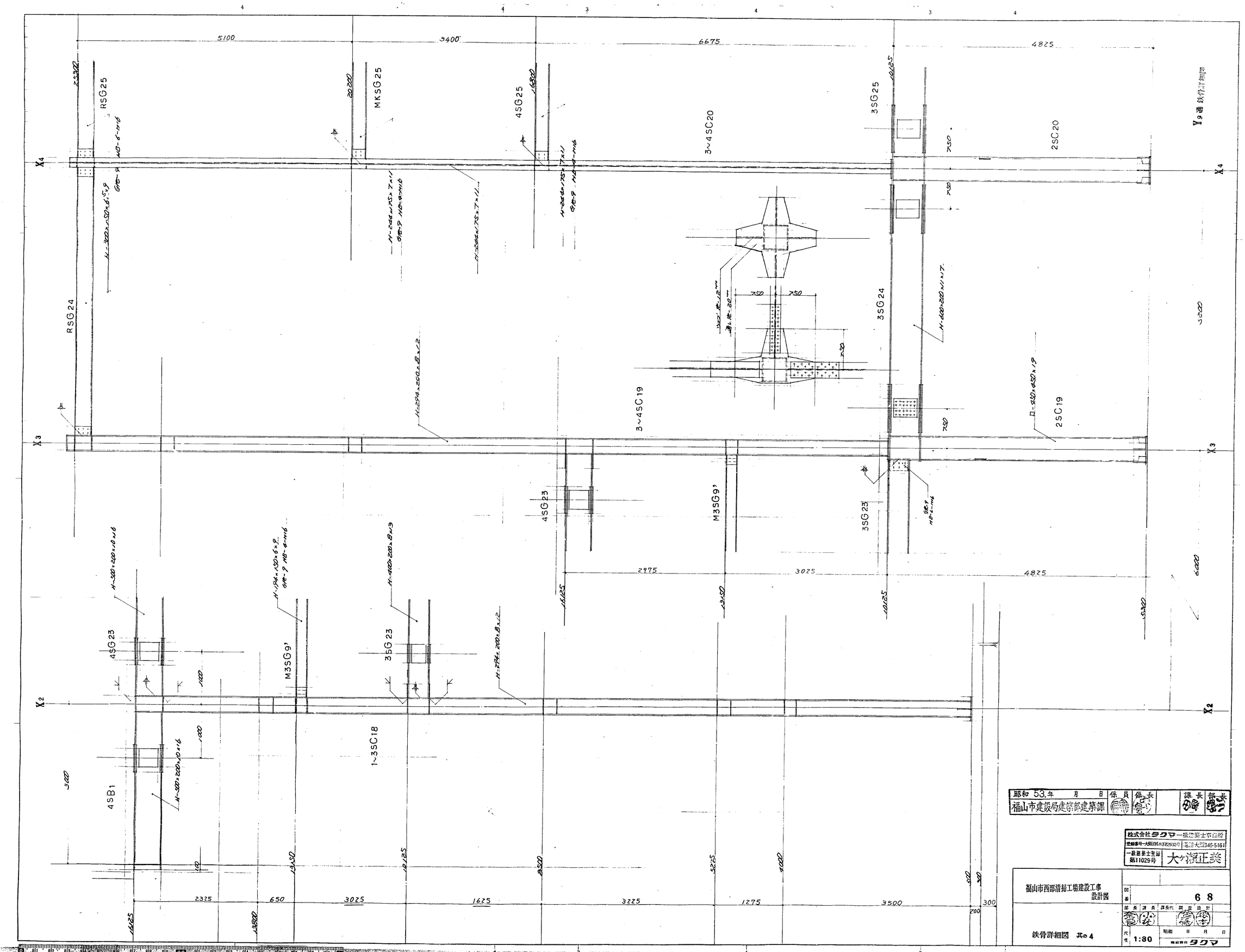
鉄骨詳細図 其の3

尺度 1:30

昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大阪府(ニ)第2533号 電話大阪(06)445-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

株式会社タクマ



昭和 53.年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

株式会社タクマ 一級建築士事務所
建築事務所 一大阪府(ニ)第5938号 電話 大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

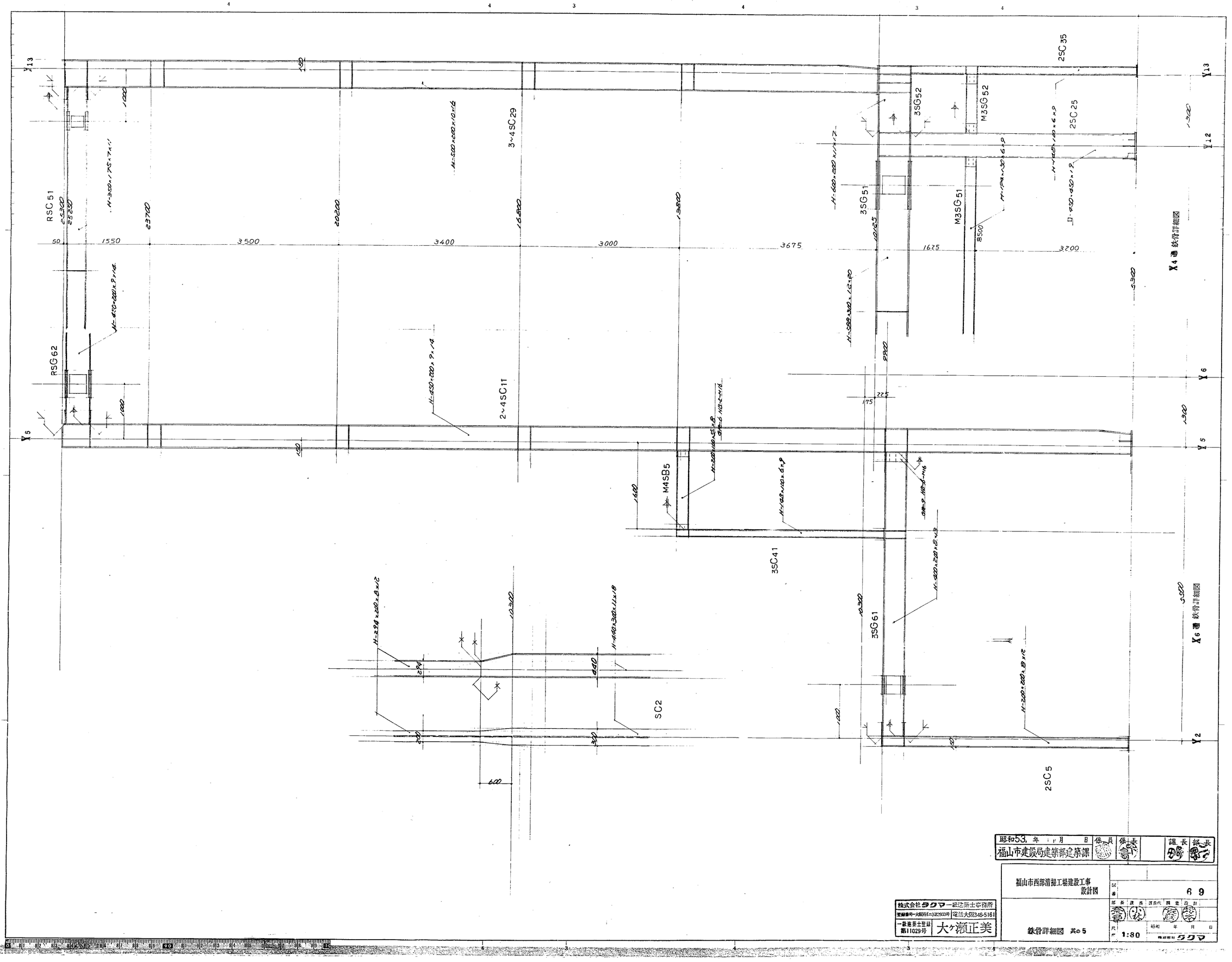
図番 6 8

鉄骨詳細図 其の4

尺度 1:30

昭和 年 月 日

株式会社タクマ



昭和53. 年 1月 日　係員　係長　課長　部長

福山市建設局建築部建築課

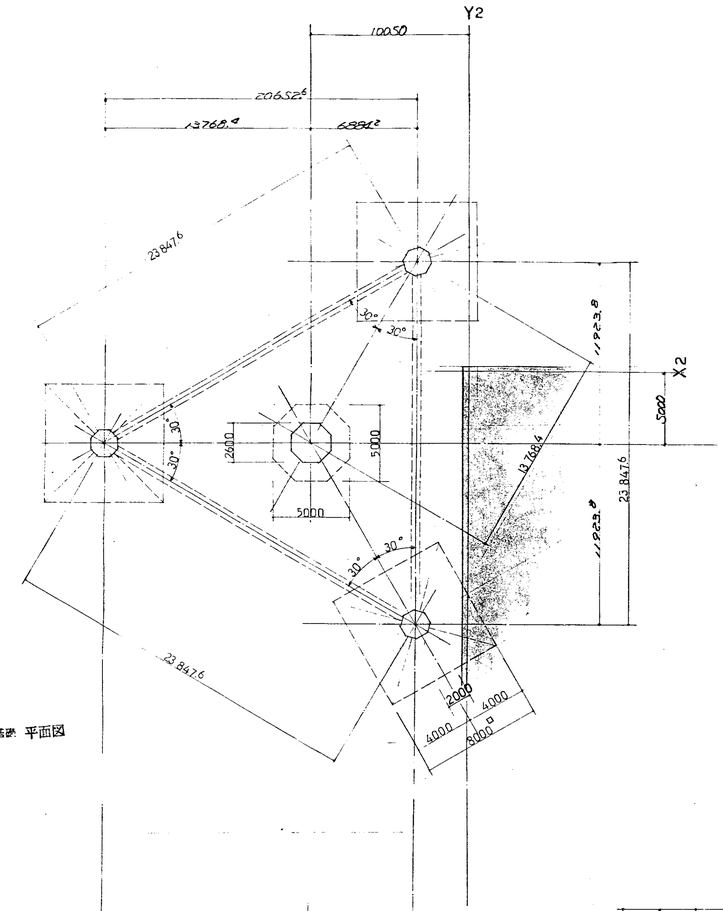
福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 6 9
鉄骨詳細図 其の5	尺 1:30　昭和 年 月 日

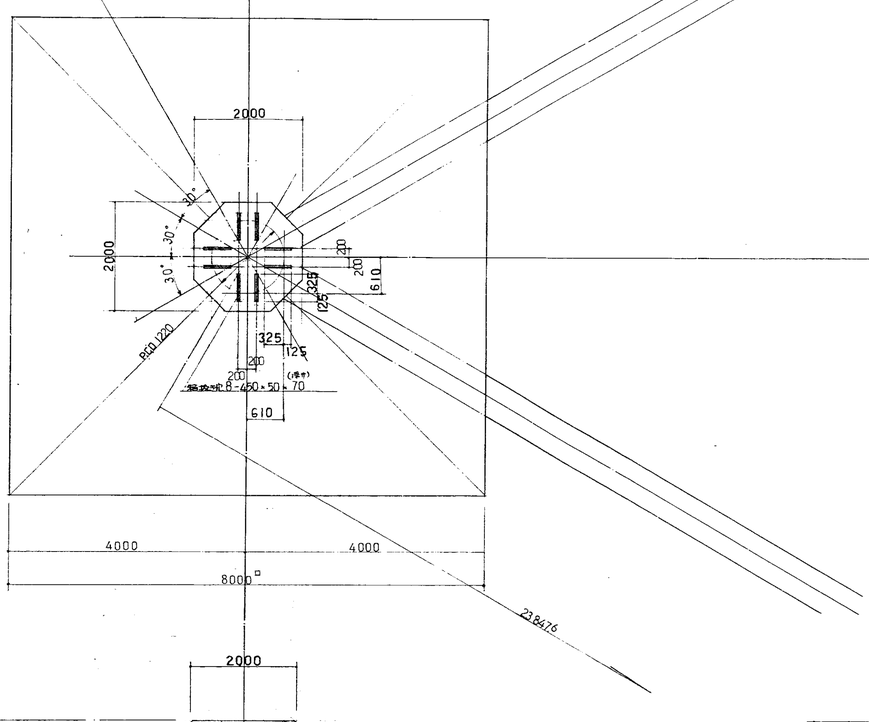
部長 課長 課長代 調査 設計

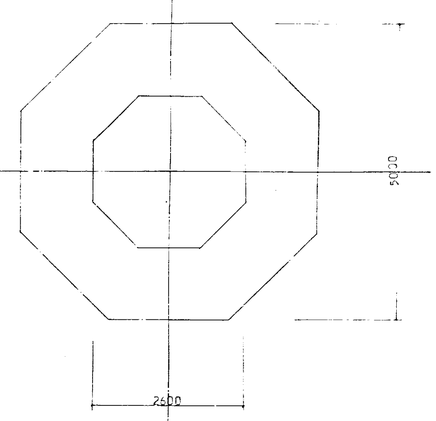
株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大阪府(ニ)第2933号　電話大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号　大ケ瀬正美

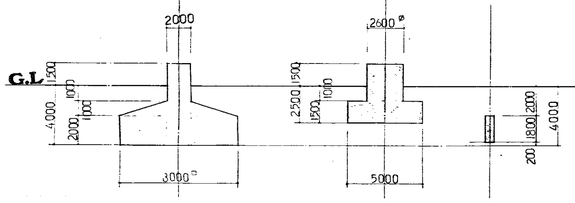
株式会社タクマ

煙突基礎 平面図

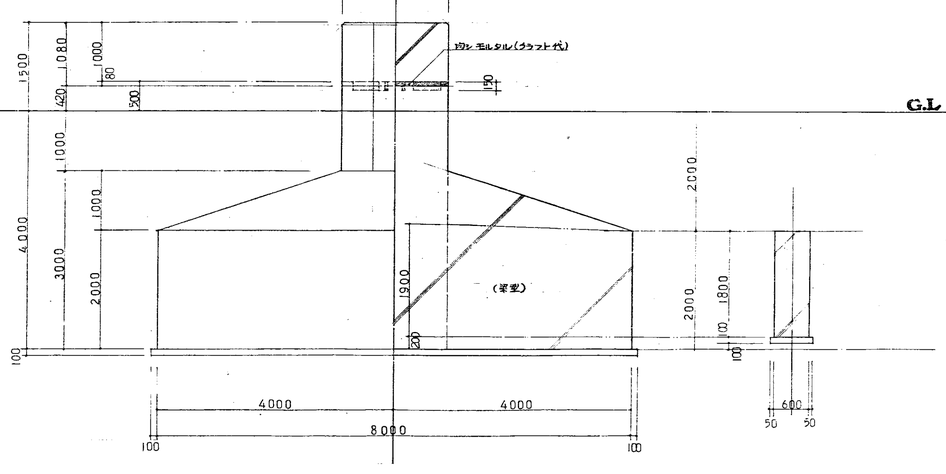


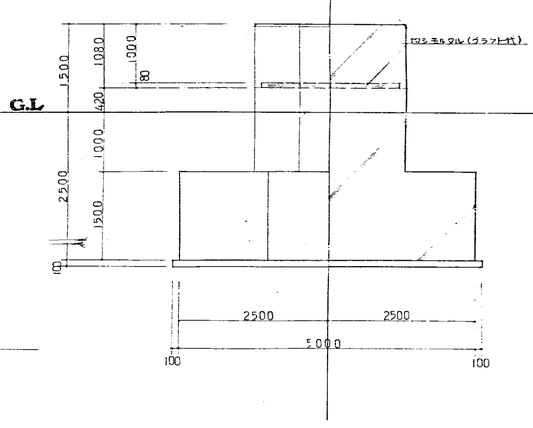


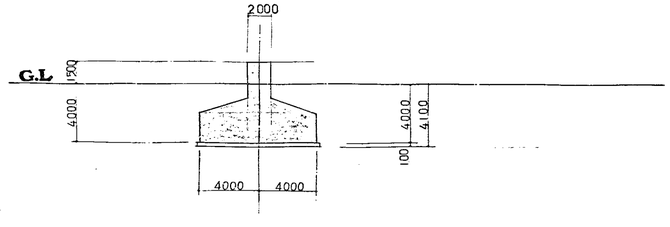


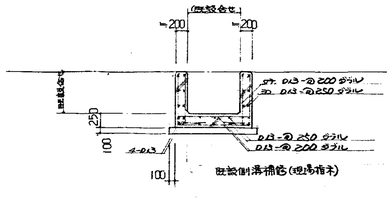


断面図 SCALE 1:200









昭和53年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 70

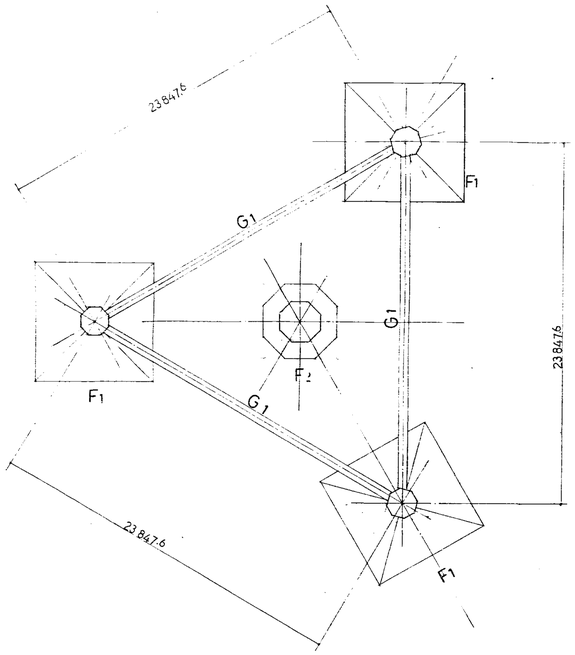
煙突基礎 詳細図 其の1

尺度 1:50 1:200

昭和 年 月

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大阪府(ニ)3K2338号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

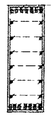
株式会社タクマ



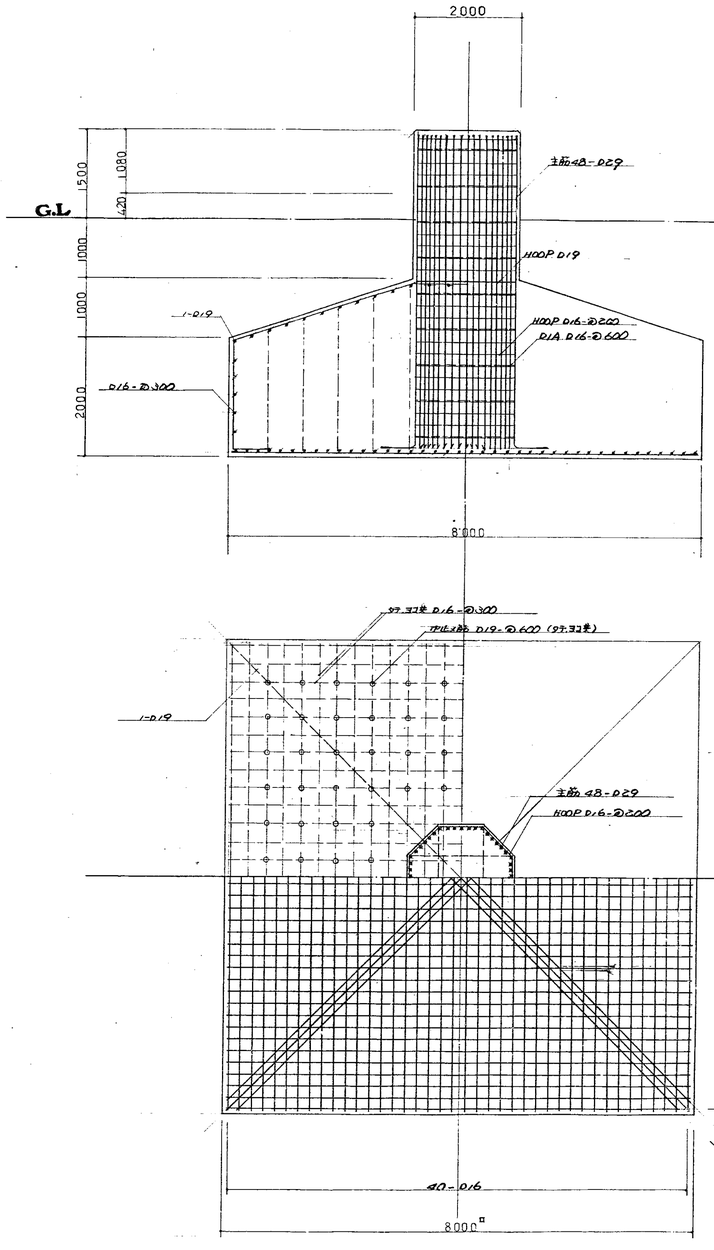
塁 突 基 礎 伏 図　SCALE 1:200

梁配筋リスト　SCALE 1:50

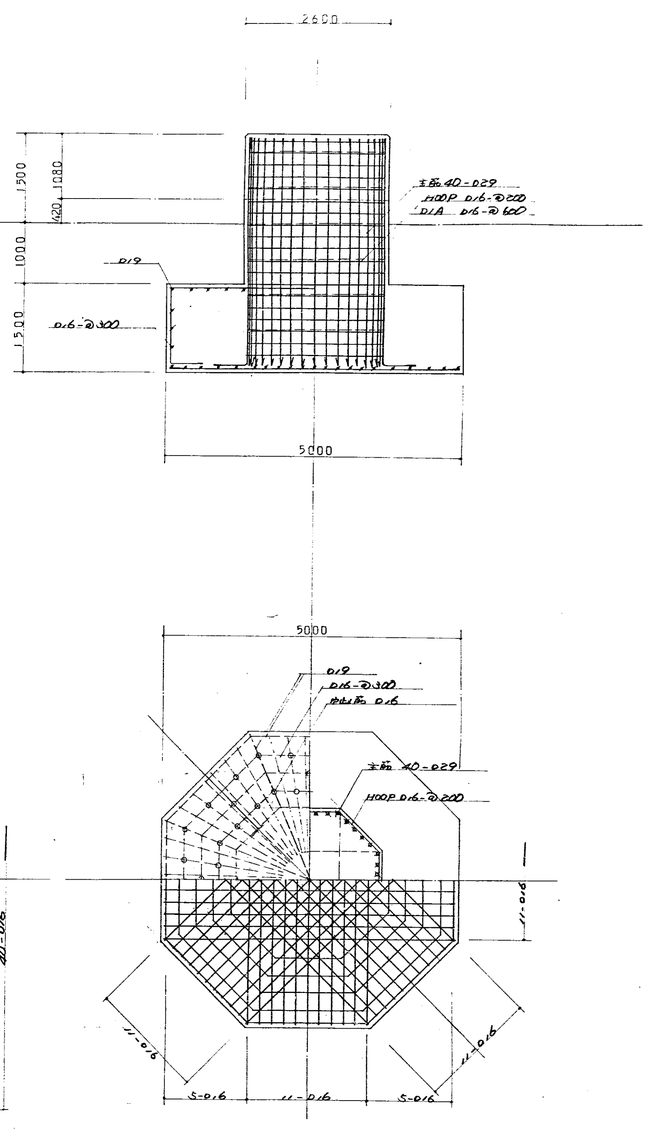
G1

両 端	位 置	中 央
	断面形状	

600 x 1900	断面寸法	600 x 1800
14 - D29	上 筋	9 - D29
14 - D29	下 筋	9 - D29
12 - D16	補強腹筋	12 - D16
D16-@200	S t	D16-@200
D16-@600	中間中止筋	D16-@600



F1　配筋図　SCALE 1:50



F2　配筋図　SCALE 1:50

昭和 53. 年 月 日　係員　係長　課長　部長

福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 7 1

部長 課長 課長代 専攻 計

尺度 1:50 1:200　昭和 年 月 日

塁 突 基 礎　詳細図　其の2

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(二)3025338号　電話大阪345-5161
一級建築士登録 第11029号　大ヶ瀬正美

株式会社タクマ

特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事名称　福山市西部清掃工場建設工事
2. 工事場所　福山市水呑町 大字新涯字中正田
3. 建物概要

建物名	構造	階数 地階	階数 地上	延面積(㎡)	備考
工場棟	RC S	1	3		

4. 工事種目

工事種目		工事種目	
① 給排水衛生設備工事		⑤ 換気設備工事	
(1) 屋外排水設備工事		(1) 機器設備工事	
(2) 屋内給水設備工事		(2) ダクト設備工事	
(3) 屋内排水配列設備工事		⑥ 消火設備工事	
(4) 衛生器具設備工事		(1) 屋内消火設備工事	
② 給湯設備工事		(2) 炭酸ガス消火設備	
③ ガス設備工事			
④ 空調設備工事			
(1) 機器設備工事			
(2) ダクト設備工事			
(3) 配管設備工事			
(4) 自動制御設備工事			

I. 工事仕様

a. 共通仕様

図面および本仕様書に記載されてない事項は建設大臣官房官庁営繕部 機械設備工事共通仕様書による。

1. 官庁手続　本工事請負者は各官庁への必要な手続きを速やかに完了し工事完成と同時に使用できる様、一切の手続きを代行すること。
2. 補　償　工事完了後、満一年以内に施工の不良又は材料機器の不具合に基く事故を生じた場合、請負者の費用をもって完全な修理又は取替えより施主側の指示。
3. その他　設計図に明記なき事項でも監督員の必要と認めた場合またその指示に従うこと。

b. 特記仕様

項目は●印をつけたものを適用する。

項目	細目	特記事項
適用基準		● 建設大臣官房官庁営繕部 設備計画基準(昭和52年版)
測定及		● 試運転調整後、通風、湿度、風量、騒音等の測定を行ない監督員に3部提出する。
機器性能の表示		● 記載の表示はすべて以上とする。
電力容量の表示		● 記載の表示はすべて以下とする。
スリーブ		● 配管スリーブは、ビニル管 Bo ボイド管を使用して取り
スリーブ補強筋		○ スリーブ補強筋の施工は本工事に含む。
接合材		● 管の接合には監督員の認める接合材を使用して取り
標示柱		● 屋外埋設配管に取付ける標示柱は 110㎜×110㎜×高さ3000 のコンクリート製とし 方向配管種別等を記入したものとする。(アンカー工事)
説明板		● 機具の取扱い説明板は監督員の指示により取付ける。
残土処分		○ 構内敷均し　○ 構内指示の場所にたい込　○ 構外搬出
水栓柱		○ 人造石研出し　○ ビニル 80㎜×80㎜×高さ1.20m以上とする。
		○ 角パイプ 50×50 モルタル詰め (FP管装)
空気取入口		● 取外し可能な防虫網を取付ける
被覆工事		● 給水揚水湿気防露の排水管は、地中埋設部を除く部分をグラスウール保温筒 厚20㎜を使用して防露被覆を行う。又 隠ぺい部、アルミ箔巻 見え掛り部を、鋼板巻仕上げとし屋外露出部は亜鉛引鉄板張り
塗装工事		● 鉄部は防錆ペイント2回塗りとし、錆落のものは、日本ペイントペイント2回塗りとする。更に見掛り部は指定色ペイント2回塗りとする。
地下貯油槽		○ 地下貯油槽の設置は「危険物の規制に関する政令」および「危険物の規制に関する規則」第24条による。
工事写真		● 工事完成後、検査困難となる部分について施工当時の状況を判定出来る様に写し工程に従って整理し工事完了時に監督員に提出する。 工事写真には形状、寸法等を明らかにするため、尺(モノサシ)ボール等を使用し工事名、撮影箇所、撮影年月日、配管サイズ等を記入した黒板を写し込むこと。部数は2部とし、大きさは建築工事に準ずる。
機械		● この工事に使用する機械は特記された メーカーの同等以上とする。ただし同等以上と認定の監督員の承認をうける。 ● 形状、寸法等が設計図に異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。

給水設備

方式	○ 水(水圧)	● 屋上タンク式　○ その他
管類	● VLP 鋼管	● 屋内給水用　○ 屋外給水用
	鋼鉄管(道路下部のみ)	
	○ ビニル管	○ 屋内給水用　○ 屋外給水用
揚水ポンプ	○ ___ ㎥/min × ___ m/min × ___ m × ___ kw × ___ 台	
管類	● JIS 5kg/cm² (タンク下)　○ JIS 10kg/cm² (揚水ポンプ吐出管)	
継手類	● CLP 鋼管切断 又はビニコート継手	
受水槽	○ FRP製　○ 鋼板製　○ その他　容量 ___ ㎥	
高架水槽	○ FRP製(強化)　○ 鋼板製　○ その他　容量 ___ ㎥	
その他	● 給水管の最小管径は 20㎜ とする	
	● 水圧試験は配管途中 隠ぺい埋戻し前および配管完了後の被覆施工前に 係員立会の上 規定の水圧試験を行なう。	
	● 配管工事中に管内に異物の混入などのないように注意し工事完成前に係員立会いの上 水質検査をして結果を報告するものとする。	
	● 地中埋設配管は防食ライニング仕上とする。(一部を)	

排水通気設備

方式	● 自然排水　● ポンプ排水	
管類	● 鋼管	● 屋内排水用　● 屋外排水用
	● 鋳鉄管	● 屋内汚水用　○ 屋外汚水用
	● ビニル管(VP)	● 屋内排水用(薄肉赤)　● 屋外排水用　● 排水通気用
		○ 屋内汚水用　○ 屋外汚水用　● 汚水通気用
	● ヒューム管	● 屋外排水用
	○ 陶管	○ 屋外排水用
	○ ベイシモ土円防製	○ 施工する　○ 施工しない
	● 本管又は枝管の2管が合流する場合は必ず 45°曲り を用いて水平に流し合流すること	
	● 屋内排水管の勾配は 管径 75A まで 1/50、100A 以上は 1/100 とし、通気管は、その立管にむかって上り勾配となるよう施工する。	
	● 配管工事完了後、係員立会の上 1時間以上の通水試験を行なう。	
	● 地中埋設鉄筋部の鋼管は アスファルトジョイント 接合とするがライニング仕様	

消火設備

種別	● 屋内消火栓	○ その他
屋内消火箱	● 大容量収容器付設型　○ その他	
消火ポンプ	● 65㎜×780 l/min×45m×15.0kw×1台	
管類	● 鋼管(白)	● 屋内消火用
弁類	● JIS 10kg/cm²	
その他	● 本工事は 当地区 消防規定に準拠して 完全に施工する。	

衛生器具設備

衛生陶器特記	● 大便器のコンクリート床部面は アスファルト塗布 (3回) とする	
	● 大便器 Bo 小便器には 支え 注意 板を取付ける	
	● JIS マーク 表示品	
大便器	○ フラッシュバルブ	● ロータンク
小便器	● フラッシュバルブ	○ ハイタンク　○ 壁磁石
大便器用洗浄弁	○ パチューム ブレーカ付とする	
小便器用洗浄配管	● 埋込形　○ 露出形	
洗浄用ハイタンク	○ 陶器製　○ 合成樹脂製　○ 防錆力合成樹脂製	
化粧棚	○ ガラス製　○ 陶器製	
化粧鏡	○ 止め金具　● AYボルト付止め金具　○ ミラーバック	
掃除用流し	● Pトラップ　○ Pトラップ　○ その他流し	
仕切板	○ 前付金具　○ AYボルト付前付金具	
実験用流し	○ ベルトラップ　○ 其の他	

ガス設備

種別	○ 都市ガス　● 液化石油ガス
管類	● 鋼管(B)　○ 銅管　○ その他 ___
継手	● 亜鉛メッキとする
湯沸器	● 瞬間湿式湯沸器　○ 貯湯式湯沸器　○ その他
アロハン放熱装置	● 有　2 本立 2 組　○ なし
その他	● 本工事は 当地区ガス会社責任施工とする。 本工事は高圧ガス取締法 液化ガス保安規則 消防法等関係法規により施工する。
	● 気密試験は 高圧部 18kg/cm² 以上 中圧部 3kg/cm² 以上 低圧部水柱 400mm 以上でおのおの 5分間以上 保持して漏洩の有無を確認する。

設計条件

● 下記の通りとする

	夏期 外気	夏期 室内	冬期 外気	冬期 室内
DB ℃	33	26	0	20
RH %	62	50	45	50

空気調和設備

方式	○ 単一ダクト　○ ゾーンユニット　○ ファンコイルユニット　● パッケージユニット
冷凍機	○ チリングユニット　○ 水冷　● クーリングタワー
ボイラ	○ 鋳鉄製　○ 蒸気　● 温水　○ 木頭 kg/h
管類	○ 鋼板製　○ 蒸気　○ 最高使用圧力　○ 温水　○ 冷温水
弁類	● 鋳鉄(白管) ● 温水　○ 冷水　○ 通気　● 電旗　● 補給水　● 排水　● 冷却水
ファンコイル・ユニット	○ 鋼管(黒管)　○ 蒸気送り　○ 蒸気返り　○ 油　○ 加湿具
防振措手	● JIS 5kg/cm²　● JIS 10kg/cm²
	● 変流管弁、トタン管、を取り付ける。
	● 機器類に接続されている配管や、機器類の振動が配管系統に伝わるのを防止するため防振措手を取り付ける
	○ 機械室内の配管のまわりで防振上有効な防振処理を施した所以外は、吊金物及び支持金物を使用する。
その他	● クーリングタワー用冷却水配管は被覆しないこと。
	● 空気調和機器、ファンコイルユニットのドレン管、排水管は排水管の項による。
	● ダクト内面の見え掛り部は 黒ワニス 2回塗りとする。
	○ 外壁に取付けるガラリの材質は アルミニューム 製とし 防水型 とする。
	● 振動する管は貫通部を全じかねる配管し 貫通の仕方 及び 現場のおさまり上心要な位置には自動フレキ取付(ただしバルブ付)及び排泥管を取付ける。
	● 温度計は 円板目盛を有する バイメタル式 とし感温部長さの適当なものとする。

換気設備

方式	● 第1種　● 第2種　● 第3種　● 自然換気
機種	○ ヨロッコ　○ リバートロード　○ サイレント　○ ルーフファン　● 壁力扇
	○ 換気扇　● 斜流ファン
その他	● 空気調和設備の項による。

設計工事

天井点検口	建築工事	位置を決定すること。
ルーバー		
立梯		
電源	別途電気工事	
外面カラリ機器基礎	建築工事	

完成図

● 工事完成図の提出部数は 共通仕様書の指定にかかわらず次による
完成図(B3判 182×257 および A4判 210×297 を基準とする) 製本 1部
(二つ折) 製本 2部
承認図集(A4判 210×297 を基準とする。) 製本 2部
保守指導業内容 監督員の指示による
原図 1部

● 工種数、下請予定機器メーカーの一覧表。

給水設備工事 ○ 有　● なし(機械室)
給水引込負担金 ○ 有　● なし(機械室)
ガス引込負担金 ○ 有　● なし(プロパンガス)
下水道接続負担金 ○ 有　● なし
工事用仮設建物 構内につくることが ● 出来る　○ 出来ない

屋浄化槽設備(合併処理)

処理方法	○ 単独処理　○ 合併処理　○ 放流水 mg/l
方式	○ 荷取タンク式　○ 長時間ばっき式　○ その他
型式	
容量	人槽
構造	○ 鉄筋コンクリート製 (スラブの耐荷重は kg)　○ FRP製
	○ その他
排水方式	○ 自然排水　○ ポンプ排水
排気管(地上部)	○ 硬質塩化ビニール管 (薄肉管VU)　● 水道用石綿セメント管
排気管(地中埋設部)	○ 硬質塩化ビニール管 (一般管)　○ ヒューム管普通管
スラブ Bo マンホール	○ 耐荷重　○ 200kg/cm² (一般)　○ 350kg/cm² (鉄日動車)
排水ポンプ	○ 有　○ なし
消毒装置	○ 錠剤　○ 塩素　○ コンクリート槽　○ ビニール筒(室利筒)
その他	○ 市町村による形式 容量算定 など規定された条件に適合すること。

ガス設備

種別	○ 都市ガス　● 液化石油ガス
管類	● 鋼管(B)　○ 銅管　○ その他 ___
継手	● 亜鉛メッキとする
被覆	● 土中埋設 Bo コンクリート内配管はシート巻とする(ネオラミン焼)
湯沸器	● 瞬間湿式湯沸器　○ 貯湯式湯沸器　○ その他
アロハン放熱装置	● 有　2 本立 2 組　○ なし
その他	● 本工事は 当地区ガス会社責任施工とする。 本工事は高圧ガス取締法 液化ガス保安規則 消防法等関係法規により施工する。
	● 気密試験は 高圧部 18kg/cm² 以上 中圧部 3kg/cm² 以上 低圧部水柱 400mm 以上でおのおの 5分間以上 保持して漏洩の有無を確認する。

III. 機材

ここ工事に使用する機材は下記製造者の製品または同等品以上で監督員の承認を得たものとする

品名	製造業者
1 管	
(1) 鋼管	日本鋼管　川崎製鉄　住友金属　新日本製鉄
(2) 排水用鋳鉄管	久保田鉄工　栗本鉄工所　長谷川鋳工所　伊藤鉄工
(3) 排水用鉛管	大同合化工機　日本鉛管　芳沢鉛管
(4) 銅管	住友軽金属　三菱金属工業　彩興金属
2 継手	
(1) 排水用可鍛鋳鉄製管継手	日本鋼管　大阪ドレネージ工業　長谷川鋳工所　日立金属
(2) ベローズ式伸縮継手	日東製作所　三吉機械工業　アジソン　バン・木山製作所　時ベローズ工業
3. 弁	
(1) 青銅弁	東洋バルブ　北沢バルブ　三吉機械工業　大和バルブ工業
(2) 鋳鉄弁	東洋バルブ　広瀬バルブ　方板鋳工　三吉機械工業　大和バルブ工業
4. ポンプ	
(1) 汚水ポンプ	荏原製作所　極東機械
(2) 水中汚水ポンプ	極東機械　荏原製作所
5 電動機	神鋼電機　東芝　日立　富士　松下三菱　明電舎
6. 保温材	
(1) 岩綿保温材	東洋岩綿　日東紡績材　日本アスベスト　時人造石綿
(2) フォームポリスチレン保温材	大森石綿　内山工業
(3) 保温材(加工品)	新生アスベスト　内外アスベスト　時アスベスト　室内石綿理化
7. 衛生陶器 Bo 付属器具	
(1) 衛生器具	東陶　伊奈
(2) 付属器具	東陶　伊奈
(3) 水栓類	東陶　伊奈
(4) 高架水槽	積水　東陶　伊奈　三菱樹脂
8 排水器具	長谷川　小島　小林鋳造　関西鋳工　大崎鋳工
9 マンホール蓋	長谷川　小島　伊藤　大阪ドネージ　小林鋳造
10 消火器具	
(1) 屋内消火栓	立売堀　村上　柳井南北
11 鋳鉄製ボイラ	昭和鉄工　前田鉄工　川崎重工
12 鋼板製ボイラ	昭和鉄工　オオオン　ヒボイラ　カベント
13 冷凍機	
(1) 往復動冷凍機	ダイキン　三菱ヨーク　三菱電機　東洋キャリア　日立　東芝
14 空気調和器	
(1) ファンコイルユニット型	三菱電機　新星　ダイキン　東洋キャリア　三菱ヨーク　三洋　昭和鉄工　乾技
(2) ハウジングユニット型	新星　ダイキン　東洋キャリア　昭和鉄工　松下
(3) パッケージ型	三菱重工　三洋　ダイキン　三菱電機　日立　乾技　松下
15 冷却塔	神鋼クマドラー　立石　住和産業　ダイキン　日立　松下
16 吹出口	新星　岡村製作所　九州工業　不二工
17 換気扇	三菱電機　日立　松下　東芝　鎌倉　東日
18 硬質塩化ビニル管	積水化学　久保田鉄工　三菱樹脂　旭有機材工業
19 合成樹脂	積水化学　久保田鉄工　三菱樹脂　旭有機材工業
20 特殊塗装	外部鉄部の塗装は全て、マンセイペイント仕上とする。
21 自動制御機器	東京計器　山武ハネウェル　富写製作所
22 浄化槽	

昭和53年 月 日　係員 係長 課長 部長
福山市建設局建築部建築課

株式会社タクマ 一級建築士事務所
登録番号 一大阪府知事(1)第2933号 電話 大阪(346)5161
一級建築士登録 第11029号 大久須正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図

図番 72

部長	課長	課長代	図室	設計
	小林			

尺度　昭和 年 月 日

建築設備図
特記仕様書

株式会社タクマ

給水管		汚水管		口径		湧水栓・湧栓	
揚水管	G	瓦斯管		瓦斯コック		床上掃除口	
給湯管 (往)(還)		通気管		止水栓・仕切栓		床排水トラップ	
消火管		ヒューム管		逆止弁		洗浄弁	
排水管			M	量水器			

空気調和風例

C		冷温水管 (往)			冷媒管 (往)	自動エアー弁	温度計
CR		(還)		電磁弁	(還)	逃し弁	圧力計・連成計
W		冷水管 (往)		電動2方弁		ジョーゴ	サーモスタット
WR		(還)		Yストレーナ		フレキシブルジョイント	湿度計
		冷媒管 (往)		オイルストレーナ			ヒューマンスタット

※ 記号 V 硬質塩化ビニル管
HP ヒューム管
Cu 銅管
記号 給水 銅管(白) 汚水 鋳鉄管 メカニカル
給水 CLP 鋼管

機械機器明細表

記号	名称	設置場所	仕様	電源	台数	備考
PA-1	水冷パッケージエアコン	2F 中央制御室	冷房能力 45000 kcal/h　暖房能力 25800 kcal/h	3φ200V	1	防振ゴム+木台
			冷却水量 200 ℓ/min			
			圧縮機 11.0 kw			
			送風機 2.2 kw			
			パン形加湿器 6 kw			ヒューミディスタット
			電気ヒーター 15 + 15 kw 2段			(自動制御他工事)
PA-2	空冷ヒートポンプエアコン	2F 作業員控室	冷房能力 4500 kcal/h　暖房能力 6200 kcal/h	3φ200V	1	屋内外連絡配管断熱含む
			圧縮機 1.5 kw			
			送風機(屋内) 0.035 kw			
			〃 (屋外) 0.035 kw			
			補助ヒーター 2.4 kw			
PA-3	空冷ヒートポンプエアコン	4F クレーン操作室	冷房能力 12500 kcal/h　暖房能力 13500 kcal/h	3φ200V	1	防振ゴム+木台
			圧縮機 3.75 kw			
			送風機(屋内) 0.13 kw			
			〃 (屋外) 0.15 kw			
			パン形加湿器 2 kw			ヒューミディスタット
			補助ヒーター 3.5 kw			(自動制御他工事)
PA-4	空冷ヒートポンプエアコン	1F 計量器室	冷房能力 3550 kcal/h　暖房能力 4800 kcal/h	1φ200V	1	屋内外連絡配管断熱含む
			圧縮機 1.1 kw			
			送風機(屋内) 0.03 kw			
			〃 (屋外) 0.035 kw			
			補助ヒーター 1.4 kw			
CT	冷却塔	3F	能力 15 RT	3φ200V	1	低騒音型
			冷却水量 195 ℓ/min (37～32°C)			
			送風機 0.4 kw			
CP	冷却水ポンプ	3F	片吸込渦巻 50φ × 195ℓ/min × 15 m × 1.5 kw	3φ200V	1	防振架台含
DP	排水ポンプ	1F トランスケール	排水水中 40φ × 100ℓ × 5 m × 0.25 kw	〃	1	自動型
FP	消火ポンプユニット	1F 機械室	多段渦巻 65φ × 780ℓ × 45m/46m × 15kw	3φ400V	1	防振架台含
			連成計、圧力計、ボタンスカバー、スイッチケース、弁類一式.			
ET-1	膨張タンク	2F 熱交換器室	有効 75 ℓ 500×500×650h		1	内面ライニング樹脂系塗付 塗装鉄共
〃 2	ミスターンタンク	〃	有効 750 ℓ 900×900×1050h		1	内面エポキシ樹脂系塗付 塗装鉄共
F-1	有圧換気扇	1F 炭ボイコンパク室	羽根径 350φ × 44ℓ/s × 80 W	1φ100V	2	自動シャッター ウェザーカバー共
〃-2	〃	〃 機械室	〃 350φ × 37ℓ/s × 80 W	〃	2	〃 〃
〃-3	軸流ファン	〃 誘引通風機室	〃 700φ × 220ℓ/s × 15 m/s × 2.2 kw	3φ200V	1	キャンバス継手 防振ゴム含
〃-4	〃	〃 〃	〃 〃	〃	1	〃 〃

記号	名称	設置場所	仕様	電源	台数	備考
F-5	軸流ファン	1F 炭ボイコン排気機室	羽根径 1600φ × 616ℓ/s × 15 m/s × 5.5 kw	3φ200V	2	キャンバス継手 防振ゴム
〃-6	〃	発電機室	〃 500φ × 120ℓ/s × 15 m/s × 1.5 kw	〃	1	〃 防火ダンパー
〃-7	有圧換気扇	空気圧縮機室	〃 400φ × 47ℓ/s × 100 W (吸気)	〃	1	自動シャッター
〃-8	〃	〃 〃	〃 350φ × 36ℓ/s × 80 W (排気)	1φ100V	1	〃
〃-9	天井扇	便所	〃 180φ × 3ℓ/s × 41 W	〃	1	ベントキャップ共
〃-10	有圧換気扇	調里装置室	〃 250φ × 17ℓ/s × 25 W	〃	1	自動シャッター
〃-11	〃	〃 工作室	〃 300φ × 48ℓ/s × 120 W	3φ200V	1	〃 ウェザーカバー共
〃-12	換気扇	計量器室	〃 200φ × 2ℓ/s × 30 W	1φ100V	1	〃 〃
〃-13	有圧換気扇	2F 熱交換器室	〃 300φ × 30ℓ/s × 50 W	〃	1	〃 〃
〃-14	〃	〃 中央制御室	〃 400φ × 70ℓ/s × 200 W	3φ200V	1	〃 〃
〃-15	軸流ファン	〃 高圧蒸気溜室	〃 600φ × 168ℓ/s × 15 m/s × 1.5 kw	〃	1	キャンバス継手 防振ゴム
〃-16	〃	〃 〃	〃 〃	〃	1	〃 〃
〃-17	〃	〃 電気室	〃 600φ × 170ℓ/s × 15 m/s × 1.5 kw	〃	1	〃 〃
〃-18	レンジフード	〃 作業員控室	中 600□ × 9ℓ/s × 39 W	1φ100V	1	ベントキャップ共
〃-19	換気扇	〃 〃	羽根径 200φ × 2ℓ/s × 30 W	〃	1	自動シャッター ウェザーカバー共
〃-20	〃	〃 便所	〃 200φ × 7ℓ/s × 30 W	〃	1	〃 〃
〃-21	軸流ファン(防爆)	3F 再処理室	〃 600φ × 201ℓ/s × 15 m/s × 2.2 kw	3φ200V	1	キャンバス継手 防振ゴム 吸音面フード付
〃-22	有圧換気扇	〃 クレーン電気室	〃 400φ × 54ℓ/s × 120 W	〃	2	自動シャッター ウェザーカバー共
〃-23	〃	〃 埋込送風機室	〃 400φ × 57ℓ/s × 50 W	1φ100V	1	〃
〃-24	換気扇	4F クレーン操作室	〃 200φ × 5ℓ/s × 30 W	〃	1	〃 ウェザーカバー共
〃-25	〃	〃 便所	〃 200φ × 3ℓ/s × 30 W	〃	1	〃 〃

昭和 53 年 月 日
福山市建設局建築部建築課　係員　係長　課長　部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 7 3

建築設備図
機械機器明細表

部長 課長 課長代 関係者 設計

尺度　昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

株式会社タクマ

5FL
4FL
3FL
2FL
1FL
GL
4500
1000
6000
5000
5000
500
アフト兵室水槽 (アフト工事)
PA-3
20
CVV 2×7C
12.7Cu
22.2Cu
テスト弁40
50
65
80
CP
CT
20
VD
PA-1
PA-2
PA-4
GV 20
配管 既設ネック接続先
GV40×2
GV40
GV15
GV15
GV25×2
GV32
40
25
32
給湯ポンプ (アフト工事)
浴室ポンプ (アフト工事)
給湯用熱交換器 (アフト工事)
浴室用熱交換器 (アフト工事)
洗面所へ
排湯ポンプ GV 40
圧力スイッチ
屋根有
起動装置
ロータスユニット
CO₂容器
制御盤
電源装置
操作箱
モーターサイレン
排水ポンプ (ユニット用)
フロートスイッチ 80・50C
FP
消火槽
水張弁
系統図

昭和53年 月 日 係員 係長 課長 部長

福山市建設局建築部 建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 74

建築設備図
系統図

縮尺 1/100

昭和 年 月 日

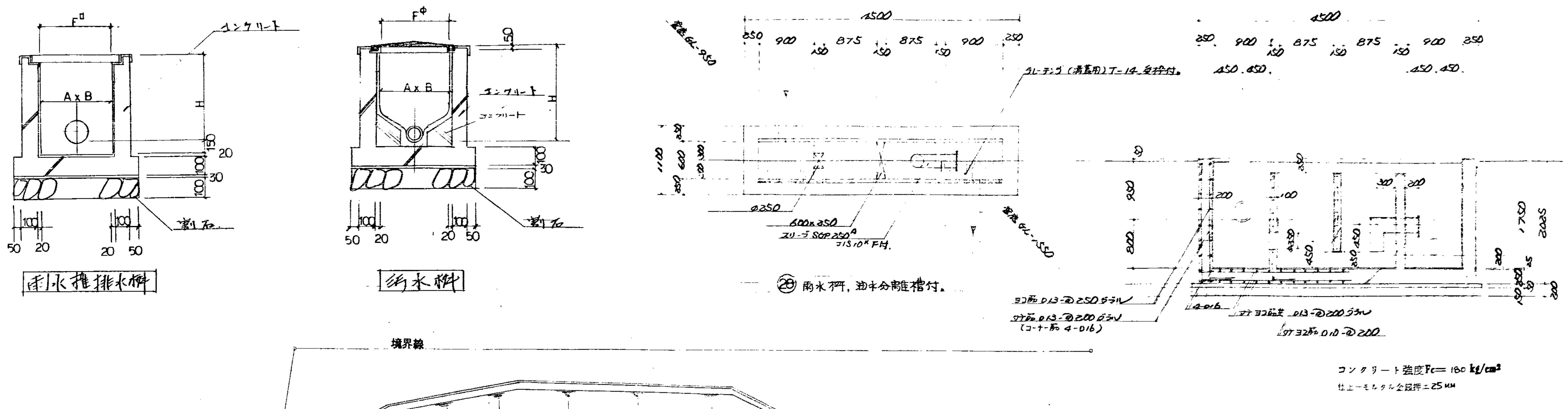
株式会社タクマ 一級建築士事務所
建築設備一式設計(ニ)No.5503号 TEL 大阪(06)45-5161
一級建築士登録 第11025号 大谷正美

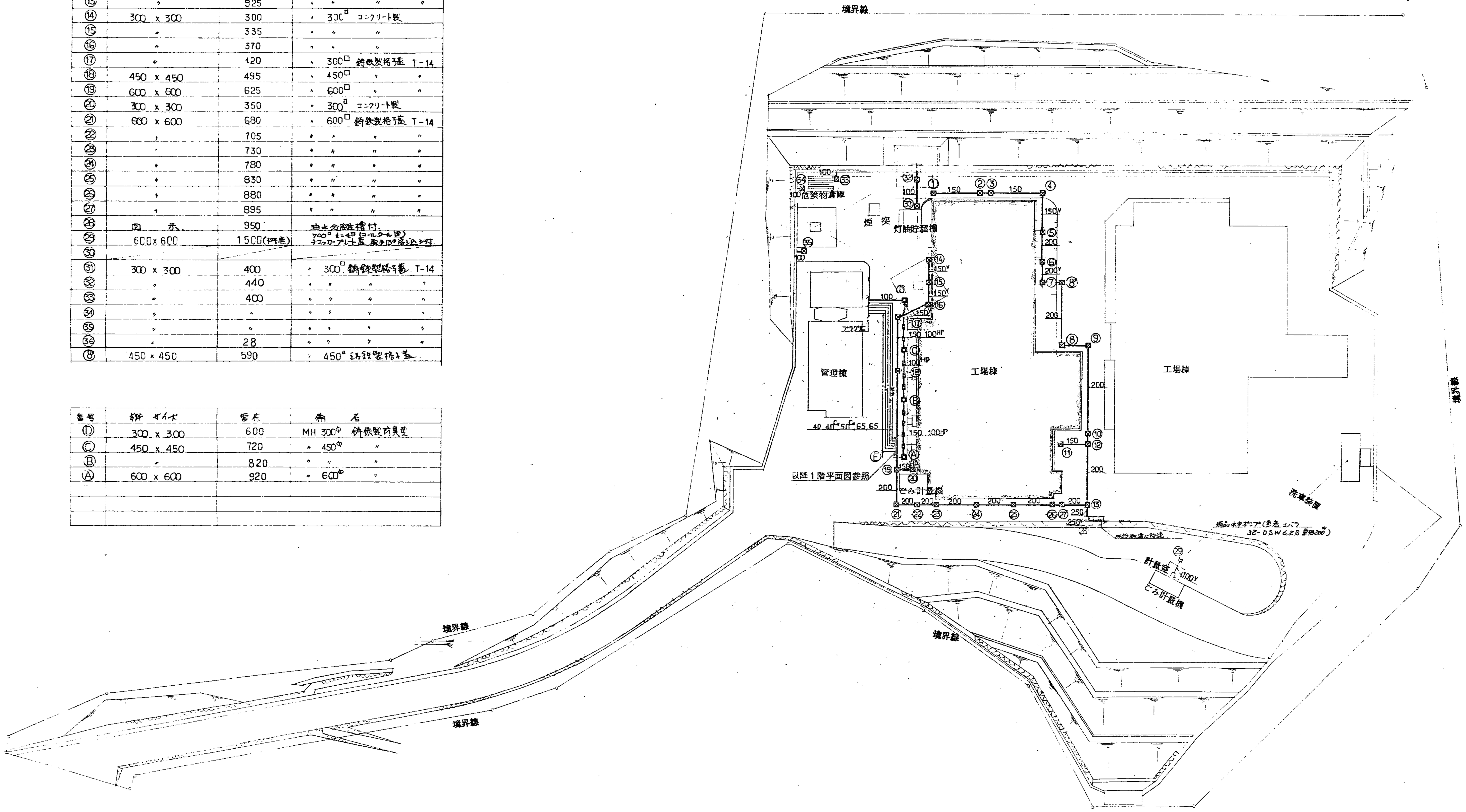
タクマ

桝リスト　　目地及び天端モルタル塗

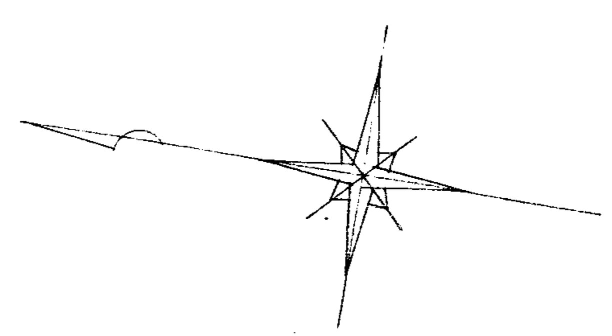
番号	桝サイズ	管底	備考
①	300 x 300	300	MH 300□ 鋳鉄製格子蓋 T-14
②	〃	365	〃 〃 〃 〃
③	〃	380	〃 〃 〃 〃
④	〃	450	〃 〃 〃 〃
⑤	450 x 450	500	〃 450□ コンクリート製
⑥	〃	540	〃 〃 〃
⑦	〃	565	〃 〃 〃
⑧	600 x 600	670	〃 600□ 〃
⑨	〃	710	〃 〃 鋳鉄製格子蓋 T-14
⑩	〃	830	〃 〃 〃 〃
⑪	300 x 300	300	〃 300□ 〃 〃
⑫	600 x 600	845	〃 600□ 〃 〃
⑬	〃	925	〃 〃 〃 〃
⑭	300 x 300	300	〃 300□ コンクリート製
⑮	〃	335	〃 〃 〃
⑯	〃	370	〃 〃 〃
⑰	〃	420	〃 300□ 鋳鉄製格子蓋 T-14
⑱	450 x 450	495	〃 450□ 〃 〃
⑲	600 x 600	625	〃 600□ 〃 〃
⑳	300 x 300	350	〃 300□ コンクリート製
㉑	600 x 600	680	〃 600□ 鋳鉄製格子蓋 T-14
㉒	〃	705	〃 〃 〃 〃
㉓	〃	730	〃 〃 〃 〃
㉔	〃	780	〃 〃 〃 〃
㉕	〃	830	〃 〃 〃 〃
㉖	〃	880	〃 〃 〃 〃
㉗	〃	895	〃 〃 〃 〃
㉘	図示	950	油水分離槽付.
㉙	600x600	1500(桝底)	700□ t=4.5 (コールタール塗) チェッカープレート蓋 取手13φ落込み付.
㉚			
㉛	300 x 300	400	〃 300□ 鋳鉄製格子蓋 T-14
㉜	〃	440	〃 〃 〃 〃
㉝	〃	400	〃 〃 〃 〃
㉞	〃	〃	〃 〃 〃 〃
㉟	〃	〃	〃 〃 〃 〃
㊱	〃	28	〃 〃 〃 〃
⑧	450 x 450	590	〃 450□ 鋳鉄製格子蓋.

番号	桝サイズ	管底	備考
Ⓓ	300 x 300	600	MH 300φ 鋳鉄製防臭型
Ⓒ	450 x 450	720	〃 450φ 〃
Ⓑ	〃	820	〃 〃 〃
Ⓐ	600 x 600	920	〃 600φ 〃





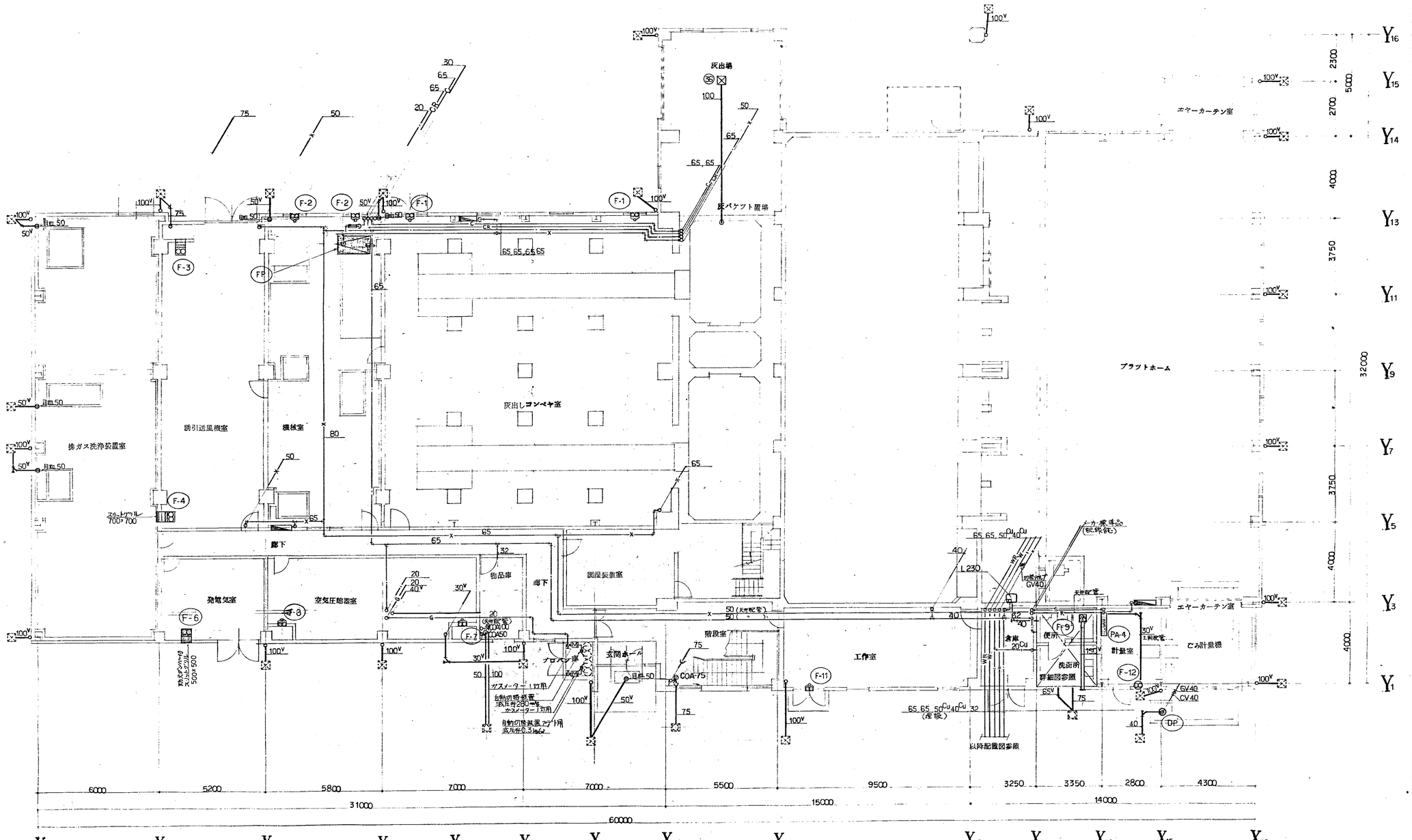
配置図 1/500



昭和 53 年 月 日	係員	係長	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)第2933号　電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号　大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図
図番 75
建築設備図
配置図
部長 課長 課長代 調査 設計
尺度 1/500
昭和 年 月 日
株式会社タクマ



1 階 平 面 図 1/100

昭和 53. 年 月 日
福山市建設局建築部建築課

係員	係長		課長	部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 7 6

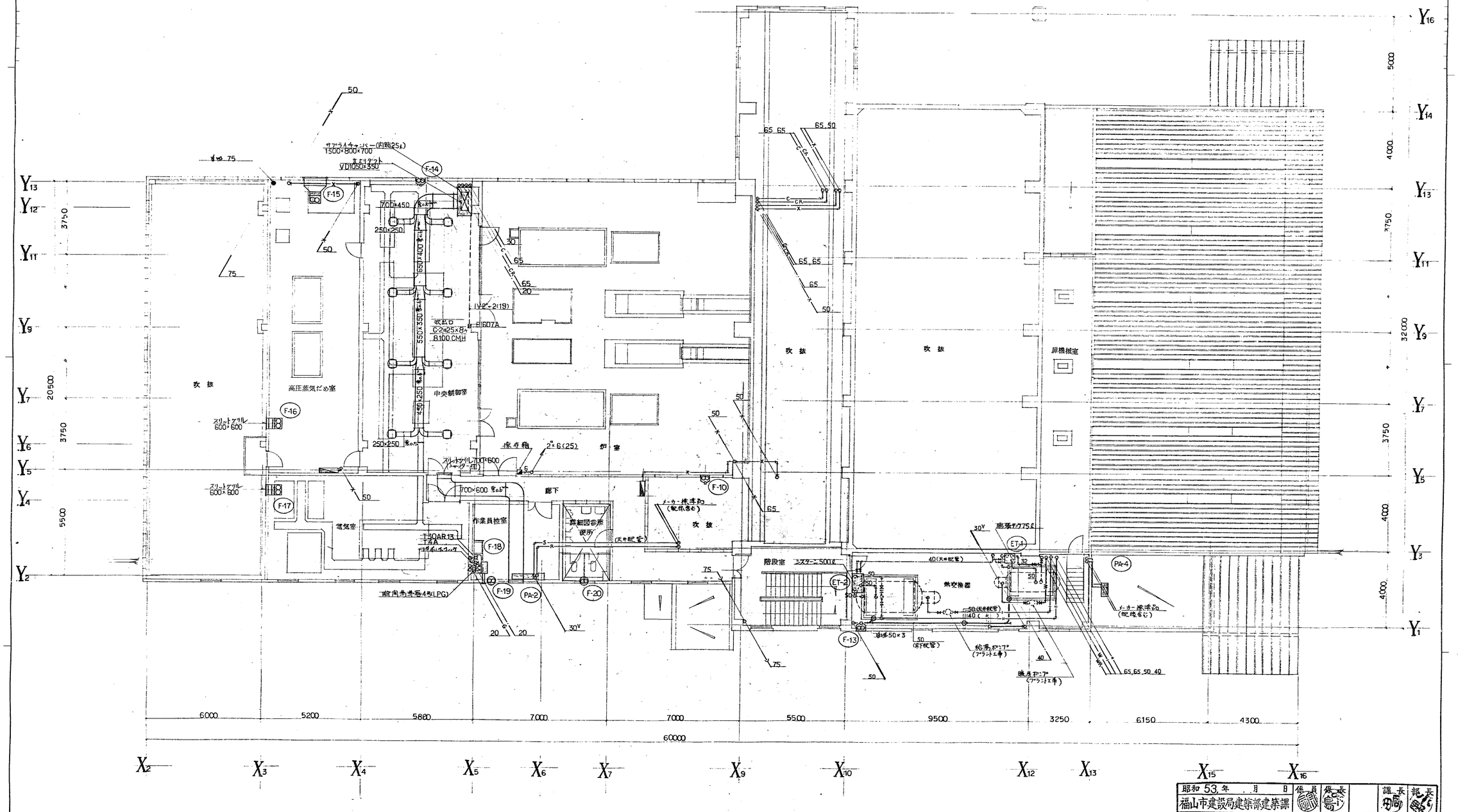
建築設備図
1 階 平面図

尺度 1/100

昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
建築事務所登録 大阪府(ニ)第2933号
一級建築士登録 第11029号
大ケ瀬正美

株式会社タクマ
〒530-8612 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号
TEL 06-6347-4800



2 階 平 面 図 1/100

昭和 53 年 月 日 係員 係長 課長 部長

福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 77

建築設備図
2 階 平面図

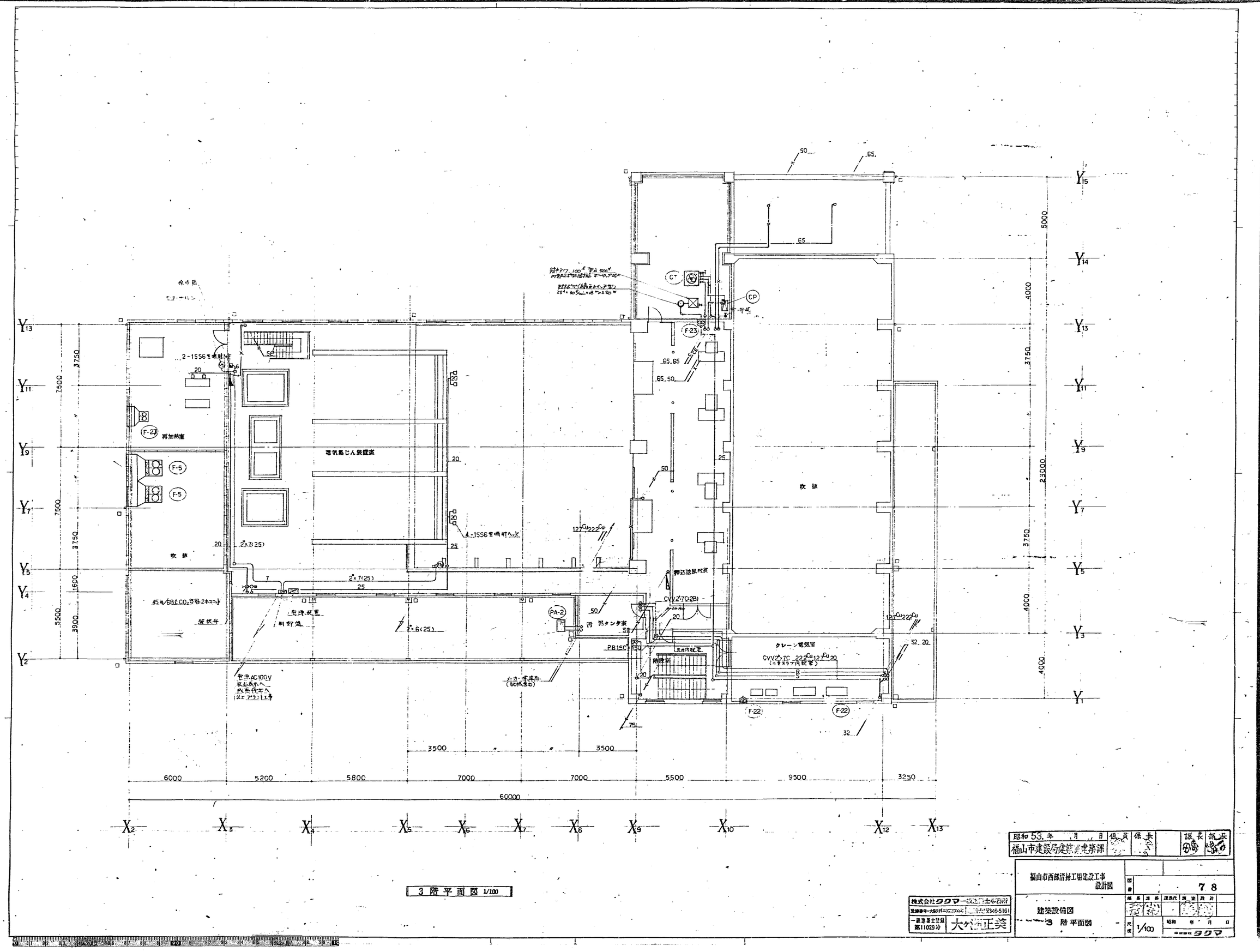
尺度 1/100

昭和 年 月 日

部長 課長 課長代 係員 設計

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(一)10263号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

株式会社タクマ



3 階 平 面 図 1/100

昭和53年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 78

建築設備図
3 階 平面図

尺度 1/100

株式会社タクマ一級建築士事務所
一級建築士登録
第11029号 大内正美

タクマ

屋内消火栓　NO.B.14

箱体	1 材料は1.6mm亜鉛鉄とする
	2 塗装はメラミン樹脂塗料焼付仕上げ
	御指定色
格納品	消火栓 50A 90° 1ヶ
	ホース 50A 15M 2本
	ホース系 50A 23ℓ 1組
	ノズル 50A 16φ 1本

663
70
175 175
25
225
925
1200
消火栓
25 650 25
700
210
330
90
90
150
1163
230
350
120
180
200
20
CV50,GV50
GV65
50
65
高架タンク室
5000
4000
3750
Y15
Y14
Y13
Y11
Y9
Y7
Y5
Y3
Y1
吹抜
ホッパー室
階段室
クレーン操作室
PB150×150
CVV2-sq(2本)
PA-3
LD-500
LV2-2(19)
H-6D7A
F-25
F-24
12.7Cu 22.2Cu
32 20
3000 6000 5200 5800 3500 3500 5500 5000 4500
49000
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12

4階平面図 1/100

昭和53年　月　日　係員　係長　課長　部長
福山市建設局建築部建築課

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 79

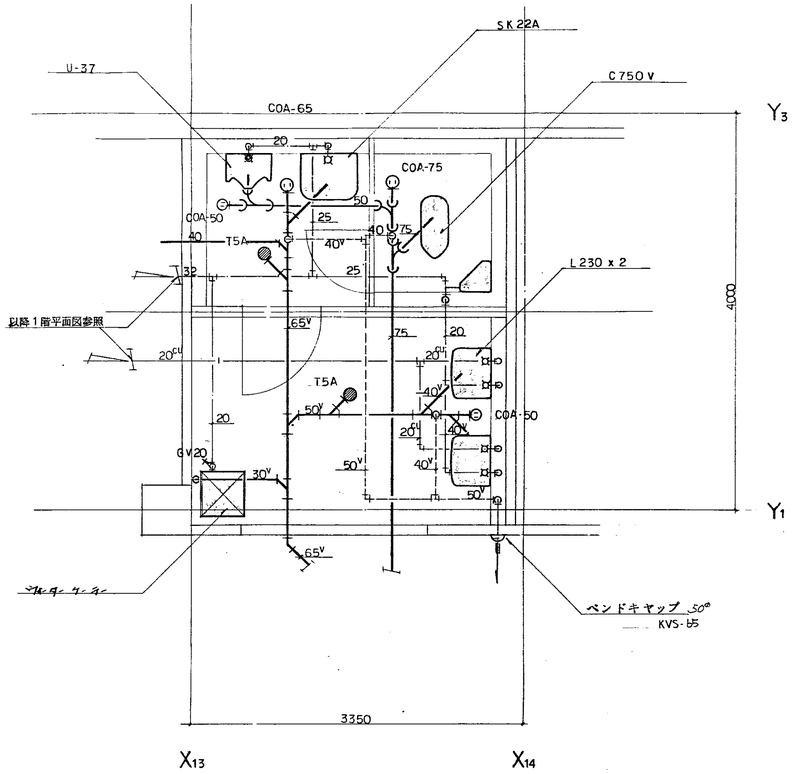
建築設備図
4階平面図

尺度 1/100

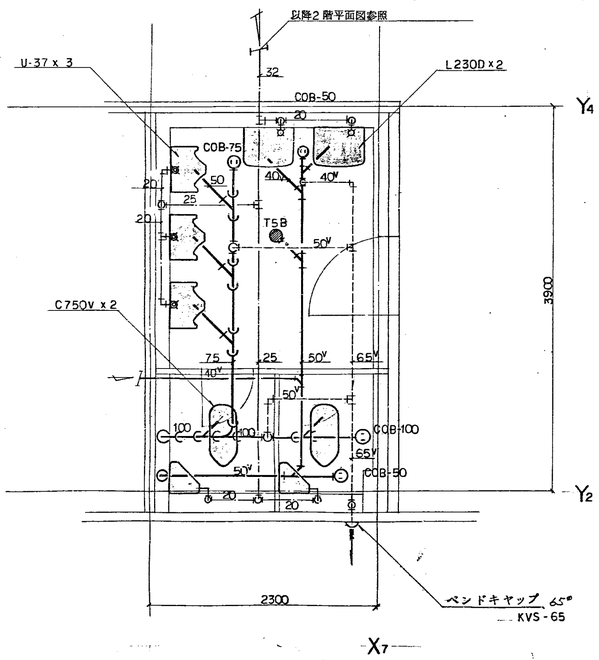
昭和　年　月　日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 大臣(ニ)第7732号　℡大阪(06)345-5161
一級建築士登録 第11029号　大ケ江正美

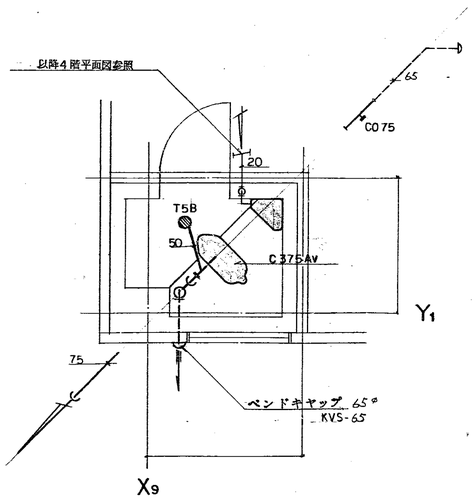
株式会社タクマ



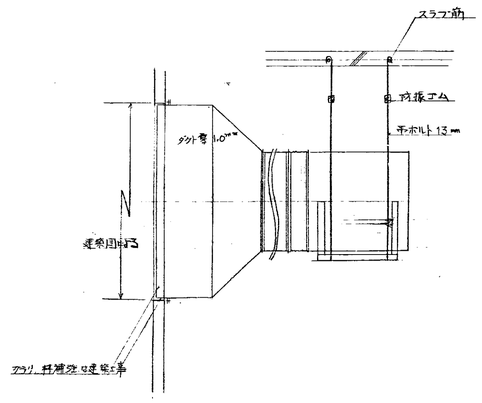
1 階 平 面 図 1/30



2 階 平 面 図 1/30



4 階 平 面 図 1/30



送風機取付参考図

器具明細表

名　称	記 号	仕　様		備　考
和風大便器	C750v	S570B.T82C32.TS572D.T56H5.TS670FZ.TS570VSY32.TS116RAY.	1	1F
〃	〃	〃　〃　〃.TS570D.〃　〃　〃　〃　〃　〃.	2	2F
節水型和風大便器	C375AV	S670B.TS670FZ.T82C32.TS572D.T56H5.TS670Z32.TS116RAY.	1	4F
小 便 器	U37	T60S.T62-16.T64CW.TU37DAY.	3	1.2F
掃除用流し	SK22A	T23AE19.T37SN.TK22.T9RAY.	1	1F
洗 面 器	L230	T210.T4A.T6P.TS125S.T9RAY.T8CAY.TS119ASAY3.	3	〃
〃	L230D	〃　〃　〃.TS126AS.〃　〃　〃　〃　〃.	2	2F
床上掃除口	COA-75		1	1F
〃	〃 -65		1	〃
〃	〃 -50		2	〃
〃	COB-100		1	2F
〃	〃 -75		1	〃
〃	〃 -50		2	〃
掃除口	CO -75		1	4F
床排水金物	T5A		2	1F
〃	T5B		2	2F.4F
ベントキャップ		65°	1	4F
〃		〃	1	2F
〃		〃	1	1F
サーチライト		単相 100V.230W.50HZ. タンサ：5.2l.	1	分析メカ WP-3000D形
大便器	U-30	T60P　T62-16　T65B	1	2F

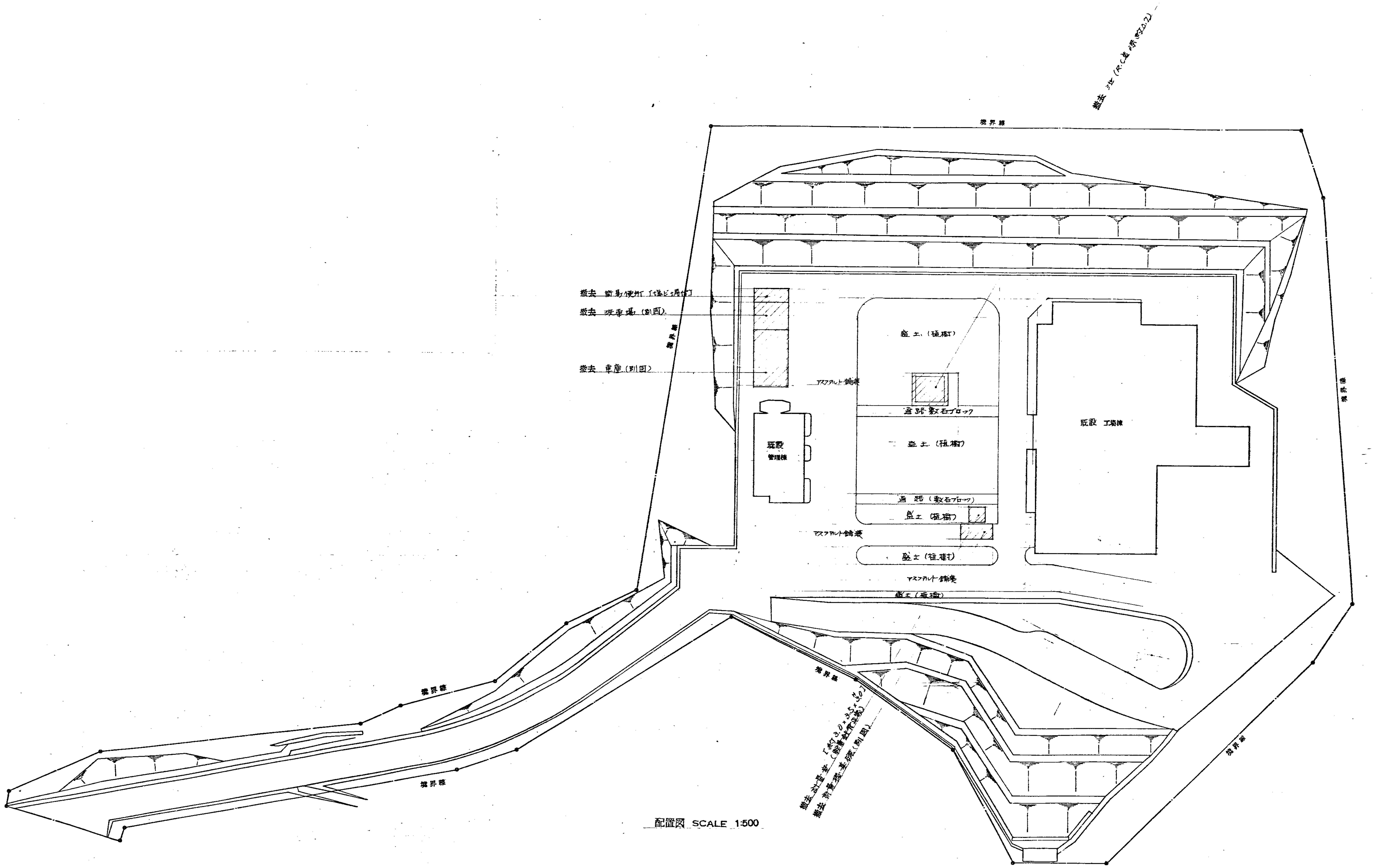
昭和53年　月　日　係員　係長　課長　部長

福山市建設局建築部建築課

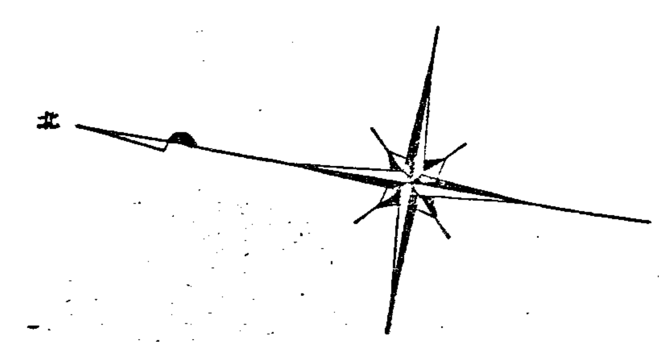
福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 80
建築設備図 詳細図	部長 課長 課長代 係長 設計 / 尺度 昭和 年 月 日

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号 一大阪府(ニ)7C2033号　電話大門(346)5161
一級建築士登録 第11029号　大ケ瀬正美

株式会社タクマ



配置図 SCALE 1:500



昭和53年　月　日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(二)第2933号　電話大阪349-5151
一級建築士登録 第11029号　大ヶ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 81

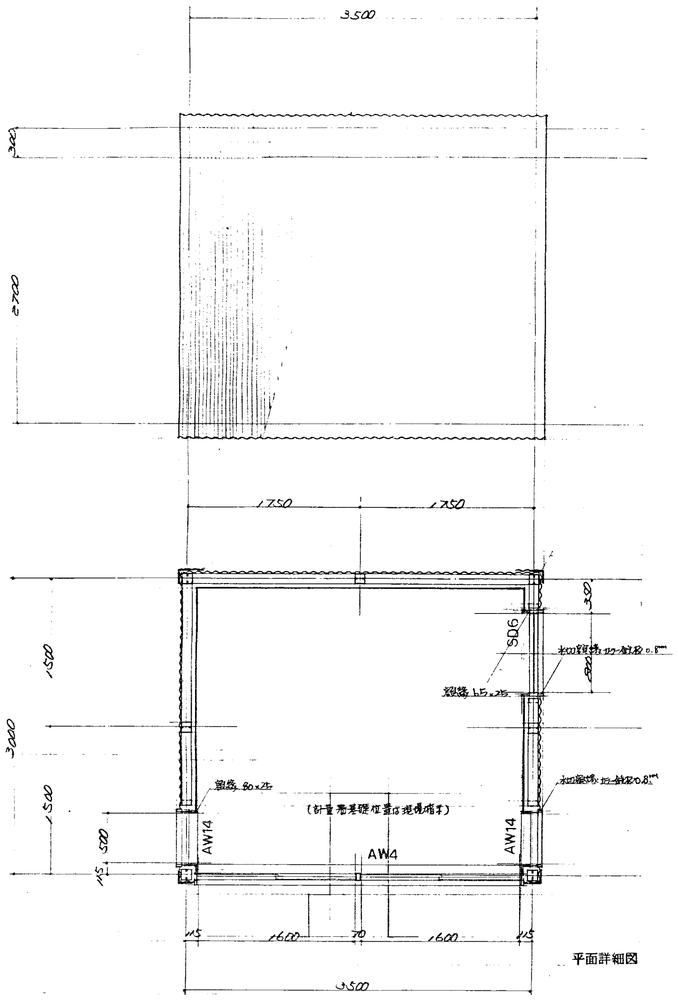
移設及び
撤去図　其の1

部長	課長	課長代	調査	設計

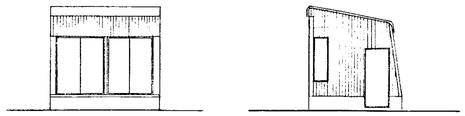
尺度 1:500

昭和　年　月　日

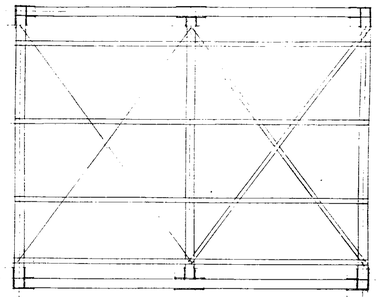
株式会社タクマ

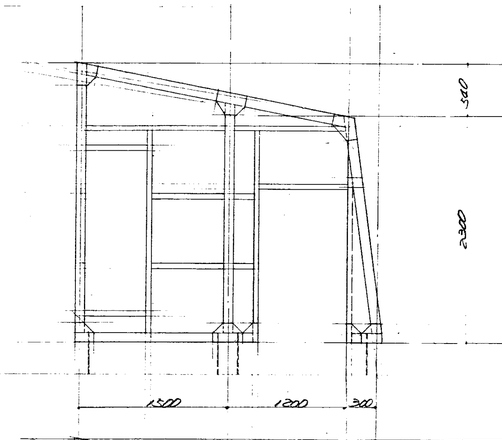


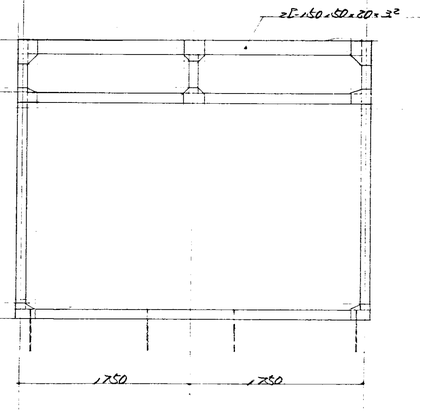
平面詳細図

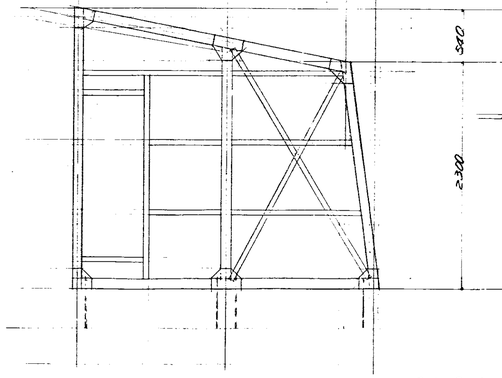


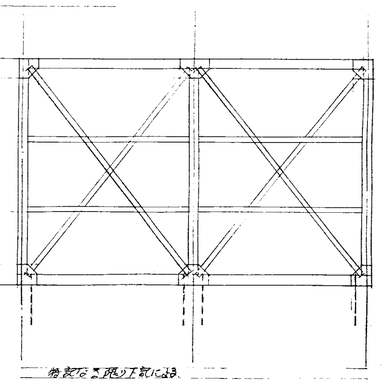
立面図 SCALE 1:100



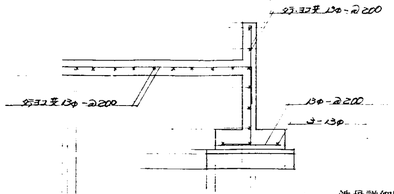




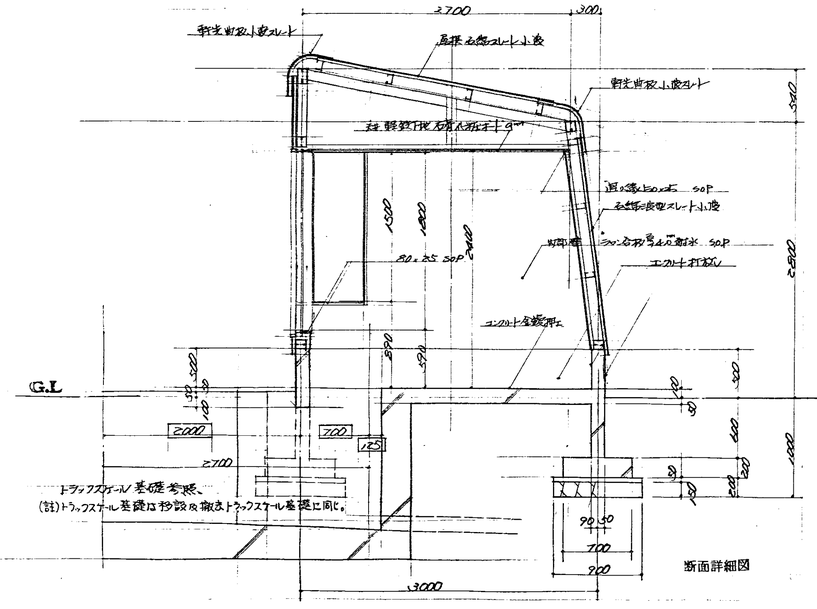




物置なご取り付けによる
柱 梁 2L-100×50×20×2.3 全周ミゼ目ヨーセン
土台 2L-100×50×20×2.3
胴縁 胴縁 2C-100×50×20×2.3 ネコL-100×75×7 ごりタイル
ひセットプレート t6
アンカーボルト M12 L=400
敷地境界線より外部方向は 50P にとどする



鉄骨詳細図

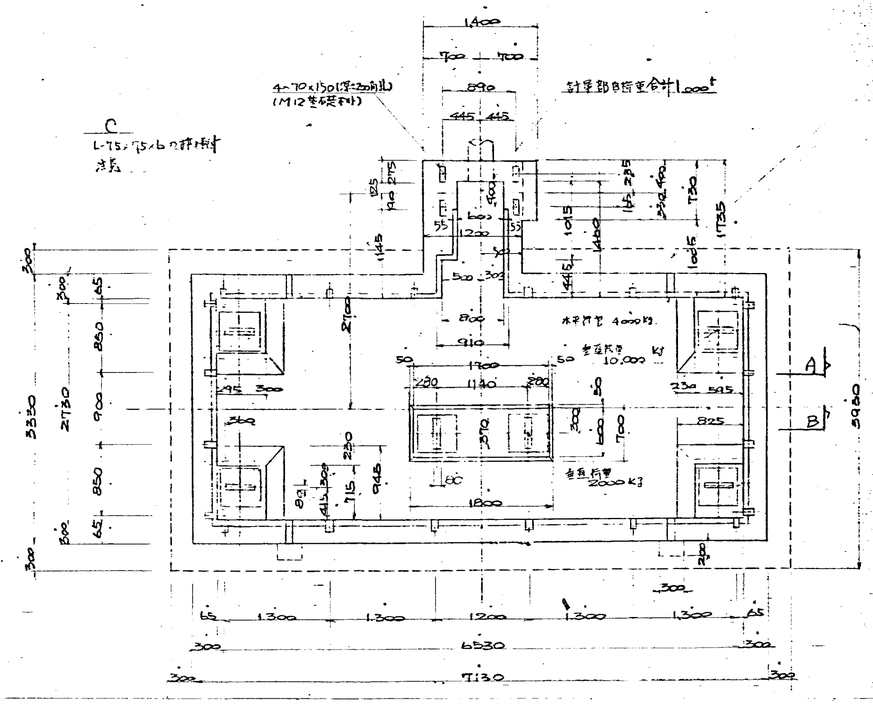


断面詳細図

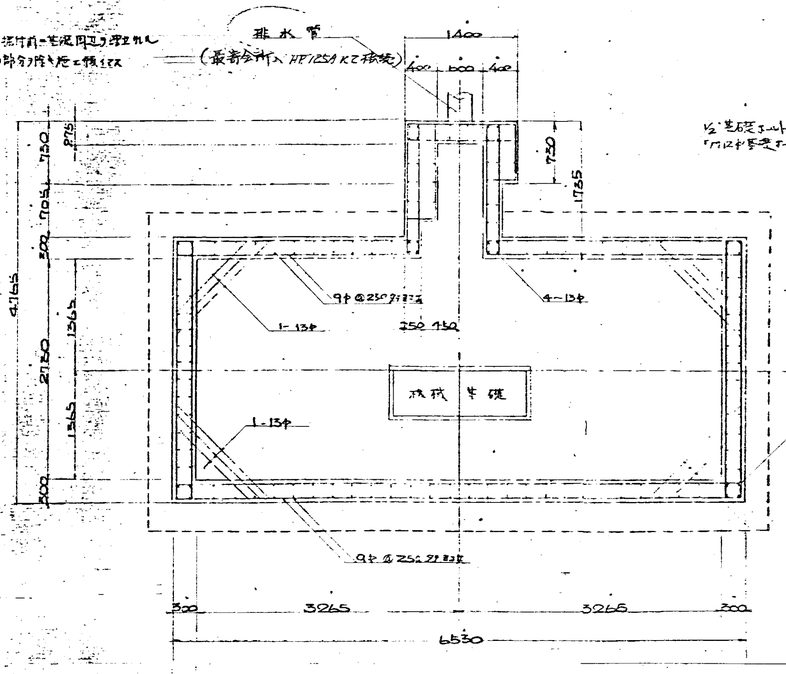
昭和53年 月 日	係員 係長 課長 部長
福山市建設局建築部建築課	

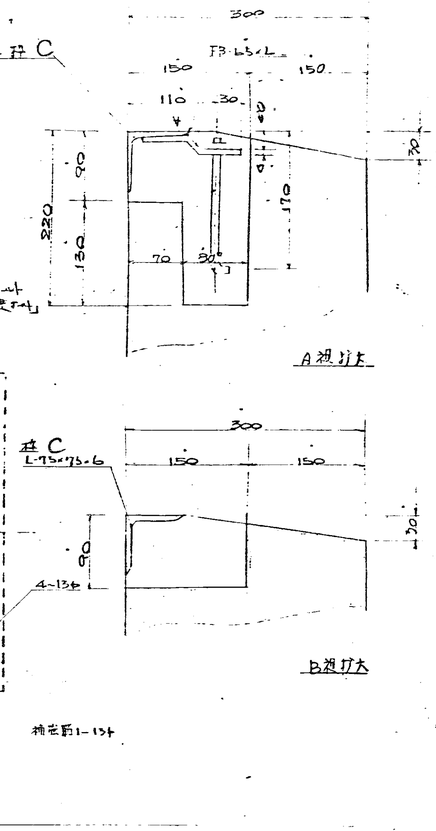
株式会社タクマ一級建築士事務所	
登録番号 大臣(イ)-2(2)933号	電話大阪(345)5161
一級建築士登録 第11029号	大久保正美

福山市西部清掃工場建設工事 設計図	図番 82
移設及び撤去図 其の2	部長 課長 課長代 実施設計
計量機 移設工事(計画変新設)	看(社) 看(タ)
計量室 詳細図	尺度 1:80 昭和 年 月 日
	株式会社タクマ

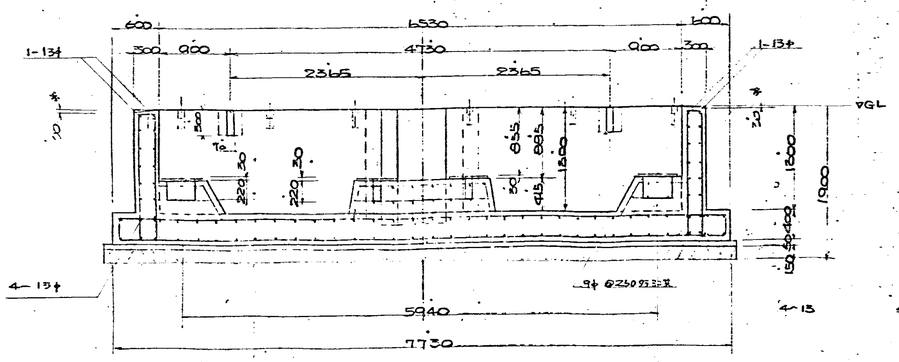


平面図 S=1/40

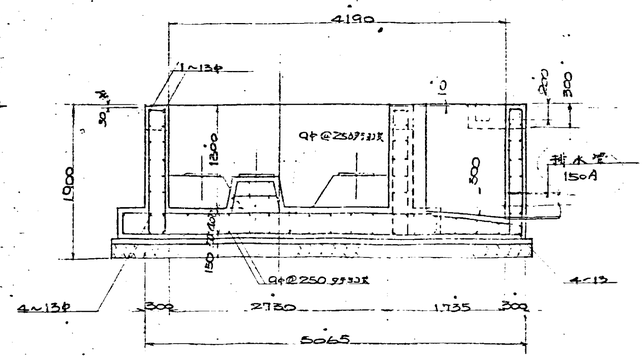




(註) 移設及び撤去は同図に依る。



正面図 基礎配筋 詳細図 S=1/40



右側面図 詳細図 S=1/40

註)

1) 杭の基礎は長岡地耐力 8t/㎡ として計算したもので杭の内容は地耐力試験又は周辺の施行例より施行のこと。

2) 基礎周面の凹凸は正面よく出ない施行のこと。

3) 基礎周面で特に指定しない凹凸は、より施行のこと。

4) 鉄筋で囲まれた支点を有する設置部は基礎上面より 885±10mm とし上面に容易に仕上サ方法が得ず若硬ライナーにて水平より高さ調整後モルタル充填のこと。

5) 基礎周囲のコンクリート打設時は基礎上面より 800 mm 立上げ型枠を設置のこと。

6) 基礎内に土砂が入ると計算以外の荷重がかかり基礎周辺より雨水又はゴミ等が流込まぬよう GLより高く(水抑)施工のこと。

記号	名称	材質	数量	摘要

符号	年月日	訂正事項	担当	課長

工務部設計課					
部長	次長	課長	担当	設計	写図

昭和53. 年 月 日	係員	係長	課長	設長
福山市建設局建築部建築課				

完成	昭和44年6月3日
出図先	計

計量機器置き場(基礎撤去図、基礎新設)

トラックスケール 20t×2t×27m, 6.5m

基礎図

尺度	No. 1/4	図番	D-3087
縮別			

三和動産工業株式会社

□ 数字はZoからの高低を示す

平面図 1.100

小屋伏図 1.100

基礎伏図 1.100

断面図 1.100

西面姿図 1.100

軸組図 1.100

軸組図 1.100

北面姿図 1.100

軸組図 1.100

軸組図 1.100

昭和 53 年 月 日 係長 課長 部長

福山市建設局建築部建築課

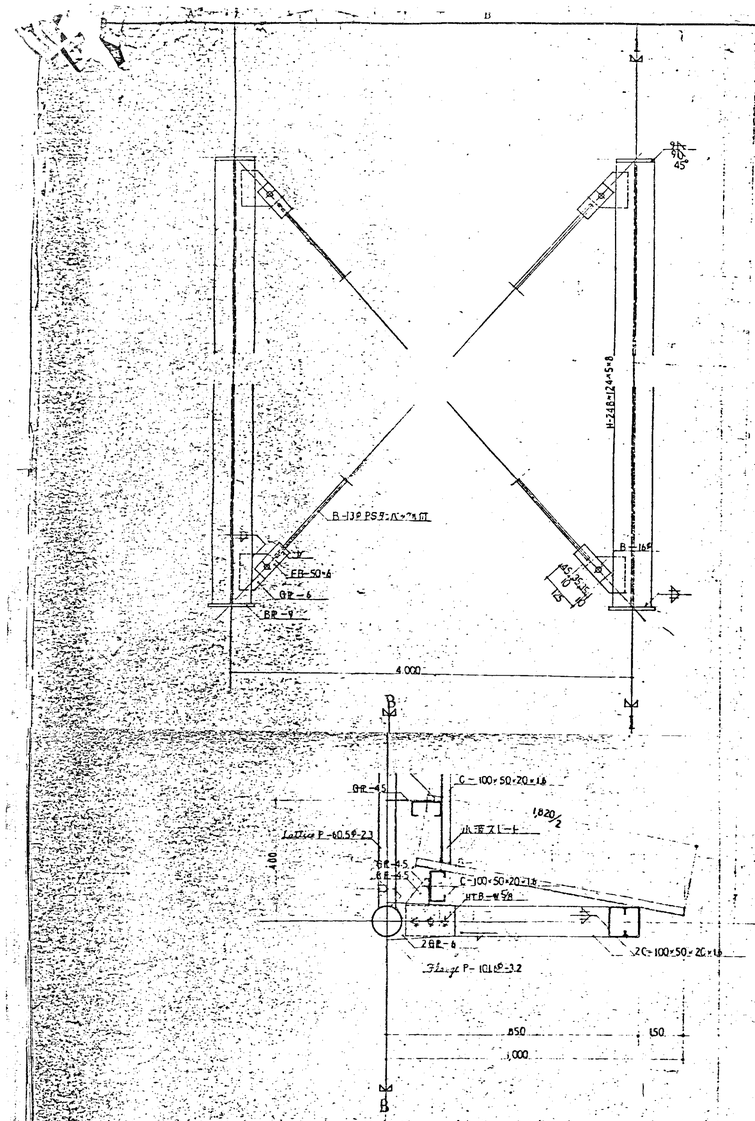
撮去図 其の1 84

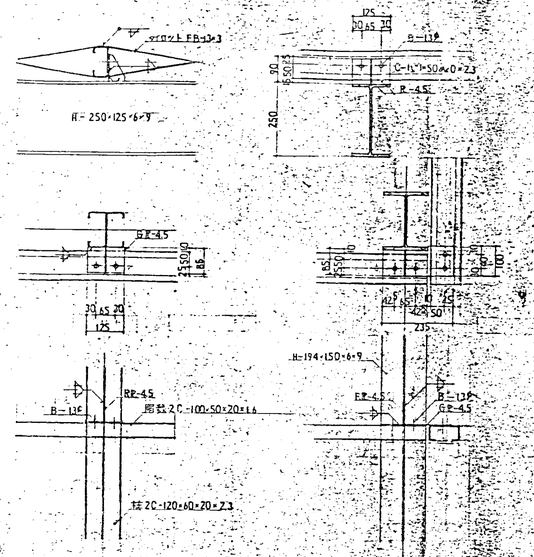
年 月 日	検図	設計	製図
福山市建設局土木建築部建築課			

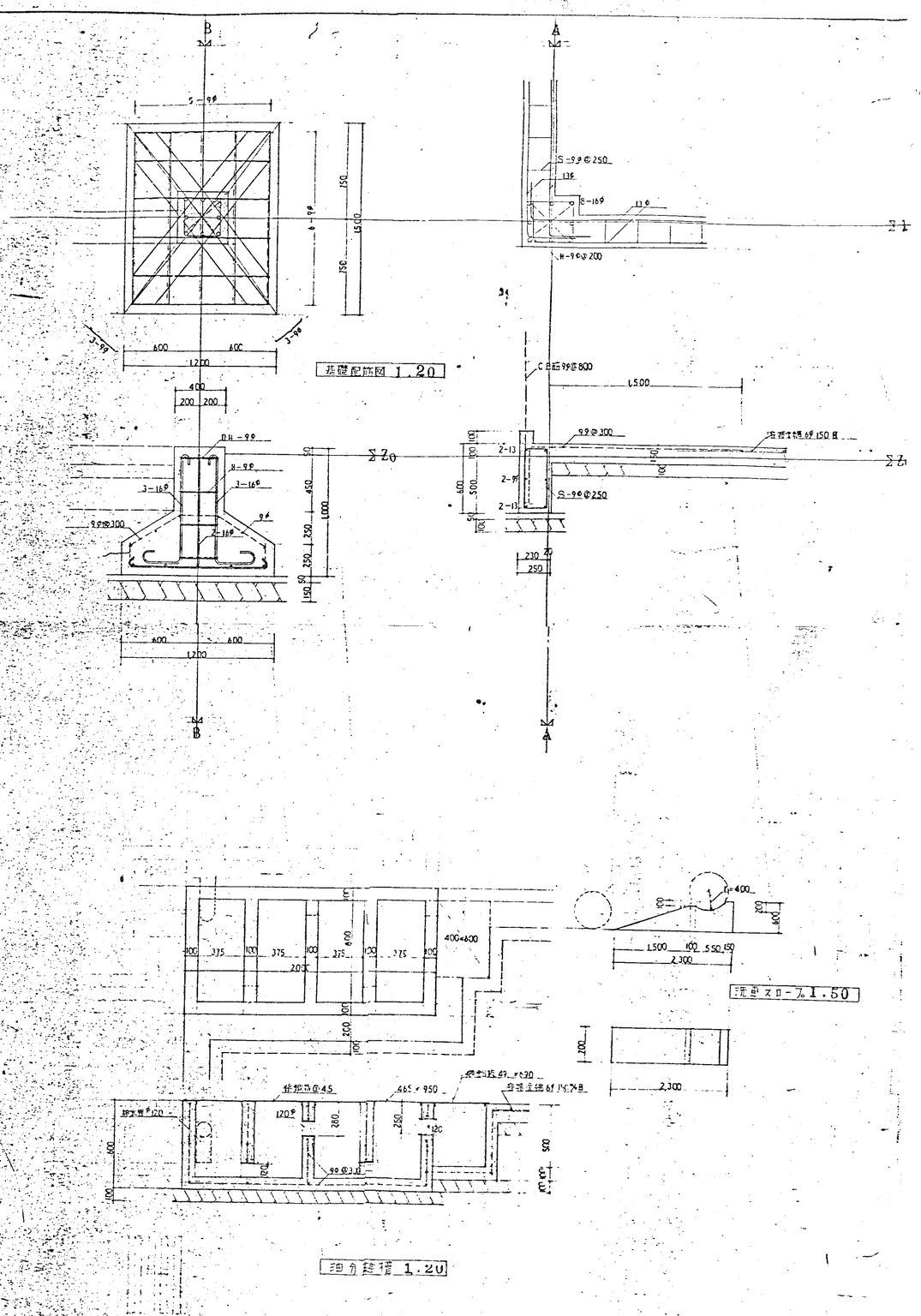
福山市西部児童館 新築工事設計図 縮尺 1:100

平面図 伏図 断面姿図 軸組図

一級建築士事務所 株式会社 鈴木工務店







基礎配筋図 1.20

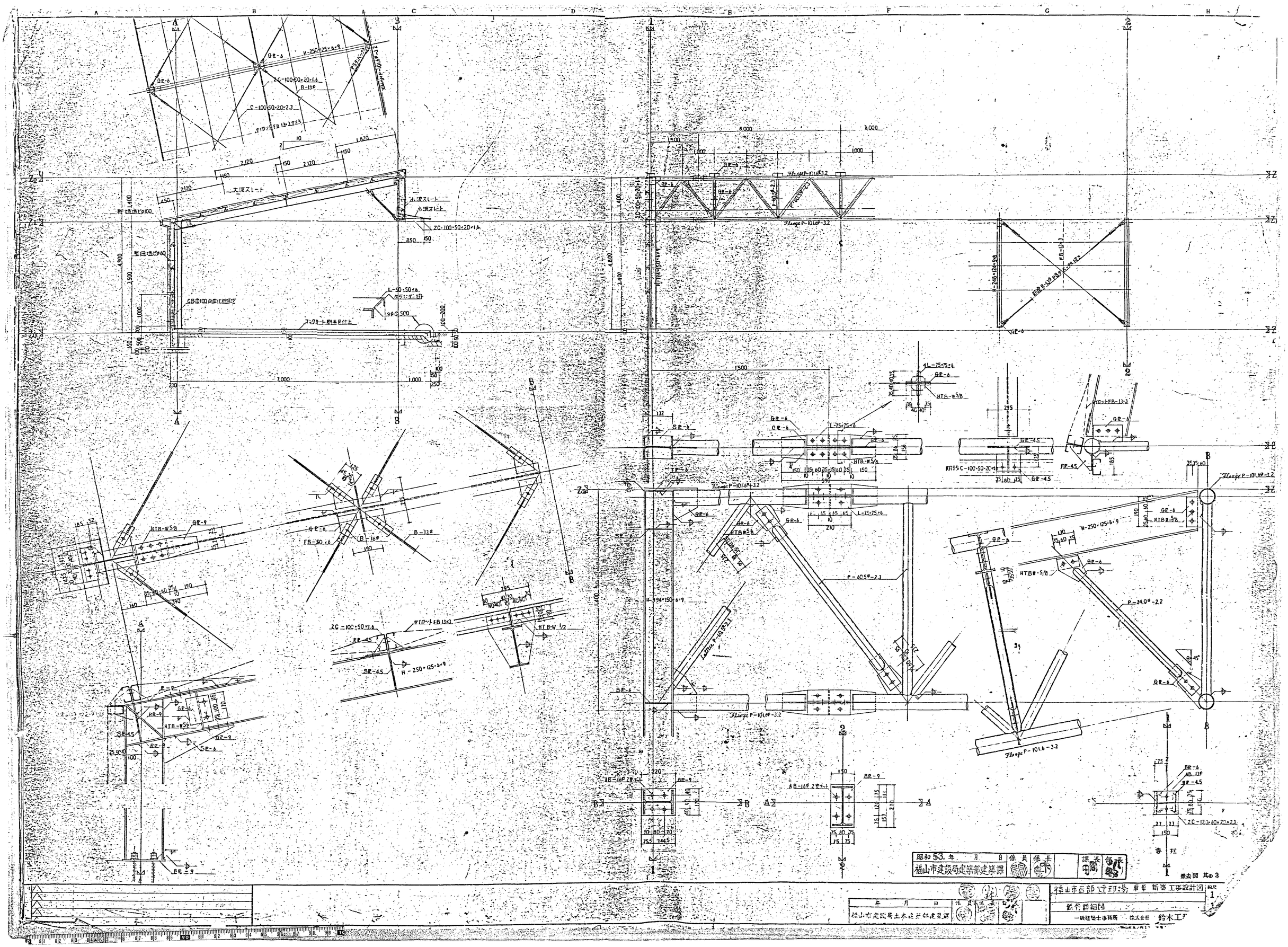
流雪スロープ 1.50

担当係理 1.20

昭和53年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

縮尺図 其の2 85

福山市重層式駐輪場建築工事設計図	1.20
ディテール 断面図	1.12



昭和53年 月 日	係員	係長	調査長	部長
福山市建設局建築部建築課				

年 月 日				
福山市建設局土木建築部建築課				

福山市西部工場車庫 新築工事設計図

鉄骨詳細図4

一級建築士事務所 株式会社 鈴木工務

縮尺 1/1

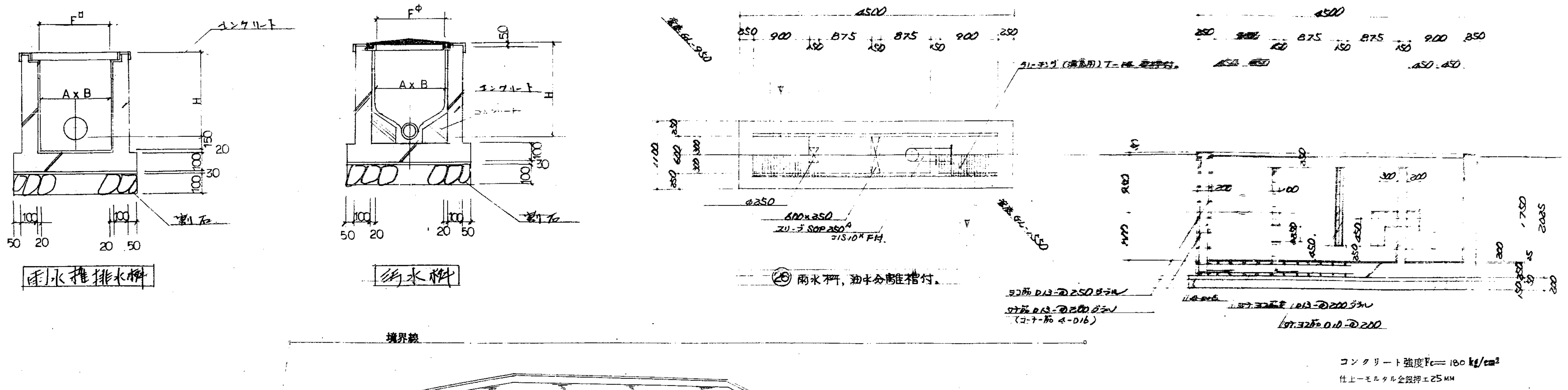
提出図 其の3

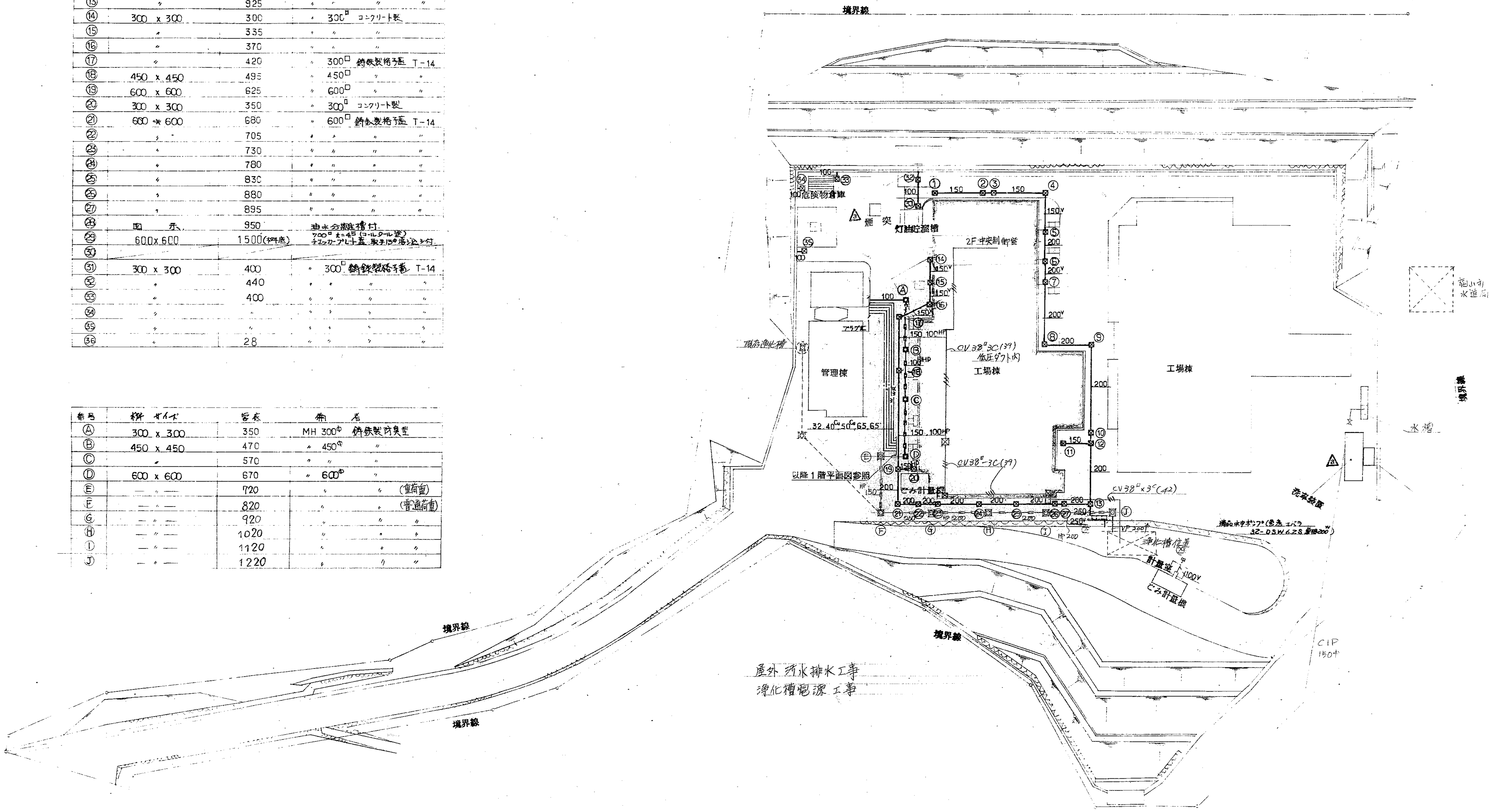
桝リスト

内部及び天端モルタル塗

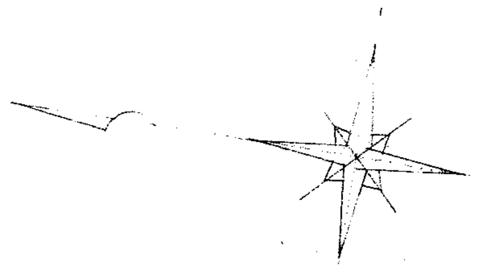
番号	桝サイズ	管底	備考
①	300 x 300	300	MH 300□ 鋳鉄製格子蓋 T-14
②	〃	365	〃 〃 〃 〃
③	〃	380	〃 〃 〃 〃
④	〃	450	〃 〃 〃 〃
⑤	450 x 450	500	〃 450□ コンクリート製
⑥	〃	540	〃 〃 〃
⑦	〃	565	〃 〃 〃
⑧	600 x 600	650	〃 600□ 〃
⑨	〃	710	〃 〃 鋳鉄製格子蓋 T-14
⑩	〃	830	〃 〃 〃 〃
⑪	300 x 300	300	〃 300□ 〃 〃
⑫	600 x 600	845	〃 600□ 〃 〃
⑬	〃	925	〃 〃 〃 〃
⑭	300 x 300	300	〃 300□ コンクリート製
⑮	〃	335	〃 〃 〃
⑯	〃	370	〃 〃 〃
⑰	〃	420	〃 300□ 鋳鉄製格子蓋 T-14
⑱	450 x 450	495	〃 450□ 〃 〃
⑲	600 x 600	625	〃 600□ 〃 〃
⑳	300 x 300	350	〃 300□ コンクリート製
㉑	600 x 600	680	〃 600□ 鋳鉄製格子蓋 T-14
㉒	〃	705	〃 〃 〃 〃
㉓	〃	730	〃 〃 〃 〃
㉔	〃	780	〃 〃 〃 〃
㉕	〃	830	〃 〃 〃 〃
㉖	〃	880	〃 〃 〃 〃
㉗	〃	895	〃 〃 〃 〃
㉘	図示	950	油水分離槽付
㉙	600x600	1500(桝底)	700□ t=4.5 (コールタール塗) チェッカープレート蓋 取手13φ落込み付
㉚			
㉛	300 x 300	400	〃 300□ 鋳鉄製格子蓋 T-14
㉜	〃	440	〃 〃 〃 〃
㉝	〃	400	〃 〃 〃 〃
㉞	〃	〃	〃 〃 〃 〃
㉟	〃	〃	〃 〃 〃 〃
㊱	〃	28	〃 〃 〃 〃

番号	桝サイズ	管底	備考
Ⓐ	300 x 300	350	MH 300φ 鋳鉄製防臭型
Ⓑ	450 x 450	470	〃 450φ 〃
Ⓒ	〃	570	〃 〃 〃
Ⓓ	600 x 600	670	〃 600φ 〃
Ⓔ	― 〃 ―	720	〃 〃 (重荷重)
Ⓕ	― 〃 ―	820	〃 〃 (普通荷重)
Ⓖ	― 〃 ―	920	〃 〃 〃
Ⓗ	― 〃 ―	1020	〃 〃 〃
Ⓘ	― 〃 ―	1120	〃 〃 〃
Ⓙ	― 〃 ―	1220	〃 〃 〃





配置図 1/500



昭和 53 年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

株式会社タクマ一級建築士事務所
登録番号一大阪府(ニ)第2933号 電話大阪346-5161
一級建築士登録 第11029号 大ケ瀬正美

福山市西部清掃工場建設工事
設計図

図番 75

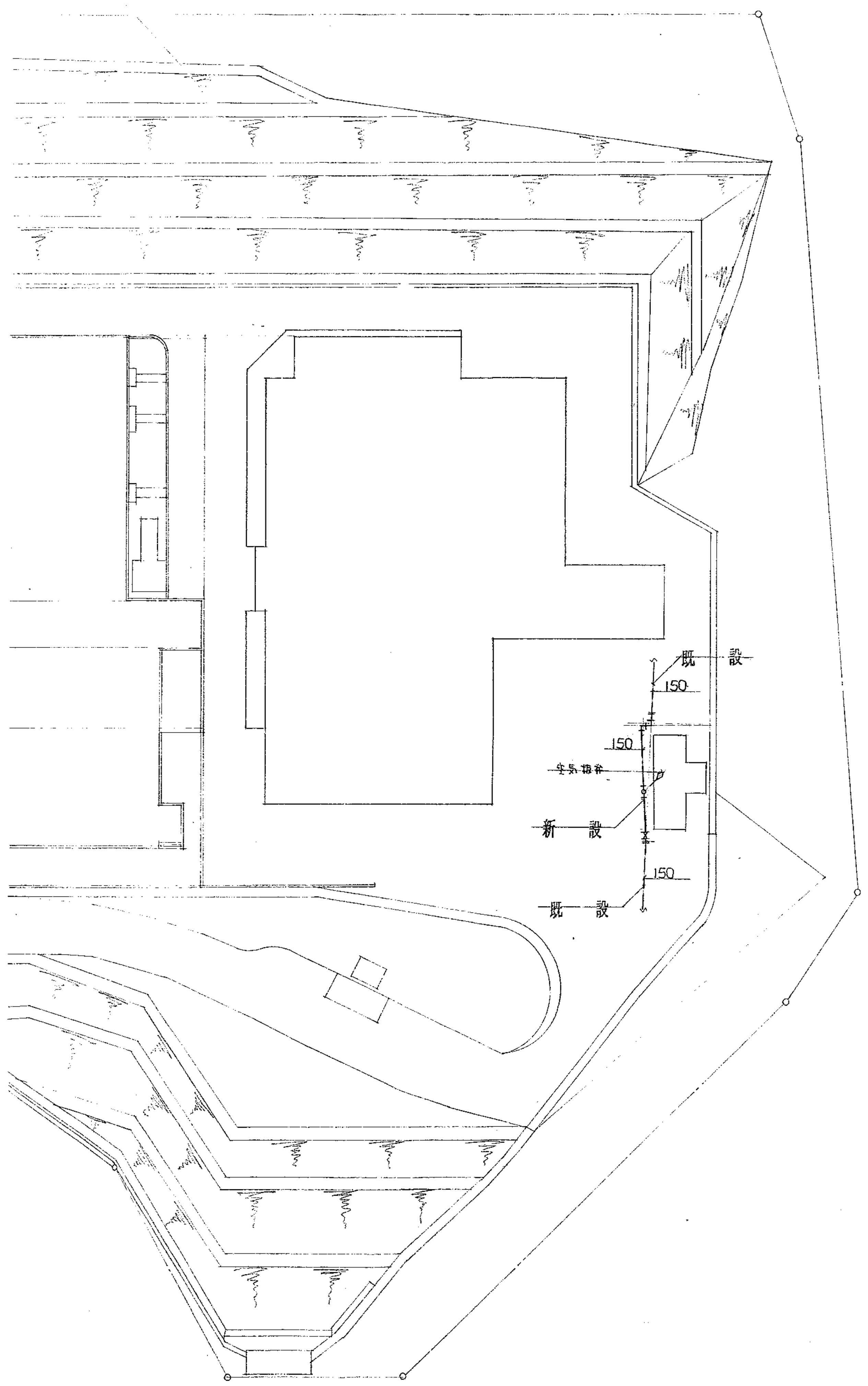
部長 課長 課長代 調査 設計

建築設備図
配置図

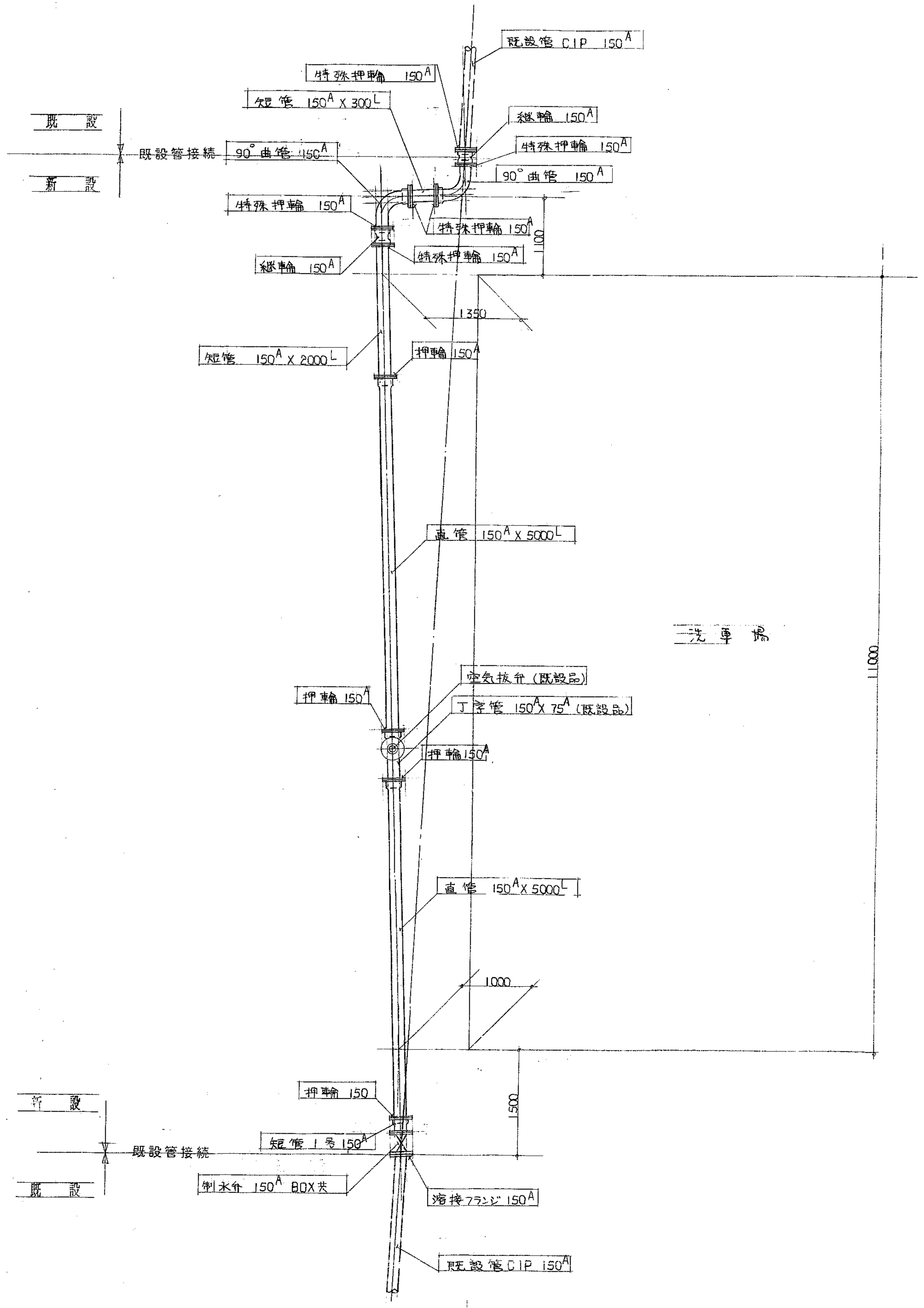
尺度 1/500

昭和 年 月 日

株式会社タクマ



配置図　1:500



移設給水本管詳細図　1:50

福山市西部清掃工場新築　工事設計図	図面名称 給水本管移設配管図	縮尺 1:50　1:500	福山市多治米町1063番地　電話(0849)53―0266代表 大宝設備工業株式会社 県知事登録　第４８０２号	承認者	担当	図面完成年月日	図面訂正及変更年月日	図面番号 No.

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇数	日付	担当	調査	調査	承認
		記事				
△						
△						
△						
△						

福山市西部清掃工場建設工事

図面リスト電気計装設備

NO	図面名称	図面番号
1	特記仕様書	E－11051
2	単線結線図(受変電)	E－11052
3	単線結線図(主幹,炉用,非常用)	E－11053
4	単線結線図(洗煙,共通)	E－11054
5	単線結線図(汚水,建築)	E－11055
6	単線結線図(現場動力)	E－11056
7	高圧盤姿図	E－11057
8	電力監視盤姿図	E－11058
9	低圧動力盤姿図	E－11059
10	現場操作盤姿図	E－11060
11	動力操作一覧表(炉用,非常用,洗煙)	E－11061
12	動力操作一覧表(共通,汚水)	E－11062
13	動力操作一覧表(建築)	E－11063
14	直流電源盤ﾈ結線図	E－11064
15	非常用ディーゼル発電機図	E－11065
16	屋外配線図	E－11066
17	受変電設備ﾈ制御室図	E－11067
18	1階動力配線図	E－11068
19	2階動力配線図	E－11069
20	3階動力配線図	E－11070
21	ホッパ階動力配線図	E－11071
22	照明器具姿図	E－11072
23	分電盤結線図	E－11073
24	1階照明配線図	E－11074
25	2階照明配線図	E－11075
26	3階照明配線図	E－11076
27	ホッパ階照明配線図	E－11077
28	クレーン階照明配線図	E－11078
29	1階コンセント・弱電配線図	E－11079
30	2階コンセント・弱電配線図	E－11080

NO	図面名称	図面番号
31	3階コンセント・弱電配線図	E－11081
32	ホッパ階コンセント・弱電配線図	E－11082
33	航空障害灯設備図	E－11083
34	自動火災報知設備系統図	E－11084
35	1階自動火災報知設備配線図	E－11085
36	2階自動火災報知設備配線図	E－11086
37	3階自動火災報知設備配線図	E－11087
38	ホッパ階自動火災報知設備配線図	E－11088
39	クレーン階自動火災報知設備配線図	E－11089
40	避雷針設備図	E－11090
41	計装系統図(炉用)	E－11091
42	計装系統図(共通)	E－11092
43	計装系統図(ボイラ)	E－11093
44	計装系統図(汚水)	E－11094
45	計装計器盤図(1/2)	E－11095
46	計装計器盤図(2/2)	E－11096
47	地階計装配線図	E－11097
48	1階計装配線図	E－11098
49	2階計装配線図	E－11199
50	3階計装配線図	E－11100
51	ホッパ階計装配線図	E－11101
52	クレーン階計装配線図	E－11102

昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課　係長　係主　課長

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL－0907形 じん芥焼却プラント			
照合				
	図面リスト			

図番 E－11050

承認	調査	設計	写図

尺度　昭和54年1月29日　㈱タクマ

T63 (C)

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事名称　福山市西部清掃工場建設工事
2. 工事場所　広島県福山市赤坂鈴谷
3. 建物概要

建物名称	構造	階数	棟数	延面積(㎡)	備考
工場棟	鉄骨造	4	1	2947	
洗車装置棟他	〃	1	3	66	

4. 工事種目（●印を付けたもの）

工事種目		工事種目	
1)電灯設備	●	1)表示設備	○
2)動力設備	●	2)電鈴設備	○
3)照明器具設備	●	3)インターホン設備	●
4)受変電設備	●	4)テレビ共聴設備	○
5)自家発電設備	●	5)火災報知設備	●
6)電話配管設備	●	6)構内交換設備	○
7)電気時計設備	○	7)構内配電線路	●
8)拡声設備	●	8)構内電話線路	○
9)避雷針設備	●		

II 工事仕様

A 共通仕様

本工事は電気設備技術基準、中国電力内線工事規定、建設大臣官房官庁営繕部電気設備工事共通仕様書、設計図、特記仕様書に準処し下記工事を完全に施工する。

1. 官庁手続　本工事請負者は各官庁への必要な手続をすみやかに完了し工事完成と同時に使用出来る様に一切の手続を代行すること。
2. 補償　工事完了後満1年以内に施工の不良又は材料器具の不良に基く事故を生じた場合、請負者の費用をもって完全に修理又は取替えより施工するものとする。
3. その他　設計図に明記なき事項でも監督員が必要と認めて指示した場合はその指示により施工するものとする。

B 特記仕様

項目は●印をつけたものを適用する。

C 地場製品の活用

工事請負人は次の品目について地場製品を使用し、その使用に関しては予め係員と協議すると共に使用状況の報告をする。

品目　分電盤類

一般共通事項

項目	特記事項
承認図及施工図	工事着手前に提出　●各種器具の承認図面 1部 ●施工図　2部　●官庁届手続の写し 1部
完成図	●完成図(B5判 182×257 又はA4判 210×297を基準とする)製本 2部 〃（2つ折）製本 2部
各種試験表	（下表）
色彩の決定	●監督員の指示による
フラッシュプレート	○ステンレス　○黄銅W.B.　●その他(新金属)
めくらプレートの用途別表示	●電灯(灯)　動力(動)　電話(T)　電気時計(時)　拡声(拡) ●表示(表)　電鈴(鈴)　インターホン(イ)　テレビ共聴(TV) ●火災報知(火)
フロアーボックスカバー	●水平高低調整付（空転防止リング付）
スイッチ	●工務表、下請主要機器メーカーの一覧表 ●3連以上のスイッチ及ローカ、階段室等は名前入りのスイッチとする。

	絶縁抵抗試験	絶縁耐力試験	普通操作試験
受変電設備	●	●	●
電灯動力設備	●		●(点灯)
拡声設備	●		●
自動火災報知設備	●		●(作動)
接地	接地抵抗試験		

●原則として係員立会のもとで行なうこと。

項目		特記事項
接地極		接地種別表（下記）
埋設表示		●黄銅板　タイル貼のコンクリート板
導入線		●入線しない管路には1.2mmのビニール被覆鉄線を入れておく
塗装工事		（下表）
屋上スラブ配管		●屋上スラブ内配管は行なわないこと。押のない部分は別途協議する。
電灯設備	電気方式	●幹線　単相3線式 200/100V 60Hz ●分岐　単相3線式 200/100V 60Hz
	点滅器及コンセント	●埋込型　WB仕上げの新金属プレート ●2極コンセントのうち接地極付に意味のあるものにあっては原則として長い方を向かって左側に取付け接地側とする。 ●スイッチ、コンセントは埋込型としプレートはWB仕上げの新金属プレートとする。
	フロアボックス、器具の接地、吊ボルト	●コンクリートボックスまたはアウトレットボックス ●蛍光灯器具はすべて接地する(給食等湿気の有る場所) ●照明器具の取付に際して下記の吊りボルトを使用する 20W×2本以上～40W×3本まで　径9mm×2本 500mm角まで　径9mm×4本 600mm角以上　径9mm×4本
	分電盤	●分電盤の各回路の名称記入は刻印又はタイプ打ちとすること。 ●分電盤は係員との協議により出来るだけ埋込型のものとし扉は施錠出来るものとする。 ●開閉器、点滅器は原則として握手又はハンドルを右側にし下方開路となる様に取付ける。
照明器具設備	照明器具	●照明器具は係員の承認を得て取付けるものとし40W以上は高力率型とする。又取付時の天井割等は監督員と充分協議の上取付けること。 ○体育館等の照明器具で体育室及倉庫に取付けるものは原則としてガード付とする。又給食室等の湿気の多い場所には防湿型とする。 ○公民館等で埋込照明器具のある場合、天井切込みは本工事とする。
	非常用の照明装置	●非常用の照明装置に関する指針（建設省住宅局建築指導課監修）による。 ●器具内蔵型　・蓄電池別置形 ●照明器具は営電協仕様器具とする。
動力設備	電気方式	●幹線　3相3線式440V 60Hz　●分岐　3相3線式440V 60Hz
	電動機の接地	●（…）は単独接地　○2.2kW以上は金属管接地
	操作盤	●制御盤、分電盤、手元開閉器等は壁面又は床面に体裁よく取付ける。又保守点検に支障のない位置とする。盤内には結線図を置く。 ●防水機器は係員の指示に従い取付場所、機器の構造に適した方法で取付ける。
	電動機	●電動機接続箇所の端子箱に余裕のない場合はカとう電線管 ●消火栓ポンプは専用回路で配線する（耐火ケーブル）
	コンセント	●コンセント2穴の場合は接地極付とする。
避雷針設備	突針部	○突針　・また上導体
	その他	●別図（E-11090）参照
受変電設備	電気方式	●高圧 三相3線式 6kV 60Hz
	その他	●別図（E-11052）参照
自家発電設備	電気方式	●3相3線式 440V
		●別図（E-11065）参照
電話配管設備	フロアボックス、保安器用接地、ローテイションアウトレット	○コンセントボックスまたはアウトレットボックス 本工事に　○含む　●含まない ○取付ける　⊙納入する ○一般電話用　個　○ボタン電話用　個 ○電話用の引出しは原則としてローテイションフロアー80と式とする。
	電線ケーブル	○端子以下0.8mm×2(TIV)の配線室内、構内ケーブル心線太さ0.65mm

接地種別	
第1種	避雷針設備用、避雷器用
第2種	（…）
第3種	（…）
特別第3種	

塗装			
位置ボックス類	内面	調合ペイント又はサビ止ペイント	1回塗り（コンクリート埋込の物）
	露出	調合ペイント	2回塗り以上
金属管及支持金物類	露出	調合ペイント	2回〃

項目		特記事項
電気時計設備 (crossed out)	親時計	○水晶式　○振子式　○壁掛形　○自立形
	電源装置	○整流電源式　○蓄電池式
	子時計	○スピーカ内蔵　○壁埋込　○壁掛
	電線ケーブル	○ビニル電線1.6mm　○ケーブルCPEV心線太さ0.9mm
	その他	○配線管で37%以上はスラブ配管しないものとする
（前項）その他		○配線管で37%以上はスラブ配管しないものとする。 ○配管及びヨビ線入線
拡声設備	増幅器	●卓上形　○ロッカ型　○デラックス型　出力　W
	ラジオ受信部	●RA　RM　○NL
	レコードプレーヤ	本工事に　○含む（増幅器に内蔵・別置）●含まない
	テープレコーダ	本工事に　○含む（〃）●含まない
	マイクロホン	●単一指向性　○無指向性　○双指向性
	マイクスタンド	●卓上形　○床上形
	スピーカ	●壁掛形　○天井埋込型　○吊下形 ○屋内は全数選型(3W)としボリュームは金属プレート付を使用のこと ○同一室内一系統のスピーカーを2台以上取付ける場合は次による イ) 同一方向に取付ける場合はスピーカー相互の極性を同一にする ロ) 向き合って取付ける場合はスピーカー相互の極性を反対する
	音量調整器	○壁付　●スピーカ組込
	電線ケーブル、配線	●ビニル電線1.2mm　○ケーブルCPEV心線太さ0.9mm ○配線は色別配線とし各階ごとの放送回線とする。 非常時の放送を各階放送の出来る配線とする（耐熱電線ケーブル使用）
	その他	●アンプへの接続及各スピーカの調整を完全に行なうこと。 ○耐熱ケーブル使用。
表示設備 (crossed out)	表示盤	○壁掛形　○卓上形　○埋込形　窓数　窓
	発信器	○卓上形　○壁埋込型
	動作電源	○AC　V　・DC　V
	電線ケーブル	○ビニル電線　mm²　○ケーブルCPEV心線太さ0.9mm
電鈴設備 (crossed out)	ベル	○壁掛形　・壁埋込形
	ブザー	○壁掛形　・壁埋込型　音量調整器あり・なし
	動作電源	○AC　V　・DC　V
	電線	○1.2mm IV　・1.6mm IV
インターホン設備	通話方式	○親子式　●相互式 ●同時通話　・片通話
	形式	●卓上形　・壁掛形　・通話式　・高声式
	電線ケーブル	○ビニル電線0.8mm　●ケーブル　構内ケーブル心線太さ0.65mm ●配管及ヨビ線入線
テレビ共聴設備 (crossed out)	アンテナ	○VHF用　素子　・UHF　素子
	増幅器	○VHF用　・UHF用　・混合用　・dB
	電線ケーブル	○平行フィーダー　・同軸ケーブル（低ロスケーブル） ○配管及ヨビ線入線
火災報知設備	受信機、副受信機	●P形1級　20回線　予備電源内蔵 20回線
	感知器	●差動式スポット型2種　・定温式スポット型1種 ●煙感知器2種　・差動分布形　2種
	表示灯	●AC 24V　・単独設置　●総合盤組込み
	機器配置	●消火栓箱（別途）に組込み　・専用総合盤に組込み
	その他	●受信機は制御盤にあくものとする（学校） ●電線相互の接続及端子盤への接続は充分考慮し耐熱テープ、スリーブ等で電線は充分保護し完全に接続する ●消防署への手続及調整試験を完全に行なうこと。 ○携帯電話機を受信機、副受信機に各1台と5警戒域に1台設置する。 ●感知器回路のクランチ方式は認めない。
その他	空調設備に伴う動力設備は次による	イ) 空調機メーカにより配線が異なる場合があるので設備業者と充分打合せること。 ロ) 空調機本体には別に第3種接地を取ること。 ハ) 屋外の配線配管については防水処理を充分行なうこと ニ) その他各設備の基準により係員と協議の上施工すること。
	防火シャッター自閉設備の工事範囲	イ) 電源工事及各機器までの配管配線工事 ロ) 第3種煙感知器及連動制御盤（各階段室ごとに1階へ取付る） ハ) 各機器の取付及調整試験 ニ) シャッター及リレー用鍵装置は別途支給品
	リフト設備工事の範囲	ロ) リフト制御盤（別途）までの配線配管工事 ハ) 手元開閉器の取付工事
	換気扇	●換気扇取付費は原則として除外工事とする。

III 機材

（この工事に使用する機材は下記製造者の製品あるいは同等品以上で監督員の承認を得たもの）

1. 電線　日立、西日本、大崎、大日、住友、沖、タツタ、河村、古野川、昭和
2. 電線管　松下、東芝、日パイ、丸一、積水化学、三菱樹脂
3. 配線器具　松下、東芝、神保、明工、松陽
4. 分電盤　日東、松下、下平、光和、数子、内外、（…）、東芝、協同
5. 照明器具　松下、東芝、三菱、日立、岩崎
6. 放送　東芝、松下、ビクター、コロムビア
7. 高圧キュービクル　松下、東芝、山機、協同、日立、三菱、内外、（…）、日成、栄工社
8. 火報機器　ホーチキ、能美、ニッタン、沖、松下
9. 換気扇　三菱、松下、東芝、日立
10. 気中開閉器　戸上、中井、富士、（…）、三菱
11. テレビ機器　八木、DX、マスプロ、コロンビア

以上指定メーカーと同等以上の製品は係員の承認を得たもの。

機器取付位置（標準）

	名称	測点	取付高(mm)
電力設備	取引用計器	地上～中心	1,800
	引込開閉器	床上～中心	2,100
電灯	分電盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	点滅器	〃	1,300
	コンセント(一般)	〃	300
	〃 (和室)	〃	150
	〃 (台上)	〃	150
	〃 (上部)	〃	800
	ブラケット(一般)	〃	2,100
	〃 (階段)	〃	2,000～2,500
	〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150
	消火栓標識灯	床上～中心	2,400～2,500
	黒板灯		黒板上部
動力	壁掛形開閉器	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ類	〃	1,300
電話	端子盤	床上～下端	300
	保安器箱	〃	2,000
	壁付位置ボックス	〃	300
	〃 (一般)		
	〃 (和室)	〃	150

	名称	測定	取付高(mm)
時計・拡声	壁掛形親時計	床上～中心	2,300
	子時計	〃	2,500
	壁掛形スピーカ	〃	〃
	壁付音量調整器	〃	1,500
表示	表示器	床上～中心	2,300
	壁付発信器	〃	1,300
電鈴	ブザー	床上～中心	2,300
	壁付押ボタン	〃	1,300
	電源箱	〃	2,300
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	壁付位置ボックス(一般)	〃	300
	〃 (和室)	〃	150
テレビ	分配器箱	床上～下端	300
	テレビアウトレット(一般)	床上～中心	300
	〃 (和室)	〃	150
火災報知	受信機・副受信機	床上～中心	1,500
	専用総合盤	〃	1,200～1,500
	発信機	〃	1,200～1,500
	ベル	〃	2,300

マンホール

空気調和・衛生工学会規格 HASS 209-1972と同等のものとする。

構造（蓋）	1. 完全防水型マンホールとする。 2. ゴムパッキンをはめ上蓋をかぶせ4ヶ所をステンレス六角ボルトで締付る構造とする。 3. 上蓋には（電気）（電話）の文字を鋳出する。
〃（ハンドホール）	1. 原則としてコンクリート現場打ちとする。 2. 内部は防水モルタル仕上げで配管の貫通部は充分に防水処理を施す。 3. 必要に応じて鉄筋を入れること。 4. 水ぬき穴は現場の状況に応じて係員の指示による。 5. 標準高さは蓋の上端がGL+5cm程度とする。

記号

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	蛍光灯器具		●	非常用照明器具		▲	リモコンリレー	
○	白熱灯器具		●	点滅器			コンセント	
⊘	コード吊器具		●WP	〃	防水型		〃	
	水銀灯器具		●R	リモコンスイッチ	プレート付		〃	
	誘導灯器具	電池内蔵型	⊗	セレクタスイッチ	パイロットランプ付		〃	
				自動点滅器			〃	

記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考	記号	名称	備考
	フロアーコンセント		S	開閉器			保安器			警報発信器	
	換気扇	壁付		押釦開閉器			端子盤			ベル	
	電灯分電盤			電極保持器	ステンレス電極棒	MDF	本配線盤			ブザー	
	動力制御盤			突針（避雷針）	JIS 型		電話用アウトレット			チャイム	AC 100V
	警報盤		⊗	接地測定端子箱	試験用		警報ベル	100φ		押釦	壁付埋込型
	積算電力量計	取引用 支給品	⏚	接地極	銅板 900×900×1.5		警報ブザー		AMP	増幅器	

E-11051

福山市			電気設備工事		
標準設計図	No.1	特記仕様書	縮尺		
昭和　年　月　日		係員	係長	部長補佐	課長
福山市建設局建築部建築課					

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

中国電力より
3φ3W 6600V 60Hz

SOG 7.2KV 200A

6KV CV 38□×3C

M O F　WH　DM

DS 3P 12KV 200A

HF 500MVA

PT×2 6600/110V 100VA

51G ×1　F　PTT　VS　V 0-9000V

27 ×1

PTT　F　VS　V 0-9000V

LA×3 8.4KV 5KA

E1

VCB 7.2KV 400A 8KA (100MVA)

HF PT×2 100VA

CT×2 150/5A 40VA

CTT　51 ×2　RW　W　Var　PF　AS　A 0-150A

CTT　AS　A 0-150A

VCB 7.2KV 400A 8KA(100MVA)

CT×2 150/5A 40VA

CTT　51 ×2　WH　AS　A 0-150A

CTT　AS　A 0-150A

6KV CV 38□×3C

VCB 7.2KV 400A 8KA(100MVA)

CT×2 20/5A 40VA

CTT　51 ×2　WH　AS　A 0-20A

CTT　AS　A 0-20A

6KV CV 22□×3C

VCB 7.2KV 400A 8KA(100MVA)

CT×1 20/5A 40VA

CTT　51 ×1　WH　A 0-20A

CTT　A 0-20A

6KV CV 22□×2C

PF 7.2KV 30A 40KA (500MVA)

VCS 6.6KV 200A

CT×2 15/5A 40VA

CTT　51 ×2　A 0-15A

CTT　A 0-15A

6KV CV 22□×3C

PF 7.2KV 50A 40KA (500MVA)

VCS 6.6KV 200A

CT×2 30/5A 40VA

CTT　51 ×2　AS　A 0-30A

CTT　AS　A 0-30A

6KV CV 22□×3C

TR 3φ 6.6KV/440V 1000KVA

51G ×1

E2

BD 2000A

3φ3W 440V 60Hz 150KVA

G　DE

MCB 3P 225AF

52G

非常電源盤

TR 3φ 6.6KV/210V 150KVA

51G ×1

E2

TR 1φ 6.6KV/210-105V 100KVA

51G ×1

E2

SR 6KVA　DC

NVS

SC-100KVA

SR 12KVA　DC

NVS

SC-200KVA

CT×2 2000/5A

PT×2 440/110V

MCB　MCB

ELB 3P 600AF　ELB 3P 600AF

CT×2 300/5A

MCB 3P 225AF

GPT　PT

ELB 3P 225AF　MCB 3P 50AF　ELR

Mctt　Mctt

ELB 3P 400AF　ELB 3P 400AF　ELB 3P 100AF

CT×1 500/5A

ELB 3P 600AF

プラント動力主幹盤　1号炉用動力盤　2号炉用動力盤　非常用動力盤　機械名電動力盤（基礎ボス）　交通動力盤　汚水処理動力盤　建築動力盤

密度集じん装置盤　クレーン盤

既設焼却炉ポンプ (7.5kW)(45kW)　管理棟動力

直流電源装置

MCB　サイリスタ整流器　MCB　SH　SH　MCB

ポンプ式アルカリ電池

非常用動力盤 1φ2W 100V

電灯盤

VS　F　VS　V

MCB 2P 50AF　MCB 3P 600AF

CT×2 750/5A

ELB 3P 100AF　3P 100AF　3P 100AF　3P 100AF　3P 100AF　3P 225AF　3P 225AF　2P 100AF　2P 100AF　ELB 3P 100AF

ELR

Mctt

MCB 2P 100AF

MCB 2P 50AF　2P 50AF　2P 50AF　MCB 2P 50AF

自火報　分電盤 1L-1　分電盤 1L-2　分電盤 2L-1　分電盤 3L-1　ブレーカ盤　防排煙 (23kW)　管理棟 (38/3C)　屋外灯　誘電盤　屋外 排雪灯　誘電盤　分電盤 1L-1　分電盤 2L-1　分電盤 3L-1　非常用誘電盤

内機器は電力盤視盤取付とする。

訂正記号	訂正個数	日付	担当	調査	図査	承認
		記事				

記号	名称
A	電流計
AS	電流計切換スイッチ
CH	ケーブルヘッド
CT	計器用変流器
DG	非常用ディーゼル発電機
DM	最大需用電力計
DC	放電コイル
DS	断路器
ELB	漏電しゃ断器
ELR	漏電リレー
F	ヒューズ
F	周波数計
HF	高圧ヒューズ
LA	避雷器
Mctt	電磁接触器
MCB	配線用しゃ断器
MOF	取引用電気計器
MS	電磁開閉器
PF	電力ヒューズ
PF	力率計
PT	計器用変圧器
RWH	記録電力量計
SC	進相用コンデンサ
SOG	気中負荷開閉開閉器
TR	変圧器
V	電圧計
Var	無効電力計
VCB	真空しゃ断器
VCS	真空開閉器
VS	電圧計切換スイッチ
W	電力計
WH	電力量計
ZCT	零相変流器
NVS	中性点電圧検出器
27	交流不足電圧継電器
51	過電流継電器
51G	過電流地絡継電器
83	電源切換操作器

昭和　年　月　日　作成　作図　調査　設計

福山市建設局建築部建築課

照合　名称　一台分数量　材質　記事

HL-0907形
じん芥焼却プラント

照合

単線結線図（受変電）

図番 E-11052

承認　調査　設計　写図

尺度　昭和54年1月29日

株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

プラント動力変圧器より
3φ3W 440V 60HZ
BD 2000A

プラント動力主幹盤

F　PT×2　440/110V　Vc　V　Vc　A　Ac
CT×2　2000/5A
FL　TR　F
MCB 3P 100AF　MCB 3P 100AF　MCB 3P 50AF　MCB 3P 225AF　MCB 3P 225AF　MCB 3P 100AF

40.7kW P1	40.7kW P2	13.75kW P3	4.3kW P4	4.3kW P5	予備
No.1 ごみクレーン	No.2 ごみクレーン	灰クレーン	1号電気集じん装置	2号電気集じん装置	予備

3φ3W 440V 母線

1号(2号)炉用動力盤

ELB 3P 600AF
F　TR　FL
MCB 3P 50AF　CT×1　MS　THRy

中央計装盤より

3.7kW M1	3.7kW M2	3.7kW M3	3.7kW M4	7.5kW M5	1.5kW M6	30kW M7	5.5kW M8	185kW M9	0.75kW M10	0.75kW M11	0.4kW M011	2.2kW M12	0.75kW M13	0.4kW M14	0.4kW M15	予備	予備	制御電源
給じん装置	乾燥ストーカ	燃焼ストーカ	後燃焼ストーカ	灰搬出装置	助燃バーナ	押込送風機	炉温調節送風機	誘引送風機	No.1 落じん灰コンベヤ	No.2 落じん灰コンベヤ	No.2 落じん灰二重ダンパ	灰コンベヤ	スプレッダ	ボイラ出口ダンパ	誘引出口ケンパ			

MCB 3P 50AF　TR 3φ 440/220V 1KVA　MCB 3P 50AF　TR 1φ 440/110V 2KVA　VF

非常用発電機より
3φ3W 440V 60HZ

非常用動力盤

3φ3W 440V 母線
MCB 3P 225AF　MCB 3P 225AF　F　GPT　VS　27G　CT×2 300/5　AS
83　F　TR　F　ELR
ELB 3P 225AF　F　TR　FL
Mctt 01
Mctt 02
F　TR　27X×1
MCB 3P 50AF　CT×1　MS　THRy
MCB 3P 50AF　CT　MS　THRy
TR 3φ 440/220V 2KVA　TR 1φ 440/110V 300VA　MCB 3P 50AF　F

7.5kW M38	3.7kW M39	3.7kW M39	1.5kW M40		0.2kW M21	0.2kW M21	0.75kW M22	0.75kW M22	0.75kW M23A	0.4kW M23B	0.4kW M24	0.75kW M25A	0.4kW M25B	1.5kW M27	1.5kW M27	1.5kW M27	5.5kW M28	5.5kW M28	5.5kW M28	7.5kW M29	7.5kW M29	7.5kW M29	5.5kW M30	5.5kW M30
消火ポンプ	No.1 プラント揚水ポンプ	No.2 プラント揚水ポンプ	発電機室排気ファン	制御電源	1号煙道ガス温調弁	2号煙道ガス温調弁	1号炉圧制御ダンパ	2号炉圧制御ダンパ	No.1 ガス洗浄入口ダンパ	No.2 ガス洗浄入口ダンパ	ガス洗浄出口ダンパ	No.1 ガス洗浄バイパスダンパ	No.2 ガス洗浄バイパスダンパ	No.1 噴射水加圧ポンプ	No.2 噴射水加圧ポンプ	No.3 噴射水加圧ポンプ	No.1 ボイラ給水ポンプ	No.2 ボイラ給水ポンプ	No.3 ボイラ給水ポンプ	No.1 ボイラ循環ポンプ	No.2 ボイラ循環ポンプ	No.3 ボイラ循環ポンプ	No.1 計装コンプレッサ	No.2 計装コンプレッサ

5kVA M32	5kW M33	7.5kVA M34	7.5kW M35	7.5kW M36	7.5kW M37	予備	予備	制御電源
操作用計装電源	直流電源装置	保安用電源	No.1 ごみ投入扉	No.2 ごみ投入扉	No.3			

TR 1φ 440/220V 7.5KVA　MCB 2P 100AF
TR 1φ 440/110V 7.5KVA (スコット結線)　MCB 2P 100AF
MCB 3P 100AF
TR 1φ 440/110V 2KVA　VF

特記 1 自家発運転時 消火ポンプ起動で一般負荷はしゃ断 (Mctt 01)
2 〃 予圧電圧(27X)で 〃 (Mctt 02)
3 自家発燃料タンク 油〃源〃で 〃 (Mctt 01)

訂正記号	訂正個数	日付	作図	調査	調査	承認
1						
2						
3						
4						

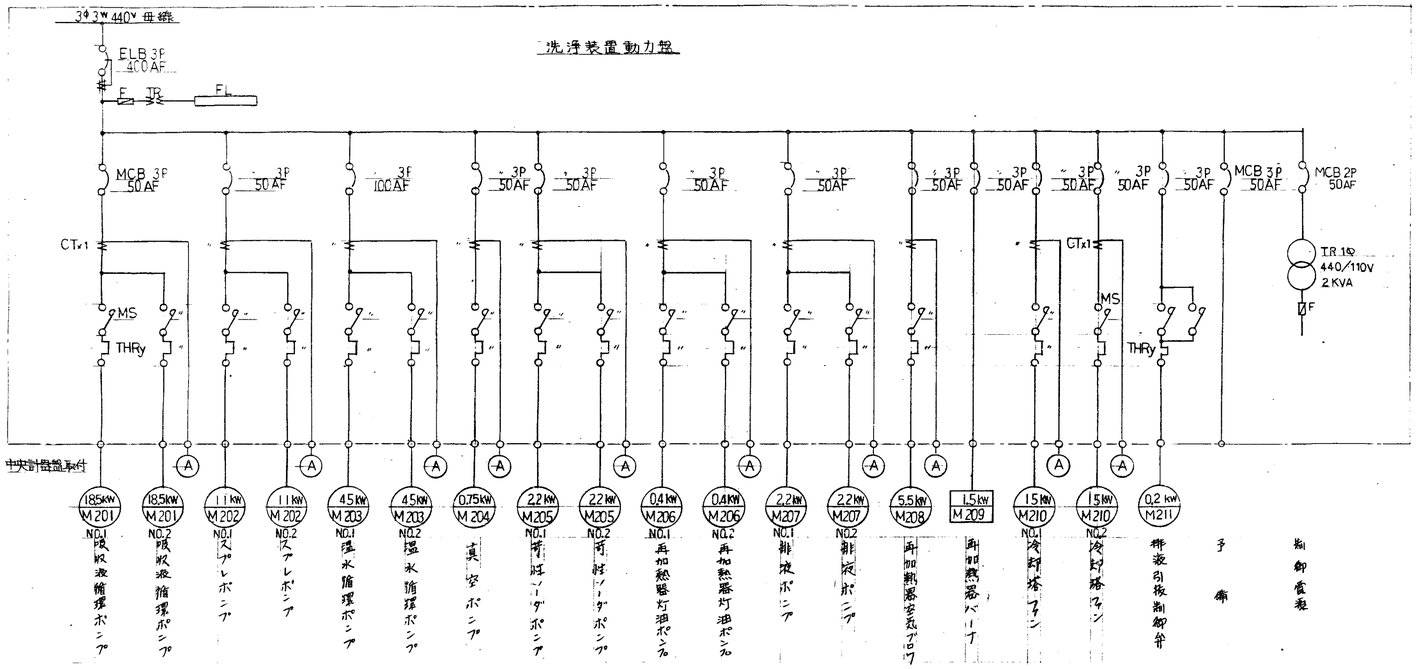
照合	名称	合分盤量	材質	記事
	PL-0907形			
照合			図番	E-11053
	単線結線図(非常,炉用,非常用)		承認	審査 照計 写図
			尺度	～
			昭和54年1月29日	
			製図会社 タクマ	

T63 (C)

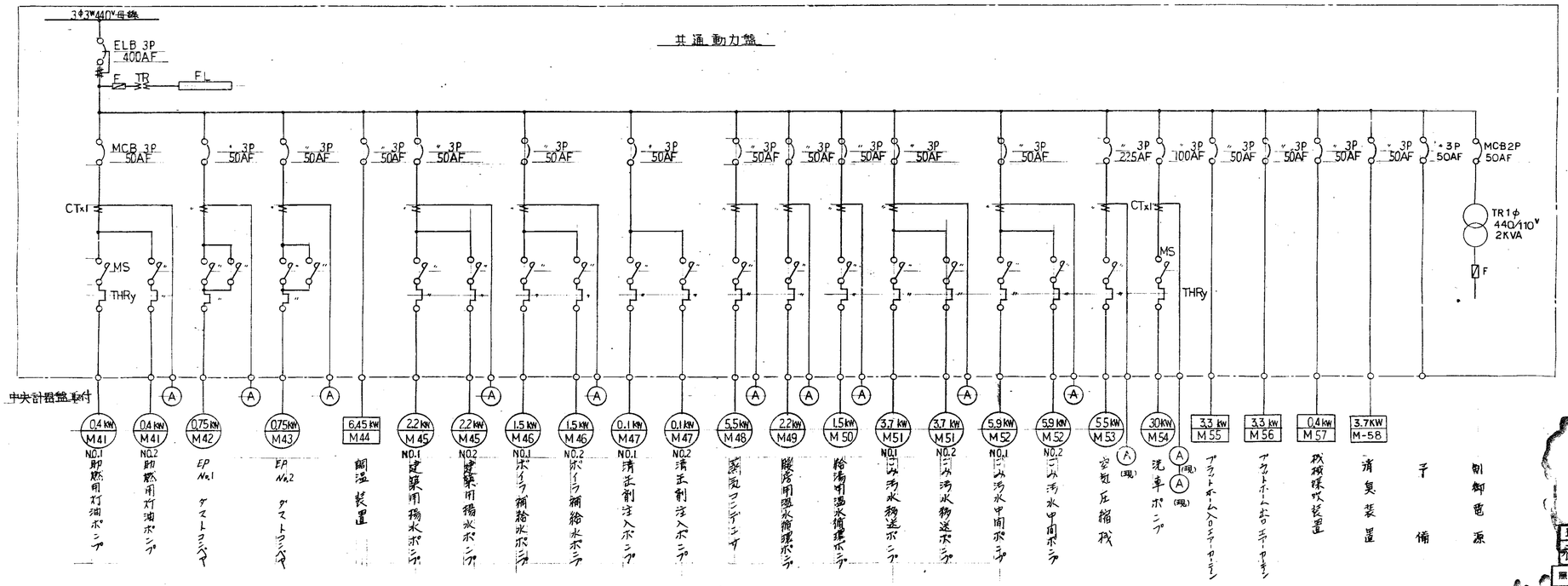
第三角投影法 福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	設計	製図	調査	承認
1						
2						
3						
4						

洗浄装置動力盤



共通動力盤



昭和 年 月 日	作図	調査	課長	部長
福山市建設局建築部建築課		岡田		

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				
単線結線図 洗煙 共通				

図番	E-11054
承認	調査 設計 写図
尺度	昭和54年1月29日

株式会社タクマ T63 (C)

第三角投影法 福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	調査	承認
		記事				

汚水処理動力盤

3φ3W440V母線

ELB 3P 100AF　F　TR　FL

MCB 3P 50AF　CTx1　A　MS　THRy

機器	容量	番号
汚泥ピット汚水ポンプ	1.5 kW	M71 NO.1
汚泥ピット汚水ポンプ	1.5 kW	M71 NO.2
洗車排水ポンプ	1.5 kW	M72
床洗浄排水ポンプ	1.5 kW	M73
排水貯留槽ポンプ	1.5 kW	M74 NO.1
排水貯留槽ポンプ	1.5 kW	M74 NO.2
脱臭槽攪拌機	0.1 kW	M75
混合槽攪拌機	0.1 kW	M76
凝集汚泥槽攪拌機	0.1 kW	M77
中和槽攪拌機	0.2 kW	M78
汚泥濃縮ポンプ	5.5 kW	M79 NO.1
汚泥濃縮ポンプ	5.5 kW	M79 NO.2
汚泥ポンプ	2.2 kW	M80 NO.1
汚泥ポンプ	2.2 kW	M80 NO.2
排水噴霧ポンプ	11 kW	M81 NO.1
排水噴霧ポンプ	11 kW	M81 NO.2
再利用水ポンプ	1.5 kW	M82
可燃ゴミ投入ピット送液ポンプ	0.4 kW	M83 NO.1
有害ゴミピット送液ポンプ	0.4 kW	M83 NO.2
可燃ゴミ攪拌機	0.1 kW	M84
可燃ゴミ供給ポンプ	0.1 kW	M85 NO.1
可燃ゴミ供給ポンプ	0.1 kW	M85 NO.2
硫酸送液ポンプ	0.4 kW	M86 NO.1
硫酸送液ポレプ	0.4 kW	M86 NO.2
硫酸攪拌機	0.1 kW	M87
硫酸供給ポンプ	0.1 kW	M88 NO.1
硫酸供給ポンプ	0.1 kW	M88 NO.2
塩化第2鉄送液ポンプ	0.4 kW	M89 NO.1
塩化第2鉄送液ポンプ	0.4 kW	M89 NO.2
塩化第2鉄供給ポンプ	0.1 kW	M90 NO.1
塩化第2鉄供給ポンプ	0.1 kW	M90 NO.2
凝集助剤攪拌機	0.1 kW	M91
凝集助剤供給ポンプ	0.1 kW	M92 NO.1
凝集助剤供給ポンプ	0.1 kW	M92 NO.2
送泥ポンプ	1.5 kW	M93 NO.1
送泥ポンプ	1.5 kW	M93 NO.2
攪拌用ブロワ	3.7 kW	M94
予備		
予備		
制御電源		

TR 1φ 440/110V 2KVA　F

MCB 2P 50AF

建築動力盤

建築動力変圧器より 3φ3W 220V 60HZ

VS　F　VS　V　ELB 3P 600AF　AS　A　CTx2 500/5A　F　WHTR　FL

MCB 3P 50AF　CTx1　MS　THRy

機器	容量	番号
空気圧縮機室排気ファン	0.12 kW	M101
ガス抜きファン	0.2 kW	M102
誘引室給気ファン	2.2 kW	M103
誘引室排気ファン	2.2 kW	M104
中央制御室給気ファン	0.2 kW	M105
汚泥脱水機室排気ファン	5.5 kW	M106 NO.1
汚泥脱水機室排気ファン	5.5 kW	M106 NO.2
薬品貯蔵室給気ファン	1.5 kW	M107
薬品貯蔵室排気ファン	1.5 kW	M108
電気室給気ファン	1.5 kW	M109
再利用室排気ファン	2.2 kW	M110
クレーン電気室換気扇	0.24 kW	M111
冷却塔	0.4 kW	M112
冷却水ポンプ	1.5 kW	M113
中央制御室空調器	30 kW	M114
作業員控室空調器	2.1 kW	M115
計量器室空調器	1.4 kW	M116
クレーン操作室空調器	5.5 kW	M117
ポンプ用制御装置	1.5 kW	M118 1号
ポンプ用制御装置	1.5 kW	M118 2号
電動チェーンブロック	2.2 kW	M119
工作室電源	20 kW	M120
溶接器電源	1.5 kW	M121
溶接器電源	1.5 kW	M121
溶接器電源	1.5 kW	M121
溶接器電源	1.5 kW	M121
ポンプ棟溶接器電源	1.5 kW	M121
プラットホーム出入口シャッタ	0.4 kW	M122 入口
プラットホーム出入口シャッタ	0.4 kW	M122 出口
ごみ投入扉シャッタ	0.75 kW	M123
灰出場シャッタ	0.4 kW	M124 入口
灰出場シャッタ	0.4 kW	M124 出口
計量ピット排水ポンプ	0.25 kW	M125
予備		
予備		
既設炉清水ポンプ	7.5 kW	M127
管理棟電源	45 kW	M128

昭和 年 月 日　福山市建設局建築課建築課　課長　係長　担当

照合　名称　一台分数量　材質　記事

HL-0907形 じん芥施設プラント

照合

単線結線図(汚水・建築)

図番 E-11055

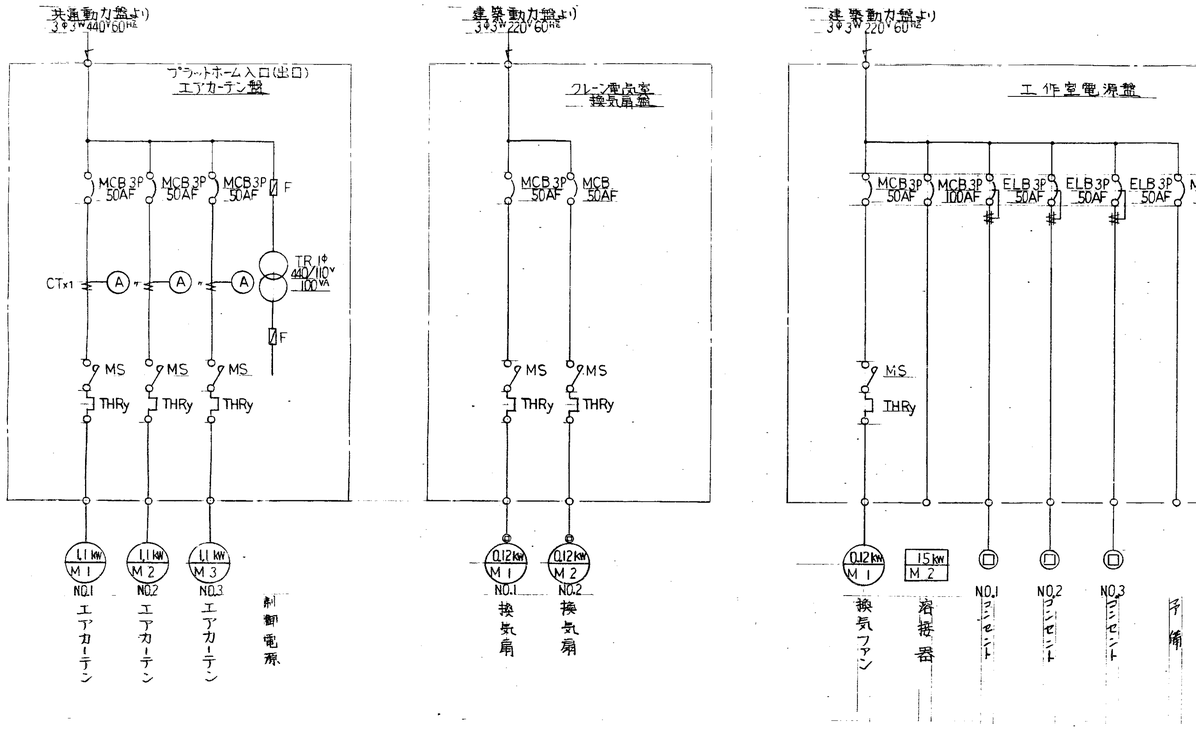
承認　調査　設計　写図

尺度　昭和54年1月29日　㈱タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	調査	承認
		記事				
①						
②						
③						
④						



昭和　年　月　日	作成	係主任		課長
福山市建設局建築部建築課				

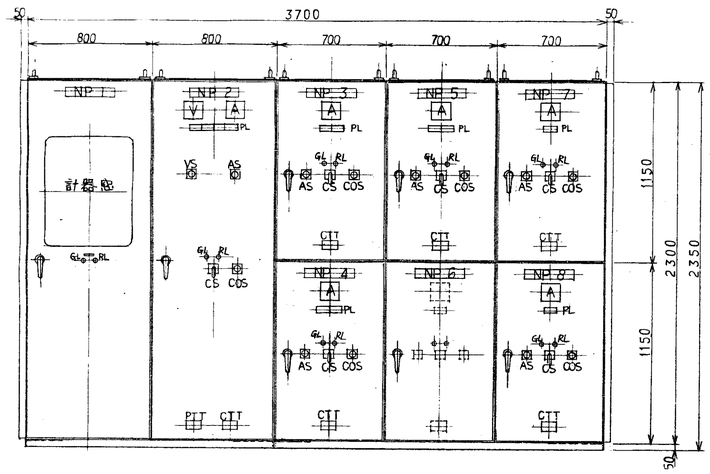
照合	名称	一台分配置	材質		記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント		図番	E-11056	
照合			承認	調査	設計 写図
	単線結線図 (三現動力)		尺度	～	昭和54年1月29日
					株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇数	日付	担当	検査	検査	承認
		記事				
△1						
△2						
△3						
△4						

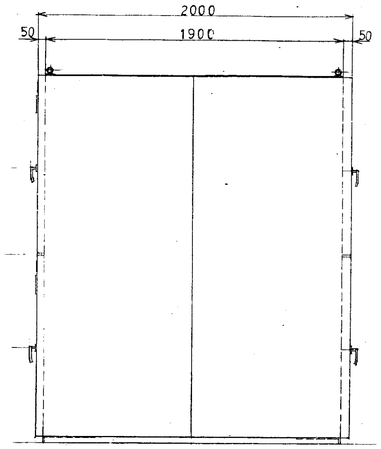
正面図



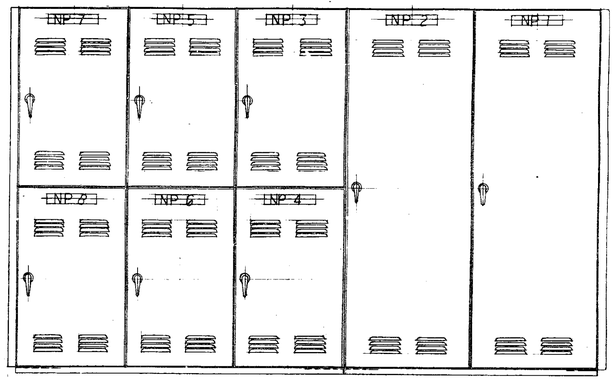
引込盤　受電盤　プラント動力き電盤　電灯き電盤　NO.1コンテナ用制御盤

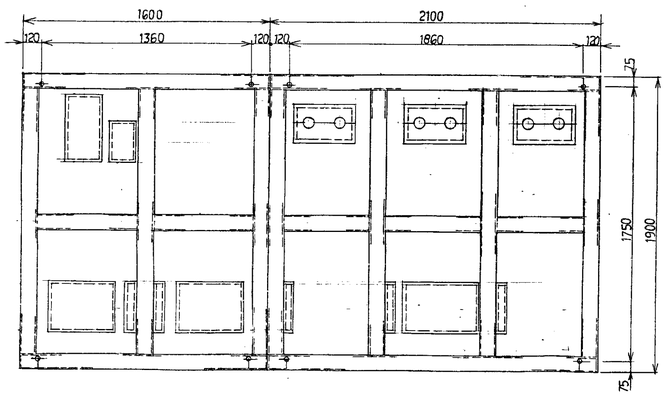
建築動力き電盤　予備　NO.2コンテナ用制御盤

側面図



背面図





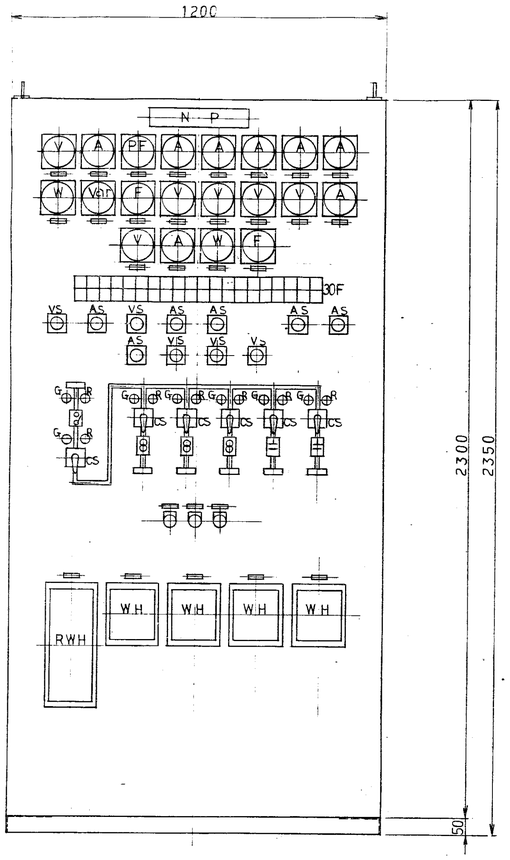
正面側

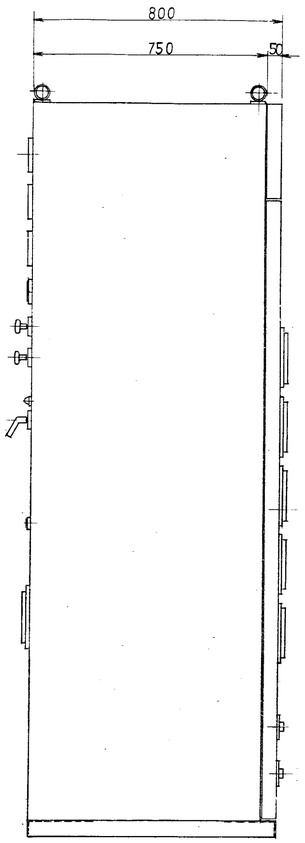
照合名称	一台分重量	材質	記事
HL-0907形 じん芥処理プラント			
照合		図番	E-11057
竣工図		承認	調査 設計 写図
		尺度	1/20
		昭和54年1月29日	株式会社タクマ

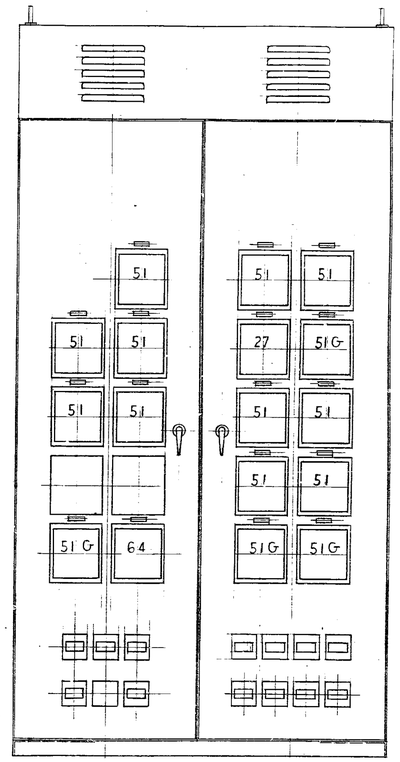
T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

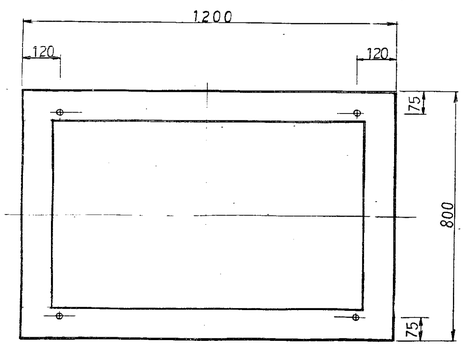
訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	調査	承認
		記事				
1						
2						
3						
4						







電力監視盤



照合	名称	合分散図	材質	記事
HL-0907形				
じん芥焼却プラント				
照合				
電力監視盤 架図				

昭和　年　月　日　係長　係主　課長　部長
福山市建設局建築部建築課

図番 E-11058

承認　調査　設計　写図

尺度 1/10

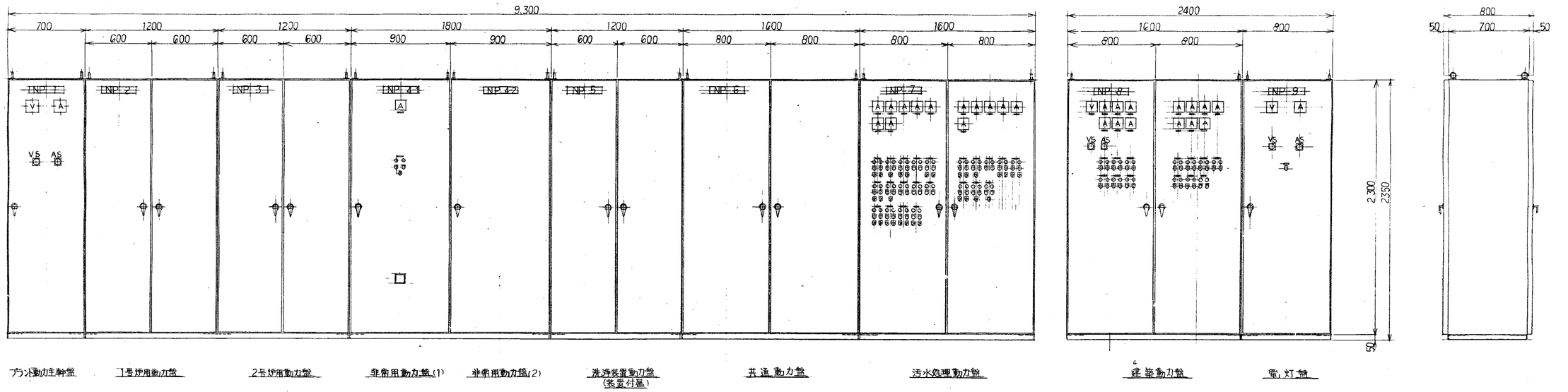
昭和 54 年 1 月 29 日

株式会社 タクマ

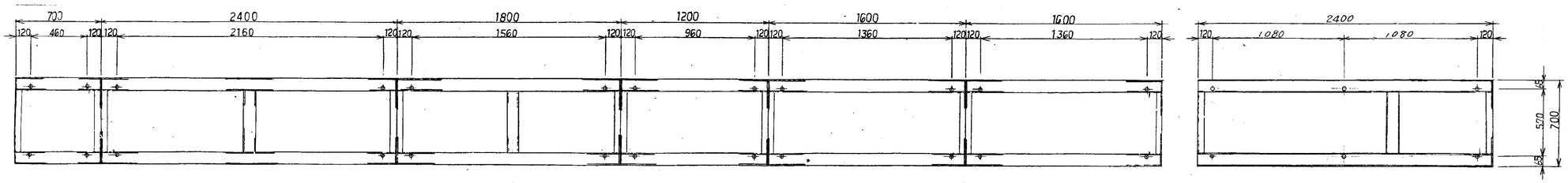
T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	課長	副長	承認
		記事				
⚠						
⚠						
⚠						
⚠						



プラント動力主幹盤　1号炉用動力盤　2号炉用動力盤　非常用動力盤(1)　非常用動力盤(2)　洗浄装置動力盤(装置付属)　共通動力盤　汚水処理動力盤　建築動力盤　電灯盤



照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

低圧動力盤姿図

昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課

課長　副長　課長補佐　係長　係員

図番 E-11059

承認　調査　設計　写図

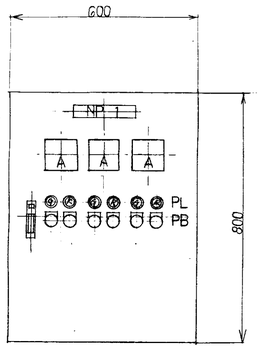
尺度 1/20　昭和54年1月29日

株式会社タクマ

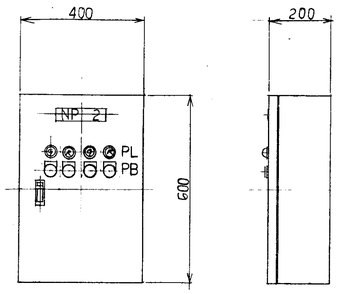
T63 (C)

第三角投影法 | 福山市西部清掃工場建設工事

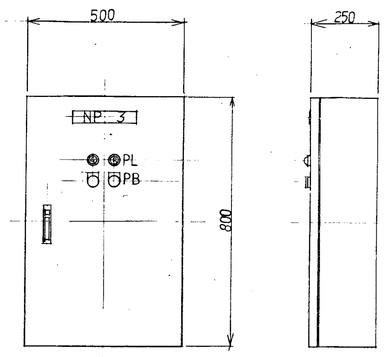
訂正記号	訂正箇所	日付	担当	図査	課長	部長
1						
2						
3						
4						



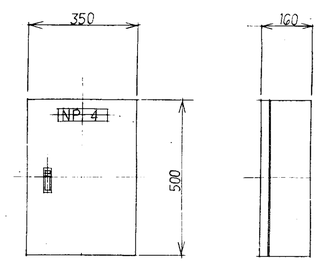
エアカーテン盤
(屋内壁掛形)



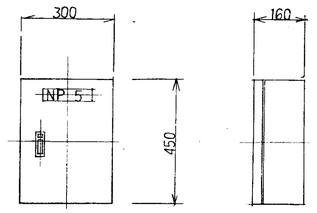
クレーン電気室換気扇盤
(屋内壁掛形)



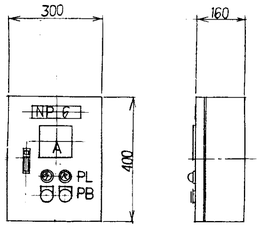
工作室電源盤
(屋内壁掛形)



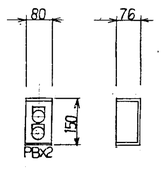
溶接器電源盤
(屋内壁掛形)



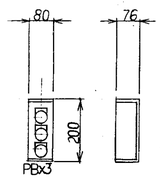
電源スイッチ盤 1連
(屋内壁掛形)



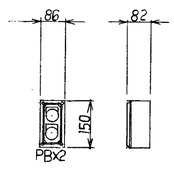
操作盤 1連
(屋内壁掛形)



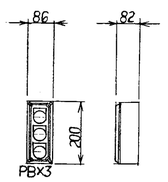
押釦操作箱
(屋内形)



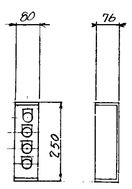
押釦操作箱
(屋内形)



押釦操作箱
(屋外形)



押釦操作箱
(屋外形)



押釦操作箱
(屋内形)

昭和 年 月 日 作成	係長	部長
福山市建設局建築課		

照合	名称	一台分数量	材質	記事
照合	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合	現場			

図番	E-11060			
承認		図査	設計	写図
尺度	1/10	昭和54年1月29日		

株式会社タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇数	日付	担当	調査	調査	承認
		記事				

	NO.	負荷名	台数 常用	予備	合計	出力 KW	電圧 V	動力盤 電源SW MCB	電磁SW MS	変流器 CT	変圧器 TR	電流計 A	操作SW PB	表示灯 RL GL	自/手切替SW COS	備考	計器盤 電流計 A	操作SW PB	表示灯 RL GL	自/手切替SW COS	NO1/NO2切替SW COS	グラフィック表示	備考	現場盤 電源SW MCB	電磁SW MS	電流計 A	操作SW PB	表示灯 RL GL	自/手切替SW COS	盤形式	備考
炉用動力	1	給じん装置	2	0	2	3.7	440	○	○	○							○	○	○			○					○			盤内式	
	2	乾燥ストーカ	2	0	2	3.7	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	3	燃焼ストーカ	2	0	2	3.7	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	4	後燃焼ストーカ	2	0	2	3.7	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	5	灰搬出装置	2	0	2	7.5	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	6	助燃バーナ	2	0	2	1.5	〃	○														○									バーナ操作盤(バーナ付属)に含む
	7	押込送風機	2	0	2	30	〃	○	○	○						誘引機負荷作動で停止インターロック	○	○	○			○			○	○	○			屋内壁掛形	
	8	炉温調節送風機	2	0	2	5.5	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			屋内式	
	9	誘引送風機	2	0	2	185	〃	○	○	○						(WATCH用CT) ○	○	○	○			○			○	○	○			屋内壁掛形	自動カムコン起動
	10	NO1落じん灰コンベヤ	2	0	2	0.75	〃	○	⊗	○						NO2と停止インターロック	○	○	○			○					⊗			屋内式	
	011	NO2落じん灰二重ダンパ	2	0	2	0.4		○	○	○							○														
	11	NO2落じん灰コンベヤ	2	0	2	0.75	〃		⊗									○	○			○					⊗			屋内式	
	12	灰コンベヤ	2	0	2	2.2	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	13	スプレッダ	2	0	2	0.75	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	14	ボイラ出口ダンパ	2	0	2	0.4	〃	○	⊗									○	○			○					⊗			〃	
	15	誘引出口ダンパ	2	0	2	0.4	〃	○	⊗									○	○			○					⊗			〃	
	16	誘引カムコン	2	0	2	0.5	〃	○			○					TR3φ 440/220V 1KVA含															
	17	予備	0	2	2		〃	○																							
	18	制御電源	2	0	2	2KVA	440/110	○			○					TR1φ 440/110V 2KVA含															
非常用動力	21	1号(2号)煙道ガス調節弁	2	0	2	0.2	440	○	○									○	○			○	炉盤取付								
	22	1号(2号)炉圧制御ダンパ	2	0	2	0.75	〃	○	○									○	○			○	〃								
	23	ガス洗浄入口ダンパ	1	0	1	0.75	〃	○	⊗									⊗	○			○	洗煙盤取付				⊗			屋内式	
	24	ガス洗浄出口ダンパ	1	0	1	0.75	〃	○	⊗									⊗	○			○	〃				⊗			屋外式	
	25	ガス洗浄バイパスダンパ	1	0	1	0.75	〃	○	⊗									⊗	○			○	〃				⊗			屋内式	
	27	噴射水加圧ポンプ	2	1	3	15	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			屋内式	
	28	ボイラ給水ポンプ	2	1	3	5.5	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	29	ボイラ循環ポンプ	2	1	3	7.5	〃	○	○	○							○	○	○			○	炉盤取付				○			〃	
	30	計装コンプレッサ	1	1	2	5.5	〃	○	○	○							○	○	○	○		○					○			〃	
	31																														
	32	単相計装電源	1	0	1	5KVA	440/110	○			○					TR1φ 440/110V 5KVA含															
	33	直流電源装置	1	0	1	5	440	○																							
	34	保安照明	1	0	1	7.5	440/110	○			○					スコット結線 TR1φ 440/110V7.5KVA含															
	35	ごみ投入扉	1	0	1	225	440	○																						屋内壁掛形	現場は7.5KWx3台でバラ給油操作盤は装置に含
	36	予備	0	1	1		〃	○																							
	37	制御電源	1	0	1	2KVA	440/110	○			○					TR1φ 440/110V 2KVA含															
	38	消火ポンプ	1	0	1	15	440	○																							操作盤は設備に含
	39	プラント揚水ポンプ	1	1	2	3.7	〃	○	○	○							○	○	○	○	○	○					○			屋内式	
	40	発電機室排気ファン	1	0	1	1.5	440/220	○	○	○	○		○	○		TR3φ 440/220V 2KVA含															
洗煙動力	201	吸収塔循環ポンプ	1	1	2	18.5	440	○	○	○							○	○	○	○		○					○			〃	
	202	スプレーポンプ	1	1	2	11	〃	○	○	○							○	○	○	○		○					○			〃	
	203	温水循環ポンプ	1	1	2	45	〃	○	○	○							○	○	○	○		○					○			〃	
	204	真空ポンプ	1	0	1	0.75	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	205	苛性ソーダポンプ	1	1	2	2.2	〃	○	○	○							○	○	○	○		○					○			〃	
	206	灯油ポンプ	1	1	2	0.4	〃	○	○	○							○	○	○	○		○					○			屋外式	
	207	排液ポンプ	1	1	2	2.2	〃	○	○	○							○	○	○	○		○					○			屋内式	
	208	再加熱器空気ブロワ	1	0	1	5.5	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			〃	
	209	再加熱器バーナ	1	0	1	1.5	〃	○														○								〃	バーナ操作盤(バーナ付属)に含
	210	冷却塔ファン	2	0	2	15	〃	○	○	○							○	○	○			○					○			屋外式	
	211	排液引抜制御弁	1	0	1	0.2	〃	○	○									○	○	○		○									
	212	予備	0	1	1		〃	○																							
	213	制御電源	1	0	1		440/110	○			○					TR1φ 440/110V 2KVA															

注記

電磁SW、操作SWの記号⊗は正逆を示す。

常用予備の回路構成は電磁SWの切替とする。

昭和 年 月 日	作成	課長	係長
福山市建設局建築部建築課			

照合	名称	一台分容量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			

図番	E-11061
照合	
承認	調査 設計 写図
尺度	～
昭和54年1月29日	株式会社 タクマ

動力線作一覧表（炉用・非常用・洗煙）

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇数	日付	担当	課金	調査	承認
		記事				

	NO.	負荷名	台数 用	予備	合計	出力 KW	電圧 V	動力盤 電源SW MCB	電磁SW MS	変流器 CT	変圧器 TR	電流計 A	操作SW PB	表示灯 RL GL	自/手切替SW COS	NO1/NO2切替SW COS	備考	計器盤 電流計 A	操作SW PB	表示灯 RL GL	自/手切替SW COS	NO1/NO2切替SW COS	グラフィック表示	備考	現場 電源SW MCB	電磁SW MS	電流計 A	操作SW PB	表示灯 RL GL	盤形式	備考
共通動力	41	助燃用灯油ポンプ	1	1	2	0.4	440	○	○	○							バーナとインタロック	○	○	○		○	○					○		屋外式	
	42	EP NO.1 ダストコンベヤ	1	0	1	0.75	〃	○	⊗	○							NO.2と停止インタロック	○	○	○			○					⊗		屋内式	
	43	EP NO.2 ダストコンベヤ	1	0	1	0.75	〃	○	⊗	○							調温装置と停止インタロック	○	○	○			○					⊗		〃	
	44	調温装置	1	0	1	6.45	〃	○										○	○	○			○								操作盤は装置に含
	45	建築用揚水ポンプ	1	1	2	2.2	〃	○	○	○								○	○	○	○	○	○					○		屋内式	
	46	ボイラ補給水ポンプ	1	1	2	1.5	〃	○	○	○								○	○	○	○	○	○					○		屋内式	
	47	清缶剤注入ポンプ	1	1	2	0.1	〃	○	○	○									○	○		○	○								
	48	蒸気コンデンサ	1	0	1	5.5	〃	○	○	○								○	○	○			○					○		屋外式	
	49	暖房用温水循環ポンプ	1	0	1	2.2	〃	○	○	○								○	○	○			○					○		屋内式	
	50	給湯用温水循環ポンプ	1	0	1	1.5	〃	○	○	○								○	○	○			○					○		〃	
	51	ごみ汚水移送ポンプ	1	1	2	3.7	〃	○	○	○								○	○	○	○		○					○		屋外式	
	52	ごみ汚水中間ポンプ	1	1	2	5.9	〃	○	○	○								○	○	○	○		○					○		〃	
	53	空気圧縮機	1	0	1	55	〃	○	○	○																		○	○	○	屋内壁掛形	
	54	洗車ポンプ	1	0	1	30	〃	○	○	○								○	○	○	○		○	洗車操作盤に含				○	○	○	〃	
	55	プラットホーム入口エアーカーテン	1	0	1	3.3	〃	○																	○	○	○	○	○	〃	1.5KW×3台
	56	プラットホーム出口エアーカーテン	1	0	1	4.5	〃	○																	○	○	○	○	○	屋内壁掛形	1.5KW×3台
	57	機械室吹装置	1	0	1	0.4	〃	○																							操作盤は装置に含
	58	消臭装置	1	0	1	3.7	〃	○																							〃
	59	予備	0	1	1		〃	○																							
	60	制御電源	1	0	1	2KVA	440/110	○			○						TR1φ440/110V 2KVA含														
汚水処理動力	71	汚ピット汚水ポンプ	1	1	2	1.5	440	○	○	○		○	○	○	○	○							○					○		屋内式	
	72	洗車排水ポンプ	1	0	1	1.5	〃	○	○	○								○	○	○	○		○	洗車装置盤に含							
	73	床洗浄排水ポンプ	1	0	1	1.5	〃	○	○	○		○	○	○	○								○					○		屋内式	
	74	排水貯留槽ポンプ	1	1	2	1.5	〃	○	○	○		○	○	○	○	○							○					○		〃	
	75	PH調整槽撹拌機	1	0	1	0.1	〃	○	○				○	○									○								
	76	混合槽撹拌機	1	0	1	0.1	〃	○	○				○	○									○								
	77	凝集沈殿槽集泥機	1	0	1	0.2	〃	○	○	○		○	○	○									○					○		屋内式	
	78	中和槽撹拌機	1	0	1	0.2	〃	○	○				○	○									○								
	79	沪過器送水ポンプ	1	1	2	5.5	〃	○	○	○		○	○	○	○	○							○					○		屋内式	
	80	沪過器逆洗ポンプ	1	1	2	2.2	〃	○	○	○		○	○	○	○	○							○					○		〃	
	81	排水噴霧ポンプ	1	1	2	11	〃	○	○	○		○	○	○		○							○					○		屋内式	
	82	再利用水ポンプ	1	0	1	1.5	〃	○	○	○		○	○	○	○								○					○		〃	
	83	苛性ソーダ送液ポンプ	1	1	2	0.4	〃	○	○	○		○	○	○	○	○							○					○		〃	
	84	苛性ソーダ撹拌機	1	0	1	0.2	〃	○	○				○	○	○								○					○		〃	
	85	苛性ソーダ供給ポンプ	1	1	2	0.1	〃	○	○				○	○	○	○							○								
	86	硫酸送液ポンプ	1	1	2	0.4	〃	○	○	○		○	○	○	○	○							○					○		屋内式	
	87	硫酸撹拌機	1	0	1	0.1	〃	○	○				○	○	○								○					○		〃	
	88	硫酸供給ポンプ	1	1	2	0.1	〃	○	○				○	○	○	○							○								
	89	塩化オ2鉄送液ポンプ	1	1	2	0.4	〃	○	○	○		○	○	○	○	○							○					○		屋内式	
	90	塩化オ2鉄供給ポンプ	1	1	2	0.1	〃	○	○				○	○	○	○							○								
	91	凝集助剤撹拌機	1	0	1	0.1	〃	○	○				○	○	○								○					○		屋内式	
	92	凝集助剤供給ポンプ	1	1	2	0.1	〃	○	○				○	○	○	○							○								
	93	送泥ポンプ	1	1	2	1.5	〃	○	○	○		○	○	○	○	○							○					○		屋内式	
	94	撹拌用ブロワ	1	0	1	3.7	〃	○	○	○		○	○	○									○					○		〃	
	95	予備	0	1	1		〃	○																							
	96	制御電源	1	0	1	2KVA	440/110	○			○						TR1φ440/110v 2KVA含														

昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課　係員　課長

照合　名称　一台分数量　材質　記事

HL-0907形
じん芥焼却プラント

照合

動力操作盤
（共通・汚水）

図番 E-1062

承認　検査　設計　写図

尺度 〜

昭和54年1月29日

日成商会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	課長	副長	係長
		記事				

建築動力

NO.	負荷名	台数 常用	予備	合計	出力 KW	電圧 V	動力盤 電源MCB	電磁SW MS	変流器CT	電流計A	操作SW PB	表示灯RL GL	自/手切替SW COS	備考	計器盤 電流計A	操作SW PB	表示灯RL GL	自/手切替SW COS	NO.1/NO.2切替SW COS	グラフィック表示	備考	現場盤 電源MCB	電磁SW MS	電流計A	操作SW PB	表示灯RL GL	盤形式	備考
101	空気圧縮機室換気ファン	1	0	1	0.12	220	○	○			○	○																
103	誘引室給気ファン	1	0	1	2.2	〃	○	○		○	○	○												○		屋内式	
104	誘引室排気ファン	1	0	1	2.2	〃	○	○		○	○	○												○		〃	
105	中央制御室排気ファン	1	0	1	0.2	〃	○	○		○	○	○															
102	ガス抜きファン	1	0	1	0.2	〃	○	○		○	○	○															
106	洗浄装置室排気ファン	2	0	2	5.5	〃	○	○	○	○	○	○												○		屋内式	
107	高圧蒸気だめ室給気ファン	1	0	1	1.5	〃	○	○		○	○	○												○		〃	
108	高圧蒸気だめ室排気ファン	1	0	1	1.5	〃	○	○		○	○	○												○		〃	
109	電気室排気ファン	1	0	1	1.5	〃	○	○		○	○	○												○		〃	
110	再加熱室排気ファン	1	0	1	2.2	〃	○	○		○	○	○												○		〃	
111	クレーン電気室換気扇	1	0	1	0.24	〃	○															○	○	○	○	屋内壁掛形	0.12KW×2台
112	冷却塔	1	0	1	0.4	〃	○	○		○	○	○															
113	冷却水ポンプ	1	0	1	1.5	〃	○	○		○	○	○												○		屋内式	
114	中央制御室空調器	1	0	1	30	〃	○																				
115	作業員控室空調器	1	0	1	2.1	〃	○															○					
116	計量器室空調器	1	0	1	1.4	1φ 220	○															○					
117	クレーン操作室空調器	1	0	1	5.5	220	○															○					
118	ホッパ開閉装置	1	0	1	3.0	〃	○															○				屋内壁掛形	1.5KW×2台
119	電動チューブクリーナ	1	0	1	2.2	〃	ELB ○																			屋内式	2個所パラ接続
120	工作室電源	1	0	1	20	〃	○														○(3相TH付)						
121	溶接器電源	5	0	5	15	〃	○															○				屋内壁掛形	
122	プラットホーム出入口シャッタ	1	0	1	0.8	〃	○															○				〃	0.4KW×2台 パラ接続
123	ごみ投入扉シャッタ	1	0	1	0.75	〃	○																				
124	灰出場シャッタ	1	0	1	0.8	〃	○															○				屋内壁掛形	0.4KW×2台 パラ接続
125	計量ピット排水ポンプ	1	0	1	0.25	〃	○															○				屋内壁掛形	
126	予備	2	0	2		〃	○																				
127	既設炉消火ポンプ	1	0	1	7.5	〃	○																				
128	管理棟電源	1	0	1	45	〃	○																				

昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課　係員　係長　課長　副長

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			

図番 E-11063

照合

動力操作一覧表（建築）

尺度 ～　昭和54年1月29日　株式会社 タクマ

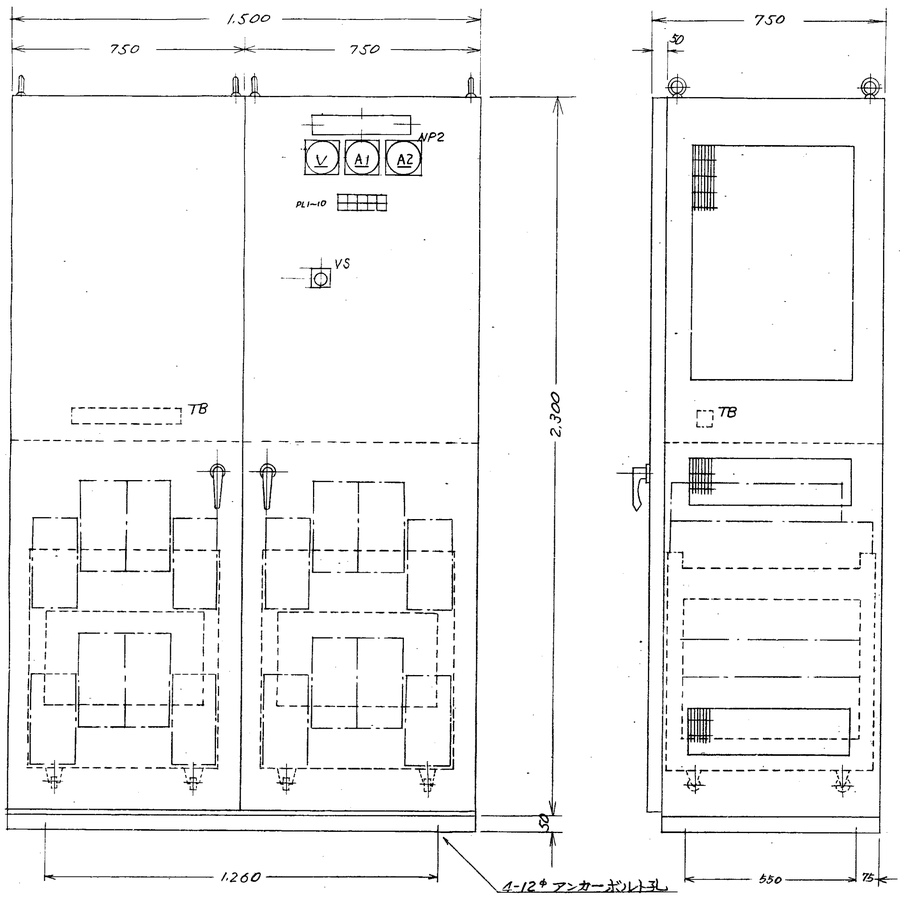
T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

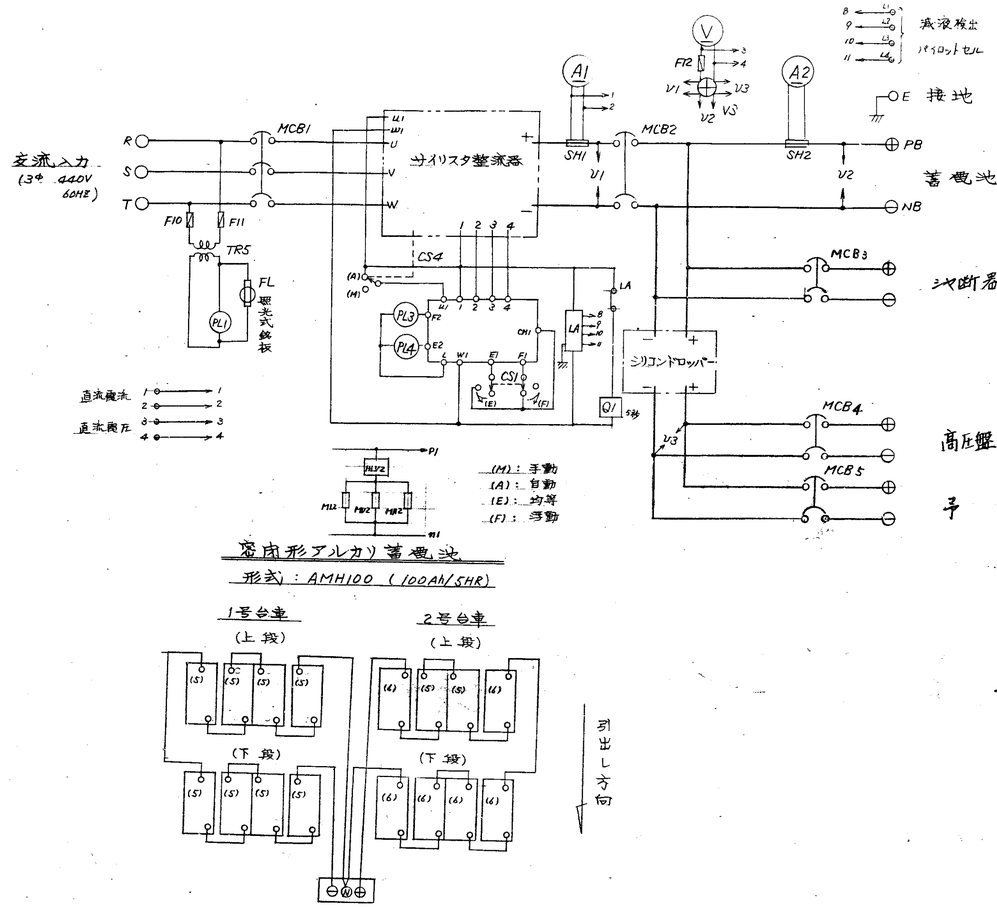
訂正記号	訂正個数	日付	担当	調査	調査	承認
1						
2						
3						
4						

外形図

S=1:10



結線図



密閉形アルカリ蓄電池

形式：AMH100（100AH/5HR）

PL1(白)	PL2(白)	PL3(橙)	PL4(赤)	PL5(赤)
電源	浮動	均等	ヒューズ断	MCBトリップ
過電圧	低電圧	液面低下	−接地	+接地
PL6(赤)	PL7(赤)	PL8(赤)	PL9(赤)	PL10(赤)

表示灯記載文字

備考

1. 整流器部　天井は盲鉄板とする。
　裏面は打抜鉄板ビス止めとする。
　両側面は打抜鉄板ビス止めとする。
2. 蓄電池部　両側面は一部換気孔付盲鉄板とする。
　裏面は盲鉄板とする。

記号	品名	容量	員数	備考
V	直流電圧計		1	
A1	直流電流計		1	
A2	〃		1	
VS	電圧計切替器		1	整流器/蓄電池/負荷
MCB1	配線用しゃ断器		1	交流
MCB2	〃		1	直流
MCB3	〃		1	遮断器投入用
MCB4	〃		1	高圧盤制御用
MCB5	配線用遮断器		1	予備
CS4	自動・手動切替器		1	
CS1	浮動・均等切替器			
F10	PL保護用ヒューズ		1	
F11	〃		1	
F12	電圧計保護用ヒューズ		1	
FL	照光式銘板		1	
NP2	主鉄板		1	

形式	サイリスタ整流器	用途	操作用		
名称		単位	規格		摘要
方式	整流方式		三相全波		
	冷却方式		自然冷却		
	充放		連続		
			手動	浮動 均等	
交流	相数	φ	3		
	周波数	HZ	60		
	周波数変動範囲	HZ	56~61		
	電圧	V	440		
	電圧変動範囲	V	396~484		
	力率	%以上	75	70	全負荷(リーター力率にて)
直流	電圧	V	140	122 130.5	アルカリ蓄池 86セル
	電圧調整範囲	V	90~140	118~126 126.5~134.5	(AMH100)
	電圧調整段間電圧	V以下	連続		
	電流	A	15~50	0~50	
	最大重下電流	A以下	—	60	蓄電池電圧降下
	電圧変動率	%以下	30	±2	

昭和　年　月　日　作成　福山市建設局建築部　検図　承認

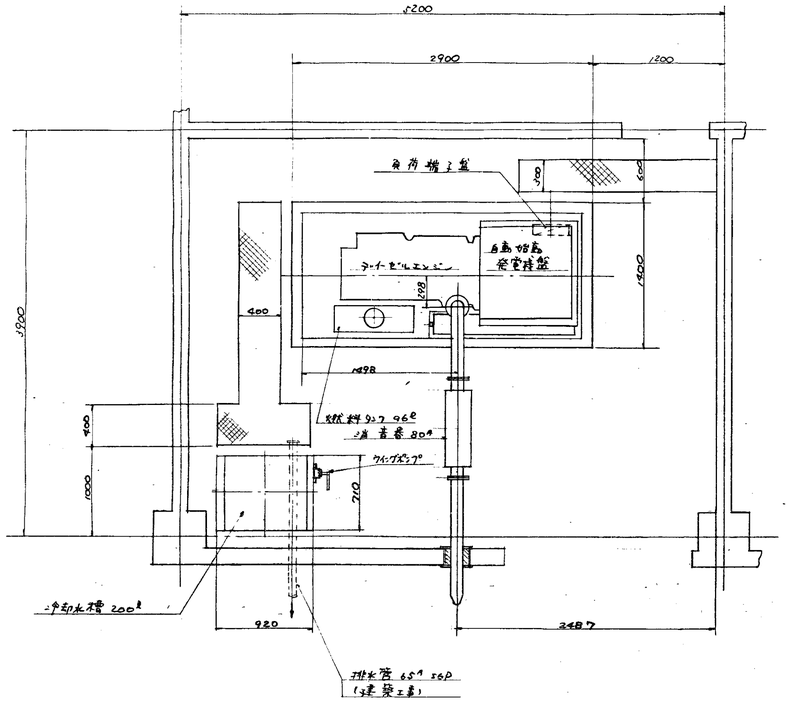
照合	名称	一台分重量	材質	番号
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			E-11064
照合			承認	製図 設計 写図
	直流電源盤及結線図		尺度 1/10	昭和54年1月29日

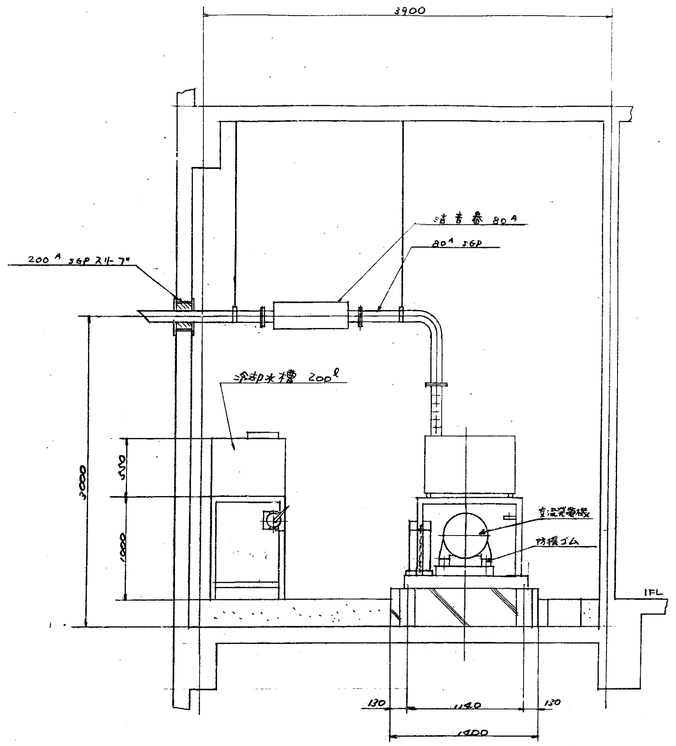
株式会社 タクマ

T63 (C)

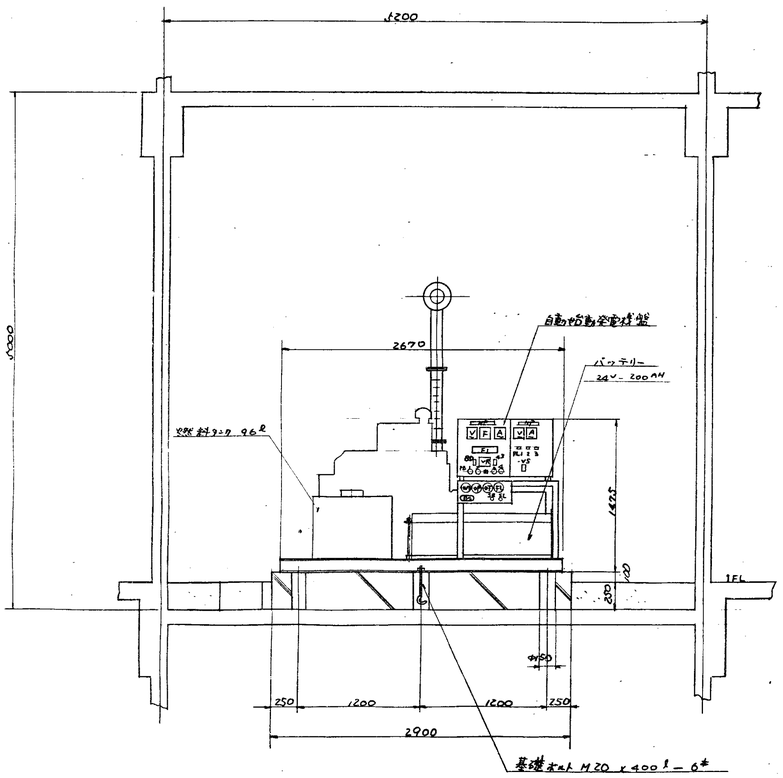
第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	調査	承認
		記事				
⚠						
⚠						
⚠						
⚠						

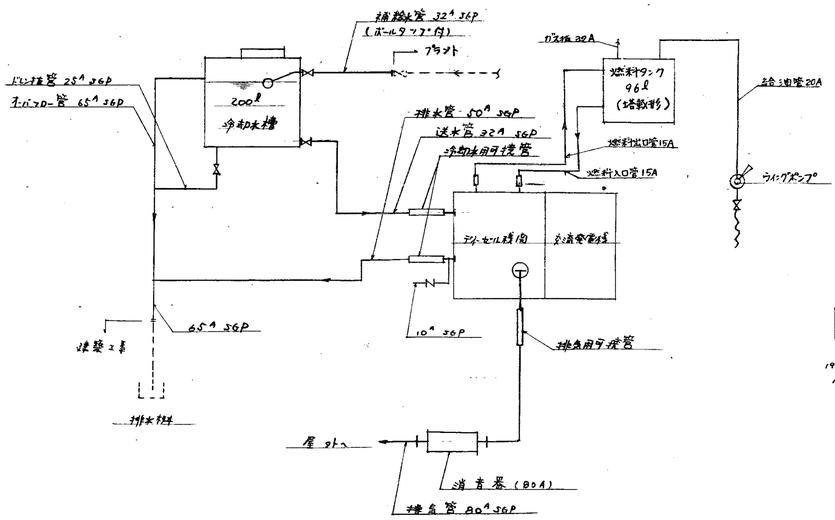


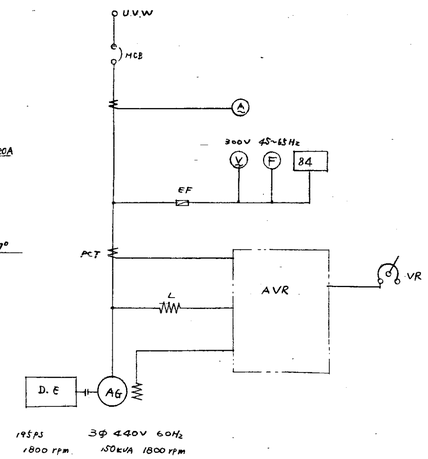


交流発電機	
形式	開放保護回転界磁突極形
出力	150 KVA
相数	3相4線
極数	4
力率	80%(遅れ)
周波数	60 Hz
電圧	440 V
電流	197 A
励磁方式	静止サイリスタ制御方式
搭載機	自動始動発電盤
ディーゼルエンジン	
形式	4サイクル水冷直列直接噴射式
シリンダ数	6
出力	195 PS
回転数	1800 rpm
過給方式	過給機付
始動電動機	24V-5.4 kW
使用燃料	ディーゼル軽油
蓄電池	密閉式急放電形 24V-200AH 12セル
燃料タンク	96(1缶制) ℓ
冷却水槽	200ℓ (別置)
給水量	1590 ℓ/Hr
総重量	約2520 kg



配管系統図





単線接続図

昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

図番 E-11065

承認	調査	設計	写図

尺度 1/30　昭和54年1月29日　㈱タクマ

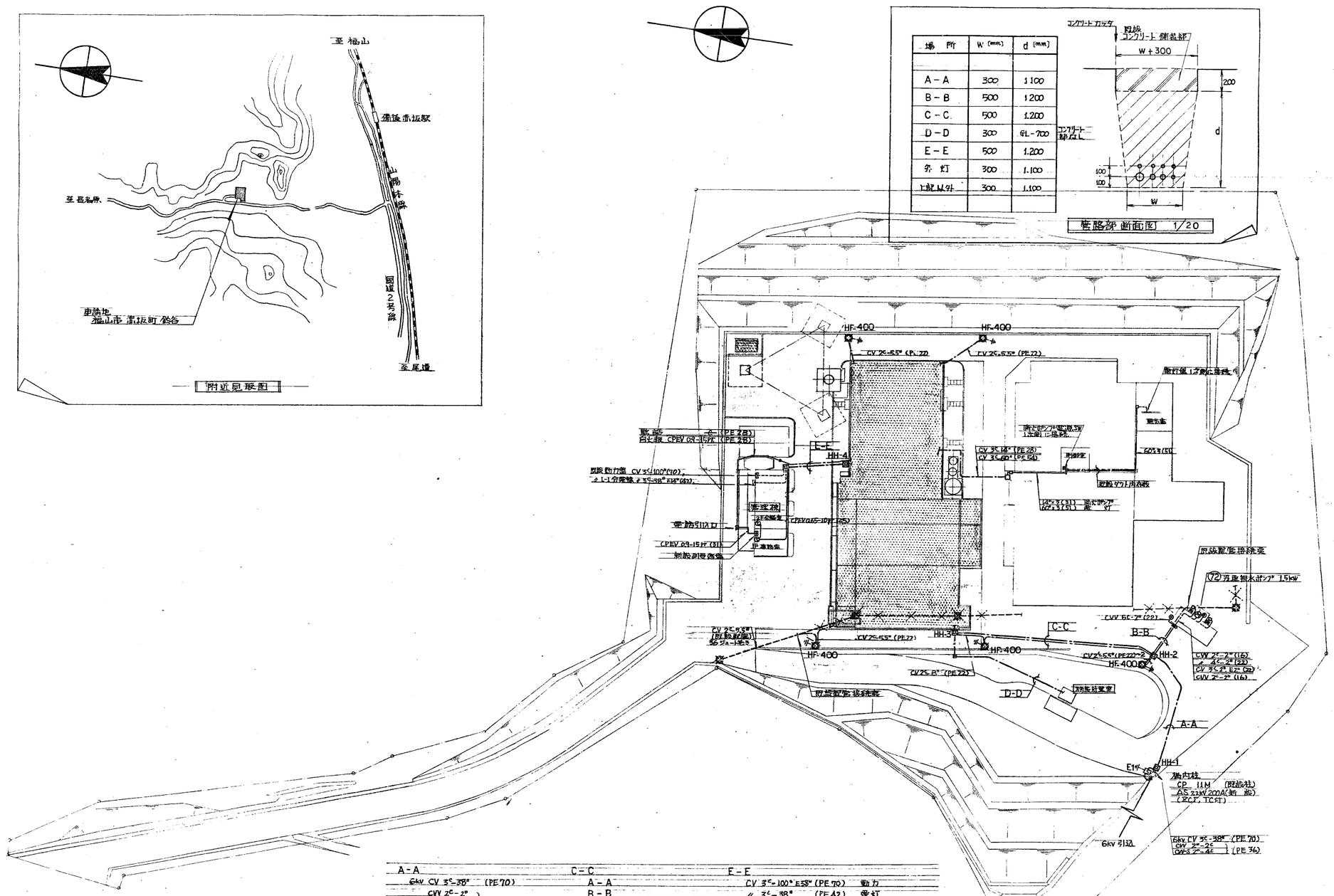
非常用ディーゼル発電機図

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

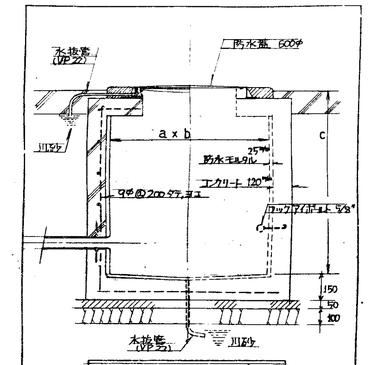
訂正記号	訂正箇所	日付	担当	課長	課長	承認
		起			案	
①						
②						
③						
④						

附近見取図



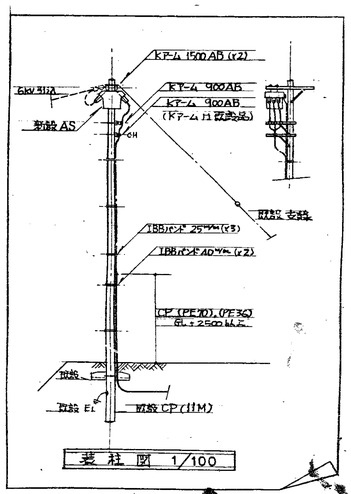
場所	W [mm]	d [mm]
A－A	300	1100
B－B	500	1200
C－C	500	1200
D－D	300	GL-700
E－E	500	1200
外灯	300	1100
上記以外	300	1100

管路部断面図 1/20



ハンドホール仕様 1/20

記号	a [mm]	b [mm]	c [mm]	備考
HH-1	800	800	1,400	耐荷重蓋
HH-2	800	800	1,500	〃
HH-3	800	800	1,500	〃
HH-4	800	800	1,400	中荷重蓋



装柱図 1/100

A－A	C－C	E－E
6kV CV 3C－38² (PE70)	A－A	CV 3C－100² E58² (PE 70) 動力
CVV 2C－2²	B－B	〃 3C－38² (PE 42) 電灯
CVVS 4C－2² (PE 36)		CPEV 0.65-10PT (PE 22) インターホン
		C (PE 28) 電話
B－B	D－D	CPEV 0.9－15PT (PE 28) 自火報
CV 3C－2² E2² (PE 22)	CV 3C－8² E5.5²(PE 28)	
〃 2C－5.5² (PE 22)	CPEV 0.65-10PT (PE 22)	
CVV 2C－2² (×2) (PE 36)		
〃 8C－2² (PE 28) ×2		

昭和 年 月 日 作図

照合	名称	一台分数量	材質	記事
照合	HL-0907形 じん芥クレーン			

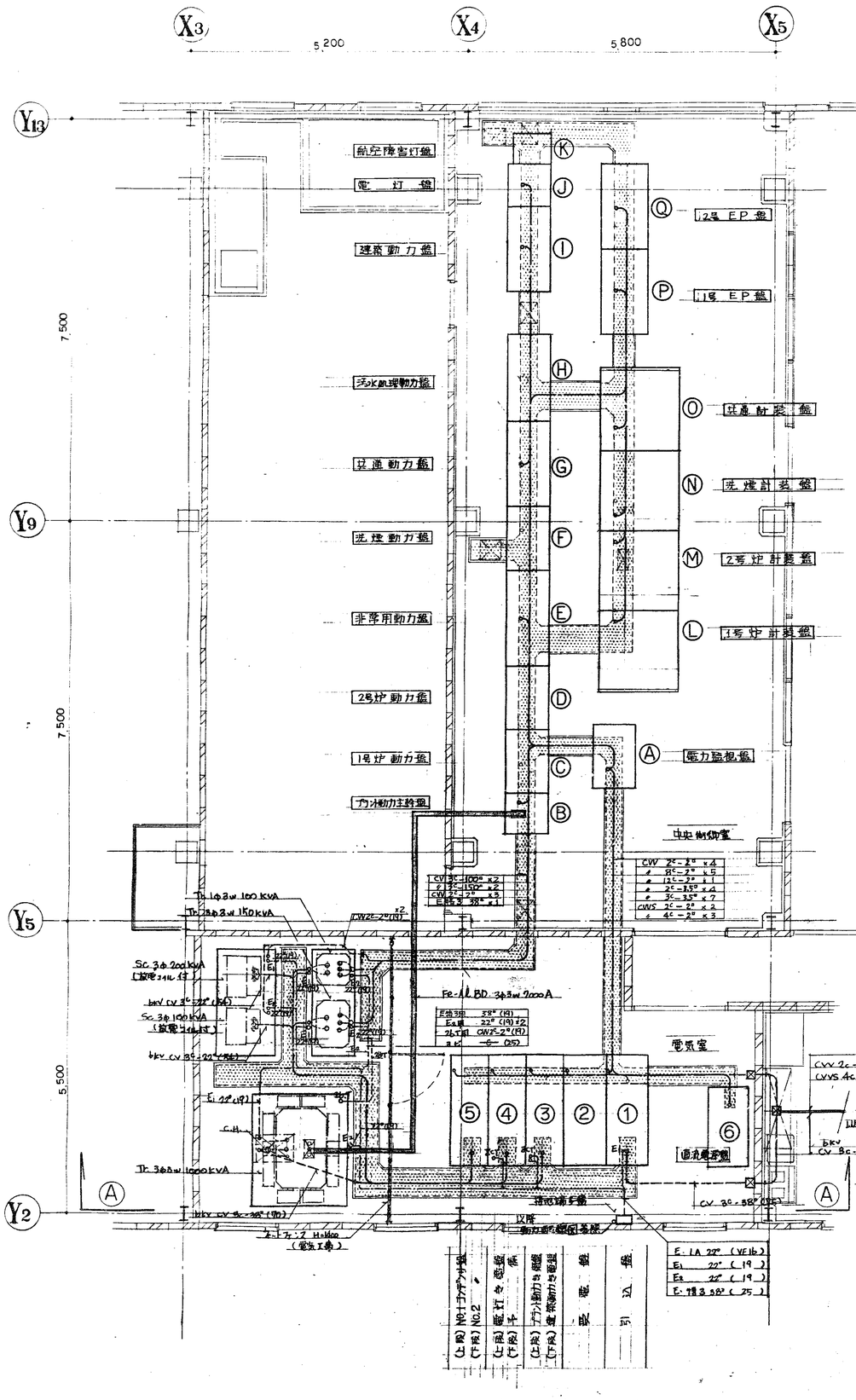
図番	E-1066
承認	調査 設計 写図
尺度	1/500
昭和54年1月29日	

福山市役所建築部建築課
屋外配線図
株式会社 タクマ

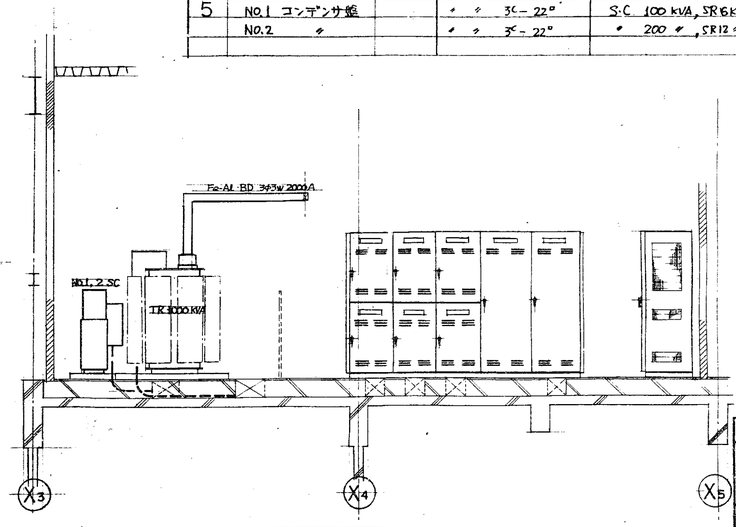
T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正個数	日付	指令	調査	調査	引込
		記事				
1						
2						
3						
4						



盤名			配線サイズ	行先盤名	備考
1	引込盤	PT	CVV 3c-38°	A電力監視盤	
		DC	〃 2c-38°	〃	
		AC	〃 2c-38°	〃	
2	受電盤	PT, CT	〃 3c-38° x2	〃	
		CS, PL	〃 12c-2°	〃	
3	動力き電盤	CT	〃 3c-38° x2	〃	
	(プラント動力, 建築動力)	CS, PL	〃 8c-2° x2	〃	
		ZCT	CWS 4c-2° x2	〃	
4	電灯き電盤	CT	CVV 2c-38°	〃	
		CS, PL	〃 8c-2°	〃	
		ZCT	CWS 4c-2°	〃	
5	コンデンサ盤	CT	CVV 3c-38° x2	〃	
	(NO.1, NO.2)	CS, PL	〃 8c-2° x2	〃	
	1000 kVA TR	2CT	CVV 2c-2°	〃	
	SC	NVS	〃 2c-2° x2	〃	
6	直流電源盤	指入	CV 2c-8°	2受電盤	
		DC	CVV 2c-38°	A電力監視盤	
		AL	〃 2c-2°	〃	
		VA	CWS 2c-2° x2	〃	
B	プラント動力主幹盤	PT	CVV 3c-38°	〃	
		AL	〃 2c-2°	〃	
E	非常用動力盤	PT.CT	〃 3c-38°	〃	
		AL他	〃 8c-2°	〃	
I	建築動力盤	V	〃 3c-38°	〃	
		AL	〃 2c-2°	〃	
J	電灯盤	V	〃 3c-38°	〃	
		AL	〃 2c-2°	〃	
		AC	〃 2c-38°	〃	
	非常用発電機盤	AL他	〃 12c-2°	〃	動力配線図参照
		PL	〃 5c-2°	〃	〃
		メガネ	HP 10P-1.6	E非常用動力盤	〃
P,Q	EP盤	PL	CVV 4c-2°	L,M炉計装盤	
		メガネ	〃 2c-2°	G共通動力盤	
3	プラント動力き電器		6kV CV 3c-38°	TR 6.6kV/440V 1000 kVA	(2次側) Fe-Al BD 3φ3W 2000A
	建築 〃		〃 3c-22°	〃 6.6kV/210V 150 〃	(〃) 600V CV 3c-100°(75) x2
4	電灯き電盤		〃 2c-22°	〃 6.6kV/210-105V 100 〃	(〃) 〃 CV 3c-150°(82) x2
5	NO.1 コンデンサ盤		〃 3c-22°	S.C 100 kVA, SR 6 kVA	
	NO.2 〃		〃 3c-22°	〃 200 〃, SR 12 〃	



A－A 矢視図

(注) 高圧機器には、図示の接地を行う。又低圧盤には、E種3 38°の接地線も接続すること。

照合	名称	合分割記	材質	記事
	HL 0907 形 じん芥焼却プラント			
照合				

設計	年月日	作成	課長	課長	係長
福山市建設局建築都市建築課					

図番 E-11067

承認	調査	設計	写図

尺度 1/50　昭和54年1月29日

受変電設備及制御室図

製図者 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 | 福山市西部清掃工場建設工事

M-5	Ⓜ	440V- 7.5kW	CV 3C-3.5°	E3.5°	(31)	炉用動力盤		M-41	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2°	E2°	(25)	共通動力盤		M-106	Ⓜ	220V- 5.5kW	CV 3C-8°	E5.5°	(31)	建築動力盤	
	▣		CVV 3C-2°		(31)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃
M-9	Ⓜ	440V- 13.7kW	CV 3C-100°	E38°	(75)		〃	M-44	▬	440V- 5.5kW	CVV 8C-2° (PE28)	E3.5° (31)		計装盤		M-116	▬	220V- 1.4kW	CV 3C-8°	E5°	(38)		〃
	▬		CVV 70C-2°		(75)		〃	M-45	Ⓜ	440V- 2.2kW	CV 3C-2°	E2°	(25)	共通動力盤		M-120	▬	220V- 2.0kW	CV 3C-22°	E22°	(99)		〃
M-11	Ⓜ	440V- 1.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃	M-121	▬	220V- 15kW	CV 3C-22°	E22°	(99)		〃
M-011	Ⓜ	〃 0.4kW	CVV 4C-2°		(35)		〃	M-46	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-122	▬	220V- 0.75kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃
M-12	Ⓜ	440V- 2.2kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃	M-123	☒	220V- 0.75kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃
	▣		CVV 3C-2°		(71)		〃	M-47	Ⓜ	440V- 0.2kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-124	▬	220V- 0.75kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃
M-13	Ⓜ	440V- 0.75kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-51	Ⓜ	440V- 7.5kW	CV 3C-3.5°	E3.5°	(31)		〃	M-125	▬	220V- 0.2kW	CV 3C-3.5°	E2°	(25)		〃
	▬		CVV 3C-2°		(31)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃	P-3	☒	440V- 13.7kW	CV 3C-8°	E5.5°	(31)	75t上動力計装盤	
M-15	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-52	Ⓜ	440V- 7.5kW	CV 3C-3.5°	E3.5°	(31)		〃	1L-1		10.56 kVA	32°×3	E8°	(91)	電灯盤	
	▣		CVV 4C-2°		(35)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃			1.76 〃	8°×3		(25)		〃
	▣		CVV 8C-2°		(51)		〃		▣		CVV 7C-2°		(35)		〃	1L-2		6.95 〃	14°×3	E8°	(31)		〃
M-16	Ⓜ	440V- 0.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-53	Ⓜ	440V- 55kW	CV 3C-38°	E22°	(51)		〃								
	▬		CVV 8C-2°		(31)		〃		▬		CVV 70C-2°		(37)		〃								
M-22	Ⓜ	440V- 0.75kW	CV 3C-2°	E2°	(25)	非常用動力盤		M-55	▬	440V- 4.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃								
M-39	Ⓜ	440V- 3.7kW	FP 3C-2°	E2°	(99)		〃	M-56	▬	440V- 4.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃								
	▣		HP 3C-2°		(81)		〃	M-58	▬	440V- 3.7kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃								
M-27	Ⓜ	440V- 15kW	CV 3C-8°	E5.5°	(81)		〃	M-101	Ⓜ	220V- 0.12kW	CV 3C-2°	E2°	(25)	建築動力盤									
	▬		CVV 3C-2°		(37)		〃	M-140	Ⓜ	220V- 1.4kW	FP 3C-2°	E2°	(99)		〃								
M-28	Ⓜ	440V- 3.7kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		HP 3C-2°		(81)		〃								
	▣		CVV 3C-2°		(25)		〃	M-103	Ⓜ	220V- 2.2kW	CV 3C-8°	E2°	(25)		〃								
M-30	Ⓜ	440V- 5.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃								
	▣		CVV 3C-2°		(37)		〃	M-104	Ⓜ	220V- 2.2kW	CV 3C-3.5°	E2°	(25)		〃								
M-38	▬	440V- 11kW	FP 3C-8°	E3.5°	(91)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃								
			HP 70C-2°		(95)																		

M-71	Ⓜ	440V- 7.5kW	CV 3C-3.5°	E3.5°	(31)	汚水処理動力盤		M-80	Ⓜ	440V- 2.2kW	CV 3C-2°	E2°	(25)	汚水処理動力盤		M-87	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2°	E2°	(25)	汚水処理動力盤	
	▣		CVV 3C-2°		(31)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃
M-72	▬	440V- 1.5kW	CV 3C-2°	E2° (PE22)	(25) (PE22)		〃	M-81	Ⓜ	440V- 11kW	CV 3C-5.5°	E5.5°	(31)		〃	M-88	Ⓜ	440V- 0.02kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃
M-73	Ⓜ	440V- 1.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(37)		〃	M-89	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2.3	E2°	(25)		〃
	▣		CVV 3C-2°		(37)		〃	M-82	Ⓜ	440V- 1.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃
M-74	Ⓜ	440V- 2.6kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(37)		〃	M-90	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2.3	E2°	(25)		〃
	▣		CVV 3C-2°		(31)		〃	M-83	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-91	Ⓜ	440V- 0.1kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃
M-75	Ⓜ	440V- 0.2kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃
M-76	Ⓜ	440V- 0.2kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-84	Ⓜ	440V- 0.1kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-92	Ⓜ	440V- 0.1kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃
	▣		CVV 3C-2°		(25)		〃	M-85	Ⓜ	440V- 0.1kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-93	Ⓜ	440V- 2.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃
M-77	Ⓜ	440V- 0.2kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(37)		〃
	▣		CVV 3C-2°		(25)		〃	M-86	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃	M-94	Ⓜ	440V- 3.7kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃
M-78	Ⓜ	440V- 0.4kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(25)		〃		▣		CVV 3C-2°		(37)		〃
M-79	Ⓜ	440V- 5.5kW	CV 3C-2°	E2°	(25)		〃																
	▣		CW 3C-2°		(25)		〃																

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
FP 3C-2°								2							
〃 3C-100°															
CV 3C-2°	9	9	4	9	13	13	27	27	4	3	9	14	3	3	13
〃 〃 -3.5°	5	6	2	2			2	2	1						
〃 〃 -5.5°				2	2		2	2							
〃 〃 -8°	1	1						3		1	1	1		2	2
〃 〃 -14°		1													
〃 〃 -22°		—						2		1	1	1		1	1
〃 〃 -38°										2	2	2			
〃 〃 -60°		1													
〃 〃 -100°										1	1	1	1	1	2
E 38°	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
HP 3C-2°															
CVV 3C-2.5°	5	6	4	8	9	3	13	16	3	2	2	4	1	3	8
〃 5C-4					1		1	1				1		1	2
〃 7C-4												1			2
〃 8C-4	2	2													
〃 10C-4															
WD 100×100			○			○			○						
〃 200×100	○			○	○										
〃 200×150							○								
〃 250×100		○													
〃 300×100										○	○	○	○	○	
〃 300×150								○							○

訂正記号	訂正個所	日付	担当	調査	調査	承認
		記事				
△1						
△2						
△3						
△4						

昭和 年 月

福山市建築局建築部

照合名称	一合分散盤	材質	記事
HL-0907形			
合			

1階動力配線図

図番	E-1068		
承認	調査	設計	写図
尺度	1/100	昭和54年1月29日	

鉄建公団 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	調査	承認
1		記事				
2						
3						
4						
5						

X2 X3 X4 X5 X7 X9 X10 X12 X16

Y16 Y14 Y13 Y11 Y9 Y7 Y5 Y3 Y1

建間渡り配線

CVV 6c-2° ×1-2	1号(2号)炉用動力盤	1号(2号)炉用計装盤
〃 2c-2° ×3-2	〃	〃
〃 4c-2° ×1-2	〃	〃
〃 20c-2° ×7-2	〃	〃
CVV 4c-2° ×1-2	非常用動力盤	1号(2号)炉用計装盤
〃 20c-2° ×1-2	〃	炉頂 計器盤
〃 4c-2° ×1	〃	〃
〃 7c-2° ×1	〃	〃
〃 2c-2° ×1	〃	女衝 計器盤
〃 10c-2° ×1	〃	〃
〃 20c-2° ×4	〃	〃
HP 10P-1P ×1	〃	〃
CVV 2c-2° ×6	女衝 動力盤	女衝 計装盤
〃 15c-2° ×1	〃	〃
〃 20c-2° ×5	〃	〃
CVV 2c-2° ×2	汚水処理 動力盤	女衝 計装盤
〃 10c-2° ×1	〃	〃
〃 20c-2° ×1	〃	〃

以降 E-11067図

M-2	440V-3.7kW	CV 3c-2° E2° (25)	炉用動力盤	M-31	220V-1kW/A	CV 2c-3.5° (床ピット内配線)	非常用動力盤						
		CVV 3c-2° (25)	〃	M-32	100V-5kVA	CV 2c-8° (〃)	〃						
M-3	440V-3.7kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃	M-33	440V-5kW	CV 3c-35° (床ピット内配線)	〃						
		CVV 3c-2° (25)	〃	M-34	100V-7.5kW	CV 3c-14° (〃)	〃						
M-4	440V-3.7kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃	M-35	440V-22.5	CV 3c-22° E22° (91)	〃						
		CVV 3c-2° (25)	〃	M-49	440V-7.2kW	CV 3c-2° E2° (25)	非常動力盤						
M-6	440V-1.5kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃			CW 3c-2° (25)	〃						
		CVV 8c-2° (31)	〃	M-50	440V-1.5kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃						
		〃 4c-2° (25)	〃			CW 3c-2° (25)	〃						
M-10	440V-1.5kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃	M-105	220V-0.2kW	CV 3c-2° E2° (25)	重機動力盤						
		CW 4c-2° (25)	〃	M-107	220V-1.5kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃						
M-14	440V-0.4kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃			CW 3c-2° (25)	〃						
LS		CVV 5c-2° (25)	〃	M-108	220V-1.5kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃						
		CW 4c-2° (25)	〃			CW 3c-2° (25)	〃						
M-23	440V-0.4kW	CV 3c-2° E2° (25)	非常用動力盤	M-109	220V-1.5kW	CV 3c-2° E2° (25)	〃						
LS		CVV 5c-2° (25)	〃			CW 3c-2° (25)	〃						
		CW 4c-2° (25)	〃	M-114	220V-30kW	CV 3c-38° E22° (51)	〃						
M-29	440V-7.5kW	CV 3c-3.5° E3.5° (25)	〃	M-121	220V-15kW	CV 3c-22° E22° (91)	〃						
		CW 3c-2° (25)	〃	2L-1	10A/1φ	38° ×3 E8° (51)	高灯盤						
M-115	220V-2.1kW	CV 3c-2° E2° (25)	重機動力盤		GAO 3c2	8° ×3 (25)	〃						
P-4	440V-45kW	CV 3c-60° (床ピット内)	アラーム動力主幹盤		制御電圧	100V 4.2A/1φ	CV 3c-14° (床ピット内配線)						
P-5	440V-45kW	CV 3c-60° (〃)	〃										

	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ	Ⓗ	Ⓘ
CV 3c-2°	8	5	8	13	16	18	20	6	9
〃 〃 -3.5°	1		1	1	1	2	2		
〃 〃 -5.5°					1	1	1		
〃 〃 -8°		1	1	1	2	2	2		
〃 〃 -14°				1	1	1	1		
〃 〃 -22°	1	1	2	3	3	4	4	2	2
〃 〃 -38°		3	3	3	4	5	5		
E 38°		1	1		1	1	1	1	1
CW 3c-2°	1	2	3	8	9	9	9	5	7
〃 4c-〃					2	3	6		1
〃 5c-〃							3		
〃 8c-〃					1	1	1	1	1
〃 8c-〃						1	1	1	1
WD 100×100	0								
〃 150×100								0	0
〃 200×100		0							
〃 200×150			0	0					
〃 300×200					0	0	0		

昭和 年 月

福山市建築局建築部建築課

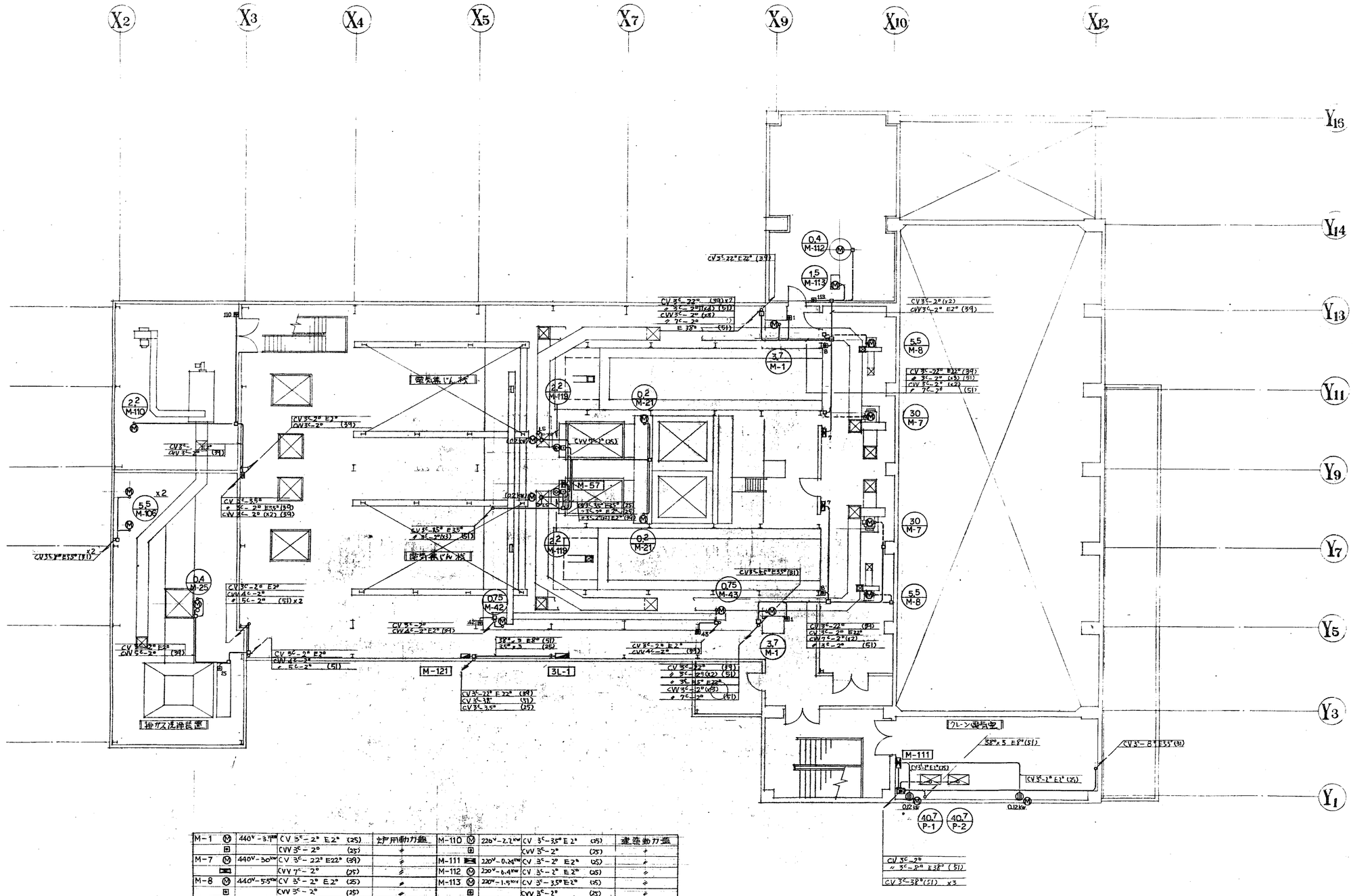
照合番号	合分盤
HL-0907形	
じん芥焼却プラント	
名称	
2.階動力配線図	

図番	E-11069
承認	調査 設計 作図
尺度	1/100
昭和54年1月29日	

株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 福山市西部清掃工場建設工事



M-1	M	440V-3.7kW	CV 3C-2° E2° (25)	炉用動力盤	M-110	M	220V-2.2kW	CV 3C-3.5° E2° (25)	建築動力盤
			CVV 3C-2° (25)	〃				CVV 3C-2° (25)	〃
M-7	M	440V-30kW	CV 3C-22° E22° (38)	〃	M-111		220V-0.2kW	CV 3C-2° E2° (25)	〃
			CVV 7C-2° (25)	〃	M-112	M	220V-0.4kW	CV 3C-2° E2° (25)	〃
M-8	M	440V-5.5kW	CV 3C-2° E2° (25)	〃	M-113	M	220V-1.5kW	CV 3C-3.5° E2° (25)	〃
			CVV 3C-2° (25)	〃				CVV 3C-2° (25)	〃
M-21	M	440V-0.2kW	CV 3C-2° E2° (25)	〃	M-119		220V-4.4kW	CV 3C-3.5° E3° (25)	〃
M-25	M	440V-0.4kW	CV 3C-2° E2° (25)	非常用動力盤	M-121		220V-15kW	CV 3C-22° E22° (38)	〃
	LS		CVV 5C-2° (25)	〃	P-1		440V-40.7kW	CV 3C-38°. E22° (51)	プラント動力主幹盤
			〃 4C-2° (25)	〃	P-2		440V-48.7kW	CV 3C-38° E22° (51)	〃
M-42	M	440V-0.75kW	CV 3C-2° E2° (25)	共通動力盤	3L-1		14.85kVA	38°×3, E8° (51)	電灯盤
			CVV 4C-2° (25)	〃			GAC 0.48〃	3.5°×3 (25)	
M-43	M	440V-0.75kW	CV 3C-2° E2° (25)	〃					
			CVV 4C-2° (25)	〃					
M-57		440V-0.4kW	CV 3C-2° E2° (25)	〃					
M-106	M	220V-5.5kW	CV 3C-8°. E5.5° (31)	建築動力盤					

昭和 年 月 日
福山市建設局建築部建築課

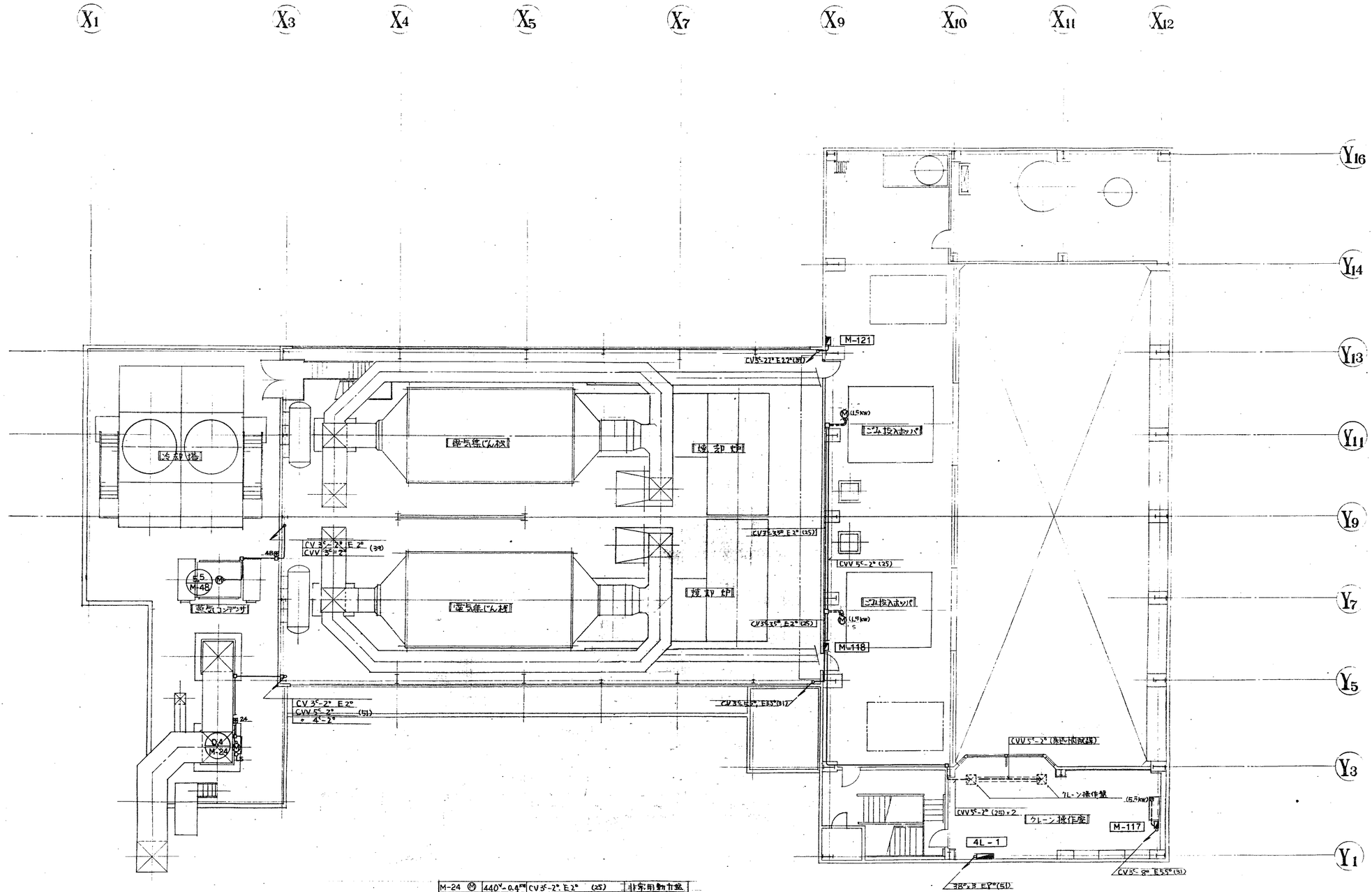
照合	名称	一台分数量	材質	記事
照合	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合	3.階動力配線図			図番 B-1070

承認 | 調査 | 設計 | 写図
尺度 1/100
昭和54年1月29日
株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	課長	副長	係長
1						
2						
3						
4						



M-24 Ⓜ	440V-0.4KW	CV 3°-2° E2°	(25)	非常用動力盤
LS		CVV 5°-2°	(25)	
⊡		〃 4°-2°	(25)	
M-48 Ⓜ	440V-5.5KW	CV 3°-2° E2°	(25)	天通動力盤
⊡		〃 CV 3°-2°	(25)	
M-117 ▬	220V-5.5KW	CV 3°-8° E55°	(31)	建築動力盤
M-118 Ⓜ	220V-7.5KW	CV 3°-3.5° E3.5°	(25)	
LS		CVV 5°-2°	(25)	クレーン操作盤
M-121 ▬	220V-15KW	CV 3°-22° E2.2°	(39)	建築動力盤
4L-1	9.6KVA	38°×3, E8°	(61)	配灯盤

昭和　年　月　日　係員　係長　課長

福山市建設局建築部建築課

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				
	ホッパ階動力配線図			

図番 E-11071

承認	調査	設計	写図

尺度 1/100　昭和54年3月29日

株式会社タクマ

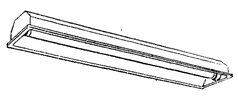
T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正個数	日付	担当	調査	調査	承認
		記事				

照明器具姿図

A　埋込下面開放

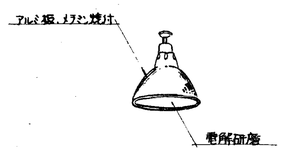


A-41	FL40W×1		

S　片反射笠

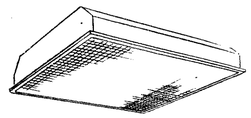
S-41	FL40W×1		

HC　水銀灯（シーリングライト）



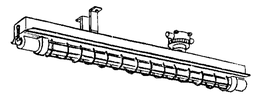
HC-200	HF 200W	HC-700	HF 700W
HC-300	〃 300W		

D　埋込下面ルーバ



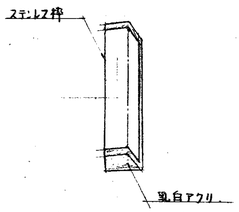
D-26	FL20W×6		

K EXP　K型 安増増防爆型



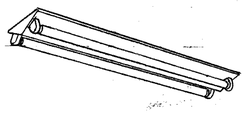
K41D-EXP	FL40W×1 パイプペンダント		

B　ブラケット灯



B-21w	FL20W×1（防水型）		

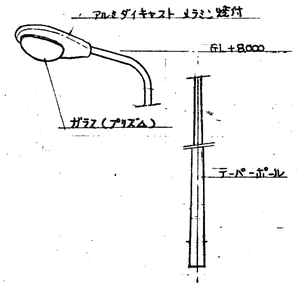
V　V型 壁付



（e番具はNi-Cd電池内蔵形）

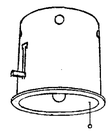
V-21	FL20W×1	V-42	FL40W×2		
V-41	φ40W×1	V-41e	φ40W×1 非常時50%点灯		

HP　水銀灯（ポール灯）



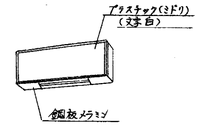
HP-400	HF 400W		

e　非常照明専用器具（埋込ダウンライト）



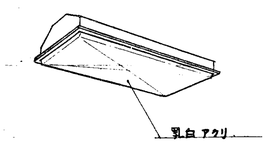
e 40	IL 40W ミニ球		

N　中形避難口誘導灯



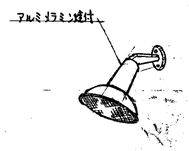
N20	FL 20W×1	壁付、パイプ吊	片面 非常電源内蔵

C　埋込下面アクリカバー



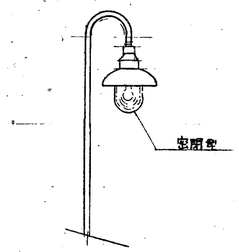
C 42	FL40W×2		
C 42-10	φ40W×2×10連結		

IRF　リフレクタランプ（白熱ビーム球）



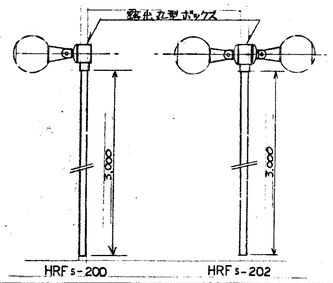
IRF 200	IL 200W×1（200V）		

sd　白熱 スタンド灯



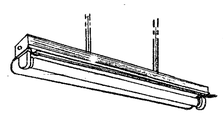
sd-100W	IL 100W 防水型		

RFs　リフレクタランプ（スタンドパイプ付）



IRFs-200	IRF 200W×1	HRFs-202	HRF 200W×2
HRFs-200	HRF 200W×1		

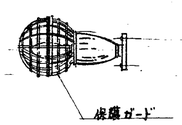
K　反射笠



（e番具はNi-Cd電池内蔵型）

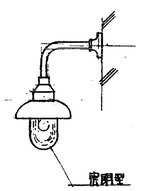
K-41	FL40W×1	K-42p	FL40W×2 パイプペンダント
K-42	φ40W×2	K-41pe	FL40W×1 非常時50%点灯
K-41p	φ40W×1 パイプペンダント	K-42pe	FL40W×2 非常時25%点灯

HRF　リフレクタランプ（水銀灯）



HFR-200	HF 200W×1		

b　白熱 ブラケット灯



b-100w	IL 100W 防水型		

照明器具 注記

1). 蛍光灯器具Box 白熱灯器具は 100V とし、水銀灯器具は 200V とする。

2) 蛍光灯 40W は ラピッドスタート式 高力率型、40W 未満は グロースタート 低力率型とする。
なお、40W-2灯用 以上は プリカルス型とする。

3) 水銀灯は 蛍光型、高力率 一般型とする。

4) 非常照明器具は 建築基準法による電池内蔵型とする。

5) 照明器具末尾の記号は下記による

P ――― 非常照明器具
W ――― 防水型
P ――― パイプペンダント

特記事項

1). 電灯コンセント回路において、特記なき配管配線は下記によること。

	2.0×2（19）
〃	2.0×3（19）
〃	2.0×4（25）
〃	2.0×5（25）
〃	2.0×6（25）

2). 配線に際し、炉体・ガスダクト等の発熱体より 300㎜ 以上 離して配線を行なうこと。

3). 炉室等の照明器具は 十分に打合せの上、最適位置に取付けること。

昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課

照合	名称	台分数量	材質		記事

HL-0907 形
じん芥焼却プラント

照合

照明器具姿図

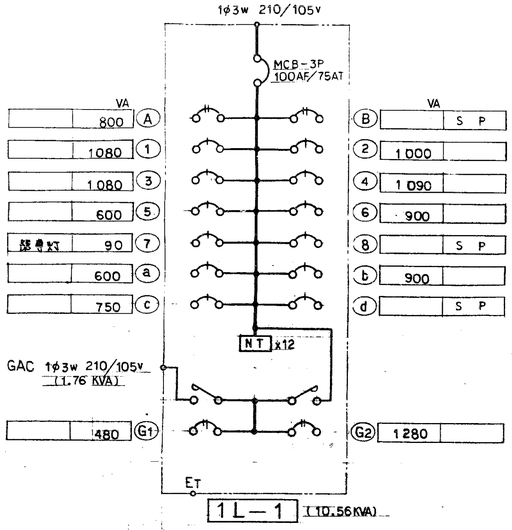
図番 E-11072

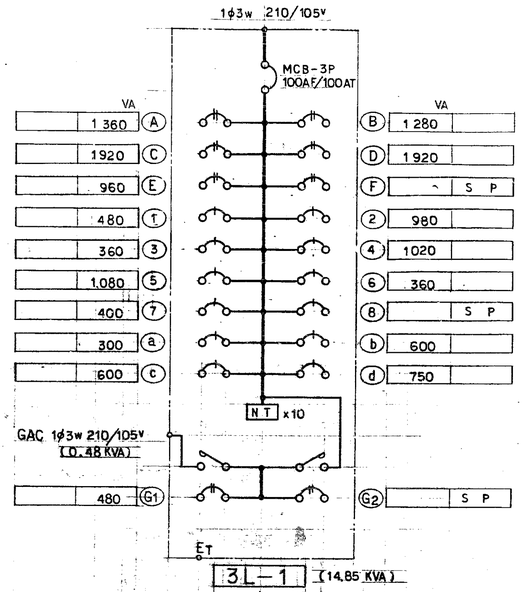
承認	調査	設計	写図

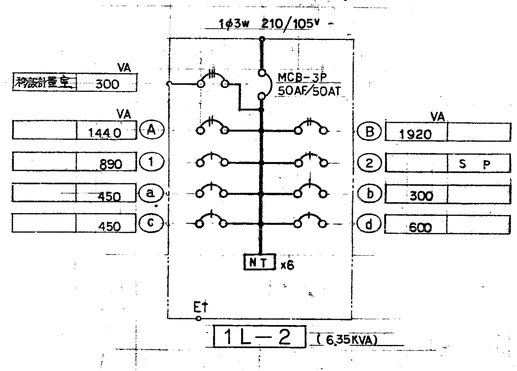
尺度 ―

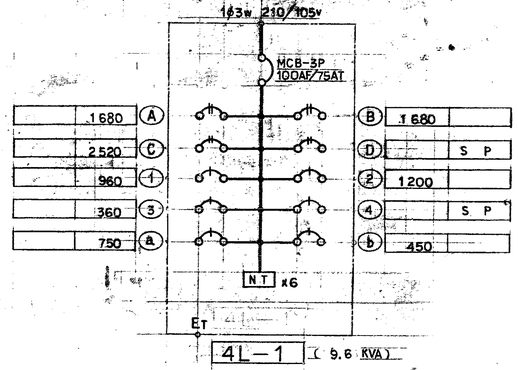
昭和 59年 1月 29日
株式会社 タクマ

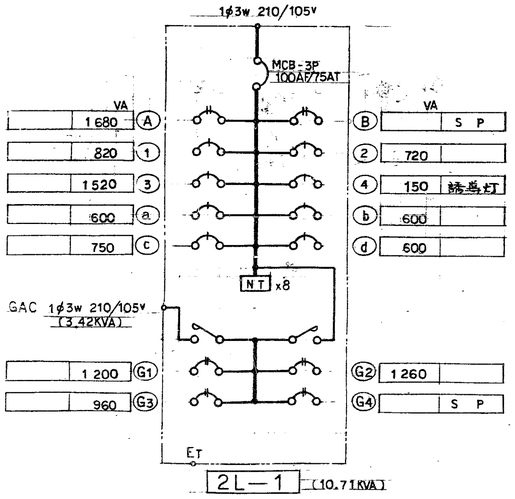
T63 (C)











特記事項

1 電灯分電盤回路番号は、下記の通りとする。

A B C	---- 200V 電灯回路
1 2 3	---- 100V 〃
a b c	---- 〃
G1 G2 G3	---- 〃

凡例

記号	名称	摘要
	電灯分電盤	結線図参照
	蛍光灯	
	〃	壁付
○	白熱灯	
○	〃	壁付
◎	水銀灯	
●	非常照明器具	建築基準法による
	避難口誘導灯(壁付)(埋込)	消防法による
•	タンブラスイッチ	片切 15A
•3	〃	3路 10A
•AS	自動点滅器	光電式
◦	パイロットランプ	
⊕	コンセント	2P 15A
⊕E	〃	〃 接地極付
⊕WP	〃	〃 防水型
ⓘ	相互式インターホン	12局同時通話式
ⓒ	〃	〃 鉄面入
	増巾器	2バンドラジオ付 60w
	マイクロフォン	
	スピーカ	トランペット型 5w
	〃	壁付 2w
Ⓣ	電話用アウトレット	壁付
	無電柱	
	温度計	直結L形
	〃	隔測形
	フロートレス電極	
	フロートレススイッチ	
OLS	リミットスイッチ	
•	ドラフト検出端	
	変換器一般	
	電磁弁	
	電油式調節弁	
	電動式ダンパー	
W D	配線ダクト	
	プルボックス	寸法表参照
	配管配線	埋込 IIAペリ、鋼製
	〃	床内埋込
	〃	立上げ 引下げ
	地中埋設配線	
	予備配管	

訂正記号	訂正個数	日付	指示	調査	調査	引出
		記事				
⚠						
⚠						
⚠						
⚠						

昭和 年 月 日 係員 係長

福山市建設局建築部建築課

照合	名称	一台分数量	材質	記事
HL-0907形 じん芥焼却プラント				
照合				
分電盤結線図				

図番 E-11078

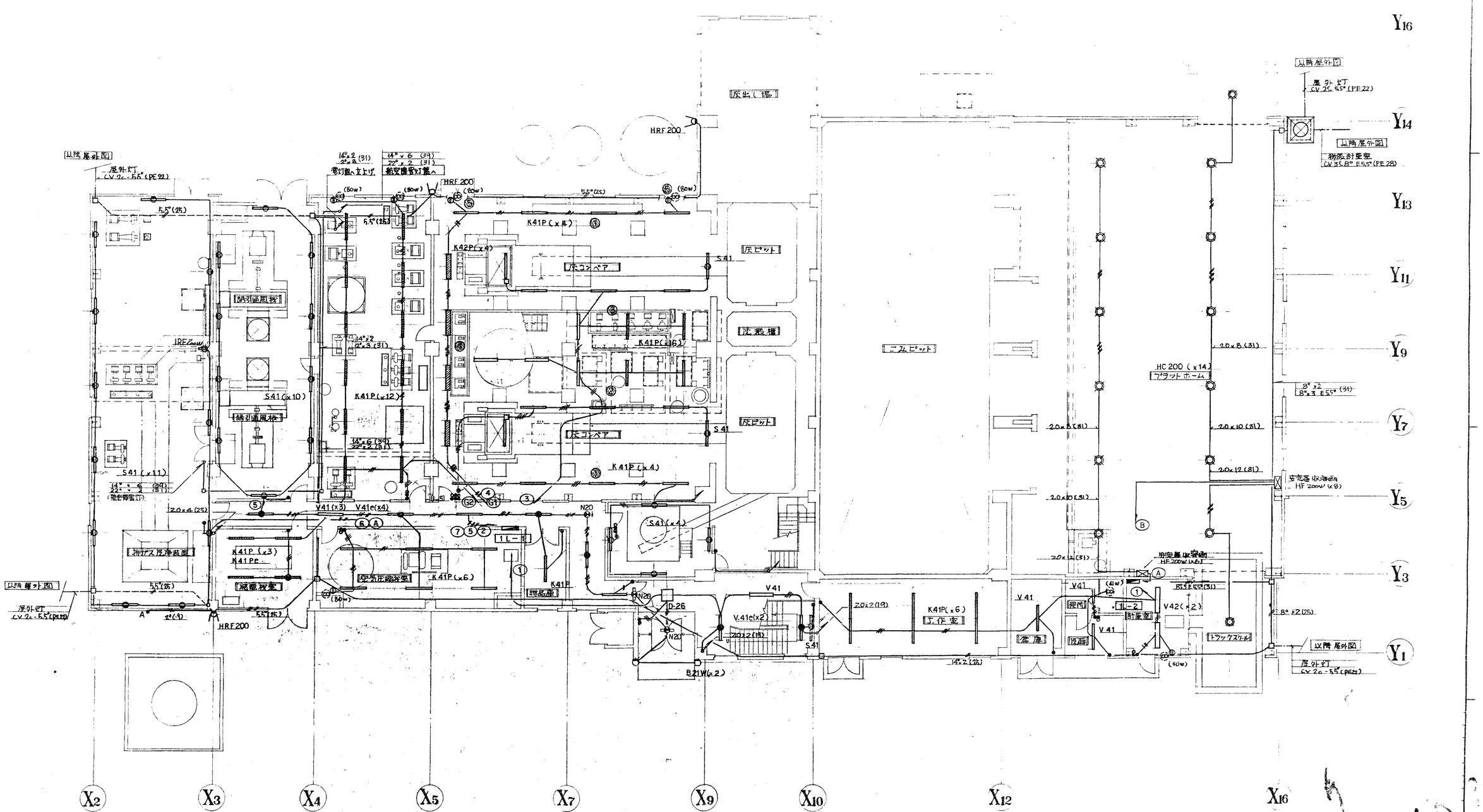
承認 調査 設計 写図

尺度 — 昭和54年1月29日

東京都 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事



(注) 配管記号サイズ 記入なき場合下記による。

———	2.0 × 3 (19)
—//—	2.0 × 3 (19)
—///—	2.0 × 4 (25)
—////—	2.0 × 5 (25)
—/////—	2.0 × 6 (25)

昭和　年　月　日　作図

福山市建設局建築部建築課

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

図番 E-11074

承認	調査	設計	写図

1階 照明配線図

尺度 1/100　昭和54年1月29日

株式会社タクマ

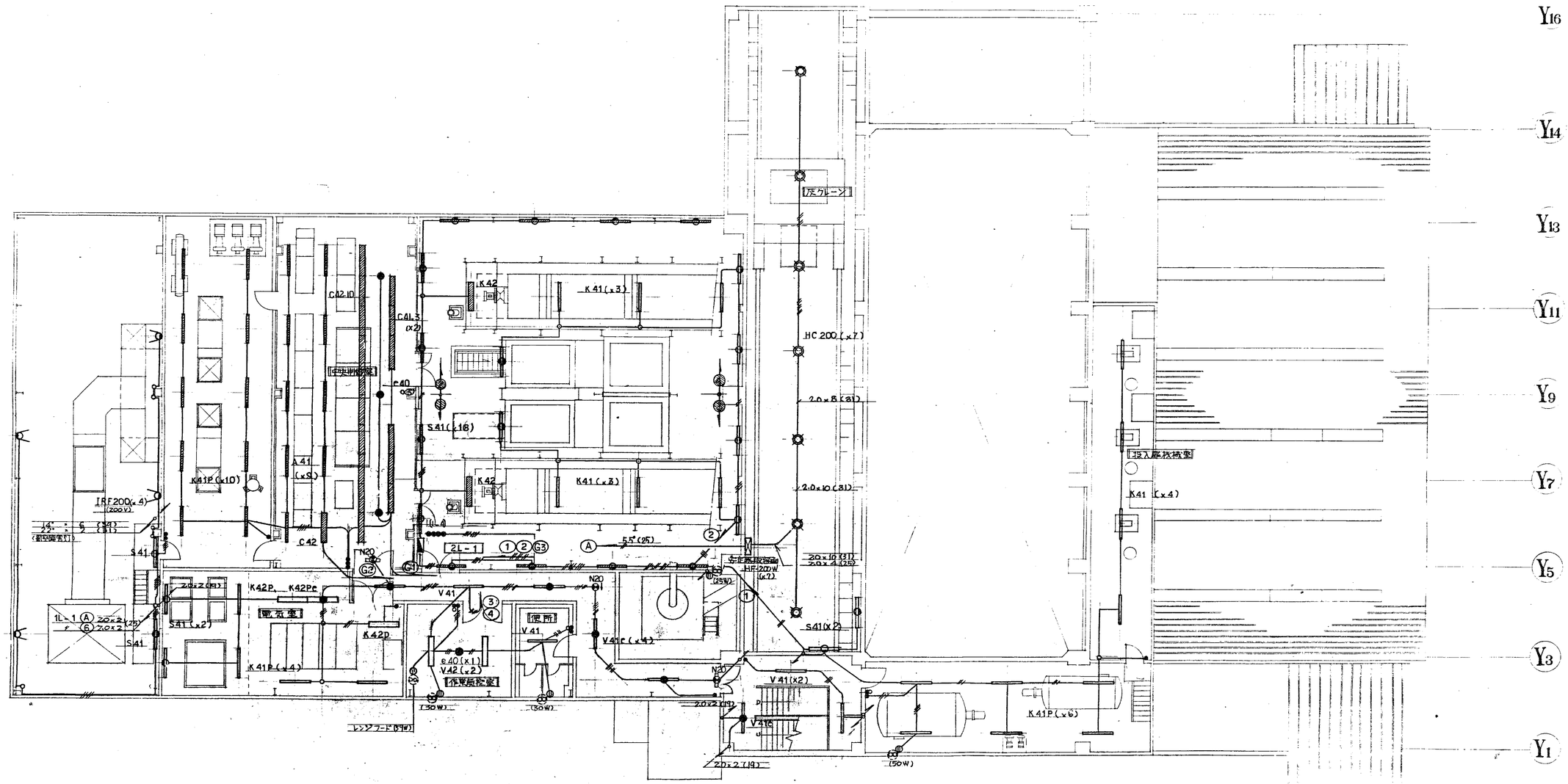
T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	調査	承認
1						
2						
3						
4						

X9　X10　X12

Y16　Y14　Y13　Y11　Y9　Y7　Y5　Y3　Y1



昭和　年　月　日　作成　福山市建設局建築部建築課　課長　部長

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				
	2階 照明配線図			

E-44075

承認　調査　設計　写図

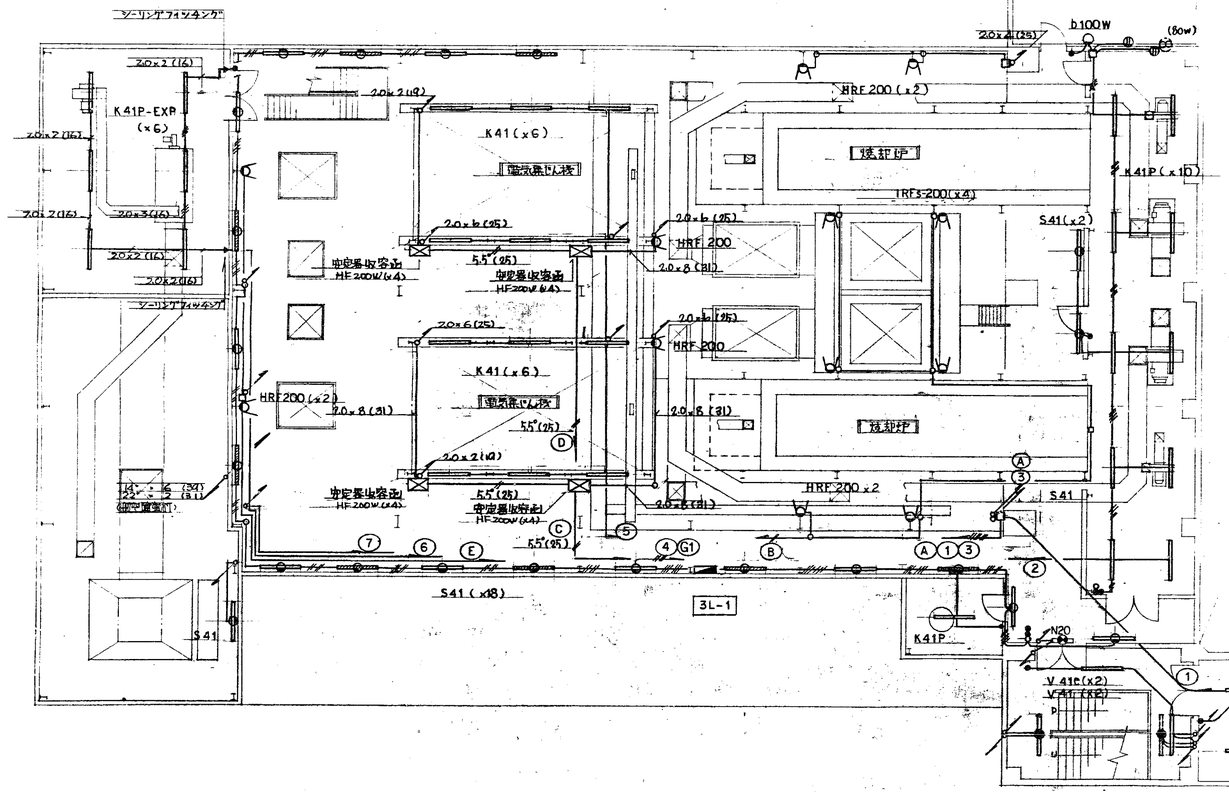
尺度 1/100　昭和54年1月29日　株式会社タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

X9　X10　X12

Y16　Y14　Y13　Y11　Y9　Y7　Y5　Y3　Y1



昭和　年　月　日	係員	係主	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907 じん芥焼却炉			
照合				

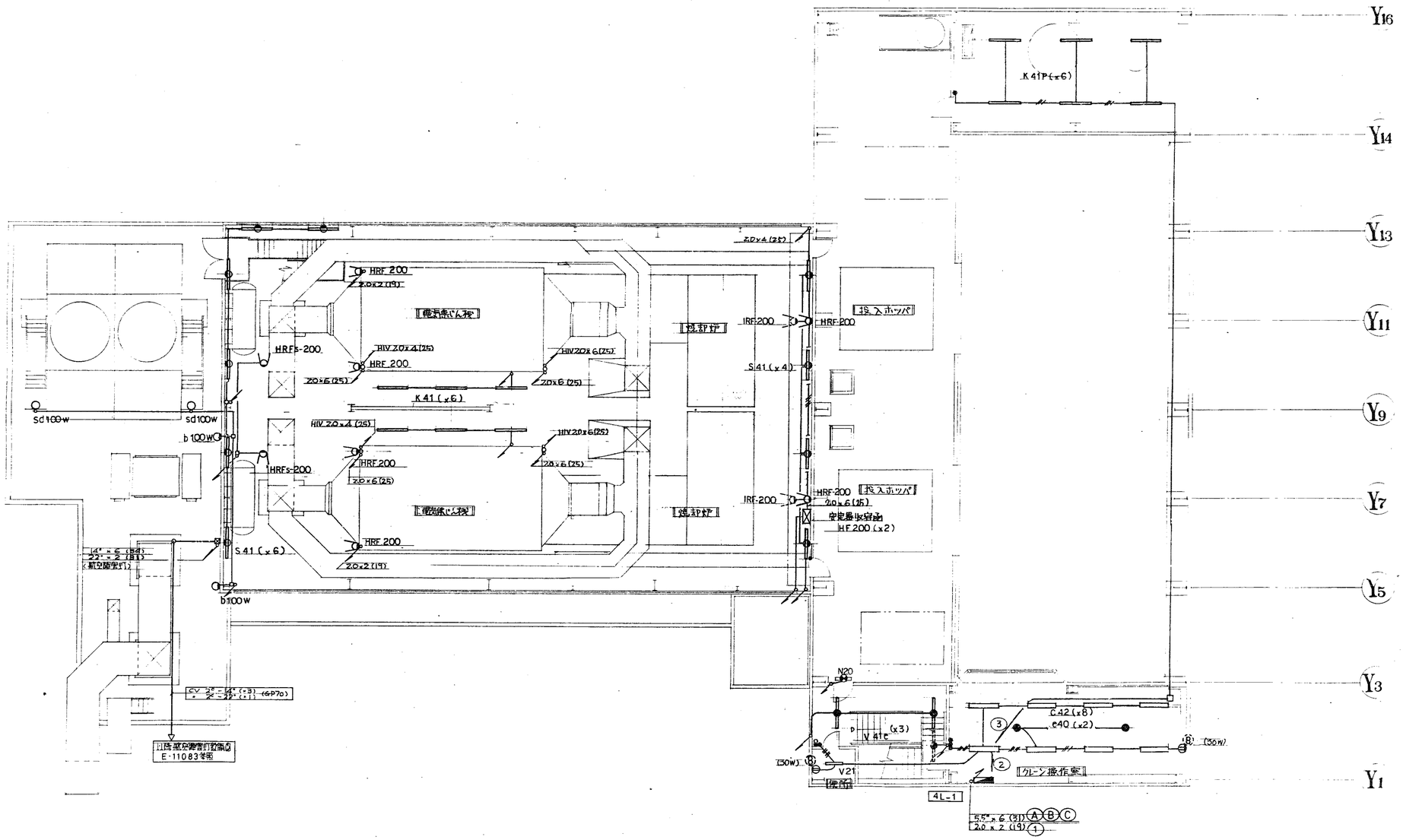
図番	E-11076			
承認	調査	設計	写図	
尺度	1/100	昭和54年1月29日		

3階 照明配線図

株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　富山市西部清掃工場建設工事



昭和　年　月　日	係員	係主		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

照合	名称	一台分数量	材質		記事

HL-0907形
じん芥焼却プラント

照合

ホッパ階照明配線図

図番 E-11077

承認		調査	設計	写図

尺度 1/100

昭和54年1月29日

日立造船株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正個数	印	作	設	調	査	計	長
1								
2								
3								
4								

X9　X10　X11　X12

Y16　Y14　Y13　Y11　Y9　Y7　Y5　Y3　Y1

K 41 (x8)

ごみ クレーン

HC-300 (x4)　HC-700 (x4)

HIV 20x2 (19)

電気室(ん)

HRFs-200 (x1)
HRFs-202 (x2)

HIV 20x4 (25)　HIV 20x6 (25)

安定器収容函
HF 300W (x4)

20x3 (31)

5.5°x2 (25)

HIV 20x4 (25)　HIV 20x6 (25)

HIV 20x2 (19)

電気室(ん)

HRFs-200 (x1)
HRFs-202 (x2)

HC-300 (x3)

ごみ クレーン

K 41 (x8)

安定器収容函
HF 300W (x3)

5.5°x2 (25)　5.5°x4 (25)

安定器収容函
HF 700W (x4)

4L-1
5.5°x6 (31)
20x2 (19)

昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

図番 E-11078

承認　調査　設計　写図

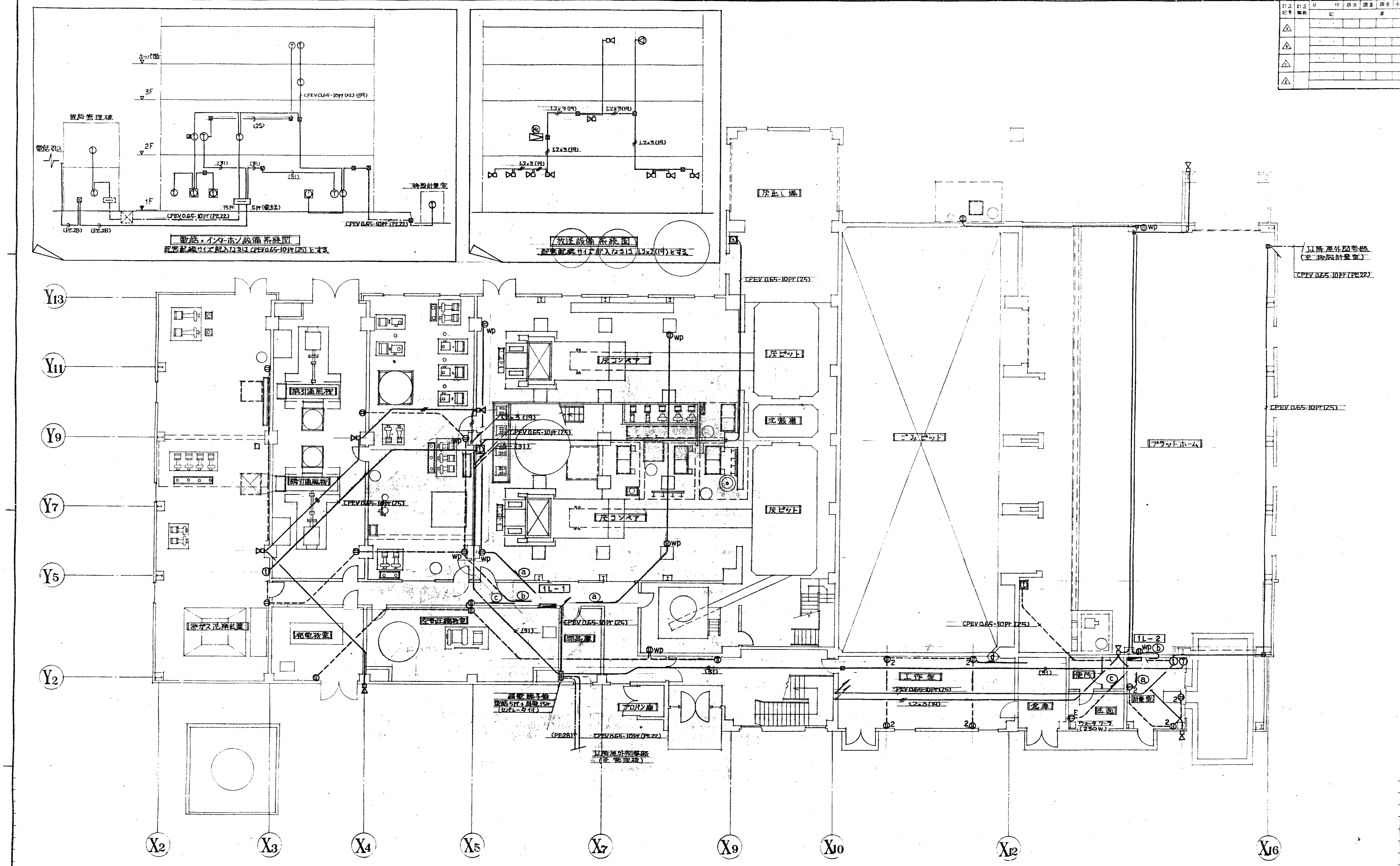
尺度 1/100　昭和54年1月29日

クレーン階照明配線図

株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 福山市西部清掃工場建設工事



(注) コンセント設備において 配管配線サイズ記入なきは 下記による。

20x2 (19)

昭和 年 月 日	係員	係長	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合			図番	E-11079
	1階 コンセント・弱電配線図		尺度 1/100	昭和54年 1月29日 株式会社 タクマ

承認 調査 設計 写図

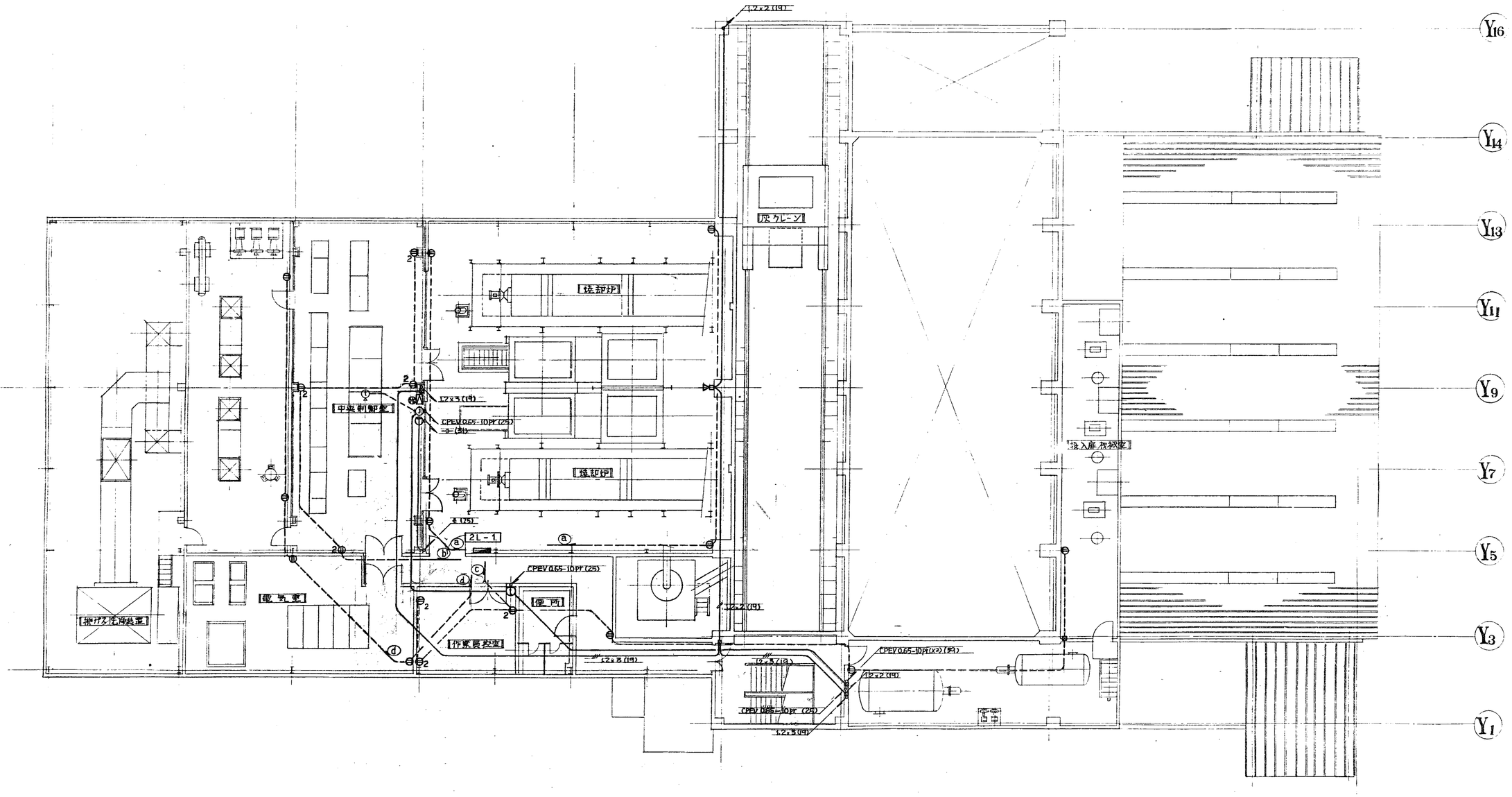
T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

打直記号	打直箇数	日付	担当	課金	課金	摘要
1						
2						
3						
4						

X2　X3　X4　X5　X7　X9　X10　X12　X16

Y16　Y14　Y13　Y11　Y9　Y7　Y5　Y3　Y1



注記

1) 3-1L 点滅器取付位置は、壁埋込型とする。

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課　課長　部長

図番 E-11080

承認　調査　設計　写図

尺度 1/100　昭和54年1月29日　株式会社タクマ

2階コンセント・弱電配線図

T63 (C)

第三角投影法 | 福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	課長	係長	承認
		記事				
⚠						
⚠						
⚠						
⚠						

X2 X3 X4 X5 X7 X9 X10 X12

Y16 Y14 Y13 Y11 Y9 Y7 Y5 Y3 Y1

再加熱器

電気集じん機

焼却炉

焼却炉

電気集じん機

3L-1

排ガス 洗浄装置

クレーン運転室

12×2(19)

CPEV 0.65-10P (25)

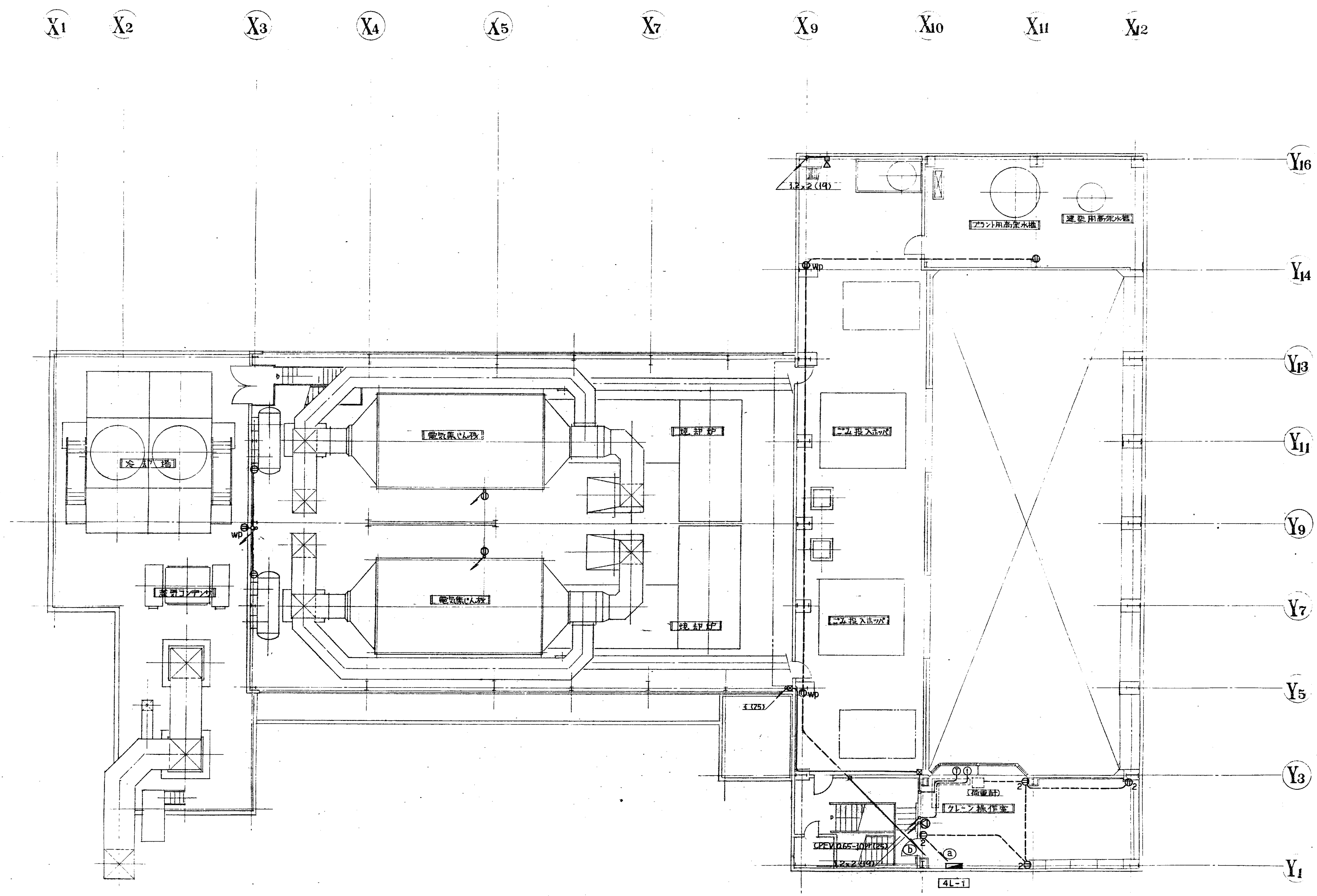
昭和 年 月 日	係員	係長	課長	承認
福山市建設局建築部建築課				

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

図番	E-11081
承認	調査 設計 写図
尺度	1/100
昭和54年1月29日	東京都港区 タクマ

3階 コンセント・弱電配線図

T63 (C)



昭和 年 月 日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

照合	名称	一台分数量	材質		記事

HL-0907 形
じん芥焼却プラント

照合

ホッパ階コンセント・弱電配線図

図番 E-11082

承認		調査	設計	写図

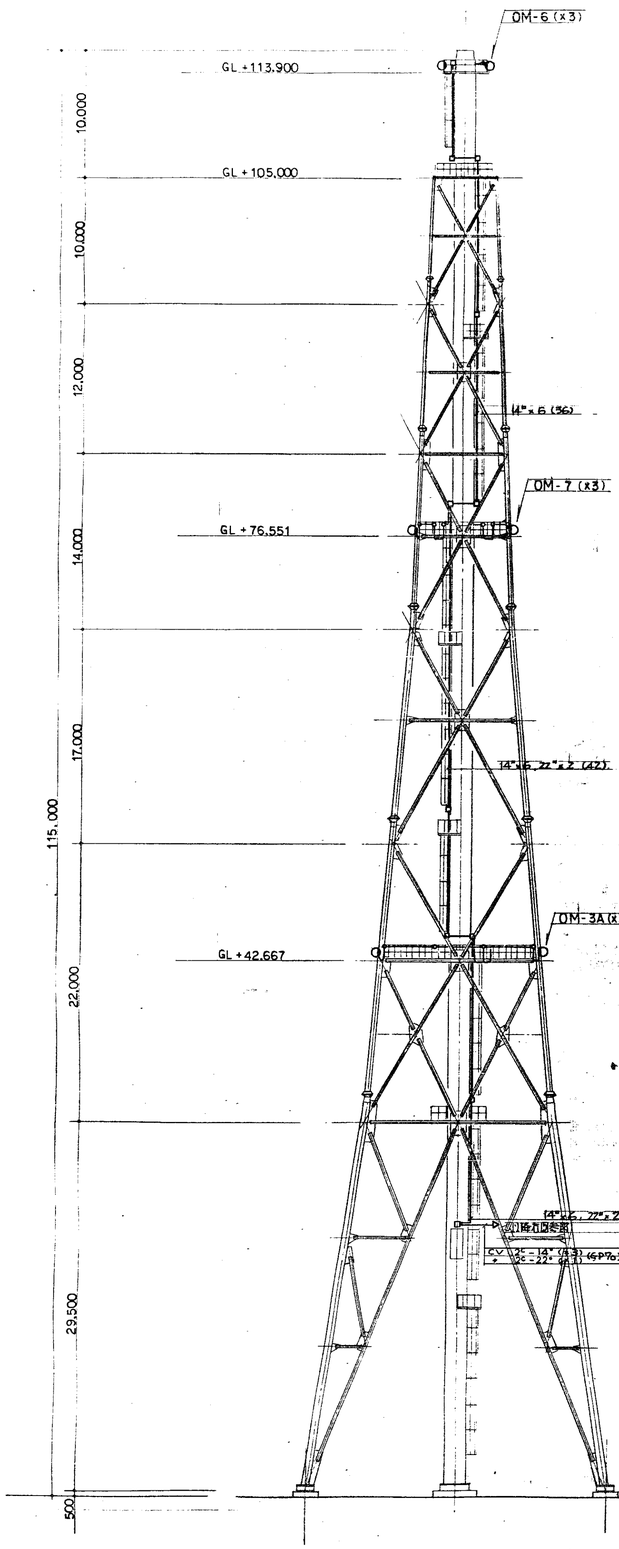
尺度 1/100

昭和54年1月29日
株式会社 タクマ

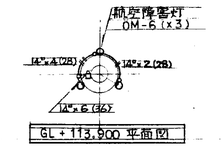
T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

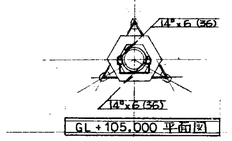
打正記号	打正箇数	日付	取当	調査	調査	承認
		記事				
1						
2						
3						
4						



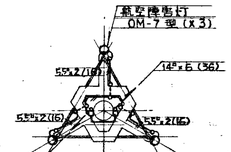
煙突立面図 1/250



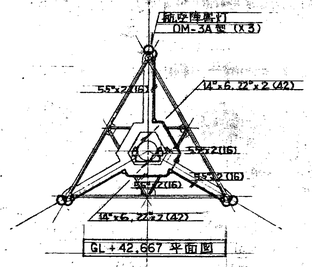
GL +113.900 平面図



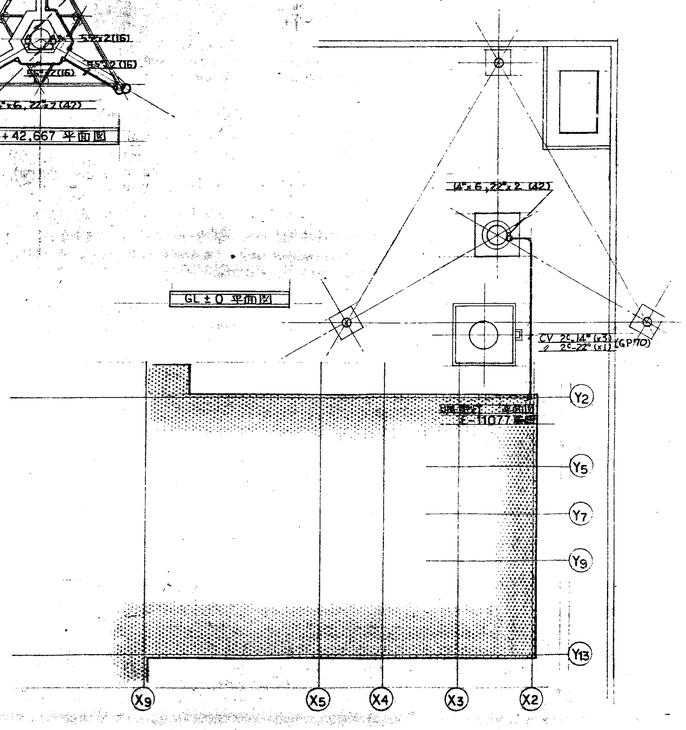
GL +105.000 平面図



GL +76.551 平面図

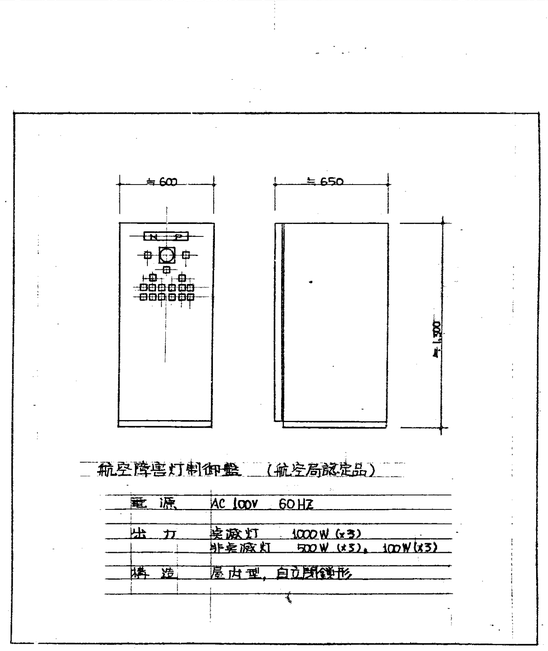


GL +42.667 平面図



GL ± 0 平面図

OM-6	高光度航空障害灯	OM-7	低光度航空障害灯	OM-3A	低光度航空障害灯
航空局承認番号 照第8号		航空局承認番号 照第4号		航空局承認番号 照第4号	
100V 500W (x2)		100V 500W (x1)		100V 100W (x1)	



航空障害灯制御盤 (航空局認定品)

電源	AC 100V 60HZ
出力	点滅灯 1000W (x3)
	非点滅灯 500W (x5), 100W (x3)
構造	屋内型, 自立閉鎖形

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

昭和 年 月 日　係員　係長　課長　部長
福山市建設局建築部建築課

図番 E-11083

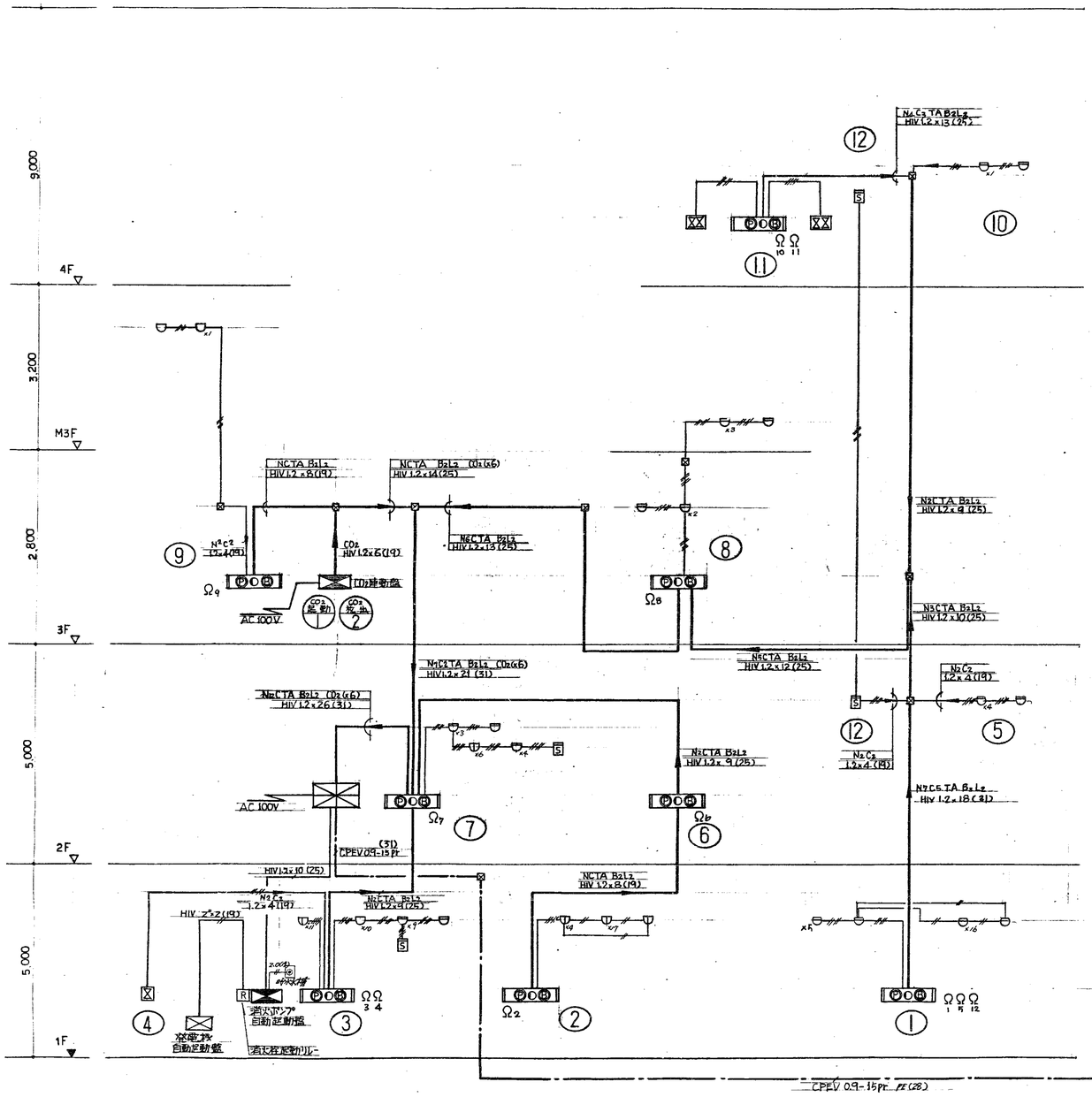
承認　調査　設計　写図

尺度 1/250　昭和54年1月29日

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	課長	課長	係長
1						
2						
3						
4						
5						



記号	名称	備考
	受信盤	P型1級 20回線 壁掛型
	副受信盤	20窓（既設管理棟）
P	発信機	P型1級
B	電鈴	150φ DC 24V
○	表示灯	AC 24V 5W
	総合盤	消火栓ボックスに組込み
Ω No.	終端抵抗（感知区域番号）	
	差動スポット型感知器	2種
	定温 〃 〃	1種
	〃 〃 〃	1種 防水
S	イオン化式煙 〃	2種
	空気管	
X	差動式分布型感知器	2種
	消火ポンプ自動起動盤	機械設備工事
	CO_2 連動盤	機械設備工事
R	消火栓起動リレー	
	配管配線経路	
⊠	プールボックス 又は ジョイントボックス	
	配管立上り，立下り	
	警戒区域	
NO	〃 番号	1～12，3階(CO2関係)

1. 配管配線サイズ記入方法は下記による

—//— 1.2 × 2 (19)

—///— 1.2 × 4 (19)

照合	名称	一台分数量	材質	記事
照合	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
	自動火災報知設備系統図			

昭和　年　月　日　作図　福山市建設局建築部建築課　係長　課長

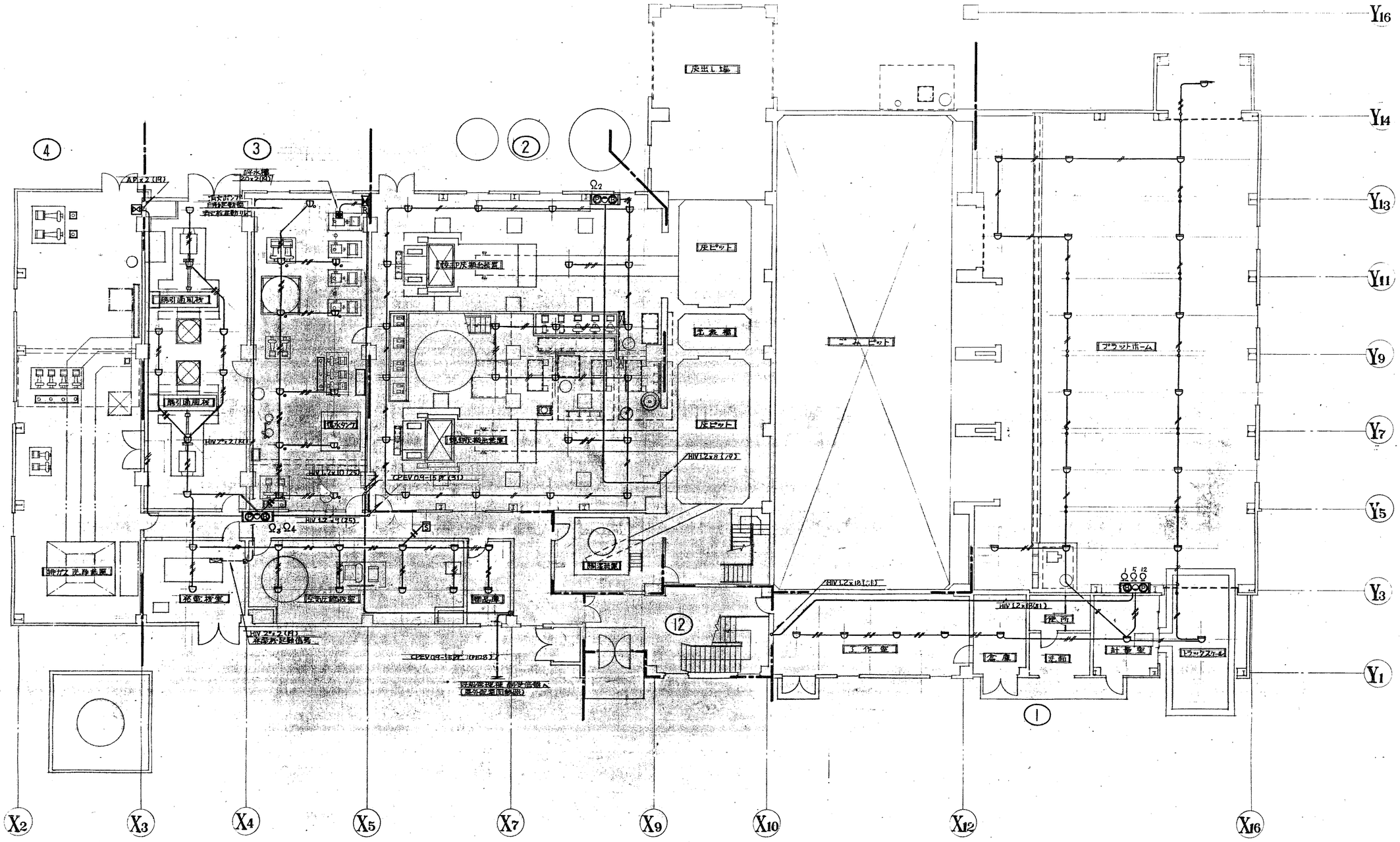
図番 E-11084

尺度 —　昭和54年1月29日　株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 | 福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	作図	調査	調査	承認
		記事				



昭和 年 月 日
福山市建設局建築部建築課

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

1階 自動火災報知設備配線図

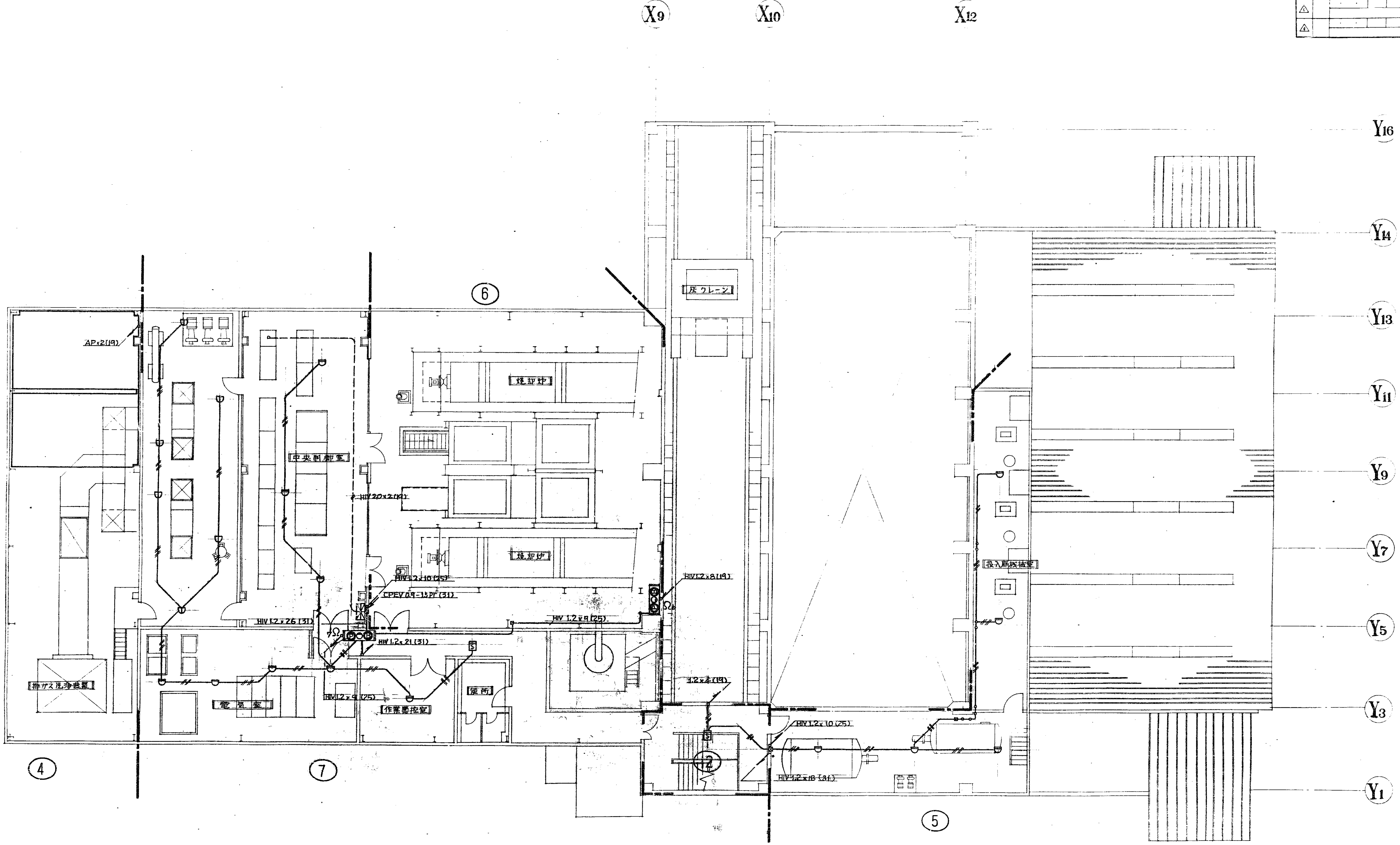
図番 E-11085

承認	調査	設計	写図

尺度 1/100 昭和 54年 1月 29日

株式会社 タクマ

T63 (C)



昭和　年　月　日	係員	係長		課長	部長
福山市建設局建築部建築課					

照合	名称	一台分数量	材質		記事

HL-0907形

じん芥焼却プラント

照合

2 階
自動火災報知設備配線図

図番 E-11086

承認		調査	設計	写図

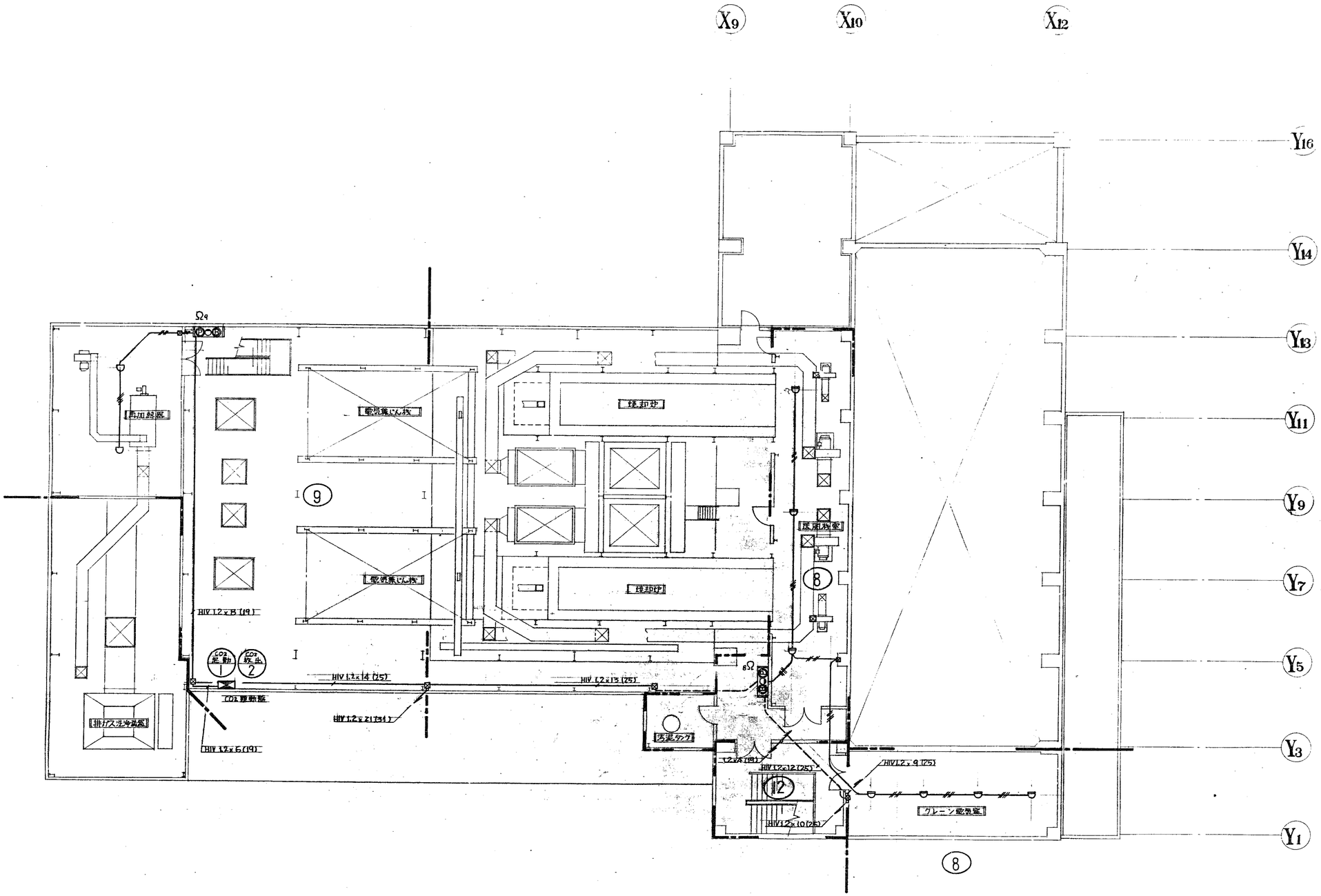
尺度 1/100

昭和 54 年 1 月 29 日

株式会社 タクマ

T63 (C)

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	課長	課長	承認
△1						
△2						
△3						
△4						



昭和 年 月 日	係員	係長	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

照合	名称	一台分数量	材質	記事

HL-0907形
じん芥焼却プラント

照合

3階
自動火災報知設備配線図

図番	E-11087
承認	調査 設計 写図
尺度	1/100
昭和54年1月29日	

株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法

福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	設計	承認
		記事				
1						
2						
3						
4						

X9 X10 X11 X12

Y16 Y14 Y11 Y9 Y7 Y5 Y3 Y1

プラント用雑排水槽 建築用雑排水槽

AP (22) (19)

冷却塔 薬品コンテナ室 電気集じん機 抹却灰 抹却炉 ごみ投入ホッパ

HIV 12×4 (19)
HIV 12×13 (25)

AP (23) (19)

HIV 12×13 (25)

12×4 (19)

HIV 12×13 (25)

便所 クレーン操作室

HIV 12×9 (25)

12 10

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				
	ホッパ階 自動火災報知設備配線図			

昭和 年 月 日 福山市建設局建築部建築課 係員 係長 課長 部長

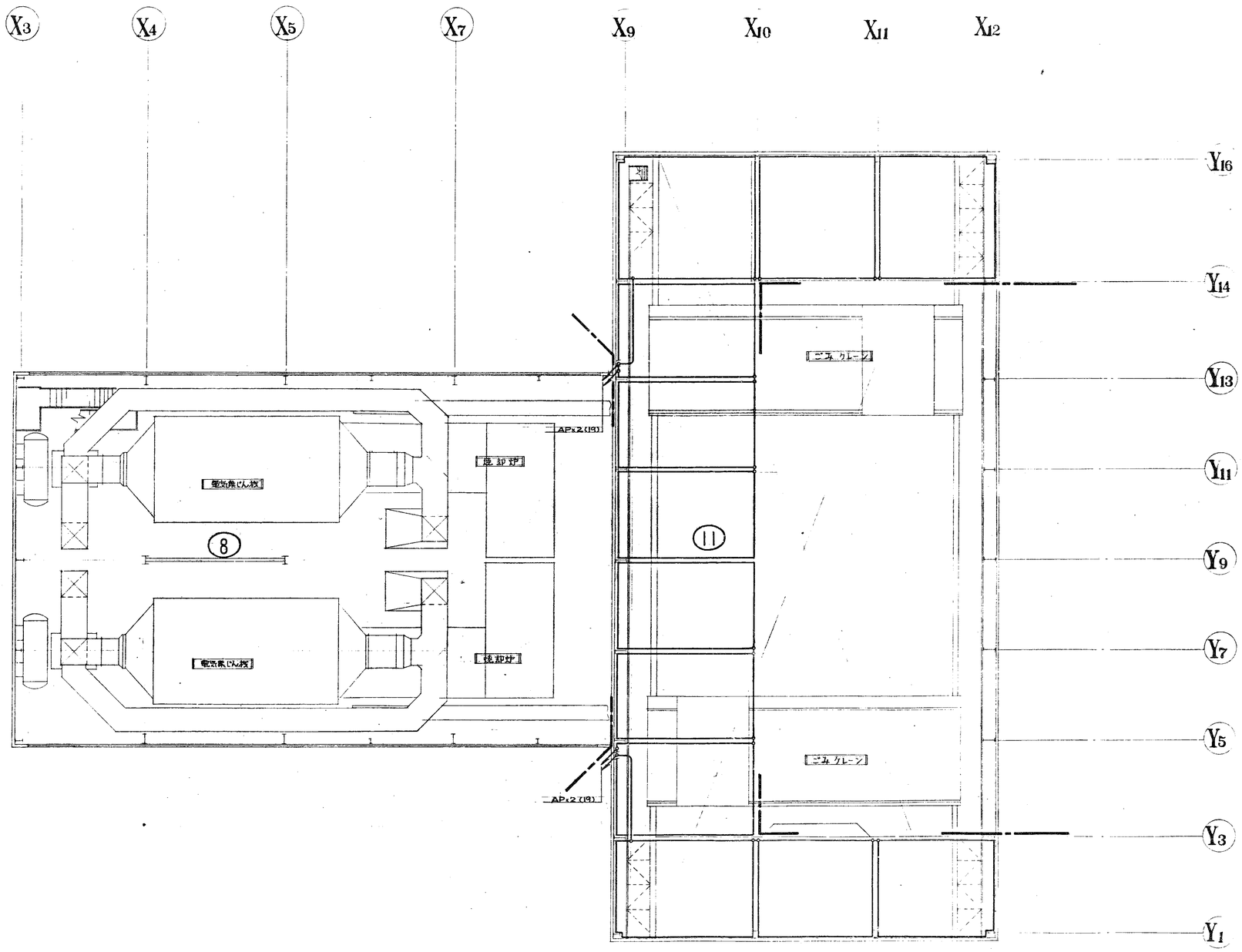
図番 E-11088

承認 調査 設計 写図

尺度 1/100 昭和54年1月29日 株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事



昭和　立　月　日	係員	係長	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

照合	名称	台分数量	材質	記事
	HL-0907ﾌﾈ じん芥焼却プラント			
照合			図番	E-11089
	クレーン階 自動火災報知設備配線図		尺度	1/100

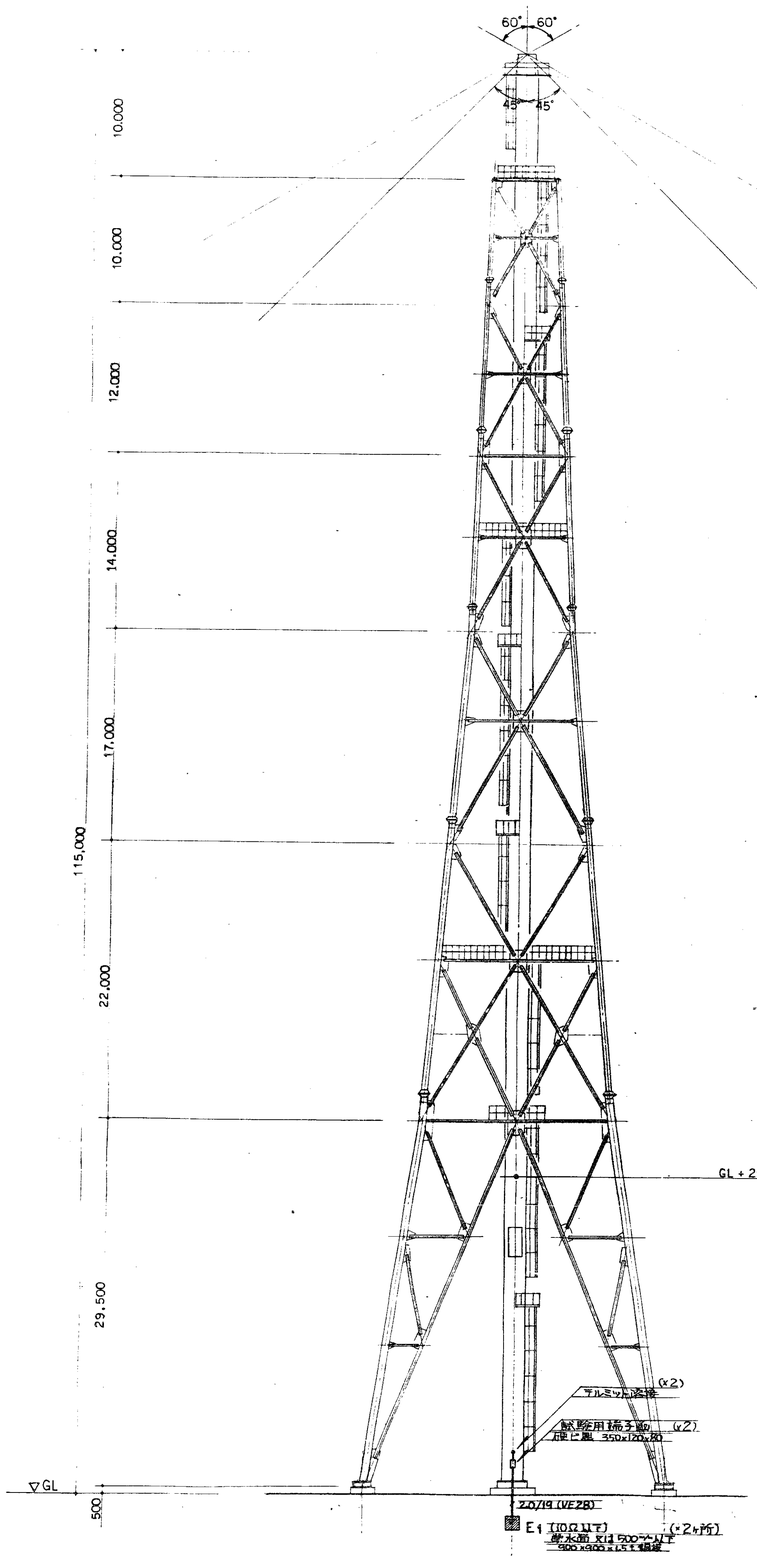
承認	審査	調査	設計	写図

昭和 54 年 1 月 29 日
株式会社 タクマ

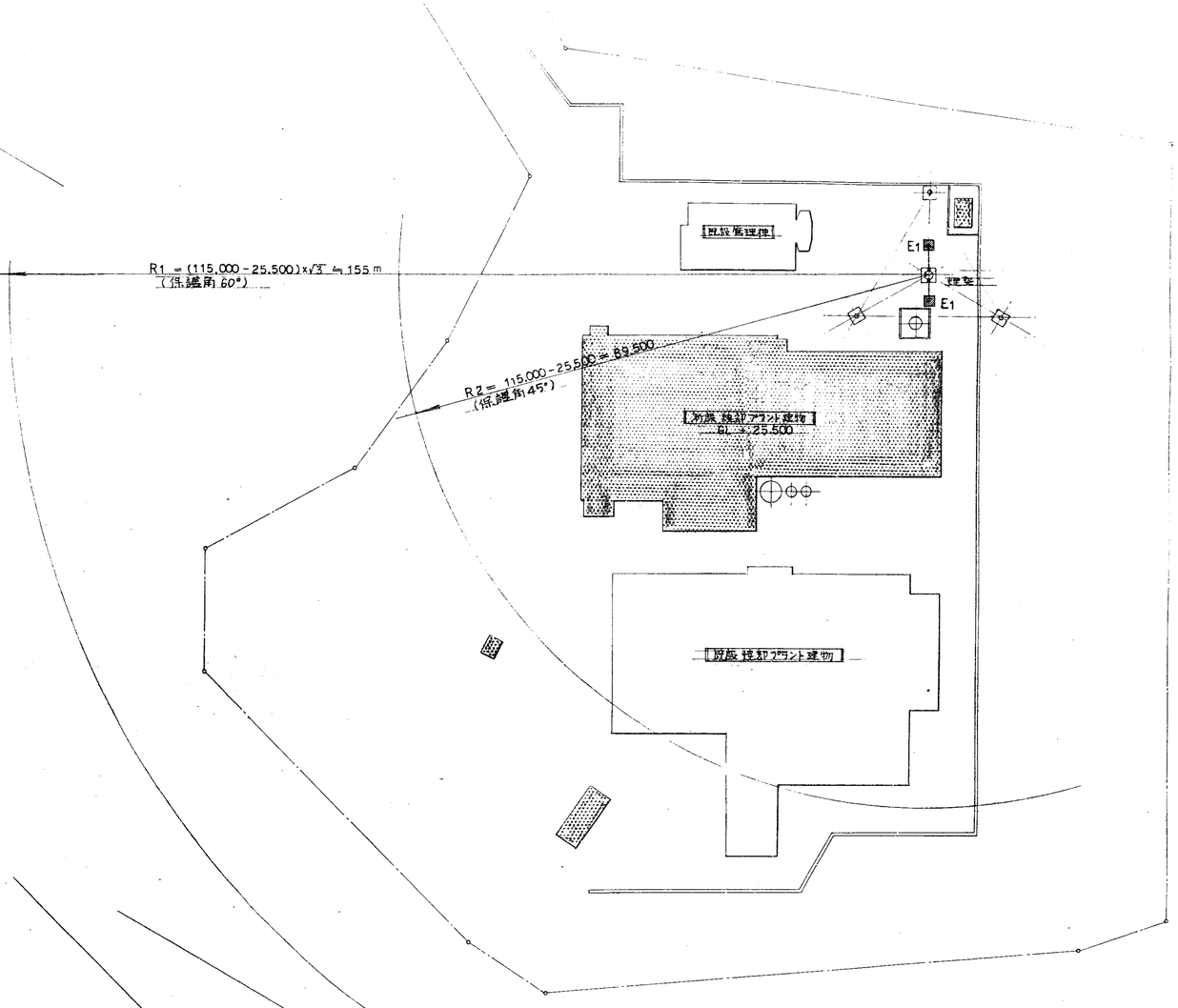
T63 (C)

第三角投影法

4部消防士場建設工事

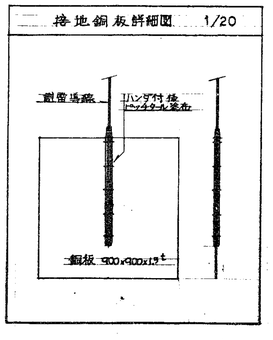


煙突立面図 1/250



屋外配置図 1/500

接地銅板詳細図 1/20



【注】本避雷針設備は JIS A-4201 に準拠すること。

昭和 年 月 日 分員	係長	主任	部長
福山市建設局建築部建築課			

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				
	避雷針設備図			

図番 E-11090

承認		調査	設計	写図

尺度 1/500

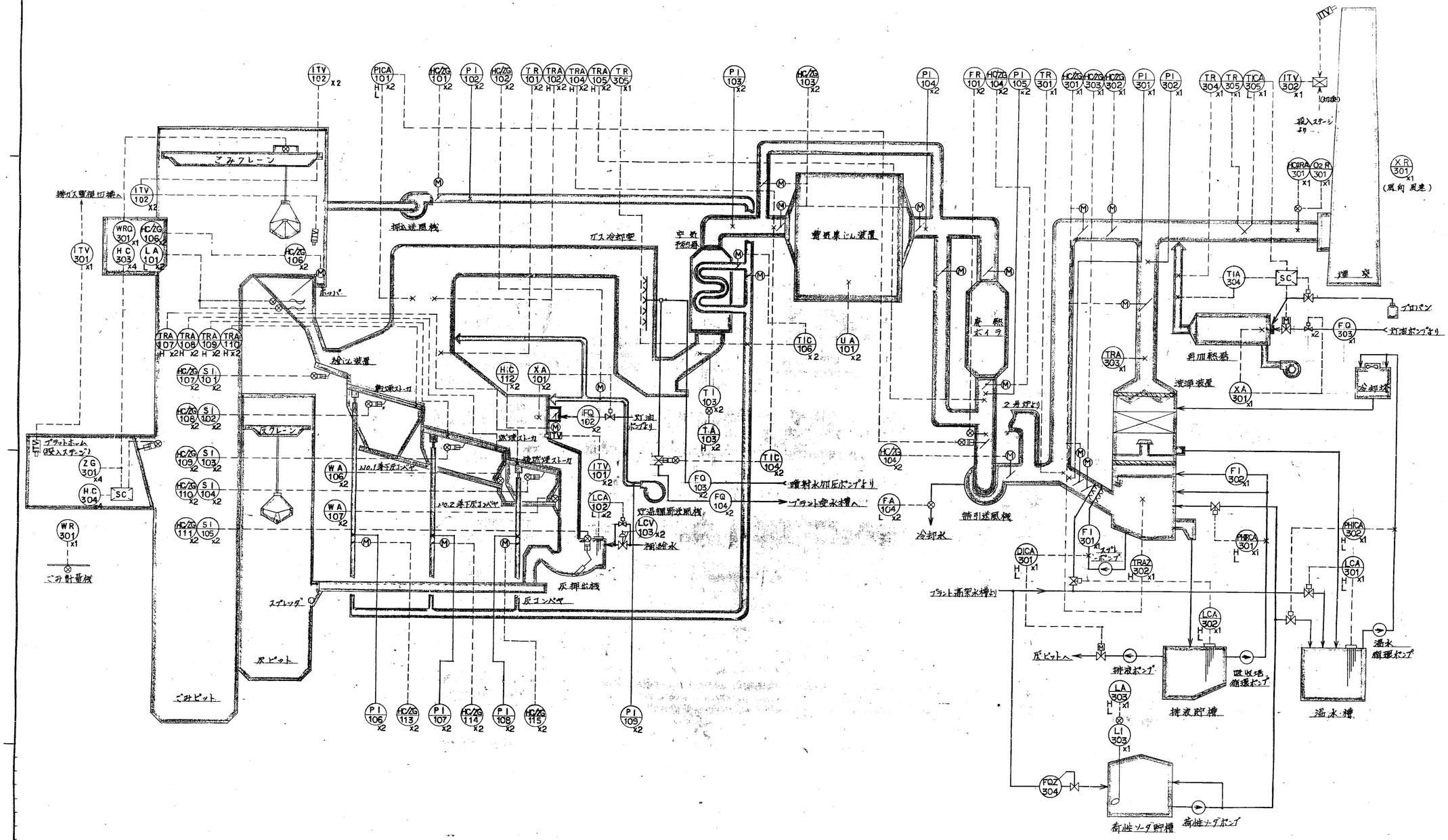
昭和54年1月29日

株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 | 福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	課長	副長	承認
		記事				



昭和 年 月 日 作成 係長 課長 部長

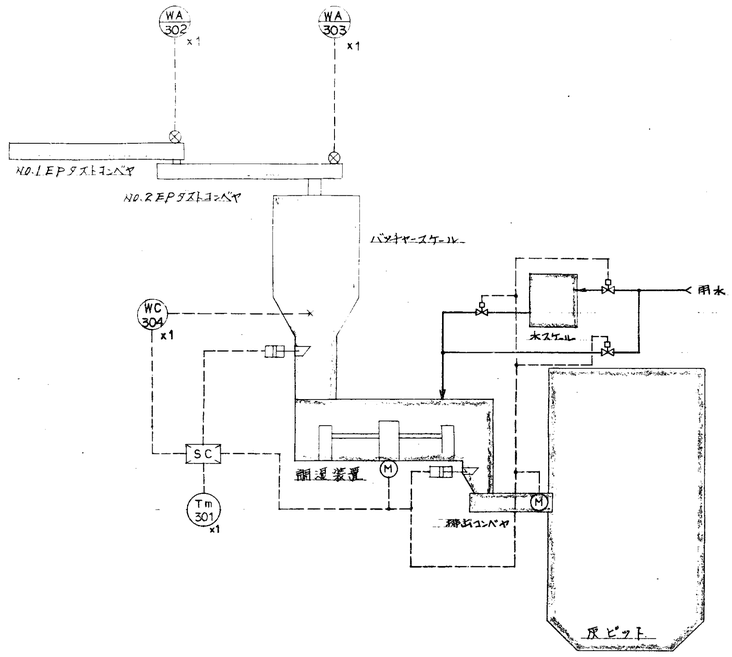
福山市建設局建築部建築課

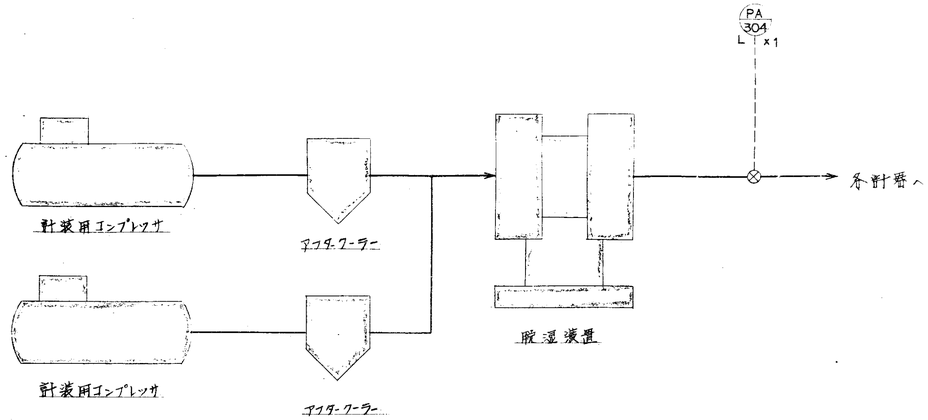
照合	名称	一台分数量	材質		記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント				
照合				図番	E-11091
				承認	調査 設計 写図
	計装系統図(炉用)			尺度	昭和54年1月29日

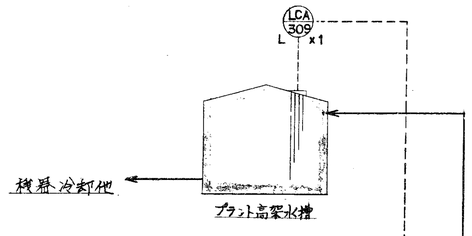
株式会社 タクマ

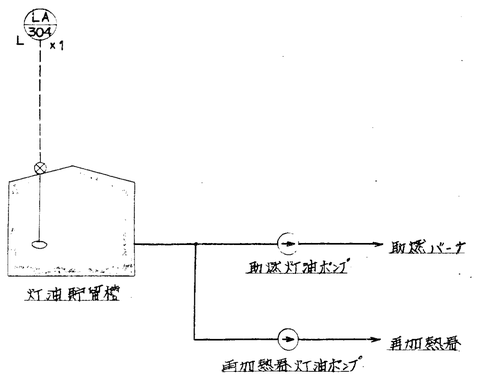
T63 (C)

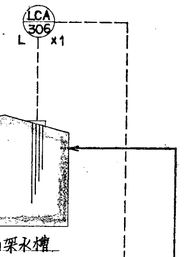
第三角投影法 | 福山市西部清掃工場建設工事

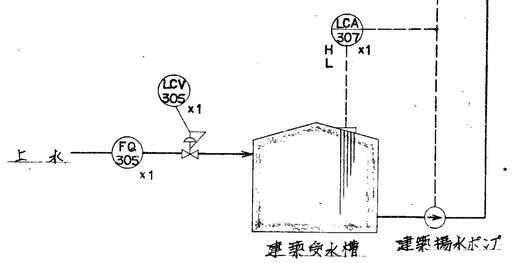


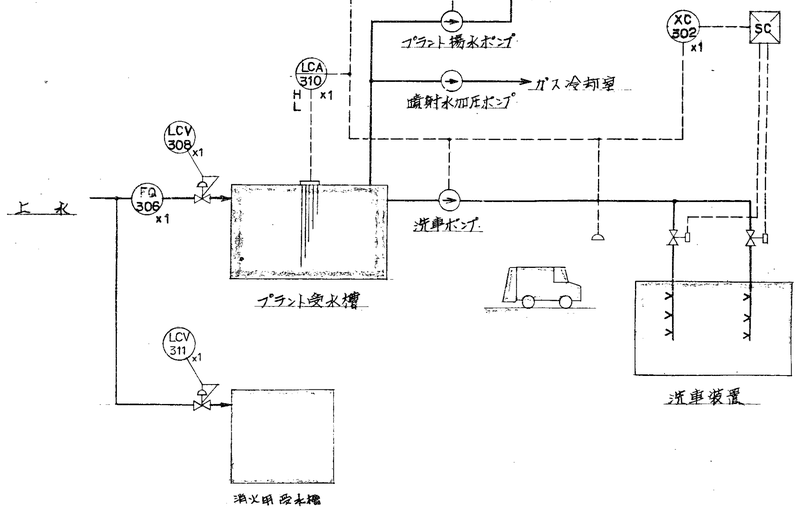












記号	年月日	担当	図番	訂正事項
1				
2				
3				
4				

昭和 年 月 日
福山市建設局建築部建築課
係員 係長 課長 部長

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

図番 E-11092

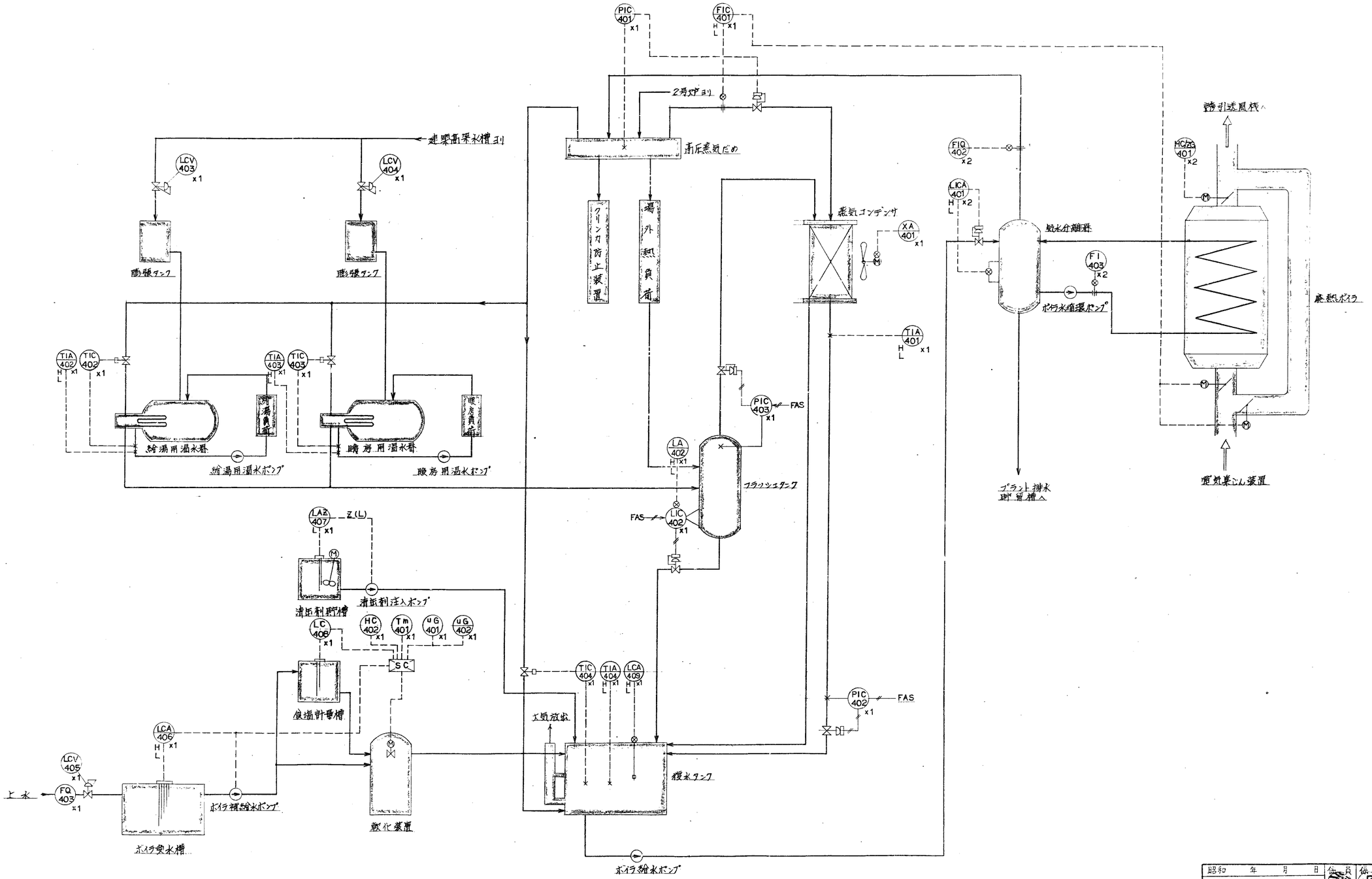
承認	調査	設計	写図

尺度 ～
昭和 54年 1月 29日
株式会社 タクマ

計装系統図(共通)

T63 (C)

第三角投影法 福山市西部清掃工場建設工事



昭和 年 月 日	作図	検図	課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

照合	名称	一台分数量	材質	記事

HL-0907形
じん芥焼却プラント

照合

計装系統図(ボイラ)

図番 E-11093

承認	調査	設計	写図

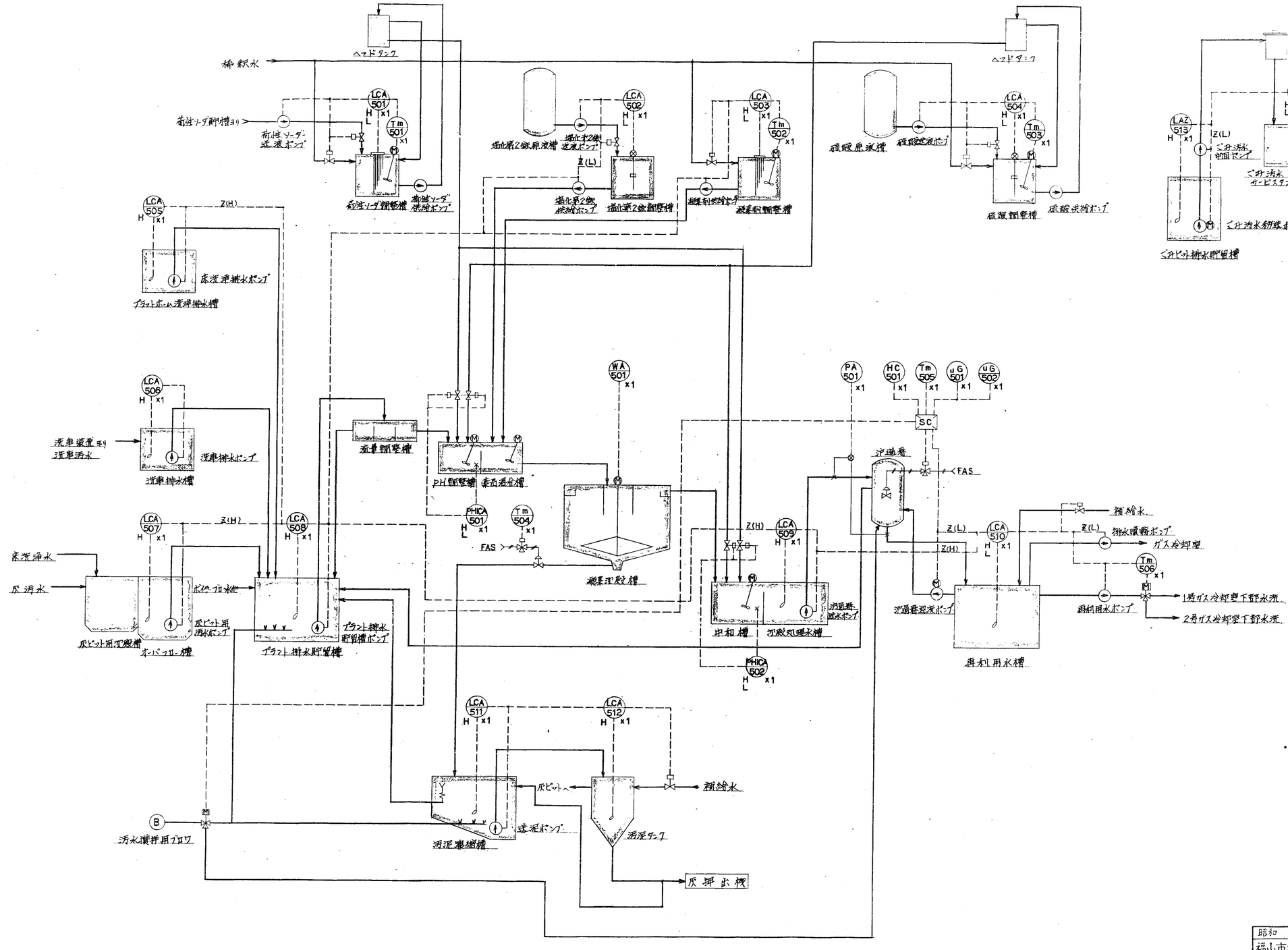
尺度

昭和 54年 1月 29日

株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 | 福山市西部清掃工場建設工事



照合	名称	一台分数量	材質		記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント				
照合					
	計装系統図(汚水)				

昭和 五 月 日 作図 福山市建設局建築部建築課 課長 部長

図番 E-11094

承認 | 照査 | 設計 | 写図

尺度 ～

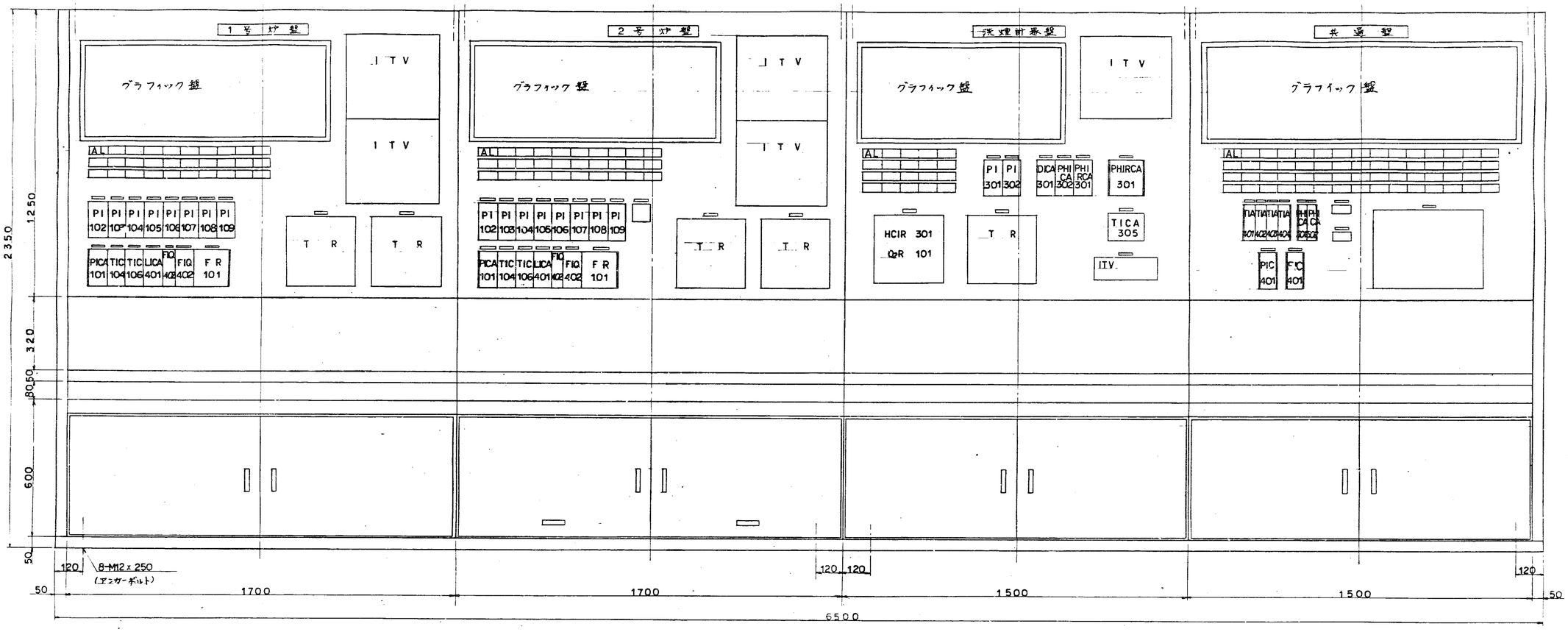
昭和54年 1月 29日

株式会社 タクマ

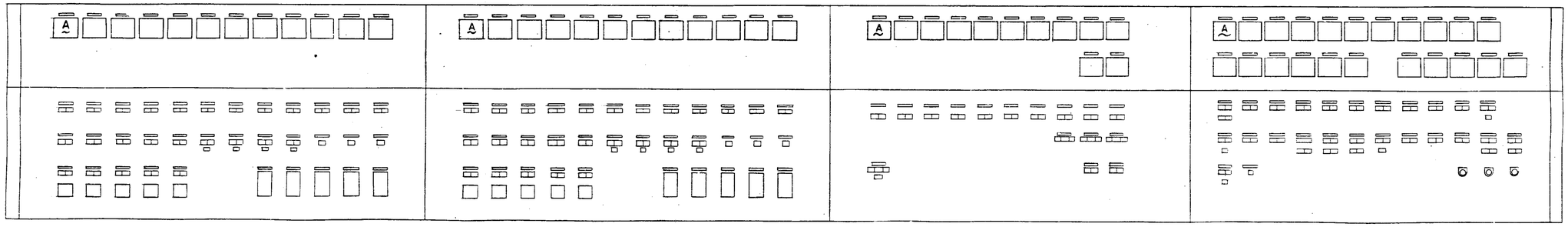
T63 (C)

第三角投影法

打正記号	打正回数	日付	検図	調査	調査	承認
⚠						
⚠						
⚠						
⚠						



正面図



〔中央計器盤〕

昭和 年 月 日 作成

福山市建設局建築部建築課

係員	係長	課長	部長

照号	名称	台分数量	材質	記事

HL-0907形
じん芥投却プラント

照号

計装計器盤図(2)

図番 E-11095

承認	調査	設計	写図

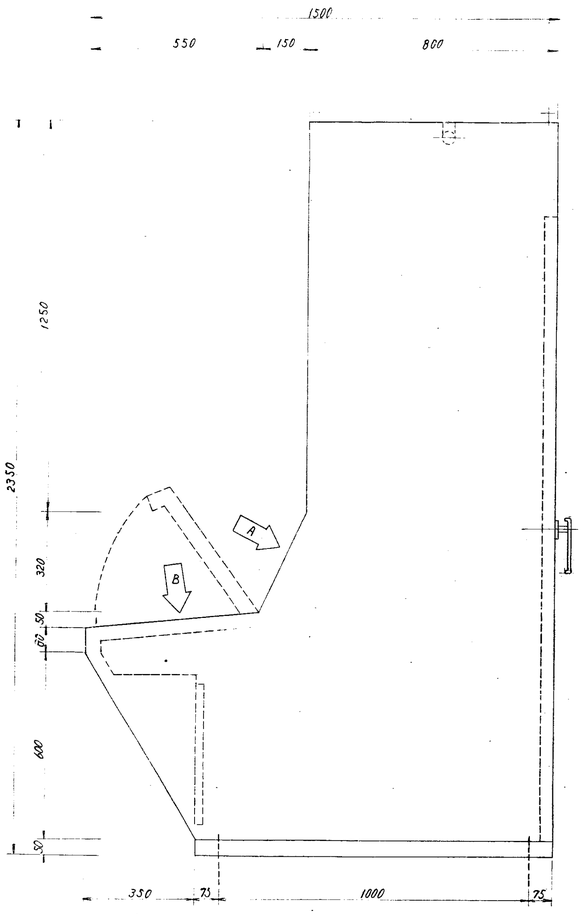
尺度 1/10

昭和54年 1月29日

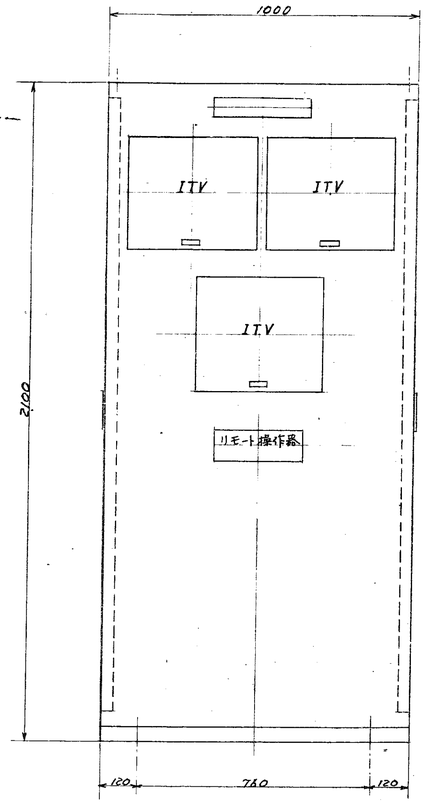
株式会社 タクマ

T63 1C

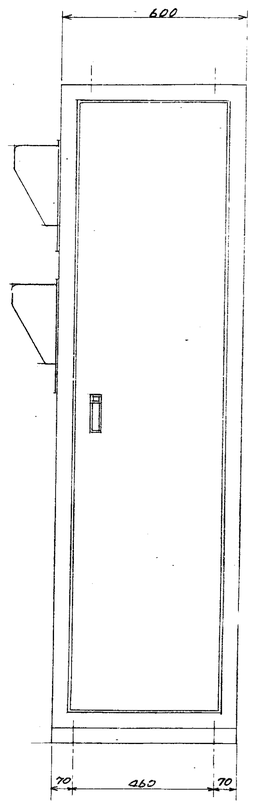
訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	調合	承認
1						
2						
3						
4						



側面図

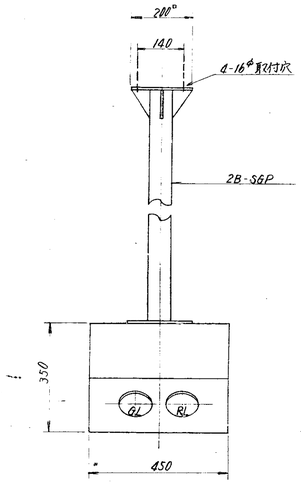


正面図

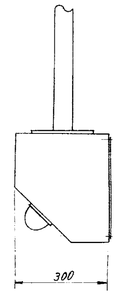


側面図

〔クレーン室モニタ盤〕



正面図



右側面図

〔じん芥投入扉開閉指令灯函〕

昭和 年 月 日	係員		課長	部長
福山市建設局建築部建築課				

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

図番	E-11096			
承認		調査	設計	写図
尺度	1/10	昭和54年1月29日		

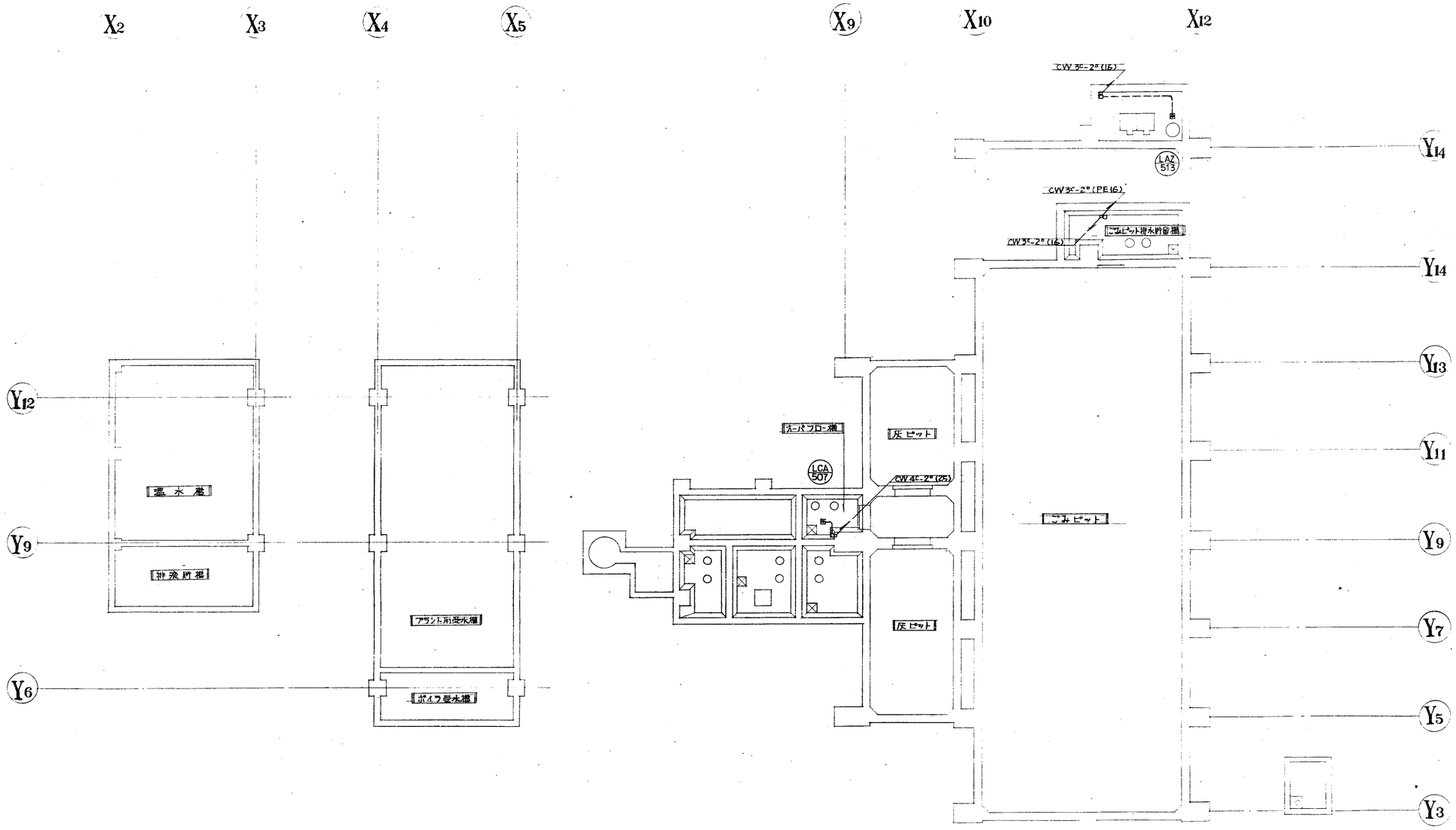
計装計器盤図(2/2)

株式会社タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正箇所	日付	担当	調査	検査	承認
1						
2						
3						
4						



照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

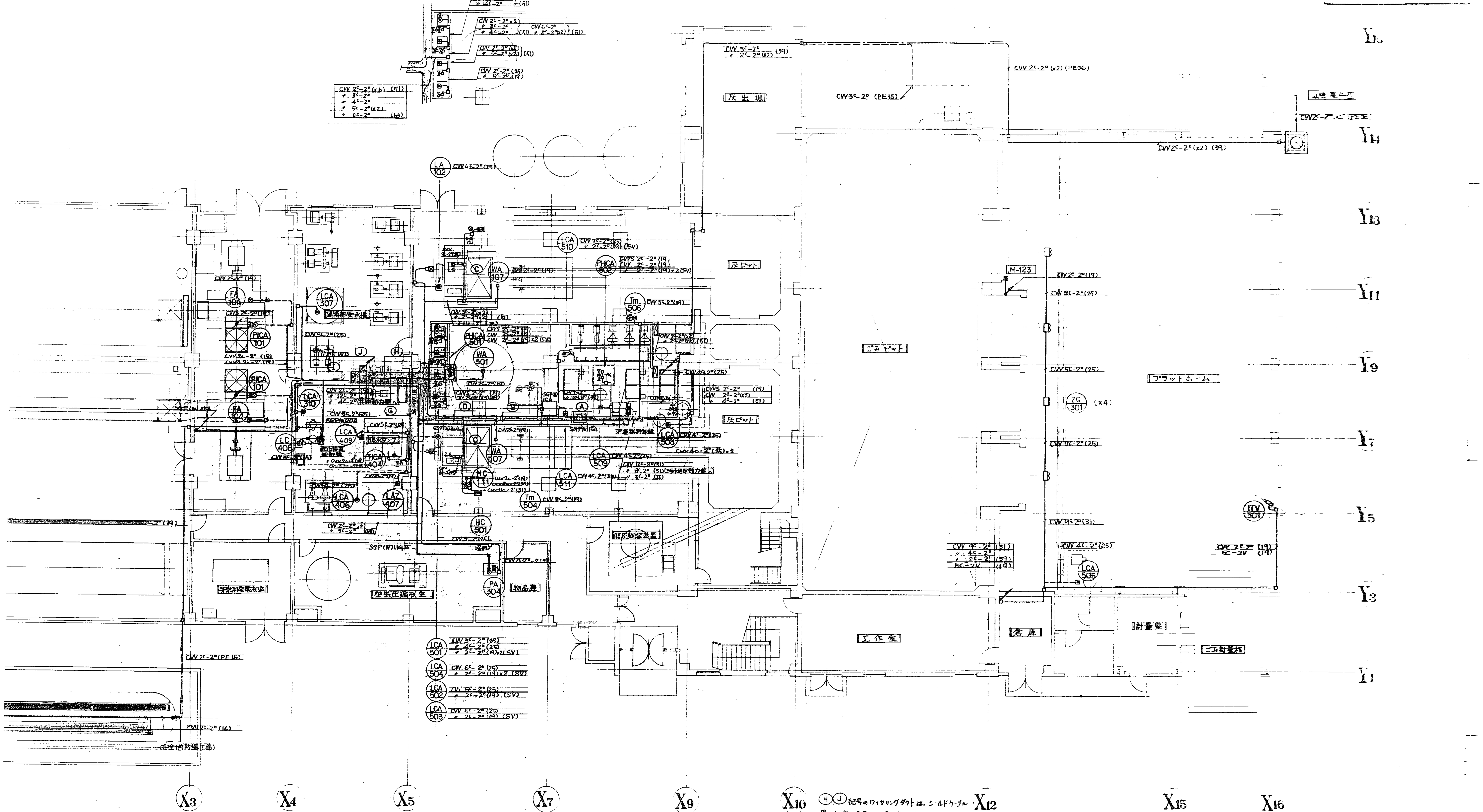
昭和　年　月　日　福山市建設局建築部建築課　課長　係長　主任　部長

図番 E-11097

承認　調査　設計　写図

尺度 1/100　昭和54年1月29日　株式会社タクマ

T63 (C)



Ⓗ Ⓙ 記号のワイヤリングダクトは、シールドケーブル用のセパレータを入れること。(50×150)

WD 200×100	Ⓒ	Ⓓ WD 200×100	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ	Ⓗ WD (250+50)×150	Ⓘ	Ⓙ WD (250+50)×150
2c-2°×8	CVV 2c-2°	CVV 2c-2°×10	CVV 3c-2° (25)	CVV 3c-2°×2	CVV 2c-2°×2	CVV 2c-2°×28	CVV 5c-2° (25)	CVV 2c-2°×33
3c-2°×2	CVV 3c-2°×2 (39)	〃 3c-2°×4	〃 2c-2°×2	〃 2c-2°×2 (51)	〃 3c-2°	〃 3c-2°×9	〃 2c-2°×3 (39)	〃 3c-2°×9
4c-2°×4	〃 11c-2° (31)	〃 4c-2°×4	〃 3c-2° (39)	〃 11c-2° (31)	〃 5c-2° (51)	〃 4c-2°×6	〃 5c-2° (25)	〃 4c-2°×6
7c-2°×1		〃 7c-2°×1	〃 4c-2° (26)	〃 3c-2° (25)		〃 5c-2°×4	〃 2c-2°	〃 5c-2°×6
8c-2°×1		〃 8c-2°×1		〃 4c-2° (25)		〃 6c-2°×2	〃 12c-2°	〃 6c-2°×2
12c-2°×1		〃 11c-2°×1			CVVS 3c-2° (25)	〃 7c-2°×1	〃 4c-2° (51)	〃 7c-2°×1
		〃 12c-2°×1						〃 8c-2°×1
…VS 2c-2° (19)						〃 11c-2°×2		〃 11c-2°×2
						〃 12c-2°×1	CVVS 2c-2°×2 (39)	〃 12c-2°×1
		CVVS 2c-2° (19)						
						CVVS 2c-2°×2		CVVS 2c-2°×4
						〃 3c-2°×1		〃 3c-2°×1

昭和 年 月 日
福山市建設局建築部建築課

照合 名称 台数 材質 記事

HL-0907形
じん芥焼却プラント

照合

1階計装配線図

図番 E-11098

尺度 1/100

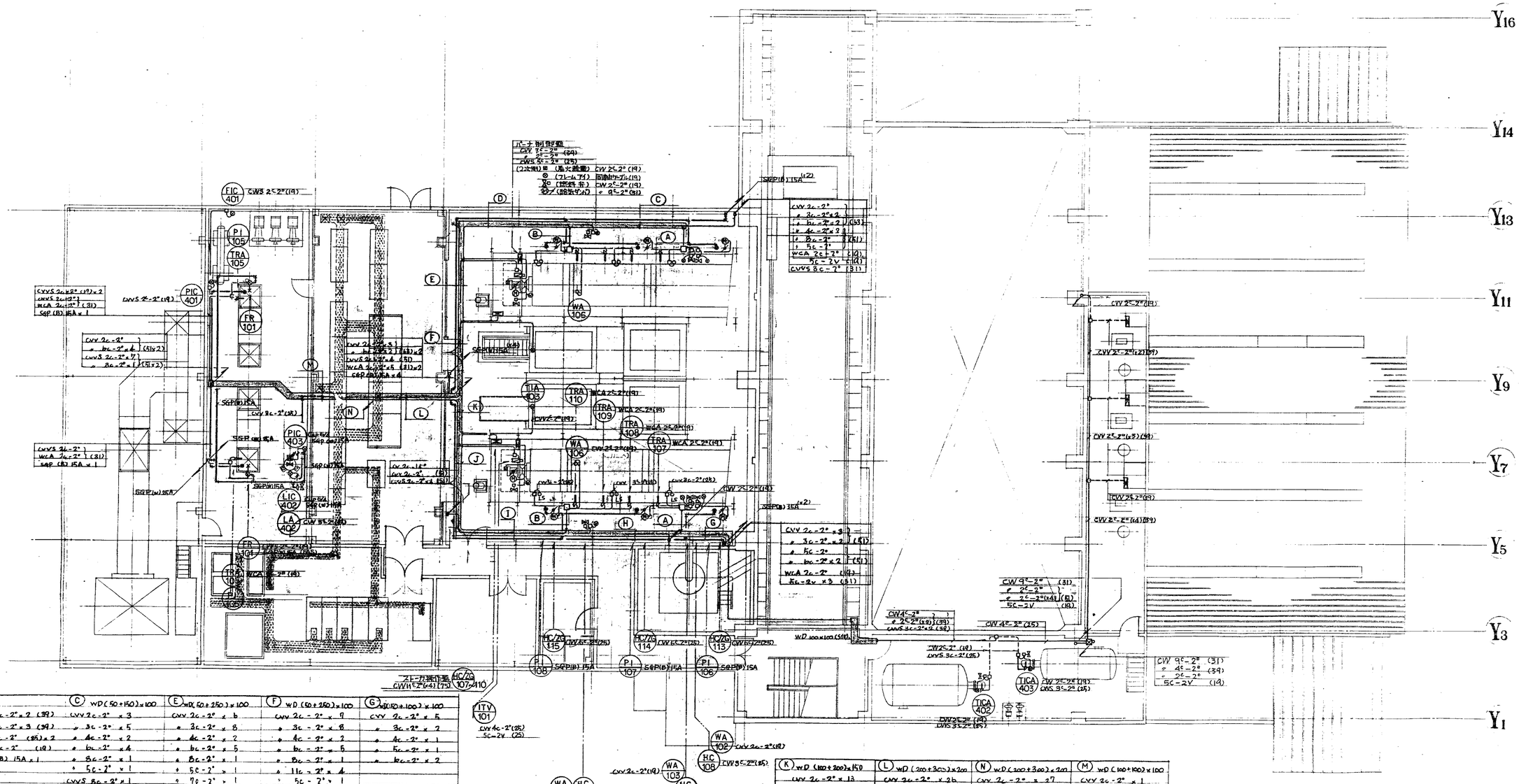
昭和54年 月 25日

タクマ

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事

X2　X3　X4　X5　X7　X9　X10　X12　X16

Y16　Y14　Y13　Y11　Y9　Y7　Y5　Y3　Y1



Ⓐ	Ⓒ WD(50+150)×100	Ⓔ WD(50+250)×100	Ⓕ WD(50+250)×100	Ⓖ WD(100+100)×100
CVV 2c-2°×2 (39)	CVV 2c-2°×3	CVV 2c-2°×b	CVV 2c-2°×9	CVV 7c-2°×5
〃 3c-2°×3 (39)	〃 3c-2°×5	〃 3c-2°×8	〃 3c-2°×8	〃 3c-2°×2
〃 bc-2° (25)×2	〃 4c-2°×2	〃 4c-2°×2	〃 4c-2°×2	〃 4c-2°×1
WCA 2c-2° (19)	〃 bc-2°×4	〃 bc-2°×5	〃 bc-2°×5	〃 5c-2°×1
SGP(B) 15A×1	〃 8c-2°×1	〃 5c-2°×1	〃 8c-2°×1	〃 bc-2°×2
	〃 5c-2°×1	〃 9c-2°×1	〃 11c-2°×4	
	CWVS 8c-2°×1		〃 5c-2°×1	
	WCA 2c-2°×2	〃 5c-2°×1	〃 bc-2°×1	CWVS 3c-2°×2
	5c-2V ×1	WCA 2c-2°×5	WCA 2c-2°×5	WCA 2c-2°×1
	SGP(B) 15A×3	5c-2V ×2	5c-2V ×2	5c-2V ×3
		SGP(B) 15A×5	SGP(B) 15A×5	SGP(B) 15A×2

Ⓑ	Ⓓ WD(50+200)×100
CVV 2c-2°	CVV 2c-2°×5
〃 3c-2°×2 (39)	〃 3c-2°×6
〃 bc-2° (25)	〃 4c-2°×2
WCA 2c-2°×3 (25)	〃 bc-2°×5
SGP(B) 15A×2	〃 8c-2°×1
	〃 5c-2°×1
	CWVS 8c-2°×1
	WCA 2c-2°×5
	5c-2V ×1
	SGP(B) 15A×5

Ⓗ WD(50+200)×100	Ⓘ WD(50+200)×100	Ⓙ WD(100+200)×150
CVV 2c-2°×8	CVV 2c-2°×10	CVV 2c-2°×11
〃 3c-2°×5	〃 3c-2°×6	〃 3c-2°×8
〃 4c-2°×1	〃 4c-2°×1	〃 4c-2°×1
〃 5c-2°×1	〃 5c-2°×1	〃 5c-2°×1
〃 bc-2°×6	〃 bc-2°×5	〃 bc-2°×5
CWVS 3c-2°×2	CWVS 3c-2°×2	CV 2c-14°×1
WCA 2c-2°×2	WCA 2c-2°×5	CVVS 2c-2°×4
5c-2V ×3	5c-2V ×9	〃 3c-2°×2
SGP(B) 15A×3	SGP(B) 15A×5	WCA 2c-2°×5
		5c-2V ×3
		SGP(B) 15A×5

Ⓚ WD(100+200)×150	Ⓛ WD(200+300)×200	Ⓝ WD(200+300)×200	Ⓜ WD(100+100)×100
CVV 2c-2°×13	CVV 2c-2°×26	CVV 2c-2°×27	CVV 2c-2°×1
〃 3c-2°×8	〃 3c-2°×16	〃 3c-2°×17	〃 3c-2°×1
〃 4c-2°×2	〃 4c-2°×4	〃 4c-2°×4	〃 bc-2°×4
〃 5c-2°×1	〃 5c-2°×2	〃 5c-2°×2	CWVS 2c-2°×11
〃 bc-2°×5	〃 bc-2°×14	〃 bc-2°×18	〃 3c-2°×1
〃 11c-2°×4	〃 8c-2°×1	〃 8c-2°×1	WCA 2c-2°×4
〃 11c-2°×5	〃 11c-2°×8	〃 11c-2°×8	Cap 6/4×2
CVV 14c-14°×1	CVV 14c-14°×1	〃 7c-7°×2	
CVV 7c-7°×1	CVV 7c-7°×2	CV 2c-14°×19	
CWVS 2c-2°×4	CWVS 2c-2°×8	CWVS 2c-2°×14	
〃 3c-2°×2	〃 3c-2°×2	〃 3c-2°×3	
〃 5c-2°×1	〃 5c-2°×2	〃 5c-2°×2	
WCA 9c-2°×5	〃 8c-2°×1	〃 8c-2°×1	
5c-2V ×4	WCA 2c-21×20	WCA 2c-7°×26	
SGP(B) 15A×5	5c-2V ×6	5c-2V ×6	
	CWP 6/4×14	CWP 6/4×16	

昭和　年　月　日
福山市建設局建築部建築課　課長　部長

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			

照合

2. 階計装配線図

図番 E-11099

承認　照査　設計　写図

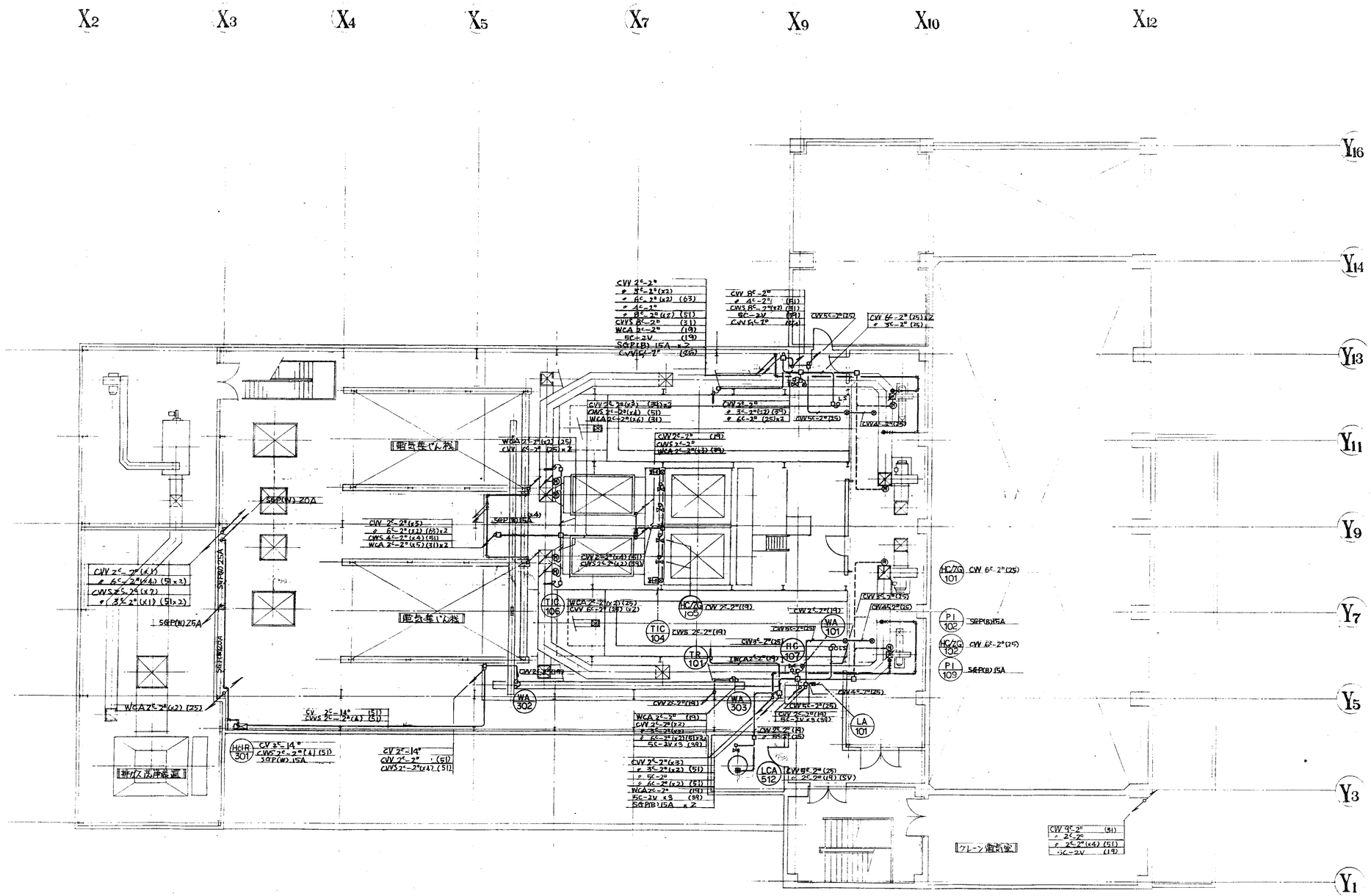
尺度 1/100

昭和54年1月29日

株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法　福山市西部清掃工場建設工事



昭和　年　月　日	作成	係長	部長
福山市建設局建築都建築課			

照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				
	3階計装配線図			

図番 E-11100

承認　調査　設計　写図

尺度 1/100

昭和54年 1月29日

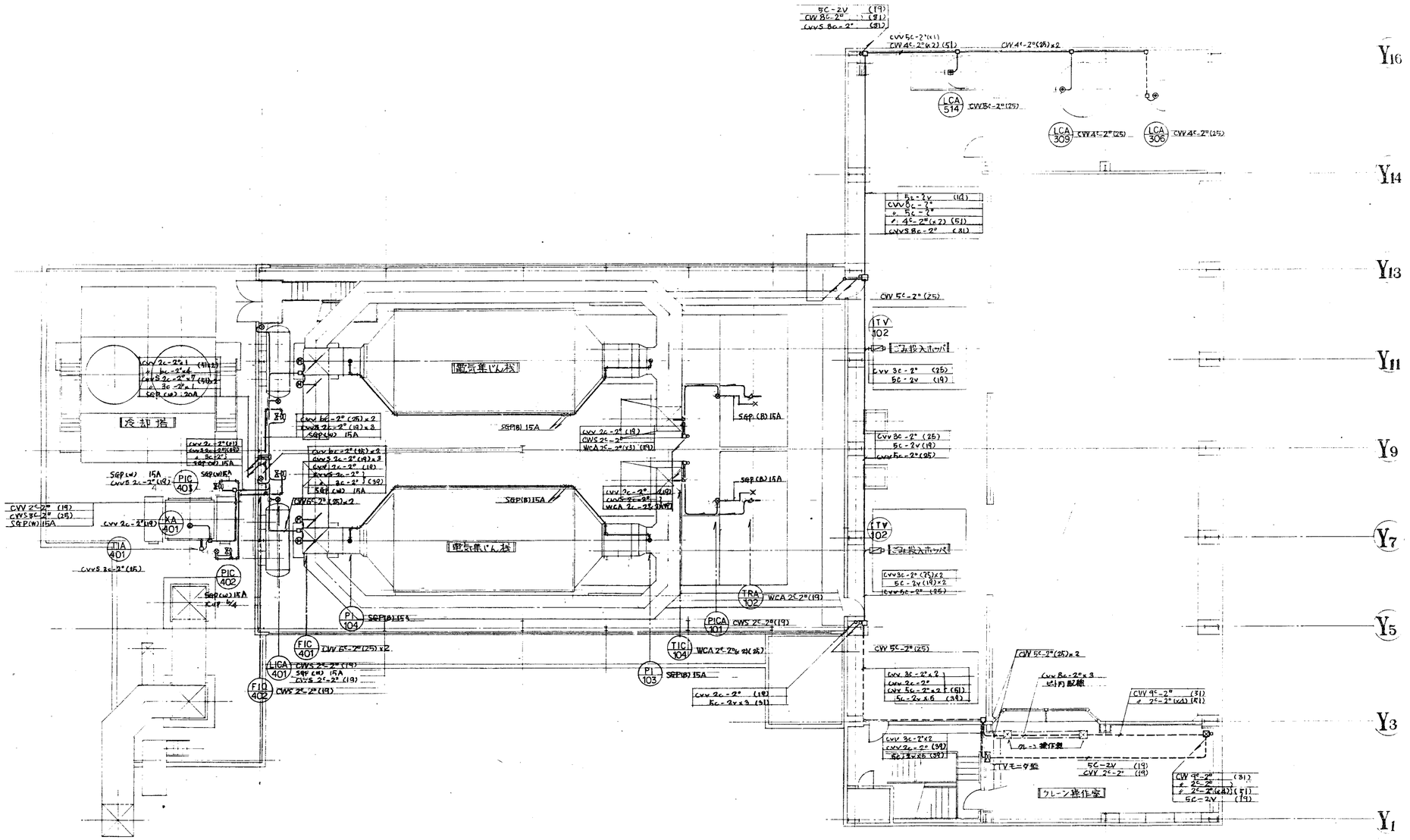
株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 福山市西部清掃工場建設工事

X1 X3 X4 X5 X7 X9 X10 X11 X12

Y16 Y14 Y13 Y11 Y9 Y7 Y5 Y3 Y1



照合	名称	一台分数量	材質		記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント				
照合					
	ホッパ 階計装配線図				

福山市建設局建築課建築係

課長 部長

図番 E-11101

承認 調査 設計 写図

尺度 1/100

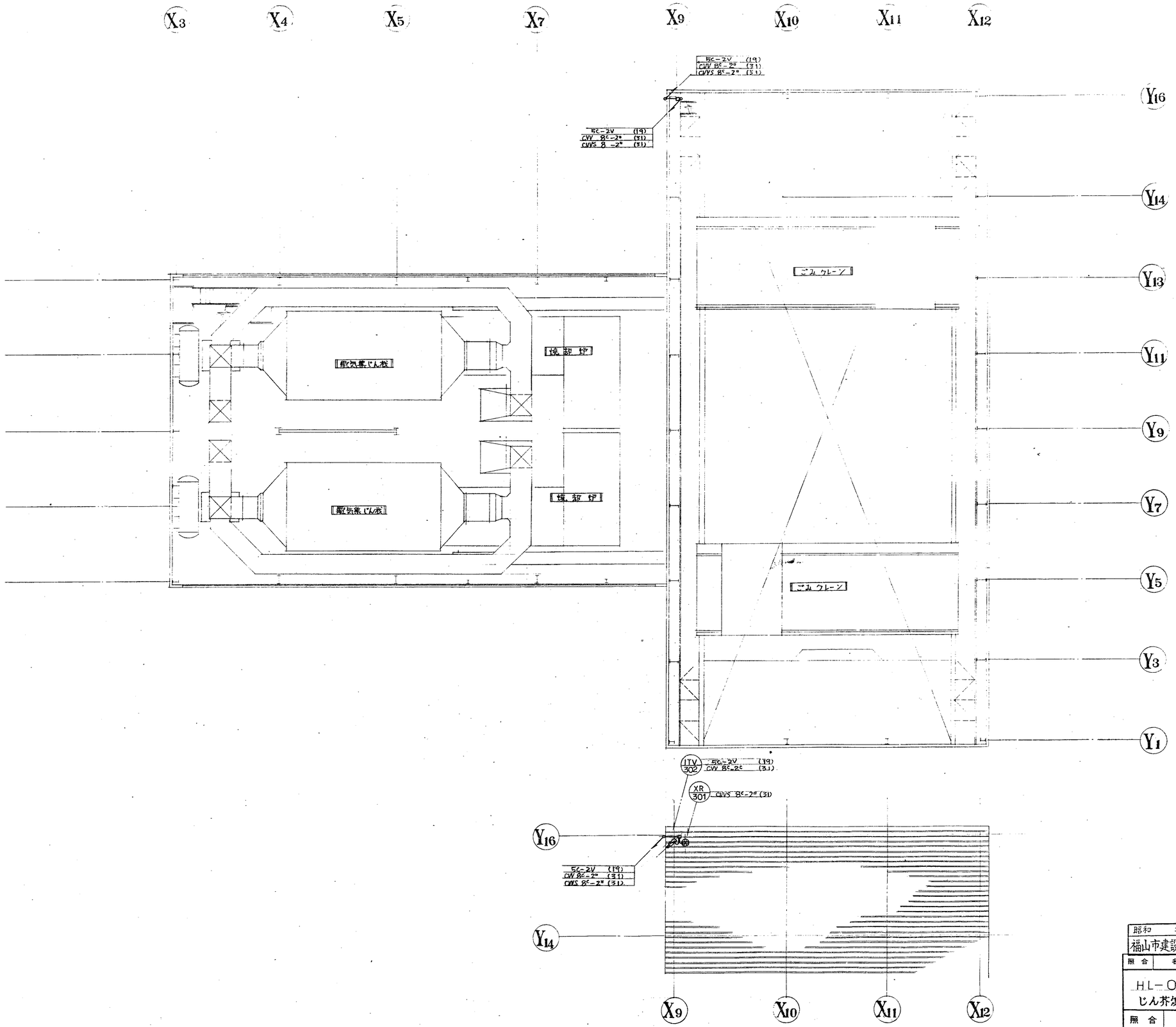
昭和54年 1月29日

日立造船株式会社 タクマ

T63 (C)

第三角投影法 福山市西部清掃工場建設工事

訂正記号	訂正備考	日付	担当	課長	副室長	所長
△1						
△2						
△3						
△4						



照合	名称	一台分数量	材質	記事
	HL-0907形 じん芥焼却プラント			
照合				

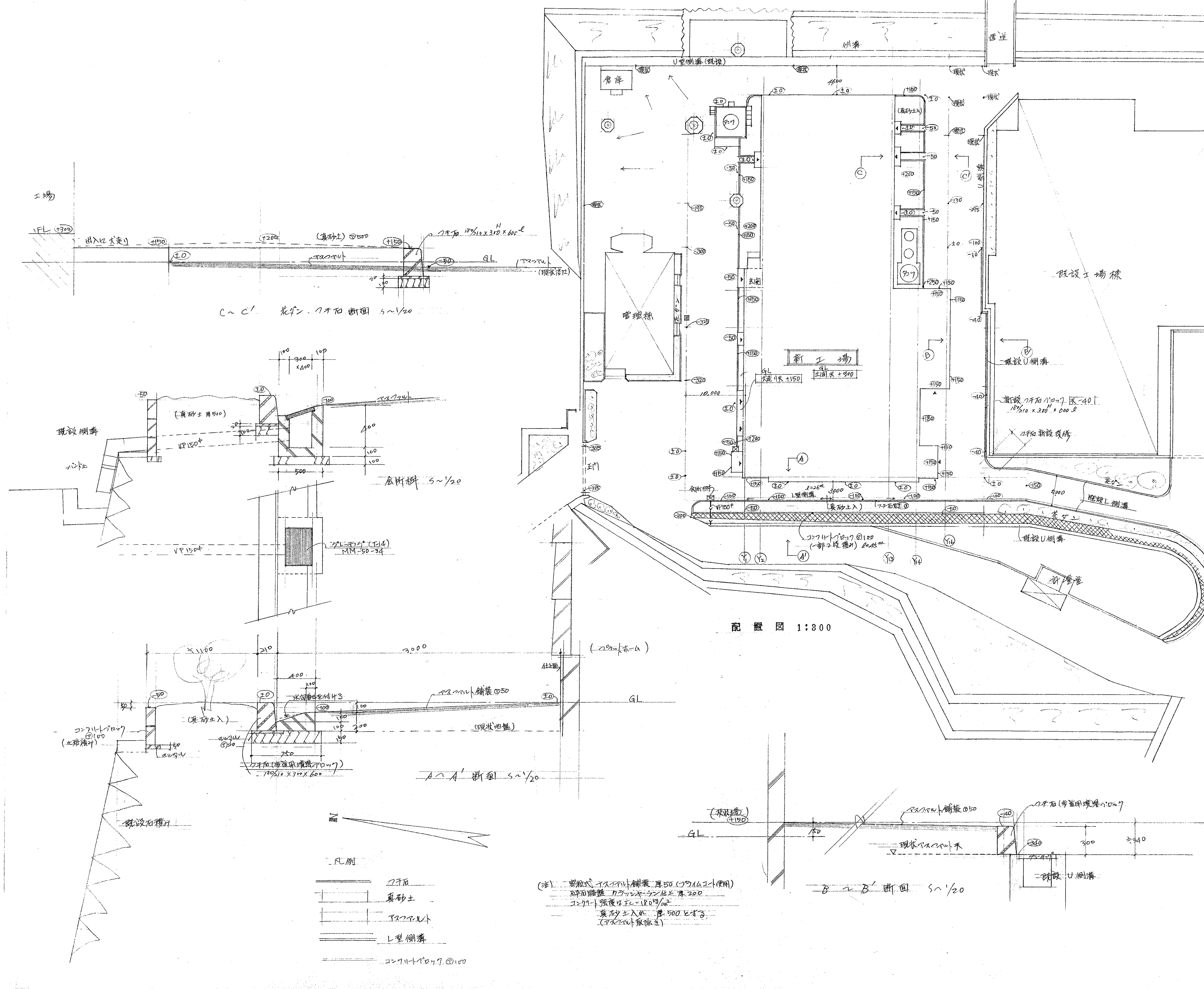
昭和 年 月 日 係員 係主 課長 部長
福山市建設局建築部建築課

図番 E-11102
承認 調査 設計 写図
尺度 1/100 昭和54年 1月29日
クレーン据付基礎図
株式会社 タクマ
T63 (C)

施設名称　福山市西部清掃工場

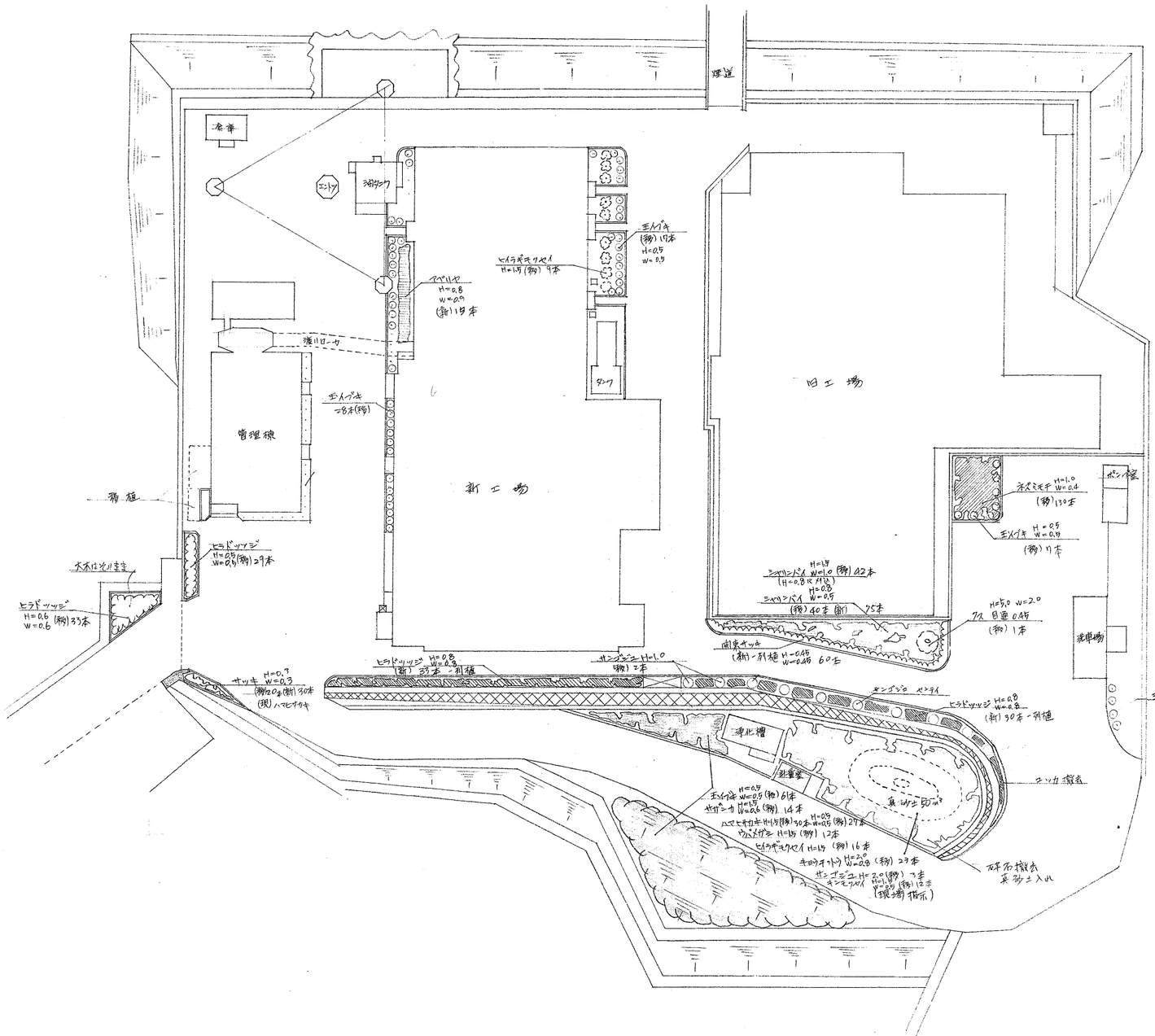
工事名称　外構工事

番号	図　面　名　称
1	図面リスト
2	配置図・断面図
3	植栽工事・平面配置図
4	受水槽　平面断面詳細図
5	門扉　平面断面詳細図
6	門扉　北立面図 断面詳細図
7	合併処理し尿浄化槽 平面図 断面図
8	合併処理し尿浄化槽　配筋図
9	合併処理し尿浄化槽 電気配管図
10	合併処理し尿浄化槽 電気系統図
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	



(注) 密粒式アスファルト舗装 厚50(プライムコート使用)
砕石路盤 クラッシャーラン仕上 厚200
コンクリート強度は Fc=180kg/cm²
真砂土入れ 厚500とする。
(アスファルト取除き)

福山市西部清掃工場建設 外構工事	1/1
外構工事.配置図断面図	縮尺 1:300 1:20
昭和 55 年 7 月 日 福山市建設局建築部建築課	係員 / 係長 / 課長補佐 / 課長 / 部長



(注) 花ダン内 木木はそのまま残す (現場指示)

ヒイラギモクセイ	添え竹 1本支柱	— 25本
クス	三脚支柱	
ウバメガシ	添え竹 1本支柱	— 12本
サザンカ	添え竹 1本支柱	— 14本
キンモクセイ	添え竹 1本支柱	— 12本

福山市向丘清掃工場新設 植栽工事

1/1

平面配置図

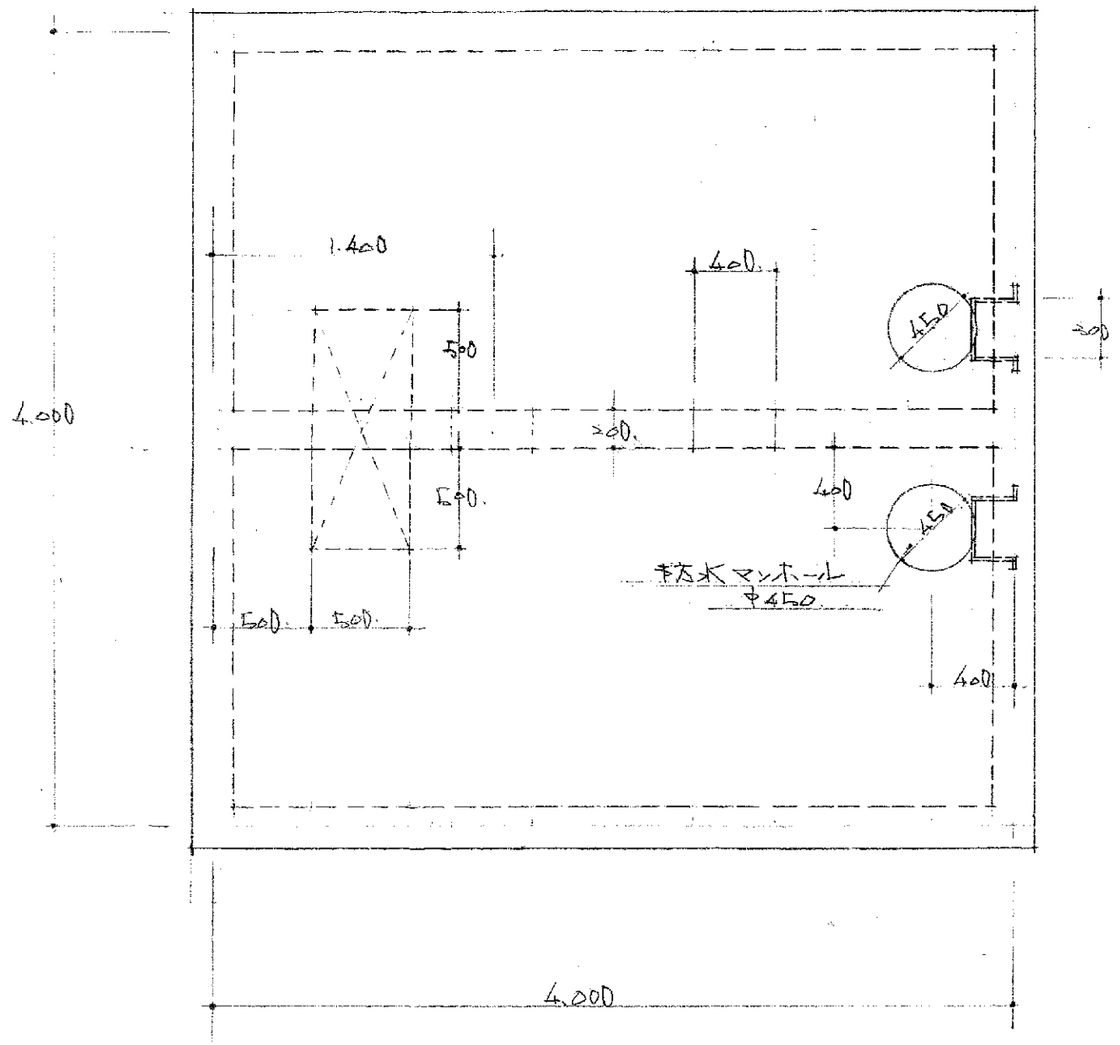
縮尺 1/100

昭和 55 年 11 月 日 係 長 課長補佐 課長 部長

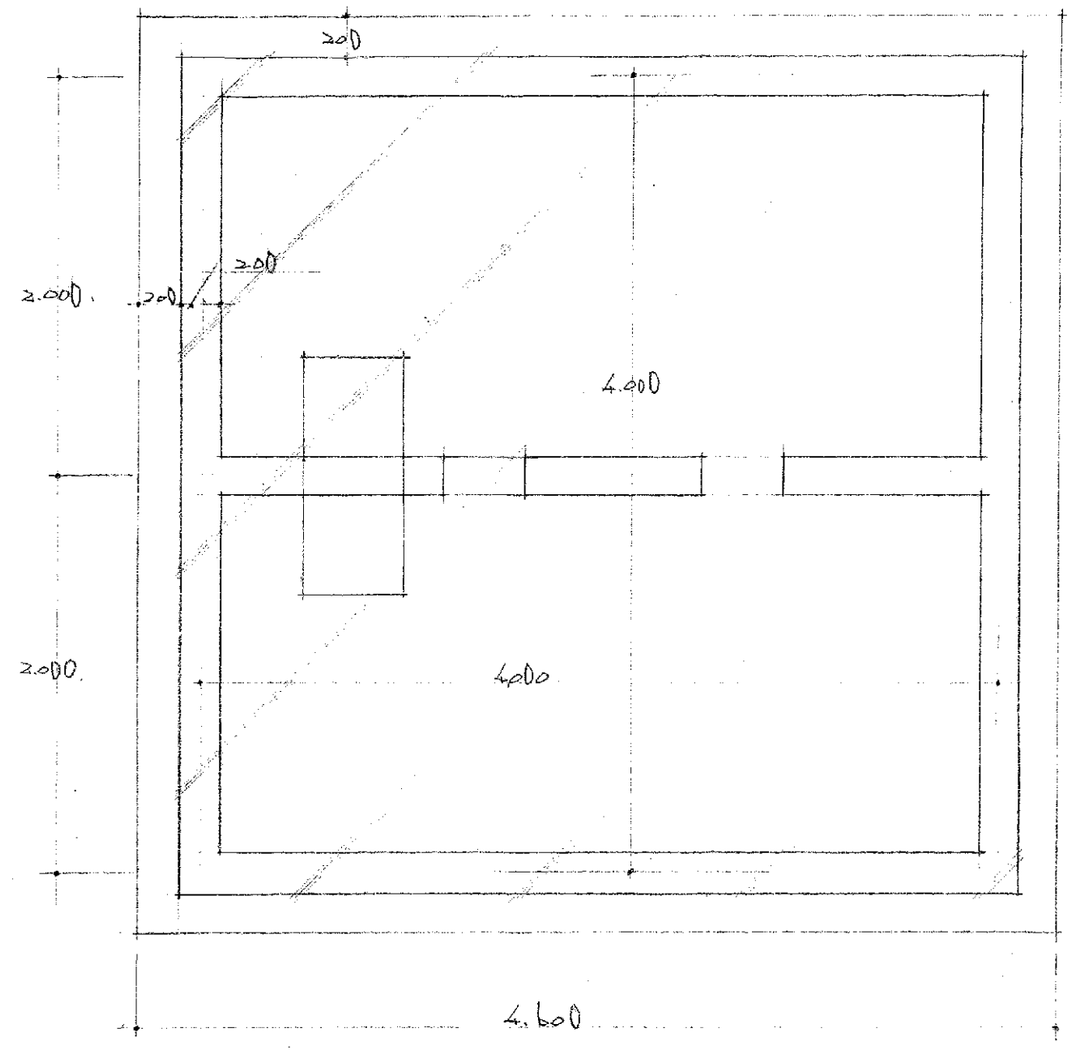
福山市建設局 業務 課

★ star A-1 WA108

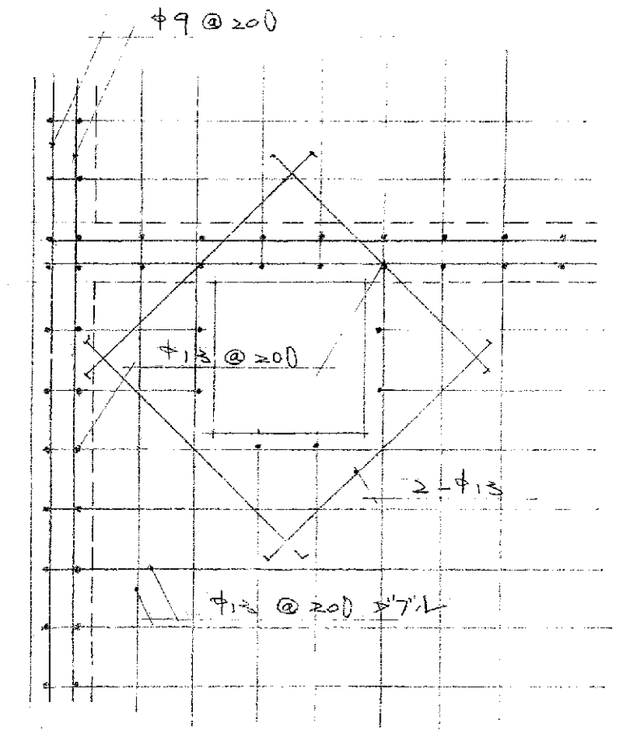
★ ドラガー 777



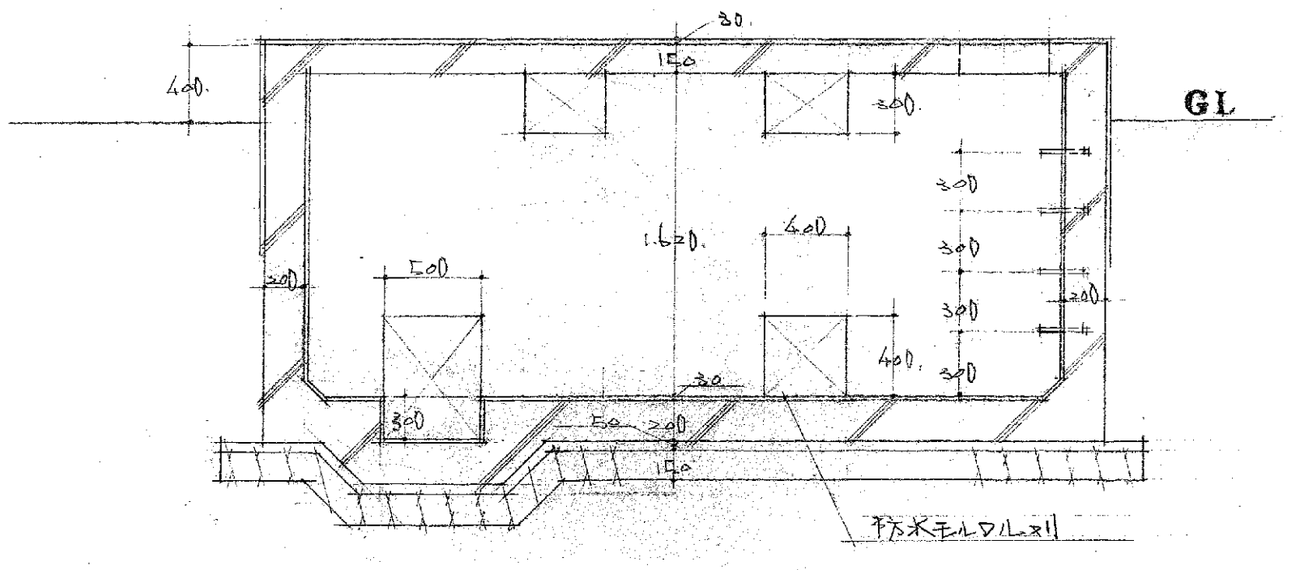
平 面 図　1:30



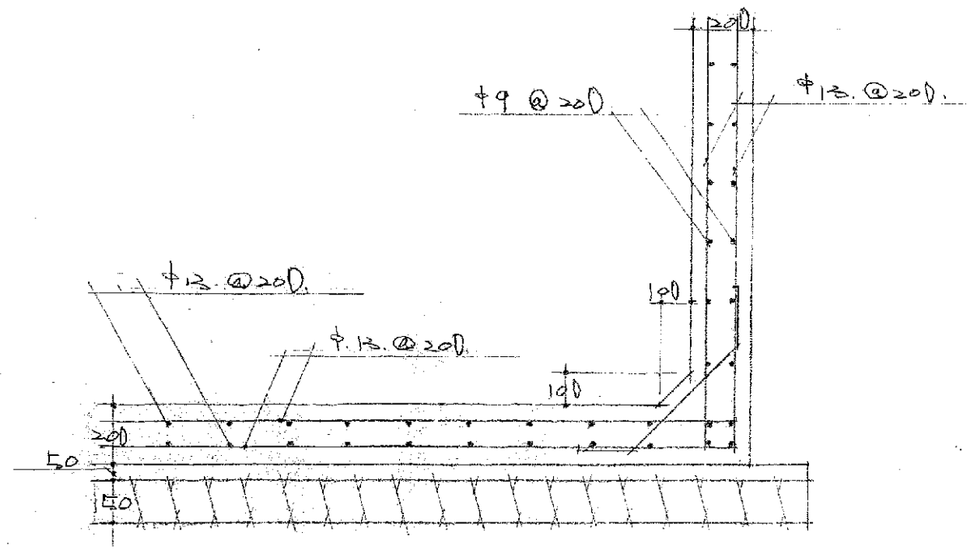
基礎伏図　1:30



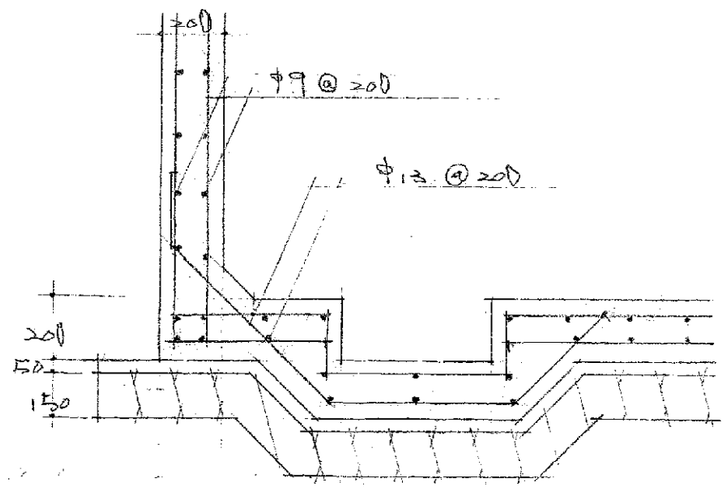
厚200 スラブ配筋　1:20



断面詳細図　1:30



配筋 断 面 図　1:20



配筋 断 面 図　1:20

福山市西部焼却場受水槽新設工事	
平面、断面詳細図	縮尺 1:20、1:30
年 月 日	係員 課長 課長
福山市建設局土木建築部建築課	

DKグレート数＝ GN-3014. 300×1,000×50.
受け桁 L-45×10×56. ｹﾀｰﾝ4

ヒューム管 内径150.

スロープ

鉄製据金加工品.
シュリンダー鉄50

名板 大理石 400×900. ◎30

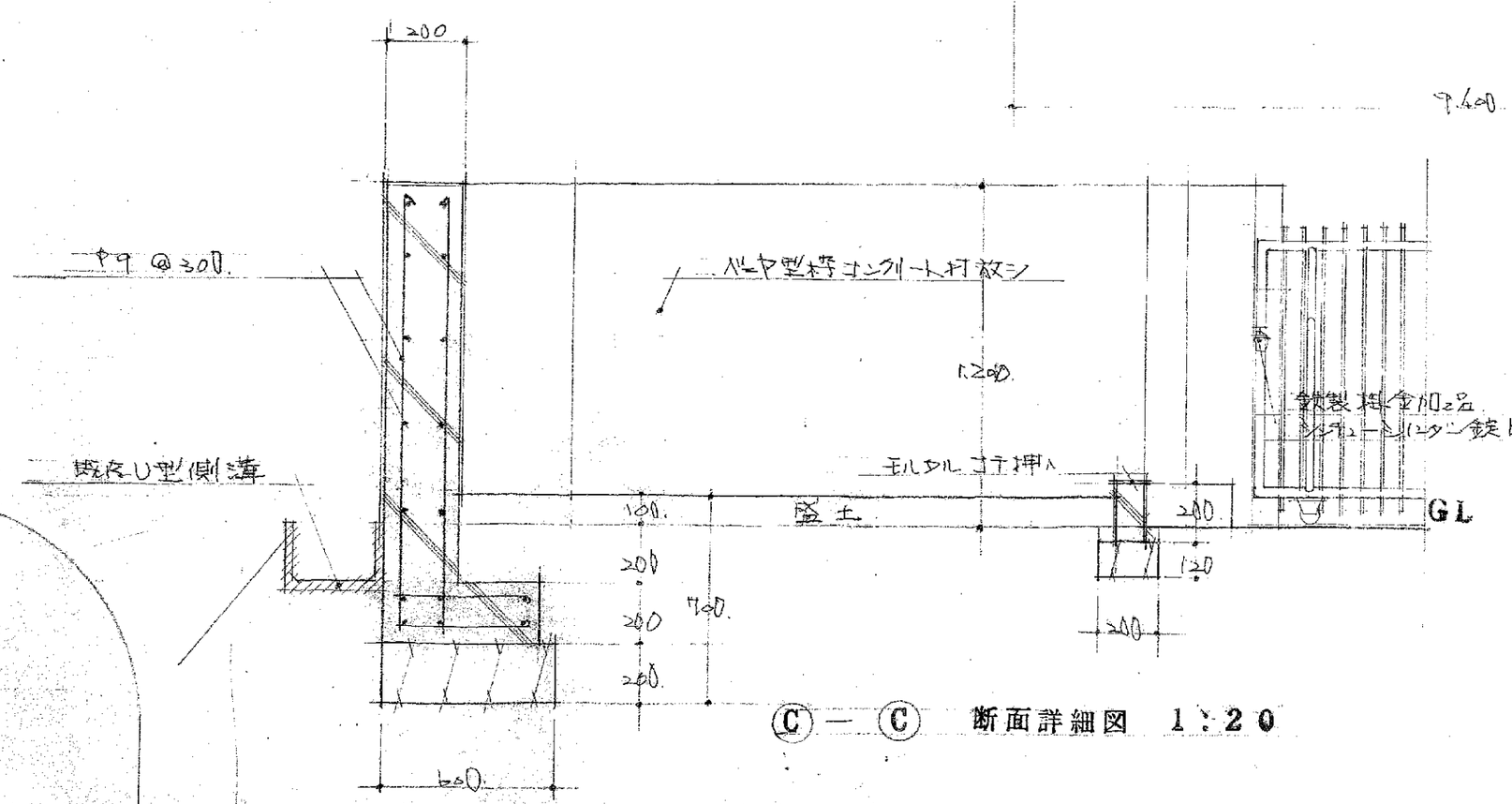
レール L-50×50×6

サンポール埋込式 H=8,000

既設U型側溝

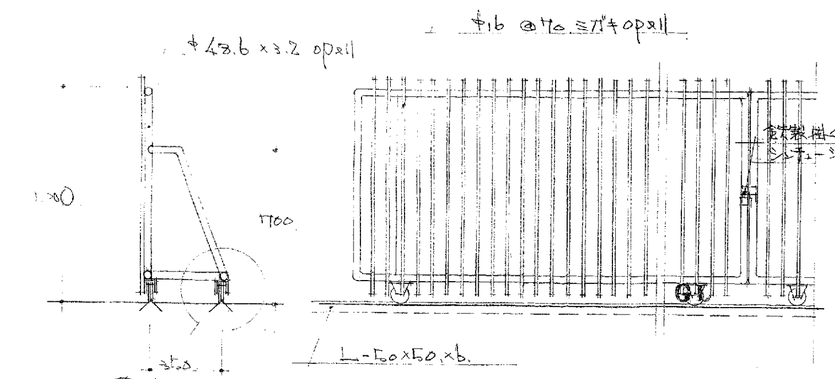
既設建物

平面詳細図　1：50

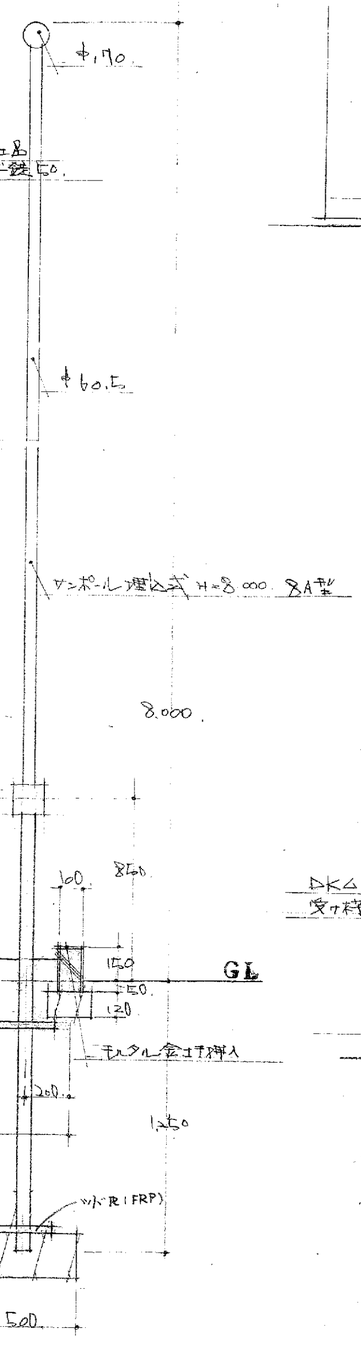


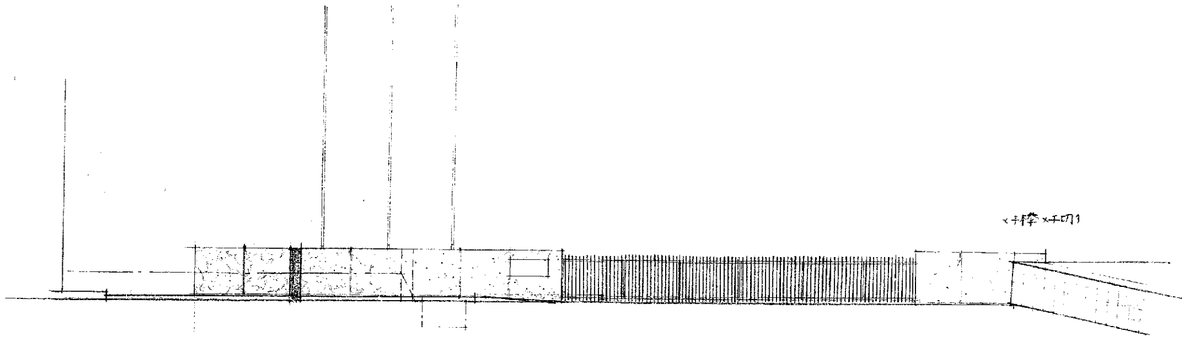
Ⓒ — Ⓒ　断面詳細図　1：20

福山市西部焼却場門扉新設工事		2/3
平面詳細図　断面詳細図		縮尺 1：20 1：50
年　月　日	係員	係長
福山市建設局土木建築部建築課		

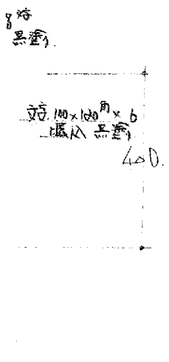


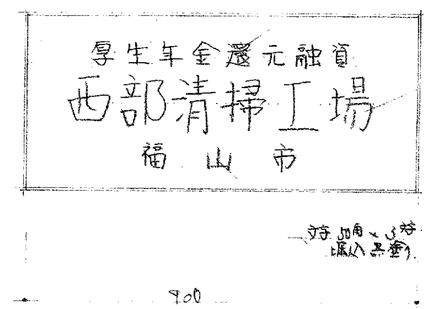
断面詳細図　1：20



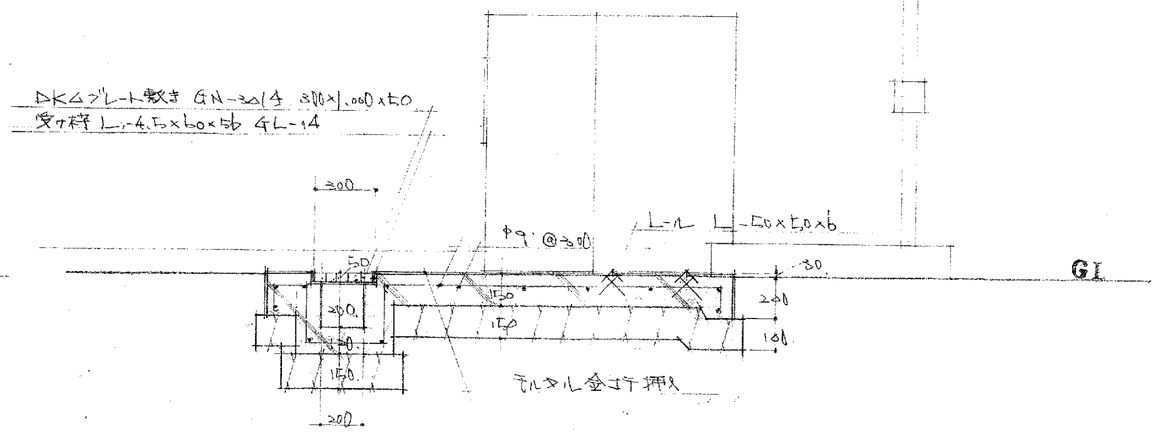


北立面図　1：100

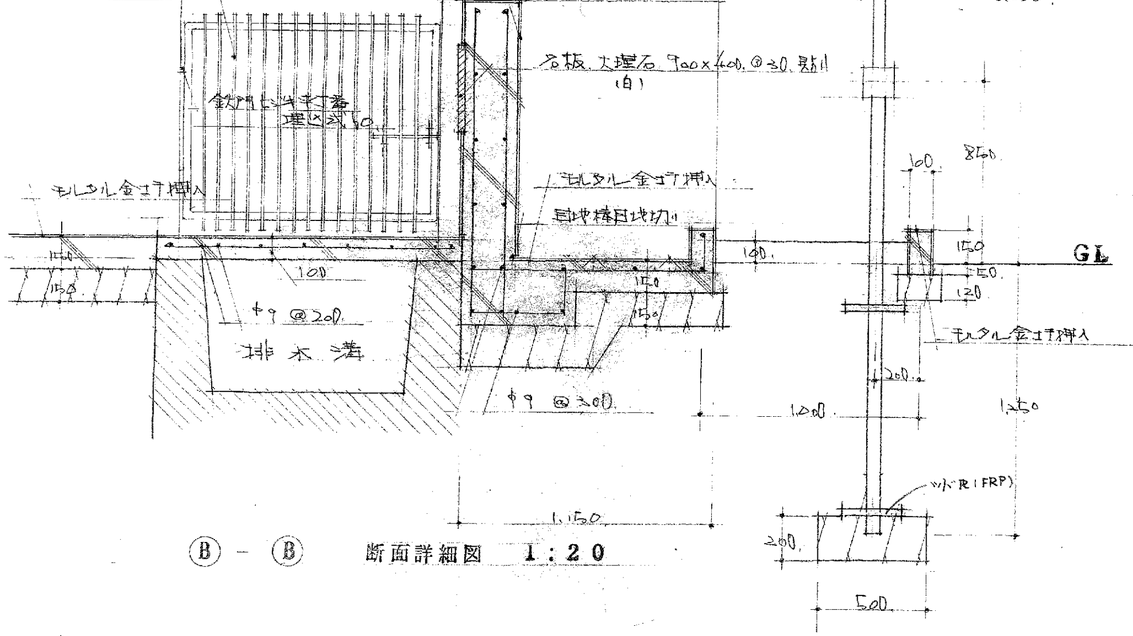




1：10

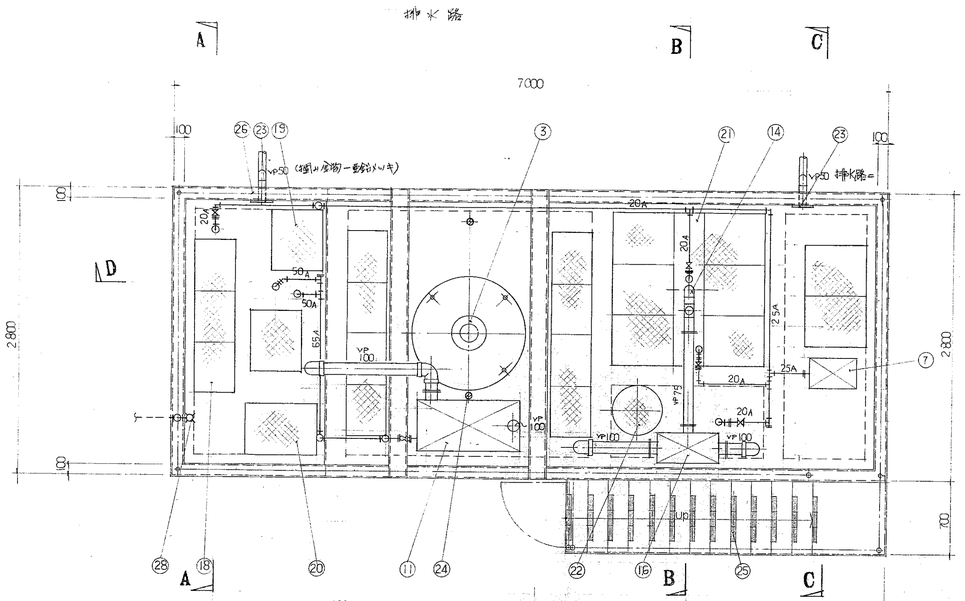


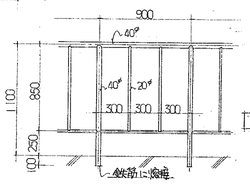
Ⓐ － Ⓐ　断面詳細図　1：20

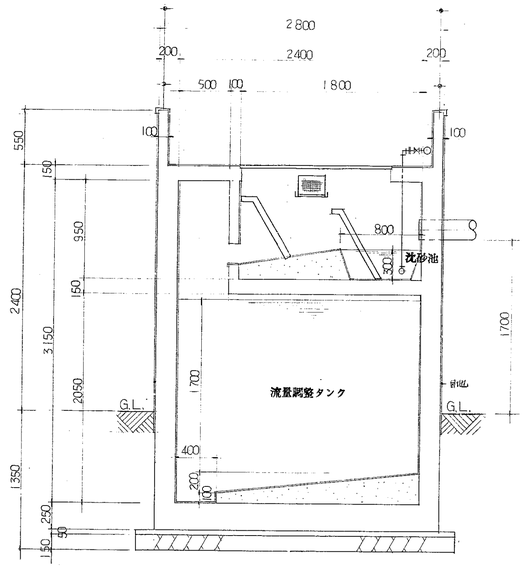


Ⓑ － Ⓑ　断面詳細図　1：20

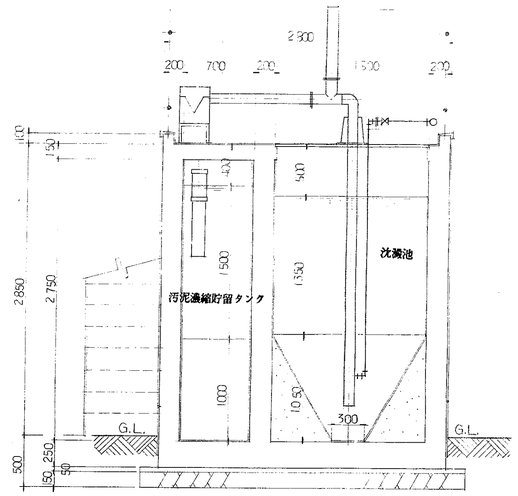
福山市西部焼却場門扉新設工事	3/3
断面詳細図　北立面図	縮尺 1：20 1：100
年　月　日	係員　係長　課長
福山市建設局土木建築部建築課	



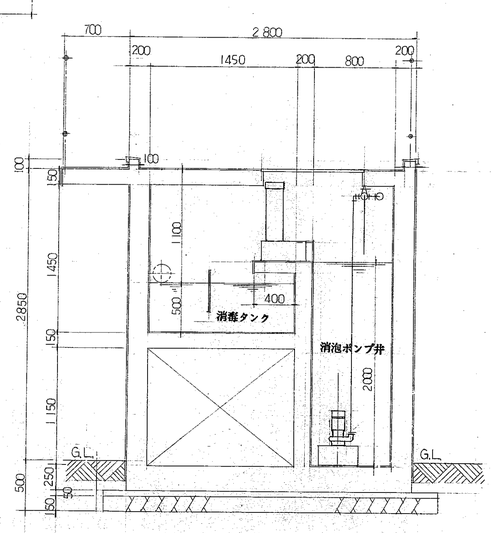




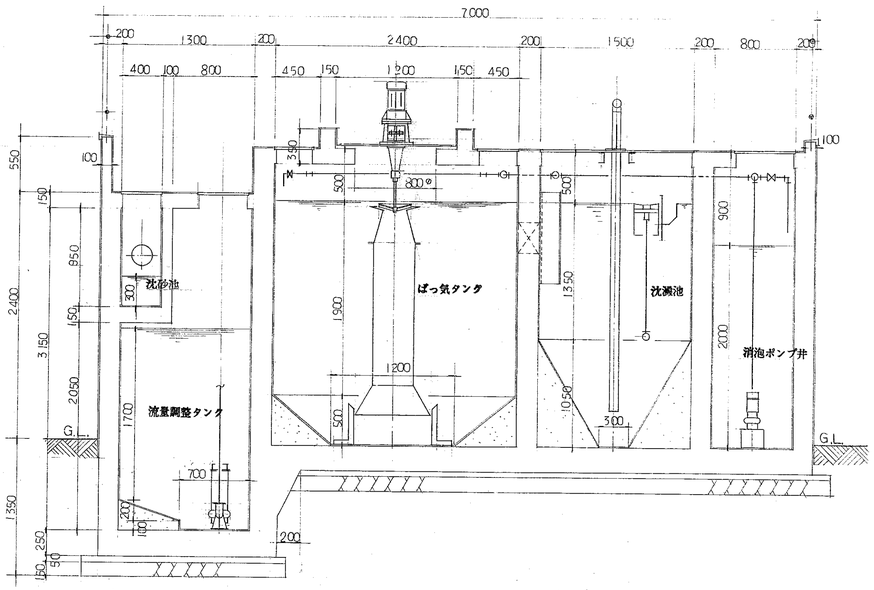
A-A 断面図



B-B 断面図



C-C 断面図



D-D 断面図

	名称	仕様	数量	メーカー
1	水中ばっ気機	65ϕ×0.7㎥/min×1.5kW	1台	(株)荏原製作所
2	原水貯留ポンプ	50A×0.1㎥/min×5.8m×0.75kW	2台	〃
3	ばっ気機	0.7㎥/min×5.0m×0.75kW	1台	(株)西原環境衛生研究所
4	消泥ポンプ	40A×0.04㎥/min×8m×0.25kW	1台	(株)荏原製作所
5	消泡ノズル	10ℓ/min.個	4個	ニュー・アドバンス
6	塩素滅菌器	750g/h	1基	日本曹達(株)
7	送風機	25ϕ×0.34㎥/min×2200mmAq×3.7kW	1台	世界産業(株)

機器リスト NO.1

	名称	仕様	数量
8	荒目スクリーン	400W×720H 目巾20 SUS 304	1基
9	細目スクリーン	400W×420H 目巾20 SUS 304	1基
10	スクリーンカス・カゴ	250W×320H×220D SUS 304	1基
11	計量タンク	SUS 304	1基
12	逆洗逆用バッフル	200W×425H×900D PVC	1基
13	越流トラフ	L=1300 SUS304×3t	1基
14	汚泥返送ポンプ	エアリフトポンプ 80ϕ	1台
15	スカム返送装置	フローティングスキマー 50ϕ	1台
16	汚泥分注タンク	SUS 304 架台(鋼材共)	1基
17	消毒タンクバッフル	300W×460H PVC	1枚
18	チェッカ・プレート	400×320×4.5t	11枚

機器リスト NO.2

	名称	仕様	数量
19	チェッカ・プレート	500×600×4.5t	10枚
20	〃	500×700×4.5t	1枚
21	〃	900×1300×4.5t	1枚
22	マンホールカバー	500ϕ	1枚
23	ルーフドレーン	コーナー型 50ϕ	2個
24	目皿	50ϕ	2個
25	ノンスリップタイル		
26	手摺	H=1100 ﾌﾞﾗｹｯﾄ下地 O.P.仕上	
27	操作盤	屋外防水自立型	1面
28	給水栓	13ϕ 別途工事	1ヶ所

(注) チェッカ・プレートは多船メッキ製とする。

機器リスト NO.3

縮尺 1/50

	内部	外部
床	モルタル防水金鏝押え t=20	———
壁	〃	モルタル刷毛引、アクリルシリン吹付
天井	———	———
スラブ	———	モルタル防水金鏝押え t=20
巾木	———	〃 H=300
笠木	———	モルタル仕上げ金鏝押え

仕上げ表

型式　回転式
汚水量　10㎥/日
放流水質　BOD　20 PPM以下

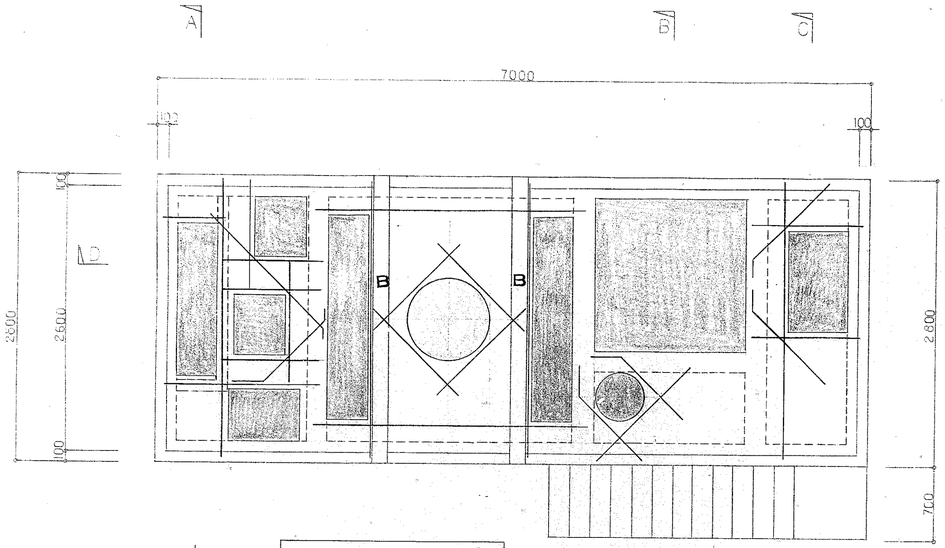
広島県福山市沖野上町420番地
(株)大造産業 TEL 0849㊗3339

福山市団部有穂汚水処理場合併処理浄化槽新設工事

平面図、仕様、断面図	1/4
昭和55年5月 日	縮尺 1/30

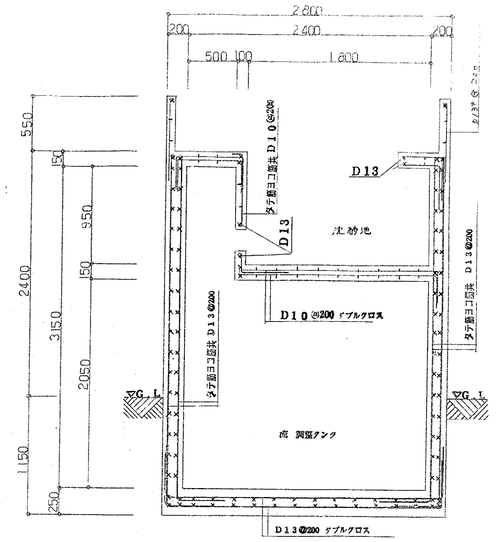
福山市建設局建築部建築課

係員	係長	課長補佐	課長	部長

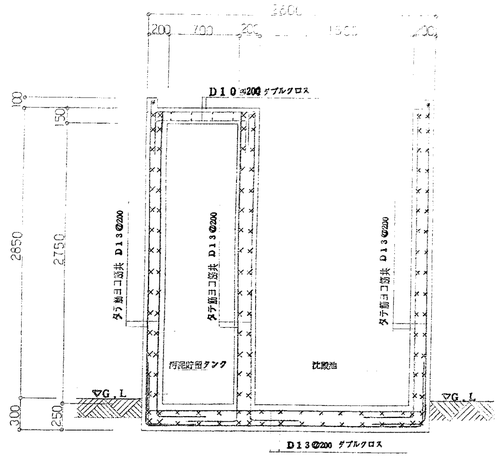


補　強　筋　S:1／30

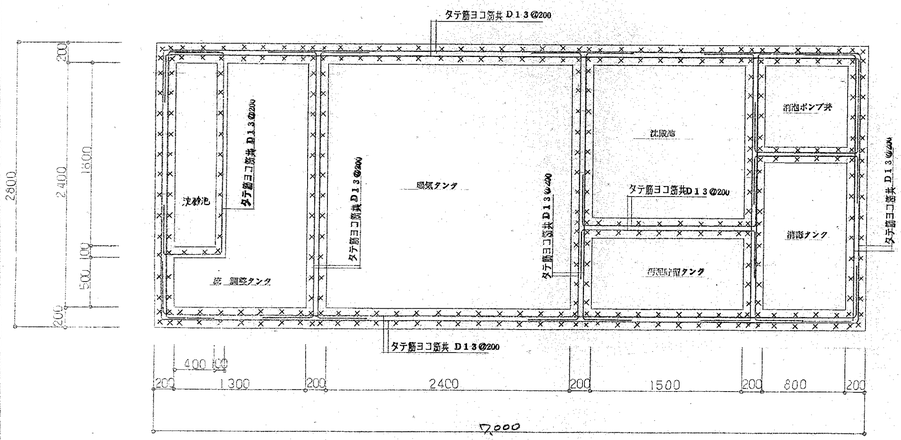
(注)指記なき場合 補　強　筋は2-D13



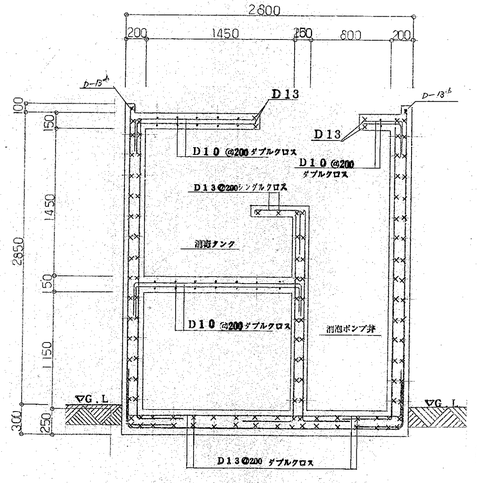
Ⓐ Ⓐ 断面配筋図　S:1／30



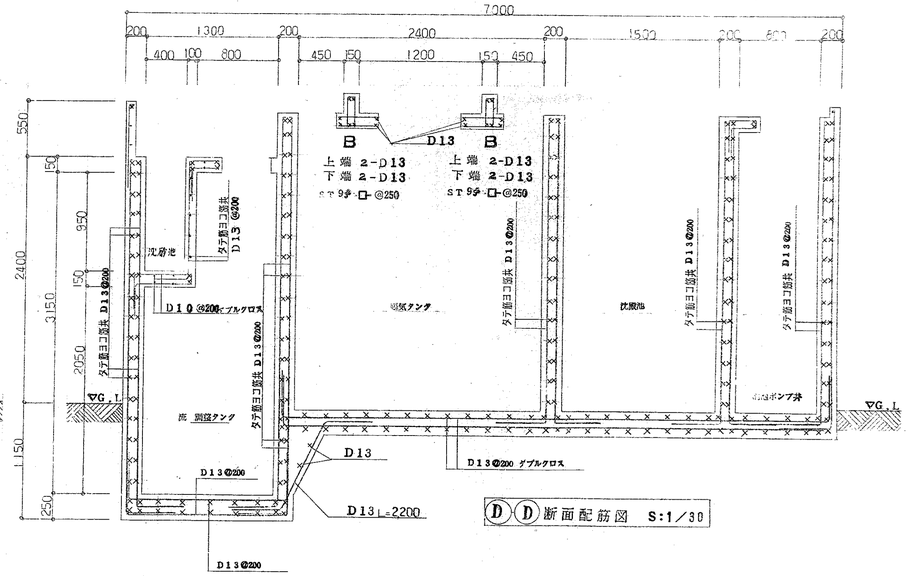
Ⓑ Ⓔ 断面配筋図　S:1／30



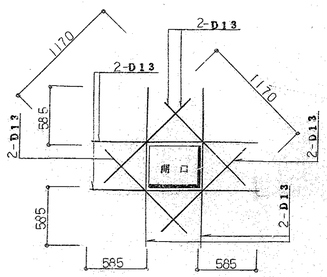
断面配筋図　S:1／30



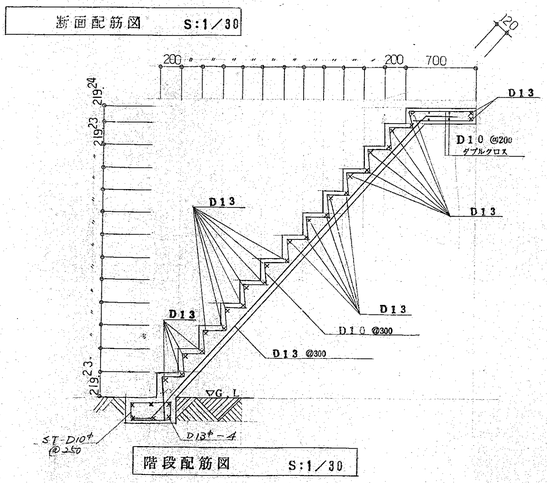
Ⓒ Ⓒ 断面配筋図　S:1／30



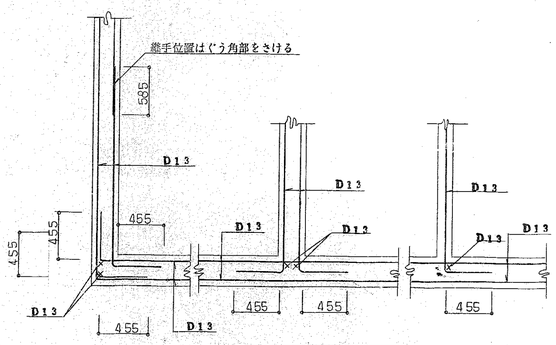
Ⓓ Ⓓ 断面配筋図　S:1／30



壁開口補　強　筋　S:1／30



階段配筋図　S:1／30



ぐう角部配筋図　S:1／30

コンクリート4週強度	Fc =	210 kg/cm²
鉄筋許容応力度	ft =	2000 kg/cm²
(注)	由止筋	9φ 1本／m²

広島県福山市神野上町420番地
(株) 大造産業 TEL 0849(33)

福山市西部清掃工場合併処理浄化槽新設工事　2/4

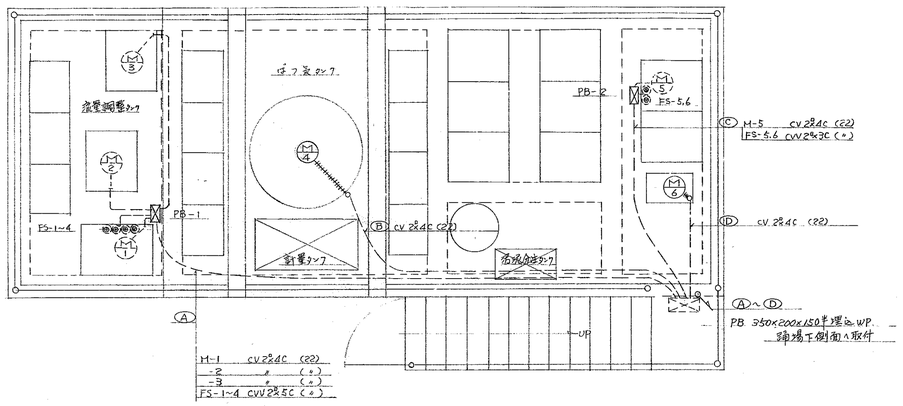
配筋図　縮尺 1/30

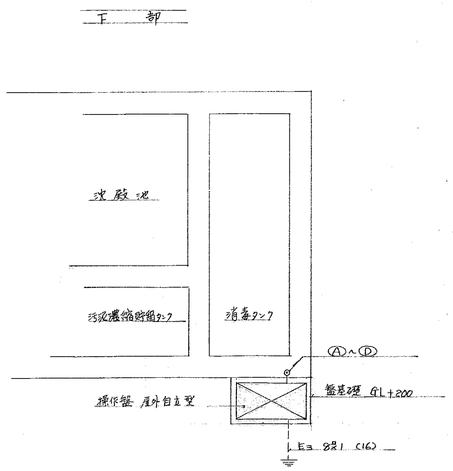
昭和 55 年 5 月 日　係員　係長　課長補佐　課長　部長

福山市建設局建築部建築課

配線図

S = 1/50



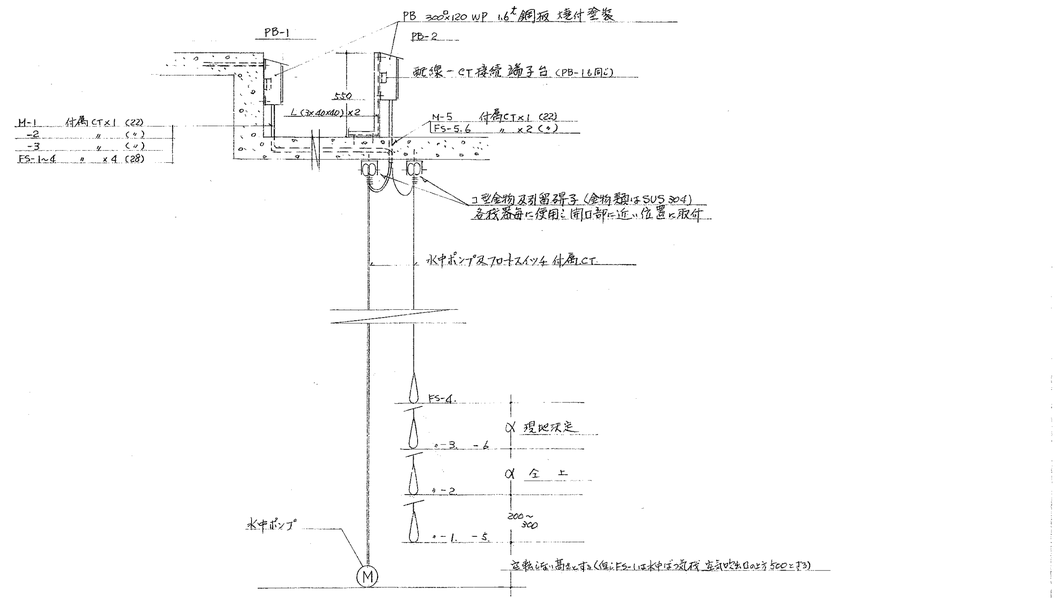


凡例

記号	名称	電気方式・電圧	容量	Y数	摘要
M1	水中ばっ気機	3φ 3W 200V	1.5 kw	1	手動及自動運転（タイマー）
M2~3	No1 〃 2 汚水計量ポンプ	〃	0.75 〃	2	〃及〃〃 平水時自動運転、増水時同時使用
M4	ばっ気機	〃	0.75 〃	1	〃及〃〃（タイマー） 急帯重流 3A
M5	消泡ポンプ	〃	0.25 〃	1	〃及〃〃（タイマー、フロートスイッチ併用）
M6	送風機	〃	0.75 〃	1	〃及〃〃（タイマー）
◉ FS-1~4	フロート（レベル）スイッチ	24V		4	汚水計量ポンプ自動運転用
◉ 〃 -5.6	〃	〃		2	消泡ポンプ 〃

水中ポンプ及フロートスイッチ接続要領図

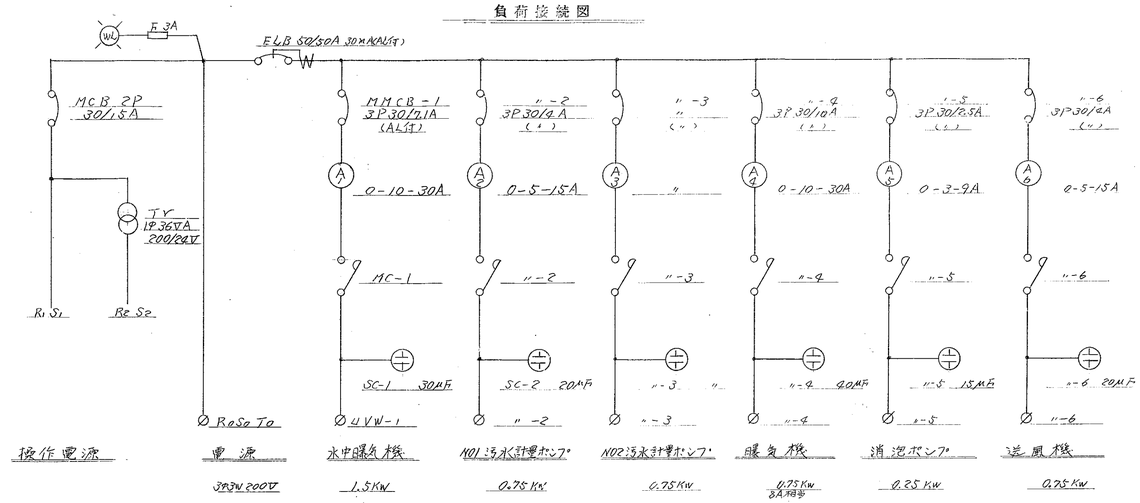
S = 1/20



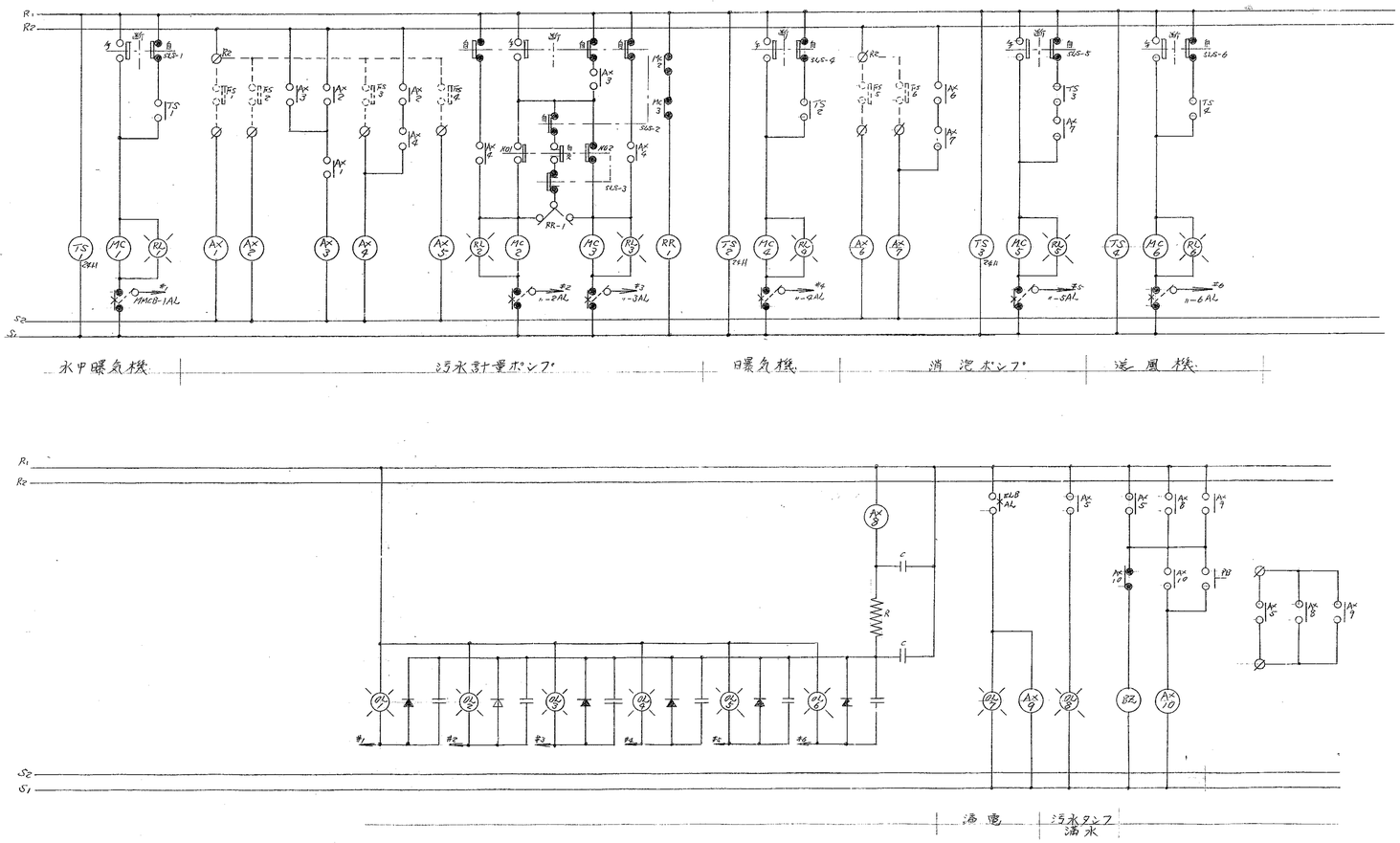
佐賀県福山市鵜野上町420番地
(株) 大造産業 TEL 0849 ㉓ 3339

福山市西部清掃工場合併処理し尿浄化槽新設工事		3/4
電気設備 配管図	縮尺	1/30
昭和 55年 7月 日	係員	係長
福山市建設局建築部建築課	課長	部長

負荷接続図

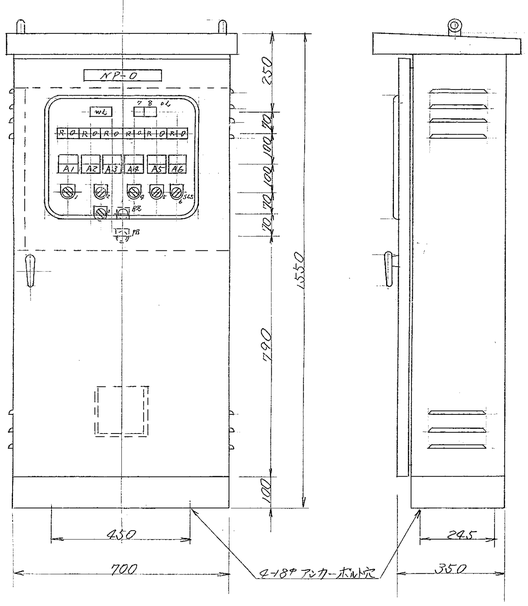


操作回路図



正面図

S = 1/10



側面図

注記

・構造	屋外防水型
・筐体	扉 板厚 2.3 mm 鋼板
・塗装色	5Y 7/1 (マンセル)

広島県福山市神野上町420番地
(株) 大造産業 TEL 0849㊗3339

福山市西部浄水場合併処理し尿浄化槽新設工事					4/4
電気設備系統図				縮尺	1/10
昭和 55年 5月 日	係員	係長	課長補佐	課長	部長
福山市建設局建築部建築課					